令和２年度決算に係る

主な施策の成果説明書

日　　向　　市

報　告　書

地方自治法第233条第5項の規定により、令和2年度一般会計および特別会計における各部門の主要な施策の成果と予算執行の状況について、次のとおり報告する。

令和3年9月17日

日向市長　十　屋　幸　平

目　　　　次

■　決算の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁

■　第２次日向市総合計画・前期基本計画　成果指標取組状況一覧表　・・ 19

■　凡　例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

■　評価対象事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

■　評価対象外事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 293

■　新型コロナウイルス感染症対策事業　・・・・・・・・・・・・・・・・ 437

■　特別会計・企業会計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 475

決算の概要

令和２年度　各会計予算の執行状況

（単位：千円）

会計別			最終予算額	決算額		執行割合	
				歳入	歳出	歳入	歳出
普通会計	一般会計		40,246,924	39,399,345	38,584,393	97.9%	95.9%
	特別会計	公営住宅事業特別会計	375,930	371,871	370,707	98.9%	98.6%
		財光寺南土地区画整理事業特別会計	48,296	48,290	45,311	100.0%	93.8%
		城山墓園事業特別会計	7,000	6,678	6,423	95.4%	91.8%
		簡易給水施設特別会計	6,800	6,146	5,865	90.4%	86.3%
	小計 (A)		40,684,950	39,832,330	39,012,699	97.9%	95.9%
	(A) のうち普通会計純計		40,638,550	39,785,357	38,965,726	97.9%	95.9%
国民健康保険事業特別会計			7,398,818	7,125,679	7,027,499	96.3%	95.0%
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）			5,748,332	5,636,133	5,521,166	98.0%	96.0%
日向入郷地域介護認定審査事業特別会計			38,658	36,919	36,919	95.5%	95.5%
後期高齢者医療事業特別会計			791,699	785,907	777,154	99.3%	98.2%
合計			54,662,457	53,416,968	52,375,437	97.7%	95.8%

※ 表示単位未満を端数調整しているため、合計等が一致しない場合があります。

令和２年度　普通会計決算状況

（単位：千円）

歳入

区分	決算額
市税	8,039,340
地方譲与税	297,587
利子割交付金	3,204
配当割交付金	12,564
株式等譲渡所得割交付金	15,131
地方消費税交付金	1,385,697
自動車税環境性能割交付金	12,697
法人事業税交付金	55,190
地方特例交付金	61,346
地方交付税	6,631,206
内訳　普通	5,974,864
内訳　特別	656,342
交通安全対策特別交付金	14,470
ゴルフ場利用税交付金	7,188
小計	16,535,620
分担金及び負担金	479,953
使用料	311,283
手数料	44,534
国庫支出金	13,463,506
県支出金	3,563,512
財産収入	397,847
寄附金	612,164
繰入金	735,063
繰越金	389,340
諸収入	1,004,634
市債	2,247,901
合計	39,785,357

歳出

目的別歳出

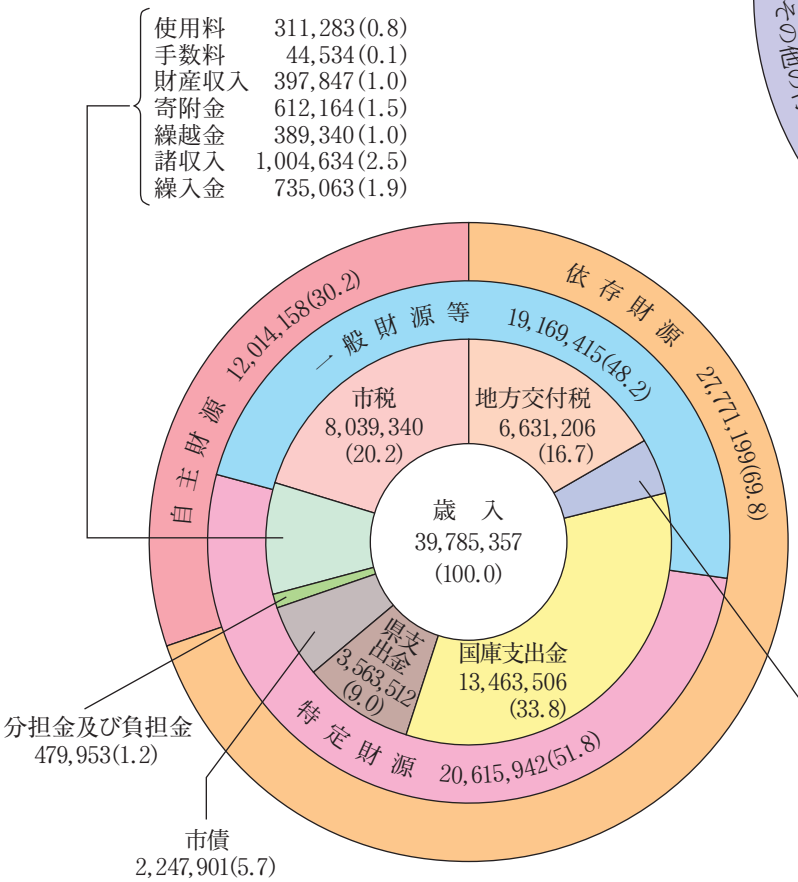
区分	決算額	左のうち投資的事業 補助事業	左のうち投資的事業 単独事業	一般財源等
議会費	205,066	0	0	205,012
総務費	9,677,812	0	10,776	2,796,347
民生費	12,061,994	147,406	5,049	5,311,283
衛生費	1,999,132	6,240	1,042	1,815,974
労働費	10,812	0	0	1,817
農林水産業費	1,366,599	626,214	19,470	536,493
商工費	2,448,923	1,496	255,789	1,129,220
土木費	3,857,332	1,991,622	320,079	1,537,230
消防費	991,706	19,206	65,217	722,776
教育費	2,758,180	455,557	98,785	1,734,352
災害復旧費	43,246	22,214	21,032	8,973
公債費	3,544,924	0	0	3,369,938
諸支出金	0	0	0	0
合計	38,965,726	3,269,955	797,239	19,169,415

性質別歳出

区分	決算額	一般財源等
人件費	5,072,892	4,540,920
うち職員給	3,219,993	2,998,060
扶助費	8,544,710	2,525,117
公債費	3,544,924	3,369,938
内訳　元利償還金	3,544,917	3,369,931
内訳　一時借入金利子	7	7
小計	17,162,526	10,435,975
物件費	3,797,768	2,840,909
維持補修費	125,651	112,024
補助費等	9,850,487	2,794,930
積立金	723,368	456,411
投資及び出資金	119,153	119,153
貸付金	481,049	58,549
繰出金	2,458,182	1,899,248
投資的経費	4,247,542	452,216
うち人件費	94,508	94,435
内訳　普通建設事業費	4,204,296	443,243
内訳　普通建設事業費　補助事業費	3,247,741	48,918
内訳　普通建設事業費　単独事業費	776,207	393,088
内訳　普通建設事業費　県営事業負担金等	180,348	1,237
内訳　災害復旧事業費	43,246	8,973
内訳　災害復旧事業費　補助事業費	22,214	307
内訳　災害復旧事業費　単独事業費	21,032	8,666
内訳　失業対策事業費	0	0
合計	38,965,726	19,169,415

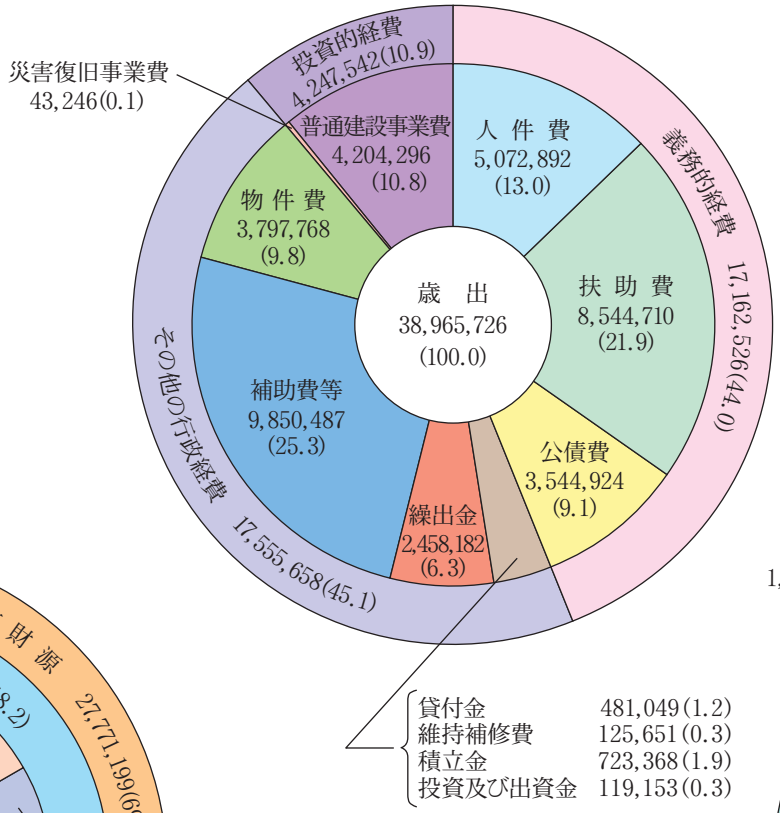
令和２年度　普通会計決算状況（グラフ）

1．歳入内訳

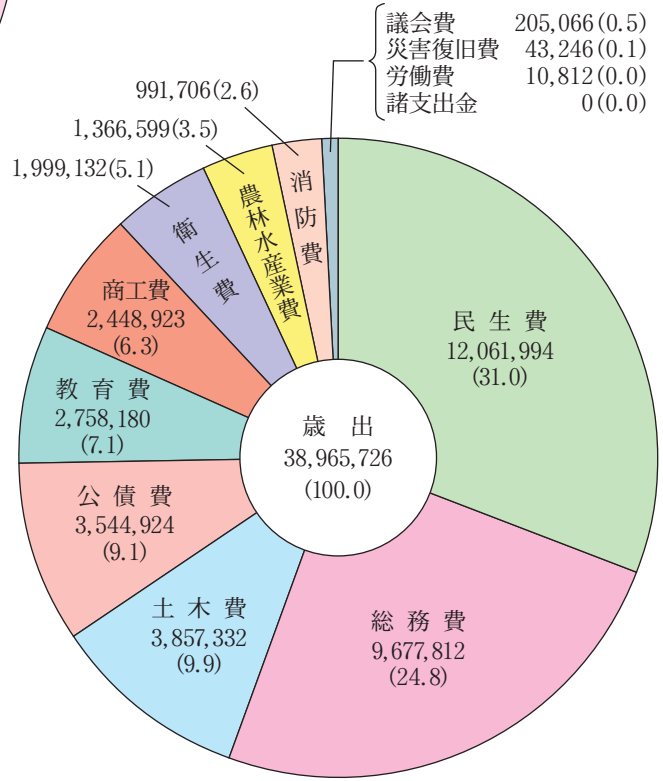


2．性質別内訳

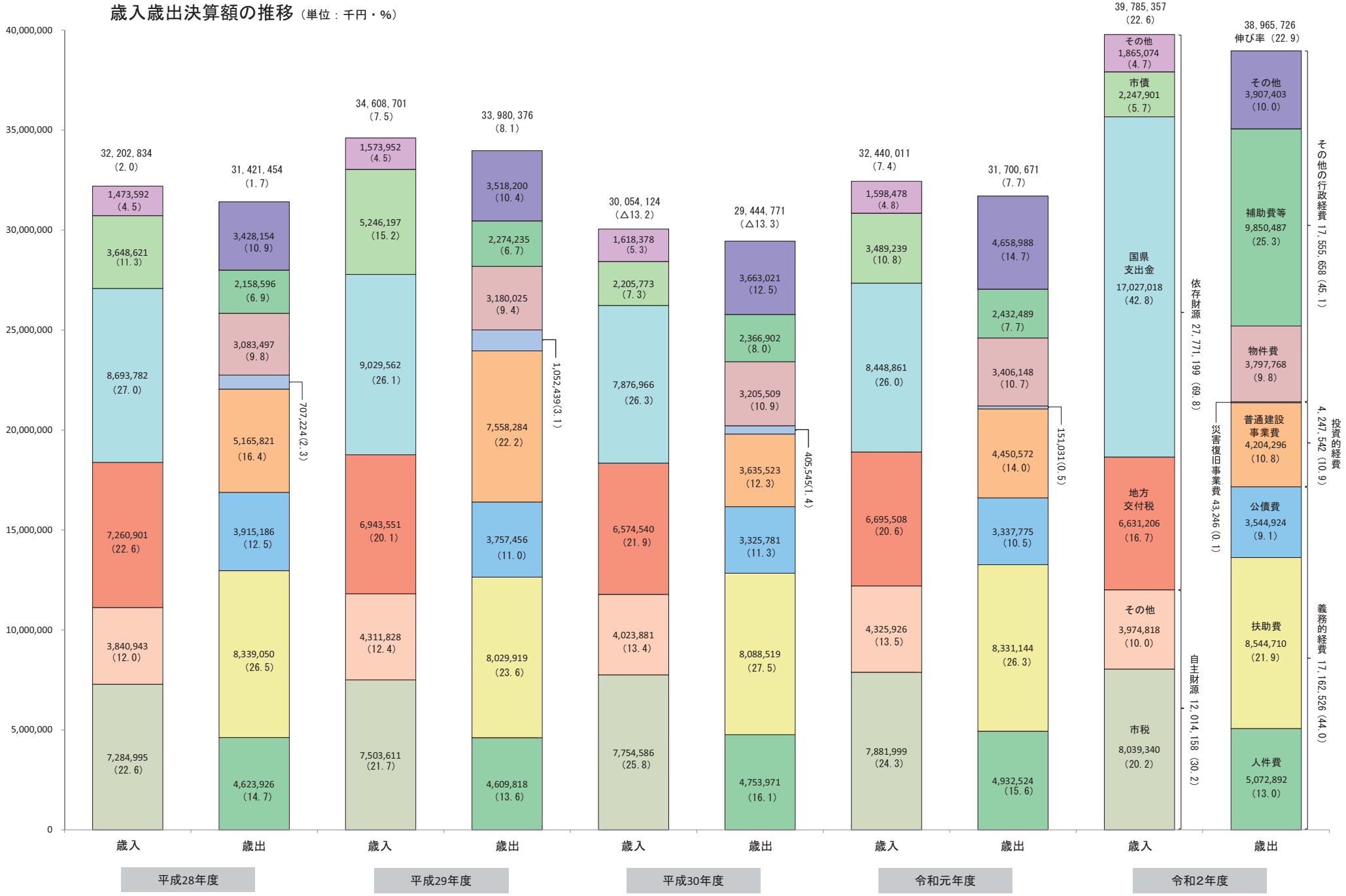
（単位：千円・％）



3．目的別内訳



歳入歳出決算額の推移（単位：千円・%）



地方債現在高の状況

（単位：千円）

区分	令和元年度末現在高 ①	令和２年度発行額 ②	令和２年度元利償還額 元金 ③	利子 ④	計 ⑤ ③＋④	⑤の財源内訳 特定財源 ⑥	一般財源等 ⑤－⑥ ⑦	差引現在高 ⑧ ①＋②－③	令和２年度末財源対策債現在高 ⑨	⑧の借入先別内訳 政府資金 ⑩	その他 ⑪
1．公共事業等債	4,763,009	579,600	718,091	60,573	778,664		778,664	4,624,518	4,621,444	4,072,303	552,215
うち財源対策債等											
2．防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	5,500	55,400		9	9		9	60,900		60,900	
3．公営住宅建設事業債	560,746		107,115	8,380	115,495	115,495		453,631		422,208	31,423
うち復旧・復興事業分											
うち（旧）緊急防災・減災事業分											
4．災害復旧事業債	553,375	13,600	54,568	136	54,704		54,704	512,407		512,407	
(1)単独災害復旧事業債	199,318	10,500	18,044	51	18,095		18,095	191,774		191,774	
(2)補助災害復旧事業債	354,057	3,100	36,524	85	36,609		36,609	320,633		320,633	
5．（旧）緊急防災・減災事業債	237,742		78,931	872	79,803		79,803	158,811		158,811	
(1)補助・直轄事業	237,742		78,931	872	79,803		79,803	158,811		158,811	
(2)継ぎ足し単独事業											
(3)緊急防災・減災事業計画に基づく単独事業											
6．全国防災事業債	90,654		8,235	635	8,870		8,870	82,419		82,419	
7．教育・福祉施設等整備事業債	1,665,890	235,400	171,877	8,721	180,598	4	180,594	1,729,413	48,824	1,267,003	462,410
(1)学校教育施設等整備事業債	1,185,283	204,200	82,485	3,197	85,682		85,682	1,306,998	48,824	951,894	355,104
(2)社会福祉施設整備事業債	16,134		3,901	168	4,069		4,069	12,233			12,233
(3)一般廃棄物処理事業債											
(4)一般補助施設整備等事業債	410,892	31,200	84,383	5,262	89,645		89,645	357,709		315,109	42,600
うち転貸債											
(5)施設整備事業債（一般財源化分）	53,581		1,108	94	1,202	4	1,198	52,473			52,473
8．一般単独事業債	10,621,589	137,700	1,123,213	42,740	1,165,953	52,660	1,113,293	9,636,076	116,282	51,099	9,584,977
うち地域総合整備事業債											
うち旧地域総合整備事業債（継続事業分）	2,216		2,106	18	2,124		2,124	110	23		110
うち地域活性化事業債	12,532		8,301	85	8,386		8,386	4,231			4,231
(1)転用事業分											
うち防災対策事業債	56,324	3,500	15,646	273	15,919	31	15,888	44,178			44,178
うち旧合併特例事業債	8,741,843	88,000	806,373	30,801	837,174	1,629	835,545	8,023,470			8,023,470
(1)旧市町村合併特例事業債	8,712,962	88,000	787,146	30,583	817,729	1,629	816,100	8,013,816			8,013,816
(2)旧市町村合併推進事業債	28,881		19,227	218	19,445		19,445	9,654			9,654
うち地方道路等整備事業債	927,205		220,066	10,651	230,717		230,717	707,139	116,259	47,411	659,728
うち一般事業債（河川等分）											
うち一般事業債（臨時高等学校改築等分）											
うち一般事業債（被災施設復旧関連事業分）											
うち一般事業債（除却事業分）											
うち地域再生事業債	9,950		2,819	41	2,860		2,860	7,131			7,131
うち日本新生緊急基盤整備事業債											
うち臨時経済対策事業債											
うち復旧・復興事業分											
うち(新)緊急防災・減災事業債	4,000		524	4	528		528	3,476			3,476
うち公共施設最適化事業債											
うち公共施設等適正管理推進事業債	31,000	27,100		2	2		2	58,100			58,100
(1) 集約化・複合化事業分	31,000	11,400		2	2		2	42,400			42,400
(2) 長寿命化（公共用建築物）事業分											
(3) 長寿命化（社会基盤施設）事業分		15,700						15,700			15,700
(4) 転用事業分											
(5) 立地適正化事業分											
(6) ユニバーサルデザイン化事業分											
(7) 市町村役場機能緊急保全事業分											
(8) 除却事業分											
うち緊急自然災害防止対策事業債	20,800	14,800		1	1		1	35,600			35,600
うち緊急浚渫推進事業債											

（単位：千円）

区　　分	令和元年度末 現在高 ①	令和２年度 発行額 ②	令和２年度元利償還額 元金 ③	利子 ④	計 ⑤ ③＋④	⑤の財源内訳 特定財源 ⑥	一般財源等 ⑤－⑥ ⑦	差引現在高 ⑧ ①＋②－③	令和２年度末 財源対策債 現在高 ⑨	⑧の借入先別内訳 政府資金 ⑩	その他 ⑪
9．辺地対策事業債	252,066	39,300	25,364	226	25,590		25,590	266,002		266,002	
10．過疎対策事業債	394,396	56,900	66,792	1,955	68,747		68,747	384,504		187,846	196,658
11．公共用地先行取得等事業債											
12．行政改革推進債											
13．厚生福祉施設整備事業債											
14．地域財政特例対策債											
15．退職手当債（～平成17年度分）											
16．退職手当債（平成18年度～）											
17．国の予算貸付・政府関係機関貸付債	561,103		32,580	8,594	41,174		41,174	528,523			528,523
18．地域改善対策特定事業債											
うち法第5条によるもの											
19．財源対策債	4,522,765	308,400	44,615	3,234	47,849		47,849	4,786,550		4,574,446	212,104
20．減収補塡債(昭和61・平成5～7・9～30・令和元～2年度分)		78,664						78,664		78,664	
うち令和2年度追加税目分		78,664						78,664		78,664	
21．臨時財政特例債											
22．公共事業等臨時特例債											
23．減税補塡債	118,167		30,688	295	30,983		30,983	87,479		87,479	
24．臨時税収補塡債											
25．臨時財政対策債	10,720,870	701,637	894,525	38,843	933,368		933,368	10,527,982		8,729,779	1,798,203
26．調整債(昭和60～63年度分)											
27．調整債(令和元～2年度分)											
28．減収補塡債特例分(平成14・19～30・令和元～2年度分)											
うち令和2年度追加税目分											
29．都道府県貸付金	121,240	41,300	13,110		13,110	6,827	6,283	149,430			149,430
うち予算貸付によるもの	121,240	41,300	13,110		13,110	6,827	6,283	149,430			149,430
30．猶予特例債											
31．特別減収対策債											
32．その他											
合　計（1～32）	35,189,112	2,247,901	3,369,704	175,213	3,544,917	174,986	3,369,931	34,067,309	4,786,550	20,551,366	13,515,943

地方債借入先別及び利率別現在高の状況

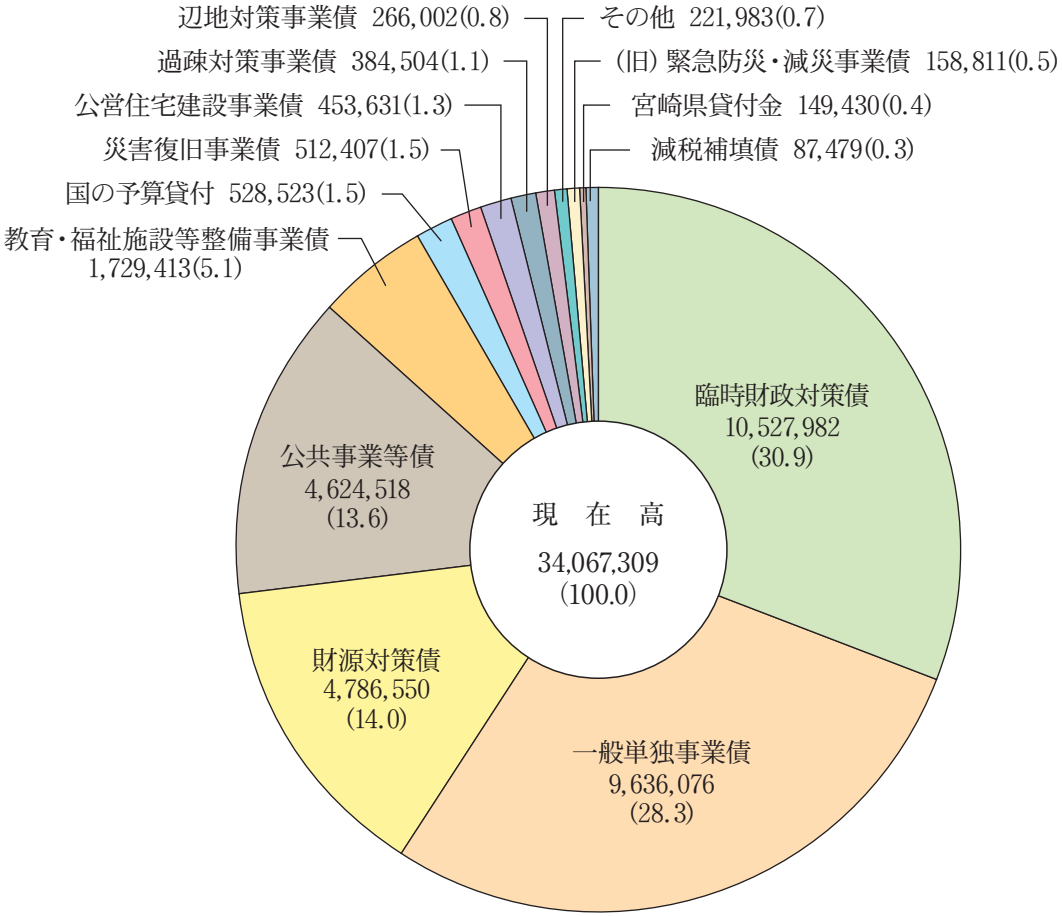
（単位：千円）

借入先＼利率	令和元年度末現在高 A	令和2年度発行額 B	令和2年度償還元金額 C	差引現在高 A＋B－C D	D の利率別内訳 0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	7.0%以下	7.0%超
1 財政融資資金	19,944,209	1,728,455	1,826,063	19,846,601	13,928,226	2,950,823	1,484,873	1,435,092	44,828	2,759									
うち旧資金運用部資金																			
うち旧還元融資資金																			
2 旧郵政公社資金	867,600		162,835	704,765	262,295	56,066	10,346	371,399		4,659									
(1) 旧郵便貯金資金	317,380		55,085	262,295	262,295														
(2) 旧簡易生命保険資金	550,220		107,750	442,470		56,066	10,346	371,399		4,659									
3 地方公共団体金融機構資金	1,638,951	306,546	167,296	1,778,201	1,212,234	267,745	6,815	208,516	82,891										
うち旧公営企業金融公庫資金	488,464		142,807	345,657		47,435	6,815	208,516	82,891										
4 国の予算貸付・政府関係機関貸付	561,103		32,580	528,523		35,900	274,983	131,188	76,397	390	9,587			78					
5 ゆうちょ銀行																			
6 市中銀行	9,015,479	131,900	725,862	8,421,517	6,827,542	1,581,342	4,940	7,693											
7 その他の金融機関	2,485,059		396,217	2,088,842	769,494	345,024	695,110	279,214											
8 かんぽ生命保険																			
9 保険会社等																			
10 交付公債																			
11 市場公募債																			
12 共済等	555,471	39,700	45,741	549,430	510,221	29,159	10,050												
13 政府保証付外債																			
14 その他	121,240	41,300	13,110	149,430	149,430														
合計（1～14）E	35,189,112	2,247,901	3,369,704	34,067,309	23,659,442	5,266,059	2,487,117	2,433,102	204,116	7,808	9,587			78					
Eの内訳 証書借入分	35,189,112	2,247,901	3,369,704	34,067,309	23,659,442	5,266,059	2,487,117	2,433,102	204,116	7,808	9,587			78					
Eの内訳 証券発行分																			

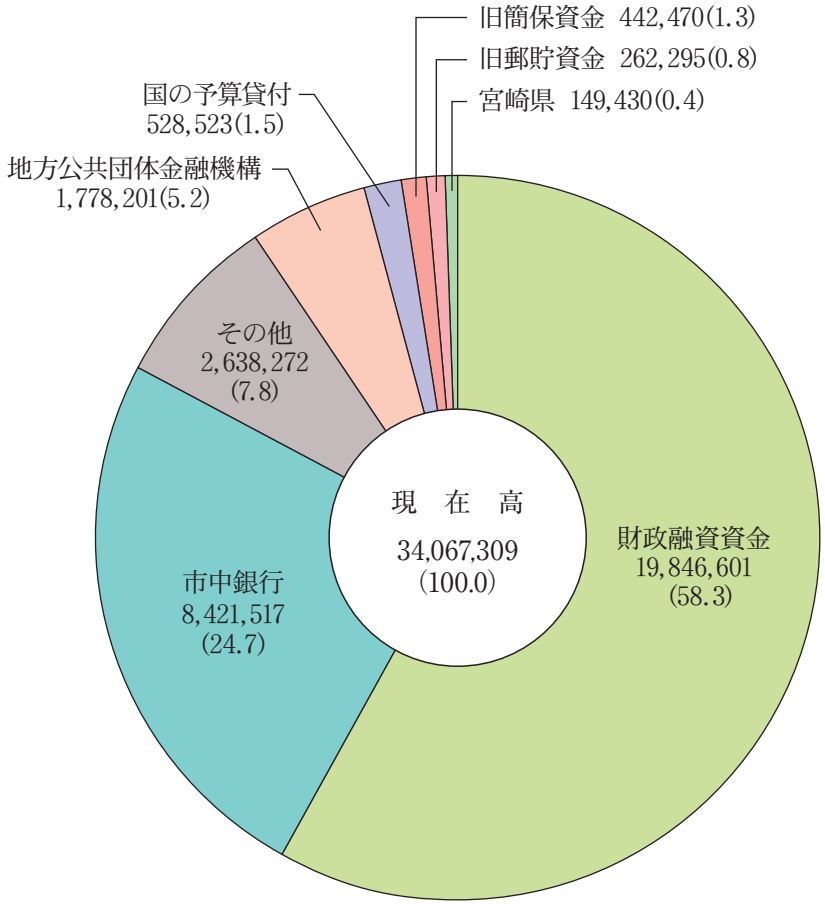
地方債の現在高の状況(グラフ)

（単位:千円・%）

1. 事業別内訳の状況



2. 借入先内訳の状況



基金の状況

（単位：円）

区分			令和元年度末（５月末現在高）①	令和２年度中の増減 利子積立額②	決算剰余金積立額③	その他積立額④	取り崩し額⑤	令和２年度末（５月末現在高）⑥(①+②+③+④−⑤)	増減額 ⑥−①
積立基金	財政調整積立基金		2,727,801,000	1,188,000	350,000,000		400,000,000	2,678,989,000	▲ 48,812,000
積立基金	減債基金		411,670,000	111,000				411,781,000	111,000
積立基金	その他特定目的基金	退職手当基金	1,179,334,000	336,000		51,627,000	176,000,000	1,055,297,000	▲ 124,037,000
積立基金	その他特定目的基金	消防事務財政調整積立基金	110,411,000	42,000		23,049,000		133,502,000	23,091,000
積立基金	その他特定目的基金	うるおい福祉基金	495,078,000				28,400,000	466,678,000	▲ 28,400,000
積立基金	その他特定目的基金	ひまわり基金	27,871,000				143,000	27,728,000	▲ 143,000
積立基金	その他特定目的基金	文化スポーツ振興基金	93,598,000				2,218,000	91,380,000	▲ 2,218,000
積立基金	その他特定目的基金	ふるさと農村活性化基金	10,000,000					10,000,000	
積立基金	その他特定目的基金	公共施設整備等資金積立基金	1,301,307,000	303,000		110,884,000		1,412,494,000	111,187,000
積立基金	その他特定目的基金	地域振興基金	1,204,518,000			52,000,000	33,331,000	1,223,187,000	18,669,000
積立基金	その他特定目的基金	学校施設整備基金	3,621,000					3,621,000	
積立基金	その他特定目的基金	市民活動支援基金	97,377,000			8,900,000	1,293,000	104,984,000	7,607,000
積立基金	その他特定目的基金	過疎地域振興基金	243,949,000	60,000		21,000,000	571,000	264,438,000	20,489,000
積立基金	その他特定目的基金	みどりのまちづくり基金	40,470,000					40,470,000	
積立基金	その他特定目的基金	ふるさと日向市応援寄附金基金	304,241,000			328,297,000	86,800,000	545,738,000	241,497,000
積立基金	その他特定目的基金	再生可能エネルギー設備維持管理基金	182,000			13,000		195,000	13,000
積立基金	その他特定目的基金	総合体育館建設基金	208,054,000	48,000				208,102,000	48,000
積立基金	その他特定目的基金	森林環境譲与税基金	17,209,000	3,000		54,514,000	6,307,000	65,419,000	48,210,000
積立基金	その他特定目的基金	新型コロナウイルス感染症対策貸付利子補給基金	—			71,000,000		71,000,000	皆増
積立基金	その他特定目的基金	計	5,337,220,000	792,000		721,284,000	335,063,000	5,724,233,000	387,013,000
積立基金	小計		8,476,691,000	2,091,000	350,000,000	721,284,000	735,063,000	8,815,003,000	338,312,000
定額運用基金	土地開発基金		925,238,000	13,000				925,251,000	13,000
定額運用基金	その他	図書購入基金	10,500,000					10,500,000	
定額運用基金	その他	育英奨学金貸付基金	245,130,000	19,000				245,149,000	19,000
定額運用基金	その他	優良雌牛貸付基金	20,920,000					20,920,000	
定額運用基金	その他	計	276,550,000	19,000				276,569,000	19,000
定額運用基金	小計		1,201,788,000	32,000				1,201,820,000	32,000
普通会計合計			9,678,479,000	2,123,000	350,000,000	721,284,000	735,063,000	10,016,823,000	338,344,000
国民健康保険基金			411,426,000	127,000	10,000,000		201,000,000	220,553,000	▲ 190,873,000
介護給付費準備基金			609,499,000	137,000		76,569,000		686,205,000	76,706,000
総合計			10,699,404,000	2,387,000	360,000,000	797,853,000	936,063,000	10,923,581,000	224,177,000

令和２年度　行政投資額

（単位：千円）

事項	行政投資額				
	決算額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
維持補修費	125,651			13,627	112,024
普通建設事業費	4,204,296	1,299,789	613,904	342,557	1,948,046
災害復旧事業費	43,246	748	17,336	117	25,045
計	4,373,193	1,300,537	631,240	356,301	2,085,115

行政部門別投資額明細

（単位：千円）

区分	投資額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
1 総務費	17,074			1,386	15,688
2 民生費	154,549	76,450	33,600	791	43,708
3 衛生費	13,004	3,543	1,227	1,180	7,054
4 労働費					
5 農林水産業費	683,225		538,690	45,383	99,152
(1)農業関係	538,360		418,720	44,852	74,788
(2)林業関係	144,522		119,970	531	24,021
(3)水産業関係	343				343
6 商工費	261,813	748	98	233,935	27,032
7 土木費	2,525,910	1,018,956	40,042	33,844	1,433,068
(1)道路橋りょう関係	432,272	138,754	1,173		292,345
(2)河川関係	10,891			257	10,634
(3)港湾関係	145,600				145,600
(4)都市計画関係	1,774,019	821,526	37,450	860	914,183
(イ)街路					

区分	投資額	資金負担区分			
		国費	県費	その他特定財源	市費
(ロ)公園	86,340	26,800	450	253	58,837
(ハ)下水道					
(ニ)区画整理等	1,687,679	794,726	37,000	607	855,346
(5)住宅関係	163,128	58,676	1,419	32,727	70,306
8 消防費	84,995	10,586	247	23,553	50,609
9 教育費	589,377	189,506		16,112	383,759
(1)小学校関係	453,536	156,563		968	296,005
(2)中学校関係	77,227	32,943		454	43,830
(3)幼稚園関係	671				671
(4)社会教育関係	49,078			13,364	35,714
(5)保健体育関係	7,721			1,326	6,395
10 災害復旧費	43,246	748	17,336	117	25,045
11 諸支出金					
12 その他					
合計	4,373,193	1,300,537	631,240	356,301	2,085,115

令 和 2 年度　　市税の徴収実績

（単位：千円）

区分 / 税目	調定済額				収入済額				徴収率（%）			
	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納繰越分	計	標準超過分	現年分	滞納分	計	前年度
1．市民税	3,047,963	74,561	3,122,524	132,505	3,026,016	33,188	3,059,204	132,169	99.3	44.5	98.0	97.5
(1) 個人均等割	100,411	2,207	102,618		99,803	968	100,771		99.4	43.9	98.2	97.2
(2) 所得割	2,399,895	68,993	2,468,888		2,380,651	30,270	2,410,921		99.2	43.9	97.7	96.9
上記のうち退職所得分	23,982	0	23,982		23,982	0	23,982		100.0	－	100.0	100.0
(3) 法人均等割	201,331	2,693	204,024	33,555	199,353	1,316	200,669	33,219	99.0	48.9	98.4	98.6
(4) 法人税割	346,326	668	346,994	98,950	346,209	634	346,843	98,950	100.0	94.9	100.0	99.9
2．固定資産税	4,322,511	136,207	4,458,718	535,966	4,251,404	35,837	4,287,241	526,855	98.4	26.3	96.2	96.7
(1) 純固定資産税	4,287,725	136,207	4,423,932	535,966	4,216,618	35,837	4,252,455	526,855	98.3	26.3	96.1	96.7
土地	1,234,823	39,226	1,274,049	154,353	1,214,345	10,321	1,224,666	151,729	98.3	26.3	96.1	96.7
家屋	1,800,566	57,198	1,857,764	225,071	1,770,706	15,049	1,785,755	221,245	98.3	26.3	96.1	96.7
償却資産	1,252,336	39,783	1,292,119	156,542	1,231,567	10,467	1,242,034	153,881	98.3	26.3	96.1	96.7
(2) 交付金	34,786		34,786		34,786		34,786		100.0	－	100.0	100.0
3．軽自動車税			232,466				222,091		－	－	95.5	94.5
環境性能割			5,331				5,331		－	－	100.0	－
種別割	216,189	10,946	227,135		212,934	3,826	216,760		98.5	35.0	95.4	－
4．たばこ税	470,804	0	470,804		470,804	0	470,804		100.0	－	100.0	100.0
合計	8,057,467	221,714	8,284,512	668,471	7,961,158	72,851	8,039,340	659,024	98.8	32.9	97.0	97.1

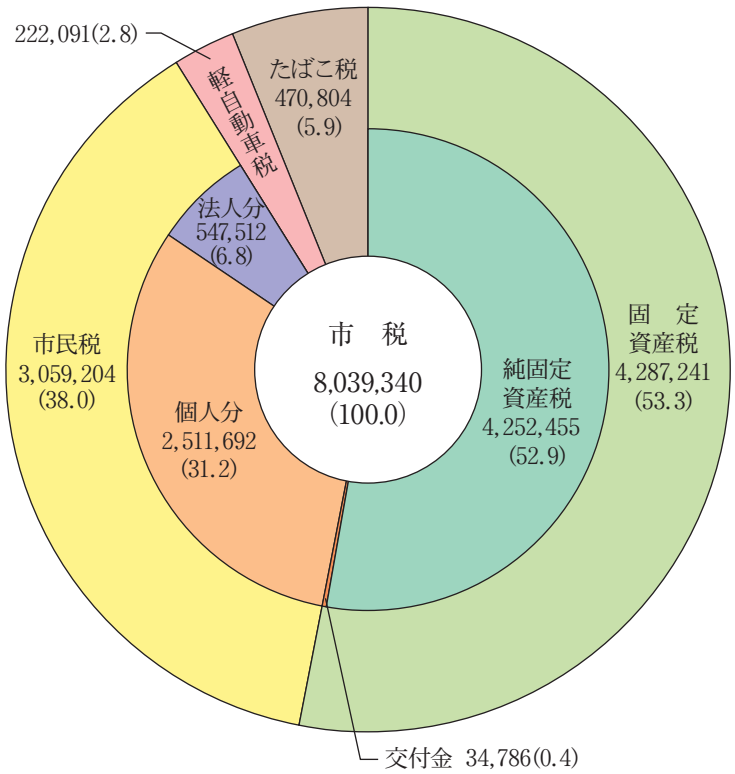
税 目 別 収 入 状 況

（単位：千円・％）

税目 ＼ 年度		H30 決算額	H30 前年対比	R元 決算額	R元 前年対比	R 2 決算額	R 2 前年対比
市民税	個人分	2,386,401	2.6	2,354,681	△ 1.3	2,511,692	6.7
	法人分	690,340	6.2	664,825	△ 3.7	547,512	△ 17.6
固定資産税	純固定資産税	3,961,295	3.8	4,133,327	4.3	4,252,455	2.9
	交付金	30,617	6.0	30,017	△ 2.0	34,786	15.9
軽自動車税		205,539	2.8	213,524	3.9	222,091	4.0
たばこ税		480,394	△ 0.3	485,625	1.1	470,804	△ 3.1
市税計		7,754,586	3.3	7,881,999	1.6	8,039,340	2.0
地方譲与税		248,117	1.4	270,509	9.0	297,587	10.0
内訳	自動車重量譲与税	166,611	1.2	172,576	3.6	171,029	△ 0.9
	地方道路譲与税	0	−	0	−	0	−
	特別とん譲与税	13,870	7.9	12,356	△ 10.9	13,260	7.3
	地方揮発油譲与税	67,636	0.7	59,924	△ 11.4	58,784	△ 1.9
	森林環境譲与税	0	−	25,653	皆増	54,514	112.5
利子割交付金		7,978	△ 2.8	3,007	△ 62.3	3,204	6.6
配当割交付金		13,336	△ 18.3	15,983	19.8	12,564	△ 21.4
株式等譲渡所得割交付金		15,152	△ 3.7	8,579	△ 43.4	15,131	76.4
地方消費税交付金		1,221,841	3.6	1,137,499	△ 6.9	1,385,697	21.8
ゴルフ場利用税交付金		13,039	△ 7.8	9,892	△ 24.1	7,188	△ 27.3
自動車取得税交付金		40,584	△ 6.8	23,028	△ 43.3	0	皆減
自動車税環境性能割交付金		0	−	6,168	皆増	12,697	105.9
法人事業税交付金		0	−	0	−	55,190	皆増
地方特例交付金		44,240	21.0	55,724	26.0	61,346	10.1

市 税 の 割 合

（単位:千円・％）



地方税の消滅時効

（地方税法第１５条の７第４項、第５項及び第１８条第１項）　　令和3年5月31日　　（単位：円）

税目 / 年度	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
H21	3	39,579	0	0	0	0	0	0	3	39,579
H22	0	0	0	0	1	6,000	0	0	1	6,000
H23	3	83,487	0	0	3	34,900	0	0	6	118,387
H24	9	268,937	0	0	3	84,200	2	10,412	14	363,549
H25	5	225,740	0	0	4	137,000	3	13,000	12	375,740
H26	10	363,362	0	0	5	256,500	4	41,000	19	660,862
H27	50	1,819,329	5	302,600	86	3,128,900	74	428,600	215	5,679,429
H28	10	733,906	0	0	18	820,100	18	189,350	46	1,743,356
H29	6	213,951	0	0	21	633,400	23	202,100	50	1,049,451
H30	1	4,632	1	60,000	5	274,200	5	83,700	12	422,532
R1	2	145,321	0	0	6	337,400	3	57,000	11	539,721
R2	11	562,213	0	0	38	912,600	8	82,300	57	1,557,113
計	110	4,460,457	6	362,600	190	6,625,200	140	1,107,462	446	12,555,719

滞納処分の停止の要件等

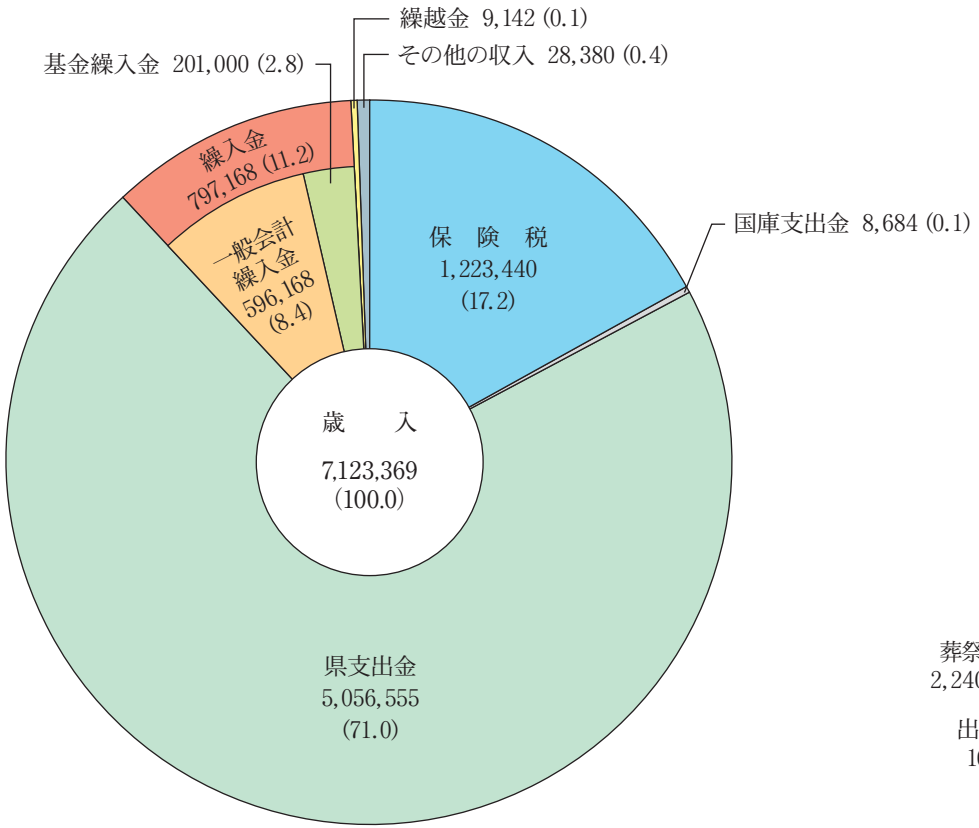
（地方税法第１５条の７第４項、第５項）　※第１８条第１項は除く

税目 / 区分	市民税（個人）		市民税（法人）		固定資産税		軽自動車税		総額	
	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額	件数	税額
滞納処分することができる財産がないとき	10	664,627	2	122,600	25	1,465,100	15	164,800	52	2,417,127
滞納処分をすることによってその生活を著しく窮迫させるおそれがあるとき	10	287,963	0	0	5	61,400	18	119,400	33	468,763
その所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき	4	52,390	1	60,000	14	317,500	14	68,500	33	498,390
徴収することができないことが明らかな場合	22	1,458,825	1	60,000	55	1,597,800	18	306,950	96	3,423,575
計	46	2,463,805	4	242,600	99	3,441,800	65	659,650	214	6,807,855

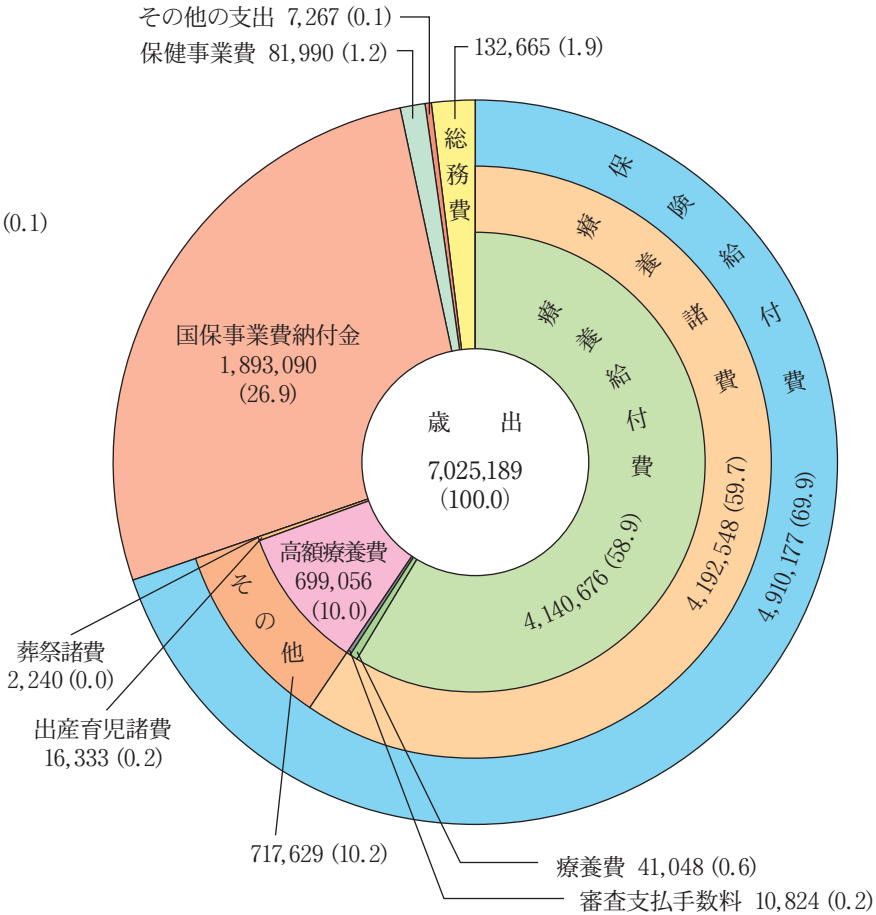
令和２年度　日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算状況

（単位:千円・％）

歳　入



歳　出



国　民　健　康　保　険　保　険　税　賦　課　徴　収　状　況

区分 ＼ 年度		平成30年度						令和元年度						令和2年度					
		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
一般状況	被保険者世帯数　(平均) (A)	9,382 世帯	△ 2.8	9,382 世帯	△ 2.8	4,044 世帯	△ 3.1	9,154 世帯	△ 2.4	9,154 世帯	△ 2.4	3,817 世帯	△ 5.6	8,965 世帯	△ 2.1	8,965 世帯	△ 2.1	3,588 世帯	△ 6.0
一般状況	被保険者総数　(平均) (B)	14,625 人	△ 4.7	14,625 人	△ 4.7	4,703 人	△ 7.4	14,086 人	△ 3.7	14,086 人	△ 3.7	4,412 人	△ 6.2	13,601 人	△ 3.4	13,601 人	△ 3.4	4,138 人	△ 6.2
一般状況 内訳	一般被保険者数 (平均)	14,525 人	△ 3.8	14,525 人	△ 3.8	4,611 人	△ 4.8	13,986 人	△ 3.7	13,986 人	△ 3.7	4,611 人	0.0	13,601 人	△ 2.8	13,601 人	△ 2.8	4,138 人	△ 10.3
一般状況 内訳	退職被保険者数 (平均)	100 人	△ 60.5	100 人	△ 60.5	92 人	△ 60.9	100 人	0.0	100 人	0.0	△ 199 人	△ 316.3	0 人	皆減	0 人	皆減	0 人	皆減
賦課状況	所得割率	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−	8.60 %	−	3.10 %	−	2.90 %	−
賦課状況	資産割率	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−	11.00 %	−	5.00 %	−	6.20 %	−
賦課状況	均等割額	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−	21,600 円	−	7,500 円	−	8,900 円	−
賦課状況	平等割額	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−	21,600 円	−	7,400 円	−	7,200 円	−
徴収状況 現年分	調定額　(C)	874,916 千円	△ 2.8	310,245 千円	△ 3.6	127,646 千円	△ 6.6	840,238 千円	△ 4.0	296,887 千円	△ 4.3	117,035 千円	△ 8.3	813,502 千円	△ 3.2	286,672 千円	△ 3.4	111,999 千円	△ 4.3
徴収状況 現年分	収入額	808,451 千円	△ 3.1	286,687 千円	△ 4.0	113,823 千円	△ 7.8	782,729 千円	△ 3.2	276,574 千円	△ 3.5	105,579 千円	△ 7.2	772,582 千円	△ 1.3	272,280 千円	△ 1.6	104,376 千円	△ 1.1
徴収状況 現年分	収納率	92.4 %	△ 0.3	92.4 %	△ 0.4	89.2 %	△ 1.1	93.2 %	0.8	93.2 %	0.8	90.2 %	1.0	95.0 %	1.8	95.0 %	1.8	93.2 %	3.0
徴収状況 滞納繰越分	調定額	259,352 千円	△ 6.1	88,393 千円	△ 5.2	52,182 千円	△ 5.0	250,501 千円	△ 3.4	85,938 千円	△ 2.8	50,663 千円	△ 2.9	229,858 千円	△ 8.2	79,363 千円	△ 7.7	47,335 千円	△ 6.6
徴収状況 滞納繰越分	収入額	52,966 千円	△ 2.6	18,214 千円	△ 0.5	10,728 千円	1.7	47,158 千円	△ 11.0	16,242 千円	△ 10.8	9,224 千円	△ 14.0	48,628 千円	3.1	16,481 千円	1.5	9,094 千円	△ 1.4
徴収状況 滞納繰越分	収納率	20.4 %	0.7	20.6 %	1.0	20.6 %	1.4	18.8 %	△ 1.6	18.9 %	△ 1.7	18.2 %	△ 2.4	21.2 %	2.4	20.8 %	1.9	19.2 %	1.0
徴収状況 計	調定額	1,134,268 千円	△ 3.6	398,638 千円	△ 4.0	179,828 千円	△ 6.2	1,090,739 千円	△ 3.8	382,825 千円	△ 4.0	167,698 千円	△ 6.7	1,043,360 千円	△ 4.3	366,035 千円	△ 4.4	159,334 千円	△ 5.0
徴収状況 計	収入額	861,417 千円	△ 3.1	304,901 千円	△ 3.8	124,551 千円	△ 7.1	829,887 千円	△ 3.7	292,816 千円	△ 4.0	114,803 千円	△ 7.8	821,210 千円	△ 1.0	288,761 千円	△ 1.4	113,470 千円	△ 1.2
徴収状況 計	収納率	75.9 %	0.3	76.5 %	0.2	69.3 %	△ 0.6	76.1 %	0.2	76.5 %	0.0	68.5 %	△ 0.8	78.7 %	2.6	78.9 %	2.4	71.2 %	2.7
1世帯当り保険税調定額 (現年) (C)/(A)		93,255 円	0.0	33,068 円	△ 0.8	31,564 円	△ 3.7	91,789 円	△ 1.6	32,432 円	△ 1.9	30,662 円	△ 2.9	90,742 円	△ 1.1	31,977 円	△ 1.4	31,215 円	1.8
1人当り保険税調定額 (現年) (C)/(B)		59,823 円	1.9	21,213 円	1.1	27,141 円	0.8	59,651 円	△ 0.3	21,077 円	△ 0.6	26,527 円	△ 2.3	59,812 円	0.3	21,077 円	0.0	27,066 円	2.0

※「徴収状況」中「収入額」には還付未済額を含む(控除しない)

※世帯・被保険者数は被保険者数統計表4～3月の平均

国　民　健　康　保　険　　保　険　給　付　状　況

（単位：千円・％）

区分		年度	平成30年度 費用額	平成30年度 給付額	平成30年度 伸率	令和元年度 費用額	令和元年度 給付額	令和元年度 伸率	令和2年度 費用額	令和2年度 給付額	令和2年度 伸率
保険給付状況	一般被保険者	療養の給付	5,901,240	4,305,516	1.4	5,873,883	4,297,462	△ 0.2	5,642,272	4,140,663	△ 3.6
		療養費	51,847	37,828	6.4	61,419	44,287	17.1	56,040	41,048	△ 7.3
		小　計　（ア）	5,953,087	4,343,344	1.5	5,935,302	4,341,749	0.0	5,698,312	4,181,711	△ 3.7
		高額療養費	687,230	687,327	3.9	703,114	703,380	2.3	698,808	698,808	△ 0.7
		高額介護合算療養費	234	234	皆増	284	284	21.4	239	239	△ 15.8
		移送費	0	0	—	32	32	皆増	0	0	皆減
		出産育児一時金	16,348	16,348	△ 36.9	19,466	19,466	19.1	16,333	16,333	△ 16.1
		葬祭費	1,840	1,840	0.0	2,020	2,020	9.8	2,240	2,240	10.9
	退職被保険者等	療養の給付	48,848	34,102	△ 57.9	12,735	8,918	△ 73.8	20	14	△ 99.8
		療養費	325	228	△ 67.0	66	46	△ 79.8	0	0	皆減
		小　計　（イ）	49,173	34,330	△ 58.0	12,801	8,964	△ 73.9	20	14	△ 99.8
		高額療養費	7,290	7,290	△ 52.8	2,506	2,506	△ 65.6	10	10	△ 99.6
		高額介護合算療養費	2	2	皆増	0	0	皆減	0	0	—
	合　計　（ウ）		6,715,204	5,090,715	0.5	6,675,525	5,078,401	△ 0.2	6,415,962	4,899,355	△ 3.5
老人保健医療費拠出金				0	—		0	—		0	—

（単位：円・％）

（全体）被保険者１人当り療養諸費	(ア)+(イ) / (A)	410,411	299,328	5.3	422,271	308,868	3.2	418,964	307,457	△ 0.5
（全体）被保険者１人当り保険給付	(ウ) / (A)	459,159	348,083	5.4	473,912	360,528	3.6	471,727	360,220	△ 0.1

※(A)一般・退職被保険者数計(4-3)　14,625 人　14,086 人　13,601 人

※費用額・給付額は各集計表の支払済額合計

国民健康保険税消滅時効

（地方税法第１８条第１項・第１５条の７第４項及び第５項）

（単位：円）

年　度	延人数	税　　額
H13	1	1,100
H14	1	5,000
H15	1	2,000
H16	1	292,700
H17	1	240,300
H18	3	104,415
H20	1	6,000
H21	5	223,140
H22	11	544,891
H23	11	426,500
H24	22	413,675
H25	12	352,800
H26	67	1,156,600
H27	315	23,198,000
H28	37	2,188,300
H29	31	1,224,800
R2	2	5,500
合　計	522	30,385,721

滞納処分の停止の要件等

（地方税法第１５条の７第１項）

（単位：円）

区　分	件　数	税　額
滞納処分をすることができる財産がないとき(第１号)	130	10,225,740
滞納処分をすることによって、その生活を著しく窮迫させる恐れがあるとき(第２号)	24	2,007,400
滞納者の所在地及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるとき(第３号)	15	460,700
合　　計	169	12,693,840

第２次日向市総合計画・前期基本計画
成果指標取組状況一覧表

第２次日向市総合計画・前期基本計画　成果指標取組状況一覧表

基本目標１　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
１－１ 生きる力を育む教育の推進	授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合	%	74.2	72.1	74.1	76.1	調査なし	80.0	—	—	学校教育課	コロナ禍により、全国学力・学習状況調査未実施
	中学校2年生の生徒のうち、「将来日向市で働きたい」と答えた生徒の割合	%	38.5	34.2	42.9	40.3	39.5	50.0	8.7	★	学校教育課	日向市キャリア教育アンケート （令和3年2月時点）
	小学生が1カ月に読む読書冊数（平均）	冊	12.2	13.7	13.7	13.6	14.3	15.0	75.0	★★★★	学校教育課	学校図書館及び読書に関する調査 （令和2年5月時点）
	中学生が1カ月に読む読書冊数（平均）	冊	3.6	3.8	3.8	3.9	4.7	4.0	100.0	★★★★	学校教育課	学校図書館及び読書に関する調査 （令和2年5月時点）
	放送大学学習センターの学生数	人	1,488	1,426	1,384	1,365	1,373	1,550	0.0	★	生涯学習課	令和2年度実績
１－２ 魅力ある教育体制や環境の充実	不登校児童生徒が学校に復帰した割合	%	38.4	35.7	21.7	30.6	29.1	40.4	0.0	★	学校教育課	令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（復帰数28人／不登校96人）
	小児生活習慣病予防検診で要管理・要観察・要指導と判定された児童生徒の割合	%	14.8	14.4	16.3	16.0	19.5	14.5	0.0	★	学校教育課	調査対象：小学4年生、中学1年生 受診者数：960人　該当者数：187人
	学校給食食材に占める地産地消率の割合	%	64.7	53.3	55.9	61.4	64.0	70.0	0.0	★	学校給食センター	学校給食の主食における地産地消の実績 （令和3年3月末時点）
	学校施設の耐震化率	%	95.6	95.8	96.4	96.4	100.0	100.0	100.0	★★★★	教育総務課	細島小学校改築事業（着手済み）
１－３ 地域が一体となった青少年の育成	青少年指導による指導件数	件	39	39	17	10	6	30	100.0	★★★★	生涯学習課	令和2年度実績
	放課後子ども教室の登録児童数	人	144	198	212	202	216	180	100.0	★★★★	生涯学習課	令和2年度実績
１－４ 社会教育の推進	生涯学習人材バンクの利用回数	回	37	63	51	53	23	45	0.0	★	生涯学習課	令和2年度実績
	地区公民館の利用者数	人	122,059	120,844	124,400	112,303	38,766	130,000	0.0	★	生涯学習課	令和2年度実績
	自主学習グループの学級数	学級	59	52	48	44	20	63	0.0	★	生涯学習課	令和2年度実績
	社会教育団体の登録者数	人	7,405	7,318	7,314	7,188	7,023	7,500	0.0	★	生涯学習課	令和2年度実績
１－５ 図書館サービスの充実	入館者数	人	162,981	152,662	149,508	140,891	93,863	182,000	0.0	★	図書館	令和2年度実績
	蔵書数	冊	189,340	187,416	183,423	186,158	187,723	205,340	0.0	★	図書館	令和2年度実績
	貸出冊数	冊	262,611	253,418	246,487	227,043	181,729	292,000	0.0	★	図書館	令和2年度実績

基本目標1　【教育文化】ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
1－6 地域文化の保存・継承・活用	文化施設の利用者数	人	94,111	84,626	80,637	83,529	17,915	94,200	0.0	★	スポーツ・文化振興課	令和2年度実績 (文化交流センター、東郷地区文化センター)
	文化財施設の利用者数	人	19,744	17,658	19,683	18,413	6,831	19,800	0.0	★	教育総務課	令和2年度実績（歴史民俗資料館、細島みなと資料館、美々津軒、まちなみセンター、関本勘兵衛家住宅）
	若山牧水関連事業の参加者数	人	4,677	4,978	5,439	4,843	808	4,700	0.0	★	スポーツ・文化振興課	令和2年度実績 (牧水記念文学館入館者数)
1－7 スポーツ活動の推進と環境づくり	スポーツ教室の参加者数	人	1,030	923	955	856	0	1,100	0.0	★	スポーツ・文化振興課	令和2年度の市主催スポーツ教室等の参加者数
	九州大会以上の大会への参加件数	件	75	85	81	75	23	80	0.0	★	スポーツ・文化振興課	令和2年度に九州大会以上の大会に参加するために奨励金を申請した件数
	スポーツ施設の利用者数	人	248,603	239,681	265,296	227,325	148,867	251,000	0.0	★	教育総務課	令和2年度実績
1－8 人権・平和の尊重	人権に関する講演会などへの参加者数	人	520	470	490	220	0	550	0.0	★	地域コミュニティ課	「人権・同和問題市民講演会」「人権について考える市民の集い」については、コロナ禍により令和2年度は開催中止
	被爆体験講話参加者累計数	人	0	481	1,062	1,821	1,821	2,500	72.8	★★★	総務課	平成29年度～令和元年度に市内中学校及び市役所で開催した被爆体験講話参加者数（令和2年度はコロナ禍により開催中止）
1－9 男女共同参画社会づくり	固定的性別役割分担意識にとらわれない市民の割合	%	50.5	－	－	－	59.6	60.0	95.8	★★★★	総合政策課	男女共同参画プラン策定前の市民意識調査 （令和2年度実施） ※5年に1度の調査　次回は令和7年度に実施
	審議会などへの女性登用率	%	22.9	24.8	26.5	24.1	23.1	40.0	1.2	★	総合政策課	令和2年度地方公共団体に関する男女共同参画調査（内閣府）
	DV被害を受けた人のうち、誰かに相談した人の割合（男性）	%	39.1	－	－	－	27.4	50.0	0.0	★	総合政策課	男女共同参画プラン策定前の市民意識調査 （令和2年度実施） ※5年に1度の調査　次回は令和7年度に実施
	DV被害を受けた人のうち、誰かに相談した人の割合（女性）	%	60.3	－	－	－	50.0	70.0	0.0	★	総合政策課	
1－10 国際化への対応と国際交流の推進	国際交流事業への参加者数	人	145	251	297	153	15	200	0.0	★	地域コミュニティ課	令和2年度国際交流事業の参加者数（コロナ禍により1事業のみ実施）
	国際交流員による英会話教室の年間受講者数	人	70	108	107	104	37	100	0.0	★	地域コミュニティ課	令和2年度「交流員の英会話教室」の参加者数（コロナ禍により下半期のみ開催）
	英語検定試験1級～5級を受験した児童生徒	人	332	515	1,096	942	932	400	100.0	★★★★	学校教育課	第3回英検までの受験者(延人数) （令和3年1月時点）

基本目標2　【健康福祉】市民が共に支え合い、自立した生活を送る健康長寿のまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
2－1 安心して子供を生み育てられる環境づくり	乳幼児健診の受診率	%	94.6	97.8	98.5	98.4	95.4	100.0	14.8	★	こども課	令和2年度法定健診（1歳6か月児、3歳児健診）の受診率
	母子手帳を交付した妊婦のうち支援を行った割合	%	4.2	24.4	35.2	34.1	25.8	10.0	100.0	★★★★	こども課	令和2年度実績
	麻しん風しんの予防接種率	%	96.9	96.9	108.0	91.4	98.3	98.0	100.0	★★★★	こども課	令和2年度実績
	特定教育・保育施設における利用定員数	人	2,450	2,485	2,505	2,400	2,380	2,530	0.0	★	こども課	令和3年3月1日時点における各施設の利用定員数
	ファミリーサポートセンター年間利用者数	人	336	229	266	260	419	400	100.0	★★★★	こども課	令和2年度実績
	高等職業訓練促進給付受講者の就職率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	★★★★	こども課	令和2年度実績
	児童虐待防止に関する年間の啓発活動回数	回	3	6	9	14	9	5	100.0	★★★★	こども課	令和2年度実績（啓発活動、市民向けの研修会）
2－2 健康に暮らせるまちづくり	ラジオ体操講習会の参加者数	人	408	378	155	282	0	3,000	0.0	★	健康増進課	大字地区で開催したラジオ体操講習会の参加者数
	食生活改善推進員の登録者数	人	80	65	64	67	69	90	0.0	★	健康増進課	令和2年4月1日時点
	大腸がん検診受診率	%	9.4	8.8	7.9	7.8	10.3	35.0	3.5	★	健康増進課	令和2年度実績
2－3 高齢者の生きがいづくりと支援の充実	高齢者クラブへの加入者数	人	1,952	1,734	1,261	1,188	1,076	2,100	0.0	★	高齢者あんしん課	令和2年4月1日時点
	高齢者に占める元気な高齢者の割合	%	84.6	86.0	86.1	86.7	87.3	85.6	100.0	★★★★	高齢者あんしん課	介護保険事業状況報告（令和3年3月末報告値）
	地域で自主的に開催している介護予防教室の数	カ所	5	30	74	83	83	50	100.0	★★★★	高齢者あんしん課	令和3年3月末時点
2－4 障がい福祉の充実	日向市手話奉仕員養成講座の修了者数	人	14	18	11	15	8	18	0.0	★	福祉課	令和2年度実績
	就労移行支援事業などの利用者数	人	277	136	160	138	145	306	0.0	★	福祉課	令和2年度実績(延べ人数)
2－5 地域福祉の充実と生活支援	ボランティア活動者数	人	1,840	2,113	2,583	2,078	810	1,900	0.0	★	福祉課	日向市社会福祉協議会のボランティア登録者のうち活動を行った人数（令和2年度実績値）
	生活保護・自立助長推進世帯が自立した割合	%	26.3	43.5	25.6	24.7	14.3	30.0	0.0	★	福祉課	令和2年度実績
	子ども・家庭の生活支援拠点の整備数	所	0	0	1	2	3	1	100.0	★★★★	福祉課	令和2年度実績
2－6 社会保障制度の安定運営	特定健康診査受診率	%	31.3	31.8	31.9	33.3	33.3	40.0	23.0	★	健康増進課	令和2年度特定健康診査受診率(令和3年5月速報値より)　10月確定予定
	ジェネリック医薬品普及率	%	70.3	77.4	79.4	81.7	83.5	80.0	100.0	★★★★	国民健康保険課	国民健康保険総合システムから抽出した平均値　令和2年度は直近値（R2.3～R3.2）
	国民健康保険税収納率（現年度分）	%	92.2	92.4	92.0	92.8	94.7	92.4	100.0	★★★★	国民健康保険課	令和2年度決算 （一般分と退職分の合計）
	後期高齢者医療保険料収納率（現年度分）	%	99.3	99.2	98.8	98.7	99.1	99.4	0.0	★	国民健康保険課	令和2年度決算 （特別徴収分と普通徴収分の合計）
	国民年金保険料納付率	%	57.3	62.0	64.7	66.1	70.5	58.0	100.0	★★★★	市民課	延岡年金事務所資料 令和3年3月末時点

基本目標3　【産業振興】新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
3－1 農業の振興	新規就農者の総数（満45歳未満）	人	3	1	5	4	5	8	40.0	★★	農業畜産課	令和2年度実績
	JA日向におけるへべすの年間出荷量	トン	66	93	154	83	76	100	29.4	★★	ふるさと物産振興課	令和2年度実績
	薬草の栽培面積	ha	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	2.0	0.0	★	ふるさと物産振興課	試験圃・新規栽培面積の合計（令和3年3月末時点）
	和牛繁殖農家による子牛競り市への年間出荷頭数	頭	924	899	874	904	888	930	0.0	★	農業畜産課	令和2年度実績
	富島幹線用水路整備事業の進捗率	%	49.0	54.5	54.5	75.1	90.5	75.0	100.0	★★★★	農業畜産課	令和3年3月末時点
	有機農業や減農薬・減化学肥料で栽培する面積	ha	8.0	8.1	10.0	11.8	13.8	10.0	100.0	★★★★	農業畜産課	環境保全型農業直接支払交付金の対象面積
3－2 林業・木材産業の振興	杉苗木の年間造林面積	ha	69	49	58	48	66	79	83.5	★★★★	林業水産課	令和2年度実績
	有害鳥獣の被害を受けた農林水産物の年間被害金額	千円	33,443	27,900	19,902	25,117	39,233	30,793	0.0	★	林業水産課	令和2年度実績
	杉コンテナ苗木の年間生産量	万本	20	44	45	85	78	220	35.5	★★	林業水産課	令和2年度実績
3－3 水産業の振興	水産多面的機能発揮対策事業地区のクロメ（海藻）繁殖面積	ha	2.5	2.5	3.6	4.1	4.1	2.7	100.0	★★★★	林業水産課	令和2年度に実施した藻場モニタリング潜水調査結果
	養殖イワガキの生産量	トン	8.8	25.0	30.0	32.0	27.0	25.0	100.0	★★★★	林業水産課	令和2年1月～令和2年12月までの養殖イワガキ生産量
	内水面漁業協同組合の漁獲量	トン	7.6	2.7	4.3	3.7	3.5	8.0	0.0	★	林業水産課	宮崎県内水面共同漁業権に係る水産動植物の採捕実態調査結果
3－4 商工業の振興	産業支援施設「ひむかーBiz」への相談後に売上が向上した事業所数	件	0	61	29	36	34	48	70.8	★★★	商工港湾課	令和2年度実績
3－5 雇用の確保と創出	高校就職内定者のうち、市内に就職した生徒の割合	%	22.3	21.1	24.3	25.0	26.5	30.0	54.5	★★★	商工港湾課	令和2年度実績
	起業相談件数のうち、実際に起業した件数	件	0	9	10	10	13	12	100.0	★★★★	商工港湾課	令和2年度実績
3－6 企業誘致と次世代産業の育成	新規企業の立地および既存企業の増設等の累計件数	件	0	8	12	17	22	10	100.0	★★★★	商工港湾課	平成28年度から当該年度末までの累計値
	新規企業の立地および既存企業の増設等に伴う新規雇用者累計数	人	0	261	289	349	460	200	100.0	★★★★	商工港湾課	平成28年度から当該年度末までの累計値
3－7 地域を活性化する観光の振興	観光客入込客数	万人	140	153	144	149	98	168	0.0	★	観光交流課	市内観光地の入込客数暦年集計
	観光消費額	万円	229,800	240,979	240,691	249,750	47,912	426,000	0.0	★	観光交流課	市内観光地等における売り上げの暦年集計
	スポーツキャンプなどの延べ参加人数	人	3,599	4,200	3,615	1,625	1,705	10,000	0.0	★	観光交流課	スポーツキャンプ・合宿等の参加者数（お倉ヶ浜総合公園、大王谷運動公園）
	サーフィン等利用客数	人	226,895	301,983	262,924	253,592	184,661	252,000	0.0	★	観光交流課	1月～12月までの海水浴場利用客数

基本目標4　【生活環境】自然を守り、安全で安心な環境で心豊かに暮らせるまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
4－1 消防体制の充実	応急手当普及講習会の年間受講者数	人	3,962	4,053	4,363	3,574	1,501	4,000	0.0	★	消防本部	令和2年度実績
	消防団員の定数に対する充足率	%	93.2	96.3	95.7	94.2	96.2	95.0	100.0	★★★★	消防本部	令和2年度消防団員報酬支給団員数÷（定員数）950人　※令和2年4月に条例定数改正
4－2 防災体制の充実	地区防災計画の策定に取り組んでいる地区（累計）	地区	1	5	5	5	7	36	17.1	★	防災推進課	令和3年3月末時点
	地域防災訓練などへの年間参加者数	人	6,961	18,741	23,565	19,667	9,244	8,000	100.0	★★★★	防災推進課	令和3年3月末時点
	特定津波避難困難者数	人	9,810	3,490	3,490	0	0	0	100.0	★★★★	防災推進課	令和3年3月末時点
4－3 安全・安心な生活環境の確保	刑法犯罪発生件数	件	394	329	272	297	235	300	100.0	★★★★	市民課	日向警察署資料（令和2年1月～12月までの実績）
	交通死亡事故の件数	件	4	4	1	3	2	0	50.0	★★★	市民課	日向警察署資料（令和2年1月～12月までの実績）
	消費生活相談センターの総相談件数に対する解決率	%	98.4	98.8	98.5	97.2	98.1	100.0	0.0	★	市民課	日向地区広域消費生活センター資料（令和3年3月末時点）
	畜犬登録に対する狂犬病予防注射率	%	83.2	81.6	82.0	82.5	81.4	100.0	0.0	★	市民課	令和3年2月末時点
4－4 循環型社会の実現	年間のごみ総排出量	トン	21,970	21,122	21,530	21,542	21,320	20,597	47.3	★★	環境政策課	令和2年度実績
	ごみ排出量のうちのリサイクル率	%	22.5	22.2	19.8	19.3	19.6	25.0	0.0	★	環境政策課	令和2年度実績
4－5 自然環境の保全と活用	環境美化活動に参加した人数	人	2,043	1,522	571	595	0	2,300	0.0	★	環境政策課	クリーンアップ日向の参加者数
	公害に対する苦情のうち解決した割合	%	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	★★★★	環境政策課	令和2年度実績
4－6 安全で安定した水の供給	有収率	%	86.1	86.1	87.5	87.8	87.88	87.6	100.0	★★★★	水道課	令和3年3月末時点
4－7 生活排水の適切な処理	汚水処理人口普及率	%	81.6	82.1	83.1	84.5	85.5	85.2	100.0	★★★★	下水道課	令和2年度実績
4－8 快適な住宅環境の整備	耐震診断の年間受診件数（個人木造住宅）	件	6	7	10	17	7	22	6.3	★	建築住宅課	令和2年度実績
	長寿命化計画に掲げた公営住宅の改善割合	%	26.0	30.7	36.9	40.8	43.6	44.7	94.1	★★★★	建築住宅課	令和3年3月末時点
	適正な管理がされていない空き家の所有者などに対する助言・指導件数（累計）	件	18	121	177	250	367	120	100.0	★★★★	建築住宅課	令和3年3月末時点
	空き家等情報バンクの年間登録件数	件	2	12	8	8	18	20	88.9	★★★★	建築住宅課	令和2年度実績

基本目標5　【社会基盤】快適で魅力ある機能的な住みやすいまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
5－1 秩序ある土地利用と都市空間の形成	地籍調査の進捗率	%	32.4	33.6	35.6	36.5	38.1	36.0	100.0	★★★★	林業水産課	令和2年度実績
	中心市街地で開催されたイベントの年間集客数	人	221,000	172,230	187,495	187,010	88,104	223,000	0.0	★	市街地整備課	令和2年度実績
	市民バスの年間利用者数	人	52,639	80,383	72,456	81,096	69,163	77,297	67.0	★★★	総合政策課	令和2年度実績
5－2 生活の質を高める都市基盤の整備	土地区画整理事業区域内の新築・増築件数（累計）	件	52	173	221	276	334	200	100.0	★★★★	市街地整備課	令和2年度実績 （土地区画整理法第76条申請累計）
	お倉ヶ浜総合公園の年間利用者数	人	101,189	90,080	100,707	101,293	61,097	105,000	0.0	★	市街地整備課	令和2年度実績
5－3 利便性の高い道路の整備	高速道路の早期整備に関する要望活動の年間実施回数	回	7	7	9	10	7	7	100.0	★★★★	建設課	令和2年度実績（コロナ禍による書面要望含む）
	日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数（累計）	路線	1	1	2	2	3	2	100.0	★★★★	建設課	令和2年度実績
	市内の橋梁（212橋）のうち、点検が終了した橋梁の割合	%	28.3	96.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	★★★★	建設課	令和2年度実績
5－4 美しい景観の保全と形成	景観に関するイベントへの年間参加者数	人	216	319	316	576	105	250	0.0	★	都市政策課	令和2年度実績
	市と連携した植栽・花づくり活動への年間参加者数	人	1,030	1,119	1,123	1,206	905	1,080	0.0	★	市街地整備課	令和2年度実績
5－5 港湾機能の充実と活用	細島港コンテナ取扱量	TEU	34,538	32,477	30,154	29,862	31,665	38,000	0.0	★	商工港湾課	宮崎県発行「宮崎の港2021」より
5－6 情報通信基盤の整備と情報化の推進	超高速情報通信網を利用可能世帯率	%	94.8	94.8	94.9	94.9	96.1	98.0	40.6	★★	総合政策課	令和2年度末時点
	公衆無線LANのアクセスポイント数	箇所	7	11	13	14	14	15	87.5	★★★★	総合政策課	令和2年度末時点
	コンビニエンスストアでの各種証明書発行件数	件	0	0	0	276	1,559	7,000	22.3	★	総合政策課	令和2年度末時点

基本目標6　【地域経営】市民一人ひとりが地域とつながる市民協働のまち

※達成度★について　★（～25%未満）★★（25%～50%未満）★★★（50%～74%未満）★★★★（75%以上）

施策	指標	単位	計画時基準値	実績値				目標値（令和2年度）	達成度	達成度★	所管課	備　考
			平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
6－1 市民との協働の推進と地域活動の活性化	自治会（区）加入率	%	67.8	68.2	67.7	67.4	65.9	69.0	0.0	★	地域コミュニティ課	令和2年4月1日時点
	まちづくり協議会の設置数	地区	4	4	4	4	4	6	0.0	★	地域コミュニティ課	令和3年3月末時点
	市民活動支援センターの利用者数	人	3,704	4,244	3,203	3,812	2,443	3,800	0.0	★	地域コミュニティ課	令和2年度実績
6－2 中山間地域の活性化と移住の促進	過疎振興基金補助金を活用した事業数	事業	7	9	7	6	2	10	0.0	★	東郷地域振興課	令和2年度実績
	移住支援制度や移住相談会、窓口アンケート調査を通して把握した移住者の数	人	0	71	123	212	389	200	100.0	★★★★	総合政策課	令和3年3月末時点
6－3 市民に信頼される行政サービスの提供	研修受講者の理解（満足）度	%	90.8	92.9	89.1	90.4	98.9	93.0	100.0	★★★★	職員課	「復命書」に記載された満足度が高い者の割合
	行政情報の提供に満足している市民の割合	%	－	92.5	66.1	83.6	85.7	75.0	100.0	★★★★	秘書広報課	広報・広聴に関するアンケートの結果（※平成30年度のみ調査方法が異なる）
	市公式ホームページアクセス件数	万件	50	56	53	57	96	55	100.0	★★★★	秘書広報課	令和3年3月末時点
6－4 効果的・効率的な行政経営の推進	総合計画の主な指標の達成度	%	0	－	－	－	45.6	100.0	45.6	★★	総合政策課	令和3年3月末時点
	任期の定めのない正職員数	人	587	587	584	578	581	↓	100.0	★★★★	職員課	令和3年4月1日時点　※基準値は平成29年4月1日時点の職員数 587人
	公共施設の総延床面積	万㎡	29.1	29.9	29.1	29.1	29.1	↓		★	資産経営課	令和3年3月末時点
	日向・東臼杵郡市町村振興協議会での新規事業数	事業	0	4	6	8	8	8	100.0	★★★★	総合政策課	令和3年3月末時点
6－5 未来につなげる財政運営	経常収支比率	%	91.0	93.9	95.8	94.8	94.5	↓	0.0	★	財政課	令和2年度地方財政状況調査
	実質公債費比率	%	12.0	11.4	11.1	10.8	10.6	↓	100.0	★★★★	財政課	令和2年度地方財政状況調査
	将来負担比率	%	79.1	82.2	82.6	71.8	59.4	↓	100.0	★★★★	財政課	令和2年度地方財政状況調査
	市税収納率	%	95.3	96.7	97.1	97.1	97.0	95.5	100.0	★★★★	税務課	令和2年度実績
	ふるさと日向市応援寄附金の寄附額	万円	51,700	27,826	25,257	63,443	60,545	50,000	100.0	★★★★	ふるさと物産振興課	令和2年度実績

凡　　例

凡　例

令和２年度に施行された事業について評価を行い、評価結果を成果説明書として作成しました。評価の対象とならない事業については、各事業の歳出明細を作成しております。また、新型コロナウイルス感染症対策事業については、緊急を要する感染症対策や経済対策の経費として、事業の目的と活動内容、効果を記載し作成しております。

評価の対象とならない事業

①法定義務経費

②公債費、基金積立、災害復旧費等

③特別会計への繰出金等

④事務費、施設管理費、協議会（報酬、旅費のみ）等

⑤指定管理者制度を導入している公の施設の管理運営費　など

所管部局：事業の所管部局名を表示しています。

所管課：事業の所管課名・係名を表示しています。

款項目：事業の款名・項名・目名を表示しています。

事業（大事業）：事業の大事業名を表示しています。

事業（中事業）：事業の中事業名を表示しています。

事業（小事業）：事業の小事業名を表示しています。

細節コード：事業の細節コードを表示しています。

細節等名称：事業の細節等の名称を表示しています。

支出済額（細節）：事業の細節等の支出済額を表示しています。

予算現額：事業の令和２年度の予算額を表示しています。

支出済額：事業全体の細節等の支出済額を表示しています。

翌年度繰越額：継続費逓次繰越、繰越明許費、事故繰越しの額を表示しています。

不用額：事業全体の予算の不用額（予算残額）を表示しています。

決算額の財源内訳：決算額の財源内訳を国庫支出金・県支出金・市債・その他・一般財源で表示しています。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：事業の「委託料」「工事請負費」「負担金補助及び交付金」について、明細を表示しています。
ただし、明細の数が多い事業は、主な内容のみを表示しています。

事業期間：事業の期間を表示しています。始期、終期がはっきりしていない事業は未記載としています。

目的：事業の実施によって何を実現するか、どういった効果(成果)を得ようとしているかについて表示しています。

事業活動内容：事業の活動内容について全体概要を表示しています。

成果指標：事業の活動によって得られた成果、効果を示す指標です。

活動指標：事業の実施した内容について具体的に表示しています。

【事業評価】

市民のニーズ：事業に対する市民のニーズについての評価を表示しています。
「高い」「普通」「低い」から一つ選択しています。

市の関与の妥当性：事業に対する市の関与の妥当性についての評価を表示しています。
「妥当」「要検討」「妥当でない」から一つ選択しています。

成果：事業に取り組んだ結果成果が上がっているか、事業の手法等を見直すことで更なる成果向上を図ることができないかについての評価を表示しています。「上がっている」「ある程度上がっている」「上がっていない」から一つ選択しています。

成果に向けた活動量：事業の成果を上げるために取り組んだ活動量についての評価を表示しています。
「十分であった」「ある程度あった」「不十分であった」から一つ選択しています。

コスト削減の可能性：投入しているコストの削減の可能性についての評価を表示しています。
「ない」「ある程度ある」「十分ある」から一つ選択しています。

休廃止した場合の市民への影響：事業を休廃止した場合、市民に与える影響についての評価を表示しています。
「大きい」「普通」「小さい」から一つ選択しています。

今後の方向性：コスト投入と成果の方向性から事業の方向性について表示しています。
「拡充」「維持」「縮小」「廃止」「終了」「民間」「広域」「要改善」から一つ選択しています。

総評（課題・改善点）：事業の現状や抱える課題を抽出し、その改善のための方策を検討し、その改善方策を表示しています。
また、事業に対しての評価を表示しています。

令和２年度成果説明書　事業目次

【評価対象事業】

■一般会計

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	01	07	01	04	01	高校魅力向上支援事業	31
総合政策課	02	01	07	23	05	04	東京2020オリパラ・ホストタウン事業	32
総合政策課	02	01	07	39	02	02	定住促進事業	33
総合政策課	02	01	07	41	01	04	政策調査研究費	34
総合政策課	02	01	07	41	01	05	総合計画・総合戦略策定事業	35
総合政策課	02	01	07	32	03	01	地域生活交通対策事業	36
総合政策課	02	01	07	41	04	02	定住自立圏形成推進事業	37
総合政策課	02	01	08	37	01	04	マイナポイント事業	38
秘書広報課	02	01	03	40	01	02	広報・広聴機能の充実に関する事業	39
秘書広報課	02	01	08	40	01	01	ホームページ等運用事業	40
地域コミュニティ課	02	01	01	10	02	02	外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業	41
地域コミュニティ課	02	01	07	38	01	02	新しい地域コミュニティ組織制度事業	42
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	01	ひまわり基金事業	43
地域コミュニティ課	02	01	07	38	02	02	協働のまちづくり推進事業	44
地域コミュニティ課	10	05	02	04	02	01	自治公民館の整備助成	45
地域コミュニティ課	10	05	02	38	01	05	自治公民館活動支援事業	46
地域コミュニティ課	02	01	07	09	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	47
地域コミュニティ課	02	01	07	09	01	02	男女共同参画プラン策定事業	48
地域コミュニティ課	02	01	07	09	03	01	DV対策推進事業	49
地域コミュニティ課	02	01	16	08	02	01	人権・同和行政推進事業	50

（総務部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総務課	02	01	01	08	03	01	平和推進事業	51
財政課	02	01	04	41	01	01	公会計制度改革に要する経費	52
財政課	02	01	04	41	01	02	第三セクターの見直しに要する経費	53
財政課	02	01	04	41	01	03	行政評価制度推進事業	54
職員課	02	01	02	45	02	01	福利厚生制度の充実に要する経費	55
職員課	02	01	01	41	02	02	行政改革推進に要する経費	56
職員課	02	01	02	40	02	01	人事評価制度推進事業	57
職員課	02	01	02	40	02	02	職員研修事業	58
防災推進課	02	01	13	25	01	01	災害予防対策事業	59
防災推進課	02	01	13	25	01	04	防災計画等策定事業	60
防災推進課	02	01	13	25	01	05	地域防災力向上支援事業	61
防災推進課	02	01	13	25	01	06	防災情報収集・伝達事業	62
防災推進課	02	01	13	25	01	21	自主防災組織の育成強化に要する経費	63
防災推進課	02	01	13	25	01	09	同報系防災行政無線整備事業	64
防災推進課	02	01	13	25	02	01	地震・津波防災施設整備事業	65
防災推進課	02	01	13	25	02	20	[R01国補正]地震・津波防災施設整備事業	66
資産経営課	02	01	04	41	03	01	公共施設マネジメント推進事業	67
資産経営課	10	06	02	07	04	04	日向市総合体育館整備事業	68
資産経営課	10	06	02	07	04	05	[R01国補正]PFI等導入調査事業	69

（市民環境部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
税務課	02	01	04	42	02	08	債権の適正管理事業	70
市民課	02	03	01	40	04	03	住民基本台帳事務費	71
市民課	02	01	14	26	03	02	消費者行政強化事業	72
市民課	02	01	14	26	04	01	各種相談(人権・法律等)事業	73
市民課	04	01	03	26	05	01	畜犬(登録・狂犬病予防)事業	74
市民課	02	01	14	26	02	02	地域安全啓発事業	75
市民課	02	01	14	26	02	03	交通安全対策事業	76
市民課	02	01	14	26	02	04	水難防止啓発事業	77
環境政策課	02	01	15	28	01	02	自然保護事業	78
環境政策課	04	01	03	28	01	04	環境衛生に要する経費	79
環境政策課	04	01	05	28	03	01	公害対策事業	80
環境政策課	04	02	03	46	04	03	財光寺汚泥処理場施設管理運営費	81
環境政策課	04	02	02	27	01	01	樹木リサイクル事業	82
環境政策課	04	02	02	27	02	01	ごみ処理事業	83
環境政策課	04	01	05	27	01	03	生ごみリサイクル推進事業	84
環境政策課	04	02	01	27	01	02	資源回収事業	85
環境政策課	04	02	02	27	02	02	不法投棄対策事業	86

（健康福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	01	15	01	01	ボランティア活動支援事業(民生委員活動費の補助等)	87
福祉課	03	01	01	15	01	02	日向市社会福祉協議会の支援に要する経費	88
福祉課	03	01	01	15	01	03	民間福祉活動支援事業	89
福祉課	03	01	01	15	01	04	「地域福祉計画」推進事業	90
福祉課	03	01	01	15	01	08	地域力強化推進事業	91
福祉課	03	04	01	25	02	14	災害応急対策の充実に要する経費	92
福祉課	03	01	02	14	01	02	福祉関係団体運営補助に要する経費(市単)	93
福祉課	03	01	02	14	02	05	人工透析者交通費助成事業(市単)	94
福祉課	03	01	02	14	02	12	心身障害児介護手当給付事業(市単)	95
福祉課	03	01	02	14	02	13	理容・美容サービス事業(市単)	96
福祉課	03	01	02	14	02	14	福祉機器貸与・リサイクル事業(市単)	97

（健康福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	02	14	02	15	障害者地域生活支援事業	98
福祉課	03	01	02	14	02	16	意思疎通支援事業	99
福祉課	03	01	02	14	03	02	障害者社会参加促進事業	100
福祉課	03	01	02	14	03	03	重度障害者タクシー料金助成事業(市単)	101
福祉課	03	01	02	14	02	07	障害児療育等援助事業(市単)	102
福祉課	03	01	02	14	02	18	日向市障がい福祉計画策定事業	103
福祉課	03	01	02	14	02	22	相談支援事業	104
福祉課	03	01	02	14	02	23	移動支援事業	105
福祉課	03	01	02	14	02	24	地域活動支援センター事業	106
福祉課	03	03	01	15	02	02	生活保護の適正実施推進事業(補助対象)	107
福祉課	03	03	01	15	02	03	生活保護の適正実施推進事業(市単)	108
福祉課	03	03	01	15	02	04	生活困窮者自立支援事業	109
福祉課	03	03	01	15	03	01	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	110
こども課	03	02	01	11	03	05	子ども子育て支援事業計画策定事業	111
こども課	03	02	01	11	03	11	子ども医療費助成事業	112
こども課	03	02	01	11	04	01	放課後児童クラブ事業	113
こども課	03	02	02	11	06	02	寡婦医療費助成事業	114
こども課	03	02	02	11	06	04	ひとり親家庭医療費助成事業	115
こども課	03	02	02	11	06	05	高等職業訓練促進給付金等事業	116
こども課	03	02	02	11	06	06	自立支援教育訓練給付金事業	117
こども課	03	02	02	11	06	08	母子・父子自立支援員設置事業	118
こども課	03	02	01	11	03	13	発達障がい児相談員設置事業	119
こども課	03	02	01	11	03	14	子育て短期利用事業	120
こども課	03	02	01	11	07	01	家庭児童相談員設置事業	121
こども課	03	02	01	11	07	02	児童虐待防止対策支援事業	122
こども課	04	01	02	11	02	01	ヘルシースタート事業	123
こども課	04	01	02	12	03	02	小児予防接種事業	124
こども課	03	02	01	11	03	08	保育所等整備事業	125
こども課	03	02	01	11	03	15	一時預かり事業	126
こども課	03	02	01	11	03	17	障がい児保育事業	127
こども課	03	02	01	11	04	02	延長保育促進事業	128
こども課	03	02	01	11	04	03	病児・病後児保育事業	129
こども課	03	02	01	11	04	04	認可外保育施設支援事業	130
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	02	高齢者社会参加・交流促進事業	131
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	03	シルバー人材センター支援に要する経費	132
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	04	高齢者保健福祉計画に要する経費	133
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	05	在宅高齢者支援事業	134
高齢者あんしん課	04	01	01	12	04	02	救急医療体制整備事業	135
高齢者あんしん課	04	01	01	12	04	05	地域医療体制整備事業	136
高齢者あんしん課	04	01	06	12	04	03	初期救急診療所事業	137
いきいき健康課	04	01	01	12	03	10	自殺対策事業	138
いきいき健康課	04	01	02	12	01	01	食生活改善推進事業	139
いきいき健康課	04	01	02	12	01	02	健康づくり「ラジオ体操」事業	140
いきいき健康課	04	01	02	12	03	05	健康増進事業	141
いきいき健康課	04	01	02	12	03	07	がん検診推進事業	142
いきいき健康課	04	01	02	12	03	08	感染症対策に要する経費	143

（商工観光部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
商工港湾課	07	01	02	20	01	02	商工会議所等運営補助事業	144
商工港湾課	07	01	02	20	01	12	中小企業特別融資事業	145
商工港湾課	07	01	02	20	01	19	商工業振興事業	146
商工港湾課	07	01	02	22	02	01	ひむかーBiz運営事業	147
商工港湾課	05	01	02	21	01	06	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	148
商工港湾課	05	01	02	21	01	07	就業支援に要する経費	149
商工港湾課	07	01	02	20	02	02	地場産業振興事業	150
商工港湾課	07	01	02	20	01	17	ふるさと融資事業	151
商工港湾課	07	01	02	22	01	01	企業誘致推進事業	152
商工港湾課	07	01	02	36	02	03	細島港を核とした日向地域産業の総合的活性化推進事業(ソフト事業)	153
商工港湾課	08	04	01	36	01		重要港湾等整備事業	154
商工港湾課	08	04	01	36	02	01	物流等対策事業	155
商工港湾課	08	04	01	36	02	05	みなとオアシス推進事業	156
観光交流課	07	01	03	23	01	03	広域観光ルート推進事業	157
観光交流課	07	01	03	23	03	02	観光客誘致推進事業	158
観光交流課	07	01	03	23	04	01	観光振興事業	159
観光交流課	07	01	03	23	04	02	日向市観光協会運営補助事業	160
観光交流課	07	01	03	46	07	13	その他の観光施設等管理運営費	161
観光交流課	07	01	03	23	05	02	スポーツキャンプ活性化事業	162
観光交流課	07	01	03	23	05	01	サーフタウン日向推進事業	163

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	01	05	農業人材力強化総合支援事業	164
農業畜産課	06	01	03	17	03	04	農業振興事業	165
農業畜産課	06	01	03	17	03	05	農業施設付帯設備設置促進対策事業	166
農業畜産課	06	01	03	17	03	06	中山間地域等直接支払交付金事業	167
農業畜産課	06	01	03	17	03	07	圏域物流体制整備事業	168
農業畜産課	06	01	03	17	06	01	環境保全型農業直接支援対策事業	169

令和２年度成果説明書　事業目次

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	03	46	06	01	農産加工施設管理運営費	170
農業畜産課	06	01	09	17	01	03	農業経営対策事業	171
農業畜産課	06	01	04	17	04	01	生産性向上対策事業	172
農業畜産課	06	01	04	17	04	02	家畜防疫推進事業	173
農業畜産課	06	01	05	17	05	04	多面的機能支払交付金事業	174
農業畜産課	06	01	05	17	05	19	農業地域防災減災事業	175
農業畜産課	06	01	05	17	05	21	[R01国補正]農業地域防災減災事業	176
農業畜産課	06	01	06	17	05	08	県営鵜毛・籾木地区基盤整備事業	177
農業畜産課	06	01	08	17	05	05	土地改良施設維持管理適正化事業	178
農業畜産課	06	01	08	17	05	12	富島幹線用水路整備事業	179
林業水産課	06	02	02	18	01	12	林業成長産業化地域創出モデル事業	180
林業水産課	06	02	02	18	01	14	林業・木材産業構造改革交付金事業	181
林業水産課	06	02	02	18	02	01	林業振興費	182
林業水産課	06	02	02	18	02	02	有害鳥獣対策事業	183
林業水産課	06	02	02	18	02	05	合板・製材生産性強化対策交付金事業	184
林業水産課	06	02	02	18	04	05	森林づくり推進事業	185
林業水産課	06	02	02	18	01	04	林道整備県営事業負担金	186
林業水産課	06	02	02	18	01	05	横瀬・広瀬線（交付金）林道改良事業	187
林業水産課	06	02	02	18	01	08	林道等改良事業	188
林業水産課	06	02	02	18	01	09	熊山線（交付金）林道改良事業	189
林業水産課	06	02	02	18	01	13	林道施設長寿命化対策事業	190
林業水産課	06	01	05	32	01	01	地籍調査事業	191
林業水産課	06	01	05	32	01	06	[R01国補正]地籍調査事業	192
林業水産課	06	03	02	19	01	01	漁業近代化施設整備事業	193
林業水産課	06	03	02	19	01	02	魚貝類放流事業	194
林業水産課	06	03	02	19	01	03	保護水面管理事業	195
林業水産課	06	03	02	19	02	01	漁業振興育成事業	196
林業水産課	06	03	02	19	03	01	魚貝類放流事業（内水面）	197
林業水産課	06	03	02	19	03	02	増養殖場整備事業	198
林業水産課	06	02	02	18	04	08	森林経営管理制度事業	199
ブランド推進課	06	01	03	17	02	03	日向地域のブランド確立推進事業	200
ブランド推進課	06	01	03	17	02	04	薬草の里づくり事業	201
ブランド推進課	06	01	03	17	02	05	へべす振興対策事業	202
ブランド推進課	02	01	07	42	02	02	ふるさと日向市応援寄附金事業	203

（建設部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
都市政策課	08	05	01	32	01	05	日向市立地適正化計画策定事業	204
都市政策課	08	05	01	35	02	02	景観まちづくり推進事業	205
建設課	08	01	01	25	01	15	急傾斜地崩壊対策事業	206
建設課	08	02	03	34	02	01	南日向・日の平線改良事業（辺地）	207
建設課	08	02	03	34	02	02	臨時地方道整備事業	208
建設課	08	02	03	34	02	03	籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）	209
建設課	08	02	03	34	02	06	塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)	210
建設課	08	02	03	34	02	14	厥野稲葉野線（交付金）道路改良事業	211
建設課	08	02	02	34	02	09	市道維持管理費	212
建設課	08	02	04	34	02	08	橋梁長寿命化事業	213
建設課	08	02	04	34	02	15	[R01国補正]橋梁長寿命化事業	214
建設課	08	02	03	33	01	04	幡浦地区住環境整備事業（社会資本整備総合交付金）	215
建設課	08	01	01	34	01	02	東九州自動車道協力事業	216
市街地整備課	08	05	02	33	01		財光寺南土地区画整理事業	217
市街地整備課	08	05	02	33	01		駅周辺土地区画整理事業	218
市街地整備課	08	05	01	35	03	03	全市緑花推進事業	219
市街地整備課	08	05	04	34	02	12	高砂通線改良事業（社会資本整備総合交付金）	220
市街地整備課	08	05	04	34	02	16	[R01国補正]高砂通線改良事業（社会資本整備総合交付金）	221
市街地整備課	08	05	07	33	02	02	お倉ヶ浜総合公園整備事業	222
市街地整備課	08	05	07	33	02	05	都市公園管理運営費	223
市街地整備課	07	01	02	32	02	01	中心市街地活性化対策事業	224
建築住宅課	08	01	02	31	02	02	建築行為等に係る道路拡幅整備事業	225
建築住宅課	08	01	02	31	02	05	日向市木造住宅耐震化促進事業	226
建築住宅課	08	01	02	31	02	10	日向市危険ブロック塀等除却推進事業	227
建築住宅課	08	01	02	31	02	11	住宅マスタープラン策定事業	228
建築住宅課	08	01	02	31	03	01	日向市空家等対策推進事業	229

（東郷総合支所）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
東郷地域振興課	02	01	07	39	01	01	中山間地域振興事業	230

（消防本部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
消防本部総務課	09	01	02	24	02	01	消防団活性化の推進に要する経費	231
消防本部総務課	09	01	02	24	02	02	非常備消防装備の充実に要する経費	232
消防本部総務課	09	01	02	24	02	03	非常備消防の活動に要する経費	233
消防本部予防課	09	01	01	24	01	03	火災予防体制の強化に要する経費	234
消防本部警防課	09	01	01	24	01	04	救急体制の強化に要する経費	235
消防本部警防課	09	01	01	24	01	05	救助・警防体制の強化に要する経費	236
消防本部警防課	09	01	03	24	01	08	常備消防施設等の整備に要する経費	237
消防本部警防課	09	01	03	24	02	05	非常備消防施設の充実に要する経費	238

（上下水道局）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
下水道課	04	01	03	30	03	02	生活排水対策（浄化槽設置整備事業）	239

（議会事務局）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
議会事務局	01	01	01	43	02	01	市議会だより発行事業	240
議会事務局	01	01	01	40	01	04	議会中継に要する経費	241

（教育委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
教育総務課	10	02	03	02	04	13	細島小学校改築事業	242
学校教育課	10	01	02	01	02	01	就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費	243
学校教育課	10	01	02	01	02	09	「囲碁のまち日向市」モデル事業	244
学校教育課	10	01	02	01	02	14	読書活動充実事業	245
学校教育課	10	01	02	02	01	01	スクールサポート事業	246
学校教育課	10	02	02	01	02	33	学校ICT環境整備事業（小学校）	247
学校教育課	10	03	02	01	02	34	学校ICT環境整備事業（中学校）	248
学校教育課	10	01	02	01	01	03	学びをつなぐ幼・保・小連携事業	249
学校教育課	10	01	02	01	02	23	日向市教育振興会の助成に要する経費	250
学校教育課	10	01	02	01	02	24	ひゅうがっ子学力向上推進事業	251
学校教育課	10	01	02	01	02	25	キャリア教育推進事業	252
学校教育課	10	01	02	01	02	38	外国語教育推進事業	253
学校教育課	10	01	02	01	02	50	教職員の働き方改革推進事業	254
学校教育課	10	01	02	01	02	60	コミュニティ・スクール活性化推進事業	255
学校教育課	10	01	02	01	03	01	障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費	256
学校教育課	10	06	01	02	02	01	就学時健康診断に要する経費	257
学校教育課	10	06	01	02	02	02	保健体育の充実に要する経費	258
学校教育課	10	06	01	02	02	03	安全教育の推進に要する経費	259
学校教育課（小学校）	10	01	02	01	02	39	コミュニティ・スクール（小学校）に要する経費	260
学校教育課（小学校）	10	02	02	01	02	28	教育振興に要する経費（小学校）	261
学校教育課（中学校）	10	01	02	01	02	40	コミュニティ・スクール（中学校）に要する経費	262
学校教育課（中学校）	10	03	02	01	02	30	教育振興に要する経費（中学校）	263
学校給食センター	10	06	03	02	03	02	給食調理に要する経費（学校給食センター）	264
学校給食センター	10	06	03	02	03	03	安全衛生対策に要する経費（学校給食センター）	265
図書館	10	05	03	05	01	01	図書館サービス・資料の充実に要する経費	266
図書館	10	05	03	05	02	01	児童サービスに要する経費	267
図書館	10	05	03	05	02	02	生涯学習ボランティア（図書館）の育成事業	268
文化生涯学習課	10	05	01	01	04	03	放送大学支援事業	269
文化生涯学習課	10	05	01	03	01	01	子ども情報提供事業	270
文化生涯学習課	10	05	01	03	01	02	地域教育力活性化推進事業	271
文化生涯学習課	10	05	01	03	01	03	放課後子ども教室推進事業	272
文化生涯学習課	10	05	01	03	01	06	ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業	273
文化生涯学習課	10	05	01	03	02	01	青少年育成センター事業	274
文化生涯学習課	10	05	01	04	01	02	社会教育指導員事業	275
文化生涯学習課	10	05	01	04	01	03	学習情報提供事業	276
文化生涯学習課	10	05	01	04	01	04	成人式に要する経費	277
文化生涯学習課	10	05	01	04	03	01	自主学級事業	278
文化生涯学習課	10	05	01	04	04	01	社会教育団体育成事業	279
文化生涯学習課	10	05	01	06	01	01	芸術文化事業	280
文化生涯学習課	10	05	01	06	02	01	文化財の保存と活用に要する経費	281
文化生涯学習課	10	05	01	06	02	03	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助)	282
文化生涯学習課	10	05	01	06	02	04	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)	283
文化生涯学習課	10	05	01	06	03	01	牧水顕彰事業	284
文化生涯学習課	10	05	02	03	01	05	子ども土曜教室事業	285
文化生涯学習課	10	05	02	04	01	06	高齢者学習活動事業	286
文化生涯学習課	10	05	02	04	02	02	公民館主催講座事業	287
スポーツ振興課	10	06	01	07	01	03	スポーツ指導者・団体等支援事業	288
スポーツ振興課	10	06	01	07	03	07	競技スポーツ推進事業	289

（選挙管理委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	02	44	01	01	選挙啓発に要する経費	290

（農業委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	16	農地中間管理機構支援事業	291

【評価対象外事業】

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	01	07	32	01	04	土地利用規制等対策事務費	293
総合政策課	02	01	07	47	02	17	総合政策一般事務費	293
総合政策課	02	01	07	41	04	01	広域連携の推進事業	294
総合政策課	02	01	07	47	02	18	情報政策一般事務費	294
総合政策課	02	01	08	37	01	02	庁内LAN運用費	295
総合政策課	02	01	08	41	02	03	業務システム運用事業	295

令和２年度成果説明書　事業目次

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	05	01	41	02	07	学校基本調査	296
総合政策課	02	05	01	41	02	08	工業統計調査	296
総合政策課	02	05	01	41	02	09	統計調査員確保対策事業	297
総合政策課	02	05	01	41	02	10	農林業センサス	297
総合政策課	02	05	01	41	02	14	経済センサス	298
総合政策課	02	05	01	41	02	16	国勢調査	298
総合政策課	02	05	01	47	02	19	統計一般事務費	299
秘書広報課	02	01	01	47	02	20	市長・副市長の公務に要する経費	299
秘書広報課	02	01	01	47	02	21	市長車運行管理費	300
秘書広報課	02	01	01	47	02	22	秘書広報一般事務費	300
地域コミュニティ課	02	01	01	38	01	04	行政文書配布・調査取りまとめに関する事業	301
地域コミュニティ課	02	01	07	46	02	02	市民活動支援センター管理運営費	301
地域コミュニティ課	02	01	07	47	02	23	市民活動推進一般事務費	302
地域コミュニティ課	02	01	07	46	02	03	男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費	302
地域コミュニティ課	02	01	16	47	02	25	人権・同和行政推進一般事務費	303

（総務部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総務課	02	01	01	47	02	01	総務一般事務費	303
総務課	02	01	01	47	02	02	マイクロバス運行管理費	304
総務課	02	01	11	47	02	04	公平委員会費	304
総務課	02	01	17	47	02	03	自衛官募集事業	305
総務課	02	01	01	37	01	01	法制支援システムに要する経費	305
総務課	02	01	01	40	04	02	情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費	306
総務課	02	01	01	47	02	07	法務一般事務費	306
総務課	02	01	01	47	02	08	契約一般事務費	307
財政課	02	01	01	48	01	01	減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費	307
財政課	02	01	04	41	02	01	財務会計システムの運用に要する経費	308
財政課	02	01	04	47	02	10	財政一般事務費	308
財政課	12	01	01	50	01	01	借入金元金の返済に要する経費	309
財政課	12	01	02	50	02	01	借入金利子の返済に要する経費	309
財政課	14	01	01	51	01	01	一般会計予備費	310
職員課	02	01	02	47	02	14	人事研修一般事務費	310
職員課	02	01	01	47	02	15	給与厚生一般事務費	311
職員課	02	01	01	48	01	02	退職手当基金積立に要する経費	311
防災推進課	02	01	13	25	01	08	災害応急対策・復旧対策事業	312
防災推進課	02	01	13	47	02	16	防災推進一般事務費	312
資産経営課	02	01	01	41	03	03	普通財産管理に要する経費	313
資産経営課	02	01	01	47	02	12	管財一般事務費	313
資産経営課	02	01	06	41	03	02	公有財産台帳管理事業	314
資産経営課	02	01	06	46	02	01	本庁舎等管理運営費	314
資産経営課	02	01	06	47	02	13	公用車集中管理に要する経費	315
資産経営課	08	01	01	49	02	01	土地開発基金への繰出金	315

（市民環境部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
税務課	02	02	01	47	02	26	税務一般事務費	316
税務課	02	02	02	42	02	03	市民税賦課に要する経費	316
税務課	02	02	02	42	02	04	固定資産税賦課に要する経費	317
税務課	02	02	02	42	02	07	収納事務に要する経費	317
国民健康保険課	03	01	01	49	01	06	国民健康保険事業特別会計への繰出金	318
国民健康保険課	03	01	06	16	02	02	後期高齢者医療事業	318
国民健康保険課	03	01	06	49	01	08	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金	319
国民健康保険課	04	01	02	49	01	07	国民健康保険病院事業会計への繰出金	319
市民課	02	03	01	40	04	04	中長期在留者住居地届出等事務費	320
市民課	02	05	01	41	02	17	人口動態調査事務費	320
市民課	02	05	01	41	02	18	現住人口調査事務費	321
市民課	03	01	03	16	03	01	国民年金事務費	321
市民課	02	01	14	26	03	01	消費生活事業	322
市民課	04	01	03	46	04	01	市営納骨堂管理運営費	322
市民課	04	01	03	49	01	09	城山墓園事業特別会計への繰出金	323
市民課	04	01	04	26	05	02	斎場費	323
市民課	02	01	10	47	02	27	美々津支所一般事務費	324
市民課	02	01	10	47	02	28	岩脇支所一般事務費	324
市民課	02	01	10	47	02	29	細島支所一般事務費	325
環境政策課	02	01	15	28	01	01	環境基本計画推進事業	325
環境政策課	04	01	03	28	04	01	地球温暖化防止対策実行計画推進事業	326
環境政策課	04	02	01	27	03	01	環境衛生の充実に要する経費	326
環境政策課	04	02	01	46	04	02	環境政策課庁舎管理運営費	327
環境政策課	04	02	01	47	04	01	環境政策一般事務費	327
環境政策課	04	02	02	27	03	02	車両管理費	328
環境政策課	04	02	02	46	04	04	一般廃棄物埋立処分場（第4）管理運営費	328

（健康福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	01	47	03	01	福祉管理一般事務費	329
福祉課	03	01	02	14	02	03	重度心身障害児者医療費助成事業	329
福祉課	03	01	02	14	02	04	自立支援医療給付事業	330

（健康福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	02	14	02	06	障害児・者補装具給付事業	330
福祉課	03	01	02	14	02	09	身体障害者福祉電話運営事業（市単）	331
福祉課	03	01	02	14	02	10	特別障害者手当等給付事業	331
福祉課	03	01	02	14	02	11	特別児童扶養手当事務費	332
福祉課	03	01	02	46	03	02	障害者センター管理運営費	332
福祉課	03	01	02	47	03	02	障がい福祉一般事務費	333
福祉課	03	01	02	14	02	19	介護給付事業	333
福祉課	03	01	02	14	02	20	訓練等給付事業	334
福祉課	03	01	02	14	02	21	障害者給付認定審査会運営事業	334
福祉課	03	01	02	14	02	25	障害児通所支援事業	335
福祉課	03	03	02	15	02	01	生活保護費	335
福祉課	03	01	01	47	03	09	福祉法人監査一般事務費	336
こども課	03	02	01	11	03	12	児童手当給付事業	336
こども課	03	02	01	11	06	01	児童扶養手当給付事業	337
こども課	03	02	01	46	03	03	日知屋児童センター管理運営費	337
こども課	03	02	01	46	03	04	大王谷児童館管理運営費	338
こども課	03	02	01	47	03	03	子育て支援一般事務費	338
こども課	03	02	02	11	06	03	母子寡婦福祉事業	339
こども課	03	02	02	11	06	09	ひとり親家庭等日常生活支援事業	339
こども課	03	02	02	11	06	10	母子生活支援事業	340
こども課	04	01	01	11	01	03	特定不妊治療費助成事業	340
こども課	04	01	01	11	02	03	未熟児養育医療給付事業	341
こども課	03	02	01	11	03	16	施設型給付事業	341
こども課	03	02	01	11	03	24	幼児教育無償化実施円滑化事業	342
こども課	03	02	01	11	03	25	子育てのための施設等利用給付事業	342
こども課	10	01	03	01	01	02	学校評議員（幼稚園）	343
こども課	10	04	01	46	10	01	「幼稚園」施設管理運営費	343
こども課	03	02	03	11	04	06	保育事業（上町保育所）	344
こども課	03	02	03	46	03	05	上町保育所施設管理運営費	344
こども課	03	02	03	47	03	04	上町保育所一般事務費	345
こども課	03	02	03	11	04	07	保育事業（細島保育所）	345
こども課	03	02	03	46	03	06	細島保育所施設管理運営費	346
こども課	03	02	03	47	03	05	細島保育所一般事務費	346
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	04	地域介護福祉空間整備交付金事業	347
高齢者あんしん課	03	01	04	49	01	10	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）への繰出金	347
高齢者あんしん課	03	01	04	13	01	01	敬老事業	348
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	04	養護老人ホームへの措置に要する経費	348
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	05	地域密着型サービス等整備助成事業	349
高齢者あんしん課	03	01	04	13	03	06	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業	349
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	07	老人福祉センター（春原）管理運営費	350
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	08	美々津老人福祉センター管理運営費	350
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	09	平岩ふれあい館管理運営費	351
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	10	ひまわり寮施設管理運営費	351
高齢者あんしん課	03	01	04	46	03	11	鈴峰園管理運営費	352
高齢者あんしん課	03	01	04	47	03	06	高齢者福祉一般事務費	352
高齢者あんしん課	04	01	02	49	01	11	国民健康保険病院事業(訪問看護事業)への繰出金	353
高齢者あんしん課	04	01	06	46	04	06	初期救急診療所管理運営費	353
いきいき健康課	04	01	01	47	04	02	いきいき健康課一般事務費	354
いきいき健康課	04	01	02	12	01	03	「健康ひゅうが21計画」推進会議の運営に要する経費	354

（商工観光部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
商工港湾課	07	01	01	47	07	04	商工業振興一般事務費	355
商工港湾課	07	01	02	46	07	01	日向地区ひとものづくりセンター管理運営費	355
商工港湾課	07	01	02	46	07	02	企業誘致関連施設管理運営費	356
商工港湾課	08	04	01	47	08	01	港湾一般事務費	356
観光交流課	07	01	03	47	07	03	観光振興一般事務費	357
観光交流課	07	01	03	23	01	13	地域・観光情報拠点施設管理運営費	357
観光交流課	07	01	03	46	07	04	日向サンパーク体育施設等管理運営費	358
観光交流課	07	01	03	46	07	05	日向サンパーク温泉管理運営費	358
観光交流課	07	01	03	46	07	06	道の駅「日向」管理運営費	359
観光交流課	07	01	03	46	07	09	石並川キャンプ場管理運営費	359
観光交流課	07	01	03	46	07	10	日向岬グリーンパーク管理運営費	360
観光交流課	07	01	03	46	07	11	海水浴場管理運営費	360
観光交流課	07	01	03	46	07	14	道の駅「とうごう」管理運営費	361
観光交流課	07	01	03	46	07	15	牧水公園管理運営費	361

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	02	17	05	03	農村公園管理運営費	362
農業畜産課	06	01	02	47	06	01	農業振興一般事務費	362
農業畜産課	06	01	03	17	01	04	人・農地問題解決加速化支援事業	363
農業畜産課	06	01	03	17	03	01	農地中間管理事業	363
農業畜産課	06	01	03	17	03	08	農産物価格安定対策事業	364
農業畜産課	06	01	03	17	03	09	各種資金利子補給事業	364
農業畜産課	06	01	03	17	03	10	経営所得安定対策等推進事業	365
農業畜産課	06	01	03	17	05	02	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業	365
農業畜産課	06	01	03	46	06	03	農村交流館・塩見農村公園管理運営費	366

令和２年度成果説明書　事業目次

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	04	17	04	03	各種資金利子補給（畜産）	366
農業畜産課	06	01	04	17	04	04	特定家畜伝染病防疫対策事業	367
農業畜産課	06	01	04	46	06	04	畜産センター管理運営費	367
農業畜産課	06	01	04	46	06	05	畜産資源リサイクルセンター管理運営費	368
農業畜産課	06	01	04	47	06	02	畜産振興一般事務費	368
農業畜産課	06	01	05	17	05	13	農道管理費	369
農業畜産課	06	01	05	46	07	16	奥野河川プール管理運営費	369
農業畜産課	06	01	05	47	06	03	農村整備一般事務費	370
農業畜産課	06	01	08	17	05	14	用排水路施設管理運営費	370
農業畜産課	11	01	01	25	02	05	農地・農業用施設災害復旧事業（補助）	371
農業畜産課	11	01	01	25	02	06	農地・農業用施設災害復旧事業	371
林業水産課	06	02	01	47	06	04	林業振興一般事務費	372
林業水産課	06	02	01	18	01	11	林道管理費	372
林業水産課	08	01	01	33	02	01	九州自然歩道管理事業（東郷地区）	373
林業水産課	11	01	02	25	02	07	林道災害復旧事業	373
林業水産課	06	03	01	47	06	06	水産振興一般事務費	374
林業水産課	06	03	02	19	01	04	水産多面的機能発揮対策事業	374
林業水産課	06	02	02	18	04	07	公有林等管理運営費	375
ブランド推進課	06	01	02	47	06	07	ブランド振興一般事務費	375

（建設部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
都市政策課	08	05	01	46	08	02	駅駐車場管理運営費	376
都市政策課	08	05	01	46	08	03	駅前広場等管理運営費	376
都市政策課	08	05	01	47	08	05	都市計画一般事務費	377
建設課	08	01	01	47	08	02	建設土木一般事務費	377
建設課	11	02	01	25	02	09	道路河川災害復旧事業	378
建設課	08	02	03	26	02	01	交通安全施設整備事業	378
建設課	08	03	01	25	01	18	耳川河川改修関連支援事業	379
建設課	08	03	01	25	01	19	河川水門管理費	379
建設課	08	06	01	33	01	03	細島東部まちづくり事務所施設管理運営費	380
建設課	08	02	01	34	02	10	道路橋梁総務費	380
市街地整備課	08	05	01	47	08	03	市街地整備一般事務費	381
市街地整備課	03	02	04	46	03	01	児童遊園施設管理運営費	381
市街地整備課	08	05	01	46	08	01	日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費	382
建築住宅課	08	06	01	49	01	05	公営住宅事業特別会計への繰出金	382
建築住宅課	08	01	02	31	02	01	建築指導費	383
建築住宅課	08	06	02	47	08	04	建築一般事務費	383

（東郷総合支所）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
東郷地域振興課	02	01	06	46	02	04	東郷総合支所管理運営費	384
東郷地域振興課	02	01	06	47	02	32	公用車集中管理に要する経費（東郷地区）	384
東郷地域振興課	02	01	09	47	02	31	東郷総合支所一般事務費	385

（会計課）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
会計課	02	01	05	47	02	30	会計一般事務費	385

（消防本部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
消防本部総務課	09	01	01	46	09	01	消防庁舎管理運営費	386
消防本部総務課	09	01	01	46	09	02	南分遣所管理運営費	386
消防本部総務課	09	01	01	46	09	03	消防訓練広場管理運営費	387
消防本部総務課	09	01	01	46	09	04	東郷分遣所管理運営費	387
消防本部総務課	09	01	01	47	09	01	常備消防一般事務費	388
消防本部総務課	09	01	02	46	09	05	非常備消防施設管理運営費	388
消防本部警防課	09	01	04	24	01	07	水防体制の強化に要する経費	389
消防本部警防課	09	01	01	24	01	09	常備消防車両管理費	389
消防本部警防課	09	01	02	24	02	06	非常備消防車両管理費	390

（上下水道局）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
水道課	04	01	01	49	01	13	簡易給水施設特別会計への繰出金	390
水道課	04	01	01	49	01	14	水道事業会計への繰出金	391
水道課	04	01	01	49	01	22	簡易水道事業会計への繰出金	391
下水道課	06	01	05	49	01	23	農業集落排水事業会計への繰出金	392
下水道課	08	05	05	49	01	15	下水道事業会計への繰出金	392
下水道課	08	05	06	25	01	20	浸水被害軽減対策事業	393

（議会事務局）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
議会事務局	01	01	01	43	01	01	市議会議員報酬	393
議会事務局	01	01	01	43	02	02	議長の交際に要する経費	394
議会事務局	01	01	01	43	02	03	各種市議会議長会に要する経費	394
議会事務局	01	01	01	43	02	04	市議会議員の活動に要する経費	395
議会事務局	01	01	01	47	01	01	議会一般事務費	395
議会事務局	01	01	01	43	02	06	会議録発行事業	396
議会事務局	01	01	01	46	01	01	議会施設管理運営費	396

（教育委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
教育総務課	10	01	01	02	04	02	教育委員会の運営に要する経費	397
教育総務課	10	01	02	01	04	02	就学の支援に要する経費	397
教育総務課	10	01	02	47	10	01	学校教育総務一般事務費	398
教育総務課	10	01	02	47	10	02	学校教育施設一般事務費	398
教育総務課	10	02	01	46	10	03	小学校教職員住宅管理運営費	399
教育総務課	10	02	03	02	04	03	小学校　各校整備事業	399
教育総務課	10	03	01	46	10	04	中学校教職員住宅管理運営費	400
教育総務課	10	03	03	02	04	14	中学校　各校整備事業	400
学校教育課	10	01	02	01	02	04	通学支援事業	401
学校教育課	10	01	02	02	01	04	日向・東臼杵いじめ問題対策事業	401
学校教育課	10	01	02	08	01	02	同和教育の充実に要する経費	402
学校教育課	10	01	02	47	10	03	学事係一般事務費	402
学校教育課	10	02	02	01	02	15	要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)	403
学校教育課	10	03	02	01	02	17	要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)	403
学校教育課	10	05	01	46	10	07	社会同和教育集会所新財市会館管理運営費	404
学校教育課	10	06	01	47	10	04	学校教育保健一般事務費	404
幼稚園	10	04	01	46	10	09	「幼稚園」施設管理運営費[施設係]	405
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	10	小学校施設　管理運営費[施設係]	405
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	11	小学校施設　管理運営費[学事係]	406
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	12	小学校施設　管理運営費[総務企画係]	406
学校教育課(小学校)	10	02	02	01	02	29	小学校教師用指導書等購入事業	407
学校教育課(小学校)	10	06	01	47	10	06	小学校保健一般事務費	407
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	13	中学校施設　管理運営費[施設係]	408
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	14	中学校施設　管理運営費[学事係]	408
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	15	中学校施設　管理運営費[総務企画係]	409
学校教育課(中学校)	10	06	01	47	10	07	中学校保健一般事務費	409
学校給食センター	10	06	03	02	03	04	調理設備等の充実に要する経費（学校給食センター）	410
学校給食センター	10	06	03	46	10	16	日向市学校給食センター管理運営費	410
学校給食センター	10	06	03	47	10	08	日向市学校給食センター一般事務費	411
図書館	10	05	03	46	10	18	日向市立図書館施設管理運営費	411
図書館	10	05	03	47	10	10	市立図書館一般事務費	412
文化生涯学習課	10	05	01	04	01	01	社会教育委員事業	412
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	19	細島地区コミュニティセンター管理運営費	413
文化生涯学習課	10	05	01	47	10	11	社会教育一般事務費	413
文化生涯学習課	10	05	01	06	02	05	妙国寺庭園管理事業	414
文化生涯学習課	10	05	01	06	02	08	関本勘兵衛家管理運営費	414
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	20	防災センター管理運営費	415
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	21	美々津軒管理運営費	415
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	22	美々津まちなみセンター管理運営費	416
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	25	細島みなと資料館管理運営費（「その他の博物館」）	416
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	26	歴史民俗資料館管理運営費（「その他の博物館」）	417
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	27	まちなみ広場管理運営費	417
文化生涯学習課	10	05	04	46	10	23	日向市文化交流センター施設管理運営費	418
文化生涯学習課	10	05	04	46	10	24	東郷地区文化センター管理運営費	418
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	28	若山牧水記念文学館管理運営費	419
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	29	中央公民館施設管理運営費	419
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	12	中央公民館一般事務費	420
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	30	日知屋公民館施設管理運営費	420
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	13	日知屋公民館一般事務費	421
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	31	大王谷公民館施設管理運営費	421
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	14	大王谷公民館一般事務費	422
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	32	美々津公民館施設管理運営費	422
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	15	美々津公民館一般事務費	423
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	33	南日向公民館施設管理運営費	423
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	16	南日向公民館一般事務費	424
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	34	細島公民館施設管理運営費	424
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	17	細島公民館一般事務費	425
文化生涯学習課	10	05	02	46	10	35	東郷公民館管理運営費	425
文化生涯学習課	10	05	02	47	10	18	東郷公民館一般事務費	426
スポーツ振興課	10	06	01	07	02	02	生涯スポーツ振興事業	426
スポーツ振興課	10	06	01	47	10	19	社会体育一般事務費	427
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	36	お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費	427
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	37	大王谷運動公園(陸上・野球・プール以外)管理運営費	428
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	38	美々津運動広場管理運営費	428
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	39	東郷地区体育施設管理運営費	429
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	40	武道館管理運営費	429
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	41	お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費	430
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	42	日向市体育センター管理運営費	430
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	43	大王谷陸上競技場管理運営費	431
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	44	お倉ヶ浜野球場管理運営費	431
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	45	大王谷野球場管理運営費	432
スポーツ振興課	10	06	02	46	10	46	大王谷市営プール管理運営費	432

（選挙管理委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
選挙管理委員会事務局	02	04	01	44	02	01	選挙管理委員会の運営に要する経費	433
選挙管理委員会事務局	02	04	01	47	02	33	選挙管理事務局一般事務費	433

令和２年度成果説明書　事業目次

（監査委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
監査委員事務局	02	06	01	47	02	34	監査事務局一般事務費	434

（農業委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	13	農業者年金事務事業	434
農業委員会事務局	06	01	02	47	06	08	農業委員会事務局一般事務費	435
農業委員会事務局	06	01	01	17	05	17	農業委員会行政事務費	435
農業委員会事務局	06	01	02	17	03	15	特例事業（農業振興公社）	436
農業委員会事務局	06	01	02	17	05	15	国有農地等管理処分事業事務費	436

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

（総合政策部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総合政策課	02	01	07	39	02	05	[新型コロナ対策]定住促進事業	437
総合政策課	02	01	08	37	01	06	[新型コロナ対策]庁内LAN運用費	437
総合政策課	02	01	08	41	02	28	[新型コロナ対策]業務システム運用事業	438
総合政策課	02	01	07	15	01	12	[新型コロナ緊急経済対策]特別定額給付金給付事業	438
秘書広報課	02	01	03	40	01	05	[新型コロナ対策]広報強化に要する経費	439
地域コミュニティ課	10	05	02	04	02	03	[新型コロナ対策]自治公民館等環境整備助成事業	439

（総務部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
総務課	02	01	01	41	02	27	[新型コロナ対策]電子入札システム導入事業	440
職員課	02	01	02	47	02	35	[新型コロナ対策]雇用維持等緊急対策事業	440
職員課	02	01	02	47	02	36	[新型コロナ対策]職員派遣に要する経費	441
防災推進課	02	01	13	25	01	22	[新型コロナ対策]防疫対策等事業	441
資産経営課	02	01	06	46	02	05	[新型コロナ対策]公共施設環境整備事業	442

（健康福祉部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
福祉課	03	01	01	12	03	11	[新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等安全対策支援事業	442
福祉課	03	01	01	12	03	13	[新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等運営支援給付金給付事業	443
福祉課	03	03	01	15	03	02	[新型コロナ対策]子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業	443
こども課	03	02	01	11	03	27	[新型コロナ対策]ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業	444
こども課	03	02	01	11	03	28	[新型コロナ対策]子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	444
こども課	03	02	01	11	03	29	[新型コロナ対策]（国）ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	445
こども課	04	01	02	11	02	04	[新型コロナ対策]ヘルシースタート事業	445
こども課	03	02	03	11	04	08	[新型コロナ対策]保育環境改善等事業	446
こども課	03	02	03	11	04	11	[新型コロナ対策]公立保育所等施設環境整備事業	446
こども課	10	04	01	46	10	49	[新型コロナ対策]「幼稚園」施設管理運営費	447
こども課	03	02	03	11	04	09	[新型コロナ対策]保育事業（上町保育所）	447
こども課	03	02	03	11	04	10	[新型コロナ対策]保育事業（細島保育所）	448
高齢者あんしん課	03	01	04	13	02	11	[新型コロナ対策]セルフケア推進事業	448
高齢者あんしん課	04	01	01	12	04	06	[新型コロナ対策]日向市PCR検査検体採取所運営事業	449
高齢者あんしん課	04	01	01	12	04	13	[新型コロナ対策]二次救急医療機関運営支援給付金給付事業	449
高齢者あんしん課	04	01	06	12	04	07	[新型コロナ対策]初期救急診療所事業	450
いきいき健康課	04	01	02	12	03	12	[新型コロナ対策]感染症対策に要する経費	450
いきいき健康課	04	01	02	12	03	14	新型コロナウイルスワクチン接種事業	451

（商工観光部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
商工港湾課	07	01	02	20	01	21	[新型コロナ緊急経済対策]中小企業等雇用維持支援事業	451
商工港湾課	07	01	02	20	01	24	[新型コロナ対策]中小企業等応援給付金給付事業	452
商工港湾課	07	01	02	20	01	26	[新型コロナ対策]中小企業特別融資事業	452
商工港湾課	07	01	02	20	01	27	[新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業	453
商工港湾課	07	01	02	20	01	28	[新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業	453
商工港湾課	07	01	02	20	01	29	[新型コロナ対策]タクシーデリバリー事業	454
商工港湾課	07	01	02	20	01	31	[新型コロナ対策]休業等要請協力金等交付事業	454
商工港湾課	07	01	02	20	01	32	[新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業	455
商工港湾課	07	01	02	20	01	33	[新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業	455
観光交流課	07	01	02	20	01	22	[新型コロナ緊急経済対策]飲食店等クーポン券発行事業	456
観光交流課	07	01	02	20	01	23	[新型コロナ緊急経済対策]宿泊施設等安全対策事業	456
観光交流課	07	01	02	20	01	25	[新型コロナ対策]地域商業活性化促進支援事業	457
観光交流課	07	01	03	23	01	16	[新型コロナ対策]観光施設等感染拡大防止対策事業	457
観光交流課	07	01	03	23	01	17	[新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業	458
観光交流課	07	01	03	23	01	18	[新型コロナ対策]魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業	458
観光交流課	07	01	03	23	03	10	[新型コロナ対策]観光消費喚起事業	459
観光交流課	07	01	03	46	07	17	[新型コロナ対策]日向サンパーク体育施設等管理運営費	459
観光交流課	07	01	03	46	07	18	[新型コロナ対策]日向サンパーク温泉管理運営費	460
観光交流課	07	01	03	46	07	21	[新型コロナ対策]牧水公園管理運営費	460
観光交流課	07	01	03	23	05	07	[新型コロナ対策]スポーツキャンプ活性化事業	461

（農林水産部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
農業畜産課	06	01	03	17	03	19	[新型コロナ対策]農業応援給付金給付事業	461
農業畜産課	06	01	03	17	03	21	[新型コロナ対策]インドア花いっぱい応援事業	462
農業畜産課	06	01	03	17	03	22	[新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(農畜産物)	462
農業畜産課	06	01	03	17	03	24	[新型コロナ対策]農産物等販売機会創出事業	463
林業水産課	06	02	02	18	04	09	[新型コロナ対策]森林づくり推進事業	463
林業水産課	06	03	02	19	02	03	[新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(水産物)	464
林業水産課	06	03	02	19	02	04	[新型コロナ対策]養殖経営緊急支援事業	464
林業水産課	06	03	02	19	02	05	[新型コロナ対策]水産業応援給付金給付事業	465

（建設部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
市街地整備課	03	02	04	46	03	12	[新型コロナ対策]児童遊園環境整備事業	465
市街地整備課	08	05	01	35	03	04	[新型コロナ対策]日豊海岸線等沿道修景推進事業	466
市街地整備課	08	05	07	33	02	07	[新型コロナ対策]都市公園環境整備事業	466

（消防本部）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
消防本部総務課	09	01	02	24	02	07	[新型コロナ対策]非常備消防の活動に要する経費	467
消防本部警防課	09	01	01	24	01	11	[新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費	467

（教育委員会）

所管課	款	項	目	大	中	小	事業名	頁
教育総務課	10	01	02	02	04	32	[新型コロナ対策]教育施設環境整備事業	468
学校教育課	10	01	02	01	02	49	[新型コロナ対策]教育振興に要する経費	468
学校教育課	10	02	02	01	02	42	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)	469
学校教育課	10	02	02	01	02	44	[新型コロナ対策]学校ICT環境整備事業(小学校)	469
学校教育課	10	03	02	01	02	43	[新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)	470
学校教育課	10	03	02	01	02	45	[新型コロナ対策]学校ICT環境整備事業(中学校)	470
学校教育課	10	06	01	02	02	04	[新型コロナ対策]保健体育の充実に要する経費	471
学校教育課(小学校)	10	02	01	46	10	50	[新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]	471
学校教育課(中学校)	10	03	01	46	10	51	[新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]	472
学校給食センター	10	06	03	02	03	08	[新型コロナ対策]給食調理に要する経費（学校給食センター）	472
図書館	10	05	03	05	01	04	[新型コロナ対策]図書館サービス・資料の充実に要する経費	473
文化生涯学習課	10	05	04	02	04	33	[新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設環境整備事業	473
文化生涯学習課	10	05	04	46	10	47	[新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設管理運営費	474
文化生涯学習課	10	05	01	46	10	48	[新型コロナ対策]若山牧水記念文学館管理運営費	474

【特別会計・企業会計】

建築住宅課	公営住宅事業特別会計	475
市街地整備課	財光寺南土地区画整理事業特別会計	476
市民課	城山墓園事業特別会計	477
水道課	簡易給水施設特別会計	478
国民健康保険課	国民健康保険事業特別会計	479
高齢者あんしん課	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）	481
高齢者あんしん課	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計	482
国民健康保険課	後期高齢者医療事業特別会計	483
水道課	簡易水道事業会計	484
水道課	水道事業会計	485
下水道課	農業集落排水事業会計	486
下水道課	下水道事業会計	487
東郷病院	病院事業会計	488

評価対象事業

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	01 高校魅力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0716	記念品料	9,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	0			
1103	手数料	88,550			
1852032	高校魅力向上支援事業補助金	361,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,094,000	458,850	0	635,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	400,000	58,850
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○高校魅力向上支援事業補助金

日向高等学校（課題型学習事業）	300,000
日向工業高等学校（魅力ある高等学校づくり事業）	61,300

事業期間	平成　29　年度　～　年度
目的	「元気な“日向市”未来創造戦略」に掲げる「高校魅力向上支援事業」の一環として、市内の高校が持つ特性を伸ばし魅力を高めることにより学力や技術力を向上させ、社会人、職業人として貢献できる人財を育成するために、高校で実施する課外活動等に対する助成を行う。 また、少子化が進む中で、市内の県立高校では定員割れが続くなど、市民の関心は高く、地域全体で高校の在り方について検討を行う。
事業活動内容	○日向市県立高等学校魅力向上支援事業補助金 ・日向高等学校（課題型学習事業） ・日向工業高等学校（魅力ある高等学校づくり事業） ○日向市高等学校の未来を考える研究会 ・今後の日向・東臼杵圏域の県立高等学校への支援策を検討するため、圏域内の中学3年生及び保護者を対象に進路意識調査を実施した。

成果指標	本制度を活用した事業に参加した生徒数	単位	目標		実績	
		人	R2	120	R2	122
			R元	90	R元	119

活動指標	本制度を活用した事業実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	2
			R元	3	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市内高校への進学率は、60％以下となり、令和元年度から日向高校の普通科が1クラス減となったことから、市民の高校存続、魅力向上につながる取組が求められており、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市内県立高校を維持し、地域の将来を支える人財を育成するためには、産業界や地域が一体となって、県立高校を支援する必要があり、市が主体的に関与していく必要がある。
	成　　果	ある程度上がっている	魅力向上補助金は3校中2校が活用し、各校の特色を活かした教育活動が取り組まれ、概ね目標どおりの生徒が参加した。一方で、入学者については、昨年度に続き、3校とも定員割れとなった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	日向高校の課題型学習をサポートし、学校と連携して事業効果を高めた。また、高校の魅力向上に向けた支援策を検討するため、進路意識調査を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	魅力向上支援事業補助金については、令和元年度から予算を増額しているが、今後の動向を見ながら、コスト削減を図ることは可能である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市内県立高校の状況や将来の統廃合について市民から危惧する声が多く、3校を維持していくためには、中長期的に取り組むことが重要であり、休廃止した場合には将来的に影響が出ることが予想される。
	今後の方向性	維持	県の高校再編の動きも注視しながら、市内県立高校3校の維持を目指して、市内関係団体と中長期的に取り組むことが必要である。

総評（課題・改善点）	コロナ禍による休校などの影響により、進路意識調査の時期が12月～1月となり、結果に基づく分析が次年度に持ち越しとなった。定員割れに関する自由記述においては、学校の情報発信や専門的な学科の設置、学習環境の充実などを望む声が多く見られた。今後、日向・東臼杵郡市町村振興協議会の専門部会において結果を分析し、研究会で効果的な施策を検討することとなるが、引き続き、関係機関と連携して、地元の生徒が地元の高校に魅力を感じて進学するような取組を進めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 スポーツを生かした観光交流の拡大
小事業	04 東京2020オリパラ・ホストタウン事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0	1808083	2020東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合負担金	100,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1808086	日本トーゴ友好協会負担金	500,000
0716	記念品料	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	575,608			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	10,450			
1103	手数料	231,550			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	66,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805085	東京2020オリンピック聖火リレー負担金	4,714,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,607,000	6,197,608	0	409,392

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,100,000	97,608
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
トーゴ共和国建国60周年記念植樹事業　66,000

事業期間	年度　～　年度
目的	本市は、アメリカ合衆国及びトーゴ共和国のホストタウンとして登録をされており、オリンピアン・パラリンピアンとの交流、事後交流の実現など、市民がオリンピックやパラリンピックをより身近に感じられるような機会の創出に取り組み、2020東京五輪に向けて市民の機運醸成を図る。
事業活動内容	○みやざきスポーツ＆健康フェスタ2020への参加 ○米国ホストタウンオンラインシンポジウムへの参加 ○トーゴ共和国建国60周年記念植樹 ○市・駐日トーゴ共和国大使館・（一社）日本トーゴ友好協会による3者相互協力協定の締結 ○トーゴ本国への支援事業（井戸修復、トイレ建設、図書寄贈） ○トーゴ共和国建国61周年記念オンライン式典への参加

成果指標	各種イベントの参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	90	R2	3
			R元	650	R元	401

活動指標	各種イベントの開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	1
			R元	5	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	延期された2020東京五輪の前年度であり、聖火リレーの走者も決定するなど市民の関心も高まってきている。
	市の関与の妥当性	妥当	2020東京五輪を契機に、市民の国際交流の機会の創出や多文化共生社会に向けた機運の醸成を図るためにも、市が主体的に関与する必要がある。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により制限を受けた取組もあったものの、トーゴ共和国との関係では、相互協力協定の締結や本国への支援事業などに取り組むなど、成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、予定していたイベントを中止・縮小したため、目標を達成できなかったが、オンラインを活用するなど代替手段を講じながらある程度の活動量は確保できた。
	コスト削減の可能性	十分ある	コロナ禍により、2020東京五輪が延期されたため、2021年まではコスト削減は難しいが、大会終了後はコスト削減が可能である。
	休廃止した場合の市民への影響	小さい	市民への直接的な影響は少ないが、2020東京五輪は、多文化共生社会に向けた機運醸成としても大きな役割を果たすことが期待されている。
	今後の方向性	縮小	2020東京五輪開催まで、継続して取り組むとともに、ホストタウンレガシーを残すための取組も検討していきたい。

総評（課題・改善点）	2020東京五輪は、多文化共生社会の構築に向けた機運醸成になると期待されており、市民の国際理解を深めることにもつながるため、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮しながら、より多くの市民が関心を持てるよう積極的に取り組む必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	02 移住の促進
小事業	02 定住促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1108	その他の保険料	1,300
0714	その他の役務提供等に対する報償金	100,000	1206	その他の委託料	3,062,000
0802	普通旅費	8,100	1301	使用料及び賃借料	46,632
1001	消耗品費	40,654	1808080	ふるさと回帰センター負担金	50,000
1004	燃料費	41,420	1852030	空家バンク活動事業補助金	229,000
1005	食糧費	6,880	1852035	リラックスサーフタウン日向住活促進プロジェクト補助金	0
1006	印刷製本費	165,632	1867040	日向市移住支援金	0
1007	光熱水費	51,625			
1008	修繕料	34,100			
1101	通信運搬費	37,079			
1103	手数料	134,049			
1106	火災保険料	2,362			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,938,000	4,010,833	0	927,167

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,496,000	366,000	0	74,000	2,074,833
主な財源	地方創生推進交付金、移住等促進支援事業補助金、移住者向け空き家利活用促進支援事業補助金、お試し滞在使用料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

旧幸脇小学校校長住宅耐震診断業務	70,000
サーフタウン日向　移住・定住PR事業業務	2,992,000

事業期間	年度　～　年度
目的	「元気な“日向市”未来創造戦略」の基本目標である「豊かな自然を生かし新たな人を呼び込む未来創造戦略」に掲げる移住定住促進に係る「社会減」対策の一環として、都市部からの移住者の増加や定住人口の増加に取り組む。
事業活動内容	○県主催のリモートによる移住セミナーへの参加（3回） ○市主催のリモートによる移住セミナーの開催（3回） ○お試し滞在施設の運営管理（利用日数　8組　74日） ○お試し滞在施設の拡充準備（耐震診断） ○日向市空き家等情報バンク登録謝礼金（10件） ○日向市空き家利活用促進事業補助金（3件） ○移住パンフレットの印刷（500冊） ○日向市空き家等情報バンクのチラシ印刷（25，500枚） ○移住促進に向けたタブロイド紙および動画の制作

成果指標	相談会等を通じて、市に移住相談に訪れた人	単位	目標		実績	
		人	R2	3	R2	0
			R元	3	R元	6

活動指標	都市部での移住相談会への参加 ※令和2年度の実績値は、リモートによる移住相談会の回数	単位	目標		実績	
		回	R2	5	R2	6
			R元	5	R元	5

事業評価			
	市民のニーズ	高い	人手不足や地域の担い手不足が深刻化しており、人口減少も加速化しているため、UIJターンの促進に期待が集まっており、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	UIJターン促進のためには、「働く場所」の確保や産業界、地域団体との連携が必要不可欠であり、市が主体的に関与する必要がある。
	成　　果	上がっている	成果指標を達成することはできなかったが、今年度の移住者は177人（前年度比88人増）、移住相談件数は120件（前年度比54件増）と、着実に増えている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	移住相談会は全てリモート開催となったが、一定の活動量を確保できた。また、お試し滞在施設はコロナ禍により稼働日数を制限したが関東圏を中心に都市部からの問い合わせが多く、今後も需要が見込める。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	コロナ禍により、移住相談会については、リモートによるセミナー開催を行ったが、手法を工夫することでコストを削減することは可能である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	人口減少による人手不足の解消や地域の担い手確保のためには、UIJターンの促進が必要不可欠であり、中長期的に取り組む必要がある。
	今後の方向性	拡充	コロナ禍により、地方に目を向ける都市部在住者が増えており、相談件数が増加している。こうしたニーズを的確に捉え、自然環境や住みやすいまちづくりなど本市の特性を生かした事業展開が必要である。

総評（課題・改善点）	本市においては、コロナ禍前から移住相談件数が増加しており、今後さらに、自治体間競争が激化することが予想される。今年度の移住セミナーはリモート開催となったが、サーフィン専門誌によるターゲットを絞ったPR活動など新たな取組も行った。より一層「選ばれるまち」になるためには、他都市と差別化を図りながら本市のプロモーションと一体となった魅力発信に努めるとともに、移住者が地域の一員として安心して生活できるようなサポート体制の構築に努める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	04 政策調査研究費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	9,874			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	48,840			
1101	通信運搬費	236,595			
1204	調査・計画策定委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	295,309	0	704,691

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	295,309
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	重要な政策・施策又は新たな行政課題について総合的かつ先行的な視点から調査研究することにより、行政の効率的な運営を推進する。
事業活動内容	○新型コロナウイルス感染症による影響調査（アンケート）

成果指標	新たな政策の実施	単位	目標		実績	
		事業	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

活動指標	先進地視察の実施	単位	目標		実績	
		箇所	R2	1	R2	0
			R元	3	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	普通	本事業は、市民ニーズに対する新たな政策立案や緊急的な課題等に対する解決策を見出すために調査研究等を行うものであり、多様化、複雑化する市民ニーズに柔軟に対応するために必要な事業と考える。
	市の関与の妥当性	妥当	多様化、複雑化する市民ニーズに対応し、様々な地域課題の解決や新たな施策を立案するために、市が主体性を持ち、スピード感を持って積極的に取り組むべきものである。
	成　　果	ある程度上がっている	緊急的な課題解決や新たな政策立案に向けて、スピード感を持って対応することが可能となるが、調査研究の結果によっては、新たな政策立案につながらない場合もあり得る。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響もあり、活動指標に対する実績は、目標値を下回った。
	コスト削減の可能性	ない	本事業は、「政策調査研究費取扱要領」に基づき、各部からの申請によって使途を決定している。緊急的な課題等に対応するために予算を確保しているものであるため、コスト削減の可能性は低い。
	休廃止した場合の市民への影響	小さい	本事業は、市民ニーズに対する新たな政策立案や緊急的な課題等に対する解決策を見出すために調査研究等を行うものであるため、市民への直接的な影響は少ない。
	今後の方向性	維持	市民ニーズへの柔軟な対応や緊急的な課題解決、スピード感をもった政策立案につなげるために今後も継続する必要がある。

総評（課題・改善点）
市民ニーズが多様化・複雑化する中で、様々な地域課題に対し、スピード感を持って柔軟に対応していくためにも大変重要な役割を果たしている事業である。今年度は、コロナ禍における市内事業所等における影響が深刻化している現状に鑑み、臨時に影響調査を実施し、必要な対策の基礎資料を得た。 先進地視察や研修会（リモート開催を含む）のほか、緊急性の高い事案への対応や政策効果を高めるツールとして積極的に活用するよう周知徹底を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	05 総合計画・総合戦略策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	345,600			
0702	出会謝金	50,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	42,000			
0801	費用弁償	2,368			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	113,928			
1005	食糧費	9,100			
1101	通信運搬費	24,000			
1204	調査・計画策定委託料	150,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,982,000	736,996	6,776,000	469,004

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	736,996
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
SDGs職員研修業務委託	150,000

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市総合計画策定条例に基づき、「第2次日向市総合計画・後期基本計画」（令和3年度～6年度）を策定する。また、後期基本計画の策定に合わせて、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき「第2期日向市総合戦略」を策定する。
事業活動内容	○日向市総合計画審議会（5回） ○日向市総合計画審議会審議員との個別の意見交換（18人） ○日向市総合計画策定委員会（6回） ○日向市総合計画策定委員会専門部会（5回） ○日向市総合計画策定委員会ワーキンググループ（3回） ○市議会全員協議会（2回） ○パブリックコメントの実施

成果指標		単位	目標		実績	
	R2：第2次日向市総合計画・後期基本計画及び第2期日向市総合戦略の策定	R2：－	R2	策定完了	R2	策定完了
	R元：市民アンケート回収率	R元：%	R元	40.0	R元	38.1

活動指標		単位	目標		実績	
	市民ワークショップの開催 ※令和2年度はコロナ禍によりワークショップの開催を断念し、聞き取り調査（2回）を実施した。	回	R2	2	R2	2
			R元	6	R元	1

事業評価		
市民のニーズ	高い	総合計画は、市のまちづくりの最上位計画であり、市民との協働の指針である。また、総合戦略は、人口減少の抑制、地方創生に向けた重要な計画であるため市民ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	総合計画は、日向市総合計画策定条例に基づき策定するものであり、総合戦略は、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき自治体に策定努力が課せされている重要な計画であるため市の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	コロナ禍により会議開催等に制約を受けたが、第2次日向市総合計画・後期基本計画及び第2期日向市総合戦略を策定することができた。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍によりワークショップが開催できなくなったため、代替手段としてアンケートを実施し、まちづくりに関する提案を受けることとした。また、審議会委員とは、個別に意見交換を実施した。
コスト削減の可能性	ある程度ある	令和2年度中に当該計画等の策定を完了したため、次期総合計画の策定準備までは、コストを抑えることができる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市の最上位計画となる総合計画や総合戦略は、計画的な市政運営の根幹を成すものであり、休廃止した場合の影響は大きい。
今後の方向性	縮小	令和3年度は、前期基本計画及び第1期総合戦略の成果検証を行うこととしている。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍による制約を受けながらも、予定どおりに「第2次日向市総合計画・後期基本計画」及び「第2期日向市総合戦略」を策定することができた。今後は、第2次日向市総合計画のキャッチフレーズである「リラックスタウン日向」を意識した事業の構築を図るとともに、重点戦略のテーマである「若者」や「女性」にターゲットを絞った施策を展開するなど、各種施策の着実な推進に向けて取り組んでいく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	03 交通ネットワークの充実
小事業	01 地域生活交通対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	85,000	1869004	生活バス路線運行費補助金	11,649,000
0802	普通旅費	13,978	2601	国に対する公課費	42,300
1001	消耗品費	24,201			
1006	印刷製本費	250,250			
1008	修繕料	3,125,071			
1103	手数料	41,250			
1107	自動車損害保険料	228,306			
1203	事業委託料	40,135,066			
1805036	宮崎県鉄道整備促進期成同盟会負担金	17,400			
1805065	宮崎空港振興協議会負担金	50,373			
1806078	日向・東臼杵地域公共交通活性化協議会負担金	109,200			
1808035	東九州軸推進機構負担金	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,423,037	55,791,395	0	631,642

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,248,000	0	0	21,103,000	23,440,395
主な財源	地域公共交通確保維持改善事業費補助金、市民バス使用料、地域振興基金利子、地域振興基金繰入金、コミュニティバス広告料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇事業委託料

市民バス運行業務	37,497,373
廃止路線代替バス運行業務	966,000
上椎葉日向線快速型ミニバス運行業務	1,671,693

事業期間	年度　～　年度
目的	市民の日常生活に必要不可欠な移動手段として役割を果たしている地域公共交通を維持・確保するため、バス事業者への助成や市民バスの運行等を行い、地域住民の利便性と福祉の向上を図る。
事業活動内容	路線バス事業者へ助成等を行うとともに、市民バスについては、利用者や運転手、各種関係団体の代表で構成する市民バス検討委員会を開催し、運行の現状や課題について意見交換を行った。また、ルートの一部見直しや停留所の移設などの要望に対応したほか、アンケート調査や時刻表の再配布を行い、市民バスの利用促進に努めた。 〇市民バスの運行内容 ①ぷらっとバス：日向市駅を中心に東西南北に各2路線、計8路線を運行（月～日、※祝日含む） ②南部ぷらっとバス：日向市駅と南部地域を結ぶ1路線を運行（月～日、※祝日含む） ③乗合バスなんぶ： 南部地域において、各地区と病院、温泉施設を結ぶ3路線をデマンド方式により運行（火～木） ④乗合バスとうごう： 東郷地域において、各地区と病院、道の駅等を結ぶ5路線をデマンド方式により運行（月～金） ⑤乗合タクシーほそしま： イオンタウン日向と細島地区を結ぶ1路線をデマンド方式により運行（月、水、金）

成果指標	市民バス利用者数	単位	目標		実績	
		人	R2	81,000	R2	69,163
			R元	81,000	R元	81,096

活動指標	市民バス検討委員会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	バスは、買い物や通院・通勤等、生活に密着する交通手段であり、特に車を運転することが出来ない高齢者等にとっては必要不可欠な公共交通機関である。
	市の関与の妥当性	妥当	交通事業者のサービス提供が見込めない地域において、生活に欠かせない移動手段を維持・確保するためには行政の関与が必要である。
	成　果	上がっていない	コロナ禍における外出自粛等の影響もあり、市民バスにおいては利用者が前年度と比較して約15%減少した。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により、出前講座など予定していたPRの機会が確保できず、利用促進活動がほとんどできなかった。
	コスト削減の可能性	ない	車両の更新により、維持管理費等の軽減は図られるが、乗務員不足に伴う人件費の上昇等により、全体的なコスト削減の可能性は低い。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	路線バス・市民バスともに、生活に密着した交通手段であることから、交通インフラが不十分な本市や圏域において、休廃止となった場合の影響は非常に大きい。
	今後の方向性	維持	地域公共交通の維持・確保は、地域の存続に直結する重要課題であることから、利便性の高いまちづくりに向けて利用促進活動に努めるとともに、近隣市町村や関係機関等と連携して適切な交通ネットワークの構築に取り組んでいく。

総評（課題・改善点）	地域公共交通は、市民の日常生活を支える重要な交通手段であり、引き続き、利便性の向上を図り、維持・存続に努めていく必要がある。令和2年度はコロナ禍の影響もあり、利用者も大きく減少し、PR活動も不十分であった。市民バス検討委員会においても、市民ニーズに応じた安心・安全な運行と積極的な利用促進活動を求める声があり、より一層、ニーズの把握と出前講座などによるPR活動の充実に努める。また、圏域自治体や交通事業者等と連携し、路線バスの維持・存続に向けた効果的な施策を検討していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	04 広域連携の推進
小事業	02 定住自立圏形成推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,000	2,600	0	117,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,600
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	宮崎県北の市町村が互いに連携・協力することにより、圏域全体への人口定住を図るための必要な生活機能を確保し、将来にわたって安心して暮らし続けられる魅力ある地域づくりの形成を図る。 ※定住自立圏・・・人口が5万人程度以上で、一定の都市機能を有する都市が中心市となり、周辺市町村との連携により圏域が一体となって人口流出を食い止めるとともに、人の流れを創出していく取組。
事業活動内容	本市は、日向・東臼杵圏域の中心市として、また、延岡市を中心とする宮崎県北域における周辺市として、定住自立圏の形成に取り組んでおり、圏域の中心となる「中心市」の都市機能と「周辺市町村」の環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用し、相互に役割を分担して、定住の受け皿となる自立した生活圏域の形成に取り組んできた。 日向・東臼杵圏域における具体的活動については、関係市町村で構成する『日向・東臼杵市町村振興協議会』にて実施した。 〇日向圏域定住自立圏共生ビジョンの見直し 関係市町村とともに協定に基づき推進する具体的取組について、見直し作業を実施（書面開催）

成果指標	日向・東臼杵圏域における前年度の10.1現在の人口	単位	目標		実績	
		人	R2	86,000	R2	85,515
			R元	87,000	R元	86,459

活動指標	共生ビジョン懇談会の開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1（書面開催）
			R元	1	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	厳しい財政状況の中において、住民サービスを維持・拡充していくためにも、他市町村等の連携による効率的な組織体制の構築を図っていくことは必要不可欠である。
	市の関与の妥当性	妥当	自治体や民間企業等、多様な主体間の連携を促すためにも、市の積極的な取組が必要である。本市は日向・東臼杵の圏域の中心市として、中心的な役割を果たすことが求められている。
	成　　果	ある程度上がっている	人口減少に歯止めがかからないものの、効率的な行政運営に資する広域行政の推進に努め、圏域で「日向・東臼杵郡行政不服審査会」を共同設置することができた。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ過により、共生ビジョン懇談会が書面開催となり意見交換ができず、日向・東臼杵市町村振興協議会（専門部会）も例年に比べ開催回数が減少した。
	コスト削減の可能性	ない	定住自立圏構想推進要綱に基づく会議に要する費用であり、必要最小限の予算措置としている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	生活圏・経済圏を同じくする圏域自治体と多くの分野で広域行政を進めており、休廃止は住民サービスの低下や行財政改革に逆行する。
	今後の方向性	維持	様々な分野における広域連携により、効率的な組織体制の構築や住民サービスの向上を図り、圏域の抱える広域的課題の解決や行財政改革を推進する必要がある。

総評（課題・改善点）	圏域における急激な人口減少や少子高齢化への対応は、単独自治体での解決には限界があり、広域行政による自治体間の連携強化が強く求められている。令和2年度は、コロナ禍により活動が不十分であったが、行政不服審査会の共同設置などで成果を得ることができた。各分野の活動に温度差も見られるが、多くの協議の機会を設け、関係市町村が連携して共生ビジョンに掲げる各種施策の実現に向けて努力していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	04 マイナポイント事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,049,337			
0301	職員手当	121,256			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	171,616			
0801	費用弁償	18,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,362,000	1,360,209	0	1,791

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,360,000	0	0	0	209
主な財源	マイナポイント事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	国が推進するマイナポイント事業に際し、本市における窓口でのマイナポイント予約支援（マイキーID設定）・マイナポイント申込支援（キャッシュレス事業者の選択）の実施に対し、国庫補助金（10／10）を活用して会計年度任用職員を雇用し対応するもの。
事業活動内容	○会計年度任用職員雇用に係る経費 ・雇用人数　1人 ・雇用期間　令和2年7月～3月末（週30時間・9か月） ・業務内容 マイナポイント予約支援（マイキーID設定） マイナポイント申込支援（キャッシュレス事業者の選択） マイナポイントの取得や利用方法などの問合せ対応

成果指標	マイナポイント予約・申込支援件数	単位	目標		実績	
		件数	R2	5,700	R2	6,719
			R元	—	R元	—

活動指標	窓口での申込支援期間	単位	目標		実績	
		月数	R2	9	R2	9
			R元	—	R元	—

事業評価			
	市民のニーズ	高い	全国的なPR活動が行われたこともあり、制度内容や申込方法に関する問い合わせが多かった。
	市の関与の妥当性	妥当	国からも補助制度を活用した積極的な周知活動と手続支援の要請もあり、市民に身近な基礎自治体として適切に対応した。
	成　　果	ある程度上がっている	電話や窓口で機器の操作方法等を教示することにより、多くの市民のポイント取得等を支援した。
	成果に向けた活動量	十分であった	来庁した市民が相談しやすいよう市民課総合案内に専用スペースを設けて職員を常駐させ、市民サービスの向上に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	国の補助制度を活用した一時的な業務量増加に対する経費であり、市民サービスの確保から削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	申込方法がわからない、インターネット環境がないといった市民ニーズに円滑に応えることができないほか、窓口の混雑が生じる可能性が高い。
	今後の方向性	縮小	マイナポイントの申込が令和3年9月末まで延長となったことから、令和3年度も引き続き、国の補助事業により申込支援を実施する。

総評（課題・改善点）	マイナンバーカード取得者が対象となるので、マイナンバーカード交付時にマイナポイント制度の説明をするなど、一体的な支援を進める必要がある。令和3年度より、市民課にマイナンバーカード係を新設して体制強化を図り、マイナポイント事業も進めながらマイナンバーカードの普及に努める。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課　0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	03 文書広報費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	02 広報・広聴機能の充実に関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116	1301	使用料及び賃借料	554,390
0301	職員手当	197,041	1701	庁用器具費（一般的事務用）	44,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	233,926	1808020	日本広報協会負担金	24,000
0801	費用弁償	24,000	1825002	研修会負担金	0
0802	普通旅費	9,140			
1001	消耗品費	590,492			
1004	燃料費	23,935			
1006	印刷製本費	10,998,790			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	150,000			
1104	広告料	840,950			
1203	事業委託料	3,987,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,687,000	19,077,280	0	609,720

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	467,000	18,610,280
主な財源	広報ひゅうが広告料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 広報番組制作・放送業務　2,337,500
- 広報ラジオ番組制作・放送業務　1,650,000

事業期間	年度　～　年度
目的	市政情報を市民に伝えるとともに、広聴の機会を設けることにより、住民と行政との情報共有化を図ることで、市民協働のまちづくりに向けた意識を醸成していく。また、各種施策やイベントなどの情報を市内はもとより全国へ積極的にPRすることで、観光客の増加や定住促進などへの波及効果を図る。
事業活動内容	○広報ひゅうがの発行　月20，000部（6月のみ22，900部）、 年9回が20ページ　年3回が24ページ ○テレビ・ラジオ・新聞等広告 ○ケーブルメディアワイワイ番組制作・放映委託　5回／月（7分）×12月（10本/年間） FMひゅうが番組制作・放送委託（月～金）　3回／日（5分）×12月（24本/年間） ○定例記者発表のほか、報道機関に随時情報提供 ○定例（臨時）記者発表の動画配信（ユーチューブ） ○広報ひゅうがのほか、ホームページやフェイスブックなどIT、ICTを活用した情報発信 ○広報推進員研修の実施及び情報発信PDCAシートの活用推進 ○新成人と市長との少人数での座談会を実施 ○広報ひゅうがを利用して、広報等に関する読者アンケートを実施

成果指標	座談会等参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	400	R2	4
			R元	400	R元	316

活動指標	①広報研修回数 ②座談会開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	①3 ②10	R2	①1 ②1
			R元	①3 ②10	R元	①2 ②10

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民に情報格差が生じないよう、多様な広報媒体による情報発信が求められている。座談会など広聴機会の設定に関するニーズも高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の「知る権利」と「市政へ参画する権利」を保障し、市民への説明責任を果たすために、広聴・広報活動の充実を図ることは市の責務である。
	成　　果	ある程度上がっている	報道機関への情報提供や多様な広報媒体による積極的な情報発信による市民との情報共有を図っている。なお、コロナ禍により座談会や職員研修などの活動が制限された。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により広報・広聴活動に大きな制限がされた中、感染者情報や緊急経済対策等など、危機管理下における市民への情報発信に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	市民ニーズの多様化に対応するとともに、SNSなど新たな広報媒体を活用した情報発信が必要であり、コストの削減余地は小さい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民との市政情報の共有は、協働のまちづくりの前提であり、情報発信力の低下は、市政への関心低下や行政不信に繋がりかねない。
	今後の方向性	維持	引き続き、職員の情報発信力強化を図るとともに、市民のニーズに合った情報発信に努めたい。

総評（課題・改善点）	新たな情報発信手段として、市公式アプリを導入するなど、さまざまな広報媒体を活用することで成果は上がっている。 一方、これまで優先課題としてきた「職員研修」や「広聴活動の充実」への取組は、長期化するコロナ禍により改善に向けた取組が大きく制限された。今後は対面方式にならない「職員研修」や「広聴活動」など、新しい生活様式に合わせた事業構築を図っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課　0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	01 ホームページ等運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	627,880			
1205	システム開発等委託料	550,000			
1206	その他の委託料	52,800			
1301	使用料及び賃借料	605,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,990,000	1,835,680	0	154,320

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	297,000	1,538,680
主な財源	ホームページバナー広告料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

ホームページ保守業務	627,880
公式アプリケーション導入業務委託	550,000
デジタルアーカイブ維持管理業務	52,800

事業期間	年度　～　年度
目的	行政と市民との情報共有化を図るため、公式ホームページを利用して市政情報を積極的に発信するとともに、本市の魅力ある情報を市内外へ広く発信することで、観光客の誘客や移住定住の促進を図る。また、新たに公式アプリを導入することにより、スマートフォンなどの利用者にプッシュ型の積極的な情報発信が可能になり、必要な情報を的確に受け取ることができ、利便性の向上が図れる。
事業活動内容	〇ホームページ運営管理業務委託 〇公式アプリケーション導入業務委託 〇デジタルアーカイブサイト維持管理（広報紙データの掲載と保管）

成果指標	アクセス数	単位	目標		実績	
		件	R2	550,000	R2	959,455
			R元	550,000	R元	608,649

活動指標	ホームページ活用等に関する研修会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	1
			R元	3	R元	2

事業評価		
市民のニーズ	高い	スマートフォン等の普及が進み、ホームページで情報を入手する人が増加しているため、情報を入手する手段としてのニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	市が保有する情報を市民と共有するため、ホームページの特徴である即時性を生かした積極的な情報発信は重要である。
成　果	上がっている	新型コロナウイルス感染症の感染状況をホームページで更新したことから、アクセス数が急増したものと分析している。
成果に向けた活動量	ある程度あった	感染症関連情報を随時更新したことや緊急経済対策等の申請関連情報等の案内など、例年以上の情報更新を行った。
コスト削減の可能性	ない	スマートフォンの普及が進み情報収集手段がデジタルに移行する中、即時性の高い情報発信手段であるホームページなど、広報活動におけるIT、ICTの活用は、これまで以上の整備が必要となる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市内外を問わず、市政情報の積極的な発信は不可欠であり、日常生活に浸透してきたIT、ICT関連の情報発信ツールを廃止することは、市民生活の利便性を大きく損なうこととなる。
今後の方向性	維持	今後もさらにIT、ICTの技術革新は続き、市民生活から手放せないツールになると考えられ、IT、ICTを活用した情報発信はさらに重要性を増すと思われる。

総評（課題・改善点）	長期化するコロナ禍により、リモートワークが広がりを見せる中、今後は行政手続きのオンライン化が進むことも予想されるなど、社会状況の変化に応じた情報発信の在り方を研究していかなければならない。また、ホームページ単体ではなく、FacebookやYouTubeなどのSNSや、スマートフォンのアプリケーションなどとの連携に加え、新たな技術革新による時代の潮流に遅れることなく、市民のニーズに合った情報発信に取り組んでいく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	10 国際化への対応と国際交流の推進
中事業	02 国際交流の推進
小事業	02 外国青年招致及び国際交流まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,520,000			
0406	国際交流員報酬に係る保険料	521,460			
0801	費用弁償	5,840			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	16,000			
1301	使用料及び賃借料	576,000			
1808013	自治体国際化協会負担金	92,000			
1808014	JETプログラム負担金	24,120			
1825002	研修会負担金	0			
1832002	日向市国際交流まちづくり推進協議会補助金	52,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,344,000	4,807,420	0	536,580

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	306,000	4,501,420
主な財源	国際交流員住宅家賃収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　4　年度　～　年度
目的	国際化の進展に伴い、国際社会の一員として広い視野を持ち、より相互理解を深めることが求められている中で、国際交流の場を提供し、市民の国際感覚の醸成を図る。 また、国際交流員を活用し、市内在住外国人や日向市に来訪する外国人への行政情報の発信や国際港湾都市日向の魅力を発信していく。
事業活動内容	○国際交流員事業 （一財）自治体国際化協会を通して外国から招致している国際交流員による英会話教室を開催し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、市広報紙等で外国人から見た異文化紹介などの情報発信を行った。 コロナ禍により、市内幼稚園・保育園等への訪問や市内各種団体からの派遣要請による異文化紹介などの国際交流活動は実施することができなかったが、市ホームページにおいて、国際交流員を活用して、「やさしい日本語」を用いた新型コロナ情報を掲載するなど、市内在住外国人の支援に取り組んだ。 ○国際交流まちづくり推進協議会主催の国際交流イベント等の開催 国際交流員を活用した母国の文化や伝統を紹介するイベント等を開催し、国際交流の場を市民に提供した。

成果指標	国際交流イベント参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	100	R2	52
			R元	250	R元	257

活動指標	推進協議会イベント実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	4	R2	1
			R元	8	R元	9

事業評価			
	市民のニーズ	高い	各イベント等において国際交流員との交流を通して、異文化理解、国際感覚の醸成を図ろうとする市民が多い状況からニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	グローバル社会において、国際交流員を招致し市民との交流や情報発信を行うことは、市民の国際感覚の醸成を高める上で大変重要であり、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により十分な国際交流活動ができなかったが、英会話教室やイベントを通して異文化・国際理解が図られた。また、市ホームページで在住外国人の支援に取り組むことができた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	推進協議会を開催し、各委員に協議をいただきイベント等を行うことができた。一方で、コロナ禍により中止となった事業もあり、市民への国際交流の機会を十分に提供できなかった。
	コスト削減の可能性	ない	本事業については国際交流員の招致が不可欠であり、今後も予算化の上、計画的に各事業を実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本市では、在住外国人が増加しており、市民の異文化理解・国際感覚の醸成はますます重要となっている。このような中で、本事業を休廃止した場合は、異文化共生の地域づくりが停滞する。
	今後の方向性	維持	本市は国際港湾都市であることから、国際化の進展への対応は継続して取り組む必要がある。今後も国際交流事業を実施し、市民の異文化理解・国際感覚の醸成を図る。

総評（課題・改善点）	
	観光等による外国人の来訪者に加え、本市に在住する外国人も増加しており、国際化の進展は一層加速することが考えられる。 このようなことから、異文化共生の地域づくりに向けて、各種イベント等に加え、今後は在住外国人の支援事業も検討するなど、同じ市民として異文化理解・国際感覚の醸成を図っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	02 新しい地域コミュニティ組織制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	69,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	51,000			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1832010	新しい地域コミュニティ制度事業交付金	1,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,637,000	1,420,000	0	217,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,300,000	120,000
主な財源	市民活動支援基金利子、日向市市民活動支援基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　22　年度　～　年度
目的	自治会（区）単位では実施が困難な活動や広範囲な地域課題への対応など、新たな地域コミュニティ組織による活動を通して、持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化を図る。
事業活動内容	○まちづくり協議会設置地区（細島、平岩、塩見、東郷）の持続可能な地域づくりと地域コミュニティの活性化、地域課題の解決に向けた活動への支援として、交付金の交付等を行った。 ○令和3年3月に策定した「日向市地域コミュニティ推進基本方針」の検討段階において、策定委員会や各まちづくり協議会役員との意見交換の際に、それぞれの取組や課題を共有した。 ○まちづくり協議会未設置地区に対して、本制度概要の説明を行った。

成果指標	地域課題解決型事業実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	16	R2	16
			R元	16	R元	16

活動指標	合同連絡会議・事業説明会開催件数	単位	目標		実績	
		回	R2	8	R2	9
			R元	8	R元	8

事業評価			
	市民のニーズ	高い	人口減少に伴う担い手不足等により、自治会（区）単位では対応困難な課題が生じていることから、協議会がその補完的役割を担い、持続可能なまちづくりと地域の活性化を図る必要がある。
	市の関与の妥当性	妥当	自治会（区）と共に共助の担い手となっているまちづくり協議会を支援することにより、行政だけでは対応できない地域課題への対応が図られている。
	成　果	上がっている	各協議会においては、地域課題への対応や地域コミュニティの維持・向上を図る事業などが行われており、特色のある住民主体のまちづくりが進められている。
	成果に向けた活動量	十分であった	各協議会と意見交換を行い、取組や課題を共有しながら活動を促進した。また、未設置地区には大字区長会等で制度説明を行ったが、引き続き、機運醸成を図っていく必要がある。
	コスト削減の可能性	ない	今後の交付金のあり方については現在検討中であるが、共助の担い手となっているまちづくり協議会の取組を持続させるためには、市からの支援を継続することが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止した場合、住民が主役の地域づくりの活動が低下し、行政だけでは対応できない地域課題への対応や持続可能なまちづくりが困難になることが予想される。
	今後の方向性	拡充	人口減少や住民間のコミュニティ意識の希薄化が進行している中で、地域づくりの担い手確保や持続可能なまちづくりを推進するため、既存地区や新たな協議会設立に対する支援を行う。

総評（課題・改善点）	急速な人口減少により地域力が低下している中、自治会（区）単位を超え、さまざまな主体が連携して地域活動を実施する本事業は、持続可能なまちづくりのためにも今後ますます重要になってきている。設立地区においては地域課題解決のための自主的な取組と地域の活性化を図るための支援を行い、未設置地区に対しては、本制度の導入の促進を継続していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	01 ひまわり基金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867004	日向市ひまわり基金事業推進協議会補助金	151,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
151,000	151,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	151,000	0
主な財源	ひまわり基金利子、ひまわり基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　2　年度　～　年度
目的	協働の担い手である市民活動団体等からの公益的な提案事業の支援を行うことにより、協働のまちづくりを推進する。また、主に若者を対象に学ぶ機会を提供し、地域課題の解決のための手法について学んでもらうことにより、将来のまちづくりのリーダーとなる人財の育成と地域の活性化を図る。
事業活動内容	①市民活動助成事業 市民活動団体が取り組む公益的なまちづくり、人づくり等の事業の経費に対して、1団体につき15万円を限度に助成を行った。 ②人財づくり事業「日向ドラゴンアカデミー」 県内外のまちづくり等で活躍する方を講師に迎え、主に若者を対象にワークショップや市内の現地視察等の講座を実施しながら、本市の地域資源を活かしたまちづくりや地域課題解決のための手法を学ぶことにより、将来のまちづくりや地域活性化を担う人財の育成を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

成果指標	人材づくり事業における企画事業提案数	単位	目標		実績	
		件	R2	4	R2	1
			R元	4	R元	9

活動指標	人材づくり事業講座回数	単位	目標		実績	
		件	R2	6	R2	0
			R元	6	R元	6

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本事業は、市民活動団体の活動支援と将来を担う人財の育成を行っており、市民のニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	協働のまちづくりを推進していくうえでは、市民活動団体の活動の活性化と将来を担う人財の育成は大変重要であることから、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	助成事業の募集について情報発信を行ったが、コロナ禍によるイベント等開催の自粛により事業提案数は減少した。しかし、人財づくり事業においては、卒塾生が実際に実践・事業化しているものもあり、成果が出ていると考える。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	助成事業の紹介や募集については、市ホームページやフェイスブック等で情報発信を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	助成事業については、ひまわり基金事業推進協議会の委員による書類審査を経て助成額を決定しており、適切な補助金支出を図っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止した場合、市民活動団体が実施する公益的な取組が衰退し、また、人財育成についても進まなくなることから、協働のまちづくりや地域の活性化の低下が想定される。
	今後の方向性	維持	人口減少が進む中においては、市民活動団体の活動や将来を担う人財の育成は協働のまちづくりを進めるうえで必要不可欠であることから、本事業は継続していく必要がある。

総評（課題・改善点）	令和2年度の市民活動助成事業は、コロナ禍により新規事業が1件であった。引き続き、協働のまちづくりを推進し、新たな市民活動の促進につなげていくことが重要である。また、人財づくり事業では、これまでも市内の参加者が少ないため、講座内容や開催日時等を見直し、今後も市民が多く参加する工夫を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	02 NPOの育成・支援
小事業	02 協働のまちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0707	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金 財務	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	17,000			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	45,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1852012	市民提案事業公募補助金	160,000			
2403	その他特定目的基金積立金	8,900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,236,000	9,122,000	0	114,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	9,060,000	62,000
主な財源	地域振興基金繰入金、ミニボートピア日向環境整備協力費				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇負担金補助及び交付金
（市民提案事業公募補助金）
映画「キネマの神様」日向市特別先行上映会　160,000

事業期間	平成　18　年度　～　年度
目的	市民活動団体等から自発的に提案される公益的な事業を支援することにより、市民力・地域力を活用した協働のまちづくりの推進や地域課題の解決を図る。 また、市民や市職員を対象に、協働に関する情報発信、研修会等を実施し理解を深めることで、「自助・共助・公助」のバランスがとれた地域づくりを進める。
事業活動内容	〇日向市市民まちづくり支援事業 市民活動団体等への支援を行うことを通して、協働のまちづくりを推進することを目的に、市民活動団体等が自由な発想で自らが主体となって行う企画提案事業に対して補助を行った。 ・地域づくり事業　補助対象経費の3／4 以内　限度額50万円 ・地域のにぎわい創出事業　補助対象経費の1／2 以内　限度額50万円 ・地域づくり整備事業　補助対象経費の10／10以内　限度額400万円 〇協働啓発事業 ホームページでの情報発信を通して、協働のまちづくりに対する意識の醸成を図った。また、市職員を対象とした協働に関する研修を計画していたが、コロナ禍により実施できなかった。

成果指標	企画提案事業件数	単位	目標		実績	
		件	R2	9	R2	1
			R元	9	R元	8

活動指標	事業周知回数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	8
			R元	10	R元	9

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本補助金は、市民活動団体が企画提案する公益的な事業に対して補助するものであり、市民ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	公益的な事業を行う市民活動団体を対象とすることにより、協働のまちづくりの推進が図られることから、市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍によるイベント等開催の自粛により提案事業数は減少した。しかし、提案された事業内容は審査会において審査しており、企画提案団体は創意工夫を凝らし、審査委員からのアドバイスも参考にしながら事業を実施していくことから、内容の充実が図られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	市のホームページやフェイスブック、まちづくりニュースやマスコミを活用した事業の紹介、募集を通して周知を行い、市民活動団体が本事業を知り、活用できるよう情報発信を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	提案された事業は、補助金の適正かつ効果的な活用を図るために、審査会において事業計画や収支予算等に関しても審査を行っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止した場合、公益性の高い事業等の開催が困難になり、協働のまちづくりの意識低下や団体の活動衰退が懸念される。
	今後の方向性	維持	市民活動団体等が各分野で実施する公益的な事業を通じて、地域力の向上と人財育成が図られていることから支援は必要である。

総評（課題・改善点）

本事業は、市民活動団体が企画提案して実施する公益的な事業への支援を通して、市民活動の促進と地域力を高めるためのものであるが、本事業を活用している団体は既存団体によるものがほとんどであることから、新規団体による活用が広がる取組をはじめ、コロナ禍による社会情勢に応じた補助内容の見直し等も必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	02 公民館活動の充実
小事業	01 自治公民館の整備助成

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1860016	自治公民館整備費補助金	4,842,000			
1860020	コミュニティ助成事業補助金	12,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,500,000	17,142,000	0	2,358,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,300,000	4,842,000
主な財源	コミュニティ助成事業助成金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇負担金補助及び交付金
①自治公民館整備費補助金
・本宮区本村公民館（空調設備、建具更新）　372,000
・西草場区自治公民館（空調設備）　643,000
・春原区自治公民館（新築）　3,827,000
②コミュニティ助成事業補助金
・迫野内区自治公民館（備品整備）　1,400,000
・長江区自治公民館（大規模修繕）　10,900,000

事業期間　昭和　42　年度　～　年度

目的

地域住民の憩いの場、防災拠点、福祉・子育て支援など、地域活動の拠点となる自治公民館等を整備することによって、自治会活動及び地域コミュニティの活性化を図る。

事業活動内容

自治公民館の新築（建替）・改修・修繕・屋外放送設備・空調設備・備品の整備に対する助成を行った。
〇助成内容
①自治公民館整備費補助金　〈補助率〉建築費又は取得費等の50／100
・新築、移築、取得　補助限度額：5，000千円
・増築、改修、修繕、空調設備　補助限度額：3，000千円
・屋外放送設備　補助限度額：1，000千円
②コミュニティ助成事業補助金
・一般コミュニティ助成事業　補助限度額：1，000千円から2，500千円まで
・コミュニティセンター助成事業　補助限度額：15，000千円
〇令和2年度助成内容
①自治公民館整備費補助金　：本宮（空調設備、建具更新）、西草場（空調設備）、春原（新築）
②コミュニティ助成事業補助金：迫野内（備品整備）、長江（大規模修繕）

成果指標	助成件数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	5
			R元	2	R元	4

活動指標	制度の説明	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	高い	老朽化が進んでいる自治公民館も多く、各自治会（区）から改修や建替などの相談を受けており、ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	自治公民館の整備は、各自治会（区）が安全かつ快適に地域活動を行う上で重要であり、市が継続して支援していく必要がある。
	成　　果	上がっている	各自治会（区）から整備要望を受け付けながら、年次的に助成を行っている。
	成果に向けた活動量	十分であった	区長公民館長連合会の総会や運営委員会において、本制度の内容について説明・周知を図っている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	自治公民館の新築（建替）・改修等に関しては、国・県などの助成制度を活用することで、市及び自治会（区）の負担軽減を図る必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	自治公民館は、地域の中核的役割を担う自治会（区）の活動拠点となっており、本制度による継続した支援が必要である。
	今後の方向性	維持	経年により多くの自治公民館が老朽化している中で、修繕等の必要性が高まっており、引き続き予算の範囲内で支援を行っていく。

総評（課題・改善点）

自治公民館は、各自治会（区）が地域活動を行っていくために重要な拠点施設であることから、今後も継続して施設整備等の支援を行っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	05 自治公民館活動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	54,780			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	52,241			
1005	食糧費	26,000			
1006	印刷製本費	59,796			
1206	その他の委託料	0			
1805017	宮崎県公民館連合会負担金	25,600			
1825002	研修会負担金	0			
1840015	区長公民館長連合会運営補助金	2,513,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,668,000	2,732,717	0	935,283

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,732,717
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	昭和　47　年度　～　年度
目的	地域コミュニティの中核を担う日向市区長公民館長連合会に運営費等の助成を行うほか、各自治公民館活動への運営支援を行うことにより、住民の創意と工夫にあふれた明るく住みよい地域づくりを促進する。
事業活動内容	○自治公民館活動支援事業 ・市内各自治公民館の活動費の運営補助 ・区長公民館長連合会運営事務経費の助成 ・区長公民館長連合会が実施するスポーツ事業、研修大会等に係る経費の助成 ・区未加入者対策への支援 ・自治公民館活動関係の大会、研修会等への参加 ・その他、区長公民館長の活動支援（地域担当職員制度の運用）

成果指標	自治会（区）加入率	単位	目標		実績	
		%	R2	69	R2	65.9
			R元	68.9	R元	67.4

活動指標	各種大会・研修会開催件数	単位	目標		実績	
		件	R2	5	R2	3
			R元	5	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	区長公民館長連合会や各自治会（区）では安全安心なまちづくりのために様々な活動が行われており、人口減少社会の中で、その役割はますます重要になることから、ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	共助の中核的役割を担い、市の多くの施策等に協力いただいている区長公民館長連合会や各自治公民館活動に対し、市が支援を行うことは住みよいまちづくりを促進していく上で必要である。
	成　　果	上がっていない	区長公民館長連合会と市や関係機関が連携して区加入を促進しているが、核家族化の進行に伴う未加入世帯増や高齢者世帯の施設入所等による区脱退などにより、加入率が低下している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	区長公民館長連合会では、コロナ禍により一部実施できなかった事業もあったが、研修会による学びの機会の確保、スポーツ事業による健康増進及び親睦交流が図られた。
	コスト削減の可能性	ない	多様化する市民のニーズに対して、市のみでは対応できず、共助の中核的役割を担う自治会（区）の力がますます重要となっていることから、継続した支援が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休止した場合、各自治会（区）の活動が衰退することが予想され、また、市の各種事業にも多大な影響が及び、自助・共助・公助によるまちづくりが困難となる。
	今後の方向性	維持	地域コミュニティの中核的組織である区長公民館長連合会をはじめ、各自治会（区）の活動を継続して支援しながら、市民が主役のまちづくりを推進していく。

総評（課題・改善点）	加速化する人口減少や大規模化する自然災害などといった多くの課題がある中、地域の中核的役割を担う自治会（区）の存在は、地域コミュニティの維持及び向上においてますます重要なものとなっている。今後も区長公民館長連合会や各自治公民館活動への支援を行い、地域が主体となった安全安心で住みよいまちづくりを促進していくことが必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0002 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備
小事業	01 男女共同参画社会づくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	121,600			
0701	講師謝金	30,000			
0801	費用弁償	8,658			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	28,385			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
386,000	188,643	0	197,357

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	188,643
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　22　年度　～　年度
目的	性別にかかわらず、全ての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、推進体制の充実を図る。
事業活動内容	「男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画推進の取組を総合的かつ効果的に行った。 主な実施事業 ○男女共同参画推進審議会の開催（2回） 7月27日　第5次日向市男女共同参画プラン及び審議会の役割 11月5日　「男女共同参画プラン」の進捗状況に対する評価等 ○市職員を対象にした男女共同参画に関する研修会の実施（1回） 2月9日　男女共同参画に関する職員研修 ○男女共同参画意識啓発事業の実施（2か所） 6月23日～29日　男女共同参画週間におけるパネル展（庁舎1階市民ホール） 6月29日～7月6日　男女共同参画週間におけるパネル展（市立図書館2階）

成果指標		単位	目標		実績	
	「第5次日向市男女共同参画プラン」関連施策・事業の数値目標の達成率	%	R2	70	R2	72.1
			R元	70	R元	74.2

活動指標		単位	目標		実績	
	男女共同参画に関する講座等の開催回数	回	R2	20	R2	15
			R元	20	R元	26

事業評価			
	市民のニーズ	高い	多様な生き方を選択するに際し、性別役割分担意識に基づく社会制度や慣行が大きな影響を及ぼしているため、男女共同参画社会の形成に向けた継続的な推進が必要である。
	市の関与の妥当性	妥当	男女共同参画基本法に基づき、市では日向市男女共同参画推進条例を制定して、男女共同参画社会の形成促進を主要な政策と位置付けている。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により講座等の開催回数は減少したが、講座への高校生の参加もあるなど、若年層への働きかけができている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	第5次男女共同参画プランに基づき、拠点施設（さんぴあ）と連携しながら、男女共同参画社会の実現に向けた事業の推進を図った。
	コスト削減の可能性	ない	審議会や研修会開催に伴う予算は、必要最低限での執行に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	男女共同参画社会の形成促進は、法律や条例、SDGsなどにおいて社会全体での対応が求められており、市民の人権尊重や個性・能力の発揮に影響が生じることが考えられる。
	今後の方向性	維持	第6次男女共同参画プランの策定作業を進めるとともに、拠点施設であるさんぴあと連携しながら、行政・市民・事業者が一体となった推進体制の構築に努める。

総評（課題・改善点）	令和2年度も第5次日向市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の視点に立った各種事業の推進に努めるとともに、審議会において各種事業の評価などを行った。男女共同参画社会の実現のためには、市民一人ひとりに男女共同参画意識の浸透を図る必要があることから、今後とも、行政、市民、事業者等が一体となった推進体制の整備・強化を進めるとともに、オンラインを活用するなど多様な手法で研修や啓発活動を充実させていきたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0002 男女共同参画推進係		
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業	大事業	09 男女共同参画社会づくり			
	中事業	01 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備			
	小事業	02 男女共同参画プラン策定事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,507			
1203	事業委託料	1,131,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,420,000	1,139,407	0	280,593

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,139,407
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）
男女共同参画社会づくりのための市民意識調査業務　1,131,900

事業期間	令和　2 年度　～　令和　3 年度
目的	「第5次日向市男女共同参画プラン」の計画年度が令和3年度に終了することから、次期「第6次日向市男女共同参画プラン」を策定するための基礎資料となる市民意識調査を実施する。本調査を通じて住民のニーズや現状を把握することにより、全市的な男女共同参画社会づくりの実現を目指して取り組むべき施策・事業を検討する。
事業活動内容	令和3年度に「第6次日向市男女共同参画プラン」を策定するための基礎資料となる市民意識調査を実施し、実態把握と分析を行った。 意識調査の概要 ○調査対象者　日向市内在住の20歳以上の男女2，000人（男女各1，000人）　無作為抽出 ○調査方法　郵送配布、郵送回収 ○調査時期　令和2年9月～10月 ○回収状況　有効回収数：827人（有効回収率：41．4%）

成果指標	市民意識調査の回収率	単位	目標		実績	
		%	R2	32.2	R2	41.4
			R元	—	R元	—

活動指標	市民意識調査実施に関する業者との打ち合わせ回数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	12
			R元	—	R元	—

事業評価			
	市民のニーズ	高い	現状や課題に対応したプランを策定するために、意識調査を行うことは市民協働のまちづくりを進めるうえで有効である。
	市の関与の妥当性	妥当	男女共同参画基本計画の策定は、日向市男女共同参画推進条例で義務付けられており、市が主体的に実施しなければならない。
	成　果	上がっている	意識調査を実施し、第6次プラン策定に生かすためのデータが収集できた。
	成果に向けた活動量	十分であった	委託業者の専門的知見を活用することにより事務の軽減が図られ、比較的高い回収率が得られた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	直営で行うことや、集計作業でのAI-OCR、RPA活用なども考えられる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	実効性の高いプラン策定のために、市民ニーズ等の把握は重要である。
	今後の方向性	維持	市民意識調査は、プランの計画期間に応じて更新時に実施することとし、今回の結果は第6次プラン策定に生かす。

総評（課題・改善点）	設問の内容など業者との協議に時間を要した部分もあったが、事務の効率化が図られ、比較的高い回収率を得ることができた。この貴重なデータを前回調査と比較しながら次期プラン策定に生かす必要がある。また、RPA活用などICTを活用した場合のコスト比較も今後研究していきたい。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0002 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	09 男女共同参画社会づくり
中事業	03 安全・安心な暮らしの実現
小事業	01 DV対策推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,140,000			
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	8,360			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	4,051			
1101	通信運搬費	48,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,626,000	1,200,411	0	425,589

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,200,411
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	配偶者等からの暴力を許さない地域社会づくりに向けて啓発を行っていくとともに、DV被害者への支援体制の充実を図る。
事業活動内容	配偶者等からの暴力の防止につながる啓発とDV被害者への支援を行う。 ◯相談事業 男女共同参画相談員による面接・電話相談の実施（週4日：月、火、木、金） ※10月から毎週月曜日は午後5時から8時まで電話相談時間を延長し、相談体制の拡充を図った。 ◯相談員研修 相談業務のスキルアップにつながる研修機会の活用（県主催講座1回、市主催研修会2回） ◯DV防止に関する啓発事業の実施 11月10日～26日 「女性に対する暴力をなくす運動」期間におけるパネル展開催（市役所市民ホール、日向市駅構内） 12月1日～7日 「女性に対する暴力をなくす運動」期間におけるパネル展開催（市立図書館2階） さんぴあでのDV講座（6月）

成果指標		単位	目標		実績	
	DV相談件数 （さんぴあ相談室と市関係部署で受けた延べ件数）	回	R2	40	R2	45
			R元	40	R元	38

活動指標		単位	目標		実績	
	DVに関する市民の意識向上啓発活動	回	R2	5	R2	3
			R元	5	R元	6

事業評価		
市民のニーズ	高い	DV相談件数は昨年度より増加した。相談者は複合的な問題を抱えているケースが多いため、行政と関係機関が一体となった継続的な支援が求められている。
市の関与の妥当性	妥当	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」により被害者保護のための関係機関連携が定められており、市の積極的な関与が求められている。
成　　果	ある程度上がっている	DV相談件数は増加傾向にあり、各種研修等を通じて相談員のスキルアップを図っている。
成果に向けた活動量	十分であった	相談時間を週1回、夜間にも拡充し、相談しやすい体制を整えた。
コスト削減の可能性	ない	相手に寄り添う相談員のスキルと相談体制の構築が重要であり、ほとんどが人件費と電話料金のため、削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	DVに対する相談対応はプライバシー性が高く、身体的・精神的な危害が想定される場合もあり、防止策と被害者支援を積極的に進める必要がある。
今後の方向性	維持	複合的な問題を抱えた相談者に適切に対応するため、今後とも関係機関との連携・情報共有を行うとともに、相談員のスキルアップを図ることにより、暴力を容認しない環境の整備に努める。

総評（課題・改善点）	コロナ禍により全国的にDV相談が増加している背景もあり、今後とも関係機関と連携し、被害者の適切な支援に努める必要がある。また、求められる支援は複雑多様化していることから、相談員のスキルアップを図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課　0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	16 人権・同和行政推進費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	02 人権・同和行政の推進
小事業	01 人権・同和行政推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	239,922			
1006	印刷製本費	79,200			
1101	通信運搬費	276,000			
1103	手数料	14,000			
1203	事業委託料	512,313			
1805073	宮崎県人権啓発推進協議会	109,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,888,000	1,230,435	0	657,565

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	75,000	0	0	1,155,435
主な財源	「人権の花」運動委託金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）
日向市人権・同和問題啓発推進事業業務　512,313

事業期間	年度　～　年度
目的	女性・子ども・高齢者・障がい者・同和問題・外国人・HIV感染者・性的少数者など、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めることにより、全ての人の人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。
事業活動内容	市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して幸せに暮らすことができる人権のまちづくりに向けて、様々な人権問題について、正しい理解と認識を深めるため、人権教育・啓発を推進した。 関係各機関との連携を強化し、取組を進めたが、コロナ禍により人権に関する2つの市民向け講演会の中止を余儀なくされたため、成果指標の実績が0となっている。人権をテーマにした出前講座には、延べ10回158人の参加があった。 （1）人権週間への取組、人権の花運動の取組 （2）日向市人権・同和問題啓発推進協議会委託事業 （3）日向市全ての人の人権が尊重されるまちづくり条例について周知する研修等の開催

成果指標	研修会（市民講演会、市民の集い）の参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	550	R2	0
			R元	600	R元	220

活動指標	人権出前講座の開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	20	R2	10
			R元	20	R元	12

事業評価			
	市民のニーズ	高い	インターネットやSNSでの悪質な人権侵害も生じており、あらゆる差別を解消するためには、啓発と対策がますます重要である。
	市の関与の妥当性	妥当	市は、必要な施策を積極的に推進するとともに、市民の人権意識の高揚に努める責務を有している。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、成果指標・活動指標とも目標に達していないが、市民アンケートの結果を見ると、人権意識の高揚は少しずつ図られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	予定していた活動の多くがコロナ禍により中止せざるを得なかった。今後は感染防止対策を行いながら、オンライン配信等を活用した啓発も進めていくことが必要である。
	コスト削減の可能性	ない	予算執行を必要最低限に抑えているため、啓発を推進する上でこれ以上の削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	人権教育・啓発は市の責務であり、市民の人権を守っていくためには事業の休廃止はできない。
	今後の方向性	拡充	市民アンケートでは、人権問題に関する講演会等に参加したことがない人の割合が依然として高い。これまでの取組を検証し、より多くの市民が人権問題に触れることができるような工夫が必要である。

総評（課題・改善点）	性的少数者に関する取組の推進等、多様性を認めるまちづくりを進めるとともに、インターネットやSNSにおける差別拡散の防止に向けた取組、効果的な啓発手法の確立が重要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	03 平和教育・啓発活動の推進
小事業	01 平和推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1108	その他の保険料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808008	日本非核宣言自治体協議会負担金	60,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,000	60,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	60,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	広島、長崎での原爆投下や太平洋戦争の犠牲者を追悼するとともに、市民を対象に、戦争の悲惨さや平和の尊さについて啓発活動を行い、平和意識の醸成や高揚を図る。 特に、次代を担う子どもたちに対して、戦争を風化させないために、平和の尊さを実感させる機会を提供する。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、非核平和宣言自治体として、核兵器の廃絶と世界恒久平和を願うための事業を行った。 ○サイレン吹鳴 広島、長崎の原爆投下時刻と、終戦記念日の正午に、1分間のサイレン吹鳴を行った。 ○被爆体験講話の開催 ○中学生平和交流団の派遣（青少年ピースフォーラム） ○原爆写真パネル展の開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

成果指標	青少年ピースフォーラムへの参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	7	R2	0
			R元	7	R元	7

活動指標	平和に関する主な活動事業数	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	1
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	一昨年までの被爆体験講話の参加者は増加傾向にあり、原爆写真パネル展でのアンケートでは約9割が「よかった」と回答している。平和に対する市民の関心、ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	住民の生命と財産を守る使命を持つ基礎自治体として、また、非核平和宣言自治体として、積極的に事業を推進していくことは必要である。
	成　　果	上がっていない	コロナ禍により、予定していた事業のほとんどが実施できなかった。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により、予定していた事業のほとんどが実施できなかった。
	コスト削減の可能性	ない	適正なコスト配分により、事業を行っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	世界恒久平和の実現に向け、戦争の悲惨さ、平和や命の尊さについて、より多くの市民に伝え、その認識を深めていただくことは必要なことであると考える。
	今後の方向性	維持	戦後75年以上が経過し、戦争や被爆体験が風化しつつある中、戦争の悲惨さ、平和や命の尊さについて、一般市民や次代を担う子どもたちに継承していくことが必要である。

総評（課題・改善点）	次代を担う若者に戦争の悲惨さや恒久平和の大切さを伝えていくために、中学生を対象とした「青少年ピースフォーラム」への参加や「被爆体験講話」などの事業は有効であり、今後も、平和推進事業の中心的な取組として継続していきたい。しかしながら、戦後75年以上が経過し、戦争経験者が高齢となっていること、また、コロナ禍により、直に経験者と対面したり、現地へ赴いたりすることが困難な状況であることから、新たな事業展開についても検討が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0003 行政経営係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	01 公会計制度改革に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	57,509			
1203	事業委託料	2,022,900			
1301	使用料及び賃借料	210,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,466,434	2,290,409	0	176,025

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,290,409
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

統一的な基準による財務書類作成支援業務	1,584,000
地方公会計システム等保守業務	438,900

事業期間	平成　14　年度　～　年度
目的	国が示す統一的な基準による財務書類等を作成し開示することにより、財政状況をより多面的かつ合理的に明らかにし、第三セクター等を含めた財政的リスクや将来世代の負担などを示すことで、適切な説明責任の履行、財政的課題の共有、コスト意識の高揚により、次年度以降の予算編成や公共施設マネジメント等での活用を図る。
事業活動内容	○財務書類の作成に要する経費 歳入歳出データの複式簿記による仕訳処理や固定資産台帳の更新を行い、一般会計のほか広域連合や第三セクター等を加えた令和元年度決算に基づく連結財務書類を、公認会計士の支援を受けながら作成し、令和3年3月議会で報告するとともに、市ホームページ上で公表した。

成果指標		単位	目標		実績	
	将来負担比率の適正化	%	R2	79.1	R2	59.1
			R元	80.0	R元	71.8

活動指標		単位	目標		実績	
	財務4表の活用に向けた会議数	回	R2	10	R2	8
			R元	10	R元	8

事業評価		
市民のニーズ	普通	統一的な基準による財務書類の精度が向上し、市民に分かりやすい内容となることで、本市の行財政運営の関心を向上させ得る取組である。
市の関与の妥当性	妥当	財政状況を総合的に把握し、予算編成や財政運営、政策形成に活用されることで、職員の資質向上や財政の効率化・適正化が図られる。
成　果	上がっている	一般会計等財務書類のほかに、全体、連結財務書類を作成し、リスク管理を含めた多面的視点で財政状況を把握することで、コスト意識の醸成が図られる。
成果に向けた活動量	ある程度あった	財務書類による比較分析や、全庁的なコスト意識の醸成により、財政指標の改善や資産等の状況把握につながっている。
コスト削減の可能性	ない	現行システムの使用期限が来年度に迫り、再導入のための新たな費用が発生する予定のため、コスト削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	普通	市民が財政状況を理解し、政策選択を適切に行うためには、財務書類による多面的、合理的な情報の集約は有効なものであるため、必要である。
今後の方向性	維持	財務書類の精度を向上させていくことで、市の財政状況の分析はもとより、経年比較やコスト分析など、さまざまな活用が可能となる。

総評（課題・改善点）

国が示す統一的な基準による財務書類等については、客観性、比較可能性を担保した資料としての活用以外にも、財務書類を作成することで明らかになるストック情報やフルコストでのフロー情報等の「見える化」に努め、予算編成や公共施設マネジメントなどへの活用を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0003 行政経営係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	02 第三セクターの見直しに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	50,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	10,249			
1005	食糧費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95,000	60,249	0	34,751

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	60,249
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　23　年度　～　年度
目的	市が25%以上出資している第三セクターの経営状況等について、学識経験者等で組織する「日向市第三セクター経営検討委員会」による点検・評価を行い、経営状況を適切に把握し、経営健全化に向けた取組の実践に繋げ、対象法人の経営健全化を促進し、適切に関与することで、将来の財政的負担の軽減を図る。
事業活動内容	○第三セクター経営検討委員会による点検・評価 令和元年度決算に係る各法人（株式会社日向サンパーク温泉、公益財団法人日向文化振興事業団、株式会社東郷町ふるさと公社の3法人）から提出された評価シートを基に、経営状況を点検・評価し、対象法人に対し経営改善に向けた指導・助言を行った。 ○株式会社日向サンパーク温泉への支援策等の検討 全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、厳しい経営状況に陥った日向サンパーク温泉「お舟出の湯」（令和2年9月末休館）について、支援策等の検討や施設継続等の判断などの検討を行った。

成果指標	当期純利益の黒字を維持又は純損失が減少した法人数	単位	目標		実績	
		法人	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	1

活動指標	第三セクター経営検討委員会の開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	普通	対象法人のサービス分野が、市民の健康増進、文化振興といった市民に密接したものとなっており、健全経営による市民への効果も一定程度ある。
	市の関与の妥当性	妥当	第三セクターの経営状況は、市の健全化判断比率についても大きな影響を与えるものであり、法人の経営健全化を促進することは市の重要な責務である。
	成　　果	上がっている	委員会による指導・助言が、各三セクの課題等の掘り起こしとなり、経営改善に向けた取組につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	第三セクター経営検討委員会の開催により、意見聴取や書面協議を重ね、経営状況等について点検・評価を実施した。
	コスト削減の可能性	ない	点検・評価、公表の過程において、予算執行は必要最低限に抑えられている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	経営改善に向けた指導・助言はもとより、各法人の取組に対する学識経験者の意見を聞く貴重な機会ともなっている。
	今後の方向性	維持	コロナ禍の中、今後の経営状況等に注視する必要があるため、点検・評価を継続する重要度は高い。

総評（課題・改善点）	点検評価の対象となる3法人ともコロナ禍による厳しい経営状況にあるため、経営健全化方針に基づく取組状況や進捗状況について、今後もより継続的かつ定期的に把握し、財政的なリスクの計画的な解消や経営健全化に向けた具体的な指導・助言を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0003 行政経営係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	01 計画的な行政経営の推進
小事業	03 行政評価制度推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	182,566			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	506,000			
1101	通信運搬費	4,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
861,566	692,566	0	169,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	692,566
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　14　年度　～　年度
目的	部局経営方針を策定・公表し、中間報告等の進行管理を行うことで第2次日向市総合計画に掲げる重点戦略と重点プロジェクトを推進し、行財政改革大綱を着実に実行する。また、PDCAサイクルに基づく評価・検証のもと、事業の選択と集中を図り、効果的・効率的な業務執行と財政の健全化を図った。
事業活動内容	部局経営方針と行政評価制度との連携強化による効果的・効率的な行財政運営の実現に向けた行政マネジメントの推進を図る。 ※コロナ禍により行政経営推進会議による会議および2次評価が実施できなかった。 〇重点事業及び行財政改革大綱の実施項目を部局経営方針として年度当初に公表するとともに、中間報告を行い総合計画の進行管理を行った。 〇総合計画に掲げる重点プロジェクトその他の事務事業について、事業評価（自己評価）を行った。 〇事業評価の結果を「主な施策の成果説明書」として調製し、議会・市民に公表した。

成果指標	行政経営推進会議で、担当課による評価、改善計画等が適切と判断された事業数	単位	目標		実績	
		事業	R2	6	R2	0
			R元	6	R元	6

活動指標	2次評価組織である行政経営推進会議の開催数	単位	目標		実績	
		事業	R2	4	R2	0
			R元	4	R元	6

事業評価			
	市民のニーズ	普通	市民にとって、市の実施事業についての現状分析や、将来に向けての課題などの評価を確認する貴重な機会となる。
	市の関与の妥当性	妥当	成果に基づく評価・検証を行い、予算編成や政策決定に適切に反映させるともに、市民への説明責任を果たすものである。
	成　　果	上がっていない	コロナ禍により、予定していた職員研修や行政経営推進会議を開くことができなかった。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により、行政経営推進会議の評価、改善に向けた会議を開くことができなかった。
	コスト削減の可能性	ない	行政経営推進会議という内部評価組織における評価・検証の実施により、予算執行は必要最低限に抑えられている。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	市民にとって、市の実施事業の分析・評価を確認する機会が無くなることとなる。
	今後の方向性	要改善	自己評価が高く、現状維持の事業が多いため、2次評価の活用を図り、業務見直しへ繋げる必要がある。

総評（課題・改善点）	内部評価の強化と事務事業の再点検を目的に1次評価（自己評価）を行っているが、財政状況が厳しくなる中で、自己評価を補完し、業務見直しを推進するための2次評価が重要となってきているため、1・2次評価による事業見直しを予算編成や政策決定へ効率的に繋げるなど、PDCAサイクルの質の向上を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課　0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	45 適正な職員等管理
中事業	02 福利厚生制度の充実
小事業	01 福利厚生制度の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0715	報奨金	2,359,605			
1103	手数料	3,941,531			
1206	その他の委託料	956,998			
1890003	職員互助会交付金	2,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,958,000	9,458,134	0	499,866

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	327,000	9,131,134
主な財源	広域消防負担金、共済保険等取扱事務費、健康診断手数料清算金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○その他の委託料	
令和2年度　産業医業務委託（単価契約）	337,500
令和2年度　ストレスチェック業務委託（単価契約）	619,498

事業期間	年度　～　年度
目的	「職員の保健、元気回復、その他の厚生」に関する福利厚生事業の充実を図ることにより、職員の健康管理、勤労意欲及び職務能率の向上に努め、住民サービスの向上につなげる。
事業活動内容	職員の福利厚生の増進を図るため、地方公務員法第42条に基づき下記の事業を実施した。 ・人間ドック受診に係る費用の助成 ・定期健康診断等の職員健康診断に係る費用 ・産業医によるメンタルヘルス相談 ・ストレスチェック事業の実施 ・職員の福利厚生事業を行っている「日向市職員互助会」への交付金交付

成果指標	人間ドック総合所見で病院受診の必要なしと判断された割合	単位	目標		実績	
		%	R2	50.0	R2	37.6
			R元	50.0	R元	46.9

活動指標	人間ドックを含む健康診断の受診率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	99.3
			R元	100	R元	99.1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	職員の健康維持及び健康管理は、円滑な市政運営の推進に不可欠である。
	市の関与の妥当性	妥当	事業主として、職員の福利厚生事業を行う必要がある。
	成　　果	ある程度上がっている	今年度は前年度実績を下回り目標達成できなかった。要因としては、コロナ禍によるストレスの増大や外出自粛等による健康管理不足と考えられる。
	成果に向けた活動量	十分であった	未受診者への受診勧奨を継続的に行った結果、昨年度を上回る受診率となった。
	コスト削減の可能性	ない	職員の福利厚生事業は、市民サービスの向上に不可欠であり、コスト縮減は、指標低下に直結するものと思われる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	職員の健康維持及び健康管理が適正に行われない場合、円滑な市政運営（事務事業）の推進に影響を及ぼすことが想定される。
	今後の方向性	維持	今後も継続して福利厚生事業の充実を図ることにより、職員の健康管理を適正に行い、住民サービスの向上に努めていきたい。

総評（課題・改善点）	
	健康診断の受診率は概ね目標値を達成しているものの、40歳以上の一定対象者に対して実施する特定保健指導の実施率については、前年度より低下しており、今後は、健康管理に関連する研修等を積極的に計画し、職員の意識向上を図る必要がある。 また、ストレスチェック結果による高ストレス者の健康相談については、相談件数は微増の状況であり、一定の成果は得られたものの、有効活用に向けて引き続き検討が必要と考えている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0004 行革推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業		
	大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
	中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
	小事業	02 行政改革推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0704	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　行政通則	145,000			
0802	普通旅費	6,184			
1001	消耗品費	19,515			
1005	食糧費	2,006			
1101	通信運搬費	3,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
519,000	175,705	0	343,295

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	175,705
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	健全で持続可能な行財政基盤の確立を図り、市民満足度の高い市政を実現するために、「日向市行財政改革大綱」（平成29年度から令和2年度まで）に基づいた行財政改革を推進する。
事業活動内容	「日向市行財政改革大綱」に基づく行財政改革を推進するため、以下の取組を行った。 また、令和2年度で終了する「日向市行財政改革大綱」の次期計画として、「第2次日向市行財政改革大綱」を策定した。 〇民間委員（13人）で構成する行政改革推進委員会の開催 〇庁内に設置する行政改革推進本部会や同専門委員会の開催 〇その他、特定の案件について検討や協議を行う会議の開催 〇大綱の実施計画の進行管理・公表 〇組織の改編 〇指定管理者候補者選定委員会の開催や指定管理者のモニタリング結果の公表

成果指標	実施項目の年次目標に対する達成率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	78
			R元	100	R元	74

活動指標	行政改革推進本部会等の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	20	R2	30
			R元	20	R元	24

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本事業は、市民サービスの維持・向上を図ることを目的としている。
	市の関与の妥当性	妥当	行財政改革は、自治体が主体となって取り組む事業である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍の影響により目標を達成できなかった項目もあったが、成果指標は向上している。
	成果に向けた活動量	十分であった	次期計画の策定や組織体制に関しての審議事項等が増加したことにより、会議の開催回数も増加した。
	コスト削減の可能性	ない	事業費は、各種会議の開催や職員研修に伴う費用が主である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民サービスの低下が懸念される。
	今後の方向性	維持	市民サービスの維持・向上や効率的な行財政運営を行うため、継続して行財政改革を行っていく必要がある。

総評（課題・改善点）	今後も厳しい財政状況が続くことが予想されるが、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応するため、令和3年2月に策定した「第2次日向市行財政改革大綱」の実施計画の着実な実行により、持続可能な行財政運営に努めていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課　0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 人事管理費

事業		
	大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
	中事業	02 市民に信頼される職員の育成
	小事業	01 人事評価制度推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	28,850			
1206	その他の委託料	616,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
790,000	644,850	0	145,150

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	644,850
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料
人事評価制度研修業務委託　616,000

事業期間	年度　～　年度
目的	人事評価制度を活用して、職員の能力・資質の向上を図るとともに、職場のコミュニケーション増進とOJTの充実、業務マネジメント（PDCAサイクル）を機能させることにより組織力の向上を図る。
事業活動内容	〇評価者研修の実施 公正かつ客観的で職員の納得性が高い人事評価を行うため、評価者である管理職を対象とした研修を行った。 〇被評価者研修の実施 人事評価の意義や目的、被評価者の留意点などについて理解を深めるため、被評価者を対象とした研修を行った。 〇人事評価制度の見直し 職員アンケートにより人事評価制度の運用状況を確認するとともに、継続的に制度の見直しを図っている。様式の改正等を行い、より分かりやすい評価ができるよう努めた。また、国の人事評価制度の改正について情報を得るように努め、時代に合った制度となるよう検討を行った。

成果指標	評価者制度の研修への職員の参加率 ①評価者 ②被評価者（対象職員は研修内容に応じて異なる）	単位	目標		実績	
		%	R2	①100 ②90	R2	①91.53% ②100%
			R元	①100 ②90	R元	①80.47% ②61.44%

活動指標	職員研修の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	2
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	普通	本事業は職員を対象とした人事管理の一環として行っているものである。
	市の関与の妥当性	妥当	職員の人事管理の一環で行っているものであり、人事評価は地方公務員法により義務付けられている。
	成　　果	上がっている	制度の理解度は上がっており、職員アンケートでも納得度は高い。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	研修の必修受講者を絞り込むことにより、参加率の向上を図った。これにより、必要な職員に充実した研修を受講してもらうことができた。
	コスト削減の可能性	ない	研修は必須であり、他自治体の動向を知る上でも外部講師が望ましい。今後さらに人事評価制度の活用を図るため、評価システムの導入についても検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	現状、市民生活へ直接の影響は与えないが、制度自体は義務であり、休廃止はできない。
	今後の方向性	拡充	人事の基礎として活用していくため、制度の見直しや研修の充実が不可欠である。

総評（課題・改善点）	人事評価制度は、人材育成及び人事管理の基礎として活用する重要なツールである。公平公正で納得度の高い制度とするため、研修の開催・管理職への処遇反映・様式の改正等を行った。今後は職員アンケートの結果を踏まえ、評価者の見直しやシステムの導入を含め、適切な制度運用について検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0005 人財育成係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	02 市民に信頼される職員の育成
小事業	02 職員研修事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0803	特別旅費	255,520			
1001	消耗品費	187,124			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	842			
1301	使用料及び賃借料	5,580			
1808019	日本経営協会負担金	50,000			
1825002	研修会負担金	56,700			
1852018	日向市職員自主研修助成金	3,090			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,249,976	558,856	0	691,120

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	558,856
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	各種研修を受講することにより、職員の意識改革と資質の向上に努める。また、広い視野と豊かな見識を持ち、地域の課題を的確にとらえ、困難な課題にも創意と工夫で果敢にチャレンジしていく職員を育成することで、市民サービスの向上を図る。
事業活動内容	○主な内部研修 ・政策形成能力向上研修、新規採用職員研修、実務研修等 ・職員施策研究会の調査研究活動 ・職員自主研修支援制度の活用 ・人権・同和問題研修 ○主な外部研修 ・宮崎県市町村職員研修センター 階層別研修・・・新規採用職員研修、一般職員研修、新任職務研修 能力開発研修・・法制執務セミナー、OA研修、情報発信力向上セミナー ・日本経営協会（NOMA） ・人権・同和問題研修　ほか

成果指標	研修受講者の満足度 ※復命書等で研修の満足度を「大変満足」「満足」と答えた割合	単位	目標		実績	
		%	R2	90	R2	98.9
			R元	90	R元	90.4

活動指標	下記研修の受講者 ※市町村職員研修センター、自治大学校、市町村アカデミー、国際文化研修所、国立教育政策研究所	単位	目標		実績	
		人	R2	260	R2	124
			R元	260	R元	237

事業評価		
市民のニーズ	高い	市民サービスの向上に、職員の資質向上は欠かせない。
市の関与の妥当性	妥当	職員の能力向上を図ることは、市の責務である。
成　　果	上がっている	研修の満足度は目標値を超えている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により参加できない研修が多かったが、オンラインを活用するなど、必要不可欠な研修は開催できた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	旅費は最も安価な方法で計上することとしており、県内の出張は公用車を利用するなど経費削減に努めているところであるが、今後はオンラインによる受講を推奨するなどコスト削減の可能性はある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止した場合、職員の能力向上が図れず、結果として市民サービスの低下が懸念される。
今後の方向性	拡充	市民ニーズの多様化、デジタル化など、時代の変化等に対応していくためにも、職員研修の充実を図る必要がある。

総評（課題・改善点）	多様化する住民ニーズに合わせた職員の個々の能力向上とモチベーションの維持に研修は不可欠である。しかしながら、業務量の増加・アフターコロナの社会情勢を見据え、効果的な研修メニューやeラーニング受講などの工夫が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課　0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	01 災害予防対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	5,123,208			
1206	その他の委託料	356,950			
1301	使用料及び賃借料	5,410			
1702	機械器具費（事業執行用）	359,700			
1808074	市町村広域災害ネットワーク負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,631,600	5,851,768	0	779,832

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,851,768
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他の委託料

日向市WEB版防災ハザードマップ保守業務委託	297,000
日向市WEB版ハザードマップ航空写真導入業務委託	59,950

事業期間	年度　～　年度
目的	あらゆる自然災害に対して、事前の備えを確立することにより、安全・安心なまちづくりを推進する。
事業活動内容	災害用備蓄品を整備するとともに、市町村広域災害ネットワークとの連携や防災ハザードマップの作成、災害時応援協定の締結を推進した。 （1）市町村広域災害ネットワークWEB会議への参加（首長会議、担当者会議2回） （2）災害用備蓄品の整備（非常食、飲料水、粉ミルク、災害用備蓄品の購入） （3）WEB版防災ハザードマップデータの更新 （4）災害支援協定の締結　3件 〇災害時における救援物資提供に関する協定　（宮崎県農協果汁株式会社） 〇災害発生時における支援活動に関する協定　（日向入郷地区素材生産事業協同組合） 〇防災パートナーシップに関する協定　（株式会社テレビ宮崎）

成果指標	備蓄計画における食料（主食）備蓄達成率	単位	目標		実績	
		%	R2	68.4	R2	68.5
			R元	50.0	R元	50.5

活動指標	食料（主食）備蓄達成数量	単位	目標		実績	
		食	R2	14,000	R2	14,320
			R元	14,000	R元	14,320

事業評価			
	市民のニーズ	高い	今後発生が想定されている南海トラフ地震をはじめ、豪雨による全国的な災害の発生により、防災対策に対する意識はより高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	大規模災害時における被災者・避難者支援については、市の責務である。
	成　　果	上がっている	日向市備蓄計画に基づき、計画的に購入を行っている。
	成果に向けた活動量	十分であった	アルファ化米などの主食や飲料水のほか、災害用備蓄品の計画的な購入を行った。
	コスト削減の可能性	ない	購入計画を作成し、賞味期限等を考慮した補充等を行いながら、年次的な数量の確保に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	災害時応援協定による流通備蓄だけでは、大規模災害発生直後の被災者・避難者に対する食料等の必要な物資が確保できない。
	今後の方向性	維持	備蓄計画に基づき備蓄数量を確保するとともに、市民に対しても食料等の家庭用災害備蓄品の確保についての意識啓発に努める。

総評（課題・改善点）

日向市備蓄計画に基づき、計画的な備蓄品の確保を行うほか、避難所における要配慮者や感染症対策に係る備蓄品等についても確保していく必要がある。また、自助・共助の部分においても、家庭用備蓄品の購入や自主防災組織を中心とした地域防災の取組を進める。

さらに、民間企業等と災害支援協定の締結を進め、被災者・避難者への支援の充実を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	04 防災計画等策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
1006	印刷製本費	605,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,578,000	605,000	0	973,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	605,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	災害に対する日ごろからの備えや応急対策、復旧・復興に対する各種計画を策定し、安全・安心なまちづくりを推進する。
事業活動内容	市地域防災計画の見直しをはじめ、各種防災計画を検証するとともに、自治会等における地区防災計画策定の支援を行った。 また、新たに国土強靭化地域計画を策定した。 （1）防災会議の開催（書面） （2）地域防災計画の改定及び印刷 （3）地区防災計画の策定支援 （4）国土強靭化地域計画の策定

成果指標	地区防災計画策定数（累計）	単位	目標		実績	
		区	R2	6	R2	3
			R元	6	R元	3

活動指標	策定希望地区との協議回数	単位	目標		実績	
		回	R2	27	R2	7
			R元	27	R元	27

事業評価			
	市民のニーズ	高い	今後発生が想定されている南海トラフ地震をはじめ、豪雨による全国的な災害の発生により、防災対策に対する意識はより高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	災害予防や応急復旧について各種計画を策定することは、災害から市民の生命・身体・財産を守るため重要である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、地域でも協議する機会を設けることが積極的にできなかったが、これまでの取組により、計画作成に着手する区が増えてきている。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により、防災訓練や防災講座の実施が困難であったことから、各区での計画策定に対する支援やアドバイスを行う機会が少なかった。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な取組が必要であることから、適切な事業予算の確保に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	地域防災力の要となる共助の部分が衰退することは、被害の拡大に繋がることが考えられる。
	今後の方向性	維持	地区防災計画の策定は、国も推進していることから、今後も地域と連携した取組を行っていく。

総評（課題・改善点）	市地域防災計画については、年次的に見直しを行っているが、市民にとって、身近な計画となる地区防災計画の策定は、自助・共助による地域防災力の向上に重要なものであることから、自主防災組織や防災士と連携し、地域の防災訓練等と合わせ積極的な取組を進めていく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課　0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	05 地域防災力向上支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1301	使用料及び賃借料	0			
1869013	防災士養成補助金	25,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400,000	25,000	0	375,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	25,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	市民の防災意識への向上と、自助・共助による安全・安心なまちづくりを推進する。
事業活動内容	防災訓練や出前講座などの啓発事業を実施し、市民の防災意識の向上を図るとともに、地域の防災リーダーとなる防災士の資格取得への支援を行った。 （1）総合防災訓練の実施 （2）防災士資格取得支援 （3）各地区や団体等の防災講座・訓練への支援

成果指標	人口に占める防災訓練等への参加率（市への届出分）	単位	目標		実績	
		%	R2	33.0	R2	15.6
			R元	30.0	R元	33.1

活動指標	地域や学校などが実施する防災訓練等の回数（市への届出分）	単位	目標		実績	
		回	R2	175	R2	197
			R元	150	R元	255

事業評価			
	市民のニーズ	高い	災害時における共助の担う役割は大きく、地域の防災リーダーとなり得る防災士の養成や地域防災訓練の充実が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	行政と地域が連携し、相互協力による防災力の向上が必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	防災士資格取得者の増加や民間企業等が積極的に防災訓練等を実施することで、地域防災力の向上に繋がっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により昨年度と比較して、防災訓練等の実施回数及び参加者数は減少したものの、要配慮者施設や民間企業などの防災意識の向上に繋がっている。
	コスト削減の可能性	ない	防災意識の向上のため、継続した啓発事業等に取り組むことが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	防災意識の低下を招くことで、被害の拡大に繋がることが考えられる。
	今後の方向性	維持	自助・共助による地域防災力の向上のため、コロナ禍における防災訓練等のあり方について考慮しながら、地域での取組や防災士資格取得に対する支援を継続していく。

総評（課題・改善点）	防災士の資格取得者や地域防災訓練を継続して支援することで、防災リーダーの育成や地域防災力の向上に繋がっている。 地区防災計画の策定と合わせ、地域と行政が連携した取組を進め、大規模災害時における迅速な避難行動や被災者・避難者支援に繋げていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	06 防災情報収集・伝達事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	591,000			
1007	光熱水費	652,165			
1101	通信運搬費	2,656,000			
1103	手数料	170,940			
1108	その他の保険料	68,932			
1201	施設維持管理委託料	3,476,000			
1206	その他の委託料	2,640,000			
1301	使用料及び賃借料	136,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,786,000	10,391,337	0	394,663

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	18,000	10,373,337
主な財源	防災施設電気使用料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料
日向市同報系防災行政無線保守管理業務委託　3,476,000
○その他の委託料
日向市防災気象業務支援サービス業務委託　2,640,000

事業期間	年度　～　年度
目的	災害時において、的確な避難情報等を発令し、市民の生命、身体及び財産を災害から守る。
事業活動内容	気象情報等を収集するためのシステムや市民への情報伝達システムを構築するとともに、平常時から運用体制の整備を行った。 （1）同報系防災行政無線の運用 （2）防災情報配信サービスの運用 （3）衛星携帯電話の運用 （4）水防対策支援システムの運用 （5）IP無線機の運用 （6）地震計内蔵型緊急地震速報端末の運用

成果指標	災害時の緊急放送における不具合	単位	目標		実績	
		回	R2	0	R2	0
			R元	0	R元	0

活動指標	同報系防災行政無線の稼働点検	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	高い	災害発生時においては、複数の手段を用いた的確な避難情報等の伝達が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	災害発生が予想される状況において、的確な避難情報等の伝達は市の責務である。
	成　果	上がっている	同報系防災行政無線のほか、防災情報配信サービスやエリアメールの活用など、情報伝達手段の多重化を図ることで、的確な避難情報等の伝達に繋がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	情報伝達訓練や総合防災訓練等で日頃から運用試験を行うことで、災害時の迅速な避難情報等の発信に繋がっている。
	コスト削減の可能性	ない	大規模災害時には、様々な障害が発生することが考えられるため、複数の情報伝達手段を確保し、平常時における点検や操作訓練等が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	避難情報等が市民に伝わらない場合、避難行動が遅れ、被害の拡大に繋がることが考えられる。
	今後の方向性	拡充	大規模災害時に備え、今後も様々な情報伝達手段を備え、運用していくことが必要である。

総評（課題・改善点）	台風時や津波発生時など、的確に避難情報等を伝達するため、同報系防災行政無線のほか、複数の伝達手段を備え、日頃からの保守点検や訓練等で運用していくことが重要である。 また、SNS等の発展により、今後も様々な情報伝達手段が開発されることが予想されることから、より汎用性の高い情報伝達方法の確保に努める。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課　0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	21 自主防災組織の育成強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	150,000			
1103	手数料	0			
1865009	日向市自主防災会連絡協議会補助金	300,000			
1865010	日向市自主防災組織育成補助金	908,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,570,000	1,358,000	0	212,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	908,000	450,000
主な財源	自主防災組織育成助成事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	災害時における自助・共助の活動強化のため、自主防災組織の支援を行う。
事業活動内容	日向市自主防災会連絡協議会に関する事務処理を行うとともに、地域の防災訓練に係る訓練の立案指導及び訓練経費の一部助成を行った。 また、宮崎県企業局が実施する「県営発電所周辺地域振興事業」を活用し、自主防災会に資機材を整備した。 1　県営発電所周辺地域振興事業 発電機6区、チェンソー3区、ガス炊飯器1区、投光器1区、LEDヘッドライト1区 2　その他資機材の整備 訓練用AEDパッド、ハンドパレットトラック、防災講座用ノートパソコン及びDVD購入 【自主防災組織結成率】　令和2年度末　96．7%（88／91）

		単位	目標		実績	
成果指標	自主防災会の訓練への参加者数	人	R2	2,000	R2	583
			R元	2,000	R元	1,397

		単位	目標		実績	
活動指標	自主防災会の訓練回数	回	R2	50	R2	12
			R元	50	R元	30

事業評価			
	市民のニーズ	高い	南海トラフ地震や全国で発生している豪雨災害等の影響により、自主防災組織などの共助による地域防災力向上への意識が高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	行政と地域が連携し、相互協力による防災力の向上が必要である。
	成　　果	上がっている	コロナ禍による防災訓練・講話の実施回数は減少したものの、災害時の備えとして防災資機材の充実が図られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により例年どおりの活動はできなかったものの、自然災害の発生に備え、防災資機材の充実を図った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	防災資機材等の整備については、補助事業等を活用することにより、財源の確保に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	南海トラフ地震や局地的な豪雨災害が発生しているなか、地域防災力の衰退は、被害拡大に繋がることが考えられる。
	今後の方向性	維持	地区防災計画策定等と合わせ、自主防災組織を中心とした地域防災力の向上に努める必要がある。

総評（課題・改善点）	大規模災害に備え、地域防災力の向上は不可欠であり、助成事業を活用した防災資機材の整備や、地域での防災訓練の充実を図り、自助・共助による防災意識の向上に努める。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0002 防災施設係		
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 災害対策本部費

事業	大事業	25 防災体制の充実
	中事業	01 災害予防対策の推進
	小事業	09 同報系防災行政無線整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	21,450,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,450,000	21,450,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	21,400,000	50,000
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
米の山中継局移設工事　21,450,000

事業期間	令和　2　年度　～　年度
目的	米の山中継局を耐震化し防災情報通信ネットワークの強化を図ることで、市民の安全・安心に寄与する。
事業活動内容	新たに米の山中継局舎を整備し、米の山展望台に設置されている中継局設備を移設した。

成果指標	ネットワーク強化が図られる屋外拡声子局	単位	目標		実績	
		箇所	R2	68	R2	68
			R元	－	R元	－

活動指標	米の山中継局の整備	単位	目標		実績	
		箇所	R2	1	R2	1
			R元	－	R元	－

事業評価			
	市民のニーズ	高い	全国瞬時警報システム（Jアラート）で配信される情報や避難情報などを市民に伝達する手段の一つとして、市民の関心が高い。
	市の関与の妥当性	妥当	米の山中継局は、市が管理する同報系防災行政無線設備である。
	成　果	上がっている	同報系防災行政無線の強靭化が図られている。
	成果に向けた活動量	十分であった	新庁舎建設による同報系防災行政無線親局の耐震性の確保に続き、中継局の耐震性の確保を図った。
	コスト削減の可能性	ない	耐震性確保に必要な最低限の整備であり、可能な限りコスト削減を図っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民へ避難を呼びかける情報伝達手段の一つである。
	今後の方向性	維持	確実な情報伝達を行うため、適切に維持管理していく。

総評（課題・改善点）

災害時の情報伝達に関しては、個々の伝達手段の強靭化と併せ、多重化を図っていく必要がある。このため、現在運用している防災情報配信サービスの登録者数を増やすとともに、多重化を推進する。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課　0002 防災施設係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	01 地震・津波防災施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	16,900			
1001	消耗品費	19,800			
1008	修繕料	156,524			
1103	手数料	0			
1202	工事施工を伴う委託料	1,474,000			
1401	建設工事費	0			
1501	原材料費	95,360			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	269,500			
1852028	日向市津波避難経路等整備費補助金	990,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,614,000	3,022,084	0	591,916

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	700,000	270,000	0	0	2,052,084
主な財源	社会資本整備総合交付金（防災・安全）、県単減災力強化推進事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 備蓄倉庫建設設計業務委託　1,474,000

○負担金補助及び交付金
- 日向市津波避難経路等整備費補助金（秋山区）　770,000
- 日向市津波避難経路等整備費補助金（清正区）　220,000

事業期間	令和　2　年度　～　年度
目的	近い将来想定されている震災に備えて、防災施設の整備充実を行うことにより、防災力を向上させ、市民の安全・安心に寄与する。
事業活動内容	南海トラフ地震等の大規模災害に備えた分散備蓄体制を構築するため、財光寺地区に整備を予定している備蓄倉庫の設計を行った。 また、自治会及び自主防災会が実施する避難経路等の整備に補助を行った。 （1）備蓄倉庫整備（財光寺地区）

成果指標	単位	目標		実績	
令和2年度 契約に伴う成果品	件	R2	1	R2	1
令和元年度 特定避難困難者の解消	人	R元	3,350	R元	3,550

活動指標	単位	目標		実績	
令和2年度 備蓄倉庫の設計契約件数	件	R2	1	R2	1
令和元年度 津波避難施設の建設	箇所	R元	2	R元	3

事業評価		
市民のニーズ	高い	自助・共助・公助により分担して備蓄を推進することとしており、市民の関心も高い。
市の関与の妥当性	妥当	公的備蓄体制構築のための整備である。
成　　果	ある程度上がっている	備蓄倉庫整備に向け、工事の準備が整った。
成果に向けた活動量	十分であった	備蓄倉庫整備に向け、設計業務委託を行った。
コスト削減の可能性	ない	新たに整備する備蓄倉庫の設計業務であるため、コスト削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	地震や津波の影響による道路の寸断等が想定されることから、分散備蓄体制を構築する必要がある。
今後の方向性	維持	地震や津波の影響による道路の寸断等が想定されることから、分散備蓄体制の構築を推進する。

総評（課題・改善点）	
	日向市備蓄計画に基づき、公的備蓄物資の整備と分散備蓄体制の構築を推進しているが、計画にもあるように、自助・共助・公助による分担備蓄を図る必要がある。このため、自助・共助による備蓄について、市民への啓発を継続する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0002 防災施設係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	20 [R01国補正]地震・津波防災施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	6,834,099			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,000,000	6,834,099	0	165,901

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,400,000	0	2,200,000	0	234,099
主な財源	社会資本整備総合交付金（防災・安全）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

松原区避難山建設電気設備工事	2,860,000
松原区避難山建設休憩所建築工事	3,499,999
美砂津波避難タワー建設給水設備切替工事	474,100

事業期間	平成　27　年度　～　年度
目的	近い将来想定されている震災に備えて、防災施設の整備充実を行うことにより、防災力を向上させ、市民の安全・安心に寄与する。
事業活動内容	平成26年3月に津波避難対策特別強化地域の指定を受けたことにより、津波避難施設等の整備を推進した。令和元年度に本体工事を行った松原避難山の照明設備等の整備を実施し、防災機能の強化を図った。 （1）避難施設整備（松原区避難山）

成果指標	特定避難困難者の解消	単位	目標		実績	
		人	R2	0	R2	0
			R元	3,350	R元	3,550

活動指標	津波避難施設の建設	単位	目標		実績	
		箇所	R2	0	R2	0
			R元	2	R元	3

事業評価		
市民のニーズ	高い	近年、各地で災害が多発しており、防災に対する市民の関心が高い。
市の関与の妥当性	妥当	津波避難施設の整備であり、公助としての市の責務である。
成　果	上がっている	津波の緊急避難場所の整備が完了し、特定避難困難者の解消が図られた。
成果に向けた活動量	十分であった	津波避難施設の防災機能の強化を図った。
コスト削減の可能性	ない	津波避難施設の防災機能を強化するため、可能な限りコスト削減を図っている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	南海トラフ地震等による津波の被害から、市民の命を守る必要がある。
今後の方向性	維持	円滑な避難につながる避難施設等の整備を着実に推進する。

総評（課題・改善点）	南海トラフ地震による津波に備え避難施設整備を推進しているが、施設整備だけで犠牲者を減らすことはできない。日頃の備え（家の耐震化や家具の転倒防止）や早期避難が重要であるが、平成30年度津波避難等に関する県民意識調査では、早期避難の意識が低い状況となっている。このため、防災講座や防災訓練などを通じて啓発に努め、市民の防災意識の向上を図っていく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課　0001 公共施設マネジメント係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財政管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	01 公共施設マネジメント推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	18,467			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	19,000			
1101	通信運搬費	7,000			
1205	システム開発等委託料	435,600			
1206	その他の委託料	5,698,000			
1301	使用料及び賃借料	11,748			
1402	維持補修工事	2,926,000			
1808082	資産経営・公民連携首長会議負担金	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,777,000	9,128,415	0	648,585

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	693,000	8,435,415
主な財源	建物損害共済金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市公共施設マネジメント支援システム運用保守業務	435,600
建築基準法に基づく建物定期点検業務	1,903,000
ポリ塩化ビフェニル廃棄物運搬業務	99,000
ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理業務	3,696,000

○工事請負費

旧坪谷中学校体育館外壁補修工事	1,386,000
旧幸脇小学校体育館雨漏補修工事	1,540,000

事業期間	年度　～　年度
目的	公共施設を資産として捉えるとともに、経営的な視点を持ちながら、総合的かつ計画的な管理に取り組んでいく「公共施設マネジメント」を推進し、公共施設の安全・安心の確保、総量の最適化及びライフサイクルコストの縮減を図り、持続可能な行政サービスの提供や財政の健全化を実現する。
事業活動内容	公共施設マネジメントの基本計画として位置付ける「日向市公共施設等総合管理計画」に基づく各種取組を推進した。 【主な実施内容】 ○廃校施設の利活用 旧坪谷中学校の利活用について、事業者を決定し貸付を行うとともに、旧岩脇中学校や旧東郷幼稚園の利活用等に関する検討を進めた。 ○個別施設計画の策定 庁舎等に関する個別施設計画の策定に取り組み、全ての建物系施設の個別施設計画を策定した。 ○コスト縮減の取組 庁舎ほか11施設での電力入札を継続して行うとともに、小中学校15校へ導入を拡大し、電気料の削減を図った。

成果指標	公共施設（普通会計の建物系施設）の総延床面積	単位	目標		実績	
		万㎡	R2	29.1	R2	29.1
			R元	28.8	R元	29.1

活動指標	公共施設マネジメント推進会議の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	5
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民の財産である公共施設の今後のあり方のみではなく、利用者の安全・安心にも直結するため、市民ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	公共施設を計画的に管理していくことは、所有者としての市の責務である。
	成　　果	ある程度上がっている	廃校施設については、旧坪谷中学校の利活用が始まった。 平成28年度から令和2年度にかけて個別施設計画の策定に取り組み、全ての建物系施設の個別施設計画を策定した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	定期的な公共施設マネジメント推進会議の開催のほか、施設の利活用等に関する地元との意見交換等を行った。
	コスト削減の可能性	ない	ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理業務は令和2年度のみの委託。他は法定点検の費用や公共施設の補修工事等であり、本事業のコスト削減の余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	公共施設マネジメントの取組は、将来にわたり負担を残さず持続可能な行財政運営の実現のために必要不可欠なものである。
	今後の方向性	拡充	施設の積極的な利活用をはじめ、集約・複合化による統廃合の取組を推進するとともに、適切な維持管理を実現するための体制整備や予算確保の検討を進めていく。

総評（課題・改善点）

未活用となっていた廃校施設の貸付が始まり、施設の利活用に向けての地元住民との合意形成にも進展がみられた。

今後も、日向市公共施設等総合管理計画の基本目標である、安全安心の確保、総量の最適化、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、5か年をかけて策定した個別施設計画に基づき、施設のあり方の見直しや統廃合等の検討を具体的に推進していくことが必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課　0002 体育館建設準備係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	04 体育施設の整備と活用
小事業	04 日向市総合体育館整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	42,156			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	11,000			
1301	使用料及び賃借料	3,400			
2403	その他特定目的基金積立金	48,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
583,000	113,656	0	469,344

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	48,000	65,656
主な財源	総合体育館建設基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	元　年度　～　8 年度
目的	市民の誰もが日常的に利用できるスポーツ活動、健康づくりの拠点となり、さらには、災害時の拠点施設となる総合体育館を整備する。
事業活動内容	○「日向市総合体育館整備基本構想」に関する市民への情報発信（市広報、ケーブルテレビ） ○日向市総合体育館整備市民検討委員会への進捗状況等の報告 ○市民アンケート調査票等の作成 ○日向市総合体育館建設基金利子の積立

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 日向市総合体育館整備基本計画策定にかかる進捗率	%	R2	100	R2	0
	令和元年度 日向市総合体育館整備基本構想策定にかかる進捗率		R元	100	R元	100

活動指標		単位	目標		実績	
	日向市総合体育館整備市民検討委員会の開催回数	回	R2	3	R2	0
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民の健康増進やスポーツ活動の拠点となる総合体育館整備に対する市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	体育館は、市が所管する公の施設であり、新たな体育館整備に関する市の関与は妥当である。
	成　果	上がっていない	基本構想に関する市民アンケートを踏まえ、基本計画を策定することとしていたが、コロナ禍により市民アンケート調査ができず、基本計画策定に至らなかった。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍による市民アンケート調査の未実施により、基本計画策定に至らなかったことから、市民検討委員会等を開催できなかった。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	市民サービスの向上やコスト縮減を図るため、PFI等手法導入可能性について調査した結果、PFI等手法導入による優位性を確認した。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	施設の老朽化に加え、耐震性にも課題があることから、利用者の安全性の確保の観点から、事業を廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	市民の健康増進やスポーツ活動、災害時の拠点施設として、事業を着実に推進する必要がある。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍により「日向市総合体育館整備基本構想」に関する市民アンケート調査を実施できなかったことや東郷診療所の整備を優先することなどにより、整備スケジュールを1年延期することになったことから、事業の進捗が遅れた。 今後も市民への丁寧な説明に努めるとともに、市民生活や地域経済の状況を見極めつつ、「基本計画」策定の中で、コスト縮減策や事業手法等について慎重に検討する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課　0002 体育館建設準備係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	04 体育施設の整備と活用
小事業	05 [R01国補正]PFI等導入調査事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	5,918,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,000,000	5,918,000	0	1,082,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,918,000	0	0	0	0
主な財源	民間資金等活用事業調査費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市総合体育館整備PFI等導入可能性調査業務　5,918,000

事業期間	2　年度　～　2 年度
目的	総合体育館整備にあたり、市民サービスの向上やコスト縮減を図るため、PFI等手法の民間活力導入による整備の可能性について調査する。
事業活動内容	【調査内容】 ○前提条件の整理 ○施設配置の検討 ○事業範囲の検討 ○維持管理・運営計画の検討 ○民間事業者の参入可能性調査（アンケート、ヒアリング） ○事業手法の定性的評価 ○事業手法の定量的評価 ○総合評価及び課題の整理

成果指標	PFI等導入検討の進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	―	R元	―

活動指標	民間事業者の参入可能性アンケート調査の回収率	単位	目標		実績	
		%	R2	80	R2	54.2
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	PFI等手法の導入により、市民サービスの向上、コスト縮減が図られることから、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	体育館は、市が所管する公の施設であり、新たな体育館整備の事業手法に関する市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	本調査により、PFI等手法による施設整備の優位性が確認された。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	民間事業者へのアンケートやヒアリングにより、本事業への参入可能性やPFI等事業としての可能性を把握することができた。
	コスト削減の可能性	十分ある	本調査による定量的評価により、従来手法と比較し、コスト削減の可能性は十分にある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業手法の検討は、今後の整備費用や維持管理費等に関連することから、事業を廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	終了	PFI等手法の導入については、基本計画策定の中で検討を継続するが、国庫補助事業としての本事業は令和2年度で終了する。

総評（課題・改善点）	民間事業者の参入可能性調査、定性的評価、定量的評価等により、従来手法と比較し、市民サービスの向上、効率的な施設整備、財政負担の軽減効果が見込めることから、PFI等手法による施設整備の優位性が高いことが確認された。 今後は、調査結果を踏まえ、詳細な事業手法について、基本計画策定の中で、検討する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0011 債権管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	08 債権の適正管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	10,780			
1101	通信運搬費	50,000			
1103	手数料	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
337,000	60,780	0	276,220

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	60,780
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	市が提供する行政サービスの公平負担の原則に基づき、累積する未収債権の圧縮を図る。
事業活動内容	債権を、税・公課（強制徴収公債権）・公債権（非強制徴収公債権）・私債権に分類し、回収、放棄等の適正管理を行う。 （1）研修・・・・・債権管理担当者に対する理解度に応じた研修 外部講師等による研修 納付交渉での指導助言、差押現場での同行等 （2）支援・・・・・処理困難案件処理の指導助言、支払督促等の司法手続きの支援 （3）会議の開催・・債権管理関係者会議専門部会を開き、進捗状況の把握、課題等の検討を行う。 債権管理関係者会議幹事会では、2月に債権放棄についての審議を行う。

成果指標	債権額の圧縮率（対平成24年度末） ※圧縮率 当該年度末債権額／平成24年度末×100	単位	目標		実績	
		%	R2	71.0	R2	67.62
			R元	73.0	R元	67.82

活動指標	債権管理関係者会議開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	6	R2	4
			R元	6	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	普通	債権の種類を問わず、公平かつ公正な判断で、債権を管理することは、安定した市政運営のためにも必要である。
	市の関与の妥当性	妥当	市民サービスのために、債権の圧縮を図ることが目的であるので、統一的処理基準を制定し運用することは妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	債権ごとに差はあるものの、全体的に債権管理が進み、前年度と比較し成果が上がっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	個別での相談機会を増やし、個別の債権毎により細かく対応した。このことによって担当職員の債権管理意識の向上が図られた。
	コスト削減の可能性	ない	担当所管課への支援、助言・指導、研修等が主な業務なため、必要最小限の経費であり、コスト削減の余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	法律に基づいて適正に管理し、公平かつ公平に運用できているので、この事業を継続していくことは重要と思われる。
	今後の方向性	維持	異動等で担当者が代わることもあり、担当職員の債権管理に対する共通認識を持つことが市民負担の公平の確保につながっている。

総評（課題・改善点）	債務者ごとに適切な対応ができたことで債権の回収が進み、債権額の圧縮が図られている。 債権の中には徴収停止、履行延期、債権放棄の措置を採らなければならないものもあることから、公平性の観点からも適切な債権管理を行う必要がある。 全体的には、各債権管理担当課の職員の徴収スキルが向上してきてはいるが、困難事例にも対応するため、研修会等を通して更なる知識と技術の習得が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	03 住民基本台帳事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,851,188	1805015	宮崎県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	21,400
0301	職員手当	401,540	1808085	コンビニ交付運営負担金	2,728,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	503,280	1825002	研修会負担金	0
0801	費用弁償	48,000			
0802	普通旅費	43,000			
1001	消耗品費	1,223,394			
1002	消耗品費追録	278,000			
1006	印刷製本費	2,000,000			
1101	通信運搬費	831,000			
1103	手数料	2,850			
1206	その他の委託料	40,646,763			
1301	使用料及び賃借料	15,693,632			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,710,000	67,272,047	0	437,953

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	37,061,000	0	0	13,877,000	16,334,047
主な財源	個人番号カード交付事業費補助金、個人番号カード交付事務費補助金、社会保障・税番号制度システム整備費補助金、戸籍手数料、自動車臨時運行許可手数料、税関係証明手数料、その他証明手数料、船員法証明手数料、個人番号通知カード再交付手数料、個人番号カード再交付手数料、コンビニ交付実店舗試験手数料、モニター電気料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

住基戸籍連携システム保守業務	528,000
戸籍総合システム保守業務	5,187,600
通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金	26,345,200
証明書コンビニ交付システム（戸籍）保守業務委託	1,858,560
証明書コンビニ交付システム（住民情報）保守業務委託	3,300,000
戸籍総合システム改修業務委託	3,080,000
第三次証明書交付センター移行に係る工程3試験のテストデータの作成委託	165,000
コンビニ交付委託手数料	182,403

事業期間	年度　～　年度
目的	市民に関する記録の管理が適正に行われることにより、市民の利便性が増進されるとともに、行政の合理化が図られる。また、個人番号カードを利用した各種証明書のコンビニ交付サービスの推進により、市民の利便性の向上及び窓口職員の負担軽減が図られる。
事業活動内容	戸籍法、住民基本台帳法及び印鑑登録証明条例等に基づく届出(申請)受理、記録の管理及び身分等の公証等を行った。 （1）本籍・住所・印鑑に関する異動等の記録管理及び公証 （2）通知カード及び個人番号カードの交付等 （3）臨時ナンバーの貸付 （4）船舶航行報告証明 課税台帳等の閲覧及び税務証明書の発行を行った。

成果指標	個人番号カード交付率	単位	目標		実績	
		%	R2	33.7	R2	27.2
			R元	12.0	R元	12.2

活動指標	個人番号カード交付数	単位	目標		実績	
		枚	R2	20,657	R2	16,693
			R元	7,400	R元	7,536

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民生活における手続きの根幹となるため、市民のニーズは非常に高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	個人情報を適正に管理・処理する必要があるため、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	個人番号カードの交付率は順調に伸びている。
	成果に向けた活動量	十分であった	市内スーパーや大型商業施設で出張申請補助を実施した。また、各種研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	個人番号カードの交付そのものが、コンビニ交付や、現在進められている行政のデジタル化に寄与し、行政の効率化に繋がる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の利便性は高まりつつあるため、休廃止は考えられない。
	今後の方向性	拡充	コンビニ交付サービスが開始され、市民の利便性が向上している。今後、個人番号カードによる健康保険証など新たな活用法も予定されている。

総評（課題・改善点）	コンビニ交付サービスの利用のほか、健康保険証としての利用など、個人番号カードの拡充により、利便性が高まれば、市民サービスの向上と窓口業務の効率アップが期待できる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	03 消費者教育・啓発の推進
小事業	02 消費者行政強化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	5,889,504			
0301	職員手当	829,436			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,026,118			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	175,000			
0801	費用弁償	115,920			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	23,716			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,650,000	8,064,894	0	585,106

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,133,000	0	1,325,000	2,606,894
主な財源	消費者行政強化交付金事業補助金、日向地区広域消費生活センター運営負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市および近隣2町2村を管轄する日向地区広域消費生活センターにおいて、専門の相談員が消費生活相談に対応することで、消費者被害の救済を図るとともに、未然防止と被害拡大防止を図る。
事業活動内容	日向市及び近隣2町2村の消費生活に関する相談に対応するとともに、情報誌、FMラジオや出前講座等を活用して啓発活動に取り組んだ。また、定期的に無料法律相談を実施した。 ○消費生活相談および総合案内業務嘱託員雇用（3名） ○無料法律相談（偶数月） ○センター窓口相談、関係町村の巡回相談（月2回）の実施 ○消費生活出前講座の実施 ○情報紙の発行、FMラジオ（年8回）による啓発 ○消費生活相談員研修会(専門・事例講座等)、県法律研究会(宮崎県消費生活センター主催)参加 ○消費生活相談機能の整備（消費者六法の購入）

成果指標	消費生活関連の相談処理件数	単位	目標		実績	
		件	R2	300	R2	368
			R元	290	R元	363

活動指標	出前講座の開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	30	R2	9
			R元	30	R元	20

事業評価			
	市民のニーズ	高い	近年、消費生活センターの認知度が高まっており、消費生活に関する相談件数は増加傾向にある。また、出前講座や無料法律相談の利用希望も多い。
	市の関与の妥当性	妥当	日向地区広域消費生活センターは、市役所内に設置されており市が運営している。
	成　果	上がっている	警察や親族からの紹介でセンターの相談につながる場合や、市民から情報提供もあり、市民の消費生活に関する意識の向上が感じられる。
	成果に向けた活動量	十分であった	相談に対応するほか、情報誌、FMラジオや出前講座等を通じて、消費者トラブルの事例や対応方法を紹介するなど啓発活動に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ない	出前講座等の資料は庁内で印刷するなど、コスト削減に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止は、消費者被害の拡大を招く恐れがある。
	今後の方向性	維持	今後も相談体制を維持するとともにさらなる啓発に努め、県センターおよび近隣2町2村と連携して、消費者被害の未然防止、拡大防止を図る。

総評（課題・改善点）	新たな手法による架空請求や悪徳商法事案が発生しており、近隣2町2村や関係機関と情報共有を図り、消費者被害の未然防止、トラブル解決に努めている。相談に対応する専門の消費生活相談員は日々新しい知識の習得が求められる職種であり、今後も雇用を確保し相談体制を維持する必要がある。また、消費者教育、被害の未然防止のため、あらゆる機会を利用して啓発に努めることとする。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係		
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 市民生活費
事業	大事業	26 安全・安心な生活環境の確保			
	中事業	04 生活相談体制の充実			
	小事業	01 各種相談(人権・法律等)事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	200,000			
1001	消耗品費	10,647			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	17,170			
1006	印刷製本費	330			
1101	通信運搬費	120,000			
1702	機械器具費(事業執行用)	14,960			
1805010	宮崎県人権擁護委員連合会負担金	168,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
651,000	531,107	0	119,893

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	531,107
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度					
目的	市民からの要望・陳情等に対して、課題解決に向け適切に対応することで、市民の福祉の向上を目指す。					
事業活動内容	市民からの要望・陳情等に対して、課題解決に向けて適切に対応した。また、定期的に無料法律相談（以下、法律相談という。）を実施するとともに、人権相談や行政相談について啓発するなど支援を行った。 〇市への陳情・要望の受付、進行管理 〇無料法律相談の実施 〇人権・行政相談時における相談員の活動支援 〇なんでも相談ホットラインによる相談の実施					
成果指標	要望・陳情等の処理件数	単位	目標		実績	
		件	R2	430	R2	613
			R元	430	R元	518
活動指標	各相談会の回数	単位	目標		実績	
		回	R2	30	R2	21
			R元	30	R元	29

事業評価		
市民のニーズ	高い	受け付けた要望・陳情等は年間400件を超えており、法律相談の利用希望者も多い。
市の関与の妥当性	妥当	市が法律相談など各種相談を実施することで、市民が安心して相談できる。
成　　果	ある程度上がっている	要望・陳情等の件数は、近年横ばいで推移している。多種多様な相談窓口としての役割を担っている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響もあったが、各種相談会を継続して実施した。
コスト削減の可能性	ない	無料法律相談や、人権・行政相談を継続して実施するためには最低限の経費である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	身近な相談窓口が減ることにより、市民サービスの低下が予想される。
今後の方向性	維持	今後も、各種相談を継続し、相談しやすい環境の整備と周知・啓発に努める。

総評（課題・改善点）	市民からの様々な要望・陳情等を受け、課題解決に向けて取り組んだ。行政が介入できない民事トラブルについては、無料法律相談の利用を案内しており、また行政相談、人権相談については、各委員の相談活動の支援を行った。各種相談については、引き続き、市民への周知・啓発に努める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係		
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
事業	大事業	26 安全・安心な生活環境の確保			
	中事業	05 衛生対策の推進			
	小事業	01 畜犬(登録・狂犬病予防)事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	96,330			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	45,650			
1007	光熱水費	30,000			
1101	通信運搬費	196,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
381,900	371,900	0	10,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	371,900	0
主な財源	畜犬登録事務手数料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	犬の登録と狂犬病予防注射を推進し、狂犬病の発生とまん延を防止する。
事業活動内容	4月に自治公民館などを巡回して、狂犬病予防集合注射を実施した。また、犬の登録や予防注射の必要性について、個別に案内するとともに随時啓発を行った。 ○畜犬の登録、狂犬病予防注射履歴の管理 ○狂犬病予防注射の郵便案内（春、秋） ○狂犬病予防注射済票、シール及び鑑札の配布 ○FMラジオ等による啓発

成果指標	畜犬の年間登録件数	単位	目標		実績	
		件	R2	200	R2	329
			R元	180	R元	145

活動指標	狂犬病予防注射実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	2,200	R2	2,233
			R元	2,180	R元	2171

事業評価			
	市民のニーズ	高い	狂犬病予防法では、犬の登録と狂犬病予防注射（以下、「予防注射」という。）は、飼い主に義務付けられている。
	市の関与の妥当性	妥当	狂犬病予防法では、犬の登録および予防注射済票の交付は、市が行う事務と定められている。
	成　果	上がっている	予防注射の接種率は80%を超えており、未登録犬の登録も増加した。
	成果に向けた活動量	十分であった	年度始めに予防注射の案内を送付するとともに、随時、未登録犬、未注射犬の飼い主に対し案内を行った。
	コスト削減の可能性	ない	チラシは庁内の印刷機で印刷するなど、コスト削減に取り組んでいる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	狂犬病の発生やまん延のリスクが高まることによって、市民の生命を脅かす可能性がある。
	今後の方向性	維持	今後も継続して集合注射を実施するとともに、犬の登録と予防注射の必要性について啓発を図る。

総評（課題・改善点）	現在、日本では狂犬病の発生はないが、人に感染し発症すると死に至る病気であり、犬の登録および予防注射は飼い主にとって大事な義務である。今後とも、県および獣医師会等と連携し、接種率の向上を図るため、集合注射に取り組むとともに、犬の登録および予防注射の必要性について引き続き啓発を進めていくこととする。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	02 地域安全啓発事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,666			
1004	燃料費	39,448			
1007	光熱水費	5,500,000			
1008	修繕料	114,840			
1107	自動車損害保険料	33,100			
1301	使用料及び賃借料	12,222,000			
1402	維持補修工事	365,750			
1805007	宮崎県防犯協会連合会負担金	45,700			
1805061	(社)みやざき被害者支援センター負担金	114,000			
1806006	日向地区防犯協会負担金	1,938,000			
1832009	日向市安全で安心な街づくり推進協議会運営補助金	542,000			
1852029	防犯灯設置補助金	190,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,530,000	21,107,004	0	422,996

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,000	21,095,004
主な財源	防犯灯移設等負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	安全で安心なまちづくりのため、市民の防犯意識高揚を図り、啓発を主体として防犯への取組を推進する。
事業活動内容	関係機関と連携して、街頭啓発キャンペーンや見守り活動を行い、犯罪防止と市民の防犯意識高揚を図り、安全で安心なまちづくりの構築を推進する。 ○地域安全・防犯パトロール ○宮崎県防犯協会連合会・みやざき被害者支援センター・日向地区防犯協会への負担金 ○日向市安全で安心な街づくり推進協議会への運営補助 ○自治会への防犯灯設置補助 ○LED防犯灯整備、維持管理経費 平成26年度より、市内全域の防犯灯及び公園灯のLED化に伴い、10年間のリース方式による長期契約を締結し、適正な防犯灯の管理を図る。

成果指標	刑法犯罪の抑止対策（刑法犯罪発生件数）	単位	目標		実績	
		件	R2	270	R2	235
			R元	250	R元	297

活動指標	地域安全パトロール及びキャンペーン・出前講座実施数	単位	目標		実績	
		回	R2	140	R2	172
			R元	150	R元	181

事業評価			
	市民のニーズ	高い	街頭における広報啓発活動や子どもの見守りなどの地域安全活動は犯罪のない安全で安心な街づくりを実現するために必要不可欠な取組であり、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市が警察等の関係機関と連携を図り、犯罪のない安全で安心な街づくりのための地域安全に関する啓発等の取組を行うことが必要である。
	成　　果	上がっている	関係機関と連携を図り、地域ボランティアなどの協力を得ながら犯罪被害防止の広報啓発等の地域防犯活動を実施したところ、犯罪が減少した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	犯罪の発生状況を分析し、地域安全パトロールを実施するとともに、広報誌などの広報媒体や市役所の共用スペースを利用するなどして犯罪防止に関する広報・啓発活動を実施した。
	コスト削減の可能性	ない	犯罪のない安全で安心な街づくりを実現するためには、予算コストを見極めながら効果的な啓発活動を計画的に実施する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	各種啓発等の事業活動や各団体への負担金は、市民が安全で安心な生活を送るためには必要不可欠であり、休廃止した場合には治安の低下を招くなど、市民生活への影響は多大である。
	今後の方向性	維持	警察等の関係機関と連携しながら、地域ボランティア等の協力を得て、街頭における広報啓発活動や巡回パトロールを効果的に実施し、安全で安心な街づくりの実現を目指す必要がある。

総評（課題・改善点）	犯罪内訳で多くを占める自転車盗難や万引き防止のためには、警察等の関係機関や自主防犯ボランティア団体の協力を得ながら、街頭における広報啓発、青パト使用による地域安全パトロール、子どもの見守り等の各種地域活動を実施する必要がある。また、高齢者被害のうそ電話（特殊）詐欺、子どもや女性が被害者となる犯罪の未然防止にも努め、犯罪のない安全で安心な街づくりの構築を強力に推し進めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	03 交通安全対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	1,600,000			
0801	費用弁償	5,020			
0802	普通旅費	7,170			
1001	消耗品費	5,533			
1003	消耗品費被服	354,487			
1101	通信運搬費	20,000			
1806019	日向地区交通指導員連絡協議会負担金	85,800			
1806055	日向地区交通安全協会負担金	1,737,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,869,000	3,815,410	0	53,590

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,815,410
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	住民の交通安全に対する意識啓発を促進する。
事業活動内容	市内における交通死亡事故発生ゼロと飲酒運転根絶を目標に、各種キャンペーンや公用車による広報巡回など啓発活動を主体として取り組み、あわせて警察や関係団体等との連携強化を図った。 ○日向市交通指導員会に係る経費 ・報酬、出張旅費、被服貸与費 ○負担金 ・日向地区交通指導員連絡協議会負担金 ・日向地区交通安全協会負担金

成果指標	交通死亡事故の抑止対策（交通死亡事故者数）	単位	目標		実績	
		人	R2	0	R2	2
			R元	0	R元	3

活動指標	街頭啓発キャンペーン及び出前講座実施数	単位	目標		実績	
		回	R2	30	R2	5
			R元	35	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民の生活と密接に関係している交通安全に関する啓発活動は、市民の交通安全意識を高めるためには必要不可欠であるので、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市が率先して関係機関等と連携を図りながら、市民の交通安全に関する意識を高めるための啓発などを実践することが、交通事故の抑止に繋がり、安全で安心な生活環境づくりに直結する。
	成　果	上がっている	交通事故死者数、交通事故の発生件数がいずれも減少したため、成果が上がっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	関係機関・団体と連携しながら実施した啓発活動や市の広報誌などを通じた広報活動、青パト使用による巡回パトロール活動などを行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	予算とコストの見極めを行って事業に反映するとともに、継続的かつ効果的な広報啓発活動等を実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の交通安全意識の高揚を図るためには、各種広報啓発活動や各団体への負担金支出等は必要不可欠で、休廃止をすれば交通社会の秩序維持が保たれず、市民への影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	関係機関等との連携を図り、市民ボランティアへの支援に努め、継続的に交通安全に関する広報啓発活動等を実施し、市民の交通安全に対する意識の高揚に努める活動を促進する。

総評（課題・改善点）	高齢化社会を迎え、高齢運転者の交通事故が増加傾向にあることから、制限運転をはじめとする高齢者への対策をより一層推進するとともに、重大事故に直結するおそれがある飲酒運転の根絶活動、信号のない横断歩道における一旦停止（横断歩行者への妨害撲滅）の遵守に対する啓発活動などにも力を入れ、市民の交通安全に対する意識を高めていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0004 地域防犯・交通安全係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進
小事業	04 水難防止啓発事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	2,089			
1808009	宮崎県水難救済会負担金	20,000			
1832006	日向市水難事故防止対策協議会運営補助金	64,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000	86,089	0	13,911

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	86,089
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	水難事故防止の啓発促進を行う。
事業活動内容	水難事故の発生抑止を目標として、関係機関と連携して啓発活動を主体に取り組み、市民の水難事故防止に対する意識高揚を図った。 ○宮崎県水難救済会負担金 ○日向市水難事故防止対策協議会補助金

成果指標	水難事故防止対策（水難事故発生件数）	単位	目標		実績	
		件	R2	0	R2	2
			R元	0	R元	6

活動指標	パトロール及び啓発活動の実施数	単位	目標		実績	
		回	R2	90	R2	74
			R元	150	R元	174

事業評価			
	市民のニーズ	高い	水難事故防止は、市民の生命や身体の安全など市民生活に直結しており、市民のニーズはとても高い。
	市の関与の妥当性	妥当	海浜や河川、岸壁などで発生する水の事故ゼロを目指し、市が各関係機関と連携を図りながら、水難事故防止活動を推進していくことが必要である。
	成　　果	上がっている	海水浴場や河川、磯場などでの啓発、広報活動等を関係機関と連携をしながら実施したところ、成果が認められた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	広報チラシを活用した啓発活動、青パトによる巡回パトロール等を実施し、成果に向けた活動量はある程度認められた。
	コスト削減の可能性	ない	予算とコストを考慮し、計画的かつ効果的な広報啓発活動を実施し必要不可欠な事業を継続していくことが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民生活に直結するのため、関係機関との連携を図りながら、青パトを使用した巡回パトロールや広報啓発活動は欠かせない事業であり、休廃止した場合の市民への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	海・川・港湾等における水の事故防止に関する市民の安全意識の高揚を推進し、水に関する事故防止に努めていく必要がある。

総評（課題・改善点）	ライフジャケットの着用を促す注意・警告看板や危険場所における立入り禁止看板の設置、河川や海浜、磯場などでレジャーを楽しむサーファー・遊泳客・釣り客など県内外の利用者に対する広報啓発活動などを推進し、水難事故防止に対する意識の高揚を図っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0002 環境公害係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	15 環境保全費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	02 自然保護事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	234,000			
0802	普通旅費	7,820			
1001	消耗品費	261,369			
1004	燃料費	19,620			
1005	食糧費	0			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	0			
1108	その他の保険料	114,400			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	0			
1869001	保存樹・樹林管理補助金	94,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,051,000	731,209	0	319,791

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	320,000	0	0	411,209
	主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金、補助及び交付金
保存樹、保存樹林管理補助金（2本の保存樹に交付）　94,000

事業期間	年度　～　年度
目的	市民の環境に対する理解と関心を深めるとともに、本市の豊かな自然環境の維持保全に努める。
事業活動内容	小学生を対象にした水辺環境調査、河川環境モニターによる河川監視活動、保存樹や保存樹林の管理補助、ボランティア清掃活動への支援等を行った。 なお、市民一斉海岸清掃のクリーンアップ日向は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。 ○報償費（河川環境モニターへの謝金、モニター13人） ○普通旅費（担当者会議ほか） ○消耗品費（水辺環境調査用の資材、ごみ袋、軍手ほか） ○燃料費（公用車燃料） ○その他の保険料（河川環境モニターの傷害保険料）

成果指標		単位	目標		実績	
	①河川環境モニター委嘱者数 ②クリーンアップ日向ごみ回収量	①人 ②kg	R2	①13 ②2,000	R2	①13 ②実施なし
			R元	①13 ②2,000	R元	①13 ②2,500

活動指標		単位	目標		実績	
	①河川環境モニター報告件数 ②クリーンアップ日向参加者総数	①件 ②人	R2	①156 ②600	R2	①156 ②実施なし
			R元	①156 ②600	R元	①156 ②595

事業評価		
市民のニーズ	高い	環境保全や自然保護に対する市民の関心は高い。
市の関与の妥当性	妥当	環境保全や自然保護の活動に対する市の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	市民の環境保全等に関する理解や関心は深まっている。
成果に向けた活動量	十分であった	河川環境モニター活動や水辺環境調査など、良好な自然環境の保全に関する監視活動を行った。
コスト削減の可能性	ない	必要最小限の経費を計上している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の環境保全等に対する関心が低下するおそれがある。
今後の方向性	維持	現状の活動を継続していくことで市民の環境保全等に対する関心を深めていく。

総評（課題・改善点）	
	海岸清掃などのボランティア活動は、毎年一定数の団体等が活動している。 将来的には、自然保護活動等を率先して取り組む指導者の育成が求められる。 保存樹の立ち枯れによる伐採があり、樹木医の存在の必要性を感じている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	04 環境衛生に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	460,874			
1008	修繕料	0			
1206	その他の委託料	331,524			
1867012	側溝清掃補助金	467,000			
1867034	飲用井戸等水質検査費用補助金	4,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,585,000	1,263,398	0	321,602

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,263,398
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 地区清掃等に伴う側溝土砂運搬業務（7地区、2トンダンプ車9台）　331,524

○負担金、補助及び交付金
- 側溝清掃補助金（7地区、14件）　467,000
- 飲用井戸等水質検査費用補助金（2件）　4,000

事業期間	年度　～　年度
目的	各地区が行う側溝清掃活動や害虫駆除を支援することで、本市の良好な環境衛生の維持保全を図る。
事業活動内容	各地区が行う側溝清掃に対する補助、側溝清掃で発生した土砂の運搬に対する支援、ユスリカなどの成長を阻害する発泡錠剤の配布、害虫駆除薬剤散布用の動力煙霧機の貸出し等を行った。また、飲用井戸等の水質検査に係る費用の一部を補助した。 ○消耗品費（発泡錠剤、油剤、ごみ袋、軍手ほか）

成果指標	側溝清掃補助金交付額	単位	目標		実績	
		千円	R2	609	R2	467
			R元	652	R元	285

活動指標	側溝清掃補助金交付件数	単位	目標		実績	
		件	R2	20	R2	14
			R元	25	R元	13

事業評価			
	市民のニーズ	高い	側溝清掃や害虫駆除活動に対する市民の関心は高い。
	市の関与の妥当性	妥当	環境衛生の維持保全を図る活動に対する支援は妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	毎年、側溝清掃等が継続的に行われ、環境衛生の維持保全が図られている。
	成果に向けた活動量	十分であった	側溝清掃等の支援に関する文書を全区長に配布した。
	コスト削減の可能性	ない	相当の地元負担を求めており、予算の範囲内で調整しながら事業を遂行している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	各地区の負担が増えることで側溝清掃等の活動が衰退し、環境衛生の悪化が懸念される。
	今後の方向性	維持	各地区の状況を考慮し、必要最小限の予算を確保しながら、現状の取組を維持していく必要がある。

総評（課題・改善点）	区民の高齢化や未加入者の増加により、地区清掃活動は厳しくなると予想される中、環境衛生の維持保全を図っていくためには、今後、行政がどのように関与していくのか協議が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	05 公害対策費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	03 公害対策の推進
小事業	01 公害対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1806026	耳川水系汚濁防止協議会負担金	30,500
0702	出会謝金	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	13,040			
1001	消耗品費	0			
1003	消耗品費被服	42,130			
1004	燃料費	25,214			
1101	通信運搬費	34,000			
1103	手数料	63,360			
1201	施設維持管理委託料	1,012,000			
1203	事業委託料	572,000			
1204	調査・計画策定委託料	4,796,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,945,000	6,588,244	0	356,756

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,588,244
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料（施設維持管理委託料）	
旧富高鉱山排水設備清掃業務	1,012,000
○委託料（事業委託料）	
自動車騒音調査業務	572,000
○委託料（調査、計画策定委託料）	
河川等水質調査業務	2,860,000
ダイオキシン類調査業務	1,936,000

事業期間	年度　～　年度
目的	河川等の水質調査や自動車騒音調査などの定期的な環境モニタリングにより、市民が安全で安心に暮らせる生活環境の維持保全を図る。
事業活動内容	河川水、最終処分場の水質調査や街区公園等のダイオキシン類調査、主要幹線道路の自動車騒音調査を行った。また、旧富高鉱山からの排水を処理する施設の清掃を行った。 ○普通旅費（宮崎県ウラン対策専門委員連絡会議ほか） ○手数料（臨時水質検査手数料3件） ○施設維持管理委託料（旧富高鉱山排水処理沈殿槽及び排水路清掃業務） ○事業委託料（自動車騒音調査業務） ○調査委託料（河川、最終処分場等の水質調査や河川、街区公園等のダイオキシン類調査業務）

成果指標	公害関係苦情解決率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標	調査箇所数	単位	目標		実績	
		箇所	R2	115	R2	115
			R元	115	R元	115

事業評価			
	市民のニーズ	高い	公害の未然防止や安全で安心な生活環境の維持保全に対する市民の関心は高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の求める生活環境の保全を図る活動への市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	環境モニタリングの結果は、毎年環境基準を達成しており、成果は、本市の環境変化の監視に活用している。
	成果に向けた活動量	十分であった	必要な箇所の環境モニタリング箇所を設定した。
	コスト削減の可能性	ない	環境モニタリングを行う上での相当の費用は必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民からの負託を受け、本市の環境の状況を継続して監視していくことが求められている。
	今後の方向性	維持	今後も継続して、環境モニタリングを行う必要がある。

総評（課題・改善点）	
	近年、大規模な公害は発生していないが、公害に対する市民の関心は高い。 環境の変化を監視していくことは、公害の未然防止にもつながり、継続して行うことで安全で安心な生活環境の維持保全が図られる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0002 環境公害係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	03 し尿処理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	03 財光寺汚泥処理場施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	2,637,817			
1007	光熱水費	5,173,783			
1008	修繕料	1,120,500			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	13,729			
1201	施設維持管理委託料	26,856,230			
1206	その他の委託料	478,170			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	66,000			
1818006	し尿処理一次処理負担金	13,362,813			
1818008	し渣焼却処理負担金	276,286			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,994,000	49,985,328	1,292,500	3,716,172

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,293,000	48,692,328
主な財源	財光寺汚泥処理場使用料、財光寺汚泥処理場管理室（菜切集会場）光熱水費使用料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（施設維持管理委託料）

水槽清掃業務	2,220,000
電気保安業務	158,400
脱水し渣運搬業務	135,899
脱水汚泥運搬業務	1,624,227
脱水汚泥処分業務	1,804,704
維持管理業務	20,440,000
植栽等管理業務	473,000

○委託料（その他の委託料）

水質等分析業務	478,170

事業期間	年度　～　年度
目的	生活排水（し尿及び浄化槽汚泥）処理施設の財光寺汚泥処理場の機能が、適正に維持されるよう施設及び設備の管理を行う。また、処理によって発生する脱水汚泥やし渣等の適切な処分を行う。
事業活動内容	財光寺汚泥処理場を適正に維持管理した。 ○消耗品費（薬品、薬剤、補修用部品ほか） ○修繕料（ドラムスクリーン減速機交換修繕、酸・アルカリ循環ポンプ修繕ほか） ○し尿処理一時処理負担金（浄化センターによる、し尿処理に係る負担金） ○し渣焼却処理負担金（日向東臼杵広域連合による、し渣焼却に係る負担金）

成果指標	し尿及び浄化槽汚泥受入量	単位	目標		実績	
		キロリットル	R2	20,570	R2	20,483
			R元	20,760	R元	20,570

活動指標	脱水処理量	単位	目標		実績	
		㎥	R2	2,360	R2	2,356
			R元	2,690	R元	2,360

事業評価			
	市民のニーズ	普通	生活排水処理施設であることから、必要不可欠な施設である。
	市の関与の妥当性	妥当	生活排水処理施設であり、市がこの施設の維持管理に関与することは妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	人口減少や下水道接続又は浄化槽転換によりし尿量は減っているが、一方、浄化槽汚泥量は増加している。
	成果に向けた活動量	十分であった	必要な設備の修繕や適正な施設の運営に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	生活排水処理に必要な最小限の経費を計上している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	生活排水処理に支障が生じる。
	今後の方向性	維持	生活排水処理機能の維持が図られるよう適切な設備の修繕や施設の維持管理を継続していく。

総評（課題・改善点）

昭和62年の供用開始から34年が経過し、設備等の老朽化が進んでいることから、設備の更新が急務となっている。

現在、浄化センターとの共同化に向けた協議を進めており、生活排水処理施設としての機能維持に努めながら、設備更新を行うための年次的かつ効率的な計画策定を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	01 樹木リサイクル事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	30,235			
1106	火災保険料	1,751			
1206	その他の委託料	2,138,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,174,000	2,170,386	0	3,614

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,170,386
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
樹木リサイクル業務　2,138,400

事業期間	年度　～　年度
目的	①焼却ごみの減量化が図られる。 ②剪定樹木のチップ堆肥化による資源の有効利用が図られる。 ③業務をシルバー人材センターに委託することにより高齢者の雇用の場を確保できる。
事業活動内容	一般家庭及び事業者から年間を通して排出される剪定樹木の適正な処理処分を行う。 ○樹木リサイクル事業 ・光熱水費（電気料） ・火災保険料（樹木リサイクル施設） ・その他の委託料（樹木リサイクル業務）

成果指標	チップ堆肥提供量	単位	目標		実績	
		t	R2	99	R2	100
			R元	100	R元	99

活動指標	剪定樹木の受入量	単位	目標		実績	
		t	R2	186	R2	182
			R元	160	R元	186

事業評価			
	市民のニーズ	高い	剪定樹木のチップ堆肥の需要は年々伸びていることから、市民ニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	ごみ減量化と合わせて、資源のリサイクルを推進する観点から市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	チップ堆肥の提供量は増加しており、市民へ提供できている。
	成果に向けた活動量	十分であった	剪定樹木の受入量はコロナ禍の影響で減少しているが、計画的な粉砕により提供量は増加している。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	週2回勤務の委託を見直したい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	剪定樹木等の焼却量が増加し、焼却施設や最終処分場の延命化等に影響を及ぼすことが想定される。
	今後の方向性	拡充	剪定樹木等のリサイクル量を増やし、ごみの資源化・減量化を図る。

総評（課題・改善点）	一般家庭及び事業者から排出される剪定樹木をチップ化・腐葉土化する量の拡大を図り、ごみの資源化・減量化を推進していく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	02 ごみの適正処理の推進
小事業	01 ごみ処理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	893,097			
1006	印刷製本費	1,273,800			
1007	光熱水費	965,250			
1008	修繕料	0			
1203	事業委託料	167,926,000			
1206	その他の委託料	1,254,000			
1601	土地購入費	1,378,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
174,118,000	173,690,147	0	427,853

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	40,136,000	133,554,147
主な財源	最終処分場利用負担金、廃棄物処理手数料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）　167,926,000
一般廃棄物収集貼紙啓発業務

○委託料（その他の委託料）
使用済乾電池処理・処分業務委託　1,015,740
使用済蛍光管処分業務委託　238,260

事業期間	年度　～　年度
目的	①ごみの減量化と適正処理が図られる。 ②ごみの減量化を推進することにより、最終処分場を始めとする処理施設の延命化が図られる。 ③市民、事業所（者）のごみ問題に対する意識の高揚が図られる。
事業活動内容	日向市ごみ処理基本計画に基づき、収集コースの見直し等を適宜行い、ごみ収集業務の効率化及び適正化に努める。また、日向・入郷地区4R推進協議会の資源分別統一化等を図ることによってごみ減量化・資源化を推進し、ごみの適正処理に努める。

成果指標	1人1日当たりのごみ排出量	単位	目標		実績	
		グラム	R2	963	R2	961
			R元	917	R元	963

活動指標	戸別訪問啓発件数	単位	目標		実績	
		件	R2	1,675	R2	301
			R元	3,400	R元	1,675

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民生活に直接関係することから、市民ニーズは高い事業である。
	市の関与の妥当性	妥当	一般廃棄物処理は、法律により市の責務となっていることから、関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	燃やせるごみが前年度比より減少傾向にあることから、ある程度の成果は上がっているものと考える。
	成果に向けた活動量	不十分であった	依然として不適切なごみの排出が見受けられるが、コロナ禍の中で継続した戸別訪問による啓発活動を中断せざるを得なかった。
	コスト削減の可能性	ない	適正かつ効率的なごみの収集に努めるとともに、ごみの減量化と適正排出を推進していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市の責務であるため、休廃止はできない。
	今後の方向性	維持	効率的で安全・安心な収集運搬体制や戸別訪問等による啓発活動を継続していく必要がある。

総評（課題・改善点）	ごみの適正処理を推進するため、貼紙啓発や戸別訪問等の啓発活動を引続き実施するとともに、高齢や要介護状態によりごみ等の排出が困難な世帯へのサポート体制を充実させる。単身高齢者等への見守りの役割等を担えるよう、関係機関と連携していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0004 適正処理推進係		
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 公害対策費

事業	大事業	27 循環型社会の実現
	中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
	小事業	03 生ごみリサイクル推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
342,000	300,000	0	42,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	300,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度		
目的	家庭や飲食店等から排出される燃やせるごみの約4割は生ごみであることから、生ごみの発生・排出抑制、減量化・資源化を推進し、環境へ負荷が少ない循環型社会の構築を図り、ごみの減量化を図る。		
事業活動内容	回数は少なかったが出前講座を実施し、家庭における生ごみの発生抑制、堆肥化及び乾燥等を推進する啓発を行った。また、市で実施している生ごみ処理器等の無償貸与や使用方法、その説明を行った。 〇普通旅費（視察及び研修等） 〇消耗品費（生ごみ処理器及び啓発資材の購入） ・コンポスト、EMバケツ等		

成果指標	処理器貸与数	単位	目標		実績	
		基	R2	90	R2	110
			R元	90	R元	80

活動指標	啓発活動の実施回数	単位	目標		実績	
		回	R2	35	R2	8
			R元	35	R元	60

事業評価		
市民のニーズ	普通	市民からの生ごみ処理器貸与申請は増加している。
市の関与の妥当性	妥当	生ごみの堆肥化等は、ごみ減量化に繋がり、焼却施設や最終処分場の延命化による財政負担の軽減につながる。
成　　果	上がっている	コロナ禍による巣ごもり生活の影響からか、生ごみ処理器貸与が増加した。
成果に向けた活動量	ある程度あった	出前講座の申し込み依頼はあったものの、コロナ禍で密集などを避けるため、出前講座が8回しか開催できなかった。
コスト削減の可能性	ない	食品ロス削減や生ごみのリサイクルによる循環型社会の構築については、継続して実施していく必要がある。
休廃止した場合の市民への影響	普通	生ごみ処理器の貸与申請は増加しており、生ごみ減量化に対する市民の意識に影響する可能性が大きい。
今後の方向性	維持	生ごみ処理器の貸与制度を継続し、既貸与者へのアフターケアと、貸与してから10年を超える方の生ごみ処理器の交換に力を入れたい。ごみ減量化の必要性及び意識向上を図りたい。

総評（課題・改善点）	コロナ禍により、出前講座があまり開催できなかったため、令和3年度は出前講座を実施し、生ごみ処理器を利用した生ごみ減量化や、食品ロス削減の啓発を行いたい。 予算的な問題もあるが生ごみ処理器の普及を進めていきたい。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0004 適正処理推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	01 ごみの発生抑制と再利用の推進
小事業	02 資源回収事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	94,000			
1203	事業委託料	276,521,396			
1867013	資源回収実施地区補助金	10,623,100			
1869002	古紙保管庫設置助成金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,644,000	287,243,696	0	1,400,304

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	35,804,000	251,439,696
主な財源	有価物売払収入、有償入札拠出金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
燃やせないごみ・資源物等処理業務委託	91,850,000
資源回収業務（缶類・空き瓶ほか）	34,844,400
資源回収業務（古紙類）	27,687,000
資源回収業務（プラスチック製容器包装）	42,903,600
中間処理業務（空き缶類）	4.925,360
中間処理業務（古紙類）	19,821,787
中間処理業務（カセットボンベ・スプレー缶）	804,804
中間処理業務（ペットボトル）	5.889,664
中間処理業務（プラスチック製容器包装）	47,221,790
再商品化業務	572,991

事業期間	年度　～　年度
目的	「日向市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみの減量化や資源化の推進による財政負担の軽減を図るとともに、民間企業のリサイクル施設と連携を取りながら、ごみの減量化及び資源化を推進することで、ごみ処理に係る財政負担を軽減するとともに、適正なごみ処理体制の構築を図る。
事業活動内容	循環型社会の構築に向け、資源回収業務・中間処理委託業務を民間に委託し実施するとともに、各地区の資源物回収を奨励促進するため、各地区に対して補助金を交付した。 ○普通旅費（研修会等） ○消耗品費（啓発用資材及び防風ネット等） ○事業委託料（資源回収業務、中間処理業務等） ○資源回収実施地区補助金（95地区） ○古紙保管庫設置助成金

成果指標	資源化率	単位	目標		実績	
		%	R2	25	R2	19.6
			R元	24.6	R元	19.3

活動指標	資源化量	単位	目標		実績	
		t	R2	4,250	R2	4,179
			R元	5,132	R元	4,160

事業評価			
	市民のニーズ	高い	ごみ減量化、資源化により財政負担の軽減が図られることから、市民の関心は高いと思われる。
	市の関与の妥当性	妥当	ごみ減量化や資源化は、環境問題はもとより財政負担の観点からも市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	資源物回収時の分別マナーなど、市民のごみの減量化や資源化に対する意識は徐々に向上している。
	成果に向けた活動量	十分であった	適正処理ガイドブックを作成するとともに、また、自治会加入率の低いアパート等も含め広く市民に配布している。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	人口減少や資源物の素材の軽量化が進むことによって、中間処理業務の委託料が減少する。適正処理ガイドブックを隔年で作成する。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	燃やせるごみ、燃やせないごみの処理方法の新しいルール作りが必要となり、市民の混乱を招く恐れがある。
	今後の方向性	維持	ごみ減量化、資源化は、循環型社会の構築のため継続して推進していく必要がある。

総評（課題・改善点）	
	日向市ごみ処理基本計画に基づき、市民、事業者、行政が一体となり、循環型社会の構築に向けごみ減量化や資源化の推進に継続して取り組む必要がある。 また、適正処理ガイドブックについてであるが、予算の関係上、年々印刷部数が減少している。ごみ分別アプリにおいても同様の内容が閲覧できることから、ごみ分別アプリを推奨しているが、それを使えない方の事も配慮して、紙媒体の適正処理ガイドブックは、全世帯への配布が必要と考える。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0004 適正処理推進係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	02 ごみの適正処理の推進
小事業	02 不法投棄対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	124,000			
1004	燃料費	120,000			
1103	手数料	364,580			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	191,400			
1702	機械器具費（事業執行用）	155,360			
2602	その他の公課費	1,264			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,125,000	956,604	0	168,396

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	956,604
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	市内全域及び不法投棄が頻発する箇所を巡回、監視を行い不法投棄を抑制することで、市民の環境美化意識の高揚を図る。
事業活動内容	週5回2名体制で、市内全域を5つのエリアに分けて巡回し、不法投棄箇所や投棄者の調査を行うとともに、投棄物の回収及び処理を行った。また、投棄者が判明した場合は、警察署や保健所の関係機関と連携して適正処理などの指導を行った。 また、不法投棄対策用として監視カメラ3台を購入した。有効的に活用し、不法投棄対応に役立てたい。 〇消耗品費（看板等資材） 〇燃料費 〇自動車借上料（軽トラックリース料）

成果指標	回収量	単位	目標		実績	
		kg	R2	7,000	R2	9,125
			R元	7,300	R元	7,970

活動指標	回収箇所数	単位	目標		実績	
		箇所	R2	400	R2	348
			R元	600	R元	433

事業評価		
市民のニーズ	高い	市民からの不法投棄の情報提供が増加していることにより、早期での対応ができている。
市の関与の妥当性	妥当	不法投棄は市民の生活環境に影響を与えることから、市の関与は妥当と考える。また、一般廃棄物の処理は市の責務である。
成　　果	上がっている	関係各署等とスムーズな連携がとれてきた。
成果に向けた活動量	十分であった	不法投棄の発生を抑制するため、巡回エリアを区切った市内全域の巡回、出前講座での不法投棄の現状報告、不法投棄頻発箇所への監視カメラ及び看板設置、夜間巡回を実施した。
コスト削減の可能性	ある程度ある	不法投棄パトロールを委託していたが、令和2年度から再任用職員が従事することになりコスト削減が図られた。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	生活環境の保全対策は継続して行っていく必要がある。
今後の方向性	維持	引き続き細やかな不法投棄パトロールを実施していく。また、関係各署との連携を密にしながら対策に取り組んでいく必要がある。

総評（課題・改善点）	不法投棄の発生場所は、ある程度固定化されている。必要に応じ監視カメラの設置や関係各署との連携を強化して、不法投棄をさせない取組をしていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	01 ボランティア活動支援事業（民生委員活動費の補助等）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833002	民生委員活動費補助金	23,692,160			
1853002	ボランティアまちづくり事業補助金	1,776,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,614,000	25,468,160	0	145,840

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,474,000	0	0	14,994,160
主な財源	民生委員費負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○民生委員活動費補助金

民生委員・児童委員活動補助金	20,504,160
民生委員・児童委員協議会事務局補助金	3,188,000

事業期間	年度　～　年度
目的	民生委員・児童委員及びボランティア等、地域の民間福祉活動の推進を図る。
事業活動内容	日向市民生委員・児童委員協議会の活動、事務局の運営及び日向市社会福祉協議会のボランティアまちづくり事業に対して補助金を交付した。 ○民生委員・児童委員活動補助 ○民生委員・児童委員協議会事務局補助 ○ボランティアまちづくり事業補助

成果指標		単位	目標		実績	
	ボランティア活動者数	人	R2	1,900	R2	810
			R元	1,900	R元	2,078

活動指標		単位	目標		実績	
	民生委員・児童委員及び主任児童委員活動件数	件	R2	4,000	R2	3,303
			R元	4,000	R元	3,921

事業評価			
	市民のニーズ	高い	民生委員・児童委員の活動及びボランティア育成は、市民と地域福祉にとって重要な役割を担っている。
	市の関与の妥当性	妥当	民生委員法及び児童福祉法に基づき、市は、民生委員・児童委員に対して、その職務に関して必要な指導及び指示ができ、相互に協力することとされている。
	成　　果	ある程度上がっている	市民の身近な相談窓口として、民生委員等の活動は重要であり、行政や各種機関による支援につながっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍で活動が制限されたが、民生委員等による日々の見守りや声掛け、市の事業に対する協力、ボランティア活動等、地域福祉の増進に寄与している。
	コスト削減の可能性	ない	県負担金や市の財政状況を考慮し、金額を決定することが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	民生委員・児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受けて活動を行っており、地域福祉の重要な担い手であるため、休廃止した場合の影響は、非常に大きい。
	今後の方向性	維持	民生委員・児童委員の活動及びボランティア育成は、地域福祉の推進に必要であり、今後も補助金による支援は継続すべきである。

総評（課題・改善点）	
	民生委員・児童委員は、市民の身近な相談窓口として、市との連携や情報共有を行い、地域福祉の向上に資する重要な活動を行っている。しかし、委員の高齢化や後継者不足等が懸念されており、人材確保に向けて、地域と協力した取組が求められる。 近年の災害による被害は甚大化しており、ボランティア活動と人材育成について、今後も継続した取組が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係		
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業	大事業	15 地域福祉の充実と生活支援			
	中事業	01 地域福祉の推進			
	小事業	02 日向市社会福祉協議会の支援に要する経費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833001	日向市社会福祉協議会運営補助金	47,391,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,391,000	47,391,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	47,391,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市社会福祉協議会は、本市の各種福祉業務を広範囲にわたり実施しており、これを支援することにより地域福祉の向上と推進を図る。
事業活動内容	地域福祉の拠点である日向市社会福祉協議会の運営について補助を行った。 【補助対象内容】 ○事務局人件費 ○総合福祉センター管理運営費 ○東郷支所管理運営費 ○福祉推進員事業費 ○東郷地域総合福祉センター管理運営費

		単位	目標		実績	
成果指標	補助比率＝日向市社会福祉協議会運営費補助金/市社協の事業活動収入計×100	%	R2	15.0	R2	15.0
			R元	16.0	R元	12.0
		単位	目標		実績	
活動指標	日向市社会福祉協議会への補助金額	千円	R2	46,917	R2	47,391
			R元	46,917	R元	46,917

事業評価			
	市民のニーズ	高い	地域福祉を目的とする事業の企画と実施、地域福祉活動に対する市民参加の促進と支援を行っている。
	市の関与の妥当性	妥当	市の福祉業務を幅広く実施しており、運営を支援することにより、地域福祉の向上と推進を図ることができる。
	成　果	上がっている	地域支援や自立支援、在宅支援など、本市の地域福祉の向上につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	地域支援や自立支援、在宅支援など、幅広く活発な活動に取り組んでいる。コロナ禍の中、Web会議システムの活用等による活動の継続に努めた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	賛助会費等の自主財源の確保に努めるとともに、業務見直しによる経費節減は課題であると思われる。補助金は、積算内容や市の財政状況等を考慮し、決定することが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市の福祉業務を幅広く実施しており、地域福祉を推進する上で、必要不可欠な存在である。
	今後の方向性	維持	今後も社会福祉協議会が担う福祉業務を支援することにより、地域福祉の向上と推進を図ることが必要である。

総評（課題・改善点）	
	地域共生や自立支援、在宅支援など本市の地域課題の解決に向けた取組を実施しており、地域福祉の推進における中心的な役割を担っている。 運営面は、一定の改善がみられるものの、依然として厳しい状況であり、賛助会費の増収等、自主財源の確保に向けた取組が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	03 民間福祉活動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867009	うるおい福祉基金事業補助金	20,970			
2403	その他特定目的基金積立金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
631,000	20,970	0	610,030

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	20,970	0
主な財源	うるおい福祉基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	市民の創意と工夫を生かした自発的な保健福祉事業を推進することにより、地域福祉の向上が図られ、市民のうるおいのある生活が促進される。
事業活動内容	日向市うるおい福祉基金を活用し、民間団体等の保健福祉活動やボランティア活動を支援するため、事業実施団体等の募集を行った。

成果指標	補助金交付金額	単位	目標		実績	
		千円	R2	330	R2	0
			R元	330	R元	0

活動指標	補助金交付件数	単位	目標		実績	
		件	R2	2	R2	0
			R元	2	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	普通	民間の福祉活動やボランティア活動を実施する団体等に対して補助金を交付する。
	市の関与の妥当性	妥当	うるおい福祉基金の運用益等で実施する事業として、うるおい福祉基金事業推進委員会に補助金を交付し、同委員会が認定する民間団体等の事業に対して補助する仕組みとしている。
	成　　果	上がっていない	相談はあったものの、申請には至らなかった。
	成果に向けた活動量	十分であった	市広報紙やHPへの掲載、報道機関への情報提供、民生委員や市民活動団体へのPR、関係機関の窓口等で申請書の配布を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	近年の基金の運用益は、大幅な減少傾向にあるため、財源として基金からの繰入も検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	民間の保健福祉事業を活用した地域福祉の向上を目的としており、地域における福祉活動の停滞につながる。
	今後の方向性	要改善	地域における保健福祉活動等を支援するため、助成事業の周知に努め、事業の有効活用を促す。

総評（課題・改善点）	
	平成30年度以降、3年連続で交付実績なしという事態を回避するため、制度の見直しを検討したが、コロナ禍でもあったことから、やむなく見送った。 市広報紙、ホームページ等、あらゆる媒体を活用し周知に努めたが、相談のみで申請なしという実績だった。 今後、制度の見直しについて改めて検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	04「地域福祉計画」推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	65,000			
1101	通信運搬費	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
113,000	98,000	0	15,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	98,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	公助、共助、互助、自助の役割分担に基づく、地域福祉推進体制を整備するとともに計画に基づいた各種事業を展開し、地域福祉の推進を図る。
事業活動内容	平成29年度に策定した「第3次日向市地域福祉計画」の各種事業について、日向市地域福祉推進委員会において、その進行管理と評価を行った。

成果指標	ボランティア活動者数	単位	目標		実績	
		人	R2	1,900	R2	810
			R元	1,900	R元	2,078

活動指標	日向市地域福祉推進委員会開催数	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	第3次日向市地域福祉計画を適正に推進するため、日向市地域福祉推進委員会による定期的な評価及び審議は必要である。
	市の関与の妥当性	妥当	関係課の事業の進捗状況を把握し、市民や地域活動団体などの自主的な活動を促し、福祉施策の総合的な推進及び地域福祉の向上を図ることが必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	日向市地域福祉推進委員会による定期的な評価及び審議結果を反映することで、さらなる地域福祉の充実を図ることができる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	関係課及び関係団体等に対する進捗状況を調査し、日向市地域福祉推進委員会による定期的な評価及び審議を行った。
	コスト削減の可能性	ない	日向市地域福祉推進委員会による定期的な評価及び審議は必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	計画の進捗状況の調査や外部委員による評価及び審議を行い、次の展開に生かすものであるため、市民に対しての影響は、一定程度あると考える。
	今後の方向性	維持	定期的な評価及び審議を継続し、事業の改善等を図る必要がある。

総評（課題・改善点）	第3次日向市地域福祉計画の具体的な施策の進捗状況の調査及び内部評価を行い、日向市地域福祉推進委員会において評価及び審議を行うことで、改善等の効果が期待できる。 今後も、各種施策の適正な推進及び改善等について、継続して実施する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	01 地域福祉の推進
小事業	08 地域力強化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	8,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,400,000	8,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,300,000	0	0	0	2,100,000
主な財源	地域力強化推進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料
地域力強化推進事業業務委託　8,400,000

事業期間	年度　～　年度
目的	住民が主体となり、地域課題の把握とその課題解決に向けた体制の構築（地域力強化）を図り、地域福祉の向上を図る。
事業活動内容	住民に身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりと、地域生活課題を包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行った。 1. 住民が主体的に地域生活課題を把握して、解決を試みる体制づくり 2. 地域生活課題を包括的に受け止める相談支援体制の構築 （1）地域住民の相談を「丸ごと」受け止めるための地域の拠点整備 ※総合相談支援体制構築 （2）地域生活課題の把握及び解決に向けた住民主体の生活支援会議の企画・実施 （3）住民主体による地域生活支援活動の実施（地域資源開発） 3. 地域力強化推進コーディネーターを配置し1及び2の活動を推進 4. 地域力強化フォーラムの開催

成果指標	新規地域福祉部設置数	単位	目標		実績	
		地区	R2	5	R2	1
			R元	15	R元	4

活動指標	地域福祉サポーター登録者数	単位	目標		実績	
		人	R2	115	R2	112
			R元	110	R元	112

事業評価			
	市民のニーズ	高い	支援を必要とする世帯が抱える課題は、近年、複雑化・多様化しているため、課題解決に対するニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	社会福祉法により、市の努力義務として、地域課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制整備を推進することとなっている。
	成　　果	ある程度上がっている	自治会において、地域福祉部の設置が進んでおり、地域課題を解決する体制づくりが進んでいる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍で集合形式の研修といった活動が制限されていたが、自治会における地域福祉部の設置を推進している。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	共同募金やテーマ型募金、クラウドファンディングの活用、社会福祉法人や企業等の社会貢献活動など、財源の確保を検討する。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	さまざまな地域課題の対策として、地域力強化推進事業は有効であり、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	地域福祉部の設置推進を継続しながら、相談支援（多機関協働）や参加支援など、さらなる支援体制の構築に努める必要がある。

総評（課題・改善点）	
	改正社会福祉法が令和3年4月に施行され、新たに創設された「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」により、相談支援や参加支援、アウトリーチに向けた支援、移行計画の策定や関係機関との連携などに取り組むこととしている。 新たな取組により、地域課題の解決力の向上を図るとともに、地域福祉部の設置推進や人材育成を継続して、地域力の強化を図っていくことが重要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	04 災害救助費
目	01 災害救助費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	14 災害応急対策の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0717	見舞金	135,000			
1001	消耗品費	23,000			
1006	印刷製本費	48,000			
1205	システム開発等委託料	204,600			
1301	使用料及び賃借料	604,944			
1942	災害救助扶助費（市単独）	0			
2001	貸付金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,438,000	1,015,544	0	422,456

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,015,544
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	・被災世帯の復興と福祉の増進に資する。 ・重度障害者や寝たきり高齢者等の避難行動要支援者の情報をシステムに登録して、自治会や消防団、民生委員等の関係者と共有することにより、避難支援体制の整備を図る。 ・大規模災害に備え、特別に配慮が必要な避難者のために、福祉避難所の指定を推進する。
事業活動内容	1．災害救助法その他の法令の適用を受けない規模の災害による被災世帯に対して、小災害見舞金及び小災害弔慰金を支給する。 ①小災害見舞金 ・全　壊：1人世帯3万円(世帯員1人増毎3，000円加算)　実績3件 ・半　壊：1世帯　3万円　実績0件 ・一部破損：1世帯　1万円　実績3件 ②小災害弔慰金 ・死　亡：1人あたり　3万円　実績0件 2．宮崎県・市町村災害時安心基金による支援金を支給する。 ①全壊：1世帯20万円　②半壊：1世帯15万円　③床上浸水：1世帯10万円　実績0件 3．『避難行動要支援者管理システム』による支援体制の整備　名簿登録者数7，320人

成果指標	単位	目標		実績	
避難行動要支援者名簿の外部提供に関する意思確認数 意思確認数／名簿登載者数	%	R2	75.0	R2	78.8
		R元	70.0	R元	68.8

活動指標	単位	目標		実績	
避難行動要支援者名簿登録に関する制度啓発人数	人	R2	2,500	R2	2,398
		R元	3,239	R元	2,566

事業評価		
市民のニーズ	高い	災害時に一人で避難することが困難な避難行動要支援者の登録制度は、名簿を活用した普段からの声掛けや見守り、避難支援活動に活用できるため、必要性は高い。
市の関与の妥当性	妥当	災害対策基本法に基づく避難行動要支援者名簿の作成は、住民基本台帳や障がい、介護情報も必要であるため、市として取り組むことは必要である。
成　果	上がっている	避難行動要支援者の各種データを更新して名簿を作成した。名簿登載者に対し、名簿登載情報の確認と、名簿の外部提供に関する意思確認を行い、同意者が増えている。
成果に向けた活動量	十分であった	名簿登載者に対する名簿登載情報の確認と、名簿の外部提供に関する意思確認を郵便で行った。また、民生委員・児童委員と自主防災会、警察、消防本部へ名簿を配布し、情報共有を図った。
コスト削減の可能性	ない	災害対策基本法の改正による避難行動要支援者名簿の作成の義務化を受け、システムによる名簿情報の管理や、名簿情報の外部提供の意思確認等、継続して取り組む必要がある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	被災時において人命に直結することであり、休廃止による市民への影響は極めて大きい。
今後の方向性	維持	避難支援等関係者に同意者名簿を配布し、地域の防災対策に活用しながら、個別避難支援プラン（個別計画）作成の支援を進める。個別計画は、モデル地区を中心に進めていく。

総評（課題・改善点）	避難行動要支援者名簿について、データ更新と名簿登載者に意思確認を行い、避難行動要支援者同意者名簿を日向警察署、日向市消防本部、自主防災会（自治会）、民生委員に配布を行った。名簿の外部提供に関する意思確認の未回答者は、来年度以降も意思確認を行う必要がある。 個別計画の作成は、モデル地区を中心に作成支援を継続するが、新たな地区への導入を検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	01 権利擁護の推進
小事業	02 福祉関係団体運営補助に要する経費（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1833003	障害者団体運営補助金	181,400			
1833004	日向市障害者団体連絡協議会事務局運営補助金	216,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
478,000	397,400	0	80,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	397,400
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○障害者団体運営補助金	
日向視覚障害者福祉会	25,000
日向市肢体障害者「友愛会」	25,000
日向聴覚障害者協会	26,600
特定非営利活動法人日向市手をつなぐ育成会	25,000
日向市肢体不自由児者父母の会	26,600
日向地区腎臓病患者友の会	26,600
宮崎県原爆被爆者の会日向支部	26,600

事業期間	平成　8　年度　～　年度
目的	市内の障がい者福祉団体等の運営費の一部を助成することにより、各団体の活発な活動を推進し、障がい者福祉の向上を図る。
事業活動内容	日向市社会福祉関係団体運営補助金交付要綱に基づき、障害者団体等（7団体）及び特定非営利活動法人日向市障害者団体連絡協議会に対し運営費の助成を行った。

成果指標	補助対象障害者団体延べ活動数	単位	目標		実績	
		回	R2	250	R2	234
			R元	400	R元	343

活動指標	補助対象障害者団体数	単位	目標		実績	
		団体	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	障がい福祉の増進や地域福祉の向上に寄与する団体を対象にした事業で、認知度の高まったSDGsの理念にも通じ、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者に係る日常生活の充実や社会参加の促進につながる団体運営の支援に、市が一定程度関与することは妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍の影響を受けた中でも、可能な限り、障がい福祉の増進等につながる活動が行われた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響により、例年よりも活動数は減少したが、集会への参加等、今後の障がい福祉増進につながる活動がなされた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	コロナ禍による活動の減少で、次年度への繰越額が多くなっている団体が見受けられるため、実情を踏まえながら補助額を決定する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がい者団体活動が低下し、障がい者の日常生活の充実や社会参加の機会を減少させることにつながる。
	今後の方向性	維持	継続的な支援により、障がい者団体の活動の充実を図る。

総評（課題・改善点）	コロナ禍が長引き、団体が思うように活動できない中で、効率的に障がい福祉の増進等につながる活動が行われた。今後も会員の確保・増加に向けた取組をはじめ、継続した団体支援が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	05 人工透析者交通費助成事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867025	人工透析者交通費助成金	3,644,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,644,000	0	356,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,644,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	57　年度　～　　年度
目的	腎臓機能障害を有し、血液透析療法の治療を受けている人の経済的負担を軽減することにより、健康維持及び福祉の増進を図る。
事業活動内容	自宅から医療機関までの片道距離に応じ、交通費の一部を助成した。 ・片道10kmまで月額2千円 （10km増える毎に2千円を加算、上限1万円）を支給する。

成果指標	助成金支給者数	単位	目標		実績	
		人	R2	150	R2	137
			R元	150	R元	139

活動指標	透析患者数	単位	目標		実績	
		人	R2	230	R2	169
			R元	220	R元	194

事業評価			
	市民のニーズ	高い	血液透析は週に数回の通院を永続的に行う治療法であり、経済的負担も大きいため、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	受給者の経済的負担を軽減し受診しやすくするために、市が一定程度関与することは妥当である。
	成　　果	上がっている	受給者の経済的負担軽減につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ない	当事者からの交通費の工面に関する相談も多く、継続的な支援が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	患者の経済的負担が増加するため、影響は大きい。
	今後の方向性	維持	人工透析者の経済的負担軽減のため、今後も継続して支援を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	本事業の実施により、血液透析患者の通院に対しての経済的負担が軽減され、健康維持及び福祉の増進が図られている。今後も、制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	12 心身障害児介護手当給付事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1922	児童福祉扶助費（市単独）	7,570,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,800,000	7,570,000	0	230,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,570,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　6　年度　～　年度
目的	心身に障がいのある児童の保護者の負担を軽減するとともに、在宅福祉の向上を図る。
事業活動内容	（1）対象となる障がい児（20歳未満） ・身体障害者手帳1級～6級の所持者 ・療育手帳の所持者 ・長期にわたり安静を必要とする疾病を有する者で、特別児童扶養手当の支給を受けている者 （2）支給月額　5，000円 ※児童扶養、特別児童扶養並びに障害児福祉手当受給者は月額3，000円

成果指標	心身障害児介護手当給付受給者延べ人数	単位	目標		実績	
		人	R2	370	R2	365
			R元	360	R元	358

活動指標	心身障害児介護手当給付対象者延べ人数	単位	目標		実績	
		人	R2	360	R2	368
			R元	350	R元	363

事業評価			
	市民のニーズ	普通	障がい児に係る支援はさまざまな面で求められており、本事業についてもニーズがあると考える。
	市の関与の妥当性	要検討	本事業開始時と比較すると、福祉制度の充実も図られてきていることから、支援のあり方について検討する必要がある。
	成　　果	ある程度上がっている	受給者の経済的負担軽減につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	各種手当や医療費助成等の制度拡充が図られており、支給基準の見直しを検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	介護者の生活における経済的影響は少ないものと考えられ、事業内容の変更を検討する必要がある。
	今後の方向性	縮小	各種手当や医療費助成等の制度拡充が図られており、事業の縮小に向けて検討する。

総評（課題・改善点）	福祉制度の拡充が図られてきている中で、本事業については、効果等の検証を含め、今後の事業の方向性を検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	13 理容・美容サービス事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	223,626			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
250,000	223,626	0	26,374

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	223,626
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
理容サービス業務　179,634
美容サービス業務　43,992

事業期間	平成　5　年度　～　年度
目的	在宅で寝たきりの重度心身障がいのある人及び高齢者等に対し、居宅において理容又は美容サービスを提供することにより、対象者の健康管理及び保健衛生の向上を図る。
事業活動内容	理容師又は美容師が対象者の居宅を訪問し、理容・美容サービスを提供した。 ○利用登録者 ・身体障害者手帳1、2級の所持者（下肢又は体幹に障がいのある者に限る） ・介護保険法に規定する要介護者

成果指標	理容・美容実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	100	R2	61
			R元	70	R元	56

活動指標	対象者登録人数	単位	目標		実績	
		人	R2	30	R2	31
			R元	25	R元	27

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本事業は、居宅にてサービスを受けられる利便性があるほか、受給者の清潔保持及び健康増進につながり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の日常生活支援に、市が一定程度関与することは妥当である。
	成　果	上がっている	登録人数も増えており、サービス実施の成果が上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ない	制度内容を定期的に見直す必要はあるが、受給者は既にサービス料の一部を自己負担しており、慎重に検討したい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	受給者の清潔保持及び健康増進につながる本事業内容は、日常生活の一部に該当するため、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	利用者の生活の質を保つため、今後も継続して支援を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	現在の登録者以外に受給要件を満たす人がいると考えられるため、関係機関と連携を図りながら制度の周知に一層努める必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	14 福祉機器貸与・リサイクル事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,125,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,125,000	2,125,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,125,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
福祉機器貸与・リサイクル事業業務委託　2,125,000

事業期間	平成　9　年度　～　年度
目的	在宅の障がいのある人等に対し家庭等で不用となった福祉機器を貸与することにより、経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図る。
事業活動内容	○保険料　居宅介護事業者賠償責任保険 ○委託料　福祉機器等の回収・貸出、修理、清掃・消毒等の管理業務 ・主な福祉機器：ギャッジベッド、車椅子、ポータブルトイレなど

成果指標	貸出及び更新件数	単位	目標		実績	
		件	R2	150	R2	104
			R元	400	R元	121

活動指標	利用総数	単位	目標		実績	
		件	R2	200	R2	169
			R元	800	R元	212

事業評価			
	市民のニーズ	普通	本事業は、障がい者の経済的負担の軽減や社会参加の促進につながり、一定のニーズがあると考える。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の日常生活の充実や社会参加促進のための支援に、市が一定程度関与することは妥当である。
	成　　果	上がっている	利用者の経済的負担軽減につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	事業実績に応じた予算規模を検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	利用者の経済的負担が増加し、影響は大きい。
	今後の方向性	維持	経済的負担の軽減及び社会参加の推進を図るため、今後も継続して支援を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	在宅の障がいのある人達に対し、福祉機器を貸与することにより、経済的負担の軽減及び社会参加の促進が図られている。今後は、需要動向を把握しながら、事業の適正実施・効率的運営を検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	15 障害者地域生活支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	360,000			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	38,381,744			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,787,000	38,741,744	0	1,045,256

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,454,000	5,749,000	0	0	21,538,744
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、小児慢性特定疾病児日常生活用具給付補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
障害者職親業務委託　360,000

事業期間	年度　～　年度
目的	障がいのある人が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性（地理的条件や社会資源の状況）や利用者の状況に応じた事業を実施する。
事業活動内容	（1）知的障害者職親委託制度 知的障がいのある人の自立更生を図るため一定期間職親に預け、生活指導及び技術習得等の訓練 （2）障害児・者日常生活用具給付事業 在宅での日常生活を容易にするための用具の給付 （3）日中一時支援事業 障がいのある人の日中活動の場又は児童生徒の放課後活動の場を確保するとともに、家族の就労又は一時的な休息のための支援 （4）訪問入浴サービス事業 居宅において入浴することが困難な人に対し移動入浴車による入浴支援

成果指標	訪問入浴実施回数	単位	目標		実績	
		回	R2	850	R2	872
			R元	790	R元	798

活動指標	訪問入浴登録者数	単位	目標		実績	
		人	R2	9	R2	9
			R元	8	R元	8

事業評価			
	市民のニーズ	高い	いずれも、日頃から問い合わせや相談が多く寄せられる事業であり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の日常生活及び社会生活の支援に、市が関与することは妥当である。
	成　果	上がっている	各種事業の実施により、日常生活の充実及び社会参加促進につなげている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ない	制度内容を定期的に見直す必要はあるが、受給者の経済的負担にも影響するため、慎重に検討したい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	いずれの事業も、障がい者の日常生活に直結する内容であるため、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	利用者の生活の質を保つため、今後も継続して支援を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	障がいのある人が、地域において自立した日常生活及び社会生活が営めるよう、各種事業を実施している。今後も多様なニーズに応じた施策を検討する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	16 意思疎通支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	264,842			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	335,942			
0701	講師謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	209,100			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	30,000			
1006	印刷製本費	41,000			
1108	その他の保険料	14,620			
1203	事業委託料	582,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,256,000	3,382,048	0	873,952

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	999,000	499,000	0	0	1,884,048
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
手話奉仕員養成事業業務委託　582,000

事業期間	年度　～　年度
目的	聴覚、言語機能等に障がいがある人の円滑なコミュニケーションを支援し、社会参加の促進を図るとともに、障がい理解に関する啓発活動及び手話奉仕員の技術向上に関する取組を推進する。
事業活動内容	（1）手話奉仕員等派遣事業 手話奉仕員及び要約筆記奉仕員を派遣し、地域社会の中で聴覚に障がいのある人等が意思疎通を図るための支援を行った。 （2）専従手話通訳者の設置 市窓口での手話通訳、手話奉仕員の育成及び活動支援並びに聴覚障がい者理解のための啓発活動等を行った。 （3）手話奉仕員養成事業 手話で日常会話を行うために必要な手話語彙及び手話表現技術の習得、聴覚障がい者について理解を深めるための講座を開催した。

成果指標	手話奉仕員派遣件数	単位	目標		実績	
		回	R2	150	R2	154
			R元	190	R元	218

活動指標	手話奉仕員登録者数	単位	目標		実績	
		人	R2	35	R2	30
			R元	35	R元	32

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本事業は、障がい者への情報入手支援等を行うものであり、認知度の高まったSDGsの理念にも通じ、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の日常生活及び社会参加を支援するため、市が関与することは妥当である。
	成　　果	上がっている	障がい者への情報入手支援等により、日常生活の充実及び社会参加促進につなげている。
	成果に向けた活動量	十分であった	公用スマートフォンを配備し、テレビ電話機能等を用いて緊急時の意思疎通も可能となった。また、手話奉仕員養成事業においては、コロナ禍の影響を受けながらも8人の修了者を輩出した。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な支援が必要であり、予算規模を維持しながら実施していくことが求められる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	手話を言語としている障がい者にとっては、病院で医師に症状を伝えるときなど、必ず手話通訳者が必要であり、影響は大きい。
	今後の方向性	維持	手話奉仕員数を増やすなど、意思疎通支援体制の整備が必要なため、今後も継続した支援が必要である。

総評（課題・改善点）	障がいのある人もない人も、同じように情報入手や意思疎通ができる生活環境を整えるため、障がい者やその支援者のニーズを把握し、施策に生かす必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	03 社会参加の促進
小事業	02 障害者社会参加促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	292,000			
1853003	身体障害者スポーツ交流事業補助金	99,000			
1865002	自動車運転免許取得・改造助成事業補助金	290,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
736,000	681,000	0	55,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	86,000	43,000	0	0	552,000
	主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
本人活動支援事業業務委託	292,000

事業期間	年度　～　年度
目的	在宅の障がいのある人の就労、文化・スポーツ活動等の社会参加を支援し、地域における自立生活を促進する。
事業活動内容	（1）市障がい者スポーツ大会開催事業 （2）知的障がい者本人活動支援事業 主な活動：バリアフリースポーツ、バスハイク、社会奉仕活動等 （3）自動車運転免許取得・改造助成事業補助金 （4）身体障害者スポーツ交流事業補助金

成果指標	スポーツ大会の参加人数	単位	目標		実績	
		人	R2	180	R2	0
			R元	180	R元	168

活動指標	スポーツ大会の回数	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	いずれの事業も、障がいのある人にとって社会参加のひとつの機会となっており、地域での自立生活を促進するものとなっている。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の社会参加や障がい理解を促進するための支援に、市が関与することは妥当である。
	成　果	上がっている	障がいのある人が地域で自立生活を営むための支援となっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍の影響により、スポーツ関連行事は中止となったが、本人活動事業は制約がある中でも可能な限り活動がなされた。また、自動車改造助成については3件の申請を受け付けた。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な支援が必要であり、予算規模を維持しながら実施していくことが求められる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がい者の日常生活の充実や社会参加の機会を減少させることにつながる。
	今後の方向性	維持	継続的な支援により、社会参加の機会創出のほか、障がい理解を図り、地域における自立生活を促進する。

総評（課題・改善点）	
	スポーツ活動は、健康増進にもつながり日常生活の充実に必要と考えられるため、障がい者へ向けたスポーツ関連情報の発信の充実や、各種活動への参加促進を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	03 社会参加の促進
小事業	03 重度障害者タクシー料金助成事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	99,330			
1301	使用料及び賃借料	4,419,430			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,800,000	4,518,760	0	281,240

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,518,760
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　26　年度　～　年度
目的	重度の障がいがある人に対してタクシー利用券を交付し、日常生活の利便及び社会活動の範囲の拡大を図る。
事業活動内容	市内タクシー事業所共通の基本料金券を補助した。 (1)車いす用以外のタクシー利用券　1年間24枚 身体障害者手帳1、2級又は療育手帳（A判定）所持者 (2)車いす用利用券　1年間30枚 身体障害者手帳1、2級所持者（下肢又は体幹に障害がある者）及び介護保険法による要介護者で一定の要件を満たす者

成果指標	タクシー利用券の利用件数	単位	目標		実績	
		件	R2	7,500	R2	6,393
			R元	7,800	R元	7,360

活動指標	タクシー利用券の交付者人数	単位	目標		実績	
		人	R2	600	R2	517
			R元	580	R元	551

事業評価			
	市民のニーズ	高い	重度の障がいがある人は、日常生活に制約があるため外出時の移動にも負担が大きく、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい者の日常生活及び社会参加を支援するため、市が関与することは妥当である。
	成　果	上がっている	タクシー利用券の交付により、障がい者の日常生活の充実及び社会参加促進につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	身体障害者手帳交付時などに本事業の説明を行い、制度の周知漏れ防止に努めている。
	コスト削減の可能性	ない	当事者からの交通費の工面に関する相談も多く、コスト削減については慎重に検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	経済的負担が増加し、影響は大きい。
	今後の方向性	維持	重度障がい者の経済的負担軽減のため、現行同等の予算規模を維持しながら、今後も継続して支援を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	本事業の実施により、障がい者の経済的負担が軽減され、福祉の増進をはじめ、社会参加の促進が図られている。今後も、制度の周知に努め、継続した支援を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	07 障害児療育等援助事業（市単）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,387,408			
1809021	宮崎市総合発達支援センター運営負担金	115,296			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,504,000	2,502,704	0	1,296

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,502,704
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市療育等援助事業業務　2,387,408

事業期間	年度　～　年度
目的	障がいのある幼児及び発達の遅れがある幼児を早期療育することにより、障がいの軽減や基本的な生活能力の向上を図る。
事業活動内容	○療育等援助事業業務委託 ・障がいのある幼児に対する援助：音楽療法、言語療法、絵画療法、訪問保育等 ・家族に対する支援：子育て支援、心理発達相談、保護者の学習会等 ○宮崎市総合発達支援センター運営負担金 運営経費の一部について、利用者数の割合に応じ、利用者所在市町村において負担する。

成果指標	単位	目標		実績	
療法等を受けた障がいのある幼児数	人	R2	100	R2	79
		R元	100	R元	81

活動指標	単位	目標		実績	
音楽療法等の実施回数	回	R2	200	R2	126
		R元	200	R元	179

事業評価		
市民のニーズ	高い	障害者手帳の有無に関わらず援助を受けることができ、約100名の幼児や児童が療育等を受けており、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	障がいの早期発見及び早期の療育開始へつながることから、市が関与する妥当性は高い。
成　果	上がっている	早期の療育につなげることにより、障がいの軽減や基本的な生活能力の向上が図られている。
成果に向けた活動量	十分であった	保護者学習会や外来療育・見学を通じて、障がいの早期発見や早期の療育につながっている。
コスト削減の可能性	ない	幼児の障がい軽減や基本的な生活能力の向上を図ることを目的としており、コストを削減する可能性はない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がいの軽減や基本的な生活能力の向上を図る機会が減少し、幼児本人や保護者の「生活の質」の低下が危惧される。
今後の方向性	維持	現行同等の予算規模を維持しながら、継続して市が事業を推進する必要がある。

総評（課題・改善点）

障害者手帳の所持に関わらず援助を受けることができるため、障がいの早期発見及び療育開始へつながっており、障がいの軽減や基本的な生活能力の向上が図られている。
今後は、効率的に事業を推進するため、教育、保育及び医療等の関係機関と連携を拡充する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	18 日向市障がい福祉計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	95,000			
1001	消耗品費	8,000			
1006	印刷製本費	226,500			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
566,000	329,500	0	236,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	329,500
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	計画は障害者総合支援法第88条に基づく「市町村障害福祉計画」および児童福祉法第33条の20に基づく、「市町村障害児福祉計画」として策定するもので、本市における障がい児者の現状やニーズを把握するとともに、将来の動向予測を行い、これらに基づいて当事者に必要なサービスを計画的に提供することを目的とするもの。
事業活動内容	平成18年度以降に策定された「第1期日向市障がい福祉計画」から「第5期日向市障がい福祉計画(第1期日向市障がい児福祉計画)」までの進捗状況を踏まえ、基本的な理念や考え方を引き継ぎながら、所要の見直しを行った上で、令和3年度から令和5年度を計画期間とする「第6期日向市障がい福祉計画(第2期日向市障がい児福祉計画)」を策定した。

成果指標	第6期日向市障がい福祉計画（第2期日向市障がい児福祉計画）の策定	単位	目標		実績	
		計画数	R2	1	R2	1
			R元	―	R元	―

活動指標	日向市障がい福祉計画策定委員会の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	3
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	住み慣れた地域で、自立した生活を営むための公的な福祉サービスの一つであり、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障がい児者の現状やニーズを把握することにより、当事者に必要なサービスについて、市が関与する妥当性は高い。
	成　　果	上がっている	障がい者が障がい福祉サービスを利用し、住み慣れた地域で生活を営んでいる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により策定委員会の開催回数が目標に達しなかったが、計画の年度内策定に至った。
	コスト削減の可能性	ない	障がい児者の日常生活を支援するためのサービスを計画的に提供することを目的とした計画であり、コストを削減する可能性はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がい福祉サービスの提供体制の確保に関する計画であり、サービスの提供に影響が生じる。
	今後の方向性	維持	計画の進捗管理を行うとともに、計画の整備・進捗状況について、年度ごとに評価・検討を行う。

総評（課題・改善点）	社会情勢や生活環境の変化といった、さまざまな要因に柔軟に対応し、必要に応じて計画の見直しを行う。また、計画の進捗管理については、障がい者や家族、サービス提供事業者などの意見が適切に反映される機会の設定に努め、日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会「日向市地域課題検討会」において、計画の進捗状況、成果等について、評価、検証等を行い、計画の推進・フォローに取り組む必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	大事業	14 障がい福祉の充実
	中事業	02 地域生活の支援
	小事業	22 相談支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	6,000			
1006	印刷製本費	78,000			
1101	通信運搬費	8,000			
1103	手数料	8,600			
1203	事業委託料	16,994,537			
1853004	身体障害者相談員事業補助金	260,000			
1904	居宅生活支援費(障害者支援費)	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,042,000	17,355,137	0	686,863

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	860,000	430,000	0	3,125,000	12,940,137
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、障がい者自立支援協議会負担金、基幹相談支援センター負担金、成年後見申立手数料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市障害者相談支援事業業務	14,214,537
日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会事務局運営業務	2,780,000

事業期間	年度　～　年度
目的	障がいのある人等からの相談に応じ、必要な情報の提供や支援等を行うことや、障がい者虐待防止等権利擁護のために必要な支援を行うことにより、障がいのある人等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。
事業活動内容	○障がい者相談支援事業委託（身体・知的・精神） 各種相談・障がい福祉サービスの情報提供等を実施 ○日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会事務局運営業務委託 協議会及び専門部会の運営補助、会議資料・議事録の作成等を実施 ○基幹相談支援センター業務委託 「地域生活支援拠点」の要となる「基幹相談支援センター」を設置し、地域における相談支援の中核的な役割を担い、圏域内の相談支援機能の強化を図る。 ○障がい者虐待防止対策 障害者虐待防止法に基づき、障がい者虐待の防止、虐待の早期発見と発生した場合の対応を行う。 ○成年後見制度利用支援 成年後見制度を利用する要支援者に対する各手続等の支援を行う。

		単位	目標		実績	
成果指標	障がい者相談支援事業委託数	箇所	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	2

		単位	目標		実績	
活動指標	障がい者虐待防止連絡会の開催	回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	0

事業評価	市民のニーズ	高い	日常の相談に留まらず、障がい福祉サービス導入時のサービス提供事業所等との連携を行っており、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、住み慣れた地域で障がい者の日常生活や社会生活の支援を推進する必要がある。
	成　果	上がっている	相談支援事業所での相談等が着実に行われており、障がい者の相談窓口としての認識が高まっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	専門職が資質の向上を図るため各種の研修会等に参加し、寄せられる多岐にわたる相談に応じている。
	コスト削減の可能性	ない	障がい者の日常生活や社会生活の支援に際し、相談支援は援助の入口でありコスト削減の可能性はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がいに関する相談窓口として市民に定着しており、休廃止時における市民への影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	相談や障がい福祉サービス利用の関係機関との連絡調整が増加しており、事業の拡充が求められている。

総評（課題・改善点）	地域生活支援拠点等の面的整備を推進するため、令和2年8月1日に日向・東臼杵郡圏域が共同して設置した「日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター」を中核とし、日向・東臼杵圏域で協議を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	23 移動支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,196			
1004	燃料費	7,809			
1008	修繕料	95,592			
1101	通信運搬費	33,000			
1103	手数料	9,900			
1107	自動車損害保険料	34,804			
1203	事業委託料	41,580			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	11,335,625			
2601	国に対する公課費	24,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,312,000	11,607,106	0	704,894

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,420,000	1,710,000	0	0	6,477,106
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

日向市障害者（児）福祉バス運行管理業務　41,580

事業期間	年度　～　年度
目的	屋外での移動が困難な障がいのある人、児童について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
事業活動内容	〇ガイドヘルパーの派遣 屋外での移動が困難な障がいのある人、児童で、個別的支援が必要な人に対して、ガイドヘルパーを派遣し移動支援を実施することにより、社会生活上必要な外出及び、余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援した。 〇リフト付福祉バスの運行業務委託 障がい者団体の研修、福祉大会等への参加、スポーツ活動など障がいのある人の自立と社会参加の促進を図るため、リフト付福祉バスを運行し、移動に関する支援を行った。

成果指標	月間移動支援利用人数	単位	目標		実績	
		人／月	R2	35	R2	34
			R元	35	R元	33

活動指標	福祉バス運行件数	単位	目標		実績	
		回／年	R2	35	R2	2
			R元	35	R元	34

事業評価		
市民のニーズ	高い	屋外での移動が困難な障がい児者の外出時支援として定着しており、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、屋外での移動が困難な障がい児者の外出時の安全を図る必要がある。
成　果	上がっている	障がい児者の外出機会の増加に比例して、移動支援利用件数も増加している。
成果に向けた活動量	十分であった	障がい者自立支援協議会相談支援部会をはじめとした場を通し、移動支援事業の周知活動を図った。
コスト削減の可能性	ない	屋外での移動が困難な障がい児者の外出機会の創出を図る事業であり、コストを削減するために利用を抑制することはできない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	屋外での移動が困難な障がい児者の外出機会の減少につながり、日常生活や社会生活を営むうえで大きな影響が生じる。
今後の方向性	維持	現行同等の予算規模を維持し、継続して市が事業を推進する必要がある。

総評（課題・改善点）	屋外での移動が困難な障がい児者の外出ニーズは多様化しており、個々の利用状況や新たなニーズに応じた支援の検討を行い、障がい児者の日常生活や社会生活の向上を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	24 地域活動支援センター事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	5,500,000			
1853036	地域活動支援センター事業補助金	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,500,000	9,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	545,000	273,000	0	0	8,682,000
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市地域活動支援センター（Ⅰ型）機能強化事業業務　5,500,000

○負担金補助及び交付金
日向市地域活動支援センター（Ⅲ型）補助金　4,000,000

事業期間	年度　～　年度
目的	障がいのある人に対して、創作的活動や生産活動の機会・場所を提供することにより、社会との交流の促進を図る。
事業活動内容	○地域活動支援センターⅠ型 精神保健福祉士等の専門職員を配置し、医療・福祉・地域の社会資源との連携強化のための調整等を図った。 ○地域活動支援センターⅢ型 障がいのある人に就労の場等を提供し、作業指導や生活訓練を行い自立を目指した。

成果指標		単位	目標		実績	
	Ⅰ型月延べ利用者数	人／月	R2	250	R2	266
			R元	250	R元	380

活動指標		単位	目標		実績	
	Ⅰ型月延べ利用者数	人／月	R2	250	R2	266
			R元	250	R元	380

事業評価		
市民のニーズ	高い	地域活動支援センターが障がい者の創作活動や生産活動の場となっており、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、地域活動支援センターと連携を図り、障がい者の社会交流を推進する必要がある。
成　果	上がっている	地域活動支援センターの認知度が向上しており、Ⅰ型利用者の増加に繋がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	地域活動支援センターを中心として、医療・福祉及び地域の社会資源との連携強化、障がいに対する理解促進を図っている。
コスト削減の可能性	ない	障がい者の地域生活支援の促進を図ることを目的としており、継続して事業に取り組む必要がある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がい者の自宅外の日中の「居場所」としても利用されており、社会との交流の場が失われる可能性が高い。
今後の方向性	維持	国が推進する「地域生活支援拠点」の一つであるため、現行同等の予算規模を維持し、継続して事業を推進する必要がある。

総評（課題・改善点）

地域活動支援センターⅠ型である「日向地域活動支援センターはまゆう」は、令和3年3月31日をもって運営に携わる人員の確保が困難となり閉鎖となった。
しかし、障がい者等に対して、創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進、地域生活への自立促進を図ることを目的とした「地域活動支援センターⅠ型」であることから、令和3年度中の事業再開に向け、関係機関との調整を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	02 生活保護の適正実施推進事業(補助対象)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,085,248			
0301	職員手当	1,702,001			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	2,084,136			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	75,000			
0801	費用弁償	100,000			
0802	普通旅費	40,300			
1006	印刷製本費	103,500			
1101	通信運搬費	645,000			
1203	事業委託料	843,000			
1301	使用料及び賃借料	330,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,131,500	18,008,185	0	1,123,315

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,487,000	0	0	0	4,521,185
主な財源	被保護者就労支援事業負担金、生活困窮者自立支援事業（必須事業）負担金、生活保護適正実施推進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

日向市社会福祉協議会事業委託	480,000
診療報酬明細書整理点検業務委託	363,000

事業期間	年度　～　年度
目的	生活保護法第1条(この法律の目的)に基づき、国庫補助事業を活用して、生活困窮者に対して自立生活相談員や就労訓練事業による就労支援の実施、生活保護特別指導員による援助困難者への対応、扶養義務調査や資産調査を実施、またこれらの業務管理システム導入により、生活保護の適正実施を推進する。
事業活動内容	国庫補助事業をとおして生活保護の適正実施ならびに生活困窮者の支援を推進した。 [生活困窮者自立相談支援事業] ①被保護者就労支援事業 [生活保護適正化等事業] ②関係職員等研修啓発事業　③レセプトを活用した医療扶助適正化事業 ④健康管理支援及び医療扶助適正実施事業　⑤精神障害者等退院促進事業 ⑥収入資産状況把握等充実事業　⑦扶養義務調査充実事業 ⑧体制整備強化事業　⑨警察との連携協力体制強化事業 ⑩社会的な居場所づくり支援事業

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度：生活保護受給者就労支援者数	人	R2	42	R2	64
	令和元年度：生活保護廃止件数	件	R元	85	R元	98

活動指標		単位	目標		実績	
	自立生活相談員・医療扶助相談指導員活動回数	回	R2	450	R2	703
			R元	450	R元	404

事業評価		
市民のニーズ	高い	新規生活保護面接件数は、年間300件前後で推移しており、セーフティネットとして欠かせない事業である。
市の関与の妥当性	妥当	生活保護は国からの法定受託事務であり、福祉事務所が実施機関となる。
成　果	上がっている	就労支援事業、生活保護適正化事業において専門員を配置し、ケースワーカーとの協力作業により、事業の適正化が図られた。
成果に向けた活動量	十分であった	事業における面接相談、就労支援、健康管理支援、訪問指導等、計画を上回る実施ができた。
コスト削減の可能性	ない	成果に向けた取組では、専門員の配置が欠かせない事業となっている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	生活保護の各扶助に対する事業となっており、影響は市民への負担増になると考えられる。
今後の方向性	維持	生活保護の各扶助全般にかかわる欠かせない取組であり、事業を維持していく。

総評（課題・改善点）	生活保護業務実施において必要な各事業を推進することができた。実施にあたり、委託事業など各関係機関との連携・情報共有も図ることができた。市民の生活困窮の相談窓口として事業を継続し、充実を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	03 生活保護の適正実施推進事業(市単)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	855,000			
0802	普通旅費	5,500			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	138,214			
1004	燃料費	128,686			
1007	光熱水費	48,000			
1103	手数料	847,410			
1107	自動車損害保険料	32,316			
1301	使用料及び賃借料	1,420,320			
1825002	研修会負担金	70,200			
2201	償還金	35,193,672			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,181,500	38,739,318	0	442,182

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	38,739,318
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	生活保護法第1条(この法律の目的)に基づき、生活保護の適正実施を推進するため、医療扶助及び介護扶助の審査、レセプト管理システムの保守、社会福祉主事の資格認定、公用車維持管理の事務を実施する。
事業活動内容	生活保護の実施にあたって、補助対象事業を除く単独事業を実施した。 [目的の内容] ①嘱託医の配置 ②介護審査事務 ③医療診療報酬審査事務等 ④社会福祉主事資格取得 ⑤訪問用公用車リース等 ⑥生活保護レセプト管理システム管理

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度：後発医薬品の使用率	%	R2	80.0	R2	94.9
	令和元年度：生活保護の廃止件数	件	R元	85	R元	98

活動指標		単位	目標		実績	
	嘱託医審査回数	回	R2	60	R2	60
			R元	60	R元	61

事業評価		
市民のニーズ	高い	新規生活保護面接件数は、年間300件前後で推移しており、セーフティネットとして欠かせない事業である。
市の関与の妥当性	妥当	生活保護は国からの法定受託事務であり、福祉事務所が実施機関となる。
成　果	上がっている	後発医薬品の利用促進は、医療介護事務員とケースワーカーによって推進が図られている。レセプト審査では嘱託医師の意見を経て医療扶助の適正化につながっている。
成果に向けた活動量	十分であった	医療介護事務員、嘱託医師によるレセプト管理・審査など、計画どおりに実施ができた。
コスト削減の可能性	ない	成果に向けた取組では、専門員の配置が欠かせない事業となっている。医療システムはクラウド利用によって最小限のコストとなっている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	生活保護の各扶助に対する事業となっており、影響は市民への負担増になる。
今後の方向性	維持	医療扶助の適正化、現業員の社会福祉主事資格取得、公用車維持管理など欠かせない取組であり、事業を維持していく。

総評（課題・改善点）	医療レセプト管理システムのクラウド化や公用車のリース化によって、保守費用・修繕費用の削減につなげている。また後発医薬品の推進及びレセプト審査の継続を図り、医療扶助費の適正化につなげている。現業員であるケースワーカーについては、社会福祉主事資格が必須であるので資格取得に向けた対応を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	04 生活困窮者自立支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	19,974,000			
1865028	住宅手当緊急特別補助金	386,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,113,000	20,360,400	0	1,752,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,402,000	0	0	0	6,958,400
主な財源	生活困窮者自立支援事業（必須事業）負担金、生活困窮者自立支援事業（任意事業）補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

生活困窮者自立相談支援事業　業務委託	12,500,000
生活困窮者家計改善支援事業　業務委託	1,462,000
生活困窮者等子どもの学習・生活支援事業　業務委託	4,600,000
生活困窮者居場所サロン事業　業務委託	1,412,000

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	生活困窮者自立支援法に基づき、日向市生活相談・支援センター「心から（ここから）」を日向市社会福祉協議会に委託し、必須事業である自立相談支援事業と3つの任意事業を実施し、生活保護に至る前で対象世帯の困窮解消を図る。生活困窮者支援における庁内連携や関係機関・地域との連携を構築していく。
事業活動内容	生活困窮者自立支援法により、以下の事業を行った。 （1）必須事業 ①自立相談支援事業：日向市活相談・支援センター（日向市社会福祉協議会に委託）において、支援同意者に対し自立支援計画を作成し、自立を支援。 ②住宅確保給付金：失業により住宅を失うおそれのある市民に家賃額を給付。 （2）任意事業　日向市社会福祉協議会に委託 ①家計改善支援事業　②子どもの学習・生活支援事業　③居場所サロン事業

成果指標	自立に向けて伴走型支援及び子どもの学習支援を実施する世帯	単位	目標		実績	
		世帯	R2	40	R2	43
			R元	35	R元	48

活動指標	生活困窮者支援に協力する市民・事業所	単位	目標		実績	
		人及び事業所	R2	40	R2	38
			R元	40	R元	44

事業評価			
	市民のニーズ	高い	令和2年度の自立相談支援事業の新規相談が381件とコロナ禍において相談件数が増加している。複雑化した相談が増加しており、他機関との連携を行い、支援している。
	市の関与の妥当性	妥当	生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所設置自治体の責務が規定されており、関与は必須である。
	成　果	上がっている	自立相談支援事業での相談では、他機関と連携を図り、相談終結したケースもある。学習支援事業は利用児童生徒が増加した。
	成果に向けた活動量	十分であった	自立支援事業では、専従の相談員が来所相談に応じ、関係機関に同行して伴走的な支援を行っている。学習支援事業・居場所サロンもコロナ禍の中でも、定期的に実施された。
	コスト削減の可能性	ない	生活困窮する世帯は、複雑化した相談が多く、関係機関を含めた支援体制を拡充する必要性があり、予算規模を維持しながら、実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	法の趣旨に反し、生活保護受給を手前での相談支援拠点がなくなると、生活困窮状態から早期に自立する世帯が減少する。
	今後の方向性	拡充	制度改正により、令和4年度までに就労準備支援事業と家計相談支援事業が必須化されたため、就労準備支援事業のみ新規事業展開を検討する予定である。

総評（課題・改善点）	対象となる生活困窮者は、複合的な問題を抱えていることが多く、事業の効果的な展開のためには、早期における相談体制づくりや関係機関との連携が必要となる。そのため、事業継続をする中で、これまで以上に庁内各部署、民生委員、地域包括センター等との連携を図るとともに、対象者を適切に「各種相談窓口」へ、つなげる体制づくりを強化していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	03 子どもの未来を応援する施策の推進
小事業	01 子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	89,694			
1101	通信運搬費	0			
1206	その他の委託料	900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,191,000	992,294	0	198,706

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	450,000	0	0	0	542,294
主な財源	生活困窮者自立支援事業（任意事業）補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇その他委託料
子どもの居場所づくり事業業務委託　900,000

事業期間	年度　～　年度
目的	子どもの貧困対策について、地域の実情を踏まえ、各種施策を組み合わせるなど創意工夫を凝らし、子どもの発達・成長段階に応じて切れ目なく「つなぎ」、関係行政機関、教育と福祉を「つなぎ」、地域の企業やNPO、自治会などを「つなぐ」地域ネットワークを形成し、支援を行う。
事業活動内容	「まなびスペース」の増設（3か所）、「子ども・若者応援ネット」における意見交換会の開催、令和3年4月からのフードドライブの開始準備

成果指標	居場所と学習支援の提供を行う「まなびスペース」の設置個所数	単位	目標		実績	
		箇所	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	2

活動指標	「まなびスペース」への子ども・若者の参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	15	R2	29
			R元	15	R元	20

事業評価		
市民のニーズ	高い	平成30年の子どもの貧困率は13．5%であり、ひとり親家庭では48．1%に至っている。子ども食堂等の民間支援団体の活動が広がりをみせており、市民の関心・ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	「子どもの貧困対策の推進に関する法律」により、地方公共団体は、子どもの貧困対策に関し、施策を策定し実施する責務を有している。
成　　果	上がっている	「第2期推進計画」は「第1期推進計画」と比較して、保護者・教職員アンケート結果では指標の改善もみられ、子ども食堂等の民間支援団体と連携して「まなびスペース」の増設につながっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、会議は「子ども若者応援ネット」意見交換会を行い、フードドライブの次年度開始に向けた準備を行った。「まなびスペース」は活動の自粛も経つつ感染防止に配慮して実施した。
コスト削減の可能性	ない	「第2期推進計画」の推進に向けて、会議費や「まなびスペース」に関する委託料等、必要な経費を予算計上している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	保護者アンケートでは、家計の赤字、経済的な理由から高等教育の進学希望の低下、中学生の朝食未摂取等の結果がでており、これらの解消を目指すには休廃止は影響がある。
今後の方向性	維持	「第2期推進計画」に掲げた重点施策を推進していくことに加え、関係機関や民間支援団体が連携した支援体制の構築を図る必要がある。令和3年度からは、こども課の所管となる。

総評（課題・改善点）

コロナ禍により「日向市子どもの未来応援会議」及び「第2期推進計画」地域説明会は開催できず、「子ども若者応援ネット」意見交換会を行い、活動交流とフードドライブの次年度開始に向けた協議を行った。子どもの居場所づくり事業では3か所目の「まなびスペース」を設置した。

本事業は業務移管により令和3年度からこども課所管となるため（子どもの居場所づくり事業は福祉課所管継続）、今後は「子どもの居場所づくり」を軸にして、個別支援の連携と子どもを応援する地域づくりを推進する。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	05 子ども子育て支援事業計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	76,800			
0801	費用弁償	6,783			
0802	普通旅費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
238,000	83,583	0	154,417

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	83,583
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	平成27年4月に施行した「子ども・子育て支援新制度」は、質の高い学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援の充実を図る制度である。子ども・子育て支援法に基づき、「日向市子ども・子育て支援事業計画」の取組や達成状況について、「日向市子ども・子育て会議」にて点検・評価を行い、計画の進捗管理、取組の見直しや改善につなげる。
事業活動内容	「日向市子ども・子育て支援事業計画」の進行管理のため、「日向市子ども・子育て会議」において、その進捗状況の点検・評価を行った。 （参考） ○「日向市子ども・子育て支援事業計画（平成27～令和元年度）」 ○「第2期日向市子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）」計画策定 新制度に基づき市が令和2年3月に策定。5年間の幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援事業に係る需給計画。 ○「日向市子ども・子育て会議」 新制度に基づき市が平成25年7月に設置。公募の市民や関係機関・団体の代表者、学識経験者の20名で構成する審議会。

成果指標	子ども・子育て会議開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	1
			R元	4	R元	4

活動指標	子ども・子育て会議開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	1
			R元	4	R元	4

事業評価		
市民のニーズ	高い	ニーズ調査結果に基づき、必要とされるサービス量等について「第2期日向市子ども・子育て支援事業計画」に反映した。
市の関与の妥当性	妥当	「子ども・子育て支援新制度」に基づき、市が主体的に子育て支援に取り組むための事業計画であり、その検証等を行う「日向市子ども・子育て会議」の開催は必要である。
成　　果	ある程度上がっている	「第2期日向市子ども・子育て支援事業計画」の取組状況については、達成及び概ね達成されている事業が8割を超えている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	「第2期日向市子ども・子育て支援事業計画」に取り組み、サービス量の点検・見直しを行うとともに、「日向市子ども・子育て会議」を開催し、計画の達成状況、進捗状況について説明を行った。
コスト削減の可能性	ない	「日向市子ども・子育て支援事業計画」策定及び「子ども・子育て会議」開催のための費用であり、削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	普通	「日向市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、策定後は「日向市子ども・子育て会議」にて点検・評価を行い、計画の進捗管理、取組の見直しや改善につなげるため、維持する必要がある。
今後の方向性	維持	「日向市子ども・子育て会議」にて点検・評価を行い、計画の進捗管理、取組の見直しや改善につなげていく。

総評（課題・改善点）
「第2期日向市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画初年度として各種事業を実施した。事業の進捗管理は、「日向市子ども・子育て会議」において報告・協議を行っており、同会議で出された意見等については、今後の子育て支援の取組に反映することが求められている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	11 子ども医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,010,060			
0301	職員手当	209,471			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	181,878			
0801	費用弁償	18,000			
1103	手数料	6,330,320			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	172,522,006			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
181,024,000	180,271,735	0	752,265

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	38,007,000	0	31,952,000	110,312,735
主な財源	子育て支援乳幼児医療費助成事業補助金、乳幼児医療費助成金診療報酬事務手数料補助、こども医療費負担金、うるおい福祉基金利子、うるおい福祉基金繰入金、乳幼児医療高額療養費等返還金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	子どもの医療費に係る保護者の負担を軽減することにより、子育て支援が図られる。
事業活動内容	子どもに係る医療費の一部を助成した。 ○助成対象　15歳の誕生日以降の最初の3月31日までの児童 ○自己負担額　各受診医療機関において、1診療科ごとに月350円（調剤薬局は無料） ただし、県外受診及び中学生の県内医療機関時間外診療については償還払い。 ※平成25年10月診療分より、対象を「小学校卒業まで」拡大。 ※平成28年　1月診療分より、対象を「中学校卒業まで」拡大。

成果指標	診療報酬明細書1件当たり助成額	単位	目標		実績	
		円	R2	1,600	R2	1,840
			R元	1,290	R元	1,760

活動指標	①助成延件数 ②助成金額	単位	目標		実績	
		①件 ②千円	R2	①122,000 ②195,000	R2	①102,408 ②188,871
			R元	①155,000 ②200,000	R元	①124,224 ②218,097

事業評価		
市民のニーズ	高い	子どもの健全育成と保護者の経済的負担を軽減するという観点において、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	子育て世帯の経済的な負担軽減への支援は必要である。
成　果	上がっている	子育て世帯の経済的な負担の軽減に効果があり、子ども健全育成が図られている。
成果に向けた活動量	十分であった	医療機関の適切な利用も含めた制度の周知を図った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	医療機関の時間内受診、ジェネリック医薬品の利用等により医療費の削減が図られる。自己負担額の見直し。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	子育て世帯の経済的な負担が増加する。
今後の方向性	維持	利用方法に対する啓発を行いながら、継続していかなければならない。

総評（課題・改善点）

子どもの医療費を助成することで、保護者の経済的負担が軽減されるだけでなく、子どもの健全育成にもつながり、安心して子どもを生み育てられる環境の充実が図られている。
今後も、制度の周知を行うとともに、医療機関の適切な利用及びジェネリック医薬品の利用の啓発を行い、医療費の削減に努めることが課題である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	01 放課後児童クラブ事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1201	施設維持管理委託料	0			
1203	事業委託料	50,066,070			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,574,000	50,066,070	0	507,930

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,688,000	16,688,000	0	0	16,690,070
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

放課後児童健全育成事業管理運営委託料	46,690,300
放課後児童健全育成事業（新型コロナウイルス感染症に対する緊急対応）管理運営委託	1,087,570
放課後児童健全育成事業（FAスクール）管理運営委託料	2,288,200

事業期間	年度　～　年度
目的	放課後児童の健全育成と、子育て世代の就労支援を図る。
事業活動内容	保護者の就労やその他の理由により、放課後に保護者の監護を受けられない児童について、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全育成を図った。 令和2年7月から1クラブ（定員40名）増設し、6校区11クラブ（定員420名）開設している。 新型コロナウイルス感染症に対する対応として、小学校が休業となった令和2年4月22日から5月22日まで、8時から17時まで時間を延長して開設した。 ○開設クラブ 日知屋児童クラブ（日知屋児童センター）、富高児童クラブA・B（富高小学校余裕教室）、 財光寺児童クラブA・B（財光寺小学校余裕教室）、財光寺南児童クラブA・B（財光寺南小学校余裕教室）、 日知屋東児童クラブ（日知屋東小学校余裕教室）、大王谷児童クラブ（大王谷児童館）、 大王谷小学校児童クラブ（大王谷小学校余裕教室）、FAスクール

成果指標	年間延利用者数	単位	目標		実績	
		人	R2	84,000	R2	76,317
			R元	78,000	R元	73,902

活動指標	登録児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	420	R2	366
			R元	380	R元	353

事業評価		
市民のニーズ	高い	保護者の就労やその他の理由により、放課後に保護者の監護を受けられない児童の居場所として高いニーズがある。
市の関与の妥当性	妥当	放課後に保護者の監護を受けられない児童の居場所づくり支援に必要な事業である。
成　　果	上がっている	共働きやひとり親家庭の増加もあり、子育て家庭を支援する事業として、成果が上がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	児童クラブを11か所に増やし、児童の受入拡大を図った。
コスト削減の可能性	ない	待機児童解消に更なる児童クラブの開設が必要である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	1年生を中心にかなりの利用希望が見込まれることなどから、影響は大きい。
今後の方向性	拡充	待機児童が発生しているクラブの増設を含め拡充していくべき。

総評（課題・改善点）	
	令和2年7月に新たに児童クラブを1か所開設したものの、希望者が多く、待機児童が発生している状況である。子育て世代の就労支援を行う上で、児童が放課後に過ごす安心・安全な居場所を提供することは大変重要であり、今後も放課後児童クラブの拡充を検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	02 寡婦医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1903	社会福祉扶助費（市単独）	7,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
270,000	7,500	0	262,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,500
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	一人暮らしの寡婦である者の経済的負担を軽減し、健康増進と福祉の向上を図る。
事業活動内容	寡婦である者の医療費の一部を助成した。 ○対象となる要件 ・市内に住所がある寡婦の者 ・60歳以上70歳未満で一人暮らしであること ・国民健康保険に1人で加入していること ・他の制度により医療費の全額給付を受けていないこと ・市町村民税が課税されていないこと

成果指標		単位	目標		実績	
	1人当たり助成額	千円	R2	67.5	R2	7.5
			R元	66.6	R元	38.5

活動指標		単位	目標		実績	
	①助成人数 ②助成金額	①人 ②千円	R2	①4 ②270	R2	①1 ②7.5
			R元	①3 ②200	R元	①2 ②77

事業評価		
市民のニーズ	普通	一人暮らしの寡婦である者の経済的負担を軽減し、健康増進と福祉の向上を図ることが出来る。
市の関与の妥当性	妥当	一人暮らしの寡婦である者の経済的負担を軽減及び、病気の重症化の予防に努めている。
成　　果	ある程度上がっている	一人暮らしの寡婦である者の経済的負担の軽減に効果がある。
成果に向けた活動量	ある程度あった	医療機関の適切な利用も含め制度の周知を図った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	医療機関の適切な利用も含め、ジェネリック医薬品の利用について啓発を行う。
休廃止した場合の市民への影響	普通	一人暮らしの寡婦である者の経済的負担が増加する。
今後の方向性	維持	医療機関の適切な利用も含め、制度の周知を図る。

総評（課題・改善点）	一人暮らしの高齢である寡婦の医療費に係る経済的負担を軽減することにより、健康増進と重病化の予防が図られている。今後は、医療機関の適切な利用と制度の周知を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 母子福祉費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	04 ひとり親家庭医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	5,482			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	35,763,116			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,806,000	35,768,598	0	37,402

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	17,268,000	0	1,217,000	17,283,598
主な財源	ひとり親家庭医療費助成事業補助金、母子及び父子家庭等医療高額療養費等返還金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、健康増進と自立更正を図る。
事業活動内容	母子及び父子家庭等に対し医療費の一部を助成した。 ○支給対象　母、父等は扶養している児童が20歳に到達する月まで 児童は18歳に達した年度末まで ○本人負担額　月額1，000円

成果指標	負担軽減世帯数	単位	目標		実績	
		件／月	R2	1,200	R2	1,037
			R元	1,200	R元	1,052

活動指標	①助成延件数 ②助成金額	単位	目標		実績	
		①件 ②千円	R2	①8,000 ②40,000	R2	①6,666 ②35,763
			R元	①8,000 ②40,000	R元	①7,652 ②42,059

事業評価		
市民のニーズ	普通	助成件数及び助成金額について、令和2年度は減少したものの、ここ数年は増加傾向にあり、ニーズも高い。
市の関与の妥当性	妥当	ひとり親家庭の経済的支援の一環として実施する必要がある。
成　　果	上がっている	一定の負担額で、受診をためらうことなく、病気の重症化を予防する事が出来る。
成果に向けた活動量	十分であった	受給資格の取得、助成金申請等の周知に努めた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	医療機関の時間内受診など適切な利用も含め、ジェネリック医薬品の利用について啓発を行う。
休廃止した場合の市民への影響	普通	ひとり親家庭の受診に影響がある。
今後の方向性	維持	利用方法等の啓発を行いながら継続していかなければならない。

総評（課題・改善点）	ひとり親家庭医療費助成事業を推進することにより、当該ひとり親家庭等の経済的負担の軽減、健康増進、重病化の予防が図られている。事業費については、令和2年度は減少したものの、ここ数年増加傾向にあり、今後も、医療機関の適切な利用も含め、ジェネリック医薬品の利用についての啓発を継続していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	05 高等職業訓練促進給付金等事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890013	高等職業訓練促進費給付金	10,040,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,040,000	10,040,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,530,000	0	0	0	2,510,000
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	養成訓練の受講期間中における生活の安定を支援することにより、ひとり親世帯の自立更生を図る。
事業活動内容	母子家庭の母、父子家庭の父が就職の際に有利で、生活の安定に役立つ資格（看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・准看護師等）を取得するための養成訓練の受講に際して、その期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を提供するために高等職業訓練促進給付金を支給した。また就職時の負担軽減のため、高等職業訓練修了支援給付金を支給した。 【支給額】 ○高等職業訓練促進給付金 ・市町村民税非課税世帯　月額100，000円（最終年度は、40，000円加算） ・市町村民税課税世帯　月額　70，500円（最終年度は、40，000円加算） ○高等職業訓練修了支援給付金（修了後に支給） ・市町村民税非課税世帯　50，000円 ・市町村民税課税世帯　25，000円

成果指標	就業率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標	給付人数	単位	目標		実績	
		人	R2	12	R2	9
			R元	15	R元	12

事業評価		
市民のニーズ	高い	養成訓練の受講期間中における生活の不安解消に有効な制度である。
市の関与の妥当性	妥当	母子・父子家庭の生活の安定、経済的自立に向けての支援は必要である。
成　果	ある程度上がっている	事業の周知が図られ、資格取得者の就職につながっている。
成果に向けた活動量	十分であった	利用希望者に制度の説明を行っている。
コスト削減の可能性	ない	養成機関での受講中の生活を安定させるために給付金が必要であり、母子・父子家庭の自立につながる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	支給対象者にとって、受講期間中の生活の不安を解消し、安定した修業環境を確保するために必要な制度となっている。
今後の方向性	維持	母子・父子家庭の資格取得による自立を促すためにも継続する必要がある。

総評（課題・改善点）	ひとり親家庭の親が、就職する際に有利となる資格を取得することは、経済的自立と生活の安定に必要である。法改正により、最終年度の給付金が加算され、当該資格取得の期間中における生活の不安をなお一層解消し、資格取得のための受講環境の確立と家庭への支援に大きな役割を果たしている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	06 自立支援教育訓練給付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890008	自立支援教育訓練給付金	48,667			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
205,000	48,667	0	156,333

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	36,000	0	0	0	12,667
主な財源	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	母子家庭の母又は、父子家庭の父の雇用の安定及び再就職の促進により、経済的な自立を図る。
事業活動内容	母子家庭の母又は、父子家庭の父の主体的な能力開発の取組を支援するもので、雇用保険の一般教育訓練給付金の対象となる教育訓練（ホームヘルパーや医療事務の講座など）を受講した場合に、受講料の一部を支給した。 【支給額】受講料の60%（1万2千1円以上で20万円を上限） （雇用保険の一般教育訓練給付金を受給できる場合は、その額を控除）

成果指標	受講後の就業率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	－

活動指標	給付人数	単位	目標		実績	
		人	R2	5	R2	2
			R元	5	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	普通	専門性の高い資格を取得することで、就業することが出来るため、ひとり親家庭の経済的自立につながっている。
	市の関与の妥当性	妥当	ひとり親家庭の経済的自立を支援するために必要である。
	成　果	ある程度上がっている	就職等の相談があった際に、制度の周知を行い、申請につながった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	ひとり親家庭の親に制度の周知を行った。
	コスト削減の可能性	ない	積極的な資格取得を促すためにも給付金が必要であり、ひとり親家庭の自立につながる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	利用条件にあった希望者が制度を利用できないことが想定される。
	今後の方向性	維持	雇用の安定及び再就職の促進を行うことにより、ひとり親家庭の経済的な自立が図られるため、今後も継続する必要がある。

総評（課題・改善点）	昨年度は利用実績が無かったが、ハローワークにおける雇用保険の一般教育訓練給付金を申請する際に、本事業との併給も可能である旨説明され、今年度の利用につながった。ひとり親家庭の親の再就職の促進と経済的自立のために、今後もハローワークと連携し、本事業の周知徹底を図りながら、利用を促進することが必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	08 母子・父子自立支援員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	264,842			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	328,442			
0801	費用弁償	24,000			
1107	自動車損害保険料	19,145			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,594,000	2,516,973	0	77,027

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,516,973
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	ひとり親家庭等の生活の安定と自立支援につなげる。
事業活動内容	法に基づき、こども課内に母子・父子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等からの相談全般に応じるとともに、自立に必要な情報提供及び指導を行ったり、職業能力の向上及び求職活動に関する支援等を行った。 ○母子・父子自立支援員　1名 平成28年4月から市で設置（平成28年3月まで県から派遣）

成果指標	相談時年度内完結率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標		単位	目標		実績	
	①全体相談件数 ②就労に関する相談件数	件	R2	①1,850 ②300	R2	①1,414 ②220
			R元	①1,850 ②300	R元	①1,757 ②326

事業評価		
市民のニーズ	普通	ひとり親からの相談は多岐にわたっており、連日数件の相談が寄せられている。
市の関与の妥当性	妥当	ひとり親家庭等への生活安定と自立に向けた支援は必要である。
成　　果	上がっている	ハローワークへの相談や社会福祉協議会へのつなぎ支援等、各相談事業との連携ができているため、相談時年度内完結率は100%となっている。
成果に向けた活動量	十分であった	事業の周知が図られ、利用者が増えつつある。
コスト削減の可能性	ない	支援員に対する人件費となっている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	連日相談が寄せられており、影響は大きい。
今後の方向性	維持	ひとり親の就労等の相談を継続していきたい。

総評（課題・改善点）	母子家庭だけでなく父子家庭においても相談件数は増加傾向にある。その相談内容も多岐にわたり、経済的問題、子どもの養育相談等の個々の問題に対する相談業務は市民ニーズも高い状況にある。長引くコロナ禍にあっては、経済的に困窮している母子家庭、父子家庭に対し、制度活用等とともに、なお一層寄り添った相談支援業務を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	13 発達障がい児相談員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,023,903			
0301	職員手当	273,443			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	327,524			
0801	費用弁償	50,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,739,000	2,675,270	0	63,730

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,675,270
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	発達障がい等の疑いがある児童の保護者等に対して、相談しやすい環境をつくり、関係機関と連携することで、発達障がい等の早期発見・早期発達支援の充実を図る。
事業活動内容	発達障がい児相談員を配置し、乳幼児期等における発達障がいのある児童(疑いを含む)や保護者等への相談支援、訪問を行い、関係機関と連携しながら適切な支援ができる体制の充実を図った。 ・保育園等全園訪問事業 〇発達障がい児相談員1名配置

成果指標	保育園全園訪問事業で発達障がい等の疑いにより、療育等の支援につながった児童数	単位	目標		実績	
		件	R2	30	R2	76
			R元	20	R元	33

活動指標	発達障がい児相談員による保育所・幼稚園訪問数	単位	目標		実績	
		園	R2	60	R2	80
			R元	30	R元	79

事業評価		
市民のニーズ	高い	発達障がいが疑われる児童は年々増加しており、乳幼児期での早期発見、早期対応が求められている。
市の関与の妥当性	妥当	平成17年に発達障害者支援法が施行され、発達障がいの早期発見、発達支援が市の責務として明確化されている。
成　果	上がっている	保育園等全園訪問事業、乳幼児健診、保護者等からの相談によって、早期発見から関係機関へのつなぎを行っており、早期対応が行えている。
成果に向けた活動量	十分であった	保育園等全園訪問事業に取り組み、年間全園2回の訪問に加えて臨時の訪問を行っており、活動量は十分である。また、1歳6か月健診後のフォローアップ教室として、「ドレミ教室」を実施した。
コスト削減の可能性	ない	継続的に事業を実施し、その目的を達成するためには、専門職の確保が必要であり、現在のコストを削減する余地はない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	発達障がい児の保護者や保育園などの関係機関が相談する場所が失われ、関係機関との連携が行えなくなることによって、早期発見、早期対応が困難になる。
今後の方向性	拡充	保育園等全園訪問事業を充実させ、対象児童が安定して保育園等で生活できるように支援を行う。また、健診事後教室について、「ドレミ教室」に加えて「ソラシド教室」を開始する。

総評（課題・改善点）	発達に障がいが疑われる児童には、早期から発達段階に応じた支援を行っていくことが重要であるため、保育園等全園訪問事業等において、必要とされる家庭や保育園等での適切な活動や配慮等の助言を行うなど、発達障がい児相談員の果たす役割は大きい。今後とも、乳幼児期から就学へのスムーズな支援を継続していくために、関係機関とも更なる連携を図っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	14 子育て短期利用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	77,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
324,000	77,000	0	247,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,000	22,000	0	33,000	0
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、子育て短期利用負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

短期入所生活援助（ショートステイ）事業委託　77,000

事業期間	年度　～　年度
目的	児童を養育している保護者が疾病、育児疲れなど、身体・精神・環境上の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において養育・保護を行うことで、その児童及び家庭の福祉の向上を図る。
事業活動内容	家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童福祉施設において一時的に養育・保護を行った。 ○利用期間　：原則7日以内 ○委託予定先：児童養護施設 鐘ヶ浜学園等

成果指標	保護者の精神的負担の緩和するため、児童の養育・保護を行い、福祉の向上が図られた人数	単位	目標		実績	
		人	R2	20	R2	1
			R元	30	R元	0

活動指標	子育て短期支援事業の延べ利用児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	20	R2	1
			R元	30	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	低い	本事業の市民の認知度は低いが、保護者の疾病や育児不安、育児疲れ等による養育困難状況は増加すると思われる。
	市の関与の妥当性	妥当	児童福祉法に基づく事業であり、児童のセーフティーネットとして市の関与が必要である。
	成　果	ある程度上がっている	一時的に養育を必要とする世帯・児童の利用が1世帯・1人あった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	一時的に養育を必要とする世帯・児童の利用が1世帯・1人あり、通算14日の利用であった。
	コスト削減の可能性	ない	近隣市町村との整合性を考慮して委託契約を行っているので削減する余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、支援する手立てがなくなる。
	今後の方向性	維持	現状の維持に努める。

総評（課題・改善点）	短期利用事業は、児童の養育が一時的に困難となった家庭にとって欠く事の出来ない事業であり、児童虐待の未然防止や子どもの生活習慣の指導等につながるなど、大きな役割を果たしている。受託施設は児童養護施設であり、市内施設については定員状況から受け入れが困難であったため、近隣市町村の施設と委託契約を取り結んで一時的な養育・保護を行った。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 児童虐待を防止する体制の強化
小事業	01 家庭児童相談員設置事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,018,046			
0301	職員手当	282,297			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	349,738			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	0			
1809007	宮崎県家庭児童相談員連絡協議会負担金	3,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,748,000	2,653,081	0	94,919

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,653,081
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	家庭における人間関係の健全化及び児童養育の適正化等、家庭児童福祉の向上が図られる。 相談支援体制の強化を図ることにより、様々な問題を抱える家庭や児童の相談、虐待の未然防止、早期支援につながる。
事業活動内容	家庭児童相談員を配置し、要保護児童対策地域協議会や児童相談所等、関係機関との連携を図ることで、児童に関する問題(家庭相談、虐待相談、養育相談等)について、専門的な相談指導や継続的な支援を行った。 〇家庭児童相談員を1名配置

成果指標	家庭児童相談員の関わりが終了した世帯の割合	単位	目標		実績	
		%	R2	40.0	R2	24.0
			R元	40.0	R元	36.4

活動指標	家庭児童相談員の対応件数（実人数）	単位	目標		実績	
		人	R2	100	R2	51
			R元	100	R元	55

事業評価			
	市民のニーズ	普通	子どもの健やかな成長を願っている保護者や関係機関からの相談に対し、適切な助言や指導を行うことは子育て支援の重要な役割を担っている。
	市の関与の妥当性	妥当	平成16年「児童虐待の防止等に関する法律」の改正により、市も児童虐待の通告受理機関となり、平成17年「児童福祉法」の改正により、児童相談に応じることが市の業務として明確化された。
	成　　果	ある程度上がっている	対応件数は目標値には達成していないが、ケースが複雑化・多様化している中で、保護者に対する養育にかかる助言や、関係機関と連携した見守り等、目標値以上の成果を達成した。
	成果に向けた活動量	十分であった	関係機関と連携しながら個別のケース検討会議を実施し、終結に向けて支援を行った。
	コスト削減の可能性	ない	継続的に事業を実施して、事業目的を達成するためには、専門職の確保が必要であり、現在のコストを削減する余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	児童虐待や児童相談に対応する専門職が減ることによって、専門的な相談指導や継続的支援を十分に行えなくなる。
	今後の方向性	維持	研修や事例検討等をとおして、家庭児童相談員の専門性のさらなる向上に努める。

総評（課題・改善点）	子育て家庭等の様々な相談に応じ、適切な助言・指導を行うことにより、相談者の不安等の解消を図っている。また、要保護児童対策地域協議会校区部会の運営にも大きく関わり、学校等からの相談を通じて、児童虐待の早期発見・早期対応ならびに未然防止において大きな役割を果たしている。今後も、研修会や事例検討等を利用した相談員の資質の向上が求められている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	07 児童虐待を防止する体制の強化
小事業	02 児童虐待防止対策支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,618,892			
0301	職員手当	277,869			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	256,222			
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	20,000			
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	81,027			
1006	印刷製本費	97,680			
1101	通信運搬費	21,000			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	1,449,800			
1809022	オレンジリボンたすきリレー負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,629,000	3,828,990	0	800,010

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,629,000	543,000	0	0	1,656,990
主な財源	児童虐待・DV対策総合支援事業国庫補助金、子ども・子育て支援交付金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	広報啓発、人材育成などの取組により、市の相談体制が充実・強化され、児童虐待防止につながる。
事業活動内容	児童相談体制の充実及び対応職員の資質向上を図ることで、児童虐待防止の支援体制を強化した。 ○児童虐待防止対策強化のための広報活動 ○児童虐待防止対策強化のための人材育成 ○安全確認等対応職員の配置

成果指標	児童虐待受理件数	単位	目標		実績	
		件	R2	40	R2	18
			R元	40	R元	38

活動指標	市民向けの児童虐待防止のための啓発活動回数	単位	目標		実績	
		回	R2	9	R2	9
			R元	6	R元	14

事業評価			
	市民のニーズ	高い	子どもが安全で安心して過ごせる地域社会の実現は、市民の等しい願いである。
	市の関与の妥当性	妥当	平成16年の「児童虐待の防止等に関する法律」の改正により、市町村が児童虐待の通告機関となり、平成17年の「児童福祉法」の改正により、市町村が児童相談に応じることとなった。
	成　果	上がっている	要保護児童対策地域協議会の充実が図られ、これまで養育が気になるケースの早期発見や虐待通告に至れた成果として、令和2年度における児童虐待の新規受理件数は減少した。
	成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍により要保護児童対策地域協議会中学校校区部会の中止・書面開催や、啓発機会を制限される状況に至ったものの、ケース会議を150回開催してケース進行管理を補強した。
	コスト削減の可能性	ない	増加する児童虐待や通報、相談に対して、速やかに対応できる「安全確認等対応職員」の配置は不可欠であるため削減できない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	子育てに不安を抱える家庭や児童虐待のある家庭が増えて、子どもの健やかな成長や発達が阻害される。
	今後の方向性	拡充	令和4年度までに、市町村による「子ども家庭総合支援拠点」の整備が努力義務化されたため、整備に向けた取組を行う。また児童虐待案件の一部移管が県から予定されている。

総評（課題・改善点）
全国的に児童虐待による死亡事件が発生している中で、児童虐待防止対策は重要である。本市においても、要保護児童対策地域協議会中学校校区部会を市内全域に6部会設置し、学校、関係機関、地域との連携を図りながら、養育困難の解消や児童虐待の解消に向けた子ども家庭支援の取組を強化している。令和4年度までに「子ども家庭総合支援拠点」の市町村における整備が努力義務化される中、児童虐待案件の一部移管が県から予定されており、更なる体制強化が求められる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 予防費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
小事業	01 ヘルシースタート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	7,065,796	1203	事業委託料	67,149,854
0301	職員手当	846,891	1301	使用料及び賃借料	33,460
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,042,200	1701	庁用器具費（一般的事務用）	141,900
0701	講師謝金	0	1825002	研修会負担金	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	989,000	1952	衛生扶助費（市単独）	317,470
0801	費用弁償	92,400			
0802	普通旅費	19,540			
1001	消耗品費	590,000			
1006	印刷製本費	233,090			
1101	通信運搬費	468,000			
1103	手数料	377,346			
1108	その他の保険料	200,220			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,186,000	79,567,167	0	3,618,833

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,108,000	7,031,000	0	0	62,428,167
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、母子保健衛生費国庫補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

乳幼児健診（小児科等）	1,995,300
妊婦健診（県医師会）	36,655,660
子宮がん検診（県医師会）	1,582,960
妊婦健診（県外）	357,120
新生児聴覚検査（県医師会）	1,244,000
地域子育て支援センター事業	8,057,000
つどいの広場事業	5,074,000
ファミリーサポートセンター事業	2,254,000
家族・親子支援プログラム事業	671,000
・コモンセンスペアレンティングプログラム　：671,000円	
産前・産後サポート事業	1,372,000
・ようこそあかちゃん子育てヒント相談カフェ　：551,000円	
・ノーバディーズパーフェクトプログラム　：821,000円	
産婦健診事業	3,808,680
産後ケア事業	887,500

事業期間	年度　～　年度
目的	妊娠から子育て期にわたるまで、切れ目ない支援を実施することにより、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進する。
事業活動内容	すべての子どもが幸せな人生のスタートができるように応援するため、妊娠期から出産後の新生児期、乳幼児期等のライフステージごとに、切れ目なく医療や保健福祉サービスの支援ができるように、関係機関の連携を図る拠点（子育て世代包括支援センター）を設置するとともに、産前・産後サポート事業、産後ケア事業や乳幼児健診事業の充実を図り、地域の特性に応じた「地域母子保健・育児支援システム」の構築を図った。 ○事業委託料 ・産前産後サポート事業 ・産婦健診・産後ケア事業 ・家族・育児支援事業（コモンセンス・ペアレンティング・プログラム） ・新生児聴覚検査助成 ・乳幼児健診

成果指標		単位	目標		実績	
	①産婦健診受診率 ②2歳6か月児歯科検診受診率	%	R2	①90 ②95	R2	①94.3 ②94.8
			R元	①90 ②95	R元	①96.0 ②93.0

活動指標		単位	目標		実績	
	①産婦健診受診者延べ人数 ②2歳6か月児歯科検診受診者延べ人数	人	R2	①900 ②470	R2	①762 ②527
			R元	①900 ②470	R元	①916 ②412

事業評価		
市民のニーズ	高い	妊娠から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行うためには必要な事業であり、市民ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	「安心して産み育てられる環境づくり」は、人口減少や少子化対策の根幹をなすものである。
成　　果	上がっている	産婦健診、新生児聴覚検査の利用率は高く、事業を必要とする妊産婦、新生児に提供することが出来ている。
成果に向けた活動量	十分であった	全ての事業において事業内容は適切であったが、必要とされる方へ適切な支援とサービス利用が出来るよう、更なる広報と普及の活動が必要である。
コスト削減の可能性	ない	事業を継続して実施していく必要があり、削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	妊婦健診や乳幼児健診といった市民に直結した事業が主であり、育児支援を適切に行うことが出来ない。
今後の方向性	拡充	妊娠・出産を望む方や多胎児を養育されている世帯、養育に困り感のある世帯への支援策の拡充が必要である。

総評（課題・改善点）	
	新たに「新生児聴覚検査」を実施するとともに、「多胎児交流会」を開催した。その中で明らかになった、多胎妊産婦の課題や要望等に対し、次年度以降にヘルパー派遣等の事業を検討し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を充実していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	03 保健対策の充実
小事業	02 小児予防接種事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	166,400			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	140,144			
1006	印刷製本費	73,366			
1101	通信運搬費	105,000			
1108	その他の保険料	201,654			
1203	事業委託料	125,952,832			
1921	児童福祉扶助費（県単補助）	2,328,000			
1950	衛生扶助費（国直接・間接補助）	24,750			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
130,573,000	128,992,146	0	1,580,854

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	394,000	0	0	128,598,146
主な財源	愛の予防接種助成事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

小児予防接種業務　日向市・東臼杵医師会　120,373,866

小児予防接種業務　県医師会（広域）　5,578,966

事業期間	年度　～　年度
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防することにより、公衆衛生の向上が図られ、市民の安心、安全で快適な生活が実現する。 ポリオ生ワクチン2次感染者、BCG予防接種健康被害者が、医療機関を継続的に受診し、適切な医療を提供されることにより、対象者や家族の精神的苦痛を軽減することができる。
事業活動内容	○各種予防接種等の実施により、感染症の予防を行うことで、感染症の蔓延や病気の重症化防止を図った。

成果指標	麻しん発生数	単位	目標		実績	
		人	R2	0	R2	0
			R元	0	R元	0

活動指標	麻しん風しん予防接種率(定期接種)	単位	目標		実績	
		%	R2	97.0	R2	98.3
			R元	97.0	R元	91.4

事業評価		
市民のニーズ	高い	予防接種法に基づく事業であり、伝染の恐れのある疾病の発生及び蔓延を予防するという公衆衛生上からも、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	予防接種法に基づく事業であり、引き続き市が事業を推進することが必要である。
成　果	上がっている	どの予防接種も、おおむね高い接種率である。
成果に向けた活動量	十分であった	出生届提出時や乳幼児健康診査時、就学時等に定期予防接種に関する説明や文書により、積極的に接種勧奨を行った。
コスト削減の可能性	ない	予防接種の委託料は、診療報酬とワクチン単価から積算しているので削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	小児マヒ、麻しん、風しん、日本脳炎等への感染者が増加し、入院患者、死亡者数が増加する。
今後の方向性	拡充	令和3年から三種混合予防接種について県が市町村への補助を開始する予定であるなど、予防接種の拡充と更なる接種勧奨を行う。

総評（課題・改善点）	感染症の発生や蔓延を予防し、子どもの健やかな成長に大きな役割を果している。近年、予防接種の種類や推奨される接種時期が重なることもあるので、接種事故等が発生しないように、改めて実施医療機関に注意喚起を促す必要がある。また、国・県の動向に応じて、予防接種の拡充と更なる接種勧奨を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	08 保育所等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853045	保育所等緊急整備事業補助金	112,069,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,330,000	112,069,000	0	5,261,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	74,713,000	0	35,400,000	0	1,956,000
主な財源	保育所等整備交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　元　年度　～　令和　2 年度
目的	老朽化による保育環境整備（施設整備）に要する費用の一部を補助することにより、安全確保と保育の継続確保ができる。
事業活動内容	国の交付金を活用し、私立保育園の新設、修理、改造、整備を実施する際に、設置者負担の軽減を図るために、費用の一部を助成した。 ○事業主体：社会福祉法人瑞龍福祉会　美々津保育園 ○補助対象事業費　112，069千円（国1／2、市1／4、事業主体1／4）

成果指標	耐震基準を満たす施設の割合	単位	目標		実績	
		%	R2	98.5	R2	98.5
			R元	98.5	R元	93.0

活動指標	補助件数	単位	目標		実績	
		件	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価		
市民のニーズ	高い	施設を整備することにより、保護者が安心して子どもを預けられる。
市の関与の妥当性	妥当	園児の安全の確保や快適な保育環境を提供するための支援は必要である。
成　果	上がっている	安全安心な施設での保育につながっている。
成果に向けた活動量	十分であった	計画的に補助を行っている。
コスト削減の可能性	ある程度ある	国の補助基準により実施しているが、建築経過年数など、優先性を判断の上、事業実施している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	耐震基準を満たしていない施設及び耐用年数を経過した施設は、危険である。
今後の方向性	維持	今後も老朽化した施設を優先して計画的に事業を実施する。

総評（課題・改善点）	現在の耐震基準以前（昭和56年以前）に建設され、老朽化した保育園等を対象に事業を実施しており、園児の安全の確保や快適な保育環境を提供するとともに、保護者が安心して子どもを預けられる環境整備に寄与している。事業実施にあたっては、施設からの要望どおりには整備が進まないことが課題である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	15 一時預かり事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	14,874,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,970,000	14,874,700	0	1,095,300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,680,000	4,556,000	0	834,000	4,804,700
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）、一時預かり事業負担金(法人)				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
一時預かり事業委託	14,874,700

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	常日頃、保育所を利用していない家庭における一時的な保育の需要に対応することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。 また、教育施設において一時預かり事象を行うことで、保護者の多様なニーズに対応し、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。
事業活動内容	(1)一般型：保護者の就労や傷病等の理由により、一時的に家庭で保育が困難な場合に、保育園で一時的に預かり、児童の福祉の向上を図る。 ○利用期間 ・就労や職業訓練等による定期的な利用は、週3日以内 ・病気や冠婚葬祭等による緊急の利用は、月14日以内 ・育児に伴う心理的身体的負担等を解消するための利用は、月14日以内 ○利用料金　・1日（4時間超8時間以内）　1，500円　・半日（4時間以内）　750円 ○利用児童数　平成30年：1，305人　令和元年：1，171人　令和2年：636人 (2)幼稚園型：幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児を、保護者の就労や傷病等の理由により、教育時間の前後又は長期休業日等に当該幼稚園等において一時的に預かる。 ○利用児童数　平成30年：23，513人　令和元年：25，874人　令和2年：23，230人

成果指標	利用者数	単位	目標		実績	
		人	R2	25,000	R2	23,866
			R元	25,000	R元	27,045

活動指標	実施施設数	単位	目標		実績	
		園	R2	7	R2	6
			R元	7	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	保育所を利用していない家庭における就学前児童の保育が、一時的に困難となる場合に利用できるものであり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	児童福祉法に基づく制度であり、安心して子育てができる環境を提供するために必要である。
	成　果	上がっている	子育て家庭の育児負担軽減に繋がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	認可保育所1カ所、認定こども園及び幼稚園5カ所に委託して事業を行っている。
	コスト削減の可能性	ない	利用者は増加傾向にあり、保育園等での一時預かりについては、常時、保育士の配置が必要であるため、コスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	利用者は年々増加しており、一時的な保育を必要としている家庭への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	今後も一時的な保育の需要は増えると見込まれ、事業を継続する必要がある。

総評（課題・改善点）	
	家庭の諸事情により一時的に保育が困難となった児童を、保育園等で預かることは、保護者の育児負担の軽減に繋がっており、子育て支援の充実を図るため、事業の継続が求められている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	17 障がい児保育事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	4,481,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,169,000	4,481,760	0	687,240

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,481,760
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
障がい児保育事業委託	4,481,760

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	集団保育が受けられることにより、障がい児の福祉の増進が図られる。
事業活動内容	軽度の心身障害を有する児童、及び特別児童扶養手当支給対象となっている障がい児を保育所に受け入れ集団保育を行った。 ・平成30年　該当児童　15人（7園） ・令和元年　該当児童　10人（7園） ・令和2年　該当児童　8人（4園）

成果指標	障がい児集団保育受入れ児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	10	R2	8
			R元	13	R元	10

活動指標	実施施設数	単位	目標		実績	
		園	R2	8	R2	4
			R元	8	R元	7

事業評価		
市民のニーズ	高い	保育の必要がある障がい児が集団保育を受けることにより、障害についての理解が深まり、障がい児・健常児相互の人間性・社会性の育成が育まれる。
市の関与の妥当性	妥当	受け入れ実施機関における、障がい児の特性に応じた設備整備や、十分な受け入れ態勢の整備、早期の療育開始等のためにも関与は妥当である。
成　果	上がっている	特性を持つ児童は、増加傾向にあり、ヘルシースタート事業での「園訪問」でも、その特性について情報共有することで、必要な療育へとつなげることが出来ている。
成果に向けた活動量	十分であった	窓口等での相談を受け、園に情報提供及び連携を図りながら事業を実施している。
コスト削減の可能性	ない	障がい児の特性に応じた十分な配慮が必要であり、受け入れ施設は、その環境整備や保育士の加配が必要になるので削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	園においての障がい児の受け入れに大きな影響を及ぼし、障がい児の福祉の向上が困難となる。
今後の方向性	維持	障がい児の福祉の向上を図る上でも、継続して事業を実施していく必要がある。

総評（課題・改善点）	
	療育的な観点からも、障がい児を健常児とともに集団保育を行うことは、障がい児の心身の発達に繋がっている。また、障がい児と健常児相互の人間性・社会性の育成に大きな役割も果しているため事業の継続が求められている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	02 延長保育促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	11,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,400,000	11,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,800,000	3,800,000	0	0	3,800,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
延長保育事業委託　11,400,000

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間の前後において保育を実施することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。
事業活動内容	開所時間11時間を超えて30分以上の延長保育を行う。平成27年度の「子ども・子育て支援制度」の施行に伴い、法人立認可保育園に加え、認定こども園についても委託を行っている。 ○開園時間前又は後30分　10園 ○開園時間前30分及び開所時間後30分　14園

成果指標	利用児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	30,000	R2	28,555
			R元	40,000	R元	30,215

活動指標	実施施設数	単位	目標		実績	
		園	R2	24	R2	24
			R元	24	R元	24

事業評価		
市民のニーズ	高い	保護者の就労形態の多様化に対応しており、市民ニーズも高い。
市の関与の妥当性	妥当	安心して子育てができる環境の整備に対応する事業であり、関与は必要である。
成　果	上がっている	保護者のニーズも高く、利用者も安定して多い状況である。
成果に向けた活動量	十分であった	市内のほとんどの園が受託している。
コスト削減の可能性	ない	国・県の補助金等により実施している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	利用している保護者が多く、仕事に影響を及ぼす家庭が増えてくる。
今後の方向性	維持	今後も利用者は、増える傾向にあると思われる。

総評（課題・改善点）	保護者の就労形態が多様化し、ニーズも高く、安心して子育てができる環境の充実を図るため、本事業を推進することが求められている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	03 病児・病後児保育事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	33,423,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,401,000	33,423,000	0	1,978,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,141,000	11,141,000	0	0	11,141,000
主な財源	子ども・子育て支援交付金（国・県）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

病児保育事業委託	17,265,000
病後児保育事業委託	16,158,000

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	保護者の子育てと就労の両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備することで、児童の福祉の向上を図る。
事業活動内容	（病児保育事業） ・委託先　お倉が浜kidsクリニック ・対象児童　0歳（生後3か月以上）からおおむね10歳未満 ・利用児童数　平成30年：326人、令和元年：1，052人、令和2年：567人 （病後児保育事業） ・委託先　ひよこ保育園、日知屋保育園（2園） ・対象児童　0歳（生後3か月以上）からおおむね10歳未満 ・利用児童数　平成30年：1，212人、令和元年：1，113人、令和2年：962人

成果指標	利用児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	2,000	R2	1,529
			R元	2,000	R元	2,165

活動指標	実施施設	単位	目標		実績	
		園	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	保護者の子育てと就労の両立を支援する事業であり、ニーズも高い。
	市の関与の妥当性	妥当	安心して子育てできる環境の整備に繋がり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	コロナ禍により、一時的に利用者が減少しているが、保護者のニーズは高い。
	成果に向けた活動量	十分であった	市報や子育てガイドブック等に掲載し、広く周知に努めている。
	コスト削減の可能性	ない	国・県の補助金等により実施している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	保護者の就労継続に与える影響は大きく、子育ての不安や負担感を増大させることとなる。
	今後の方向性	維持	事業が浸透することで、利用者が増えていくものと思われる。

総評（課題・改善点）	共働き家庭やひとり親の家庭等の子育て支援のため、回復期に至っていない児童を保育する、「病児保育事業」と併せて、病気の回復期にある児童を保育する「病後児保育事業」の事業を実施した。今後とも事業の周知に努めるとともに、安心して子育てができる環境の充実に取り組む必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	04 認可外保育施設支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853024	乳幼児すこやか健康管理事業補助金	140,000			
1853039	認可外保育施設の衛生・安全対策事業補助金	33,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
205,000	173,600	0	31,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	92,000	0	0	81,600
主な財源	乳幼児すこやか健康管理事業補助金、認可外保育施設の職員健康診断費助成事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	認可外保育施設の入所児童に対する定期的な健康診断を実施することにより、乳幼児の健康管理の一層の向上を図る。また、認可外保育施設の職員に対する健康診断を実施することにより、衛生・安全対策を行い、児童福祉の向上を図る。
事業活動内容	○乳幼児すこやか健康管理事業 認可外保育施設に嘱託医を置き、入所児童に対して年2回健康診断を実施した。 令和2年　2園　89人 ○認可外保育施設の衛生・安全対策事業 認可外保育施設に従事する職員に対して健康診断を実施した。 令和2年　2園　8人

成果指標	実施施設数	単位	目標		実績	
		園	R2	3	R2	2
			R元	3	R元	3

活動指標	①健康管理事業実施延人数 ②衛生・安全対策事業実施延人数	単位	目標		実績	
		人	R2	①100 ②20	R2	①89 ②8
			R元	①100 ②20	R元	①113 ②8

事業評価		
市民のニーズ	高い	認可・認可外にかかわらず、保育施設での乳児の健康管理、施設の衛生・安全対策は求められている。
市の関与の妥当性	妥当	保育施設に対する健康管理・衛生管理等への支援は必要であり、市の関与は妥当である。
成　果	上がっている	保護者が安心して預けられる保育環境が提供されている。
成果に向けた活動量	十分であった	認可外保育施設入所児童及び保育従業者に対する健康支援を行った。
コスト削減の可能性	ない	県の補助金等により実施している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	認可外保育施設を利用している児童の健康管理や衛生・安全対策への影響は大きい。
今後の方向性	維持	認可及び認可外保育施設の児童が、同等の健康支援を受けることは、公平性の観点からも必要なことであるため、継続実施する。

総評（課題・改善点）	保育施設を利用する児童の衛生・安全を確保することは必要であり、この事業を実施することにより、保育環境の充実と児童の健やかな成長を支援することに繋がっており、今後も継続した支援が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	02 高齢者社会参加・交流促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	24,750			
1106	火災保険料	46,454			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	0			
1833006	単位高齢者クラブ補助金	997,603			
1833007	高齢者クラブ連合会運営補助金	1,030,000			
1853008	高齢者クラブいきいきバス補助金	0			
1853012	高齢者外出利用バス補助金	880,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,694,000	2,979,307	0	1,714,693

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	977,000	0	0	2,002,307
主な財源	高齢者クラブ補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	高齢者がスポーツ等を楽しむ機会を確保し、生きがいや健康・体力づくりに向けての支援を行うため、四半的道場やひまわり卓球場、屋根付運動広場の提供を行った。また、高齢者の自主的な活動の促進と、高齢者クラブ会員相互の仲間づくりや社会参加を確保するため、日向市高齢者クラブ連合会及び単位高齢者クラブに対して補助金の交付を行った。
事業活動内容	高齢者の社会参加を促し、交流を促進するために各種事業を行った。 （1）高齢者をはじめとする地域住民の交流及び健康増進を図るため、四半的・卓球場・屋根付運動公園などのスポーツ施設の提供を行った。 （2）高齢者の福祉と地域社会の発展に寄与している高齢者クラブ活動の活性化を図るため、地域ごとの単位高齢者クラブと市全域を対象とした高齢者クラブ連合会に対して、運営費一部として補助金を交付した。 （3）高齢者福祉の増進を図るため、70歳以上の高齢者が、宮崎交通が発行する高齢者用定期券（悠々パス）を購入する際、購入費の2分の1を助成した。

成果指標	介護認定率	単位	目標		実績	
		%	R2	14.10	R2	12.70
			R元	16.50	R元	13.39

活動指標	高齢者外出利用バス補助金利用者人数	単位	目標		実績	
		人	R2	150	R2	121
			R元	200	R元	176

事業評価		
市民のニーズ	高い	高齢者人口が増加するなか、健康・体力づくりや社会参加の機会の創出など、高齢者の活動機会の場を提供することは重要であり、ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	地域包括ケアシステムの中核となる、高齢者の自立に向けての支援体制の構築は、高齢者支援の上で重要なものであり、市の関与が妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍による外出自粛のなか、それぞれ工夫して活動が継続されており、相互の仲間づくりや社会参加の機会が確保されている。
成果に向けた活動量	不十分であった	日向市高齢者クラブ連合会へ加入する単位高齢者クラブの減少が続いており、さらなる啓発活動が必要である。
コスト削減の可能性	ない	地域住民の健康・体力維持や外出機会の確保のため、引き続き事業の維持が求められる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業を廃止した場合、健康・体力づくりや、社会参加の機会の減少によるフレイルにつながるなど影響は大きいと判断する。
今後の方向性	維持	地域包括ケアシステムの中核となる高齢者の自立に向けた支援体制の構築は重要であり、適切にニーズをつかみながら、事業を推進していく。

総評（課題・改善点）	地域包括ケアシステムの中核となる高齢者の自立に向けた支援体制の構築は、高齢者の健康・体力維持、社会参加の機会づくりのために重要であり、引き続き推進する必要がある。一方で、高齢者の生活スタイルが多様化していることから、高齢者のニーズ等を的確に把握しながら、事業を展開していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	03 シルバー人材センター支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	9,849			
1809006	全国シルバー人材センター協会賛助会負担金	50,000			
1833008	シルバー人材センター運営補助金	10,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,360,000	10,359,849	0	151

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,359,849
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	働く意欲と能力を持った高齢者へのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的またはその他の軽易な就業」機会の提供と、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じた、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現のため、地域社会の福祉の向上と活性化に取組む団体に対し、補助金を交付する。
事業活動内容	概ね60歳以上の高齢者が、健康維持や生きがいを持ちながら豊富な人生経験や技術を活かせる就業機会の確保を図るため、公益社団法人 日向市シルバー人材センターに運営費の一部として、補助金を交付した。

成果指標	就業率（就業実員数／会員数）	単位	目標		実績	
		%	R2	92.0	R2	92.7
			R元	93.0	R元	93.6

活動指標	就業延日人数	単位	目標		実績	
		人	R2	35,000	R2	33,325
			R元	37,000	R元	35,716

事業評価		
市民のニーズ	高い	就労意欲の高い高齢者にとって、就労機会の確保を図ることができるシルバー人材センターの果たす役割は大きく、ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	高齢者の就労支援や、自主交流事業の実施による高齢者の生きがいづくりのために、市がシルバー人材センターに対して財政的な支援を行うことの意義は大きく、妥当である。
成　果	ある程度上がっている	高齢者の就労機会及び就労場所の確保に向けてのシルバー人材センターの活動により、就業率は高い水準で維持されている。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍による自粛のなか、新たな就業機会の確保と会員の拡大に向けて講習会の実施や就業開拓等の活動に取り組んでおり、十分であったと判断する。
コスト削減の可能性	ない	今後も引き続き財政的な支援を行うことにより、体制維持を図ることが必要である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	高齢者の就業機会の確保を図る場として広く認識、活用が図られており、休廃止した場合の影響は大きい。
今後の方向性	維持	働く意欲がある高齢者がその能力を十分発揮できるよう活躍の場を整備する必要があり、引き続き事業の推進を図る必要がある。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍による就業先の縮小や行事の減少と行った状況のなか、就業機会の拡大と会員の拡大、普及啓発活動の推進に取組んでおり、結果、会員の微増につながった。 今後も高齢者の就業機会を確保のため、引き続き市による財政的支援を行いながら、普及啓発活動を行い、会員数及び就業率の維持・向上に努めることが必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実
中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり
小事業	04 高齢者保健福祉計画に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	445,000			
1001	消耗品費	10,000			
1006	印刷製本費	1,155,000			
1101	通信運搬費	20,000			
1204	調査・計画策定委託料	1,430,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,450,000	3,060,000	0	390,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,060,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	高齢者施策全般及び介護保険について、総合的な展開を目指すため、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（計画期間：令和3年度～5年度）を策定する。
事業活動内容	学識者、保健・医療・福祉関係者、被保険者、介護サービス事業者などで構成する「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」及び庁内関係課長等で構成する「日向市高齢者保健福祉計画等推進庁内会議」を開催し、「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定した。

成果指標	令和2年度中完成	単位	目標		実績	
		本	R2	1	R2	1
			R元	―	R元	―

活動指標	策定委員会開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	5
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	事業計画は、今後の介護需要や保険料の推計、地域包括ケアシステムの深化・推進に必要な指針等を示しており、市民生活に直結するものである。
	市の関与の妥当性	妥当	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、それぞれ老人福祉法、介護保険法に基づき市が策定するものであり、関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	アンケート調査及び前期計画の評価により、現状分析や課題の抽出を行い、今後の高齢者施策に反映した。
	成果に向けた活動量	十分であった	学識経験者や専門職、サービス提供事業者、市民代表で構成する「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」等を設置し、協議結果を踏まえて策定した。
	コスト削減の可能性	ない	今回の計画策定業務は、委託内容をニーズ調査等の調査分析業務に限定することにより経費削減を図ることができたが事務局の負担がかなり増加することとなったこともあり、これ以上の経費削減は困難である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	法律により策定が義務づけられ、3年間の高齢者支援、介護保険施策を定めるものであるため、休廃止した場合には高齢者の生活に重大な支障が生じる。
	今後の方向性	維持	外部委員による「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」、庁内関係課長等で構成する「日向市高齢者保健福祉計画等推進庁内会議」において、計画の進捗管理を行う。

総評（課題・改善点）	策定した計画では、今後3年間に必要となるサービスに関する整備目標等を定めた。高齢者が個人としての尊厳を保ち、自らの能力を活かしながら、住み慣れた地域でともに支え合って暮らすことができる地域共生社会の実現に向けて地域包括ケアシステムの確立を目指す。今後は、計画の進捗を「日向市高齢者保健福祉計画等推進委員会」等において検証する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実
中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実
小事業	05 在宅高齢者支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	0
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
1001	消耗品費	34,200			
1101	通信運搬費	311,000			
1103	手数料	130,000			
1106	火災保険料	20,920			
1108	その他の保険料	35,952			
1203	事業委託料	17,708,847			
1206	その他の委託料	775,280			
1301	使用料及び賃借料	0			
1853061	法人後見体制整備支援事業補助金	2,800,000			
1911	高齢者福祉扶助費(県単補助)	1,325,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,319,000	23,141,199	0	3,177,801

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,400,000	993,000	0	0	20,748,199
主な財源	生活困窮者就労準備支援事業補助金、介護保険利用者負担軽減対策費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（事業委託料）

配食サービス事業	17,569,567
生活管理短期宿泊事業	30,080
寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業	109,200

○委託料（その他の委託料）

在宅高齢者等安心システム通報センター業務	440,000
緊急通報装置保守運用業務	335,280

事業期間	年度　～　年度
目的	高齢者が、住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を続けることができるよう、介護保険制度外の各種サービスを提供し、在宅高齢者の福祉の向上を図る。
事業活動内容	高齢者世帯やひとり暮らし高齢者に対し、地域や生活の実情に応じた様々なサービスを提供した。 （1）配食サービス事業 （2）在宅高齢者等安心システム事業 （3）法人後見体制整備支援事業補助金 （4）介護保険利用者負担額軽減対策費 （5）寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

成果指標	不在者安否確認件数	単位	目標		実績	
		件	R2	10	R2	3
			R元	10	R元	6

活動指標	延べ配食数	単位	目標		実績	
		件	R2	49,500	R2	26,953
			R元	48,000	R元	45,584

事業評価			
	市民のニーズ	高い	高齢者人口の増加に伴い、ひとり暮らし世帯や認知症高齢者が増加する中、見守り体制等の充実は重要である。
	市の関与の妥当性	妥当	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業など、特に低所得高齢者の受け皿となる事業の推進は、高齢者の安全安心な生活環境の充実ために重要である。
	成　果	上がっている	配食サービスによる見守りや、在宅高齢者等安心システムによる緊急通報対応により、高齢者の自立に向けた生活支援が図れている。
	成果に向けた活動量	十分であった	地域包括支援センター等の関係機関と連携し、対象者一人ひとりの状況に応じた適切なサービス選定を実施した。
	コスト削減の可能性	ない	高齢者人口が増加する中、ひとり暮らし世帯や認知症高齢者が可能な限り自立した生活を継続することができるために実施する事業の役割は重要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業の休廃止が生じると、高齢者の安心安全な生活に悪影響を及ぼすことが想定される。
	今後の方向性	維持	高齢者人口が増加する中、在宅高齢者の福祉の向上を図るために、これまで同様の事業を継続して実施する必要がある。

総評（課題・改善点）	高齢化が進展する中、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進を図るために、見守り体制等の介護保険制度外のサービスの継続は必要不可欠である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	04 医療体制の確保
小事業	02 救急医療体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	66,000			
1008	修繕料	7,700			
1108	その他の保険料	937,820			
1203	事業委託料	13,326,280			
1301	使用料及び賃借料	85,208			
1805081	宮崎県救急医療行政連絡協議会負担金	357,000			
1806024	日向市東臼杵郡医師会立日向市看護高等専修学校負担金	658,700			
1806074	日向地区救急医療対策協議会負担金	131,800			
1810011	延岡市小児夜間急病センター負担金	11,080,802			
1834004	二次救急医療体制整備補助金	111,099,000			
1834010	日向市救急勤務医支援事業補助金	21,522,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
160,794,000	159,272,310	0	1,521,690

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	53,652,000	105,620,310
主な財源	在宅当番医制整備事業負担金、日向地区二次救急医療体制整備負担金、地域振興基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

在宅当番医（医科）病院運営業務	12,006,280
在宅当番医（歯科）病院運営業務	1,320,000

事業期間	平成　　年度　～　　年度
目的	初期救急及び二次救急に係る救急医療体制を維持し、市民の安全で安心な暮らしを確保する。
事業活動内容	○日曜・祝日在宅当番医事業 日曜・祝日の軽症患者受入体制を維持した。［参加開業医数：7病院・38診療所（うち小児科4）］ ○日曜在宅歯科当番医事業 日曜日の歯科患者受入体制を維持した。　［参加開業医数：20診療所］ ○二次救急医療体制整備事業 日向入郷医療圏の民間の二次救急告示病院に対し二次救急医療の体制整備に必要な補助を行った。 ○日向市救急勤務医支援事業補助金 日向入郷医療圏の民間の二次救急告示病院に対し救急勤務医手当増額部分に係る補助を行った。 ○延岡市小児夜間急病センター運営負担金 県北市町村で運営する小児夜間急病センターの運営負担金を支払った。

成果指標		単位	目標		実績	
	救急医療体制が安定確保された日数	診療日	R2	365	R2	365
			R元	366	R元	366

活動指標		単位	目標		実績	
	休日や夜間における救急受入可能な日数	診療日	R2	365	R2	365
			R元	366	R元	366

事業評価		
市民のニーズ	高い	休日・夜間の予期せぬ事故やけがに対処する救急医療体制を維持するための事業である。
市の関与の妥当性	妥当	日向入郷医療圏の二次救急医療は民間医療機関に支えられていることから、体制維持にかかわる行政の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	軽症患者の応急診療や夜間の小児急病時の対応、二次救急医療体制の整備等、救急医療体制が安定確保されている。
成果に向けた活動量	十分であった	市単独又は圏域自治体と共同して、救急勤務医の確保、日曜・祝日等の診療体制の維持に必要な支援を行った。
コスト削減の可能性	ない	医師少数区域である本圏域において、救急医療体制を維持するためには多額の事業費を要する。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の命に直接かかわる事業である。
今後の方向性	維持	安定した救急医療体制を確保するために必要な支援を継続する。

総評（課題・改善点）	
	全国的に医師の偏在が問題となる中、本圏域は特に医師が少なく、また医師の高齢化も進んでいる。今般の医療制度改革の影響により、救急医療をはじめ、地域の医療を取り巻く環境はより厳しさを増すことが予想される。引き続き、二次医療圏間の格差が生じないよう国県に対し財政支援の充実を求めるとともに、圏域自治体で協力して公的支援の継続に努める。併せて、安易な時間外受診の抑制や救急車の適正利用などについて市民に対する啓発に取り組む。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	04 医療体制の確保
小事業	05 地域医療体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	85,077			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1810013	宮崎県医師確保対策推進協議会負担金	300,000			
1833022	日向市の地域医療を考える会運営補助金	800,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,334,000	1,185,077	0	1,148,923

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	400,000	0	0	785,077
主な財源	オピニオンリーダー育成・強化補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　年度　～　年度
目的	医療関係者との関係構築を図りながら本市医療体制の確保に努め、安全・安心な医療環境の実現を目指す。また、本市の医療を取り巻く厳しい現状を市民に理解してもらい、限られた医療資源を大切にしていこうという意識の醸成を図る。
事業活動内容	○医師確保対策等 地域医療の確保に関する大学等への要請活動、医療学術学会でのPR活動［未実施］ ○地域医療に関する意見交換 ・「日向の医療について語ろう会」の開催［未実施］ （本市出身及びゆかりの医師、看護師、医学生等が一堂に会して意見を交換。平成28年～） ・上記に代えて、過去の参加者からの近況報告や学生へのメッセージを取りまとめ、配付した。 ・日向市東臼杵郡医師会との意見交換の実施 ○オピニオンリーダーの育成 ・「日向市の地域医療を考える会」の運営支援活動 ・医療従事者に敬意と感謝を表するメッセージ集を作成し、医療機関などに配布した。 ・かかりつけ医を持つことや救急医療機関の適正受診を促すリーフレット作成し全世帯に配布した。

成果指標	接触した医療関係者数（延人数）	単位	目標		実績	
		人	R2	50	R2	56
			R元	50	R元	110

活動指標	医療関係者との接触機会	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	11
			R元	10	R元	19

事業評価		
市民のニーズ	高い	医療人材の確保に向けた取組や地域の医療を守る活動は、安全安心な医療環境を実現するために必要であり、市民の生活に直結する。
市の関与の妥当性	妥当	医療は、市民生活をはじめ、社会経済活動に必要不可欠な社会基盤であり、市の関与が求められる。
成　果	ある程度上がっている	コロナ禍の中にあっても、出来得る限り本市の医療を取り巻く現状を情報発信し、医療関係者との繋がりを保つことができている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	大学等への訪問自粛により、医療関係者との接触機会は会議などに限られた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	一定規模の事業費を維持し、必要最低限の執行に努める。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	医療行政に関する市町村の役割は増大傾向にあり、市民の安心を確保する上からも地域の医療を守る取組は必要である。
今後の方向性	維持	地域における医療と介護の連携に向けた取組を進めるとともに、適正受診等について市民への啓発活動を推進する。

総評（課題・改善点）	少子高齢化・人口減少社会にあっては、二次医療圏域における医療と介護の連携が求められており、地域の医療提供体制を安定的に確保していくことは地域存続の鍵を握る重要な課題である。 このため、圏域における医療人材の確保に向けて、医療関係者との関係を構築するための施策を医師会と一体となって取り組む。また、限られた医療資源を守り、医療従事者が働きがいのある地域医療を作るためには、医療を利用する市民も当事者として考え行動することが必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課　0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	04 医療体制の確保
小事業	03 初期救急診療所事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	4,260,716	1108	その他の保険料	644,240
0301	職員手当	209,471	1203	事業委託料	18,508,875
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	269,502	1205	システム開発等委託料	255,750
0801	費用弁償	125,660	1208	コンピューター・システム導入委託料	0
1001	消耗品費	194,794	1301	使用料及び賃借料	541,908
1003	消耗品費被服	30,184			
1004	燃料費	30,600			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	405,659			
1011	医薬材料費	628,170			
1101	通信運搬費	144,000			
1103	手数料	459,894			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,359,095	26,709,423	450,780	1,198,892

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,419,000	21,290,423
主な財源	初期救急診療所運営負担金、初期救急診療所一部負担金収入、初期救急診療所健康保険診療収入、自動販売機電気料収入、医療機関・薬局等感染拡大防止支援金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

運営業務（医師会）	11,308,000
医療調剤業務（薬剤師会）	2,844,875
医療事務業務	4,356,000
初期救急診療所医療事務システム保守業務	255,750

事業期間	平成　21　年度　～　年度
目的	日向市初期救急診療所において、夜間、時間外の軽症患者の応急診療を行うことにより、市民に対する安全・安心な医療の確保を図る。併せて二次救急医療機関の負担軽減にも務める。
事業活動内容	日向市初期救急診療所において、平日夜間帯の軽症患者の応急診療を行った。 ○診療科　内科・外科 ○診療日　月曜日から金曜日（祝日、12月29日から翌年1月3日までを除く） ○診療時間　午後7時30分から午後9時30分まで ○診療体制　医師2名・薬剤師1名・看護師2名・事務員1名 ○利用実績　診療日数243日（うち無受診日数123日） 受診者数168人（対前年比△261人・△60．8%） ○運　営　日向入郷医療圏域1市2町2村の負担により運営 負担割合：人口割10%、利用者割90%

成果指標	平日の夜間において初期救急医療体制が確保された日数	単位	目標		実績	
		診療日	R2	243	R2	243
			R元	240	R元	240

活動指標	平日の夜間における初期救急診療所の開設日数	単位	目標		実績	
		診療日	R2	243	R2	243
			R元	240	R元	240

事業評価			
	市民のニーズ	高い	夜間に軽症患者に対応することができる唯一の診療所である。
	市の関与の妥当性	妥当	他の医療機関が外来診療を行っていない時間帯に診療を行う公益性の高い事業である。
	成　果	ある程度上がっている	軽症患者に対する応急診療を提供することで、二次救急医療機関の負担軽減に繋がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	予定どおり平日夜間の診療を提供した。 また、市広報紙等により初期救急診療所の周知を図った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	利用状況に応じた診療体制の見直しを行う余地もあるが、2診体制による安全・安心な医療を提供することが求められている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	夜間の軽症患者の受入先を無くすことは、二次救急医療機関における救急患者受入れに影響を及ぼすこととなる。
	今後の方向性	維持	日向市東臼杵郡医師会など関係機関の協力の下、市民の利便性向上と二次救急医療機関の負担軽減に取り組む。

総評（課題・改善点）	医師会所属医師の高齢化や医療機器の老朽化などの課題があるものの、引き続き、平日夜間における軽症患者の受入先として運営を継続し初期救急医療体制を確保する必要がある。 地域の医療を守るためには、市民一人ひとりが、かかりつけ医を持つことや診療時間内での適正受診を心掛け、健康づくりに取り組むことが必要である。なお、受診者数が大きく減少しているが、これは呼吸器系疾患の減少によるもので、市民の感染防止対策の取組効果であると推察される。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係		
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
事業	大事業	12 健康に暮らせるまちづくり			
	中事業	03 保健対策の充実			
	小事業	10 自殺対策事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	25,000			
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	57,844			
1006	印刷製本費	99,000			
1101	通信運搬費	27,000			
1203	事業委託料	735,500			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,047,000	944,344	0	102,656

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	463,000	0	0	481,344
主な財源	地域自殺対策強化事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
自殺対策事業対面型相談支援業務　735,500

事業期間	年度　～　年度
目的	様々な悩みにより、心理的に追い詰められている人が孤立することのないよう相談・支援体制の充実を図る。
事業活動内容	「日向市自殺対策行動計画」を推進していくため、関係機関・団体と連携を図った。 ○自殺対策行動計画推進会議の開催 ○自殺対策事業対面型相談支援業務委託 ・民間事業所に相談員を配置し、相談しやすい環境を整えた。 ○自殺予防啓発活動 ・自殺予防週間や自殺対策強化月間による啓発 ・ゲートキーパー研修会の開催

成果指標		単位	目標		実績	
	自殺死亡率の減少（人口10万対）※統計報告上、数値が出るのは1年遅れとなっているため、1年前の実績を計上	人口10万対	R2	前年より減少させる（H30：14.9）	R2	18.3（R元年）
			R元	前年より減少させる（H29：6.6）	R元	14.9（※H30）

活動指標		単位	目標		実績	
	対面型相談支援業務委託先の相談窓口での相談件数（延件数）	件	R2	50	R2	17
			R元	50	R元	18

事業評価			
	市民のニーズ	高い	生きづらさや深い悩みを抱えている人が、相談窓口につながることができるよう市民への周知に努める必要がある。
	市の関与の妥当性	妥当	「日向市自殺対策行動計画」を推進していくためには、市が主体となり、関係機関・団体と連携していくことが求められる。
	成　果	上がっていない	自殺死亡率は増加している。各種相談窓口の周知、自殺予防についての啓発に努めていく必要がある。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	市職員等を対象としたゲートキーパー研修を開催した。日向市自殺対策庁内推進会及び協議会は、コロナ禍により開催できなかった。
	コスト削減の可能性	ない	引き続き、相談窓口の確保や相談体制の充実を図っていく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の命を守るために必要な事業である。
	今後の方向性	拡充	相談支援体制の充実に向けて、市・関係機関・団体の連携を図っていく。

総評（課題・改善点）	「日向市自殺対策行動計画」に基づき、市の関係各課、関係機関、団体との連携に努めるとともに、各種相談窓口のさらなる周知を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課　0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 健康づくりの普及・啓発
小事業	01 食生活改善推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	1,100			
1101	通信運搬費	10,000			
1203	事業委託料	154,882			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
338,000	165,982	0	172,018

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	165,982
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料 日向市食生活改善推進事業業務	154,882

事業期間	年度　～　年度
目的	適切な食生活及び実践の方法を研修会を通して学ぶことにより、地域、家庭での健康づくりへとつなげることができる。
事業活動内容	○食生活改善推進員の育成 食生活改善推進員の育成を図るために研修を実施し、地域での活動を支援した。 ・食生活改善推進員定例研修会の開催 ○食生活改善推進員の活動 ・親子料理教室、地区食生活改善教室等の実施 ・高齢者への啓発チラシ配布

成果指標		単位	目標		実績	
	①地区講習会の実施回数 ②地区講習会の受講者数	①回 ②人	R2	①20 ②300	R2	①4 ②76
			R元	①40 ②600	R元	①28 ②503

活動指標		単位	目標		実績	
	食生活改善推進員の新規養成者数	人	R2	5	R2	0
			R元	10	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	普通	食を通した健康づくりを実践していくために、市民に対し食生活の見直しや栄養改善についての啓発を行っていく必要がある。
	市の関与の妥当性	妥当	食生活改善推進員の資質向上に向けて、市の栄養士による研修会などを開催している。
	成　　果	上がっていない	コロナ禍により定例研修会や教室等の開催は減少した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	定例研修会や教室等が開催できなかったため、チラシ配布により啓発に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ない	食生活改善推進員の活動の充実を図るため、研修や推進員の養成等、継続して行っていく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	食生活改善推進員は、地域の食生活改善活動のリーダー的な役割を担っている。
	今後の方向性	維持	食生活改善推進員の担い手も減少してきている。今後は推進員活動の周知を図りながら、推進員の確保に努めていく。

総評（課題・改善点）	食生活改善推進員の担い手不足が課題である。推進員の養成及び推進員活動の周知に努めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	01 健康づくりの普及・啓発
小事業	02 健康づくり「ラジオ体操」事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1001	消耗品費	3,013			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	3,000			
1854010	健康づくり「ラジオ体操」事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
80,000	6,013	0	73,987

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,013
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	子どもから高齢者まで取り組むことのできるラジオ体操を通して、市民の体力向上、健康の保持増進を図る。
事業活動内容	○地区でのラジオ体操 地区より実施希望がなかったため未実施。 ○「ラジオ体操」事業補助金 市民や働く世代の健康づくりを推進するため、ラジオ体操を継続実施することが可能な団体を募集したが、希望団体はなかった。

成果指標	ラジオ体操講習会の参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	150	R2	0
			R元	200	R元	282

活動指標	ラジオ体操講習会の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	5	R2	0
			R元	7	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	低い	市ホームページ等で周知を行ったが補助金の申請、講習会の実施希望はなかった。
	市の関与の妥当性	要検討	市が直接関与する必要性は低い。
	成　果	上がっていない	補助金の申請、講習会の実施はなかった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	補助金については市ホームページで希望団体の募集を行い、講習会については各大字区長会において案内を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	これまでの実績や活用状況から、健康づくり「ラジオ体操」事業補助金は令和2年度で廃止とした。
	休廃止した場合の市民への影響	小さい	ウォーキングや百歳体操など個人や地区での様々な取組が行われている。
	今後の方向性	廃止	「ラジオ体操」事業補助金については廃止。「ラジオ体操講習会」については、地区の希望に応じて健康増進事業として引き続き取り組んでいく。

総評（課題・改善点）	市民の健康増進を図るため、年代や身体状況、生活スタイルに応じた運動を日常生活の中に取入れていけるよう啓発していくことが必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	03 保健対策の充実
小事業	05 健康増進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	16,100			
1001	消耗品費	14,926			
1006	印刷製本費	60,170			
1101	通信運搬費	215,000			
1203	事業委託料	2,980,841			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,420,000	3,287,037	0	1,132,963

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,956,000	0	0	1,331,037
主な財源	健康増進事業県負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	2,980,841
肝炎ウイルス検診	
若年者（40歳未満）健診	
歯周疾患等検診	
生活保護受給者健診	

事業期間	年度　～　年度
目的	健康教育や健康相談、若年者健診等を実施することにより、市民の健康の保持増進を図る。
事業活動内容	健康増進法に基づく健診、相談事業を実施した。 ○肝炎ウイルス検診（個別・集団）の実施 ○特定健診に該当しない対象者への健康診査の実施 ・若年者(19歳～39歳)の健康診査 ・生活保護受給者の健康診査 ○歯周疾患等健診の実施（30歳～70歳までの5歳毎） ○健康教育、健康相談の実施

成果指標		単位	目標		実績	
	肝炎ウイルス検診の受診率（クーポン券対象外で特定健診と同時実施の者） ※肝炎ウイルス検診は一生に一度の検診	%	R2	6.0	R2	2.5
			R元	8.0	R元	6.0

活動指標		単位	目標		実績	
	肝炎ウイルス検診無料券の利用率	%	R2	12.0	R2	11.2
			R元	12.0	R元	10.2

事業評価		
市民のニーズ	高い	自覚症状の少ない肝疾患については、検診による早期発見が重要かつ効果的である。生活習慣病予防のためには、若い年代からの健康管理が重要であることから、若年者健診の実施は意義が大きい。
市の関与の妥当性	妥当	市民の検査費用の負担を軽減し、受診しやすい体制とするために、市の関与は必要である。
成　果	上がっていない	コロナ禍による検診の受診控えもあったと推察される。
成果に向けた活動量	ある程度あった	市国保特定健診の集団健診希望者で、肝炎ウイルス検診の受診履歴がない人には、案内を行うなど周知を行った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	肝炎ウイルス検診は対象者が限定的で1回限りのため、今後は対象者数が減少していく。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	肝炎ウイルス検診や、若年者健診、生活保護者の健診は、勤務先の事業所健診がなかったり、普段健診を受ける機会がない方が対象となっているため、実施の意義は大きい。
今後の方向性	維持	市民の健康の保持増進を目指すために、今後も継続して実施していく必要がある。

総評（課題・改善点）	
	肝炎ウイルス検診は一生に一度の検診であるため、未受診者を減らすよう働きかけを行っていく必要がある。若年者、生活保護受給者、歯周疾患等健康診査の受診者数は減少傾向にあるため、様々な方法や機会を活用して受診勧奨に努める。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課　0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	03 保健対策の充実
小事業	07 がん検診推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	45,758			
1006	印刷製本費	605,165			
1101	通信運搬費	676,000			
1203	事業委託料	43,852,000			
1301	使用料及び賃借料	1,800			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,841,300	45,180,723	0	660,577

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	117,000	0	0	0	45,063,723
主な財源	がん検診推進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料　43,852,000
- 肺がん検診
- 胃がん検診
- 子宮がん検診
- 乳がん検診
- 大腸がん検診
- 前立腺がん検診

事業期間	年度　～　年度
目的	各種がん検診を実施することにより、疾病の早期発見、早期治療につなげる。
事業活動内容	各種がん検診（肺がん・胃がん・子宮がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん）を個別及び集団検診により、実施した。 また、子宮がん・乳がん・大腸がん検診については、対象者に無料クーポン券を発行することにより、受診勧奨を行った。 【無料クーポン券対象者】 ○子宮がん検診（女性）：31歳 ○乳がん検診　（女性）：41歳 ○大腸がん検診（男性・女性）：41歳

成果指標	単位	目標		実績	
がん検診受診率 （個別検診・集団検診） ①子宮がん検診 ②乳がん検診 ③大腸がん検診 ※地域保健報告による報告値	%	R2	①20.0 ②20.0 ③13.0	R2	①16.2 ②16.7 ③10.3
		R元	①20.0 ②20.0 ③10.0	R元	①16.8 ②16.4 ③7.8

活動指標	単位	目標		実績	
がん検診無料クーポン利用率（個別検診・集団検診） ①子宮がん検診 ②乳がん検診 ③大腸がん検診	%	R2	①32.0 ②27.0 ③23.0	R2	①30.2 ②25.7 ③20.9
		R元	①24.0 ②27.0 ③20.0	R元	①14.1 ②23.7 ③17.0

事業評価		
市民のニーズ	高い	がんの早期発見・早期治療を図るため、ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	市が対象者に無料クーポン券を発行することで、受診するきっかけづくりになると考えられるため、市の関与は妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	検診受診率は横ばいまたは増加しており、クーポン券利用率は増加している。
成果に向けた活動量	ある程度あった	広報媒体を活用するとともに、未受診者への電話での受診勧奨、区未加入世帯への情報提供を行うなど受診勧奨に努めた。
コスト削減の可能性	ない	がんの早期発見・早期治療により重症化を予防するためには、各種がん検診の実施は必須である。また、節目の年代に無料クーポン券を発行することで、検診への意識づけを図ることができる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	がんを早期発見・早期治療することが、市民の生活の質を維持することにつながることから、今後も継続して検診を実施する必要がある。
今後の方向性	拡充	がんの早期発見・早期治療は本人・家族の身体的・精神的負担を軽減することや医療費削減につながることから、今後も継続して実施していく必要がある。

総評（課題・改善点）

コロナ禍により、医療機関での個別検診の受診者数は減少したが、集団検診については、感染防止対策を徹底し実施することを周知したことにより受診者数は増加した。引き続き40～50歳代の若い世代を検診受診へとつなげるための効果的な受診勧奨の方法や受診しやすい体制の充実について検討していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課　0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	03 保健対策の充実
小事業	08 感染症対策に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,376			
1006	印刷製本費	233,970			
1011	医薬材料費	55,918			
1101	通信運搬費	1,806,000			
1103	手数料	272,400			
1203	事業委託料	50,316,099			
1702	機械器具費（事業執行用）	63,140			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,316,700	52,764,903	0	551,797

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,406,000	0	0	10,000	50,348,903
主な財源	緊急風しん抗体検査等事業補助金、風しん定期接種委託料過誤返戻金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料　50,316,099
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種
高齢者インフルエンザ予防接種
成人男性風しん抗体検査、風しん第5期定期接種
結核検診

事業期間	年度　～　年度
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防することにより、公衆衛生の向上が図られる。
事業活動内容	伝染性が強く、まん延による社会的影響が大きい疾病や個人予防に重点を置いた疾病の予防接種を実施した。 ○結核検診の実施（65歳以上） ○高齢者予防接種の実施 ・インフルエンザ（65歳以上） ・肺炎球菌ワクチン（65・70・75・80・85・90・95・100歳） ○成人男性風しん抗体検査及び風しん第5期定期接種（平成31年～令和3年まで実施）

成果指標	高齢者定期予防接種率 インフルエンザ（平成13年から実施）	単位	目標		実績	
		%	R2	60.0	R2	60.5
			R元	60.0	R元	49.9

活動指標	啓発・PRの設定回数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	17
			R元	10	R元	12

事業評価		
市民のニーズ	高い	感染症に対する免疫力を強化することで、まん延を防ぐことができることから、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	公衆衛生の視点から、市が主体となって取り組む事業である。
成　　果	ある程度上がっている	高齢者インフルエンザ予防接種の接種率は増加したが、風しんの抗体検査・定期接種のクーポン券の利用率は低い状況である。
成果に向けた活動量	ある程度あった	予防接種、結核検診とも受けやすい体制づくりに努めた。
コスト削減の可能性	ない	結核検診については、肺がん検診も兼ねており、がんの早期発見、早期治療にもつながる。今後、高齢化に伴い検診・定期接種の対象者は増加する見込みである。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	感染症がまん延することにより、市民生活に与える影響は大きいことから、感染症予防は重要である。
今後の方向性	維持	感染症予防及びまん延防止のために、今後も継続して実施していく必要がある。

総評（課題・改善点）	感染症を予防しまん延を防ぐことは、安全で安心な市民生活を守ることにもつながる。今後は、より多くの人に検診・予防接種を受けてもらえるよう周知、啓発に努め、受けやすい体制づくりに努めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	02 商工会議所等運営補助事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837003	日向商工会議所運営補助金	1,630,000			
1837013	東郷町商工会運営補助金	1,466,000			
1837018	市民交流プラザ運営補助金	1,800,000			
1857004	中小企業相談所委託事業補助金	7,226,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,122,000	12,122,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,122,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	商工業者に対し、経営相談や融資、補助金事務のサポート等を行い、地域活性化事業の担い手としても重要な役割を担っている商工会議所、商工会を支援し、安定的な事業運営が行われることで、市内商工業者の経営の向上及び発展、地域振興を図る。
事業活動内容	○商工団体に対する運営費補助金 日向商工会議所及び東郷町商工会に対する運営費の補助 ○市民交流プラザの維持管理費補助金 商工会館1階に設置されている「市民交流プラザ」の利用促進と円滑な運営のため、維持管理経費の一部を補助 ○中小企業相談所委託事業補助金 日向商工会議所及び東郷町商工会が行う事業者への経営支援に対して県が交付する小規模事業経営支援事業補助金の100分の15の額を補助

成果指標	商工会議所・商工会の経営指導員の相談指導対応件数	単位	目標		実績	
		件	R2	2,300	R2	2,533
			R元	2,000	R元	1,985

活動指標	商工会議所・商工会の会員数	単位	目標		実績	
		社	R2	1,565	R2	1,566
			R元	1,550	R元	1,559

事業評価			
	市民のニーズ	高い	商工会議所及び商工会による中小企業等への経営支援等を後押しすることで、市内商工業が活性化し、雇用の確保及び地域経済の振興が図られることから、市民生活への寄与は大きい。
	市の関与の妥当性	妥当	商工会議所及び商工会と連携し、中小企業等を支援していくことは、市内経済を活性化していく上で必要であることから、市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	コロナ禍により中小企業等からの相談や融資斡旋等が増える中、そのニーズにしっかりと対応し、目標を達成している。
	成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍により地域経済が低迷する中、商工会議所及び商工会は、事業計画策定等の事業者支援を積極的に行い、その結果会員数を増やす等、目標を達成している。
	コスト削減の可能性	ない	行政負担を軽減するためにも、地域の商工業振興を担う商工会議所及び商工会の活動を支援することは必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止した場合、商工会議所及び商工会が行う中小企業等への支援業務が縮小され、雇用の確保及び地域経済の活性化に著しい影響を及ぼすものと思われる。
	今後の方向性	維持	市内経済活動の振興を担う商工会議所及び商工会の運営を引き続き支援し、市内中小企業等の経営安定及び商工業の発展を目指していく。

総評（課題・改善点）	商工会議所及び商工会による経営支援等の取組は、地域経済の活性化を図る上で重要な役割を果たしており、その取組を関係機関等と一体となって支援していくことが、引き続き必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	12 中小企業特別融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867018	中小企業特別融資制度保証料補助金	13,595,033			
2001	貸付金	335,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
348,600,000	348,595,033	0	4,967

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	335,000,000	13,595,033
主な財源	商工業振興貸付金収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	市内の中小企業等が、経営安定や創業時に必要とする運転・設備資金の調達を支援することで、中小企業等の育成と振興を図る。
事業活動内容	日向市中小企業特別融資制度及び日向市小規模企業特別融資制度による融資を取り扱う金融機関に対し融資に係る原資を預託し、また同制度の債務保証を行う県信用保証協会に対し、市内中小企業等に貸付けた融資に係る保証料を補助した。 ○日向市中小企業特別融資制度　利率　年1．8% ○日向市小規模企業特別融資制度　利率　年1．6%

成果指標	中小企業特別融資制度補助金達成度	単位	目標		実績	
		%	R2	90.0	R2	57.1
			R元	90.0	R元	87.5

活動指標	中小企業特別融資制度補助金利用件数	単位	目標		実績	
		件	R2	100	R2	47
			R元	100	R元	117

事業評価			
	市民のニーズ	高い	経営改善や新分野等への進出を検討している中小企業等への融資制度であり、市内中小企業等の多くが利用している大変ニーズの高い事業である。
	市の関与の妥当性	妥当	安心して事業資金が調達できる環境を整備し中小企業等の経営安定を支援することは、地域経済の活性化及び雇用の維持に繋がることから、市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、より有利な条件で資金が調達できる県の融資制度が創設されたため、その利用促進を図ることにより、一時的に利用実績が低くなった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	金融機関及び商工会議所、商工会等と連携し、制度の周知を図った。
	コスト削減の可能性	ない	同制度は、中小企業等からのニーズが高い融資制度であることから、現状の制度設計が適当である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止すると、経営基盤の弱い事業者や新規創業者等の経営維持に大きく影響することから、地域経済の活性化を図る上からも、市民への影響は大きいものと考える。
	今後の方向性	維持	市内中小企業等からニーズが高い融資制度であることから、今後も同制度を継続していく。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として国・県・市が保証料及び利息の一部を負担する県の融資制度「新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付」が創設されたことにより、本制度の活用が一時的に減ったが、その融資制度が受付終了となったことから、本制度への需要は再び高まっている。引き続き、本制度の利用促進を図っていくことが必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	19 商工業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0716	記念品料	76,010			
0802	普通旅費	9,400			
1001	消耗品費	55,874			
1005	食糧費	4,070			
1101	通信運搬費	14,000			
1857034	技能まつり補助金	0			
1867026	中小企業退職金共済加入促進事業補助金	1,020,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,634,000	1,179,354	0	454,646

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,179,354
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	商工業者の経営安定や従業員の勤労意欲の向上に対する支援を行うとともに、中小企業振興やものづくり人材育成の重要性についての啓発及び各種商工業振興事業の企画立案、調整を行い、本市経済の活性化を図る。
事業活動内容	○優良従業員表彰 市内同一事業所に15年以上（常時雇用20人以下の事業所は、満10年以上）勤務している者のうち、業務に精励し技能が優れ市民の模範となる20名を表彰した。 ○優良企業の認定 ワークライフバランス及び女性の活躍、地域連携、社会貢献等に取り組む市内の優良企業1社を「社員が輝く！先進企業」に認定した。 ○中小企業退職金共済加入促進事業補助金 従業員の福利厚生の向上により雇用安定及び中小企業振興を図るため、国が推奨する同制度に新規又は追加で契約を締結した市内中小企業等67社に対し、新たに加入した従業員1人あたり5，000円の補助金を交付した。

成果指標	中退共加入促進事業補助金交付件数	単位	目標		実績	
		件	R2	60	R2	67
			R元	50	R元	65

活動指標	中退共加入促進事業補助金額	単位	目標		実績	
		件	R2	1,000	R2	1,020
			R元	900	R元	1,010

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本事業は、優良企業の認定や中小企業退職金共済制度への加入を促進し、働き方改革や労働環境改善等に対する企業等の理解を深め雇用の安定が図られることから、市民生活への寄与は大きい。
	市の関与の妥当性	妥当	要綱に基づく審査会を開催し優良企業を認定するためには市の関与が必要である。また、中小企業退職金共済制度への加入を推進するためには、奨励補助の交付は有効である。
	成　　果	上がっている	本事業の実施により、市内企業等の労働環境の改善、従業員の技能向上等が図られ、雇用の安定及び地域経済の活性化に繋がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	商工団体等と連携し、優良従業員表彰・優良企業認定制度、中小企業退職金共済制度等の周知徹底を図った結果、当初目標を達成している。
	コスト削減の可能性	ない	本事業を継続して行うことで、雇用の安定及び従業員の勤労意欲の向上が図られることから、現状維持が適当である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を休廃止した場合、市内中小企業等の労働環境改善や従業員の技能向上等への意欲が低下し、雇用の安定及び本市経済に影響を及ぼすことが懸念される。
	今後の方向性	維持	商工団体、関係機関等と連携し、本事業の周知・案内の徹底を図り、働き方改革や労働環境改善等に取り組む企業等を増やし、雇用及び経営の安定に繋げていく。

総評（課題・改善点）	
	経営規模の小さい中小企業等の人材不足は深刻であり、本制度等を活用し、従業員の福利厚生等の充実を図り、雇用の維持、拡大に繋げていくことは、本市経済の活性化を図る上で重要である。今後は、これまで以上に商工会議所、商工会、関係機関等との連携を図り、人材が不足している職種等への周知を強化していくことが必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	02 新たな産業の育成支援
小事業	01 ひむかーBiz運営事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1203	事業委託料	29,176,644			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,234,000	29,176,644	0	57,356

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	10,714,000	0	0	10,700,000	7,762,644
主な財源	地方創生推進交付金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

ひむか-Biz運営事業業務委託	7,748,644
日向市しごと創生拠点運営事業業務委託	21,428,000

事業期間	年度　～　年度
目的	高いビジネススキルを有する専任コーディネーターによる伴走型支援により、中小企業等が行う新商品開発や販路拡大、創業等を後押しする。また、「しごと創生拠点」の運営により、創業の夢を叶えたい若者や女性がチャレンジしやすい環境を提供するとともに、事業者間のマッチングを促進し、新規事業の展開、雇用の拡大を図る。
事業活動内容	「日向市産業支援センター　ひむかーBiz」を運営し、専任コーディネーターによる中小企業の売上アップや創業希望者等への相談支援サービスを提供した。 また、「日向市しごと創生拠点」を運営し、コワーキングスペース、チャレンジショップ等のビジネススペースを市民に提供するとともに、同拠点を活用し経営力向上に資するセミナー等を開催した。 【主な事業】 ○中小企業の抱える様々な悩みや課題等への相談 ○起業の強みを活かした新分野進出、業務拡大に関する支援 ○商品開発、販路拡大に関する支援 ○起業、創業希望者への事業計画作成、資金調達に関する支援 ○事業承継に関する支援及びマッチング

成果指標	ひむかーBizセンター相談後に売上げが伸びた事業所	単位	目標		実績	
		件	R2	36	R2	34
			R元	36	R元	54

活動指標	ひむかーBizへの相談件数	単位	目標		実績	
		件	R2	960	R2	710
			R元	960	R元	1,237

事業評価			
	市民のニーズ	高い	ひむか-Bizは、事業者等の抱える様々な課題の解決を図る支援機関として市民に定着しており、相談により新規創業及び新商品開発等に繋がった好事例は多く、事業者等からの相談ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	事業者等からの幅広い相談業務に対応し、地域産業の活性化を図るためには、専任コーディネーターを配置し、関係機関や市が一体となって支援していくことが必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	専任コーディネーター2名のうち1名が中途退職したことにより、相談件数は減少しているが、1名相当の目標は概ね達成している。
	成果に向けた活動量	十分であった	月1回の土曜Bizを開始する等、事業者等が相談しやすい環境づくりに取り組み、新規相談事業者の獲得を図っている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	先進的事業ではあるが、事業継続を図るためには、定期的に事業効果の検証を行い、見直しを検討することも必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業者等の経営支援を行う相談所として定着しており、休廃止する場合は、それに代わる受け皿、他の支援機関との調整が必要である。
	今後の方向性	維持	財源の確保に努めながら、商工会議所、商工会、金融機関、関係機関等との連携を強化し、専任コーディネーター1名体制での運営を維持し、事業者等の経営安定を図っていく。

総評（課題・改善点）	市の財政状況を鑑みると、限られた人員の中で、商工会議所、商工会、金融機関、関係機関等との連携を強化し、役割分担を明確にする等効果的な事業者支援に努める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0002 雇用・物産振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	06 日向市地域雇用創造協議会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	50,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	0			
1203	事業委託料	48,840			
2001	貸付金	8,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,703,000	8,598,840	0	104,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,500,000	98,840
主な財源	地域雇用創造協議会運営資金貸付金収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市地域雇用創造協議会事務所　警備委託　48,840

事業期間	年度　～　年度
目的	厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」の実施主体である日向市地域雇用創造協議会が、求職者のスキルアップや事業者の事業拡大を支援するセミナー等の開催、日向の特産品開発事業等を行うことで、質の高い雇用の増加と雇用環境の充実を図る。
事業活動内容	国からの日向市地域雇用創造協議会への事業費の振込みが遅れることから、事業費の一部（約2か月分の管理費）を貸付けた。また、国の事業費の対象外である費目（出会謝金、警備委託料）について支出した。 ○出会謝金 日向市地域雇用創造協議会開催に伴う出会謝金 ○事業委託料 日向市地域雇用創造協議会事務室の警備委託料 ○貸付金 日向市地域雇用創造協議会運営資金貸付金

成果指標		単位	目標		実績	
	セミナーの受講や就職説明会から就職に結びついた人数	人	R2	55	R2	80
			R元	55	R元	134

活動指標		単位	目標		実績	
	求職者向け人材育成セミナー受講者及び就職説明会参加者	人	R2	262	R2	137
			R元	262	R元	297

事業評価		
市民のニーズ	高い	人手不足や雇用のミスマッチの深刻化、デジタル化、働き方改革の加速化等雇用を取り巻く環境は変化しており、それらに対応する雇用創造協議会が行う就職支援への市民ニーズは、非常に高い。
市の関与の妥当性	妥当	地域経済の活性化を図るためには、雇用創出や就職促進の取組が不可欠であり、本協議会構成員である市の関与は妥当である。
成　果	上がっている	実践型地域雇用創造事業における3年間の取組によって、目標を大きく上回る雇用が確保され、他の地域の模範となっている。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍により参加者は目標を下回っているが、計画どおりのセミナーや就職説明会を開催しており、活動量は十分であった。
コスト削減の可能性	ない	令和3年度に同事業の後継事業の採択を受けた場合は、事業費の振込時期、対象費目は定められていることから、コスト削減の可能性はない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	同事業を廃止した場合は、本市の雇用促進事業が規模縮小し、中小企業等の経営維持、地域経済の活性化に大きな影響を与える。
今後の方向性	維持	市内中小企業等の雇用の維持、安定を図るため、同事業の後継事業への応募に向けて、取組を進めているところである。

総評（課題・改善点）	後継事業が採択されなかった場合は、本事業の財源確保が難しくなることから、規模縮小を含め、早めに次の事業方針を決定する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0002 雇用・物産振興係
款	05 労働費	項	01 労働諸費
目	02 労働諸費		

事業	
大事業	21 雇用の確保と創出
中事業	01 就業の場の確保と雇用の創出
小事業	07 就業支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1203	事業委託料	990,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,048,000	990,000	0	58,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	495,000	0	0	0	495,000
主な財源	地方創生推進交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市地域ナレッジコミュニティ型情報サイト「るーくる」運営事業　業務委託　990,000

事業期間	年度　～　年度
目的	高校生への就職準備セミナー等を通じ、若者の地元定着や早期離職の防止を図る。 また、情報サイト「るーくる」において、就職や福祉、空き家等の情報を一元的に提供することにより、就労機会の拡大や都市部等からの移住・定住の促進を図る。
事業活動内容	○事業委託料（総合的なの管理運営業務） 情報サイト「るーくる」の管理運営を委託し、求職者やUIJターン希望者を対象に、日向地区の求人情報、保育園等の子育て支援情報、空き家情報等を一元的に提供した。

成果指標	日向地区高校卒業生の就職者で市内に就職した割合	単位	目標		実績	
		%	R2	30.0	R2	26.5
			R元	25.0	R元	23.0

活動指標	高校生向け就職準備セミナー・企業説明会への参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	300	R2	0
			R元	500	R元	513

事業評価			
	市民のニーズ	高い	若者の定着を促進するためには、高校生、大学生、UIJターン希望者等に対する就職及び移住に関する情報提供、企業の紹介、セミナー開催等が有効であり、市民ニーズも高い。
	市の関与の妥当性	妥当	ハローワークや県、関係機関等から情報を収集し、求職者に提供するには市の関与が必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	関係機関と連携し、就職情報等を提供することで、移住者が増加している。高校生セミナーはコロナ禍で中止となったが、過去の実績や高校の取組により地元就職割合が増えている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	高校生就職準備セミナーを計画したが、コロナ禍により実施することができなかった。情報サイト「るーくる」に関しては情報量も多く、毎月一定のアクセス数があった。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	令和3年度に情報サイト「るーくる」と雇用創造協議会の就職情報サイトを統合し、コスト削減を図る予定である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市内外への就職情報の発信や高校生等へのセミナーによって、若者の定着やUIJターンの推進が図られており、市の活力維持のためにも本事業の継続は必要である。
	今後の方向性	維持	若者の定着やUIJターンの推進を図るため、市内高校や関係機関等との連携を強化し、最新の雇用情勢に対応した高校生等に対する就職支援や市内外に向けた就職情報発信に今後も努めていく。

総評（課題・改善点）	高校生に対するセミナー等については、市内高校が行う就職支援との内容調整を行い、時代に即したテーマでの開催が必要である。 就職情報サイトについては、コスト削減及び内容の充実を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0002 雇用・物産振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	02 高度な技術力を生かした工業の振興
小事業	02 地場産業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	619,740			
0301	職員手当	48,339			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	105,300			
0801	費用弁償	20,000			
0802	普通旅費	0			
1813033	耳川流域地場産業振興対策協議会負担金	0			
1813053	国文祭・芸文祭日向市実行委員会負担金	0			
1857007	日向市地場産業振興対策補助金	448,000			
1857009	はまぐり碁石まつり実行委員会補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,615,000	1,241,379	0	1,373,621

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,241,379
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	地場産品の展示即売会やイベント等への出店を支援し、販路拡大や地場産業の振興を図る。 また、全国唯一のはまぐり碁石の産地として、碁石産業の活性化を図る。
事業活動内容	○日向市地場産業振興対策補助金 ・日向物産振興協会への助成 販路拡大、販売促進に資するセミナー等の経費に対する補助

成果指標	日向物産振興協会による物産展への出展事業者数	単位	目標		実績	
		事業者	R2	50	R2	10
			R元	150	R元	136

活動指標	日向物産振興協会による物産展の開催・出展件数	単位	目標		実績	
		件	R2	5	R2	0
			R元	20	R元	23

事業評価			
	市民のニーズ	高い	コロナ禍により地場産業の振興事業は停滞しており、復興を目指す物産業者等からの本事業に対するニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	本事業は、物産業者や商工会議所、関係団体等が一体となって取り組む事業であるが、販路拡大や地場産業の振興を効果的に行うためには、市の関与が必要である。
	成　果	上がっていない	コロナ禍により中止になる事業が多く、当初目標を達成することができなかった。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により物産展やはまぐり碁石まつりを開催することができなかったが、物産業者を対象としたセミナーを開催する等自己研鑽の機会を創出した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	コスト削減を目指し、各種事業を主催する協議会や実行委員会等と協議し、事業のスリム化、効率化を図ることは可能である。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	本事業を休廃止した場合、特産品や工芸品等の販路拡大及び担い手の確保等に支障をきたし、地場産業が停滞することが懸念される。
	今後の方向性	要改善	物産展やイベントの開催を主体とする地場産業の振興から、新たな販路拡大や担い手育成、特産品及び工芸品の生産維持等を図ることへの事業転換の検討が必要である。

総評（課題・改善点）	物産担当部局との連携を強化し、新規販路の創出、新商品の開発等の推進を図る必要がある。 碁石産業の振興を目的に開催している「はまぐり碁石まつり」については、今後の運営方法、事業展開を協議していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	17 ふるさと融資事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857075	ふるさと融資物流等支援事業補助金	3,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,507,000	3,500,000	0	7,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,500,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	保証料補助を通じて新造船に係る負担を軽減することで、安定した物流体制の構築、細島港の利便性の向上を図り、取扱貨物量の増加や物流コストの削減につなげる。
事業活動内容	○ふるさと融資物流等支援事業補助金 ふるさと融資を活用する事業者は民間金融機関等に連帯保証料を支払う制度となっており、地方自治体が保証料補助を行う場合、補助額の75%は交付税措置が講じられる。この制度を利用し、保証料補助の支援を行った。

成果指標	乗船率（上下便平均実車）	単位	目標		実績	
		%	R2	80	R2	70
			R元	80	R元	50

活動指標	ふるさと融資額及び保証料補助額	単位	目標		実績	
		百万円	R2	3.5	R2	3.5
			R元	768	R元	768

事業評価			
	市民のニーズ	普通	物流対策としてのニーズ・効果は高いが、市民への制度の認知度はあまり高くはない。
	市の関与の妥当性	妥当	市内経済全体への波及効果があり、公共性は高い。
	成　　果	上がっている	コロナ禍においても、乗船率が徐々に上昇してきており、事業の成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	引き続き、事業実績に伴う支援を行った。
	コスト削減の可能性	ない	補助金交付要綱に基づく支援を行う補助事業であるため、コスト削減の要素がない。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	市民への直接的な影響は小さいが、市内経済全体への影響が想定される。
	今後の方向性	維持	乗船率向上までの継続的支援と位置付けていることから、一定期間は維持していく必要がある。

総評（課題・改善点）	昨年に引き続き、コロナ禍による影響を受けてはいるものの、徐々に貨物量は増加しており、大型化のメリットが効果を上げつつある。今後も、新型コロナウイルス感染症の経済界に与える影響に注視しながら、継続的支援を行っていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	22 企業誘致と次世代産業の育成
中事業	01 企業誘致の推進
小事業	01 企業誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	32,000			
0802	普通旅費	11,000			
1001	消耗品費	94,000			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	15,000			
1206	その他の委託料	3,996,300			
1301	使用料及び賃借料	0			
1601	土地購入費	222,354,200			
1813009	日向・細島地区企業立地促進協議会負担金	650,000			
1867002	企業立地奨励金	42,360,000			
1867003	雇用促進奨励金	12,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
364,052,000	281,712,500	0	82,339,500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,998,000	0	0	222,354,200	57,360,300
主な財源	地方創生推進交付金、土地売却収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
- 日向市ワーケーションオフィス調査業務委託　3,996,300

○企業立地奨励金
- 工場等用地取得助成金　21,480,000
- 工場等用地賃借料助成金　4,780,000
- 工場・オフィス賃借料助成金　14,780,000
- 通信回線使用料　400,000
- 立地企業廃校等利活用事業貸付料等補助金　920,000

事業期間	年度　～　年度
目的	奨励措置を通じて、新規企業の誘致や既存企業の増設等を促進することにより、本市産業の振興と新たな雇用の場の創出を図る。また、本市の観光資源等を活用したワーケーションオフィス調査業務に着手し、事業効果や課題を検証することにより、今後の事業化の可能性を模索する。
事業活動内容	○企業訪問活動（企業誘致セミナー参加） コロナ禍により企業の本社等への訪問ができなかったため、国主催の企業誘致オンラインセミナーへの出展等を行った。 ○立地企業フォローアップ活動 既に立地している企業に対して、定期的な企業訪問と聞き取りを行い、情報収集に努めるとともに、工場等の増設に関して、市外へ流出することのないようきめ細やかなフォローアップを行った。 ○企業立地及び雇用促進奨励金 企業立地促進条例に基づき、対象となる企業に対し、奨励措置や優遇措置を行った。 ○日向市ワーケーションオフィス調査業務 公募型プロポーザル方式により、都市部に強みを持つ企業と業務委託を行い、マーケティング調査、実証実験、モニタリング調査などを通じた事業検証を行った。

成果指標		単位	目標		実績	
	①誘致企業件数 ②雇用創出人数	①社 ②人	R2	①2 ②50	R2	①5 ②111
			R元	①2 ②50	R元	①5 ②60

活動指標		単位	目標		実績	
	企業訪問社数	件	R2	100	R2	85
			R元	100	R元	90

事業評価			
	市民のニーズ	高い	成果が雇用に直結する企業誘致への市民の関心は非常に高い。
	市の関与の妥当性	妥当	行政による奨励措置や環境整備に対する企業の関心は高く、企業進出の大きな判断基準となっている。
	成　果	上がっている	コロナ禍により県外企業訪問や企業誘致セミナーへの参加機会は減少したものの、地元企業を中心に積極的な誘致活動を行い、成果目標を達成した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	活動量についてはコロナ禍の影響を大きく受けたが、地元企業との意見交換等を積極的に行うなど、現状で対応可能な活動を行った。
	コスト削減の可能性	ない	奨励制度の充実や積極的な企業訪問は、企業誘致における他自治体との競争力に直結するため、コスト削減による活動量の低下は成果に直結するリスクを伴う。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	新規企業誘致はもちろん、既存企業のフォローアップにおいても同事業の担う部分は大きいため、休廃止した場合は既存企業の市外流出の恐れも生じる。
	今後の方向性	拡充	若者と女性が活躍する日向市の実現には、企業誘致による多様な雇用機会の創出は必要不可欠であり、拡充していく必要がある。

総評（課題・改善点）

令和2年末で細島4区工業団地内の市所有の工業用地も完売し、新たな用地確保が課題となるほか、内陸型の東郷工業団地についても、高額な造成費用や交通インフラ面などの課題があることから、国・県への要望活動を積極的に行っていく。

一方で、令和2年度に着手したワーケーション事業については、参加者からの評価も高く、観光や移住などの他施策への効果も期待できることから、引き続き、効果を検証する。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工業振興費

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
小事業	03 細島港を核とした日向地域産業の総合的活性化推進事業（ソフト事業）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1006	印刷製本費	0			
1203	事業委託料	1,199,000			
1808076	Mg循環社会構想推進協議会負担金	110,000			
1813037	宮崎県市町村間連携支援交付金事業負担金	3,432,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,043,000	4,741,000	0	302,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,709,000	0	0	3,032,000
主な財源	宮崎県市町村間連携支援交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○事業委託料

企業防災推進事業業務委託　　1,199,000

事業期間	年度　～　年度
目的	重要港湾細島港の物流拠点としての利便性の高さや、その周辺地域への産業集積の利点を最大限に生かして、地場企業の成長産業への新規参入を支援する。 また、臨海部の誘致企業の防災力向上に資する取組を通じ、産業活動を支える人材を災害から守る。
事業活動内容	○宮崎県市町村間連携支援交付金事業負担金 本市と延岡市、門川町の2市1町が連携して、圏域内の医療関連企業に対し、専門コンサルティング会社による事業化に向けた経営支援や専門アドバイザーによる個別面談を、コロナ禍によりオンライン形式で実施した。また、企業の各種展示会や商談会への出展・参加や、各種セミナーについても、zoom等を活用したオンライン形式にて行った。 そのような状況を受け、オンライン向けの営業ツール作成支援として、圏域企業のPR動画の作成を行った。 ○企業防災推進事業業務委託 行政と地域住民、協力企業等が一体となって保全共同体を立ち上げ、防災桜園として整備を進める牧島山の避難路の除草作業や登坂難所の改良・舗装等を行った。

成果指標	地元企業の成長分野等の新分野への進出	単位	目標		実績	
		社	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

活動指標	地元企業の展示会や商談会への参加促進	単位	目標		実績	
		社	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	5

事業評価		
市民のニーズ	高い	津波のリスクを抱える細島工業団地における、防災面での環境整備への市民の関心は非常に高い。
市の関与の妥当性	妥当	企業防災については、企業のみではなく行政、地域住民等との協働による事業推進が図られており、市の参画は妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	医療分野への新規参入のハードルは高く、成果に結びつくまでには長期間を要するものの、市内企業の新分野への進出意識は徐々に高まっている。企業防災についても、着々と整備が進んでいる。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍でオンライン形式での開催を余儀なくされた会議等もあったが、除草作業などは感染症対策を徹底した上で行った。
コスト削減の可能性	ない	企業防災関連施設等は継続しての整備が必須な取組であり、コスト削減により事業進捗に遅れが生じる可能性が高い。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	牧島山の避難路については、地元住民の利用も想定されるため、事業廃止に伴う影響等も懸念される。
今後の方向性	維持	企業の成長産業への進出や防災力の向上に資する取組として、継続的な実施が望ましい。

総評（課題・改善点）	
	医療分野の進出に関しては、新規参入が難しい分野であることに加え、コロナ禍により対面形式のセミナー等が開催されないこともあり、オンラインへの対応など、新たな企業支援が必要な状況となっている。 また、企業防災の推進についても、官民連携による継続的な取組が必要であり、引き続き、関係機関と連携しながら事業を展開していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係		
款	08 土木費	項	04 港湾費	目	01 港湾費

事業	大事業	36 港湾機能の充実と活用
	中事業	01 港湾の整備
	小事業	重要港湾等整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802007	港湾整備県営事業負担金	145,600,000			
1814013	県港湾協会特別負担金	864,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
146,698,000	146,464,000	0	234,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	145,600,000	0	864,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	東九州における物流拠点である重要港湾細島港の、外郭施設（沖防波堤）及び港湾施設（新たな岸壁やふ頭用地）の整備を推進することにより、地域産業の振興と経済の活性化を図る。
事業活動内容	○令和2年度事業概要 （国直轄事業） ・南沖防波堤整備 （県営事業） ・16号岸壁整備 ・余島防波堤改良 ・岸壁改良 ・美々津港物揚場補修

成果指標		単位	目標		実績	
	貿易額	億円	R2	1,130	R2	912
			R元	1,130	R元	1,114

活動指標		単位	目標		実績	
	要望活動及びセミナー等開催	回	R2	6	R2	3
			R元	6	R元	8

事業評価		
市民のニーズ	高い	物流企業を中心に、市内経済を支える細島港の整備に対する要望は非常に多い。
市の関与の妥当性	妥当	公共インフラである港湾整備については、国・県・市が連携して取り組む必要がある。
成　　果	上がっている	コロナ禍の影響により昨年3～7月にかけて貿易活動の停滞が見られ、貿易額は約2割減少した。一方、港湾に隣接する細島工業団地への企業誘致も順調に進んでおり、成果は上がっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により移動の制限はあったものの、可能な限り国・県への要望活動をはじめ、関係機関と連携し活動を行った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	県に対し、負担金割合の低減や負担する自治体の広域化について要望を行っている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	船舶の大型化や港湾利用の多様化が進む中で、港湾整備の縮小・廃止が及ぼす物流機能低下への影響は非常に大きい。
今後の方向性	拡充	港湾の競争力を高めるためにも、整備の拡充は必要と考える。

総評（課題・改善点）	
	従前からの積極的な要望活動、国への働きかけが実を結び、RORO船用岸壁の「細島港港湾計画」への位置付けが令和3年3月に正式決定された。引き続き、船舶の大型化への対応、トラックドライバー不足の解消を図るため、同岸壁の事業化に向けた要望活動を展開していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
小事業	01 物流等対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1813030	船舶給水料金負担金	2,638,100			
1814015	宮崎県ポートセールス協議会負担金	1,200,000			
1857031	貨物集荷奨励事業補助金	11,289,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,752,000	15,127,650	0	624,350

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	15,127,650
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	貨物集荷奨励事業の活用やポートセールス活動を通して、県外他港に流れている貨物の細島港利用を促進するとともに、陸上アクセス性の向上や海外コンテナ定期航路、内航RORO航路の便の良さなど、細島工業団地の立地条件の良さをPRすることにより、港湾活用型の企業立地を進め、細島港の振興につなげる。
事業活動内容	○ポートセールス活動 県ポートセールス協議会やポートセールス細島委員会、細島港運協会などの関係機関と連携し、都市圏でのポートセールスを行う予定としていたが、コロナ禍により実施することができなかった。 ○船舶給水料金負担金 細島港を利用する船舶に対する給水料金について、競争力強化のための減額措置分を負担した。 ○貨物集荷奨励補助金 細島港を利用して輸出入を行うコンテナ貨物等に対する補助を行った。

成果指標	コンテナ取扱貨物量	単位	目標		実績	
		TEU	R2	30,500	R2	31,665
			R元	30,500	R元	29,862

活動指標	荷主・船社・代理店等へのポートセールス活動	単位	目標		実績	
		社	R2	50	R2	35
			R元	50	R元	40

事業評価			
	市民のニーズ	高い	コンテナ貨物に対するインセンティブ付与など、荷主企業や物流企業への経済波及効果は大きい。
	市の関与の妥当性	妥当	港湾利用の判断材料として、インセンティブ制度が果たす役割は非常に大きい。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、貿易額は減少したものの、電気機器、鉄鋼、木材の分野は需要が伸び、3万TEUの水準を維持できた。また、昨年11月、愛媛オーシャンラインの台湾航路が新規に開設されている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	地元企業を中心に訪問、電話等で接触している。
	コスト削減の可能性	ない	インセンティブ制度については他港との競争の側面も大きいため、減額の判断は極めて難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	インセンティブ制度の休廃止はすぐに取扱貨物量に直結する部分であり、市内経済に与える影響は非常に大きい。
	今後の方向性	維持	他港との競争合戦のような事態は避けるべきであるが、継続的な支援やポートセールス活動は必要不可欠である。

総評（課題・改善点）	港湾における物流は、コロナ禍の影響により昨年度の3～7月にかけて一時停滞したが、その後は回復に転じ、コンテナ取扱量は3万TEUの水準を維持できたところである。そのため、引き続き、支援を継続することが妥当と考えられる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		

事業	
大事業	36 港湾機能の充実と活用
中事業	02 物流体制とポートセールスの強化
小事業	05 みなとオアシス推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	19,320			
1857071	みなとオアシスほそしま協議会運営補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
297,000	19,320	0	277,680

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	19,320
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化を目指す「みなとオアシスほそしま協議会」の取組を支援することで、地域の交流や賑わいづくりを推進する。
事業活動内容	○みなとオアシスほそしま協議会運営補助金 細島港港湾計画に位置付けられた緑地について、県・港湾事業者・地元住民等とともに、トイレ整備に向けた協議を行った。 協議会としては、みなとオアシスほそしまの賑わい創出のため、映画上映会やミニコンサートを企画したが、いずれもコロナ禍により実施ができなかった。

成果指標	「みなとオアシスほそしま」のイベント等参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	100,000	R2	84,236
			R元	123,000	R元	91,399

活動指標	「みなとオアシスほそしま」で開催するイベント数	単位	目標		実績	
		回	R2	15	R2	5
			R元	15	R元	14

事業評価			
	市民のニーズ	高い	細島港商業港地区では、みなとオアシス細島協議会を中心に、賑わいと親水空間の創出に向けた積極的な活動が展開されている。
	市の関与の妥当性	妥当	観光や水産振興に加え、港湾整備の側面からも市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍によりイベントは未実施だが、「みなとオアシスほそしま」のカーナビ登録や同オアシスを含む緑地整備の今後の方向性に関して県と意見交換を実施した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響もあり、イベント等の開催はできなかったが、他港の成功事例の収集や国との情報交換で得た有益情報などを協議会と共有している。
	コスト削減の可能性	ない	参加費の徴収など、コスト意識は高く、削減できる経費はあまりない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	活動の停滞に繋がり、賑わい創出効果も低くなる。
	今後の方向性	維持	コロナ収束後の再始動に向けた準備も必要であり、支援をやめれば活動が停滞する可能性もあることから、継続支援が必要である。

総評（課題・改善点）	みなとオアシス全国協議会、九州協議会の開催がコロナ禍の影響で中止されるなど、活動に制限がかかる状況ではあるが、コロナ収束後の再始動に向け、出来ることから始める意向であることを協議会会長にも確認している。今後も、継続的な事業の支援が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0001 観光推進係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 アピール力の高い「観光拠点づくり」
小事業	03 広域観光ルート推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1806067	日向・東臼杵広域観光推進協議会負担金	1,124,700			
1813045	スピリチュアルひむか観光協議会負担金	436,000			
1813050	百済王伝説等市町連携推進会議負担金	750,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,081,000	2,310,700	0	770,300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	500,000	0	0	1,810,700
主な財源	宮崎県市町村間連携支援交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	日向・入郷地域の地域資源を活用する「日向・東臼杵広域観光推進協議会」や日向神話をテーマにした「スピリチュアルひむか観光協議会」、また、百済王伝説を国内外にPRする「百済王伝説等市町連携推進会議」において、観光資源のネットワークを強化し、観光客の求めるニーズに対応できる観光商品の開発を行うなど、宿泊や観光消費の拡大につながる滞在型観光を推進する。
事業活動内容	広域観光圏としての新たな観光素材の磨き上げと、広域的な観光ルートづくり「タビハク」や、域内の魅力を県内外へ情報発信し地域ブランドを確立するための積極的なプロモーションを行うほか、新しい生活様式に対応した体験型コンテンツや広域観光商品を造成し、さらに日向神話や百済王伝説を観光活用するPR事業になどにも取り組んだ。 ○主な事業 ・圏域の新たな観光資源の発掘、磨き上げ ・SNSなど多様な媒体を活用した情報発信や海外オンラインブース参加 ・PR動画制作やパンフレット制作 ・インセンティブを活用した旅行商品の造成及び催行

		単位	目標		実績	
成果指標	広域観光ルート等の問い合わせ件数（日向市観光協会調べ）	回	R2	70	R2	20
			R元	60	R元	70
活動指標	都市圏での観光プロモーション活動等	回	R2	2	R2	0
			R元	2	R元	3

事業評価		
市民のニーズ	高い	コロナ禍の中、圏域の観光資源等を内外にアピールし、関係人口の拡大に取り組むことで、地域の価値をさらに高めるとともに、圏域住民の誇りと愛着の醸成が期待できる。
市の関与の妥当性	妥当	圏域への旅行者の呼び戻しや地域経済の再起を図るために、圏域の行政・観光協会及び商工団体や観光関連事業者等が一丸となり、事業に取り組むことが重要である。
成　　果	ある程度上がっている	緊急事態宣言や移動制限などもあり、圏域への誘客やPR活動は一時休止したが、その間もSNSなどを活用し、さまざまな圏域情報を発信するなど、国内旅行者に向けた情報提供に努めた。
成果に向けた活動量	ある程度あった	ウィズコロナに対応した域内観光商品を造成し催行したほか、海外メディアのオンライン商談会へ参加するなど、アフターコロナ期の旅行需要の回復を見据えた取組を実施した。
コスト削減の可能性	ある程度ある	スピリチュアルひむか観光協議会は、記紀編さん1300年の節目に合わせ脱退。百済王伝説等市町連携推進会議は、これまでの事業で一定の成果が得られたとして、次年度は0予算事業とした。
休廃止した場合の市民への影響	普通	旅行需要が回復する時期に誘客事業が停滞することで、圏域の民間活力や経済活動が低迷し、さらにこれまで培ってきた広域観光圏としてのブランド力が失われる。
今後の方向性	維持	依然として国内旅行需要回復の見通しは不透明であるが、まずは県内、隣県などマイクロツーリズム層に向けた誘客活動を展開し、さらに終息を見据えた体験型コンテンツの造成等も必要である。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍により、市内観光入込客数は対前年比33．8％減と大幅に減少し、圏域の観光事業者をはじめとする地域経済は疲弊している。しかし、昨今のアウトドアブームにより圏域キャンプ場については好調である。 今後、ワクチン接種をきっかけに、国内旅行需要から徐々に回復すると想定されていることから、その動向を注視しながら、引き続き、新しい生活様式に対応した誘客コンテンツ等の造成や、隣県等のマイクロツーリズム層に向けた圏域観光情報の発信に努めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0001 観光推進係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 戦略的な観光情報の発信
小事業	02 観光客誘致推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1813043	宮崎県教育旅行誘致推進協議会負担金	30,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1813052	自転車活用全国組織負担金	10,000
0716	記念品料	0			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	72,301			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	245,520			
1103	手数料	0			
1104	広告料	1,221,000			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	299,178			
1301	使用料及び賃借料	693,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,710,000	2,573,599	0	2,136,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,573,599
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	東九州自動車道開通による交流人口の拡大や観光クルーズ船誘致等による外国人観光客の増加を見据え、多様化する観光客ニーズに対応できる、“人的な交流”と“経済的な利益”を地域に還元し、「自立した観光地域」の創出を目指す。
事業活動内容	新しい日向市観光推進計画の基本方針である、アピール力の高い「拠点づくり」、多様なニーズに対応した「食の魅力づくり」、「戦略的な情報発信・PR」などに取り組んだ。

		単位	目標		実績	
成果指標	本市を訪れる観光入込客数の前年実績に対する増加割合	%	R2	0	R2	▲33.8
			R元	5.0	R元	3.5
活動指標	都市圏等における観光プロモーション事業の実施回数	回	R2	2	R2	0
			R元	5	R元	4

事業評価		
市民のニーズ	高い	観光誘客による交流関係人口の拡大は、地域活力の回復と活性化につながり、さらに市民の地域への誇りと愛着を醸成することができる。
市の関与の妥当性	妥当	コロナ禍により地域経済が疲弊する中、引き続き市内観光関連事業者などと連携し、収束後のV字回復に向けた誘客事業に取り組むことが必要である。
成　　果	ある程度上がっている	緊急事態宣言や移動制限の中、ウィズコロナ期の観光需要に対応した屋外アクティビティとして、日向岬一帯のサイクルツーリズムや市内海岸の遊歩道マップを作成し、域内からの誘客を図った。
成果に向けた活動量	ある程度あった	オリンピックや国文祭などをターゲットに誘客を予定していたが、いずれも次年度に延期、さらに三大祭りなどのイベントも中止されるなか、多様な媒体を活用し観光情報の発信に努めた。
コスト削減の可能性	ない	国内旅行需要の回復に合わせ、強力な誘客プロモーション等を展開し、交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげていく必要がある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	宿泊事業者や飲食関連事業者をはじめとする観光関連産業は、大きく衰退していることから、さらなる誘客事業に取り組み、観光消費を早期回復させる必要がある。
今後の方向性	維持	観光関連事業者等の事業活動の継続に向けた支援をしつつ、さらに新たな生活様式に対応した安全で安心な誘客コンテンツの造成や、既存観光地の新たな魅力創出等に取り組む必要がある。

総評（課題・改善点）
終息にあわせ、国内旅行需要は徐々に回復していくと想定されているが、インバウンドは数年先になるともいわれ、さらにポストコロナ期における旅行形態は、団体から個人（小グループ）へと変化していくともいわれている。疲弊した地域経済を回復させるためには、旅行者の呼び戻しと関係交流人口の拡大が必要であり、国内に向けた差別化したプロモーションなどで注目を集め、さらに既存観光地の磨き上げなどを広く発信し、さらなる誘客を図っていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0001 観光推進係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	04 観光を支える組織の強化と人材の育成
小事業	01 観光振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857014	ひょっとこ夏祭り補助金	1,200,000			
1857015	十五夜祭り補助金	0			
1857017	細島港祭り補助金	0			
1857033	牧水の里のつつじ祭り補助金	0			
1857035	牧水ふるさとまちづくり実行委員会補助金	0			
1857047	細島港船舶寄港受入補助金	1,185,136			
1857052	日向市観光大使イベント運営補助金	430,000			
1857053	ひゅうがお舟出プロジェクト実行委員会補助金	978,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,794,000	3,793,136	0	864

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,793,136
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	本市地域経済の活性に大きな力となる日向三大祭をはじめとする観光イベント等の開催を支援することで、国内外に向け観光地としての情報発信が図られるとともに、滞在型観光を推進することで、交流人口や消費の拡大が期待できる。また、観光地域づくりの主役となる組織や人材の育成が図られる。
事業活動内容	○支援イベント等 ・日向三大祭（日向ひょっとこ夏祭り、日向十五夜祭り、細島みなと祭り）※中止 ・地域イベント（牧水の里のつつじ祭り）※中止 ・その他（細島港船舶寄港受入、観光大使イベント、ひゅうがお舟出プロジェクト）

成果指標		単位	目標		実績	
	本市を訪れる観光入込客数の前年実績に対する増加割合	%	R2	0	R2	▲33.8
			R元	5.0	R元	3.5

活動指標		単位	目標		実績	
	地域の活性化施策である祭り等の開催支援件数	件	R2	7	R2	4
			R元	7	R元	9

事業評価			
	市民のニーズ	高い	さまざまな業種、幅広い世代の市民が、観光まちづくりの主役として、実行委員会に参画し、地域の盛り上げと活性化に取り組んでいる。
	市の関与の妥当性	妥当	日向三大祭は市を代表するイベントとして定着し、他の観光イベントにおいても、それぞれに工夫を凝らした企画などで、市の地域ブランド力向上や市のイメージアップに寄与している。
	成　　果	ある程度上がっている	イベント開催制限により、観光イベント等の大半は中止されたが、そのような状況の中でも、中止を決定する直前まで、代替案やオンライン開催などについて、さまざまな議論がなされた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	日向ひょっとこ夏祭りについては、全国の愛好者に向け、これまでの感謝と次回も参加して欲しいとの気持ちを込め動画を配信するなど、実行委員会が一丸となった取組が見られた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	ひゅうがお舟出プロジェクト補助については、記紀編さん1300年、節目の令和2年度をもって事業を終了し実行委員会を解散。市が事業を継承し観光客誘致推進事業の中で取り組んでいく。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	観光まちづくりに参画しているいう意識が希薄となり、観光客をもてなす心の醸成が阻害される。国内旅行需要が回復に向かうときこそ、市民一丸となって、関係交流人口の拡大を図る必要がある。
	今後の方向性	維持	今後、ワクチン接種が進むことで、イベントの開催制限も徐々に緩和されると想定されることから、市外からの来場者が安全で安心し参加できる運営等について、実行委員会と協議を進めていく。

総評（課題・改善点）	
	イベント開催制限の継続により、すでに2年連続の中止を決定した観光イベントもあり、次年度開催まで実行委員会メンバーの参画意義や目的意識を保つことが重要である。アフターコロナ期においても、市民主体の観光まちづくりを推進していくうえで、交流関係人口の拡大や地域活性化に、絶大な効果が見込まれている観光イベントの開催は欠かすことはできず、市も実行委員会と十分に議論を深めながら活動を支援していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0001 観光推進係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	04 観光を支える組織の強化と人材の育成
小事業	02 日向市観光協会運営補助事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837006	日向市観光協会運営補助金	19,635,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,135,000	19,635,000	0	500,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	19,635,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	一般社団法人日向市観光協会の活動支援を行い、観光振興に対する組織体制の強化と、観光PRキャンペーンの実施やイベント開催等による情報発信を行い、観光客の誘致と観光産業の活性化を図る。
事業活動内容	一般社団法人日向市観光協会の運営等に係る費用を補助し、本市観光産業の発展を機軸とする地域づくりや人づくりの活性化を図る。 また、観光地域づくりをリードするDMO組織の設立を支援する。

成果指標	本市を訪れる観光入込客数の前年実績に対する増加割合	単位	目標		実績	
		%	R2	0	R2	▲33.8
			R元	5.0	R元	3.5

活動指標	観光協会等ホームページのアクセス数	単位	目標		実績	
		件	R2	400,000	R2	371,059
			R元	300,000	R元	460,303

事業評価			
	市民のニーズ	高い	圏域を訪れる旅行者の総合案内窓口としての機能や、観光まちづくり団体等の相談窓口として、また観光情報の発信や誘客活動等に取り組むほか、自主事業で地域物産等の販売を手がけている。
	市の関与の妥当性	妥当	関係交流人口を拡大させ圏域の経済活性化を図るためには、市や観光関連事業者等と、十分に連携した事業展開が必要とされる。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、本来の業務である誘客等にかかる事業は縮小したものの、終息を見据えたオンラインによる商談やその他収益事業に取り組み、経営基盤の安定を図った。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	飲食店や宿泊施設等の事業継続を支援する取組や、新しい生活様式に対応した誘客コンテンツや域内観光商品の造成を図るなど、コロナ禍における緊急事業に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ない	長引くコロナ禍により、自主事業の収益悪化が生じる恐れもある。また市職員1名の研修派遣は令和2年度をもって終了、新たにプロパー職員を1名を雇用するなど経営状況も厳しくなっている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	圏域を訪れた観光客などを案内する窓口がなくなり、観光まちづくり団体等や市内観光関連事業者を牽引する役割も失われるなど、圏域の観光関連産業の衰退が懸念される。
	今後の方向性	維持	自主事業やコロナ禍における新たな収益事業の取組のほか、今後、強みを生かし稼ぐ産業として自走化が図れるよう、引き続き運営経費等について支援が必要である。

総評（課題・改善点）	懸案事項の一つである地域連携DMO創設については、近隣自治体や関係団体等と、引き続き議論を深めていく必要もある。しかし、終息後の旅行需要の回復期を反転攻勢の機会として逃すことのないよう、市や観光関連事業者と連携し、さまざまな事業を展開し観光客を呼び戻すことが最優先事項であり、さらには交流関係人口の拡大を図り、観光消費を回復させることで、疲弊した地域経済を立て直す必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	13 その他の観光施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	14,300	1501	原材料費	299,634
1001	消耗品費	132,567	1701	庁用器具費（一般的事務用）	269,720
1004	燃料費	5,716	1825002	研修会負担金	0
1007	光熱水費	928,696			
1008	修繕料	1,211,135			
1103	手数料	152,500			
1106	火災保険料	55,799			
1201	施設維持管理委託料	5,383,030			
1205	システム開発等委託料	26,950			
1206	その他の委託料	343,200			
1301	使用料及び賃借料	468,311			
1402	維持補修工事	4,485,421			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,227,000	13,776,979	0	450,021

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	748,000	0	0	0	13,028,979
主な財源	観光振興事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料(施設維持管理委託料)

市内観光地ごみ収集業務	723,000
観光トイレ浄化槽清掃・保守点検及び貯水槽清掃業務	645,100
観光施設樹木除草等管理業務	2,852,000
フェニックス害虫防除業務	583,000

○委託料(システム開発等委託料)

土木積算システム保守業務	26,950

○委託料（その他の委託料）

観光遊具保守点検業務	319,000

○工事請負費

日向岬周辺トイレ洋式化等工事	1,496,000
権現崎公園トイレ洋式化等工事	484,000
お倉ヶ浜ビーチハウスコイン式水販売機更新工事	1,342,000
美々津海岸遊歩道改修工事	781,000

事業期間	年度　～　年度
目的	その他の観光施設及び観光地等の利便施設などの清掃、維持管理を適正に行い、美しい観光地としてのイメージづくりを図る。また、施設の維持管理等については、地元住民や活動団体に委託することにより、地域が作り上げる観光資源の意識を高めるとともに、施設機能の安定化を図り、観光振興を推進する。
事業活動内容	観光施設や利便施設などの清掃、維持管理を適正に行い、美しい観光地としてのイメージづくりを図った。 ○修繕料　観光施設修繕 ○手数料　浄化槽法定検査 ○委託料　トイレ等清掃、浄化槽管理、植栽管理、遊具点検、ごみ収集業務、フェニックス薬剤散布 ○工事請負費　観光施設維持補修工事

成果指標	本市を訪れる観光入込客数の前年実績に対する増加割合	単位	目標		実績	
		%	R2	0	R2	▲33.8
			R元	5.0	R元	3.5

活動指標	トイレ整備・改修基数	単位	目標		実績	
		基	R2	4	R2	6
			R元	3	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	多くの観光客が訪れるスポットから多くの市民が利用する施設に至るまで、維持管理を適正に行うことにより、観光客の増加が図られ、利用者の利便性が高まる。
	市の関与の妥当性	妥当	観光誘客及び市民のために、市が観光施設の適正な維持管理を行うことは妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	観光施設の適正な維持管理を行ったものの、コロナ禍により観光入込客数は大幅に減少した。
	成果に向けた活動量	十分であった	観光施設や利便施設などの清掃、維持管理を適正に行い、美しい観光地としてのイメージづくりを図った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	利用頻度の少ない施設や老朽化した施設の統廃合及び、施設の維持管理等を地元住民や活動団体に委託するなど経費縮減の検討を継続して行う。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	観光施設の休廃止により、地域のイメージ低下及び観光誘客の減少に繋がる。
	今後の方向性	維持	域内観光に目を向け、地域特性や景観に配慮し既存施設の機能強化を行うなど、本市の観光施設としてふさわしい維持管理に努める。

総評（課題・改善点）

観光施設や市民の健康増進施設などの清掃、維持管理を計画的に行ったが、今後しばらくはインバウンドが見込めないことから域内観光に目を向け、既存施設の機能強化や磨き上げなど観光誘客による地域の活性化を図っていく必要がある。トイレの洋式化については、前年度から繰り越した分も含めて実施したことで、利便性の向上が図られた。利便性の高い公衆トイレの整備要望が高いことから、今後も利用頻度や要望の高いところから計画的にトイレの洋式化を実施する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0011 スポーツタウン推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 スポーツを生かした観光交流の拡大
小事業	02 スポーツキャンプ活性化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	3,698,779
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0	1402	維持補修工事	53,900
0714	その他の役務提供等に対する報償金	299,200	1701	庁用器具費（一般的事務用）	161,700
0716	記念品料	80,155	1857066	スポーツキャンプ等誘致推進協議会補助金	800,000
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	229,120			
1005	食糧費	3,600			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	82,280			
1104	広告料	0			
1108	その他の保険料	0			
1206	その他の委託料	352,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,319,000	5,764,634	0	554,366

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,764,634
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 楽天イーグルス日向キャンプ警備業務委託　352,000

○使用料及び賃借料
- お倉ヶ浜野球場プレハブ等賃貸借　3,408,900
- 仮設トイレ賃貸借　189,999
- コンバインドローラー賃貸借　99,880

○工事請負費
- お倉ヶ浜野球場プレハブ仮設電気取付工事　53,900

事業期間	年度　～　年度
目的	本市の恵まれた自然環境や体育施設など、スポーツキャンプ地としての優位性をアピールし、プロ野球、プロサッカー球団等のキャンプ誘致を図ることにより、観光の誘客と地域経済の活性化を図る。
事業活動内容	スポーツタウンとしてのイメージの定着と滞在型観光の推進を図るため、プロや大学、社会人等の野球、サッカー等のキャンプ誘致活動を実施する。また、中期的な戦略をもとに、関係機関と連携した情報収集、キャンプ施設等の充実を図った。 今年度は、コロナ禍の影響で無観客となり、ガイドラインに沿ってゾーニングを行うなど、感染防止対策を徹底した中での実施となった。 ○報償金　キャンプスタッフ謝金 ○消耗品費　黒土混合土、ライン用石灰 ○庁用器具費　ボールキャリー

成果指標	本市でスポーツキャンプを実施した延べ人数	単位	目標		実績	
		人	R2	10,000	R2	1,705
			R元	4,000	R元	1,625

活動指標	本市でスポーツキャンプを実施した団体数	単位	目標		実績	
		団体	R2	8	R2	3
			R元	8	R元	3

事業評価		
市民のニーズ	高い	コロナ禍の影響で無観客での実施となり、経済効果は少ないものとなったが、またプロ選手を身近で見られたり、野球教室なども開催されており地域活性化の点からも市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	スポーツキャンプの誘致は県内の他自治体同様、官民一体となった誘致活動や受け入れ体制が必要である。
成　果	ある程度上がっている	楽天2軍やパナソニック野球部などのキャンプ実施より、チーム関係者の宿泊があった。
成果に向けた活動量	ある程度あった	スポーツキャンプ等誘致推進協議会を中心に県や関係団体と連携して誘致活動を行うなど、官民一体で誘致活動を行った。
コスト削減の可能性	ない	今後も継続してキャンプ受け入れを行っていくためには、老朽化した関連施設の整備も含め、グラウンドコンディションの維持経費も必要となるため、これ以上の削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	今年度は、無観客実施となったが、キャンプ受け入れに関連する観光需要があるため、廃止することは、宿泊業や飲食業、タクシー業など観光関連産業に大きく影響する。
今後の方向性	維持	室内練習場も備えた環境からキャンプを希望する団体はプロ、アマ問わず多くあるが、設備の老朽化や施設の充実を望む声も多く聞かれる。投資効果も見極めながら誘致活動を継続していく。

総評（課題・改善点）

プロ野球2軍や社会人、大学野球等のキャンプ誘致に関しては成果が出ており、継続して実施されている。コロナ禍の影響で国内でのキャンプ需要は高まっており、多くのプロスポーツのキャンプ地となっている県内でキャンプを希望するチームは多い状況にある。

今後も施設の維持補修や設備の充実に向け関係部署と協議を重ねながら、県や関係団体等とも連携してキャンプ情報の収集を行い、キャンプ誘致に向けて積極的に活動していきたい。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0012 サーフタウン交流推進係

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 スポーツを生かした観光交流の拡大
小事業	01 サーフタウン日向推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	16,900			
1001	消耗品費	177,893			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	346,500			
1104	広告料	283,140			
1206	その他の委託料	5,472,133			
1301	使用料及び賃借料	87,120			
1857018	日本医科歯科大サーフィン大会補助金	0			
1857074	ビーチスポーツフェス実行委員会補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,786,000	6,383,686	0	402,314

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,943,000	0	0	0	3,440,686
	主な財源	地方創生推進交付金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
ヒュー日向ホームページ等管理運用業務委託	5,472,133

事業期間	平成　29　年度　～　年度
目的	サーフィンは、オリンピックの競技種目ともなったことから、全国的に愛好者が増えていく見込みである。 また、世界的に競技人口も多く、サーフトリップと呼ばれるサーフィンを目的とした観光旅行もあるので、本事業の推進により、サーフィン関連の交流・移住人口の増大が見込めるとともに、関連産業の活性化、ホストタウン事業による交流などにより、「元気で活力のある日向市」の実現を図ることができる。
事業活動内容	全国トップクラスのサーフスポットのある本市の地理的特性を活かし、サーフィンを活用した交流・移住人口のさらなる増大を図るため、サーフィン環境のPR、海辺の食メニューの開発、各種サーフィン大会、体験イベントの実施など、サーフタウン日向推進事業を進めていく予定であったが、コロナ禍の影響でイベントは中止となり、プロモーション活動中心の事業内容となった。 ○消耗品費　PRグッズ ○印刷製本費　ヒュー！日向リーフレット（英語版） ○広告費　ラッピングバス広告 ○使用料　ライブカメラ回線使用料

成果指標	サーフィン等利用客数	単位	目標		実績	
		人	R2	270,000	R2	181,480
			R元	300,000	R元	253,592

活動指標	サーフィン環境のPR、イベント等の実施	単位	目標		実績	
		回	R2	5	R2	1
			R元	5	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本市の誇るサーフィン環境を情報発信するとともに、サーフィンを核としたマリンレジャーの活性化が図られる。
	市の関与の妥当性	妥当	総合戦略、総合計画の重点プロジェクトに位置付けられており、本市の認知度向上のために、市の関与は妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	認知度の向上に併せ、サーフスポット周辺に商業施設やゲストハウスが建設されるなど、民間投資も顕著である。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響でイベントは実施できなかったが、日向の新しい魅力や楽しみ方を「ヒュー！日向」のHPなどを通じて発信した。
	コスト削減の可能性	ない	交付金事業を活用し実施した。また、メディアや個人の方にSNS等で自発的に拡散してもらう現在の手法がコスト的に最適である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	サーフタウンとしての認知度が向上している中、関連した観光施設の民間投資もあり、継続しての実施が必要と思われる。
	今後の方向性	維持	他にはない本市独自の施策であり、知名度も向上している。「ワーケーション」など、新たな労働形態など進む中で、今後も積極的に事業を展開していくことが、望ましいと考えている。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍の影響でイベントの中止やお倉ヶ浜海水浴場の閉鎖及び検温場を設置する中で県内外から問い合わせが多く寄せられ、認知度の高さを実感した。インバウンド情勢は不透明であるが、今後、域内観光や国内旅行者、ワーケーションなどの需要は、高まってくると予想されるため、引き続き、積極的に事業を展開していきたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大事業	17 農業の振興			
	中事業	01 担い手の育成・確保			
	小事業	05 農業人材力強化総合支援事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	30,000			
1004	燃料費	10,000			
1101	通信運搬費	10,000			
1856138	農業次世代人材投資事業費補助金	9,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,050,000	9,050,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,050,000	0	0	0
主な財源	農業次世代人材投資事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　29　年度　～　年度					
目的	就農直後の経営の不安定な時期に給付金を交付し、経営面でのリスクを軽減することにより、新規就農者の育成・確保を図る。					
事業活動内容	人・農地プランに位置づけられた（見込みでも可）独立・自営で農業経営を開始した新規就農者に対して、給付金の給付（最長5年間）を行った。 令和2年度交付者数　4人（経営開始型）					
成果指標	認定新規就農者数	単位	目標		実績	
		人	R2	5	R2	0
			R元	5	R元	4
活動指標	相談会、検討会議の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	15	R2	20
			R元	15	R元	20

事業評価		
市民のニーズ	高い	少子・高齢化により農業従事者が年々減少している中で、新規就農者の確保・育成が求められている。
市の関与の妥当性	妥当	本市農業の将来を担う新規就農者の確保・育成は、市及び関係機関の連携による支援が必要である。
成　果	ある程度上がっている	実績はゼロであったが、令和3年度に認定新規就農者として認定予定の3名に対し、事業活用に係る支援を行った。
成果に向けた活動量	十分であった	認定新規就農者の計画達成のためのフォローアップ等の支援を行った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	新規就農者が、国庫補助金、県単補助金のどちらに該当するかにより事業費が増減するが、県単補助金の場合は、市が3分の2の負担を求められる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	当事業によって就農時の初期投資及び運転資金の負担が軽減されることにより新規就農者が確保されている現状にあることから、休廃止された場合、確保が困難になる。
今後の方向性	維持	当事業により就農時の経済的負担を軽減することで、農業の担い手確保を図るとともに、関係機関と連携して育成に努める。

総評（課題・改善点）	移住・定住の取組により、新規就農の相談が今後増加すると想定されるが、当事業を活用した支援と合わせ、農業技術の習得に係る支援や、農地の斡旋など、関係機関が連携しきめ細やかな支援を行っていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課　0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	04 農業振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	15,527			
1301	使用料及び賃借料	52,800			
1806052	東臼杵南部農業改良普及事業協議会負担金	43,000			
1806079	日向地域農業再生協議会負担金	269,000			
1856177	水田高度利用産地育成支援事業補助金	162,117			
1856179	農業用ハウス強靭化緊急対策事業補助金	2,034,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,646,194	2,576,444	0	69,750

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,196,000	0	0	380,444
主な財源	水田高度利用産地育成支援事業補助金、宮崎県農業用ハウス強靭化緊急対策補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	農業用ハウスの強靭化や、水田輪作作物の導入実証に対する支援を行うとともに、市町村及び関係機関で組織する協議会における新規就農者の確保・育成、集落営農の推進、労働力確保等の取組を支援することで、地域農業の振興と農業者の経営安定を図る。
事業活動内容	①水稲に高収益作物を組み合わせた輪作体型導入実証に対する支援（水田高度利用産地育成支援事業） ②農業用ハウスの強靭化に対する支援（農業用ハウス強靭化緊急対策事業） ③各種農業団体が実施する事業に対する支援（負担金）

成果指標	JA日向管内のミニトマト（冬春）販売額	単位	目標		実績	
		百万円	R2	685	R2	532
			R元	685	R元	490

活動指標	産地パワーアップ計画に係る検討会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	9
			R元	10	R元	11

事業評価			
	市民のニーズ	高い	生産基盤整備や生産性向上の取組は、担い手の経営安定及び地域農業の振興に繋がるため、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	国・県事業の活用により生産基盤整備や生産性向上を推進し、地域農業の振興を図るため、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	ハウス本体の補強や防風ネットの設置等により、1．1ヘクタールのハウスの強靭化を行い、生産基盤の強化が図られた。
	成果に向けた活動量	十分であった	県、JA等関係機関と連携し、担い手の生産基盤整備等を支援した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	普及事業協議会負担金については、農林業センサスの農家戸数・耕地面積により算出されるため、2020の確定値により減額される可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	生産基盤整備や生産性向上の取組の停滞により、担い手の減少、荒廃農地の増加等、産地の維持が困難になることが想定される。
	今後の方向性	維持	地域農業の振興を図るため、県、JA等関係機関と連携し、国・県事業の活用により生産基盤整備や生産性向上を推進する。

総評（課題・改善点）	国・県事業の活用により農業用ハウスの整備等を行った農業者に対し、計画達成に向けたフォローアップを行い、経営安定化を図る必要がある。 また、協議会における取組についても、関係機関との連携により、担い手の確保・育成や労働力確保等を推進する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費

事業	大事業	17 農業の振興
	中事業	03 経営安定対策の推進
	小事業	05 農業施設付帯設備設置促進対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856039	農業施設付帯設備設置促進対策事業補助金	1,535,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,800,000	1,535,000	0	265,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,535,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　6　年度　～　年度
目的	農業施設付帯設備導入に対する支援を行うことにより、農産物のブランド化推進及び生産性向上を図る。
事業活動内容	農業用ハウス付帯設備（自動開閉機2件、ヒートポンプ1件）について、導入経費に対する支援を行った。

成果指標	農業施設付帯設備設置件数	単位	目標		実績	
		件	R2	6	R2	3
			R元	7	R元	5

活動指標	地区別座談会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	普通	農産物のブランド化、生産性向上のための施設整備に係る支援は経営改善に繋がるため、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	担い手による安定的な農業経営を推進し、「儲かる農業」を実現するため、引き続き支援を行う必要がある。
	成　果	ある程度上がっている	1件あたりの事業費が大きかったことから、設置件数は目標を下回ったが、概ね計画どおり設備設置に係る支援を行った。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により地区別座談会及び認定農業者の戸別訪問を実施できなかったが、認定農業者への資料配布により事業の周知を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	補助対象経費及び補助率の見直しにより、事業効果の向上及び事業要望への対応の適正化を図った。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	資材価格が高騰していることから、休廃止された場合、農家の経済的負担が増大する。
	今後の方向性	維持	安定的な農業経営を推進するため、農産物のブランド化、生産性向上のための施設整備を推進する。

総評（課題・改善点）	例年予算額を上回る事業要望があり、支援を受けられない農業者もいることから、事業効果の向上及び事業要望への対応の適正化を図るため、補助対象経費及び補助率の見直しを行った。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	06 中山間地域等直接支払交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	60,100			
1004	燃料費	13,000			
1101	通信運搬費	10,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	31,900			
1869009	中山間地域等直接支払交付金	9,362,477			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,481,000	9,477,477	0	3,523

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,081,000	0	0	2,396,477
主な財源	中山間地域等直接支払交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　13　年度　～　年度
目的	農地、農業用水路、農道の維持管理等の共同活動の推進により、農村地域が有する多面的機能の維持・発揮及び農業生産活動の継続を図る。
事業活動内容	中山間地域の条件不利な農地での農業生産活動の継続と農地が持つ多面的機能を確保するため、集落協定に基づいた共同作業等を行う集落に対して交付金の交付を行った。 ○第5期対策（令和2年度～令和6年度） ○対象地域 ・旧日向市地域　4集落（高森山、上松葉山、馬込奥、本宮） ・旧東郷町地域　3集落（越表3、本村、八重原）

		単位	目標		実績	
成果指標	集落協定数	協定	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	7

		単位	目標		実績	
活動指標	集落協定面積	ha	R2	40.3	R2	40.8
			R元	40.3	R元	40.3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	中山間地域の条件不利な農地での農業生産に係るコストの削減に繋がることからニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	国・県からの支援を受けており、市も連携して農業生産活動の継続に取り組む必要がある。
	成　果	上がっている	第4期対策から集落協定数を維持している。
	成果に向けた活動量	十分であった	中山間地域の条件不利地であるにも関わらず、農地、農業用水路、農道等の適正な維持管理が行われた。 また、取組面積も若干であるが増加した。
	コスト削減の可能性	ない	指定棚田地域の指定に伴い、令和2年度より国の補助率が嵩上げされたが、棚田加算の創設や取組面積が拡大したことから一般財源は増加している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	不採算な農地の荒廃が進み、農村環境が悪化する恐れがある。
	今後の方向性	維持	国の日本型直接支払制度のひとつとして位置づけられている事業であり、今後とも継続していく。

総評（課題・改善点）	農業者の高齢化・少子化等に伴い、全国的に当事業に取り組む集落数・面積が減少している中、いかに集落協定数を維持し、農業生産活動の継続を図るかが課題である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	07 圏域物流体制整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856038	JA日向圏域物流体制整備事業補助金	668,977			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
668,977	668,977	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	668,977
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　14　年度　～　年度
目的	農作物の輸送に係る経費の一部を補助することにより、出荷コストを削減し、農業者の経営安定を図る。
事業活動内容	JA日向管内（5市町村）が農産物輸送条件の不利地域であることから、宮崎市並の輸送コストにするため、輸送費（横持ち運賃）の一部助成を行った。 〇負担区分　市町村40%、JA日向40%、生産者20%

成果指標	日向圏域全体の物流量	単位	目標		実績	
		t	R2	4,000.0	R2	3,518.8
			R元	4,000.0	R元	3,461.9

活動指標	日向市の物流量(野菜・果樹・花卉・特産)	単位	目標		実績	
		t	R2	1,500.0	R2	1,222.9
			R元	1,500.0	R元	1,205.0

事業評価		
市民のニーズ	高い	大消費地近郊の生産者と比較してコスト高な本市生産者にとって、経費削減に繋がるものであり、ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	JA日向及び管内の5市町村が連携して行う事業であり、市の関与が必要である。
成　果	ある程度上がっている	コロナ禍ではあったが本市、日向圏域ともに前年度を上回る物流量となった。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍ではあったが本市、日向圏域ともに前年度を上回る物流量となった。
コスト削減の可能性	ない	ドライバー不足、貨物自動車運送事業法の改正等の影響で物流コストが上昇しており、生産者の負担割合を引き上げたとしても、市町村及びJA日向の負担は増加することが想定される。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	生産者の出荷経費が増大し、経営収支が悪化すると考えられる。
今後の方向性	維持	本市を含めた5市町村、JA日向、生産者の拠出により、輸送コストの削減を継続する。

総評（課題・改善点）	東臼杵南部地域は地理的条件に加え、多品目の産地であるため、品目ごとの物量が少なく、割高な輸送コストとなっていることから、関係機関が連携し、推進品目を中心に計画的かつ安定的な生産を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	06 環境保全型農業の推進
小事業	01 環境保全型農業直接支援対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890009	環境保全型農業直接支払交付金	984,360			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,050,000	984,360	0	65,640

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	738,000	0	0	246,360
主な財源	環境保全型農業直接支払交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　25　年度　～　年度
目的	有機物を主体とした土づくりなど環境にやさしい農業に取り組む農業者団体を支援することにより、生物多様性の保全等、農業の多面的機能の発揮を促進する。
事業活動内容	減農薬・減化学肥料及び堆肥施用に取り組む農業者団体に対し支援を行った。

成果指標	対象面積	単位	目標		実績	
		ha	R2	13.1	R2	13.8
			R元	11.4	R元	11.8

活動指標	説明会・研修会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	2	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	普通	生産面における費用対効果の問題があり、取組が限定的な状況はあるが、減農薬・減化学肥料の農産物に対する消費者の関心は高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	国・県からの支援を受けており、市も連携して取り組む必要がある。
	成　果	上がっている	取組面積は年々増加している。
	成果に向けた活動量	十分であった	制度の周知と事業の適正な実施を図るため、説明会及び研修会を各1回開催した。
	コスト削減の可能性	ない	取組面積が増加傾向にあることから、現時点で交付金額の減少は想定できない。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	生産者の収支悪化により、有機農業や減農薬・減化学肥料による農産物の供給が減少する。
	今後の方向性	縮小	日本型農業直接支払制度に位置づけられており、社会的な需要もあると考えられることから、国・県・市による支援を継続する。

総評（課題・改善点）	国が令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」において、地球環境問題への対応など、持続可能な食料供給システムの構築に向けた取組方向のひとつとして、有機農業の取組の拡大が示された。これにより、中長期的に農業者の多くが栽培技術の変更を求められると想定されることから、農業者に対し広く啓発を行う必要がある。また、農業者の所得が確保される持続可能な経営の実現のため、技術の革新や国における支援体制の整備状況に合わせて、支援を行っていくことが重要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	06 農林水産施設管理運営費
小事業	01 農産加工施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	658,412			
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	85,231			
1207	指定管理者委託料	5,133,333			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,220,000	5,876,976	0	343,024

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	649,000	5,227,976
主な財源	東郷町農産加工施設電力料金収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　22　年度　～　年度
目的	地域資源を活かした加工品の開発や地産地消の推進により、地域の活性化を図る。
事業活動内容	農産加工や加工体験を行う東郷町農産加工施設及び鶴野内農産加工施設について、指定管理者に委託し維持管理を行った。

成果指標	農産加工施設の使用料収入	単位	目標		実績	
		円	R2	80,000	R2	66,020
			R元	80,000	R元	61,150

活動指標	農産加工施設の利用者数（全体）	単位	目標		実績	
		人	R2	700	R2	243
			R元	700	R元	503

事業評価			
	市民のニーズ	普通	施設の利用者数は減少傾向にあるが、地域の農産物を活かした加工品開発や農産加工体験は一定のニーズがあると考えられる。
	市の関与の妥当性	妥当	施設は市街地と農村地域の交流を促進し、それぞれの住民による相互理解を深めるとともに、地域の活性化や多様な担い手の確保といった効果もあることから、市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	新型コロナウイルスの感染拡大防止のための閉館が76日間あったが、利用促進に努めた結果、使用料収入は前年を上回った。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の影響で、限られた人数で利用する団体が多く利用者数は大きく下回っているが、利用促進の成果もあり、利用団体数は前年比80%を確保した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	利用者数がさらに減少した場合、指定管理委託料の見直しを検討する必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	市街地と農村地域の交流の促進と相互理解、地域活性化等の取組が後退する。
	今後の方向性	維持	公共性・公益性が高い施設であることから、維持管理を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	
	農産加工体験については、高齢化等により利用者数が年々減少している状況であることから、情報発信を強化し利用者の増加を図る必要がある。 また、地域の農産物を使用した新商品開発についても、「道の駅とうごう」の集客を図る上でも取組を強化する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	09 農業経営対策事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	01 担い手の育成・確保
小事業	03 農業経営対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	264,842			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	317,042			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	7,000			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	24,000			
1101	通信運搬費	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,609,000	2,522,428	0	86,572

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,522,428
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	経営改善支援センターを中心に、認定農業者の経営改善計画に対する指導・助言を行うことで、認定農業者の育成・確保を図る。
事業活動内容	農業経営改善支援センター専任職員を配置し、認定農業者の認定（新規・更新）を受けようとする担い手への指導・助言を行った。また、認定農業者に対し、営農に関する相談や各種事業及び制度資金の活用等に係る資料の配布を行った。

成果指標	認定農業者の新規認定	単位	目標		実績	
		人	R2	5	R2	9
			R元	5	R元	9

活動指標	経営改善指導の実施	単位	目標		実績	
		回	R2	55	R2	51
			R元	55	R元	58

事業評価		
市民のニーズ	普通	経営改善計画作成に係る指導・助言、各種事業及び制度資金の情報提供に対するニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	認定農業者を確保・育成していくためには、市・県・JA等の関係機関が連携して、指導・助言をしていく必要がある。
成　果	上がっている	認定農業者の新規認定について、目標値を上回る認定数となった。
成果に向けた活動量	十分であった	経営改善計画の新規作成及び更新に係る指導・助言、各種事業及び制度資金の情報提供を行った。
コスト削減の可能性	ない	専任職員の人件費、一般事務費など必要最低限の経費のみを予算化している。
休廃止した場合の市民への影響	普通	経営改善計画に係る指導・助言、各種事業及び制度資金の情報提供等、認定農業者に対する支援を低下させることになる。
今後の方向性	維持	引き続き、専任職員を配置し、認定農業者の育成・確保を図る。

総評（課題・改善点）	コロナ禍の影響で、例年関係機関と連携して行っている認定農業者の全戸訪問を実施できなかったが、年2回資料を配布することにより、各種事業及び制度資金等の周知を行った。コロナの影響が長期化することが想定されるが、今後も感染症対策に努めつつ、認定農業者に対し個別の支援を行っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	04 畜産業の振興
小事業	01 生産性向上対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	69,632			
1856081	種豚導入事業補助金	2,210,000			
1856101	日向市和牛改良推進事業補助金	114,000			
1856144	養牛経営基盤強化対策事業補助金	8,210,000			
1856183	日向市畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業施設整備）補助金	302,463,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
313,198,709	313,066,632	0	132,077

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	302,463,000	0	0	10,603,632
主な財源	畜産クラスター事業施設整備補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○種豚導入事業補助金　15，000円／頭

○養牛経営基盤強化対策事業補助金　50，000円／頭（基本額）
郡品出場　20，000円／頭（上乗せ）
郡品優等　30，000円／頭（上乗せ）

事業期間	年度　～　年度
目的	畜産農家の経営基盤を強化することにより、生産性の向上を図り、畜産経営の安定に資するとともに、優良家畜の導入等を支援することにより、畜産農家の負担軽減、経営基盤の安定・強化を図り、産地間競争力の強化を行う。
事業活動内容	（1）日向市長賞 （2）養牛経営基盤強化対策事業 （3）種豚導入事業 （4）日向市和牛改良推進事業 （5）畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業施設整備）補助金

成果指標	優良雌牛の導入	単位	目標		実績	
		頭	R2	120	R2	151
			R元	120	R元	146

活動指標	母牛更新の指導・助言	単位	目標		実績	
		件	R2	150	R2	151
			R元	150	R元	146

事業評価			
	市民のニーズ	高い	繁殖雌牛の更新は定期的に行う必要があり、生産者にとっては経費の負担軽減策となっているため、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	生産者への飼養衛生管理の指導を行う必要性からも、市の関与は必要である。
	成　果	上がっている	繁殖頭数の概ね14％の定期的な更新ができており、購買者ニーズに沿った雌牛の導入もできている。
	成果に向けた活動量	十分であった	品評会や子牛セリ市などで、導入・更新に対する指導を行い、成果が上がっている。
	コスト削減の可能性	ない	継続を希望する生産者が多いため、コスト削減の可能性がない状況である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業廃止により、養牛経営を休止する高齢生産者が増加するため、影響はかなり大きいと考える。
	今後の方向性	維持	若い繁殖雌牛の子牛が、セリ市では高く評価される傾向にあるので、母牛の平均年齢を低下できるよう導入・更新等の指導を行う。

総評（課題・改善点）

和牛繁殖農家は高齢化が進んでいるため、経営を維持するための経費助成を行うことが、廃業に対し若干の歯止め対策となっている。
また、母牛の定期更新が繁殖経営の重要なポイントであることから、定期巡回時に指導・助言を行い繁殖牛の導入・更新を推進していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課　0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	04 畜産業の振興
小事業	02 家畜防疫推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,355,320			
1836021	自衛防疫推進協議会補助金	548,000			
1856011	牛異常産三種混合ワクチン予防接種事業補助金	402,500			
1856182	アフリカ豚コレラ等緊急総合対策事業補助金	1,742,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,064,500	5,047,820	0	16,680

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000	0	0	5,046,820
主な財源	家畜防疫手数料事務委託金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○牛異常産四種混合ワクチン予防接種事業補助金　　500円／頭

事業期間	年度　～　年度
目的	畜産衛生・防疫対策を推進することにより、家畜伝染病による経済損耗を防止し、畜産農家の経営安定を図る。
事業活動内容	（1）消毒用消石灰配布 農場防疫の強化のために消毒用石灰を配布した。 （2）自衛防疫推進協議会補助金 日向市自衛防疫推進協議会と連携し、家畜防疫全般について推進した。 （3）牛異常産四種混合ワクチン予防接種事業 牛異常産の予防を推進した。 （4）アフリカ豚コレラ等緊急総合対策事業補助金 養豚場防疫の強化のため鳥獣防護柵を設置した。（令和元年度繰越事業）

成果指標	牛異常産発生件数	単位	目標		実績	
		頭	R2	0	R2	0
			R元	0	R元	0

活動指標	牛異常産三種混合ワクチン接種予防接種	単位	目標		実績	
		頭	R2	700	R2	771
			R元	850	R元	724

事業評価			
	市民のニーズ	高い	家畜伝染病や繁殖雌牛の異常産は、農業経営に大きな影響があるため、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	若齢母牛（5歳未満）全頭に予防接種をすることで、ウイルスのまん延防止対策となるため、市の関与は必要である。
	成　　果	上がっている	予防注射頭数が増加しているため、本市での繁殖雌牛の異常産及び家畜伝染病の発生はない。
	成果に向けた活動量	十分であった	繁殖雌牛に対しては、毎年、同時期に5歳未満（希望者は制限なし）の母牛全頭に予防接種を行っている。
	コスト削減の可能性	ない	事業の継続を希望する生産者が多いため、予算規模を維持しながら計画的に実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	予防注射を摂取できず死産が多くなると、生産性の低下から余儀なく廃業する生産者が増加する。
	今後の方向性	維持	家畜疾病につながる畜舎の衛生管理・防疫管理の指導・助言を行い、経営の安定を図る。

総評（課題・改善点）	家畜伝染病の防疫対策のため、国・県が水際対策を実施し、生産者は畜舎出入口等の自主防疫対策を徹底する必要があり、指導と支援を行っていく。 また、繁殖成績の悪化につながる異常産については、三種から四種混合ワクチンに変更するとともに、予防接種の大切さを適切に指導・助言し、発生防止と生産者の意識向上を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	04 多面的機能支払交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	386,033			
0802	普通旅費	11,720			
1001	消耗品費	84,283			
1004	燃料費	50,707			
1007	光熱水費	120,000			
1101	通信運搬費	36,000			
1856152	多面的機能支払交付金	30,904,748			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,905,000	31,593,491	0	311,509

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	23,728,000	0	0	7,865,491
主な財源	多面的機能支払推進交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	地域共同による農地・農業用水等の資源の基礎的な保全管理活動への支援、施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援を行うことで、集落のコミュニティ機能向上のため、地域に根ざした活動組織を核とした、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。
事業活動内容	多面的活動の取組組織に対して、支援を行った。 ○活動内容及び交付金対象面積 農地維持活動　N＝9組織　A＝491ha 資源向上（共同活動）N＝9組織　A＝488ha 資源向上（長寿命化）N＝8組織　A＝329ha

成果指標	取組組織数	単位	目標		実績	
		組織	R2	9	R2	9
			R元	9	R元	9

活動指標	営農座談会でのパンフレット配布及び事業説明	単位	目標		実績	
		地区	R2	12	R2	12
			R元	12	R元	12

事業評価		
市民のニーズ	高い	共同活動により、農業用施設等の維持管理に対し、幅広い支出が可能となっており、土地改良区などからのニーズがある。
市の関与の妥当性	妥当	この事業は、国・県・市からの交付金であり、各組織の事業計画に基づく活動が適切に行われているか、市において確認する必要がある。
成　果	ある程度上がっている	高齢化と担い手不足による農村地域において、組織を維持することができた。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により活動が縮小するなか、パンフレットの配布や役員への個別指導を行った。
コスト削減の可能性	ない	国の事業により交付単価が決定される。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	農業用施設の維持管理が行えず、農作業の効率悪化や遊休農地の増大など、農村環境の保全ができなくなる。
今後の方向性	維持	高齢化と担い手不足により活動団体が減少するなか、今後も組織数を維持する必要がある。

総評（課題・改善点）	コロナ禍により活動が縮小されるなか、地元住民との農地維持活動や交流活動が活発化するなど、本事業を活用した農村環境の保全が広がっている。今後、地域主体による農地・農業用施設の保全管理を強化する必要から、新たな組織の立ち上げと広域化を推進する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課　0003 農村整備係

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業		
	大事業	17 農業の振興
	中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
	小事業	19 農業地域防災減災事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	6,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,000,000	6,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,000,000	0	0	0	0
	主な財源	農村地域防災減災事業補助金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料	
日向市ため池ハザードマップ作成業務委託	6,000,000

事業期間	年度　～　年度
目的	耐震診断を行いハザードマップ作成することにより、地域における防災・減災の意識を高める。
事業活動内容	防災重点ため池のハザードマップ作成を行った。 ○対象ため池 ・中の内1号ため池 ・中の内2号ため池 ・北の内2号ため池 ・亀土ため池 ・平尾ため池 ・千束口ため池

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 ハザードマップ作成率	%	R2	50	R2	100
	令和元年度 事業計画策定率		R元	100	R元	100

活動指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 ハザードマップ作成地区数	地区	R2	2	R2	6
	令和元年度 事業計画策定地区数		R元	1	R元	1

事業評価		
市民のニーズ	高い	防災重点ため池として指定されている農業用ため池については、地元市民の関心は高い。
市の関与の妥当性	妥当	防災重点ため池のハザードマップは、市民の安全・安心につながるため、市の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	すべての防災重点ため池のハザードマップ作成が完了した。
成果に向けた活動量	十分であった	すべての防災重点ため池のハザードマップ作成に取り組んだ。
コスト削減の可能性	ある程度ある	事業実施において、建設機械や仮設工事の見直しを行うことでコスト削減に繋がる可能性がある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	ため池決壊は人家や公共施設に直接影響するため、休止した場合の影響は大きい。
今後の方向性	維持	ため池整備は、人家や公共施設等に直接影響があることから、事業を確実に実施する必要がある。

総評（課題・改善点）	耐震診断調査及びハザードマップ作成により、人家や公共施設に影響があるため池については、農村整備事業管理計画に基づいた事業を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	大事業	17 農業の振興
	中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
	小事業	21 [R01国補正]農業地域防災減災事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1204	調査・計画策定委託料	4,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	4,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,000,000	0	0	0	0
	主な財源	農村地域防災減災事業補助金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
内ノ口ため池　事業計画書策定業務委託　4,000,000

事業期間	年度　～　年度
目的	地震・豪雨災害によるため池決壊からの人家や公共施設等への災害の防止・軽減を図る。
事業活動内容	防災重点ため池の整備をするため、事業認可に向けた事業計画書を策定を行った。 〇事業計画策定：内ノ口ため池

		単位	目標		実績	
成果指標	事業計画策定率	%	R2	100	R2	100
			R元	―	R元	―

		単位	目標		実績	
活動指標	事業計画策定地区数	地区	R2	1	R2	1
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	防災重点ため池として指定された農業用ため池について、決壊した場合の影響など地元市民の関心は高い。
	市の関与の妥当性	妥当	防災重点ため池の耐震補強・補修は、市民の安全・安心につながるため、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	事業認可に向けた、事業計画の策定を完了した。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業認可に向けた、懸案事項の解決に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	事業実施において、建設機械や仮設工事の見直しを行うことでコスト削減に繋がる可能性がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	ため池決壊は人家や公共施設に直接影響するため、休止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	ため池整備は、人家や公共施設等に直接影響を及ぼすことから、事業を確実に実施する必要がある。

総評（課題・改善点）	耐震診断調査及びハザードマップにより、人家や公共施設への影響があるため池については、農村整備事業管理計画に基づいた事業を行う必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	06 ほ場整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	08 県営鵜毛・籾木地区基盤整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	146,760			
0701	講師謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	20,000			
0802	普通旅費	9,120			
1001	消耗品費	13,800			
1004	燃料費	103,000			
1006	印刷製本費	2,200			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	85,920			
1501	原材料費	219,200			
1802008	県営事業負担金	23,410,520			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,100,000	24,010,520	0	89,480

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	300,000	23,411,000	0	299,520
	主な財源	土地利用調整事業補助金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	本事業の導入により、ほ場の大規模化が実現でき、同時に用排水路や道路の整備により、農作業の効率化や労力の省力化、水管理の縮減化を図るとともに、山間部の農地を守るための組織づくりや農業機械の集約化が可能となる。また農村に活気が生まれ、雇用や後継者（担い手）の育成に寄与する。
事業活動内容	県営整備事業に係る負担金の拠出を行った。 令和2年度事業費　173，610千円 ○建設工事費 整地工　A＝4．2ha　道路工　L＝1，177m 用水路工　L＝1，337m　排水路工L＝1，269m ○換地費　1式 ・全体事業概要 事業名：県営農地整備事業（経営体育成型） 事業期間：平成24年度～令和4年度 総事業費：C＝1，057，000千円 受益面積：A＝20．9ha

成果指標	工事進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	90.0	R2	90.0
			R元	80.0	R元	80.3

活動指標	基盤整備だより発行	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	3
			R元	4	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本地区は、農業従事者の高齢化や担い手不足から農地の荒廃が確実に進んでおり、本事業の完了は地元住民の長年の悲願でありニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	県営事業であるが、市が地元の土地改良区や営農組合と一体となり事業推進を図る必要があるため、関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	日の平地区、籾木地区が完成し鵜毛地区の一部においても供用開始が図られるなど、成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、活動が自粛されるなかではあったが基盤整備だよりの発行に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ない	事業終期になっており、コスト縮減の可能性はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	90%の工事が進捗しており、休止した場合この地区への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	事業主体である県と連携し、事業終期に向けた調整を図る必要がある。

総評（課題・改善点）	今後も農業従事者の高齢化や担い手不足を解消するため、事業期間内の早期完成と懸案事項の解決に向けて県と協力し、工事完了後の引き渡しに向けて地元土地改良区との協議を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	08 用排水路整備事業費
事業	大事業	17 農業の振興			
	中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備			
	小事業	05 土地改良施設維持管理適正化事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	4,000,000			
1812018	農業用施設適正化事業負担金	360,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,360,000	4,360,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000,000	360,000
	主な財源	土地改良事業分担金、土地改良施設維持管理適正化事業交付金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
秋山地区　農業用水送水設備更新工事　4,000,000

事業期間	年度　～　年度		
目的	本事業の導入により、施設管理者の意識の高揚を図るとともに、施設の機能保持と耐用年数の確保を行う。 また、設備の性能を向上することにより、施設管理の効率化と農作業の省力化を図る。		
事業活動内容	秋留地区にある揚水ポンプの更新工事を行った。 事業期間：平成30年度～令和4年度（5ヶ年） 秋留地区：C＝4，000千円（令和2年度工事実施） ○事業拠出金：C＝1，200千円（240千円／年） ○事務賦課金：C＝120千円（令和2年度） ※事業費補助：C＝3，600千円（国30%、県30%、市30%）		

成果指標	秋留地区工事進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	―	R元	―

活動指標	地元説明会の開催	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	農業用施設の計画的な修繕や更新に利用できる事業であるためニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	この事業は、国・県の補助金と市の拠出金からなる事業であり、市が地元との調整を行う必要がある。
	成　果	上がっている	農業用施設の計画的な更新により、施設の長寿命化が図られるなど、成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍により説明会は開催できなかったが、地元役員と工事発注から完成・引渡しに至るまで十分な協議を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	本年度は更新工事を行ったため，事業量が増加したが、令和3年度以降は拠出金のみである。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	この事業は採択後5年間は負担金を拠出する事業であるため、事業途中で休廃止した場合、地元の負担が増大する。
	今後の方向性	維持	今後、老朽化が進む農業用施設の計画的な修繕や更新を行う必要がある。

総評（課題・改善点）	老朽化が進み故障等により多額の修繕費を要する施設に対し、計画的に改修を行うことができる事業であるため、今後もこの事業を活用し農業用施設の長寿命化を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	12 富島幹線用水路整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	168,670,059			
2101	補償金	24,349,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
193,019,059	193,019,059	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	114,150,000	38,050,000	40,819,000	59
主な財源	地域農業水利施設マネジメント事業補助金、富島幹線整備負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

富島幹線用水路4期地区　水路補強工事（その1）	88,694,192
富島幹線用水路4期地区　水路補強工事（その2）	79,975,867

○補償金

富島幹線用水路整備事業に伴う受水費用補償金	24,349,000

事業期間	平成　30　年度　～　令和　3　年度
目的	富島幹線用水路は、大規模改修から50年以上が経過していることから、コンクリートの経年劣化など施設の強度低下が進行しているため、機能診断を行なった結果、施設の保全対策が必要となった。富島4期事業により機能保全計画に基づき補修・補強工事を行い、農業用水及び生活用水の安全かつ安定的な水資源の確保を図る。
事業活動内容	富島幹線用水路の改修工事及び工期期間に係る水補償を行った。 ○富島幹線用水路長寿命化計画に基づく改修工事 富島4期・5期地区　全体計画延長　L＝583．6m

成果指標	改修延長に対する実施延長進捗率 改修延長L＝583.6m	単位	目標		実績	
		%	R2	80	R2	83
			R元	25	R元	46

活動指標	年度改修延長	単位	目標		実績	
		m	R2	190	R2	202.1
			R元	100	R元	265.6

事業評価			
	市民のニーズ	高い	農業用水と水道水の取水に欠かせないため、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民のライフラインに直接関わるもので、施設の長寿命化のために市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	対策工事を行うことで、施設の長寿命化はもとより漏水箇所の削減に努めている。
	成果に向けた活動量	十分であった	農業用水を必要としない3ヶ月間の限られた期間で、工事を完成することができた。
	コスト削減の可能性	ない	対策工選定において、比較検討を行い決定していることから、本計画区間におけるコスト縮減の可能性はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の生活に直接関わるもので、休止した場合の市民への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	富島幹線用水路は、農業用水及び市民の水道水として「富島幹線用水路整備計画」に基づき確実に実施する必要がある。

総評（課題・改善点）

宮崎県企業局から、工業用水を使用する3ヶ月の限られた期間内に、予定していた全ての工事を完成することができた。

令和3年度においても、早期発注に努め年度内完成に向けて、関係機関との十分な打ち合わせを行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係		
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大事業	18 林業・木材産業の振興			
	中事業	01 生産基盤の整備			
	小事業	12 林業成長産業化地域創出モデル事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1203	事業委託料	330,000			
1856169	林業成長産業化地域創出モデル補助金	2,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,787,000	2,630,000	0	157,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,600,000	0	0	30,000
主な財源	次世代林業基盤づくり事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
未来の担い手リクルート事業業務　330,000

事業期間	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度					
目的	国のモデル事業を活用し、素材生産量の増加に対応した再造林対策や担い手対策を進めることにより、資源循環型林業システムの構築を図る。					
事業活動内容	①日向市資源循環型林業推進協議会の運営 ②新たな担い手確保支援事業 ③未来の担い手リクルート事業					
成果指標	民有林における耳川広域森林組合が実施した再造林面積	単位	目標		実績	
		ha	R2	79.0	R2	67.0
			R元	77.0	R元	48.0
活動指標	資源循環型林業推進協議会の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	7	R2	12
			R元	7	R元	5

事業評価		
市民のニーズ	高い	戦後に植栽された人工林の大半が伐期を迎えており、今後主伐が進むものと考えられる。再造林は、資源循環型林業の確立及び森林の公益的機能の増進並びに災害防止の観点からも推進する必要がある。
市の関与の妥当性	妥当	林業・木材産業の成長産業化には、資源循環型林業システムの構築が欠かせず、市が中心となって関係機関と連絡調整を図る。
成　果	ある程度上がっている	再造林面積については、年次計画の影響を受けるため目標を達成できなかったが、長期的には成果が上がってきている。担い手対策については、林業の魅力発信ワークショップや高校生向けの教育プログラムを実施することができた。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍の影響を受けたものの、委託事業や再造林情報バンクの創設に向け、関係事業体と個別協議を増やしたことで、事業展開に繋げることができた。
コスト削減の可能性	ない	国庫補助事業を活用して事業を実施しているが、継続的に成果を維持していくためには、コスト削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	主伐が増加しているなか、再造林の低下と担い手不足が一段と進み、森林環境の悪化を招く。
今後の方向性	維持	国庫補助事業については、令和3年度に終了するが、林業の成長産業化及び資源循環型林業の確立のためには施策を維持する必要がある。

総評（課題・改善点）

林業成長産業化地域創出モデル事業については、再造林の推進、担い手の確保対策、森林資源の高付加価値化の推進、普及啓発の推進の4本柱で事業を実施していくことになっている。特に、素材生産量の増加に対応するため、再造林の推進及び担い手の育成・確保は不可欠であり、「伐って、使って、すぐ植える」の好循環を生み出す持続可能な資源循環型林業を目指していく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係		
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大事業	18 林業・木材産業の振興			
	中事業	01 生産基盤の整備			
	小事業	14 林業・木材産業構造改革交付金事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856184	林業・木材産業構造改革事業補助金	53,466,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,466,000	53,466,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	53,466,000	0	0	0
主な財源	次世代林業基盤づくり事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	令和　2 年度 ～ 令和　2 年度					
目的	地域の持つ力を最大限に引き出し、木材の安定供給の確保、森林の整備・保全の推進、林業及び木材産業の持続的かつ健全な発展及び木材利用の推進を図る。					
事業活動内容	○林業・木材産業構造改革交付金事業 木質バイオマス供給施設整備に対する補助（補助率：15%以内） 21，645，000円 ・(有)前田産業 ドラム式チッパー 1台 トラックスケール 1式 特用林産物活用施設等整備に対する補助（補助率：1／2以内） 31，821，000円 ・ひなた原木椎茸(株) ほだ場造成 1式 人工ほだ場 1式 散水施設 1式 穿孔機 1台					
成果指標	補助を行って整備した施設等の数	単位	目標		実績	
		台・式	R2	6	R2	6
			R元	―	R元	―
活動指標	補助を行った事業体の数	単位	目標		実績	
		者	R2	2	R2	2
			R元	―	R元	―
事業評価	市民のニーズ	高い	林業施設等の整備に対して支援することで資源循環型林業を促進し、森林の整備・保全の推進にもつながる。			
	市の関与の妥当性	妥当	林業及び木材産業の持続的かつ健全な発展のため、市が施設等の整備に対して支援する必要がある。			
	成　果	上がっている	事業体の生産性が向上し、林業・木材産業の成長産業化に向けて成果は上がっている。			
	成果に向けた活動量	十分であった	事業計画及び補助金交付要綱に沿って補助事業を完了することができた。			
	コスト削減の可能性	ない	補助金交付要綱等に基づき、機器購入の際は競争入札とし、コスト削減に努めた。			
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	森林の整備・保全の推進を図ることが困難となるおそれがある。			
	今後の方向性	維持	本事業は、国庫補助事業であるが、今後も森林の整備・保全の推進、林業及び木材産業の持続的かつ健全な発展のために事業維持が必要である。			
総評（課題・改善点）	原木価格の急激な変動などに対応するため、持続可能な林業及び木材産業の振興を図り、木材の安定供給の確保、森林の整備・保全の推進に対して必要に応じ支援を行っていく必要がある。					

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	02 林業経営の改善
小事業	01 林業振興費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1856098	椎茸種駒購入事業補助金	1,029,036
0802	普通旅費	16,800	1856140	しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金	746,667
1001	消耗品費	54,385			
1004	燃料費	41,451			
1101	通信運搬費	60,000			
1805042	宮崎県緑化推進機構負担金	25,000			
1805054	宮崎県木材需要拡大推進会議負担金	12,700			
1806029	宮崎県林業研究グループ連絡協議会負担金	54,000			
1806050	耳川流域森林・林業活性化センター負担金	420,700			
1812032	生産森林組合活動支援事業負担金	72,000			
1856062	林業担い手対策基金事業補助金	4,724,000			
1856094	日向市林業研究グループ活動補助金	100,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,969,000	7,356,739	0	612,261

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,660,000	0	0	4,696,739
主な財源	林業担い手対策基金事業補助金、林業研究グループ等育成事業補助金、しいたけ等特用林産物生産体制強化補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	林業関係団体や林業担い手の育成・確保及び特用林産物の生産振興に努めることにより、林業の振興を図る。
事業活動内容	○林業担い手対策事業補助金（県・市） 事業主が負担する社会保険料等の一部定額補助（補助率：10／10） ○日向市林業研究グループ活動補助金（県・市） 活動費に対する定額補助（補助率：10／10） ○椎茸種駒購入事業補助金（市単独） 椎茸原木に3万個以上植菌を行う生産者に対して種駒購入費の一部を補助（補助率：1／3以内） ○しいたけ等特用林産物生産基盤強化事業補助金（県・市） しいたけ等の特用林産物の生産設備等の導入に際し、生産者部会へ導入費用の一部を補助（補助率：2／3）

成果指標	特用林産物（乾椎茸）の生産量	単位	目標		実績	
		kg	R2	10,000	R2	8,171
			R元	25,000	R元	8,925

活動指標	椎茸部会を通じ、種駒補助の支援を行った人数	単位	目標		実績	
		人	R2	20	R2	14
			R元	20	R元	14

事業評価			
	市民のニーズ	高い	林業関係団体や林家への支援を通じて、林業の振興を図るものであり、森林整備、林業担い手の確保及び林家収入に直結する事業として市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	担い手対策や特用林産物生産への支援などを通じて、林産物の生産・流通体制を確立することが林業従事者の就労環境の改善や所得向上につながる。
	成　果	ある程度上がっている	乾しいたけの生産量は、目標値には届かなかったが、担い手対策では、耳川広域森林組合日向支所作業班を確保することができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	種駒補助は、3万個以上を植菌する方が少なかったが、その他各種補助事業では、耳川広域森林組合の効果的な運営や林家の経営安定化に寄与することができた。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な本事業の執行が本市林業の下支えとなっている。コスト削減すると、生産意欲の低下など事業効果が下がると考えられる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	林業関連事業に大きな影響が生じ、山林の荒廃につながる。
	今後の方向性	維持	森林の公益的機能の増進及び災害防止の観点からも継続する必要がある。

総評（課題・改善点）	林業従事者の減少と高齢化が進行する中、就労環境の改善や林家への支援を通じ、新たな担い手確保や林業事業体の行う各種事業が円滑に実施できるようにすることで林業の振興に努めていく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	02 林業経営の改善
小事業	02 有害鳥獣対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,302			
1108	その他の保険料	549,570			
1856099	有害鳥獣対策推進事業補助金	485,000			
1856125	日向市有害鳥獣捕獲促進事業補助金	4,359,000			
1856137	鳥獣被害防止総合対策事業補助金	199,650			
1856165	狩猟免許取得促進事業補助金	183,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,642,000	5,781,522	0	1,860,478

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	657,000	0	0	5,124,522
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、市町村有害鳥獣捕獲促進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	有害鳥獣による農林産物の被害が深刻化しているため、地域ぐるみの被害防止活動を推進し、侵入防護柵の設置や鳥獣を呼び寄せない取組を積極的に行うとともに、狩猟者の確保や猟友会と連携し、効率的な捕獲を行うことにより、農林水産業等に係る被害の軽減を図る。
事業活動内容	○地域ごとに編成した有害鳥獣捕獲班に係る施設賠償責任保険及び傷害保険の保険料 ○有害鳥獣対策推進事業補助金（市単） 有害鳥獣捕獲班の捕獲活動に要する経費に対する補助（補助率：10／10） ○日向市有害鳥獣捕獲促進事業補助金（市・県） シカ捕獲特別対策事業補助金（補助率：10／10） 有害鳥獣捕獲班活動支援事業補助金（補助率：10／10） 野生猿捕獲班活動支援事業補助金（補助率：10／10） 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業上乗せ事業補助金（市単） （補助率：定額補助　交付金補助対象捕獲鳥獣イノシシ及びシカ　千円／頭、サル　13千円／頭） ○狩猟免許取得促進事業補助金（市単） 新たに狩猟免許を取得する者に対して、登録費用等必要な費用の一部を補助（補助率：5／10以内）

成果指標	有害鳥獣による農林作物等の被害面積の軽減目標	単位	目標		実績	
		ha	R2	13.3	R2	20.1
			R元	15.3	R元	17.9

活動指標	有害鳥獣の捕獲数	単位	目標		実績	
		頭・羽	R2	2,520	R2	3,182
			R元	2,520	R元	3,130

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市内の広範囲において有害鳥獣による農林産物への被害が発生しており、被害防止対策を求める声が増えている。
	市の関与の妥当性	妥当	市が中心となり、関係機関で構成する「日向市有害鳥獣対策協議会」と連絡調整することで、対策を進めることができている。
	成　　果	ある程度上がっている	有害鳥獣の捕獲数は、目標値を上回っているが、サルによる被害が多かったため、被害面積の軽減目標は達成できなかった。
	成果に向けた活動量	十分であった	年間を通して、市内の猟友会などと連携をとり、捕獲活動への支援を行うことで、目標を達成することができた。
	コスト削減の可能性	ない	国のシカ・イノシシ等の捕獲に対する補助限度額の引き下げに対応するため、減額分の上乗せ補助を行うなど、捕獲意欲の維持に努めていることから、コスト削減は困難である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	有害鳥獣による被害が今後さらに増大するおそれがある。
	今後の方向性	拡充	農林産物の被害防止はもとより、農林業者の生産意欲の減退を防ぐためにも、なお一層の有害鳥獣対策を推進する必要がある。

総評（課題・改善点）	農地や森林の保全、農林業者の生産意欲の向上に資するよう、今後も関係機関と連携し有害鳥獣の捕獲を進めるとともに、防護柵の設置や野生鳥獣を呼び寄せないなどの地域一体となった総合的な対策を推進する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	02 林業経営の改善
小事業	05 合板・製材生産性強化対策交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856164	合板・製材生産性強化対策事業補助金	48,250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,250,000	48,250,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	48,250,000	0	0	0
主な財源	合板・製材生産性強化対策事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	県が林業・木材産業等関係者で策定する体質強化計画に基づき、合板・製材工場等の整備や原木を安定的に供給するための間伐材の生産及び路網整備、高性能林業機械等の整備に対して補助を行うことで、日EU・EPA及びTPPによる関税撤廃に対応するための地域材の国際競争力強化及び生産性向上等の体質強化を図る。
事業活動内容	○合板・製材生産性強化対策交付金事業（国・令和元年度繰越明許） 木材加工流通施設整備に対する補助（補助率：1／2以内） ・(有)サンケイ 木質資源利用ボイラー施設　1式

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 補助を行って整備した施設等の数	台・式	R2	1	R2	1
	令和元年度 補助を行って導入した高性能林業機械等の数		R元	1	R元	1

活動指標		単位	目標		実績	
	補助を行った事業体の数	者	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	地域材の国際競争力強化及び生産性向上等の体質強化を図ることで、林業全体の振興につながる。
	市の関与の妥当性	妥当	日EU・EPA及びTPPによる関税撤廃に対応するため、市が施設等の整備に対して支援する必要がある。
	成　果	上がっている	事業体の生産性が向上し、林業・木材産業の成長産業化に向けて成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業計画及び補助金交付要綱等に沿って補助事業を完了することができた。
	コスト削減の可能性	ない	補助金交付要綱等に基づき、機器購入の際は競争入札とし、コスト削減に努めた。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	地域材の国際競争力強化及び生産性向上等の体質強化を図ることができなくなるため、本市の林業が衰退する。
	今後の方向性	維持	本事業は、国庫補助事業であるが、今後も日EU・EPA及びTPPによる関税撤廃に対応するため事業維持が必要である。

総評（課題・改善点）	地域材の国際競争力強化及び生産性向上等の体質強化を図るため、合板・製材工場等の整備等に対して必要に応じ支援を行っていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林資源の保全と活用
小事業	05 森林づくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	549,909			
1203	事業委託料	1,111,000			
1856082	国土保全造林事業補助金	2,499,793			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,595,000	4,160,702	0	434,298

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,111,000	0	0	3,049,702
主な財源	森林病害虫防除事業委託金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○委託料 お倉ヶ浜の松くい虫防除業務委託	1,111,000

事業期間	年度　～　年度
目的	森林の有する公益的機能維持・増進するために、森林の適正管理を行うとともに、資源循環型林業システム構築に向けた森林づくりを図る。
事業活動内容	○手数料　市有林のSGEC認証の管理審査に要する経費 ○事業委託料　お倉ヶ浜の松くい虫防除業務委託（面積：18ha）県10／10 ○国土保全造林事業補助金 再造林に対する補助 （補助金額：100千円／ha以内、コンテナ苗による再造林を行う場合は120千円／ha以内）

成果指標	松くい虫防除作業を行った面積	単位	目標		実績	
		ha	R2	15.0	R2	15.0
			R元	15.0	R元	15.0

活動指標	松くい虫防除作業を行った区域	単位	目標		実績	
		工区	R2	2.0	R2	2.0
			R元	2.0	R元	2.0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	伐採後の再造林をすみやかに実施するため、スギ苗の補助を中心とする山林所有者への経営支援が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	再造林を進めるため、市が関係機関と連携し、スギ苗供給などを行っていく必要がある。
	成　　果	上がっている	スギ苗生産供給施設の稼働により、生産量が増加している。
	成果に向けた活動量	十分であった	露地苗からコンテナ苗への切り替えが促進され、施業の効率化が図られた。
	コスト削減の可能性	ない	安定的な森林施業と資源循環サイクル実現のため、今後さらに苗木の生産拡大と再造林の促進が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	再造林率の低下と、山林の荒廃や土砂災害の発生等が危惧される。
	今後の方向性	維持	公益的な森林機能の維持に向け、森林整備を支援し、森林所有者の担い手の確保を促進する必要がある。

総評（課題・改善点）	森林づくりは、現在経営している森林所有者が行っているものであるが、各種事業を展開しながら、今後も、森林経営の安定と担い手確保による、持続可能な森林経営基盤の促進に努める。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係		
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大事業	18 林業・木材産業の振興			
	中事業	01 生産基盤の整備			
	小事業	04 林道整備県営事業負担金			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1802008	県営事業負担金	2,986,500			
2101	補償金	531,408			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,519,000	3,517,908	0	1,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	2,900,000	531,408	86,500
主な財源	林道西林・神陰線ほか立木補償立替金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	平成　27　年度　～　令和　2　年度
目的	県営林道事業を推進することにより、林道網の拡充を促進し林業経営の安定を図る。
事業活動内容	○県に対する負担金 県営事業林道長迫・小原線舗装事業負担金 負担率＝総事業費の10%（うち日向市54．3%、美郷町45．7%） ○補償金 県営開設事業に対する立木補償金 対象路線＝林道西林・神陰線、林業専用道センゲン線

成果指標	路線の全体延長に対する舗装実施進捗率 路線の全体延長L＝9，219．9m	単位	目標		実績	
		%	R2	91.5	R2	86.4
			R元	76.1	R元	74.8

活動指標	年度舗装延長	単位	目標		実績	
		m	R2	1,545	R2	1,073
			R元	700	R元	580

事業評価			
	市民のニーズ	高い	広域的な林道網の整備は、森林経営環境の改善や市外から市内へ林産物の運搬等、産業の活性化に繋がり、豊かな森林保全を図る上でも重要な施策である。
	市の関与の妥当性	妥当	本林道は広大な利用区域を有し、森林の所有者も多い基幹的な連絡林道であることから、県営事業を効率的に進めるために、市の関与は適切である。
	成　　果	ある程度上がっている	舗装を行うことで路面損傷が軽減し、補修経費の削減が図られるほか、通行者の安全性の向上と効率化な林業経営が図られる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	県営事業の予算減や現場条件の変化による工事費の増等により、当初の目標延長には達していないが、前年度と比較すると大きく整備延長が伸びている。
	コスト削減の可能性	ない	県営事業費の増減による負担金額の変動はあるが、事業計画において定められた負担率によるため、コスト縮減の可能性はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	林道の舗装による維持補修費や通行の安全性の確保、林業の生産コストの縮減が図られなくなる。
	今後の方向性	維持	重要な森林基幹道であり、森林をとりまく様々な課題解消のため、早期に全線の舗装を完了させる。

総評（課題・改善点）	林道長迫・小原線の改良（舗装）は、森林施業の効率化・省力化等の削減を図る重要な事業であり、早期に事業を完了させる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	05 横瀬・広瀬線（交付金）林道改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	51,958			
1004	燃料費	0			
1401	建設工事費	6,700,897			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,900,000	6,759,355	0	140,645

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,087,000	2,600,000	0	72,355
主な財源	地域再生林道事業交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○工事請負費	
横瀬・広瀬線開設工事	6,700,897

事業期間	平成　27　年度　～　令和　2　年度
目的	広範囲の利用区域を有する当林道を開設することで、森林施業の円滑化を図るとともに、集落間連絡の確保や林業・環境基盤の整備を図る。
事業活動内容	○建設工事費 令和2年度　横瀬・広瀬線林道開設事業　L＝60m，W＝4．0m [全体事業計画概要] ○開設延長　L＝620m ○総事業費　C＝97，200千円 ○事業期間　平成27年度～令和2年度

成果指標	路線全体延長に対する開設延長進捗率 路線計画延長L＝4,900m	単位	目標		実績	
		%	R2	90.6	R2	90.6
			R元	89.4	R元	89.4

活動指標	年度開設延長	単位	目標		実績	
		m	R2	60.0	R2	60.0
			R元	80.0	R元	79.1

事業評価		
市民のニーズ	高い	本林道の開設は、効率的な森林施業につながるとともに、集落間の連絡路や災害時の迂回路を確保することができ、住民の要望が強い。
市の関与の妥当性	妥当	公共的な要素が強く、所有者も多い基幹的な連絡路となることから、林道として、市が整備し管理していくことが望ましい路線である。
成　果	上がっている	約90．6%の進捗率（線形見直しにより実質進捗率93．1%）であり、効率的な森林施業のために早期の全線開通が望まれている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	事業費と構造物の施工性の関係により、例年より実施延長を短縮することとなったが、計画通りに進めることができた。
コスト削減の可能性	ない	林道整備の基準の変更や資材価格の高騰等に伴いコスト増が考えられ、また、事業の終盤にあるため、ルート選定や新技術導入等によるコスト縮減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	森林施業の環境改善に支障を来たし、また、集落間の迂回連絡路線の確保ができなくなる。
今後の方向性	維持	この地区で唯一の連絡路網を構築し、今後の森林施業の安定した促進を図るため、事業を継続し早期に完成させる。

総評（課題・改善点）	本林道の整備は、森林施業の効率化・省力化等の削減を図る重要な事業であり、また、全線開通後は周辺集落アクセスの迂回ルートとしての機能も果たす路線となる。残延長は約330mであり、積極的に整備推進し、早期に開通する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	08 林道等改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	8,495,539			
1856033	県単林道等改良事業補助金	600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,100,000	9,095,539	0	4,461

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,455,000	0	0	7,640,539
主な財源	林道等改良事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費

出口線改良工事（その1）	1,861,592
出口線改良工事（その2）	2,783,000
仏川内線横断暗渠改良工事	3,850,947

事業期間	年度　～　年度
目的	林道等の舗装や林道横断暗渠の改修工事を行うことにより、路面の洗堀や大規模な災害を防止でき、通行の安全の確保、森林施業の円滑化や経費の縮減を図る。
事業活動内容	○事業費補助金 作業道（路）生コン舗装補助 補助率＝規定事業費に対し、県3／10、市3／10 事業量　1路線（新九郎谷川線　L＝100m、W＝3．0m） ○林道改修工事費 林道出口線　路側構造物改修　L＝8．4m 林道仏川内線　横断暗渠改修　L＝8．0m

成果指標	事業費補助金の計画延長に対する実施率	単位	目標		実績	
		%	R2	100.0	R2	100.0
			R元	100.0	R元	100.0

活動指標	事業費補助金の作業道舗装延長	単位	目標		実績	
		m	R2	110.0	R2	110.0
			R元	220.0	R元	220.0

事業評価		
市民のニーズ	高い	林道の改修や作業道への補助事業は、林業経営におけるコスト縮減につながるとともに、様々な公益的機能を持つ森林の保全を図る上で重要な施策である。
市の関与の妥当性	妥当	林道の路側や横断暗渠の改修は、公的要素が強い事業である。また、舗装整備を行った作業道は連絡的機能を有し、林道規格に近い施設整備であることから補助金は適切である。
成　果	上がっている	施設の改修は林道の健全化に大きく寄与しており、また、作業道の舗装を行うことで森林施業の効率化や安全性が向上している。
成果に向けた活動量	十分であった	事前に地元と現地調査を実施し、優先箇所を選定のうえ事業実施したことで事業効果は大きく現れている。
コスト削減の可能性	ない	コンクリート舗装に係る機械・労務及び材料費の補助であり、施工年度の標準単価によるものが多く、コスト縮減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	継続的に行ってきた作業道への補助金の休止は、維持補修費や林業生産コストの縮減が図れず、林業経営へ意欲の低減を招く。
今後の方向性	維持	林道改修については必要に応じて随時実施していく。作業道への補助は事業効果も確実に上ってきており、林業経営をとりまく様々な課題解消のために継続していく。

総評（課題・改善点）	作業道の整備は、森林施業の効率化・省力化等コストの削減を図る効果的な事業であり、森林所有者が共同で行うことで、一体となった林業経営や森林管理に繋がっている。森林環境譲与税による補助制度と組み合わせながら今後も計画的に整備していくこととしている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係		
款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大事業	18 林業・木材産業の振興			
	中事業	01 生産基盤の整備			
	小事業	09 熊山線（交付金）林道改良事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	45,000			
1004	燃料費	10,502			
1202	工事施工を伴う委託料	489,500			
1401	建設工事費	15,800,998			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,346,000	16,346,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,322,000	7,000,000	0	24,000
主な財源	地域再生林道事業交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託費
熊山線測量設計業務委託　489,500

○工事請負費
熊山線舗装工事　15,800,998

事業期間	平成 27 年度 ～ 令和 2 年度					
目的	林道の舗装を行い、路面の洗堀等を防止することにより通行の安全を確保し、森林施業の円滑化や経費の縮減を図る。					
事業活動内容	○委託料 測量　一式 ○建設工事費 林道熊山線舗装整備　L＝750m，W＝4．0m [全体事業計画概要] ○開設延長　L＝4，500m ○総事業費　C＝75，000千円 ○事業期間　平成27年度～令和2年度					
成果指標	全体計画舗装延長に対する実施延長進捗率 路線全体延長L＝19,482.2m	単位	目標		実績	
		%	R2	46.5	R2	46.8
			R元	42.8	R元	42.9
活動指標	年度舗装延長	単位	目標		実績	
		m	R2	700.0	R2	750.0
			R元	360.0	R元	386.5

事業評価			
	市民のニーズ	高い	熊山線は路網ネットワークの中核を担う市最長の林道であり、路面の舗装は森林施業の効率化、集落間アクセスの改善、維持補修コストの縮減等、事業の効果が大きい。
	市の関与の妥当性	妥当	本林道は森林所有者も多い森林基幹道であり、公共性が高く事業規模も大きいため、市による事業実施が望ましい。
	成　果	上がっている	舗装を行うことで、路面補修経費の抑制はもとより、通行支障の解消と森林施業の安全・安心な進捗が図られる。
	成果に向けた活動量	十分であった	熊山中継局（消防・防災・テレビ等の通信設備）へのアクセス性能の改善のため、通行困難箇所を優先的に選定し、例年の2倍以上の延長の整備を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	状況に応じた舗装範囲や舗装構成を採用することによりコストの縮小が考えられる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	林道の維持補修費の増大のほか、多大な利用区域内の林業生産コストの縮減を図ることができない。
	今後の方向性	維持	重要な森林基幹道であり、路面の舗装による事業効果も確実に上ってきている。森林をとりまく様々な課題解消のため、今後も事業継続していきたい。

総評（課題・改善点）

本林道は市で最も延長の長い林道であり、森林施業の効率化・省力化のために行う路面の舗装は重要である。また、熊山にはテレビや防災等の通信施設があり、本林道が施設管理のアクセス道となっている。このため、アクセス道の通行の安全性の向上と円滑な通行のための対応が求められており、事業のスピードアップが課題となっている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業 大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	13 林道施設長寿命化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	2,180,243			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,181,000	2,180,243	0	757

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,090,000	900,000	0	190,243
主な財源	農山漁村地域整備事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇維持補修工事
橋梁補修工事（大谷・山ノ口線ほか）　2,180,243

事業期間	令和　2 年度　～　令和　6 年度
目的	林道施設等の効率的な維持管理・更新等につなげる個別施設計画を策定し、林道施設長寿命化対策の充実を図る。
事業活動内容	〇林道橋長寿命化計画に基づき適切な点検・修繕等を行い、施設の長寿命化を図る。 管理林道橋数　N＝26橋 ⇒ 25橋

成果指標	単位	目標		実績	
令和2年度 全橋梁数に対する健全な橋梁（健全度Ⅰ）の率	%	R2	92.3	R2	96.0
令和元年度 計画策定進捗率（策定事業費の執行率）		R元	100.0	R元	100.0

活動指標	単位	目標		実績	
令和2年度 補修済み橋梁数	橋	R2	2	R2	2
令和元年度 年度別点検橋梁数		R元	10	R元	11

事業評価		
市民のニーズ	高い	橋梁の健全性は、安定して効率的な林業経営や森林の保全を図るうえで不可欠である。
市の関与の妥当性	妥当	市は林道の管理者であり、林道橋を安全かつ円滑に通行できる状態に維持する責務がある。
成　果	ある程度上がっている	個別施設計画に基づき2橋の橋梁補修を行い、予防保全的に施設の長寿命化を図ることができた。
成果に向けた活動量	十分であった	目標橋梁数の補修を行うことができたとともに、国と協議により橋梁の管理数を縮小することができた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	長寿命化計画に基づいた管理・修繕を行うことにより、トータルコストの削減が図られる。また、管理橋梁数の減により、今後の補修・点検等に関するコストは縮減できる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	林道は代替道路がない路線が多く、橋梁の損傷による交通制限は、沿線の事業所経営や森林保全活動の停滞を招くことになる。
今後の方向性	維持	橋梁長寿命化計画に基づき、計画的に点検・補修・修繕を実施していくとともに、点検結果に応じた計画の見直しを行っていく。

総評（課題・改善点）

橋長4m以上の林道橋は26橋あり、老朽化や機械・運搬車両の大型化等により維持管理コストの増大や補修時期の集中が懸念されている。このため、橋梁長寿命化計画を継続的に推進し、施設健全度の把握と、適正な維持管理を行うことにより、コストの縮減と平準化を図る必要がある。

国有林との併用林道上にある橋梁1橋について、林野庁との協議を行った結果、今後の管理所管は林野庁で行うこととなり、管理橋梁は25橋に縮小することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0003 地籍調査係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	01 地籍調査事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1812052	宮崎県国土調査推進協議会負担金	73,000
0301	職員手当	209,471			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	255,315			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	7,800			
1001	消耗品費	61,000			
1003	消耗品費被服	19,030			
1004	燃料費	200,000			
1008	修繕料	17,677			
1101	通信運搬費	180,000			
1203	事業委託料	29,194,700			
1301	使用料及び賃借料	1,049,680			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,352,000	32,779,049	0	572,951

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	23,727,000	0	193,000	8,859,049
主な財源	地籍調査事業費補助金、その他証明手数料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

地籍調査事業　迫野内Ⅸ地区外１測量委託業務	12,100,000
地籍調査事業　美々津Ｘ地区測量委託業務	1,859,000
地籍調査事業　迫野内Ⅶ地区測量委託業務	737,000
地籍調査事業　美々津Ｘ－２地区１筆地調査委託業務	4,500,000
地籍調査事業　美々津Ｘ－２地区測量委託業務	5,804,000
地籍調査事業　迫野内Ⅸ地区１筆地調査委託業務	4,000,000

事業期間	昭和　40　年度　～　令和　40　年度
目的	公共事業の円滑化・迅速な災害復旧・境界紛争の予防・課税の公平化・行政財産の管理の適正化など多彩な効果が期待される。
事業活動内容	国土調査法に基づく地籍調査 1. 迫野内Ⅵ　ＦⅡ－2・G・H工程　0. 95㎢ 2. 美々津Ⅹ　ＦⅡ－2・G・H工程　0. 58㎢ 3. 迫野内Ⅶ　ＦⅡ－2・G・H工程　0. 18㎢ 4. 美々津Ⅹ－2　E・ＦⅠ・ＦⅡ－1工程　0. 32㎢ 5. 迫野内Ⅸ　C・E・ＦⅠ・ＦⅡ－1工程　2. 06㎢

成果指標	地籍調査の進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	37.9	R2	38.1
			R元	36.2	R元	37.3

活動指標	一筆地調査・測量及び地籍図・地籍簿作成による地籍調査事業の実施面積	単位	目標		実績	
		㎢	R2	118.3	R2	118.8
			R元	108.9	R元	116.3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	土地所有者の高齢化、農地の耕作放棄地増加等に伴い、土地境界の不明確化と所有者不明などが進んでおり、地籍調査の早期完了が望まれている。
	市の関与の妥当性	妥当	国土調査法に基づく地籍調査は、国・県・市町村の他土地改良区などの団体が実施するものであり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	事業の進捗率を高めるため、所有者調査を早期から取り組むことにより、調査面積を増やすことができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業着手前に地元説明会を行い、事業の概要や地籍調査の重要性などを説明した。また、調査期間中においても随時対応し、円滑な調査に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	本事業は、これまで制度改正に伴う作業の見直し等を行っており、現行制度の範囲内においては改善及び見直しによるコスト削減する点はないと思われる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	土地境界をめぐるトラブルや土地有効活用の妨げ、災害復旧の遅れなどが考えられる。
	今後の方向性	拡充	現状では、事業拡充するための人員及び事業予算の確保が厳しい状況にあるが、早期完了に向けた取組が必要である。

総評（課題・改善点）	現行の人員体制においては、現地調査業務とともに登記確認等内部業務をバランスよく実施することで、円滑な調査を進める必要がある。地籍調査支援システムを有効活用し、調査図・素図・地籍調査票など各種調書を効率的に作成するよう努めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0003 地籍調査係		
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	05 農地費

事業	大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
	中事業	01 計画的な土地利用の推進
	小事業	06 [R01国補正]地籍調査事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,140			
1001	消耗品費	110,860			
1004	燃料費	100,000			
1101	通信運搬費	230,000			
1203	事業委託料	16,000,000			
1301	使用料及び賃借料	350,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,800,000	16,800,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	12,600,000	0	0	4,200,000
主な財源	地籍調査事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 地籍調査事業　美々津ＸＩ地区1筆地調査委託業務　7,367,000
- 地籍調査事業　美々津ＸＩ地区測量委託業務　8,633,000

事業期間	令和　2 年度　～　令和　2 年度
目的	公共事業の円滑化・迅速な災害復旧・境界紛争の予防・課税の公平化・行政財産の管理の適正化など多彩な効果が期待される。
事業活動内容	国土調査法に基づく地籍調査 1．美々津ＸＩ　C・E・FＩ・FⅡ－1工程　0．33㎢

成果指標	地籍調査の進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	37.9	R2	38.1
			R元	36.2	R元	37.3

活動指標	一筆地調査・測量及び地籍図・地籍簿作成による地籍調査事業の実施面積	単位	目標		実績	
		㎢	R2	118.3	R2	118.8
			R元	108.9	R元	116.3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	土地所有者の高齢化、農地の耕作放棄地増加等に伴い、土地境界の不明確化と所有者不明などが進んでおり、地籍調査の早期完了が望まれている。
	市の関与の妥当性	妥当	国土調査法に基づく地籍調査は、国・県・市町村の他土地改良区などの団体が実施するものであり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	事業の進捗率を高めるため、所有者調査を早期から取り組むことにより、調査面積を増やすことができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業着手前に地元説明会を行い、事業の概要や地籍調査の重要性などを説明した。また、調査期間中においても随時対応し、円滑な調査に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	本事業は、これまで制度改正に伴う作業の見直し等を行っており、現行制度の範囲内においては改善及び見直しによるコスト削減する点はないと思われる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	土地境界をめぐるトラブルや土地有効活用の妨げ、災害復旧の遅れなどが考えられる。
	今後の方向性	拡充	現状では、事業拡充するための人員及び事業予算の確保が厳しい状況にあるが、早期完了に向けた取組が必要である。

総評（課題・改善点）	現行の人員体制においては、現地調査業務とともに登記確認等内部業務をバランスよく実施することで、円滑な調査を進める必要がある。地籍調査支援システムを有効活用し、調査図・素図・地籍調査票など各種調書を効率的に作成するよう努めていく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	01 漁業近代化施設整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856122	増養殖管理化推進施設整備事業補助金	0			
1856134	流通等改善施設整備事業補助金	106,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
306,000	106,000	0	200,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	106,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　9　年度　～　年度
目的	日向市漁協が実施する餌蓄養施設設置及び簡易漁礁設置等に対して助成することにより、燃料費削減、主力魚の漁獲量増加、漁業経営の安定化を図る。
事業活動内容	○餌蓄養施設設置事業補助金 日向市漁協の基幹漁業であるシビ（マグロ）、シイラ延縄漁業の活餌であるイワシ、アジ、サバ等の餌蓄養施設設置に対して補助を予定していたが、コロナ禍により日向市漁協の準備が整わず執行できなかった。 ○漁礁設置事業補助金 水イカ・サバフグの栽培漁礁設置に対して補助を予定していたが、コロナ禍により日向市漁協の準備が整わず執行できなかった。 ○流通等改善施設整備事業補助金 日向市漁協のコンテナ増量に伴い、水揚時の魚種選別の時間短縮を図る為、コンテナ購入に対して支援を行った。

成果指標	小型延縄シイラ漁獲量	単位	目標		実績	
		t	R2	30.0	R2	21.1
			R元	30.0	R元	61.3

活動指標	簡易魚礁設置数	単位	目標		実績	
		基	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	漁価低迷、燃油価格の高止まりで漁家経営が厳しい状況において、主力魚の漁獲量増加につながることからニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	漁業経営の悪化が漁家経営の更なる悪化を招くことを解消するために、市の積極的な関与が必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	シイラ、サバフグ、水イカの漁獲量は減少したが、コンテナ増量により、水揚作業効率が向上した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	延縄漁業の活餌の蓄養施設及び栽培漁礁の設置はできなかったが、平年並みの水揚げがあった。また、コンテナ増量により水揚時の作業時間の短縮が図られた。
	コスト削減の可能性	ない	資材及び燃油価格が高止まりの状況であるため、コスト削減は難しい状況にある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	漁獲量、漁価が不安定であることに加え、漁協経営再建にかかる負担増もあり、休止は漁家及び漁協経営の更なる悪化を招くことが想定される。
	今後の方向性	維持	漁協に経営改善計画（最終年度令和7年度）に基づく経営再建が終了するまで事業継続が必要と考える。

総評（課題・改善点）	資材及び燃油価格の高止まりに加え、漁協経営再建にかかる水揚手数料の値上げなどの負担増もあり、漁家経営が厳しい状況において、主力魚の漁獲量増加と水産資源の持続的利用を推進することが漁家及び漁協の経営安定化において重要である。漁協と連携して増養殖施設の整備を継続的に行うことにより、持続可能な漁業を推進する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	02 魚貝類放流事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1856026	魚貝類放流事業補助金	250,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
256,000	255,200	0	800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	255,200
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　8　年度　～　年度
目的	県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づき、稚魚の放流を行うことで、計画的に水産資源の保護増殖を図り、持続的な漁業活動を推進する。
事業活動内容	日向市漁協が実施するヒラメ等の稚魚放流事業に係る種苗費に対する補助。令和2年度は、県資源管理実践漁業者協議会の決定により、資源動向から前年度同様カサゴの放流を見合わせ、ヒラメの放流のみ行った。 ・ヒラメ　33，000尾 ・カサゴ　0尾

成果指標	カサゴ、ヒラメの漁獲量	単位	目標		実績	
		t	R2	3.0	R2	4.1
			R元	3.0	R元	5.1

活動指標	カサゴ、ヒラメの放流量	単位	目標		実績	
		尾	R2	33,000	R2	33,000
			R元	33,000	R元	33,000

事業評価			
	市民のニーズ	高い	沿岸水産資源が年々減少しており、漁獲量の増加、水産資源の持続的利用につながる。
	市の関与の妥当性	妥当	県資源管理実践漁業者協議会において放流尾数、漁協負担が決定され、全ての沿海市町が支援を行うこととなっている。
	成　果	上がっている	ヒラメ・カサゴ漁獲量は前年比80%と減少したが、目標値3．00tを上回っていることから成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	ヒラメの稚魚放流を計画通りに行うことができた。
	コスト削減の可能性	ない	ヒラメ以外にも資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種があるため、計画的な水産資源の保護増殖を図ることが困難となる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	放流を休止した場合、保護・増殖の取組を大きく後退させると考えられる。
	今後の方向性	維持	資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種について、継続的かつ計画的に放流することにより、水産資源の保護・増殖を図っていく。

総評（課題・改善点）	沿岸水産資源が年々減少しており、水産資源の持続的利用を推進する取組が漁家及び漁協の経営安定化において重要である。県資源管理実践漁業者協議会において決定される放流計画に基づく放流事業は、資源量増加の成果を上げていることから、今後も、資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種について、県内漁協及び沿海市町と連携をとって進める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進
小事業	03 保護水面管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	137,862			
1203	事業委託料	60,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
223,000	197,862	0	25,138

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	115,000	0	0	82,862
主な財源	保護水面管理委託金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
ハマグリ生息状況調査業務　60,000

事業期間	年度　～　年度
目的	絶滅危惧種に指定され、本市においても漁獲量が激減しているハマグリについて、密漁を防止し、生息状況を把握分析することにより、保護増殖及び水産資源保護を図る。
事業活動内容	○保護水面管理事業 保護水面における密漁及び不法投棄の監視 ○ハマグリ生息状況調査事業 坪刈りによる稚貝生育状況等の調査

成果指標	保護区域内の摘発件数	単位	目標		実績	
		件	R2	0	R2	0
			R元	0	R元	0

活動指標	保護区域内の監視回数	単位	目標		実績	
		回	R2	174	R2	207
			R元	174	R元	200

事業評価		
市民のニーズ	高い	本市における漁獲量が平成22年以降0．3t以下と極めて低位で推移しており、事業実施は資源の保護増殖につながる。
市の関与の妥当性	妥当	県単事業（保護水面管理事業）活用のためには、市が県から事業委託を受ける必要がある。
成　果	上がっている	生息状況調査結果より資源量は依然として低位と判断されるが、平成29年度以降は増加傾向にある。
成果に向けた活動量	十分であった	干潮時の水位が低い大潮に合わせて監視を行った。また、県や日向市漁協と連携し、ハマグリ生息状況調査を行った。
コスト削減の可能性	ない	平成28年度に効率化による委託料減額を行っており、今後は予算規模を維持しながら実施していくことが妥当である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	有効確実な資源増殖策が確立されていない現状において、休止した場合、密漁による資源量の減少が想定される。
今後の方向性	拡充	密漁監視及び生息状況調査を継続的に実施するとともに、資源調査を拡充し、資源の保護増殖を図る。

総評（課題・改善点）	本市における漁獲量が平成8年度の39tをピークに激減し、近年は1tにも満たない状況にある。今後も、密漁監視及び生息状況調査を継続的に実施するとともに、県に資源調査の拡充を依頼し、資源の保護増殖を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	01 漁業振興育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0	1856020	漁業近代化資金利子補給補助金	25,825
0716	記念品料	89,000	1856130	外国人実習生事業補助金	0
0802	普通旅費	10,200	1856155	種子島周辺漁業対策事業補助金	5,689,000
1001	消耗品費	19,800	1856181	水産人材投資事業補助金	0
1103	手数料	57,200	1865035	日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成金	813,094
1301	使用料及び賃借料	0			
1812024	宮崎県水産振興協会負担金	343,400			
1812048	宮崎県漁港漁場協会負担金	90,000			
1812049	宮崎のさかなビジネス拡大協議会負担金	100,000			
1856014	水産物ブランド販売促進事業補助金	381,000			
1856017	漁船保険育成事業補助金	10,229,142			
1856018	漁獲共済育成事業補助金	1,379,866			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,526,000	19,227,527	0	298,473

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,689,000	0	0	13,538,527
主な財源	種子島周辺漁業対策事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	イワガキ等の特産品化により収益性向上を図るとともに、漁船保険料及び漁獲共済掛金の助成、漁業近代化資金及び日向市漁業協同組合信用事業譲渡資金に対する利子助成による金利負担軽減により、漁業経営の安定化を図る。
事業活動内容	細島いわがき等のブランド化確立及び漁業者の経営安定を図るための支援を行った。 ①負担金補助（宮崎県水産振興協会、宮崎県漁港漁場協会、宮崎のさかなビジネス拡大協議会） ②水産物ブランド販売促進事業（細島いわがきの生産資材及び販促費の一部助成） ③漁船保険育成事業（保険料の一部助成） ④漁獲共済育成事業（共済掛金の一部助成） ⑤漁業近代化資金利子補給事業（近代化資金借入に対する利子の一部助成） ⑥漁業協同組合信用事業譲渡資金利子助成事業（信用事業譲渡資金借入に対する利子の一部助成）

成果指標	漁船保険（普通保険）加入率	単位	目標		実績	
		%	R2	93.0	R2	86.5
			R元	93.0	R元	82.7

活動指標	漁船保険（普通保険）加入隻数	単位	目標		実績	
		隻	R2	215	R2	193
			R元	220	R元	191

事業評価		
市民のニーズ	高い	漁業経営環境が厳しい状況において、漁家及び漁協から対策を求める声が多い。
市の関与の妥当性	妥当	国、県、沿海市町及び漁協等関係団体が連携することにより漁家及び漁協の経営基盤強化が推進できる。
成　果	上がっている	イワガキ販売については、コロナ禍で一時出荷が減少したものの、県内外に販路を拡大することができた。
成果に向けた活動量	十分であった	イワガキ生産者と連携し、直売所の設置やネット販売の強化を行った。
コスト削減の可能性	ある程度ある	高齢化、後継者不足による漁業者及び漁船数減少に伴う保険料及び共済掛金の減少が考えられる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	高齢化、後継者不足により漁業者が年々減少する中、漁協経営再建にかかる負担増もあり、休止は漁協及び漁家経営の更なる悪化を招くことが想定される。
今後の方向性	維持	漁業経営安定のためには、水産物のブランド化などを進めていく必要がある。

総評（課題・改善点）	漁家経営が厳しい状況において、経営安定化及び生産性向上が求められているため、水産物のブランド化や、保険及び共済加入を継続的に推進するとともに、制度資金及び国庫事業の有効活用を図る。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	03 内水面漁業の振興
小事業	01 魚貝類放流事業（内水面）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856026	魚貝類放流事業補助金	2,176,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,189,000	2,176,000	0	13,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,176,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	内水面漁業の河川環境の保全維持、水産資源の保護増殖により内水面漁業の安定、活性化を図る。
事業活動内容	耳川水系管理委員会、市内4内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、耳川漁協、富島河川漁協）及び上小丸川漁協が行う魚貝類放流事業に対する補助

成果指標	内水面漁協の漁獲量	単位	目標		実績	
		t	R2	8.0	R2	3.5
			R元	8.0	R元	3.7

活動指標	内水面漁協の放流量	単位	目標		実績	
		t	R2	2.8	R2	3.2
			R元	2.8	R元	3.1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	内水面における水産資源が減少しており、資源増殖につながる放流事業を行う必要がある。
	市の関与の妥当性	妥当	水産資源の保護増殖は、市と関連団体が協力して行うことで河川環境の保全維持につながる。
	成　　果	ある程度上がっている	自然災害等の影響から、漁獲量が減少しているが、シジミやモクズガニの漁獲量は増加した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	計画どおり魚貝類の放流を行った。
	コスト削減の可能性	ない	漁獲量が減少している中、計画的に放流を実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	休止した場合、水産資源がさらに減少し、河川環境の悪化を招くと考えられる。
	今後の方向性	維持	資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種について、継続的かつ計画的に放流することにより、水産資源の保護増殖を図る。

総評（課題・改善点）	内水面における水産資源は減少傾向にあると考えられることから、保護増殖及び河川環境保全について、行政と関連団体が協力して取り組むことが重要である。今後も、資源量水準が低位、または減少傾向にある魚種について、内水面漁協及び県内漁連と連携した取組を継続的かつ計画的に行う。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係		
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 水産業振興費
事業	大事業	19 水産業の振興			
	中事業	03 内水面漁業の振興			
	小事業	02 増養殖場整備事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856029	内水面漁場整備事業補助金	343,405			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
378,000	343,405	0	34,595

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	343,405
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	河川環境保全及び水産資源の保護増殖により内水面漁業の安定、活性化を図る。
事業活動内容	市内3内水面漁協（美幸内水面漁協、余瀬・飯谷漁協、富島河川漁協）が行う漁場整備事業（アユの産卵場整備、河川の清掃活動、河川敷の草刈り等）に対する補助を行った。

成果指標	アユの漁獲量	単位	目標		実績	
		kg	R2	600.0	R2	946.0
			R元	600.0	R元	1,033.0

活動指標	産卵場設置件数	単位	目標		実績	
		箇所	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	内水面における水産資源が減少しており、資源増殖につながる漁場整備事業を行う必要がある。
	市の関与の妥当性	妥当	水産資源の保護増殖は、市と関連団体が協力して行うことで河川環境の保全維持につながる。
	成　果	ある程度上がっている	自然災害の影響があったものの、アユの漁獲量は目標を達成している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	計画どおり漁場整備を行った。
	コスト削減の可能性	ない	河川環境を保全していくためには、継続的かつ計画的な実施が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	休止した場合、河川環境の悪化を招くと考えられる。
	今後の方向性	維持	継続的かつ計画的に漁場整備を実施することにより、水産資源の保護増殖及び河川の環境保全を図る。

総評（課題・改善点）	
	内水面における水産資源は減少傾向にあると考えられることから、保護増殖及び河川環境保全について、今後も行政と関連団体が協力して取り組むことが重要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林資源の保全と活用
小事業	08 森林経営管理制度事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,320,441			
0301	職員手当	201,359			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	244,161			
0702	出会謝金	0			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	48,000			
1004	燃料費	10,000			
1101	通信運搬費	89,000			
1301	使用料及び賃借料	3,938,000			
2403	その他特定目的基金積立金	54,517,000			
2701	一般会計からの繰出金	431,590			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,050,000	60,824,851	0	1,225,149

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,878,000	54,946,851
主な財源	森林環境譲与税基金繰入金、森林環境譲与税基金利子収入				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　元　年度　～　年度
目的	森林の適切な経営管理の確保を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林の整備及びその促進に関する必要な措置を講じる。
事業活動内容	①森林所有者や森林位置等の森林情報のデータ構築 ②森林の適正な経営管理の推進 ③みやざき林業大学校生への支援

成果指標	森林所有者に対する意向調査の回収率	単位	目標		実績	
		%	R2	60.0	R2	53.9
			R元	70.0	R元	63.8

活動指標	宮崎林業大学校生への住居支援	単位	目標		実績	
		件	R2	5	R2	5
			R元	5	R元	5

事業評価			
	市民のニーズ	高い	高齢化が進み、森林の適正な管理ができない所有者が増える傾向にあり、山の荒廃につながっている。
	市の関与の妥当性	妥当	森林経営管理法により、市町村が主体となって事業を行うこととなっている。
	成　　果	上がっている	森林経営管理システム導入により、林地台帳の精度の向上、意向調査及び意向調査の進捗率の向上につながっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	対象となる森林所有者への意向調査を行うとともに、林業大学生に対し、市営住宅への入居を支援することができた。
	コスト削減の可能性	ない	システムを導入をプロポーザル方式による業者選定を行ったことで、経費の削減と事務の効率化に努めた。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	管理不十分の山林が増え、山林の荒廃と、大雨による災害発生や環境悪化が懸念される。
	今後の方向性	拡充	森林環境譲与税を活用した各種事業を展開し、より一層の森林整備を推進する。

総評（課題・改善点）	森林経営管理法に基づく森林の適正な経営管理を継続して推進していくため、計画的な意向調査を実施し、森林整備を促進するとともに、林業従事者の育成・確保に努めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	02 ブランド推進課　0001 へべす・ブランド開発係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	03 日向地域のブランド確立推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
1206	その他の委託料	299,200			
1856166	日向市ブランド品目植栽事業補助金	926,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,513,000	1,231,800	0	281,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,200,000	31,800
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
オリーブの普及に向けた研究委託　299,200

事業期間	年度　～　年度
目的	日向地域のブランド確立推進を行うことで、ブランド品目の普及拡大と新規栽培者の確保、耕作放棄地の解消を図る。また、補助事業等を活用し、6次産業化に取り組む生産者を支援することを目的とする。
事業活動内容	ブランド品目の普及拡大のため、対象品目の苗木購入に係る一部助成や、新たなブランド品目確立のための研究委託事業を行った。 ①その他の委託料 オリーブの普及に向けた研究委託料 ②日向市ブランド品目植栽事業補助金 総合戦略に位置付けられたブランド品目及びブランド化に向けた取組をしている品目の苗木購入に係る経費の助成＜経費（税抜）の3分の1以内＞

成果指標	6次産業化実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	0
			R元	3	R元	0

活動指標	6次産業化に向けた相談件数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	1
			R元	5	R元	2

事業評価		
市民のニーズ	高い	近年、へべすの需要が高まっており、生産量の拡大に伴う、新規植栽が必要である。また、6次産業化は、生産物に付加価値をつけ、生産量や販売量の安定を図ることで所得向上につながる。
市の関与の妥当性	妥当	県と連携して、6次産業化の各種支援策の窓口になることは、必要である。
成　果	ある程度上がっている	へべすの新規植栽数は前年度を大幅に上回っており、成木時の生産量増加が見込める。
成果に向けた活動量	ある程度あった	相談件数は目標に届かなかったものの、県の6次産業化チャレンジ塾に2名の参加があり、今後の6次産業化の実現につながった。
コスト削減の可能性	ある程度ある	本市の気候にあった生産適性や需要等などを勘案し、対象ブランド品目の精査によりコスト削減の可能性がある。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	生産物に付加価値を与える6次産業化の取組は必要であり、アフターコロナを見据えた地域経済活性化に資する事業である。
今後の方向性	拡充	へべすの需要は高いため、ブランド品目植栽事業は継続し、6次産業化への支援も進めていく。

総評（課題・改善点）	
	農業者が単独で6次産業化に取り組むには、生産加工施設等への高額な設備投資が課題となるため、市内商工業者と連携した取組を支援し、各種補助事業へつなげる。また、ブランド品目植栽事業については、へべすのさらなる生産量増加に向けた取組として継続していく。 今後、稼げる産業振興を進めるため、農商工と連携した地場産品振興に取り組む必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	02 ブランド推進課　0001 へべす・ブランド開発係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	04 薬草の里づくり事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	16,000			
0802	普通旅費	19,500			
1001	消耗品費	8,882			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	0			
1103	手数料	101,606			
1206	その他の委託料	1,499,300			
1301	使用料及び賃借料	41,676			
1501	原材料費	18,915			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	16,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,083,000	1,722,379	0	360,621

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,600,000	122,379
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

薬草の里づくりに関する調査・研究等業務委託	998,800
薬草栽培実証展示圃管理業務委託	500,500

事業期間	平成　27　年度　～　令和　2　年度
目的	実証展示圃での試験栽培を通じて、優良品目を選定し、栽培方法を確立させ、熊本大学や県と連携して活用方法の研究や販路開拓を行う。また、観察会等イベントでの薬草PR、薬膳メニューの開発や試験販売などにも取り組み、地域活性化につなげる。
事業活動内容	実証展示圃での試験栽培や加工した薬草の製品化、薬膳の試作及び試験販売を行った。 ○講師謝金　薬膳料理試作講師謝金 ○出会謝金　薬草の里づくり研究会、薬膳協議出会謝金 ○委託費　薬用植物の自生調査、栽培技術指導、栽培管理、品目の流通・販路の選定 ○手数料　試作品開発

成果指標	製品化の数	単位	目標		実績	
		種類	R2	5	R2	2
			R元	5	R元	2

活動指標	薬草栽培面積	単位	目標		実績	
		ha	R2	1	R2	0.2
			R元	1	R元	0.3

事業評価			
	市民のニーズ	普通	薬草観察会については、市民の関心も高く参加枠を上回る申し込みがある。栽培や販売については、品目が選定され、今後安定した栽培と販路開拓が必要とされている。
	市の関与の妥当性	妥当	試験栽培の段階から本格栽培の段階へ向け、販路開拓など市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	栽培面積は減少したものの、日向市・東臼杵郡薬剤師会「やくそう会」と連携した販売や新商品開発の案件もあり、薬草の販路拡大が期待できる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	県外の事業者へ、サンプル提供などを行い、今後の新商品開発につながった。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	本格栽培の段階となり、熊本大学との試験栽培の業務委託費が軽減される。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	本格栽培に向け、生産量や販売量の安定が図れるまでは、販路開拓や薬草観察会の開催支援など、市の事業として継続する必要がある。
	今後の方向性	縮小	業務委託については、令和2年度で終了となるが、新商品開発、販路開拓、薬草観察会などで今後も薬草栽培を支援していく。

総評（課題・改善点）	薬草の試験栽培などの業務委託は終了となるが、品目を選定しての本格的な薬草栽培にて収入を確保し、薬草の里づくりを行っていくため、生産量の確保や販路開拓が課題となる。今後も、新商品開発や販路開拓、薬草観察会などを通じた広報活動などの取組を支援する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	02 ブランド推進課　0001 へべす・ブランド開発係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	02 地域資源を生かした特産物の振興
小事業	05 へべす振興対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856004	へべす振興対策事業補助金	4,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,500,000	4,500,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,500,000	0
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	本市の特産品である「へべす」の消費拡大に向け、県内外への販売活動やPR活動の強化を行い、へべすの取扱量と売上高の増加を目指す。また、新規就農者の受け入れや雇用の増加により、産地の維持・拡大を目指す。
事業活動内容	「日向のへべす消費拡大プロジェクト会議」が実施する、日向市の特産品「へべす」の消費拡大活動を支援した。 【主な内容】 ○プロジェクト会議の開催 ○県内外への販売促進活動・広報 ○「へべす」料理のレシピ本作成 ○宮崎産業経営大学との連携 ○へべす大使との連携・任命

成果指標		単位	目標		実績	
	へべすの出荷量	t	R2	200	R2	77
			R元	200	R元	83

活動指標		単位	目標		実績	
	へべす販促活動実施回数	回	R2	5	R2	4
			R元	5	R元	7

事業評価		
市民のニーズ	高い	へべすの認知度は向上しており、市の特産品としても市民に定着しているため、継続したへべすの振興が必要である。
市の関与の妥当性	妥当	本市発祥の香酸柑橘として、へべすの振興は市として必要であり、生産者、JA、県と連携した取組を継続する。
成　果	上がっている	天候不良の影響もあり、出荷量は減少したものの、引き合いが多く、単価は上がっているため、販促活動等の成果は上がっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍もあり、対面での活動は控えたが、オンラインイベントの開催やマスコミの活用による新たな販促活動を行った。
コスト削減の可能性	ない	宮崎県内でへべすを生産する地域が広がっており、市内の新規植栽も進んでいるため、出荷量が増える見込みで、単価を維持するために積極的な販促活動が必要である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	へべすの振興は、農業振興に加え、本市を代表する特産品として、本市のPRにも影響するので、継続して取り組む必要がある。
今後の方向性	維持	近年の新規植栽に伴う今後の出荷量増加に対し、生果に加え、加工品開発の支援を行い、へべすの付加価値の向上に取り組んでいく。

総評（課題・改善点）	近年の天候不良による出荷量の減少が課題であるものの、新規植栽面積は増えており、今後は出荷量の増加が見込まれるため、生果だけではなく、果汁や加工品の価値向上に関してJAや県、その他関係団体等と連携し、へべすの付加価値を高める必要がある。また、SNSやオンラインを活用した新たな販促活動を充実させ、都市圏に対しへべすの認知度向上に努め、需要拡大を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	02 ブランド推進課　0002 ブランド流通係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	02 ふるさと日向市応援寄附金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0719	返礼品代	174,273,574			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	137,939			
1006	印刷製本費	1,242,340			
1101	通信運搬費	8,547,584			
1103	手数料	98,137,280			
1104	広告料	1,958,000			
1205	システム開発等委託料	352,000			
1206	その他の委託料	9,016,868			
1301	使用料及び賃借料	5,700			
1825001	会議出席負担金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	328,297,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
621,972,000	621,968,285	0	3,715

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,000	621,949,285
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（システム開発等委託料）

ワンストップ特例申請関係改修委託	145,200
システム保守委託	110,000
システム改修委託	96,800

○委託料（その他の委託料）

ワンストップ特例申請データ作成業務委託	3,562,240
ふるさと納税寄附証明書及びワンストップ特例申請書の印刷封緘業務委託	3,473,748
楽天ふるさと納税サイト保守業務委託	792,000
ふるさと納税返礼品写真撮影及び写真加工業務委託	770,000
電話問合せ受付業務委託	418,880

事業期間	平成　20　年度　～　年度
目的	ふるさと納税返礼品に本市の地場産品を採用し、関連情報を広く発信することで、全国における消費拡大や販路拡大につなげる。 また、本市の事業について寄附者の賛同を得られる取組を行い、寄附につなげ、自主財源を確保する。
事業活動内容	本市にふるさと納税をした寄附者に、ポータルサイト上に掲載した地場産品を選択してもらい、お礼の品として産品を送ることで、本市のPRや地域産業の活性化を図った。 ①新たな返礼品や事業者の開拓 ②返礼品事業者連絡会の開催 ③Web広告や新聞折込広告の掲載 ④リーフレット「寄附金の使い道のご報告」の全寄附者配布 ⑤販路開拓に向けた事業者紹介パンフレットの配布 ⑥ワンストップ特例申請受付業務

成果指標		単位	目標		実績	
	ふるさと納税件数	件	R2	31,000	R2	32,743
			R元	25,000	R元	30,683

活動指標		単位	目標		実績	
	新たな返礼品の追加件数	件	R2	120	R2	153
			R元	36	R元	120

事業評価			
	市民のニーズ	高い	寄附受入れは、自主財源確保に直結しており、本市の事業遂行に寄与する。また、地場産品を全国の寄附者に贈呈することにより、地域産業の情報発信と事業者の販路拡大につながる。
	市の関与の妥当性	妥当	ふるさと納税制度は、地方税法上で定められたもので、自治体が主体となる制度である。
	成　果	上がっている	返礼品数を大幅に増加させたことで、寄附件数を前年度以上に伸ばすことができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	返礼品の追加件数は前年度をさらに超える実績となったほか、事業者に対し制度の説明を十分に行ったことで、寄附者から選ばれる返礼品の開拓につなげることができ、十分な活動ができた。
	コスト削減の可能性	ない	総務省告示第179号（平成31年4月1日）に定められた経費割合に沿った運営を行っており、効果的な広報活動等の経費が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	返礼品事業者の販路拡大の機会が減少するほか、市外への寄附分が税収の減になることから、自主財源確保に課題が生じると想定される。
	今後の方向性	拡充	返礼品事業者の販路拡大及び寄附者に対して本市の魅力を向上させる情報発信に取り組み、関係人口の増に努め、自主財源の確保につなげる。

総評（課題・改善点）	平成31年4月1日改正の新ふるさと納税制度の規定を遵守し、寄附者に向けた効果的な情報発信の継続や、魅力ある返礼品の開拓により、自主財源の確保につなげていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課　0002 都市企画係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	05 日向市立地適正化計画策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	112,500			
0802	普通旅費	37,680			
1001	消耗品費	0			
1005	食糧費	4,160			
1006	印刷製本費	0			
1204	調査・計画策定委託料	3,640,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,396,000	3,794,340	0	601,660

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,820,000	0	0	0	1,974,340
主な財源	コンパクトシティ形成支援事業補助金（集約都市形成支援事業費補助金）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市立地適正化計画策定業務委託　3,640,000

事業期間	令和　元　年度　～　令和　2 年度
目的	人口減少・高齢化が進展する中において、持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の市街地の形成を図るため、改正都市再生特別措置法に基づく「日向市立地適正化計画」を策定する。
事業活動内容	■立地適正化計画の策定 ・都市機能誘導・居住推進区域の設定 ・誘導施策の検討 ・防災指針の検討 ・目標値の検討 ・策定委員会の開催 （学識経験者3名、一般・市民11名） 2回

成果指標		単位	目標		実績	
	令和元年度に、都市機能誘導区域（都市の拠点となるべき区域）の絞り込み 令和2年度に、計画策定	―	R2	完了	R2	完了
			R元	完了	R元	完了

活動指標		単位	目標		実績	
	策定委員会（構成：学識経験者、団体、市民等）の開催	回	R2	3	R2	2
			R元	3	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	普通	歩いて暮らせる「コンパクト・プラス・ネットワーク」型都市構造の実現は、市民生活の利便性と安全性の向上につながる。
	市の関与の妥当性	妥当	都市再生特別措置法第81条において、「立地適正化計画」は市町村が策定することができると定められており、市の関与は妥当。
	成　果	上がっている	予定どおり年度内に計画を策定した。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍による延期や中止もあったが、計画策定に向け、学識経験者や関係機関の代表で構成する立地適正化策定委員会を2回開催するなどの活動を行った。
	コスト削減の可能性	ない	計画策定においては、コスト縮減は困難であるが、計画策定後は、居住や都市機能の集約による都市のコンパクト化を図ることにより、行政コストの縮減が期待できる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	人口減少・高齢化が進展する中において、都市のコンパクト化は必須である。
	今後の方向性	維持	計画内容に関する周知に努め、市民生活に必要な都市機能が拠点に集約され、拠点間が公共交通で結ばれた、「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造の早期実現を図る。

総評（課題・改善点）

コロナ禍により、策定委員会や市民説明会の延期を余儀なくされたが、国・県やコンサルタントとの協議におけるリモート会議の活用などにより、令和2年度中の計画策定を達成することができた。今後は、「都市計画マスタープラン」や他の関連計画と連携・整合を図りながら、市民や関係団体へ広く計画内容の周知を図っていくとともに、社会情勢の変化や地域の実情に応じた見直し等を行いながら、円滑な計画推進に努め、「コンパクト・プラス・ネットワーク」型都市の早期実現を目指していく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課　0003 技術調整係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	02 景観まちづくりの普及啓発
小事業	02 景観まちづくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1858013	日向市景観形成活動支援補助金	564,000
0701	講師謝金	0			
0702	出会謝金	140,000			
0716	記念品料	63,250			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	7,756			
1001	消耗品費	20,162			
1005	食糧費	800			
1006	印刷製本費	74,965			
1301	使用料及び賃借料	0			
1825002	研修会負担金	0			
1858008	日向市景観まちづくり推進事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,972,000	870,933	0	1,101,067

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	276,000	0	0	594,933
主な財源	美しい宮崎づくり推進事業（景観形成活動支援）補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
日向市景観形成活動支援補助金
・平岩遊歩道整備事業　112,000
・庄手区つつじ山整備事業　249,000
・国道327号沿線憩いの広場整備事業　203,000

事業期間	平成　18　年度　～　令和　年度
目的	市民一人ひとりが景観への意識を持ち、将来に向けた本市の良好な景観を守り育てていくとともに、地域全体のイメージを向上させ、さまざまな取組を通じて地域に愛着を持ち、更なる魅力を引き出し、地域の活性化を促すことを目的とする。
事業活動内容	令和2年度事業概要 ○ 景観セミナー　1回 ○ 景観賞選考及び表彰　1部門 ○ 景観アドバイザー協議　2回 ○ 景観形成推進事業　4地区

成果指標	景観に関する啓発・支援施策実施の参加人数	単位	目標		実績	
		人	R2	250	R2	105
			R元	270	R元	576

活動指標	景観講演会、景観セミナー、景観賞の表彰、景観アドバイザー相談会等	単位	目標		実績	
		回	R2	8	R2	4
			R元	8	R元	8

事業評価		
市民のニーズ	高い	平成24年度に創設した景観賞については定着し、令和2年度はコロナ禍でも多数の応募があり、景観講演会やセミナーにおいても毎年、多数の参加をいただいている。
市の関与の妥当性	妥当	景観条例に基づく事前協議や届出手続きに加え、市の誘導や啓発、情報発信の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により景観講演会の中止やセミナーの規模縮小による開催など影響が大きい中、景観賞のフォトエッセイコンテストにおいて多数の応募があった。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍による影響がある中、アドバイザー協議を活用した景観形成や活動団体の新規掘り起こしなど、限られた中でもある程度取り組むことができた。
コスト削減の可能性	ない	景観を活かしたまちづくりを推進するためには、更なる講演会やセミナー等のソフト事業の充実が必要である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の景観に対する意識の低下を招くこととなり、日向市の景観の悪化が懸念される。
今後の方向性	維持	事業の継続を基本とし、活動団体の増加を目指すとともに、活動に必要な予算を確保していく必要がある。

総評（課題・改善点）	良好な景観づくりには、景観に対する市民意識の向上が重要であり、啓発活動として景観賞や景観講演会、セミナーに取り組んできた。令和2年度は、コロナ禍により、一部イベントの中止を行ったが、活動団体の新規掘り起こしなどを行うことができた。今後も、地域固有の財産である景観を活かし、市民と行政のパートナーシップによる住民主体の景観づくりを推進するため、景観形成推進事業について協議を行い、活動支援補助金の周知・活用等を図りながら取り組んでいきたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	15 急傾斜地崩壊対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	1,901,349			
1401	建設工事費	0			
1601	土地購入費	116,793			
1802006	急傾斜地崩壊防止県営事業負担金	8,350,000			
2101	補償金	260,211			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,852,000	10,628,353	17,222,000	1,647

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	9,478,000	0	1,150,353
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
令和2年度　新財市地区急傾斜地崩壊対策事業　用地測量業務委託　1,243,621
令和2年度　新財市地区急傾斜地崩壊対策事業
用地登記業務委託（その1）外4件　657,728

○負担金
令和2年度　急傾斜地崩壊対策事業負担金　8,350,000

事業期間	年度　～　年度
目的	急傾斜地の崩壊による災害から、市民の生命・財産を保護するため、崩壊対策工事を行う。
事業活動内容	○測量設計調査（新財市地区） 用地測量　A＝4，500㎡　立竹木調査　N＝1式 ○県営事業負担金 新財市地区（法面工A＝1，269㎡）　岩崎地区（用地測量・設計）　本谷地区（地質調査・測量・設計） ■全体事業概要 新財市地区　L＝339．2m（県：L＝184．6m　市：L＝154．5m）　保全対象人家　N＝21戸 事業期間　平成29年度～令和2年度 岩崎地区　L＝196．5m（県営事業）　保全対象人家　N＝13戸 事業期間　令和元年度～令和5年度 本谷地区　L＝256．5m（県営事業）　保全対象人家　N＝11戸 事業期間　令和元年度～令和5年度

成果指標	急傾斜地崩壊対策事業が完了した保全人家数（県事業含む）	単位	目標		実績	
		戸	R2	13	R2	13
			R元	5	R元	4

活動指標	事業の協力体制の推進（説明会等の開催）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	異常気象や土砂災害警戒区域指定の進捗に伴い、市民の危機意識が高まり、土砂災害防止対策に対するニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	国による防災・減災を目的として推進される「国土強靭化」の一環として、総合的な土砂災害対策を図るため市の関与は必要である。
	成　果	上がっている	急傾斜地の崩壊防止整備を行い、保全人家数も着実に増加していることから、地域住民の安心・安全な生活環境の向上が図られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、事業説明会は開催出来なかったが、事業関係者に対するチラシ配布により理解と協力を得ることができた。また、市施工区間については、個別説明を行い用地取得が完了した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	新技術を積極的に活用するとともに、地域の実情を考慮した整備手法の選定により、事業のコスト縮減が図られる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	急傾斜地崩壊危険区域内の住民が、いつまでも安全・安心な生活環境の確保が図れないことから影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	事業の早期完成が最大の効果であることから、国・県の補助事業を活用し、事業の進捗を図る。

総評（課題・改善点）	近年の異常気象による災害の激甚化により、市民の防災・減災の意識向上から崖地崩壊等の危険性の高い地区からの要望が増加することが予想されることから、危険度、影響度など総合的に判断し、急傾斜地崩壊対策事業計画に基づいた計画的な事業進捗を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	01 南日向・日の平線改良事業（辺地）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	55,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	82,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1401	建設工事費	20,738,818			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,000,000	20,929,718	0	70,282

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	20,900,000	0	29,718
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
令和2年度　辺地対策事業南日向日の平線道路改良工事　20,738,818

事業期間	平成　11　年度　～　年度
目的	地域間の基幹道路として安全性や利便性を高めるため、当該路線の中別府地区から鵜毛トンネル間の拡幅整備を行う。
事業活動内容	○建設工事　L＝38m 側溝布設工　L＝4．0m 路側工　L＝37．0m 舗装工　A＝271㎡ ■全体事業概要 延長　L＝2，975m 総事業費　990，000千円 事業期間　平成11年度～（完成年度未定） 令和2年度末進捗率　約65% 【令和2年度末整備済延長　L＝1，934m】

成果指標	道路改良整備延長	単位	目標		実績	
		m	R2	130	R2	38
			R元	200	R元	300

活動指標	事業の協力体制の推進（説明会等の開催）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	道路の安全性、利便性の向上に対する地元からの要望があることから市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	道路法により、市が管理している道路であるため、市民生活や産業活動を支援していくため、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	路肩が崩壊した危険箇所の整備を行い、幅員の拡幅、排水及び安全対策を図り、安全性・利便性を向上させたが、整備延長は、目標に達しなかった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	地元の推進組織と整備にかかる協議を随時行っている。また、住民に対しては、「道づくりだより」を発行し情報提供を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	地域の実情や地形を考慮した整備手法の選定により、事業のコスト縮減が図られる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	交通の安全性確保や異常気象時での被害危険度が高まり住民生活に支障をきたすことが想定される。
	今後の方向性	維持	本路線は、長期継続路線となっていることから、重点整備路線と位置付け早期完了に努める。

総評（課題・改善点）	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として第3期道路整備計画（平成28年～令和2年）において優先整備路線と位置付けており、令和2年度末現在の進捗率は65%となっている。本路線の重要性を鑑み、次期計画（令和3年～令和7年）においても引き続き優先整備路線と位置付け、早期完成を目指す。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	02 臨時地方道整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	9,250			
1202	工事施工を伴う委託料	1,391,990			
1401	建設工事費	7,978,065			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,367,000	9,379,305	1,406,000	1,581,695

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	7,900,000	0	1,479,305
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
タブ峠交差点改良　用地測量等業務委託　1,061,990
タブ峠交差点　不動産鑑定業務委託　330,000

○建設工事費
令和2年度　向ヲ原山ノ口線道路改良工事　7,978,065

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市道路整備実施計画に基づき、産業、防災、市民生活等に影響が大きい路線について、その整備の優先順位を考慮しながら生活道路の整備を行い、安全安心な道路機能の向上と地域の活性化を図る。
事業活動内容	○向ヲ原山ノ口線　建設工事　L＝93m 側溝布設工　L＝49．4m ブロック積工　A＝33㎡ 舗装工　A＝523㎡ ○タブ峠用地調査　A＝17，000㎡ ○タブ峠土地鑑定　N＝1式 ■全体事業概要 全体計画延長　L＝360m 総事業費　65，000千円 事業年度　平成26年度～令和3年度 令和2年度末進捗率　約42% 【令和2年度末整備済延長　L＝151m】

成果指標	道路改良整備延長	単位	目標		実績	
		m	R2	93	R2	93
			R元	70	R元	60

活動指標	事業の協力体制の推進（説明会等の開催）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	道路の危険箇所の改善、利便性の向上に対する市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	道路法により、市が管理している道路であるため、市民生活や産業活動を支援していくため、市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	事業進捗に伴い離合箇所の確保等が可能となり、安全性・利便性ともに向上している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、事業説明会を開催することは出来なかったが、地元区長と協議し事業対象者への説明を行い、整備延長の進捗を図ることができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	地域の実情を考慮した整備手法の選定により、事業のコスト縮減が図られる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	交通の安全確保や地域の活性化及び産業の振興に支障をきたすことが想定される。
	今後の方向性	維持	向ヲ原山ノ口線については、令和3年度の完了見込みとなった。その他の路線についても、日向市道路整備実施計画に基づく市道整備を推進し、早期完了をめざす必要がある。

総評（課題・改善点）	第3期道路整備計画（平成28年～令和2年）で事業化した路線の早期整備を図るとともに、今後も、令和2年度に策定した第4期道路整備計画（令和3年～令和7年）に基づき、計画的な道路整備に取り組む必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	03 籾木線道路改良事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0203	一般職給料	704,000			
0802	普通旅費	11,700			
1001	消耗品費	26,000			
1004	燃料費	120,000			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	82,000			
1101	通信運搬費	124,000			
1401	建設工事費	31,794,738			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,000,000	32,862,438	0	137,562

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	15,400,000	0	11,337,000	0	6,125,438
主な財源	社会資本整備総合交付金（籾木線）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費
令和2年度　社会資本整備総合交付金事業籾木線道路改良工事　31,794,738

事業期間	平成　19　年度　～　年度
目的	平岩地区中心部から籾木集落を結ぶ現道の拡幅整備を行い、交通の円滑化と通学路としての安全性の向上、併せて道路整備による地域の活性化と人的交流の促進を図る。
事業活動内容	○建設工事　L＝131m 法面工　A＝618㎡ 側溝布設工　L＝99．5m 舗装工　A＝643㎡ ■全体事業概要 延長　L＝1，611m 総事業費　653，124千円 事業期間　平成19年度～（完成年度未定） 令和2年度末進捗率　約72% 【令和2年度末整備済延長　L＝1，162m】

成果指標	道路改良整備延長	単位	目標		実績	
		m	R2	160	R2	131
			R元	160	R元	109

活動指標	事業の協力体制の推進（道づくりだよりの発行）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	道路の危険箇所の改善、利便性の向上に対する市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	道路法により、市が管理している道路であるため、市民生活や産業活動を支援していくため、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	施工内容の変更により整備延長は減となったが、舗装、排水及び安全対策等の一体的な整備が図られたことから、安全性・利便性ともに向上している。
	成果に向けた活動量	十分であった	地元の推進組織と整備にかかる協議を随時行っている。また、住民に対しては、「道づくりだより」を発行し情報提供を行っている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	地域の地形を考慮し、大型構造物等の設置を減らすなどの整備手法を選定することで、事業のコスト縮減が図られる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	交通の安全確保や地域産業の活性化に支障をきたすことが想定される。
	今後の方向性	維持	本路線は、長期継続路線となっていることから、重点整備路線と位置付け早期完了に努める。

総評（課題・改善点）	本路線は、地区間を結ぶ主要な生活道として第3期道路整備計画（平成28年～令和2年）において優先整備路線と位置付けており、令和2年度末現在の進捗率は72%となっている。本路線の重要性を鑑み、次期計画（令和3年～令和7年）においても引き続き優先整備路線と位置付け、早期完成を目指す。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理
事業 小事業	06 塩見美々津線道路改良事業(社会資本整備総合交付金)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	28,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,000,000	28,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	15,400,000	0	12,600,000	0	0
主な財源	社会資本整備総合交付金（塩見美々津線）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇建設工事費
令和2年度　社会資本整備総合交付金事業塩見美々津線歩道整備工事　28,000,000

事業期間	平成　25　年度　～　令和　4　年度
目的	市道塩見美々津線（広域農道）の権現原地区周辺には、学校や医療機関、支援学校があり、通学生や周辺を散策する歩行者が多いことから、交通の円滑化と歩行者の安全性確保のため歩道を整備する。
事業活動内容	〇建設工事 笹子橋側道橋　下部工（A2橋台） 鋼管杭打込工　N＝4本　コンクリート工　V＝39m3　土留工　N＝1式 歩道拡幅部　施工延長　L＝22．0m 擁壁工　L＝12．0m　舗装工　A＝85㎡ ■全体事業概要 延長　L＝310m 総事業費　180，000千円 事業期間　平成25年度～令和4年度 令和2年度末進捗率　約55% 【令和2年度末整備済延長　L＝172m】

成果指標	道路改良整備延長	単位	目標		実績	
		m	R2	20	R2	20
			R元	20	R元	0

活動指標	事業の協力体制の推進（関係者との実施協議）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	周辺に、学校、病院が散在しており、歩道整備による歩行者等への安全性確保に対する要望があることからニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	道路法により、市が管理している道路であるため、市民生活や産業活動を支援していくため、市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	歩道橋の橋台整備を優先したため、整備延長としての進捗率は上がらなかったが、事業の進捗としては概ね予定どおりの成果と言える。
	成果に向けた活動量	十分であった	歩道橋の橋台整備に伴い、隣接する関係者への説明を行い、作業ヤードの提供など事業への協力が得られた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	移転補償物件の少ない車道西側に歩道を配置し、コスト削減を行っている。歩道橋についても、経済比較により工法を決定し、経費削減に努めている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本路線は、山間部より、用材林を搬出する大型車両の交通量が増加傾向にあり、歩行者等の安全確保の観点から市民への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	令和元年度より歩道部の橋梁設置工事を行っているが、令和3年度に完了し、令和4年度までに事業計画区間の完了見込みとなった。

総評（課題・改善点）	本路線周辺には、学校や病院等の施設が点在し歩行者の利用も多く歩行者の安全確保の観点から、第3期道路整備計画（平成28年～令和2年）において整備路線に位置付け、年次的に整備を進めているところであり、引き続き次期道路整備計画（令和3年～令和7年）においても優先整備路線と位置付け、令和4年度の完成を目指す。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0003 土木建設係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	14 蕨野稲葉野線（交付金）道路改良事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	48,998			
1007	光熱水費	0			
1202	工事施工を伴う委託料	316,888			
1401	建設工事費	25,504,261			
1601	土地購入費	156,512			
2101	補償金	434,296			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,000,000	26,460,955	0	539,045

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,000,000	0	13,400,000	0	60,955
主な財源	地方創生道整備推進交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
令和2年度　蕨野稲葉野線道路改良事業用地登記業務委託（その1）　198,473
令和2年度　蕨野稲葉野線道路改良事業用地登記業務委託（その2）　118,415

○建設工事費
令和2年度　地方創生道整備推進交付金蕨野稲葉野線道路改良工事　25,504,261

事業期間	令和　元　年度　～　令和　2 年度
目的	市道蕨野稲葉野線は、稲葉野地区と田野地区を結ぶ市道で、国道446号にアクセスする生活幹線道路であり、林道庵登線と併せて整備することで、地域産業の活性化や生活環境の改善を図る。
事業活動内容	○建設工事　L＝172．8m 側溝布設工　L＝26m 舗装工　A＝691㎡ 法面工　A＝1，007㎡ ■全体事業概要 全体計画延長　L＝205m 総事業費　36，700千円 事業年度　令和元年度～令和2年度 令和2年度末進捗率　100% 【令和2年度末整備済延長　L＝205m】

成果指標	道路改良整備延長	単位	目標		実績	
		m	R2	179	R2	179
			R元	50.0	R元	26.0

活動指標	事業の協力体制の推進（説明会等の開催）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	道路の危険箇所の改善、利便性の向上に対する要望があることから市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	道路法により、市が管理している道路であるため、市民生活や産業活動を支援していくため、市の関与は必要である。
	成　果	ある程度上がっている	道路幅員の拡幅、法面の風化防止、道路排水対策等の道路改良により安全性・利便性ともに向上している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、事業説明会を開催することは出来なかったが、事業関係者に対し、個別訪問を行い工事内容の説明を行ったことで、理解を得ることができ、事業用地を取得することができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	地域の実情を考慮した整備手法の選定により、事業のコスト縮減が図られる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	交通の安全確保や地域産業の活性化に支障をきたすことが想定される。
	今後の方向性	終了	国の交付金を活用し、事業を完了することができた。

総評（課題・改善点）	本路線は、交通ネットワークの向上や森林施業の円滑化を図るため、第3期道路整備計画実施計画（平成28年～令和2年）に位置付け整備が進められ、令和2年度末に事業が完了した。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	02 道路維持費		

事業 大事業	34 利便性の高い道路の整備
事業 中事業	02 市道の整備と維持管理
事業 小事業	09 市道維持管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	4,640	1401	建設工事費	36,993,130
1001	消耗品費	396,918	1402	維持補修工事	28,000,000
1003	消耗品費被服	102,000	1501	原材料費	5,779,971
1004	燃料費	420,339	1702	機械器具費（事業執行用）	5,804,325
1006	印刷製本費	0	1825002	研修会負担金	33,825
1008	修繕料	9,456,700	2601	国に対する公課費	46,500
1103	手数料	90,623			
1106	火災保険料	8,756			
1107	自動車損害保険料	103,355			
1201	施設維持管理委託料	28,094,356			
1202	工事施工を伴う委託料	357,720			
1301	使用料及び賃借料	634,134			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
116,654,000	116,327,292	0	326,708

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,000,000	0	37,200,000	0	72,127,292
主な財源	防災・安全社会資本整備交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○ 委託料

市道路肩除草業務委託　ほか14件	23,523,676
道路等除草業務委託（地域委託）23件	4,570,680
向江町排水対策　1件	357,720

○ 工事請負費（建設工事）

日知屋財光寺通線舗装工事　ほか27件	64,993,130
・建設工事　18件	
・維持補修工事　10件	

事業期間	年度　～　年度
目的	市道の適切な維持管理により、円滑で安全な交通網を確保する。
事業活動内容	市道1，291路線（591km）のパトロールや修繕等を行った。 【令和2年度事業内容】 ○修繕料　小規模な市道補修、その他管理施設の修繕 ○施設維持管理委託料　市道の除草、トンネル保守点検 ○その他の委託料　街路樹の管理 ○工事費　市道の舗装補修（日知屋財光寺通線、富高塩見線ほか） 市道側溝の整備（大王町3号線、平岩跨線橋線ほか） ○原材料費　道路補修材の購入、地区への里道等整備の材料支給

成果指標	市道補修件数	単位	目標		実績	
		件	R2	390	R2	1,074
			R元	390	R元	1,230

活動指標	パトロール日数	単位	目標		実績	
		日	R2	230	R2	141
			R元	230	R元	145

事業評価			
	市民のニーズ	高い	道路は、市民の生活や経済活動を支える根幹的な施設であるため、適正な維持管理に対する市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市は、道路管理者として、市道を安全かつ円滑に通行できる状態にして供用する責務がある。
	成　果	上がっている	請負に加え直営補修を行いながら、市民ニーズに応えるべく優先順位を付し取り組んでいるが、要望数の増加等により、応急的な対応となった箇所もあった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	度重なる台風接近や豪雨の対応に追われ、計画的なパトロールの実施には至らなかった。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	施設の老朽化により、多くの市道の補修が必要となるが、予防的保全への本格的な移行により、維持管理費の縮減と平準化は可能である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民生活を支える市道を安全かつ円滑に通行できる状態を維持していくためには、継続的な取組が必要である。
	今後の方向性	拡充	予防的保全へ本格的に移行することにより、維持管理費の縮減や平準化を図る。

総評（課題・改善点）	
	市民生活を支える道路を安全で円滑に通行できる環境を提供するため、増加する施設の異常に対し効率的なパトロール体制の充実による事故の未然防止、予防保全型による計画的な維持補修が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	04 橋りょう維持費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	08 橋梁長寿命化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	48,152			
1007	光熱水費	100,000			
1202	工事施工を伴う委託料	53,724,783			
1402	維持補修工事	64,766,168			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
119,011,272	118,644,303	0	366,969

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	64,297,000	0	43,150,000	0	11,197,303
主な財源	社会資本整備総合交付金(橋梁長寿命化事業)				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○ 委託料

補修設計業務	後田橋（北町亀崎線）	935,000
耐震設計業務	田の原大橋（塩見美々津線）　ほか1橋	33,339,000
橋梁点検業務	41橋	19,450,783

○ 工事費

補修工事	赤岩2号橋（塩見美々津線）　ほか3橋	45,779,128
補修工事（繰）	美々津歩道2号橋（美々津歩線）	18,987,040

事業期間	平成　26　年度　～　年度
目的	橋梁の定期点検及び予防的な補修を重ねることで、安全安心な交通環境を確保するとともに、架替えに伴う長期の交通制限等、社会的な損失の軽減を図る。また、橋梁の耐震性の向上を図り、交通の安定化及び市民の生命と財産を守る。
事業活動内容	○橋梁長寿命化事業 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、定期点検と予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図った。 【 計画対象橋梁：212橋 】 ○橋梁耐震化整備事業 緊急輸送道路である市道塩見美々津線内の橋梁（10橋）の耐震化対策を実施し、安心して利用できるインフラ施設の確保を目指した。

成果指標	補修完了橋梁数	単位	目標		実績	
		橋	R2	3	R2	3
			R元	4	R元	4

活動指標	橋梁点検数	単位	目標		実績	
		橋	R2	40	R2	41
			R元	30	R元	40

事業評価		
市民のニーズ	高い	橋梁は、川や道路等で隔てられた地域間をつなぎ市民生活に必要不可欠な役割を果たしていることから、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	市は、橋梁の管理者として、安全かつ円滑に通行できる状態にして供用する責務がある。
成　　果	上がっている	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修や落橋防止対策を実施し成果は上がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	計画的に橋梁の点検を実施し、状態を把握することで、対策を実施するために必要な情報が得られた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	予防的保全へと本格的に移行することにより、維持管理費の縮減と平準化を推進する。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民生活を支える橋梁を安全かつ円滑に通行できる状態を維持していくためには、継続的に維持補修に取り組む必要がある。
今後の方向性	拡充	「日向市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に点検や補修等を実施していく。

総評（課題・改善点）	今後、更に加速する施設の老朽化に伴い、コストの増加が懸念されることから点検結果を踏まえ施設の健全度・補修の優先順位を見極めながら、橋梁長寿命化計画に基づき効率的な長寿命化対策、予算の平準化による事業推進が重要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	04 橋りょう維持費		

事業	大事業	34 利便性の高い道路の整備
	中事業	02 市道の整備と維持管理
	小事業	15 [R01国補正]橋梁長寿命化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	9,000,000			
1402	維持補修工事	30,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,000,000	39,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	21,450,000	0	17,500,000	0	50,000
主な財源	社会資本整備総合交付金(橋梁長寿命化事業)				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○ 委託料
補修設計業務　後田橋（北町亀崎線）　3,300,000
耐震設計業務　薬師谷橋（塩見美々津線）　5,700,000

○ 工事費　補修工事
余瀬大橋（塩見美々津線）　8,220,000
後田橋（北町亀崎線）　21,780,000

事業期間　平成　26　年度　～　年度

目的
橋梁の定期点検及び予防的な補修を重ねることで、安全安心な交通環境を確保するとともに、架替えに伴う長期の交通制限等、社会的な損失の軽減を図る。また、橋梁の耐震性の向上を図り、交通の安定化及び市民の生命と財産を守る。

事業活動内容
○橋梁長寿命化事業
橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、定期点検と予防保全型の修繕を計画的に行い、維持管理費のトータルコストの抑制と平準化を図った。
【 計画対象橋梁：212橋 】

○橋梁耐震化整備事業
緊急輸送道路である市道塩見美々津線内の橋梁（10橋）の耐震化対策を実施し、安心して利用できるインフラ施設の確保を目指した。

成果指標	補修完了橋梁数	単位	目標		実績	
		橋	R2	3	R2	3
			R元	－	R元	－

活動指標	橋梁点検数	単位	目標		実績	
		橋	R2	40	R2	41
			R元	－	R元	－

事業評価		
市民のニーズ	高い	橋梁は、川や道路等で隔てられた地域間をつなぎ市民生活に必要不可欠な役割を果たしていることから、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	市は、橋梁の管理者として、安全かつ円滑に通行できる状態にして供用する責務がある。
成　果	上がっている	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修や落橋防止対策を実施し成果は上がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	計画的に橋梁の点検を実施し、状態を把握することで、対策を実施するために必要な情報が得られた。
コスト削減の可能性	ある程度ある	予防的保全へと本格的に移行することにより、維持管理費の縮減と平準化を推進する。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民生活を支える橋梁を安全かつ円滑に通行できる状態を維持していくためには、継続的に維持補修に取り組む必要がある。
今後の方向性	拡充	「日向市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に点検や補修等を実施していく。

総評（課題・改善点）
今後、更に加速する施設の老朽化に伴い、コストの増加が懸念されることから点検結果を踏まえ施設の健全度・補修の優先順位を見極めながら、橋梁長寿命化計画に基づき効率的な長寿命化対策、予算の平準化による事業推進が重要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	04 幡浦地区住環境整備事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	23,642			
1003	消耗品費被服	3,410			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	70,000			
1101	通信運搬費	25,000			
1202	工事施工を伴う委託料	229,207			
1401	建設工事費	13,523,052			
1601	土地購入費	2,318,400			
2101	補償金	8,980,089			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,031,551	25,178,000	1,720,186	133,365

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	11,996,000	0	11,400,000	0	1,782,000
主な財源	社会資本整備総合交付金（幡浦住環境整備事業）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費

白浜線道路改良工事(その1)	649,000
白浜線道路改良工事(その2)	9,673,062
白浜線道路舗装工事	3,110,790
樹木伐採工事	90,200

事業期間	平成　15　年度　～　令和　3　年度
目的	良好な住環境を形成すると同時に、火災時などの消火活動の困難性を解消し、住民が安心して暮らせるまちづくりを目指すため、事業地区内の道路・排水路等の施設整備を行う。
事業活動内容	事業地区内の道路・排水路等の施設整備を行うことにより、防災道路及び生活道路としての機能強化や安全性及び利便性の向上を図った。 ○建設工事 令和2年度　道路完成延長　L＝105.6m（W＝6.0m） ■全体事業概要 延長　L＝1,455m 総事業費　604，121千円 事業期間　平成17年度～令和3年度 令和2年度末進捗率　約98．5% 【令和2年度末整備済延長　L＝1，336m】

成果指標	道路改良進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	98.5	R2	98.5
			R元	96.0	R元	95.7

活動指標	事業の協力体制の推進（説明会等の開催）	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	住宅密集地内の狭小道路及び排水路等を整備し、住環境や防災機能の向上を図る事業であるが、地区住民も高齢化しているため、地元からの早期完成の要望も多い。
	市の関与の妥当性	妥当	本事業は、市管理の道路整備を行うものであり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	事業の進捗により生活環境や防災機能の改善が進み、道路拡幅に伴い家屋の建て替えなども可能になった。また、地区内において新たな企業進出や住宅の新築も見られるようになった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、全体会ではなく、事業対象者に個別説明を行った。さらに、用地取得に関しては地権者の協力も得られ、令和3年秋の事業完了が見通せる事業進捗が図られた。
	コスト削減の可能性	ない	事業も終息段階を迎えており、新たなコスト縮減の可能性は低い状況である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業は区域内を一体的に整備する手法で行うため、事業途中で休止、廃止した場合には、機能上問題が残る。
	今後の方向性	終了	当初予定した計画よりも進捗が遅れているため、令和3年秋の完成を確実なものとしたい。

総評（課題・改善点）	住環境や防災機能の改善は、地区住民の悲願であるが、厳しい財政状況のなか事業の長期化が課題であったものの、令和2年度実績より令和3年度中の事業完了が見通せる事業進捗となっている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0007 事業調整係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	01 土木総務費		

事業	大事業	34 利便性の高い道路の整備
	中事業	01 広域交通網の整備促進
	小事業	02 東九州自動車道協力事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	13,200			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	19,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1814032	道づくりを考える日向・門川女性の会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
198,000	36,100	0	161,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	36,100
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	平成　17　年度　～　年度
目的	東九州自動車道及び九州中央自動車道の全線整備に向け、積極的な取組を行うことにより、高速道の必要性と整備効果を広くアピールし、関係団体への要望活動による事業推進を図る。
事業活動内容	東九州自動車道及び九州中央自動車道の全線整備に向け、関係機関への要望活動や推進団体の講演会、研修会、交流会への参加を支援した。 あわせて「道づくりを考える日向・門川女性の会」との連携を図りながら、高速道路整備のための予算獲得について国、県、ネクスコ等への提言活動を行った。 ○全国みちづくり女性団体（WEB）要望活動参加 ○県内みちづくり女性団体（書面）要望

成果指標	東九州自動車道県内供用率	単位	目標		実績	
		%	R2	73.1	R2	73.1
			R元	73.1	R元	73.1

活動指標	国・県等への要望活動	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	東九州自動車道の早期の4車線化や、未開通区間の早期完成については、経済団体や市民からの整備促進を望む声が多く、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	行政機関や民間団体、さらに女性の会が連動して県内の高速道路の整備促進に係る要望活動を継続することに意義があり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	県内の高速道路の整備は順調に進んでおり、女性の会の活動は国、県からも注目されていることから、十分な成果があるといえる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、例年の要望活動、促進大会等の通年行事が中止となったが、新たに全国みちづくり女性会議のWEB要望活動への参加や、女性の会県内9団体による書面要望活動を実施した。
	コスト削減の可能性	ない	活動量を維持するため予算は必要となるが、移動手段については適切な交通機関の利用を図っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	早期の高速道路整備に係る重要な活動であり、市民への効果は大きいと考えている。
	今後の方向性	維持	県内の高速道路の整備は順調に進んでおり、女性の会の活動は国、県からも注目されている。今後も女性の会の事務局として活動を支援しながら高速道路の早期整備に取り組む必要がある。

総評（課題・改善点）	コロナ禍により、例年実施する要望活動、促進大会が中止となったものの、WEB会議による要望活動への参加や女性の会による要望活動への支援が重要であると考えている。 令和元年9月には東九州自動車道の日向～都農間が4車線化の優先整備区間に選定され、今後は早期着手に向けた要望を展開したいと考えている。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業		
	大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
	中事業	01 良好な住環境の整備
	小事業	財光寺南土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0203	一般職給料	9,100,000	1301	使用料及び賃借料	49,170
0301	職員手当	900,000	1401	建設工事費	262,959,000
0802	普通旅費	35,100	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	808,166	2101	補償金	635,721,324
1003	消耗品費被服	186,080			
1004	燃料費	260,000			
1006	印刷製本費	26,730			
1007	光熱水費	572,282			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	340,000			
1103	手数料	6,963			
1202	工事施工を伴う委託料	75,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,112,867,725	986,564,815	125,187,401	1,115,509

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	491,914,000	0	477,038,000	0	17,612,815
主な財源	社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、都市再生区画整理事業				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和2年度財光寺南地区仮換地変更及び確定測量等業務委託	18,492,222
令和2年度財光寺南地区土壌汚染調査業務委託	13,291,905
令和2年度財光寺南地区建物（調査算定）業務委託（その3）	3,724,916
令和2年度財光寺南地区建物（調査算定）業務委託（その5）	4,831,921
令和2年度財光寺南地区建物（調査算定）業務委託（その6）	4,968,109

○工事請負費

令和2年度財光寺南地区築造工事（その1）外10件	221,543,300
令和2年度財光寺南地区舗装工事（その1）外2件	41,415,700

事業期間	年度　～　年度
目的	本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられており、日向市の発展の一翼を担う地区として、公共・公益施設の体系的な整備改善を行う。 あわせて、民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安心・安全で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。
事業活動内容	○工事施工を伴う委託料 ・建物調査算定　N＝48棟 ・換地諸費（街区画地測設等）　N＝1式 ・土壌汚染調査業務　N＝1式 ・道路詳細設計　L＝500m ○建設工事費 ・宅地造成　V＝10，962㎥ ・道路舗装　A＝12，305㎡ ・幹線排水路整備　L＝237．8m ○補償金 ・家屋移転　26戸33棟

成果指標	財光寺南土地区画整理事業地における、新築や増築の件数（経済波及効果）	単位	目標		実績	
		件	R2	30	R2	52
			R元	30	R元	51

活動指標	財光寺南土地区画整理事業地における、宅地造成の面積	単位	目標		実績	
		㎡	R2	16,000	R2	16,847
			R元	16,000	R元	11,818

事業評価			
	市民のニーズ	高い	施行区域内の建物移転については、令和4年度末の移転完了を目標に実施しており、要移転対象者の早期着手の要望も高い。
	市の関与の妥当性	妥当	「日向市立地適正化計画（令和3年6月公表）」において、居住機能を中心として快適かつ機能的で良好な住宅地整備を図る必要がある。
	成　　果	上がっている	公共施設の整備改善と併せて、民有空間の整備が図られることで、未利用地の解消につながっている。また、地区内外から居住用地を求める購入者も増えている。
	成果に向けた活動量	十分であった	建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	土地区画整理事業の全体事業費において、建物移転補償の占める割合が大きいことから、経済的な移転計画に基づいた事業を実施する。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	面的整備のため、事業途中で休止、若しくは廃止した場合、完了箇所と未整備箇所の住環境に格差が生じ、また、個人の財産管理に支障をきたす等の不利益が生じる。
	今後の方向性	維持	事業も長期化しているため、令和4年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

総評（課題・改善点）	本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域における「財光寺拠点地区」に位置付けられており、今後、人口減少社会が見込まれる中、「コンパクト＋ネットワーク」型に対応した都市構造の実現を目指し、引き続き脆弱な都市基盤の総合的な整備改善及び良好な住環境の整備を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0003 街なか整備係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	02 土地区画整理事業費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	駅周辺土地区画整理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	115,200	1201	施設維持管理委託料	232,200
0203	一般職給料	7,900,000	1202	工事施工を伴う委託料	37,939,307
0301	職員手当	500,000	1301	使用料及び賃借料	11,900
0802	普通旅費	192,060	1401	建設工事費	49,468,018
1001	消耗品費	187,678	1501	原材料費	17,222
1004	燃料費	114,000	1601	土地購入費	80,676,392
1005	食糧費	5,000	1825002	研修会負担金	0
1006	印刷製本費	0	2101	補償金	376,208,604
1007	光熱水費	400,000	2201	償還金	0
1008	修繕料	224,000			
1101	通信運搬費	228,000			
1108	その他の保険料	109,320			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
686,947,000	554,528,901	131,213,396	1,204,703

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	262,046,000	37,000,000	161,040,000	0	94,442,901
主な財源	社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、都市再生区画整理事業、公共施設管理者負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（工事施工を伴う委託料）

令和2年度日向市駅周辺地区事業・実施計画変更及び確定測量等業務委託	12,123,444
令和2年度日向市駅周辺地区建物等算定業務委託	6,994,764
令和2年度日向市駅周辺地区建物等再算定業務委託	4,972,000
令和2年度日向市駅周辺地区営業等調査業務委託	1,533,400
令和2年度日向市駅周辺地区市有地除草業務委託	156,200

○工事請負費

令和2年度日向市駅周辺地区築造工事（その1）	841,645
令和2年度日向市駅周辺地区築造工事（その2）	1,674,080
令和2年度日向市駅周辺地区舗装工事（その1）	24,593,672
令和2年度日向市駅周辺地区舗装工事（その2）	21,587,631

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市駅を中心とする中心市街地は、宮崎県北地方拠点都市地域において「日向市生活・文化交流拠点地区」に位置付けられ、人、物、情報の集発散拠点となる「地域の顔」、「まちの顔」としての役割を担うことから、公共施設の整備改善とあわせて土地の高度利用の促進、商店街の再構築を行い、賑わいのある中心市街地の創出を図る。
事業活動内容	○調査・計画策定委託料 ・換地諸費（換地設計・画地測設等）　1式 ・建物・営業算定　N＝8戸 ○建設工事費 ・排水工　L＝42．0m ・舗装工　A＝1，024㎡（アスファルト舗装＝735㎡、石張舗装＝289㎡） ○補償費 ・建物移転　5戸8棟

成果指標	駅周辺土地区画整理事業地における、商業や居住用地の整備率	単位	目標		実績	
		%	R2	65	R2	66
			R元	64	R元	65

活動指標	駅周辺土地区画整理事業地における、宅地造成の面積	単位	目標		実績	
		㎡	R2	1,148	R2	2,104
			R元	1,500	R元	1,709

事業評価			
	市民のニーズ	高い	賑わいのある中心市街地の創出と活性化に寄与する事業であり、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	宮崎県北地方拠点都市地域「日向市生活・文化交流拠点地区」としての都市整備を図る必要がある。
	成　果	上がっている	店舗等への民間投資により魅力ある街が再構築され、コンパクトなまちづくりが進んでいる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	地権者との協議により、一体的な宅地整備が可能となり、事業進捗が図られた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	土地区画整理事業の全体事業費において、建物移転補償費の占める割合が大きいことから、経済的な移転計画に基づいた事業を実施する。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	面的整備のため、事業途中で休止、若しくは廃止した場合、完了箇所と未整備箇所の住環境に格差が生じ、また、個人の財産管理にも支障をきたす等の不利益が生じる。
	今後の方向性	維持	事業も長期化しているため、事業完了に向けて建物移転を中心に整備を進める。

総評（課題・改善点）	県道土々呂日向線本町工区において建物移転及び歩道整備により事業の早期完成に向けて進捗が図られた。今後も、県道整備及び建物移転を優先し、旭通り区（22・23街区）の早期完成を図る。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	03 花と緑あふれるまちづくりの推進
小事業	03 全市緑花推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	2,057,810			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	161,535			
1201	施設維持管理委託料	3,172,200			
1401	建設工事費	0			
1501	原材料費	0			
1825004	水道新設負担金	0			
1838005	全市緑花推進協議会補助金	2,257,000			
1858011	全市公園化事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,100,000	7,655,045	0	1,444,955

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,000	7,643,045
主な財源	みどりのまちづくり基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和2年度　公共花壇管理業務委託（1工区）	2,640,000
令和2年度　公共花壇管理業務委託（2工区）	305,800
令和2年度　県道日知屋財光寺線伐採業務委託	128,700
令和2年度　県道日知屋財光寺線沿道修景業務委託	96,800

○補助金

令和2年度　全市緑花推進協議会補助金（花苗支給、肥料、チラシ等）	2,257,000

事業期間　平成　28　年度　～　年度

目的

本市が持つ自然、歴史及び文化等の地域資源を活かした緑化や花づくりを積極的に推進し、市民との協働により地域の活性化や、市全域を緑と花による豊かな美しい憩いの場となることを目指す。

事業活動内容

市全域において、市民との協働により、地域資源を活かした緑花事業に取り組みながら、花と緑あふれるまちづくりを推進した。

○公園化拠点（日向岬ゾーン）修景業務
・過年度伐採箇所維持管理　N＝7箇所・米ノ山眺望箇所伐採　N＝2箇所・馬ヶ背遊歩道　N＝2箇所
○沿道修景軸整備
・金ヶ浜園地　（地元の園地管理支援：草刈り・雑木伐採6回）
・中央通線修景工事（クスノキ剪定N＝3本、ナンキンハゼ支障枝除去N＝172本）
○花づくりイベント
・ひまわり絵画展（2回実施：保育園の部、幼稚園の部）
・花壇コンクール（応募数：4部門、8個人、14団体）
・花苗、花種の支給（花苗支給本数16，585本）
・コンテナガーデン展（出品数49点）

成果指標	植栽や花づくり等への緑化参画者数	単位	目標		実績	
		人	R2	1,125	R2	905
			R元	1,120	R元	1,206

活動指標	緑化や花づくりに関するイベント数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	7
			R元	10	R元	10

事業評価

市民のニーズ	高い	市民の緑花や花づくりに対する関心は高く、また緑花活動に参加する団体もあり、全市緑花推進事業補助金等を活用した緑化に取り組むなど、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	公園化拠点ゾーンや沿道修景軸等の整備並びに民有地の緑花を推進し、来訪者の増加による地域の交流と活性化を図るうえで、市の積極的な関与が必要である。
成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍の中、花木の植栽や街路樹の植栽桝等への草花植栽等の活動に対して、地域住民や市民の参加が維持されており、ある程度成果は上がっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、イベントの規模縮小を余儀なくされる中、ひまわり絵画展、花壇コンクール、コンテナガーデン展等のイベントにより市民の緑花に対する意識向上に寄与した。また花苗の配布により民有地への緑花推進が浸透した。
コスト削減の可能性	ある程度ある	全市緑花推進事業では、苗木代の補助により民有地内の緑花を図っており、今後は、公共用地内の樹木や草花の日常的な維持管理について、地元自治区等と協働で行うことを協議している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	日向岬を代表とした魅力的な「日向らしい」空間の創出が失われる為、観光振興等にも影響が及ぶことが予想される。
今後の方向性	維持	緑花の推進により、市民に安らぎを与え、憩いの場としての活用が図られるとともに、緑豊かな美しい都市空間となり来訪者の増加を促す。

総評（課題・改善点）

全市緑花推進事業計画に基づいた各公園化拠点ゾーンの整備や沿道修景軸等の整備を推進し、市民との協働による維持管理体制の構築が必要となる。
令和2年度に東京オリンピック聖火リレーの沿道修景を市民ボランティアで実施した。今後の市民活動による地域の活性化や憩いの場の創出に寄与した。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	04 街路事業費		

事業	大事業	34 利便性の高い道路の整備
	中事業	02 市道の整備と維持管理
	小事業	12 高砂通線改良事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	12,840			
1001	消耗品費	14,902			
1004	燃料費	16,000			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	0			
1202	工事施工を伴う委託料	295,537			
1401	建設工事費	15,859,775			
1601	土地購入費	1,660,948			
2101	補償金	1,953,306			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,754,000	19,813,308	806,300	134,392

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,950,000	0	6,700,000	0	11,163,308
主な財源	社会資本整備総合交付金(高砂通線改良事業)				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
- 令和2年度　高砂通線所有権移転登記（N＝2件）　33,715
- 令和2年度　高砂通線分筆登記（N＝1件）　52,822
- 令和2年度　高砂通線用地測量業務委託　209,000

○工事請負費
- 令和2年度　高砂通線築造工事　7,287,133
- 令和2年度　高砂通線舗装工事　8,572,642

事業期間	平成　15　年度　～　令和　2　年度
目的	市民の生活環境の向上を図るため、基盤施設である街路整備を行い、安全で円滑な交通網を確保する。
事業活動内容	○委託料 ・登記委託　N＝1式 ・用地測量　A＝699㎡ ○建設工事費 ・道路改良工　L＝110m　W＝18m ・道路舗装工　A＝560㎡ ○補償費 ・工作物　N＝1式 ○用地費 ・1筆　A＝31．88㎡

成果指標	道路改良進捗率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	91.5	R元	91.5

活動指標	事業の協力体制の推進（関係者との実施協議）	単位	目標		実績	
		回	R2	2	R2	2
			R元	3	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	JR日豊本線により分断された東西地区の連携や、市東部住宅地と中心市街地を結ぶ道路ネットワーク上から、バイパス整備のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	中心市街地と重要港湾細島港を結ぶ重要な幹線道路である為、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	令和2年度で事業は完成し、供用開始済みである。
	成果に向けた活動量	十分であった	日向土木事務所、及び日向市文化交流センター等の沿線関係者と事前協議を行い、円滑に工事完成に導いた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	現場状況を考慮した施工方法の選定により、事業のコスト縮減が図られると考える。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	道路予定地内の用地買収を終えているなかで、道路供用を休廃止した場合には、沿線地権者の土地利用に支障が生じる。
	今後の方向性	終了	3工区の事業認可に向けて、予算の確保を行う。

総評（課題・改善点）	今後は、国道10号から市役所に至る未整備区間（3工区：市道天神山通線～県道～市役所～草場大曲通線）について、都市機能、及び防災機能の強化を図るための必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係		
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	04 街路事業費

事業	大事業	34 利便性の高い道路の整備
	中事業	02 市道の整備と維持管理
	小事業	16 [R01国補正]高砂通線改良事業（社会資本整備総合交付金）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	50,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,000,000	50,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	25,000,000	0	25,000,000	0	0
	主な財源	社会資本整備総合交付金(高砂通線改良事業)			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

令和2年度　高砂通線管路施設改修工事	10,833,120
令和2年度　高砂通線築造工事	28,710,000
令和2年度　高砂通線舗装工事	10,456,880

事業期間	平成　15　年度　～　令和　2　年度
目的	市民の生活環境の向上を図るため、基盤施設である街路整備を行い、安全で円滑な交通網を確保する。
事業活動内容	○建設工事費 ・ボックスカルバート　L＝17．5m ・道路改良工　L＝110m　W＝18m ・道路舗装工　A＝683㎡

		単位	目標		実績	
成果指標	道路改良進捗率	%	R2	100	R2	100
			R元	―	R元	―

		単位	目標		実績	
活動指標	事業の協力体制の推進（関係者との実施協議）	回	R2	2	R2	2
			R元	―	R元	―

事業評価			
	市民のニーズ	高い	JR日豊本線により分断された東西地区の連携や、市東部住宅地と中心市街地を結ぶ道路ネットワーク上から、バイパス整備のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	中心市街地と重要港湾細島港を結ぶ重要な幹線道路である為、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	令和2年度で事業は完成し、供用開始済みである。
	成果に向けた活動量	十分であった	日向土木事務所、及び日向市文化交流センター等の沿線関係者と事前協議を行い、円滑に工事完成に導いた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	現場状況を考慮した施工方法の選定により、事業のコスト縮減が図られると考える。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	道路予定地内の用地買収を終えているなかで、道路供用を休廃止した場合には、沿線地権者の土地利用に支障が生じる。
	今後の方向性	終了	3工区の事業認可に向けて、予算の確保を行う。

総評（課題・改善点）	今後は、国道10号から市役所に至る未整備区間（3工区：市道天神山通線～県道～市役所～草場大曲通線）について、都市機能、及び防災機能の強化を図るための必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	02 お倉ヶ浜総合公園整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	55,426,852			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
55,426,852	55,426,852	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	26,800,000	0	24,000,000	0	4,626,852
主な財源	社会資本整備総合交付金（お倉ヶ浜公園）				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇工事請負費
令和元年度　お倉ヶ浜総合公園芝生広場整備工事（繰越）　55,426,852

事業期間	平成　15　年度　～　令和　2　年度
目的	市民のスポーツの振興と健康増進を図るための総合公園として、広く市民に活用されており、施設利用者ニーズに応えられる都市公園として施設の充実を図りながら、併せてプロスポーツキャンプ誘致の推進により新たな集客が見込まれる。
事業活動内容	〇芝生広場整備に係る工事費 ・グラウンド整備工　A＝7，600㎡

成果指標	お倉ヶ浜総合公園の整備率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標	お倉ヶ浜総合公園用地の取得率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

事業評価			
	市民のニーズ	高い	多様化する市民ニーズは、スポーツ振興と健康増進につながる施設の充実を求める声が高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	市の中心となる総合公園にかかる施設整備であり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	施設整備は計画的に進行し、目標を達成している。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業は完了している。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	造成工事における盛土材の再利用によりコスト縮減につながっている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民利用をはじめ、各種大会等の誘致に向けて支障となるため、休廃止は望ましくない。
	今後の方向性	終了	芝生広場整備工事を計画どおり完成させたことで、市民のスポーツ振興と健康増進を図る。

総評（課題・改善点）	芝生広場の施設整備を実施したことにより、市民のスポーツ振興と大規模大会の誘致につなげ、施設の有効活用を図る。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	05 都市公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	316,319			
1004	燃料費	98,166			
1007	光熱水費	2,967,731			
1008	修繕料	1,051,567			
1103	手数料	59,000			
1106	火災保険料	42,838			
1107	自動車損害保険料	14,378			
1201	施設維持管理委託料	18,150,712			
1301	使用料及び賃借料	194,400			
1402	維持補修工事	4,327,056			
1501	原材料費	202,189			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,706,000	27,426,956	0	1,279,044

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	344,000	27,082,956
主な財源	自動車損害共済災害共済金、自動販売機電気料、建物総合損害共済災害共済金、賃貸借物品LED公園街灯修繕保険料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和2年度　都市公園等区管理業務	4,565,000
令和2年度　公園樹木等管理業務委託	5,755,332
令和2年度　公園法面草刈業務	1,617,000
令和2年度　樹木等管理（河川堤緑地）　5箇所	2,750,000

○工事請負費

令和2年度　平野街区公園　大便器修繕工事	195,800
令和2年度　御鉾ヶ浦公園トイレ屋根改修工事	1,710,500
令和2年度　4区緑地帯高木伐採工事	273,916
令和2年度　お倉ヶ浜総合公園　野球場スタンド屋根災害復旧工事	242,000

事業期間	年度　～　年度
目的	都市公園等の施設の充実を図るとともに、施設の点検・清掃等による安全かつ快適なレクリエーションの場の提供を目指す。 また、地震・津波等の有事の際には、避難場所となる公園の施設の充実を図る。
事業活動内容	○施設維持管理委託料 ・トイレ管理　N＝55箇所 ・区管理公園　N＝61箇所 ・遊具点検　N＝62箇所 ○建設工事 ・御鉾ヶ浦公園トイレ屋根改修工事　N＝1式 ・お倉ヶ浜総合公園　野球場スタンド屋根災害復旧工事　N＝1式 ・細島4区緑地帯高木伐採工事　N＝1箇所

成果指標	健康遊具の設置公園数	単位	目標		実績	
		箇所	R2	1	R2	3
			R元	1	R元	1

活動指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 地元区との意見交換の実施	回	R2	1	R2	3
	令和元年度 健康福祉部（関係課）との検討会議の実施		R元	1	R元	1

事業評価		
市民のニーズ	高い	快適な公園環境に対する市民ニーズは高い。また、多様化する公園利用への新たな施設の充実を求める要望も多い。
市の関与の妥当性	妥当	都市計画法上の「都市計画施設」に位置付けられた施設整備であることから市の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	健康遊具を3公園6基設置し、高齢者の公園の利用促進ならびに健康への意識づけに寄与している。
成果に向けた活動量	十分であった	地元区と意見交換を行い、設置箇所や遊具の選定に参考にしている。
コスト削減の可能性	ない	公園の管理を自治区に委託しており、維持管理において大幅なコスト縮減を継続中である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民のレクリエーションや憩いの場としての施設・空間であり、快適な利用を促すには公園施設の整備・維持は重要である為、休止・廃止による市民への影響は大きい。
今後の方向性	維持	コロナ禍の中、市民の健康を保つため、安全かつ安心して快適に利用できる身近な公園環境を保全することが必要である。

総評（課題・改善点）	老朽化した遊具の改修、及び健康遊具の配置を行うことで、安全かつ快適なレクリエーションの場の提供が図られた。しかしながら、遊具の老朽化は年々進行しており、今後の遊具改修については取捨選択を迫られることが予想され、すべての市民ニーズに応えることが難しくなってきている。また、高齢化等の影響による公園管理が困難になる自治区も生じているため、今後、持続可能な維持管理に対する検討が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0005 街なか活性化係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	02 コンパクトな拠点の整備
小事業	01 中心市街地活性化対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	10,400			
1001	消耗品費	7,421			
1006	印刷製本費	0			
1825002	研修会負担金	0			
1837015	中心市街地活性化協議会運営補助金	380,000			
1857012	空き店舗対策事業補助金	1,993,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,970,000	2,390,821	0	579,179

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,390,821
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	日向入郷圏域の顔として、中心市街地の賑わい創出と交流人口及び定住人口の増加を目指し、中心市街地の活性化を推進する。
事業活動内容	○中心市街地活性化協議会運営補助金 ・まちゼミ事業推進、通行量調査、空き店舗調査等 ○空き店舗対策事業補助金 ・家賃補助7件（うち、新規補助3件） ○中心市街地イベント連絡協議会活動支援（14団体） ・団体間の情報交換、総合調整等

成果指標	中心市街地において、新規に出店した店舗の数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	2

活動指標	街なかで開催された、イベントの回数	単位	目標		実績	
		回	R2	90	R2	69
			R元	90	R元	74

事業評価		
市民のニーズ	高い	中心市街地に蓄積されている地域資源や遊休資産の既存ストックを有効活用する等、地域が主体となってまちづくりに取り組んでいる。
市の関与の妥当性	妥当	地域が一体となって活性化に取り組んでいるため、市の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	空き店舗の有効な活用が促進され、街なかの賑わい創出に寄与している。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、市民イベントが中止するなか、関係機関と連携した取り組みを行い、空き店舗の有効活用が図られた。
コスト削減の可能性	ない	中心市街地活性化基本計画に基づき各種事業に取り組んでいるため、予算規模を維持し、関係団体等と連携を図りながら計画的に実施していくことが求められる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	少子高齢化や担い手の減少問題が懸念されるなか、取組事業の休廃止はコロナ禍も相まって、中心市街地の活性化に大きな影響を及ぼすことが想定される。
今後の方向性	維持	関係団体等と連携を図りながら各種事業を推進することにより、賑わいあふれるまちづくりを進めていく。

総評（課題・改善点）	日向市中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業は、概ね順調に進捗しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績が目標値を下回った。 今後もハードとソフトの両輪で事業を継続しながら、時勢に合わせた事業の見直しも進めていく。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安心な住宅環境の形成
小事業	02 建築行為等に係る道路拡幅整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	36,000			
1206	その他の委託料	3,278,289			
1402	維持補修工事	880,000			
2101	補償金	386,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,650,000	4,580,689	0	69,311

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,207,000	0	0	0	2,373,689
主な財源	社会資本整備総合交付金(県地域住宅計画)				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
登記業務（31件）　3,278,289

○工事請負費
建築行為に伴う道路拡幅工事（1件）　880,000

○補償、補填及び賠償金
工作物補償金（4件）　386,400

事業期間	年度　～　年度
目的	建築基準法第42条第2項により、建築物を幅員4m未満の狭い道路（みなし道路）に接して建築する場合は、みなし道路の中心より2m後退しなければならない。 建築行為に伴う後退を円滑かつ確実に進めることにより、将来的に4mの道路幅員を確保し、緊急時の消防及び避難活動に支障をきたさない防災面に優れた安全な住環境の向上を図る。
事業活動内容	○道路後退用地の寄付採納による分筆・所有権移転委託　分筆15件、所有権移転登記16件 ○道路後退用地の整備費　5箇所　62．13㎡ ○道路後退用地の工作物等の補償費　ブロック塀3件、土留め1件

成果指標	道路幅員4m未満の後退部分の寄付申出数	単位	目標		実績	
		件	R2	15	R2	14
			R元	15	R元	14

活動指標	建築相談時の本事業推進の説明及び誘導	単位	目標		実績	
		回	R2	15	R2	19
			R元	15	R元	15

事業評価			
	市民のニーズ	高い	みなし道路は、道路中心線から2m敷地を後退させることが建築要件となり、市民の生活用道路又は避難通路としての役割を果たすことからニーズが高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市に所有権移転されることにより、道路内の工作物再築造や抵当権設定がされないことから将来にわたって幅員が確保され、防災上からも市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	毎年寄附申出が目標件数程度あり、安全な道路空間の確保が図られている。
	成果に向けた活動量	十分であった	みなし道路での建築行為発生時に事業概要説明、寄付依頼を行っている。
	コスト削減の可能性	ない	単価設定がされた公共嘱託登記委託と、1件当たりの施工量が少ない舗装工事や工作物除却のため、コスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	みなし道路対象者について、経済的負担が増し影響が大きい。防災上からも市民への影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	安全な住宅市街地の形成や建築確認・不動産取引時のトラブル防止による建築活動の円滑化を図るため、継続して取り組む必要がある。

総評（課題・改善点）

みなし道路を接道とする建築行為時に必要な整備であり、年度毎の件数に変動がある。また、委託・用地整備と補償費の交付金の負担割合が違うため、予算の調整が難しい。後退用地の舗装整備が後退当該年度内に実施出来ず、数年遅れての実施が続いていることから、予算の充実が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係		
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	02 建築指導費

事業	大事業	31 快適な住宅環境の整備
	中事業	02 安心な住宅環境の形成
	小事業	05 日向市木造住宅耐震化促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,920			
1006	印刷製本費	0			
1206	その他の委託料	48,000			
1858002	日向市木造住宅耐震診断促進事業補助金	5,378,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,431,000	5,429,920	0	1,080

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,664,000	1,107,000	0	0	1,658,920
主な財源	社会資本整備総合交付金(県地域住宅計画)、県木造住宅耐震化推進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
木造住宅耐震診断アドバイザー派遣業務（12件）　48,000

○負担金、補助及び交付金
木造住宅耐震診断補助金（7件）　378,000
木造住宅耐震改修補助金（5件）　5,000,000

事業期間	年度　～　年度
目的	木造住宅の耐震化を図ることにより、災害に強いまちづくりを推進するとともに、地震災害後の復旧費等の公費投入の低減化を図る。
事業活動内容	昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断、耐震補強設計及び耐震改修に要する費用の一部補助及びアドバイザーの派遣を行った。 ○木造住宅耐震診断アドバイザー派遣業務（12件） ○木造住宅耐震診断補助金（7件） ○木造住宅耐震改修補助金（5件）

成果指標	耐震改修実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	5	R2	5
			R元	5	R元	5

活動指標	耐震改修につながる、アドバイザー派遣、耐震診断件数向上のための説明会等の市民広報活動	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	0
			R元	6	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	昭和56年5月以前の住宅も多く、各地で地震が頻発していることもあり、建物倒壊や損壊の危険性も高いことからニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の生命、身体及び財産の保護につながることから市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	事業開始後数年は改修実施件数が2件／年であったが、現在は5件／年程度を継続している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により説明会等については中止としたが、広報掲載、チラシ配布、木造住宅耐震診断士との情報交換等で周知を図っている。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	1件当たりの工事費を削減し、事業費を維持したまま改修実施件数を増加させるため、安価な耐震工法の周知を図っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	耐震改修に伴う経済的な負担が大きくなり、改修工事を断念することが考えられる。
	今後の方向性	拡充	南海トラフ巨大地震に備え、災害に強いまちづくりが必要であり、耐震改修促進計画の耐震化率目標達成には更なる取組が必要である。

総評（課題・改善点）

南海トラフ巨大地震の発生が予見され、住まいの減災対策は重要な課題となっている。安価な工法の周知、耐震診断士の充実等、更なる取組が必要である。
現在は居住者がいる住宅を補助の対象としているが、既存ストックの有効活用・空き家問題対策から空き家も対象とすることを検討する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課　0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安心な住宅環境の形成
小事業	10 日向市危険ブロック塀等除却推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1858014	日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金	1,560,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,560,000	1,560,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	780,000	312,000	0	0	468,000
主な財源	社会資本整備総合交付金(県地域住宅計画)、県木造住宅耐震化推進事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○負担金、補助及び交付金	
日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金（14件）	1,560,000

事業期間	年度　～　年度
目的	登下校時の児童の安全確保を図るとともに、地震時の避難路の確保や救助活動の妨げとなるのを防ぎ、災害に強いまちづくりを推進する。
事業活動内容	小学校から概ね半径500mの範囲における倒壊の危険性の高いブロック塀等の除却について補助を行った。 ○日向市危険ブロック塀等除却推進事業補助金（14件）

成果指標	危険ブロック塀等除却件数	単位	目標		実績	
		件	R2	10	R2	14
			R元	5	R元	7

活動指標	啓発チラシポスティング件数	単位	目標		実績	
		件	R2	150	R2	150
			R元	150	R元	150

事業評価			
	市民のニーズ	高い	通学路に危険ブロック塀等も多く、除却に対する要望も多いことから市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の生命、身体及び財産の保護につながることから市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	所有者の問題意識は潜在的にあり、行動の起因となった。目標件数以上の実績を達成し成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	広報掲載時は問い合わせが少数であったが、適正管理のチラシを対象者へ直接ポスティングしたことにより効果が現れた。
	コスト削減の可能性	ない	補助費の上限設定がなされた除却工事費に対する民間補助であり、削減の余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	対象者については経済的負担が増し、影響が大きい。
	今後の方向性	拡充	基本的には所有者の責任において除却するべきものではあるが、経済的な負担の問題から進捗していない。市民の安全性確保のため拡充が必要である。

総評（課題・改善点）	
	平成30年の大阪府北部地震以降、除却が進んでいるが、未だに市内一円に多数残存している。除却・補強の推進に合わせて、設計・施工業者に対する法令遵守の徹底、地震発生時の安全確保行動の周知等が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0004 建築係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	大事業	31 快適な住宅環境の整備
	中事業	02 安心な住宅環境の形成
	小事業	11 住宅マスタープラン策定事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	18,000			
1006	印刷製本費	0			
1204	調査・計画策定委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,400,000	18,000	7,350,000	32,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	18,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	令和　2　年度　～　令和　3　年度
目的	日向市の地域特性、住宅事情などから住生活の安定向上に関する課題を明らかにし、これをもとに住宅施策を計画的かつ総合的に推進するための基本となる住宅マスタープラン（住生活基本計画）を改定する。
事業活動内容	住宅マスタープラン改定のため、各部門の係長または主査クラスの職員で庁内における「地域共生・住宅ストック政策検討チーム」、「地域防災・建築マネジメント政策検討チーム」を立上げ議論を行った。 また、住宅マスタープラン改定のためのプロポーザル審査会を実施し、委託業者の決定を行った。

成果指標	計画の改定	単位	目標		実績	
		－	R2	改定	R2	R3へ繰越し
			R元	－	R元	－

活動指標	計画策定に向けたワーキング・検討委員会の実施	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	0
			R元	－	R元	－

事業評価			
	市民のニーズ	高い	生活の基盤である「住まい」に関する取組であり、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	総合的な住宅施策を推進するために、市が積極的に関与し、住宅セーフティネットの充実を図る必要がある。
	成　　果	上がっていない	国の「住生活基本計画」が令和3年3月に改定されたことから、令和2年度中の改定を見送った。
	成果に向けた活動量	不十分であった	プロポーザル方式を採用し、日向市の地域特性・住宅事情に沿った計画となるよう取組を行ったが、ワーキング・検討委員会については実施できなかった。
	コスト削減の可能性	ない	高度な検討が必要なことから、削減の余地はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	これからの住宅施策の基礎となるもので、計画的な住まいづくりの推進のために不可欠である。
	今後の方向性	維持	住宅セーフティネットを担う「居住支援協議会」の設立に向けて継続して取り組む必要がある。

総評（課題・改善点）	住宅セーフティネットの取組は他部局との連携が重要となるため、部局間を超えた施策の検討を行い、先進地の事例を参考にしながら、日向市の地域特性にあった取組が重要となる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課　0011 空家対策推進係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	03 空き家の適正管理と活用
小事業	01 日向市空家等対策推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	153,600	1825002	研修会負担金	0
0104	会計年度任用職員報酬	1,476,228	1858010	日向市空家等対策推進事業補助金	1,810,000
0301	職員手当	207,901			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	248,869			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	37,500			
0801	費用弁償	5,640			
0802	普通旅費	11,760			
1001	消耗品費	52,720			
1005	食糧費	1,624			
1006	印刷製本費	31,900			
1101	通信運搬費	161,000			
1206	その他の委託料	2,501,688			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,171,000	6,700,430	0	470,570

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,104,000	0	0	2,113,000	3,483,430
主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）、建築指導手数料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市空家等対策計画改定支援業務委託	1,793,000
空き家所有者等特定業務委託	451,288
空家等緊急安全措置業務委託	257,400

○負担金補助及び交付金

日向市空家等対策推進事業補助金（危険空家の除却工事費補助）	1,810,000

事業期間	平成　27　年度　～　年度
目的	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼし社会問題となったことから、適正管理の依頼等により所有者等の意識の向上を図るとともに、特定空家等や危険空家の除却及び空家等の利活用を推進する。
事業活動内容	①苦情・相談のあった空き家の所有者等へ適正管理依頼件　23件 ②特定空家等の所有者等への助言・指導　9件 ③危険空家の除却工事費の補助　3件 ④周辺の生活環境等へ悪影響を及ぼすおそれのある特定空家等の認定　5件 ⑤日向市空き家等情報バンクの運営　新規登録18件　成約9件 ⑥日向市空家等対策計画の改定 ⑦空き家の実態調査 ⑧区長へ空き家に関するアンケート調査を実施　90件 ⑨細島地区、美々津地区の空き家の所有者等へ管理や利活用意向のアンケート調査を実施　214件

成果指標	空家等に関する支援事業（危険空家の除去）の実施件数	単位	目標		実績	
		件	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	2

活動指標	倒壊や建築材の飛散などの危険がある空き家への指導件数	単位	目標		実績	
		件	R2	106	R2	95
			R元	124	R元	133

事業評価		
市民のニーズ	高い	適正な管理が行われていない空き家は、周辺の生活環境に与える影響が大きく苦情・相談も多いことから市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	周辺の生活環境に悪影響及ぼす空き家等は、所有者等の特定が困難なことが多く、市が積極的に関与し、助言・指導等する必要がある。
成　　果	ある程度上がっている	今年度は予定された3件について除却を行った。除却費用について負担が大きいため、補助金の相談も増えている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	苦情や相談のあった空き家は、所有者等に適正管理を文書等で依頼したが、未登記や連絡の取れない所有者等があった。
コスト削減の可能性	ない	特定空家等、危険な空き家及び適正な管理が行われていない空き家が多いことからコスト縮減はない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	所有者等の特定が難しくなり、適正な管理が行われない空き家が増加する。
今後の方向性	拡充	所有者等へ適正管理の依頼や特定空家等の認定による助言・指導を行うとともに、空き家の状態が長期化しないように除却や利活用を支援する必要がある。

総評（課題・改善点）

空家対策窓口の一元化によって、空き家の適正管理や除却の取組のほか、所有者等の特定から利活用の働きかけを円滑に行うことができるようになった。

これまでの取組を見直し改定した日向市空家等対策計画に基づき、地域や事業者と連携した空き家の管理や流通促進に取り組むとともに、特定空家等については、所有者等へ適切な助言・指導等を行い、除却や改善を促す必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	01 中山間地域の活性化
小事業	01 中山間地域振興事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1808065	過疎地域振興協議会負担金	10,000			
1808068	全国過疎地域自立促進連盟負担金	42,840			
1852021	過疎地域振興基金事業補助金	571,000			
2403	その他特定目的基金積立金	21,060,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,684,000	21,683,840	0	160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	21,000,000	631,000	52,840
主な財源	過疎地域振興基金繰入金、過疎地域振興基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金 （過疎地域振興基金事業補助金）

牧水公園ソフトテニス交流合宿事業	7,000
福瀬の歴史・伝統・文化の伝承による地域活性化推進事業	564,000

事業期間	年度　～　年度
目的	著しい人口減少及び高齢化の進行により地域社会の活力低下が危惧される中山間地域の自立活動を促進し、住民が安心して住み続けられる地域環境の形成を図る。
事業活動内容	○過疎地域振興基金事業 ①過疎地域振興基金事業補助金　571千円（補助額：予算の範囲で対象事業費の3／4以内） 過疎地域において、地域住民や市民活動団体等が自ら主体となって行う地域の自立促進に資する事業に対し補助金を交付した。 ②過疎地域振興基金積立金　21，060千円(うち過疎債10／10) 過疎債を活用した事業を実施するため、過疎地域振興基金への積立を行った。

成果指標	単位	目標		実績	
地域住民等が主体となって行う事業の数	件	R2	7	R2	2
		R元	7	R元	6

活動指標	単位	目標		実績	
地域支援・連携のための協議回数	回	R2	24	R2	20
		R元	24	R元	20

事業評価		
市民のニーズ	高い	地域課題解決のための手法としてニーズはある。
市の関与の妥当性	妥当	過疎地域振興基金を活用した、地域の活性化に資するための事業として位置づけており、市の関与は不可欠である。
成　　果	ある程度上がっている	地域の史誌編纂による歴史・文化伝承活動などの取組が見られ、地域活力の向上につながっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	市のホームページや広報誌、区長会での事業紹介によって周知を図っている。
コスト削減の可能性	ない	「日向市過疎地域自立促進計画」に位置づけられた事業であることや、補助対象事業の審査の段階（審査会）で事業計画・事業費を精査していることからコスト削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	地域住民や団体が行う地域活性化に向けた取組を支援する事業であり、地域活力の低下が予想される。
今後の方向性	維持	過疎地域の持続的発展に向け、地域活性化、事業実施団体及び次代を担う人材等の育成に繋がる事業であり、継続した支援が必要である。

総評（課題・改善点）

令和2年度過疎地域振興基金事業補助金の活用実績は、コロナ禍によって目標を大きく下回った。ただし、潜在的な数としては、例年と同等の申請団体数が見込まれていたところである。各団体の会員の減少や高齢化などもあり、新たな提案団体が増えない状況にあることから、地域力を養うための団体等の支援方法を検討する必要がある。

また、令和3年度に「日向市東郷地域振興計画」を策定することから、基金の有効活用についても検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	01 消防団活性化の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0105	消防団員報酬	28,476,833			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	23,258,000			
0716	記念品料	82,950			
0801	費用弁償	20,980			
1001	消耗品費	3,660			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	3,680			
1839001	消防団分団運営補助金	180,000			
1839002	消防団部運営補助金	1,188,000			
1839003	消防団本部運営補助金	3,057,744			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,707,000	56,271,847	0	1,435,153

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	21,538,000	34,733,847
主な財源	消防団員退職報償金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	団幹部の各種会議等への参加により近隣市町村との連携強化を図る。 また、団員の指導的立場にある幹部、部長等を各種研修会等へ派遣することで、消防団組織の資質の向上が図られ、結果的に消防団の活性化に繋がることが期待できる。 さらに団員の処遇を改善することで、消防団組織の強化及び活性化を図る。
事業活動内容	○消防団活動の活性化に係る事務処理を行った。 1. 団員報酬の支出 団長以下921名に支給 2. 退職団員への退職報償金の支給 支給該当団員45名 3. 団員を対象とした会議及び各種研修会への派遣 団幹部研修、普通救命講習会等 4. 消防団本部、分団、部の運営支援

成果指標	団員数	単位	目標		実績	
		人	R2	950	R2	918
			R元	980	R元	923

活動指標	加入促進（広報）等	単位	目標		実績	
		回	R2	20	R2	12
			R元	20	R元	17

事業評価		
市民のニーズ	高い	地域防災の中心的立場であり、住民の期待も大きくニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	消防団は日向市が管理する組織である。
成　果	上がっている	団員の確保は厳しい状況にあるが、バイク隊の結成など、団幹部とも協議し取組を継続している。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍で加入活動については制限があったが出来る範囲で活動を行った。
コスト削減の可能性	ない	消防団が活動するために、現状の予算維持は必要である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業を休廃止した場合は、消防団組織運営や地域防災力に影響を及ぼす。
今後の方向性	維持	分団・部の再編成などを検討して、組織の強化を図る。

総評（課題・改善点）	地域人口が減少する中、消防団員も年々減少しており、団員確保は厳しい状況である。団員確保及び団員加入のために行事の見直しや処遇改善など消防体制の整備が必要になる。消防団員の加入については、女性や若者に対して目標値を定め勧誘活動を行うことにしている。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課　0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	02 非常備消防装備の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	36,190			
1003	消耗品費被服	3,299,230			
1008	修繕料	175,047			
1702	機械器具費（事業執行用）	497,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,107,000	4,007,667	0	99,333

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	536,000	0	330,000	3,141,667
主な財源	地域消防防災活動支援事業費補助金、消防団員等公務災害補償等共済基金助成金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	消防防災活動を安全かつ円滑に遂行するために必要な資器材の整備等を行い、被害の軽減や二次災害の防止を図る。
事業活動内容	○消防団活動に必要な資器材の整備を行った。 1. 消耗品の購入支給 ・小型ポンプ用バッテリー、真空オイル、藤かご等 ・消防団員の被服や安全靴等の購入 2. 活動に必要な装備の購入貸与 消耗した装備品の更新及び総務省の示す「非常備消防装備の基準」に則り年次的に整備 ・活動服120着 3. 活動に必要な資器材の配備 ・簡易型デジタル携帯無線機12機

成果指標	消防団の装備の配備【総務省配備基準等含配備数】品目数	単位	目標		実績	
		品目	R2	18	R2	16
			R元	18	R元	16

活動指標	装備品の配備(更新等)数	単位	目標		実績	
		品	R2	9	R2	6
			R元	9	R元	6

事業評価		
市民のニーズ	高い	消防団員の装備品を整備し、災害対応に生かされることが市民の安全に繋がる。
市の関与の妥当性	妥当	市が管理する組織であり、装備等の経費についても妥当である。
成　果	上がっている	消耗した装備品の更新により、消防団員の安全確保はもとより士気向上にも繋がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	現状は維持できている。
コスト削減の可能性	ない	現状からの経費の削減は厳しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	日向市の防災活動に大きく影響する。
今後の方向性	拡充	老朽化した資器材の更新が必要である。一般財源のほか、補助金及び助成金などを活用して資器材整備を図っていく。

総評（課題・改善点）	資器材や装備品の整備については、国や県の助成事業等を有効に活用し計画的に整備を進めている。老朽化した資器材については活用状況等を検証し、計画的な更新が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	03 非常備消防の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0404	消防団員に係る保険料	2,078,163			
0502	非常勤職員災害補償費	34,718			
0801	費用弁償	15,911,809			
1001	消耗品費	57,099			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	32,890			
1103	手数料	3,460			
1301	使用料及び賃借料	15,200			
1805001	宮崎県消防協会負担金	303,568			
1806005	宮崎県消防協会日向支部負担金	292,000			
1815010	退職報償金負担金	18,816,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,655,000	37,544,907	0	2,110,093

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	35,000	37,509,907
主な財源	消防団員等公務災害補償費				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	団員が安心して業務に従事することができるよう公務災害に対する補償を充実する。 また、消防団活動を円滑に行うための環境を整備し、消防団員の資質の向上を図るとともに非常備消防業務の健全な運営を行う。
事業活動内容	○消防団関係の諸事務処理を行った。 1. 公務災害等補償に係る保険加入（消防団員等公務災害補償等基金負担金） 2. 消防団員の会議や行事等への参加に対する支援 ・新旧部長会議 3. 消防団活動に係る費用の弁償（出動手当） 4. 各種負担金の支出 ・宮崎県消防協会負担金、日向支部負担金、退職報償金負担金

成果指標	出動人員	単位	目標		実績	
		人	R2	7500	R2	6,896
			R元	7,500	R元	7,484

活動指標	出動（大規模訓練等）回数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	0
			R元	10	R元	9

事業評価			
	市民のニーズ	高い	消防団に対する市民の期待は大きく、消防団に対する補償等の充実が必要である。
	市の関与の妥当性	妥当	市が管理する組織であり、市の関与は妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍で消防団員の研修等は実施できなかったが、各部で自主訓練等を行っていた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	消防団全体での訓練等は出来なかったが、各分団・各部毎に計画を立てて活動を行っていた。
	コスト削減の可能性	ない	消防団活動の支援的事業として必要な事業であり削減はできない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	消防団に対する補償等は重要であり、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	現在の事業を継続する。

総評（課題・改善点）	コロナ禍で消防団活動がほとんど実施できず、消防団員の技術力低下が懸念されたが、ポンプ運用訓練や機械点検の実施回数を増やすなど部ごとに訓練を実施することで、技術力を維持できたと思われる。今後も引き続き消防団活動を円滑に行うための環境を整備していきたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	02 消防本部予防課 0001 予防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	03 火災予防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	10,000			
0716	記念品料	28,000			
0802	普通旅費	1,300			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	198,327			
1006	印刷製本費	37,895			
1206	その他の委託料	256,500			
1702	機械器具費（事業執行用）	118,250			
1806014	日向地区危険物安全協会負担金	58,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
842,000	708,972	0	133,028

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	19,000	0	9,000	680,972
主な財源	罹災証明手数料、宮崎県市町村権限移譲交付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

準特定屋外タンク貯蔵所変更許可申請に係る審査委託　256,500

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	事業所や住宅及び危険物施設に対し建築時の指導を強化するとともに予防査察を充実し、併せて火災調査体制を充実することで火災予防の徹底を図る。
事業活動内容	○火災予防に関連する事務処理を行った。 1. 各種研修会への職員派遣 ・派遣なし 2. 小中学生の防火意識高揚に資する防火ポスター募集及び展示・表彰 3. 高齢者宅への訪問指導（住宅用火災警報器の設置促進） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅自粛

成果指標	住宅用火災警報器普及率	単位	目標		実績	
		%	R2	85	R2	74
			R元	85	R元	73

活動指標	住宅用火災警報器の設置促進啓発活動回数	単位	目標		実績	
		回	R2	100	R2	47
			R元	100	R元	65

事業評価			
	市民のニーズ	高い	火災の早期発見、逃げ遅れ防止という市民の生命に関わることであり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の安全安心に直結するものであり、市の関与は当然である。
	成　果	ある程度上がっている	住宅用火災警報器の設置率は令和元年度は73%であったが、令和2年度は74%と上昇している。
	成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍の中制限はあったが、出来る範囲で各種の広報活動等を実施し成果は上がった。
	コスト削減の可能性	ない	火災予防体制の強化に必要であり、コスト削減は厳しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	火災予防体制の強化が図られず、市民への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	火災予防という市民の生命に直接関わる施策であり、今後も事業を推進しなければならない。

総評（課題・改善点）	住宅用火災警報器の設置率は令和2年度には74%と着実に上昇している。今後も高齢者宅の訪問指導を行い、住宅用火災警報器の設置促進に努め、住宅火災の予防を推進する。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	04 救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0	1815008	宮崎県救急医学会施設負担金	20,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	150,000	1825002	研修会負担金	1,716,000
0802	普通旅費	117,747	2601	国に対する公課費	9,000
0803	特別旅費	453,240			
1001	消耗品費	2,149,830			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	46,200			
1008	修繕料	320,474			
1103	手数料	509,997			
1108	その他の保険料	161,760			
1206	その他の委託料	3,231,580			
1702	機械器具費（事業執行用）	287,320			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,191,760	9,173,148	0	1,018,612

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,082,000	7,091,148
主な財源	広域消防負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

救急救命士就業前研修	220,000
救急救命士生涯教育	132,000
ICT関連機器・設備保守料	2,879,580

○負担金補助及び交付金

救急救命士研修所入所負担金	1,705,000
心電図セミナー研修会負担金	11,000

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	救急救命士を養成し、各種研修への派遣及び救急処置に関する事後検証を実施することで救急隊員の資質の向上を図る。併せて、救急活動に必要な資器材の確保及び維持管理並びに賠償責任保険への加入等を通して、救急隊員の活動環境の整備を図る。
事業活動内容	○救急隊員の資質向上及び活動環境の整備に向け各種事業を行った。 1. 救急に関する講習会開催 2. 講習会・研修会への職員派遣 3. 救急救命士の養成 4. 救急資器材の購入・保守点検 5. 映像伝送システム関連の救急現場活用及び保守点検（救急車搭載）

成果指標	救急研修等への派遣人員	単位	目標		実績	
		人	R2	38	R2	10
			R元	28	R元	23

活動指標	救急隊を対象とした研修等参加回数	単位	目標		実績	
		回	R2	18	R2	7
			R元	14	R元	12

事業評価			
	市民のニーズ	高い	住民の高齢化や社会状況によって、救急需要は増加傾向にある。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の安全で安心な生活を守るうえで、行政の重要な業務である。
	成　果	上がっている	安全安心な市民生活を構築する上で、重要な役割を果たしている。
	成果に向けた活動量	十分であった	救急法の普及はコロナ禍で出来ない時期もあったが、出来る範囲で積極的に取り組んでいる。
	コスト削減の可能性	ない	救急需要の増加や救命処置の高度化によりコストの増加が予想される。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の安心な生活を支える上で、休廃止出来ない重要な業務である。
	今後の方向性	拡充	救急需要は増加すると予想され、質・量ともに更なる充実が必要である。

総評（課題・改善点）	高齢化の進展等により救急需要は今後も増大することが予想されるため、資器材の整備や感染症対策など、更なる体制強化が必要になってくる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	05 救助・警防体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
0803	特別旅費	2,600			
1001	消耗品費	509,928			
1006	印刷製本費	9,900			
1008	修繕料	419,287			
1103	手数料	1,008,520			
1206	その他の委託料	102,300			
1301	使用料及び賃借料	46,200			
1702	機械器具費（事業執行用）	820,820			
1815007	宮崎労働基準協会負担金	19,000			
1825002	研修会負担金	32,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,463,000	2,977,055	0	485,945

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	676,000	2,301,055
主な財源	広域消防負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
潜水技術取得研修　102,300

○負担金補助及び交付金
伐木等（チェーンソー）特別教育受講料（2名）　32,000

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	救助・警防活動に必要な資格や技術の習得などにより隊員の資質の向上を図るとともに、災害現場活動に必要な資機材の購入や整備を通して安全かつ的確に職務が遂行できるよう活動環境の充実を図る。
事業活動内容	○隊員の資質向上及び活動環境の充実に向け各種事業を行った。 1. 研修会や訓練、資格取得講習会等への職員派遣 ・コロナ禍のため大幅縮小 2. 資器材等の購入（消防ホース、空気呼吸器用ボンベ等） 3. 資器材の修繕や維持管理 4. クレーン車及び資器材等の保守点検 ・保守点検（空気呼吸器） ・法定点検（空気ボンベ、クレーン等） 5. 隊員の資格取得（潜水士）

成果指標	研修等への隊員派遣	単位	目標		実績	
		人	R2	25	R2	2
			R元	25	R元	43

活動指標	消防隊を対象とした研修等開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	12	R2	2
			R元	12	R元	11

事業評価			
	市民のニーズ	高い	緊急消防援助隊活動など組織的な災害対応力の整備に併せて、消防活動に高い専門性が求められるようになっている。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の安心で安全な生活を守るうえで、行政の重要な業務である。
	成　果	上がっている	隊員の資質の向上や資器材の充実により、災害現場における迅速な活動や安全性が向上している。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍のため研修会等の派遣は予定通りに出来なかったが、資器材の保守点検については計画通り行った。
	コスト削減の可能性	ない	専門性の高い研修も増えており、派遣に係る経費や資器材の更新等に要する経費は増加している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の安全安心を支える上で休廃止は出来ない業務である。
	今後の方向性	拡充	多様化する災害に備え、更なる充実強化が必要である。

総評（課題・改善点）	消防隊員にも高い専門性が求められ、隊員の資質向上や資器材の整備に要する経費も増加している。限られた人員・予算内での費用対効果を更に検討する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	03 消防施設費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	08 常備消防施設等の整備に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,314			
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	272,250			
1103	手数料	191,730			
1401	建設工事費	19,739,024			
1501	原材料費	242,590			
1702	機械器具費（事業執行用）	159,200			
1815004	防火水槽水代負担金	26,256			
1815013	消火栓新設・移設工事費負担金	7,318,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,418,000	27,961,364	0	456,636

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,486,000	0	4,900,000	2,207,000	15,368,364
主な財源	消防防災施設整備補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、広域消防負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

財光寺南地区耐震性貯水槽（2基）新設工事	17,441,124
消防訓練広場倉庫新設工事	2,297,900

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	災害時等に迅速かつ的確な消防活動を実施するため、消防車両等の定期的な更新、防火水槽や消火栓等の整備を行うことにより、消防力の充実強化を図る。
事業活動内容	○消防力の充実強化に向け各種事業を行った。 1. 消防訓練広場倉庫の新設 2. 耐震性貯水槽2基の整備（財光寺南地区） 3. 水道管埋設工事に合わせた消火栓の整備

成果指標	消防水利充足率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	76
			R元	100	R元	76

活動指標	消防水利整備数	単位	目標		実績	
		基	R2	20	R2	17
			R元	21	R元	9

事業評価			
	市民のニーズ	高い	災害の多様化や発生頻度の増加によりニーズは高まっている。
	市の関与の妥当性	妥当	「安全で安心なまちづくり」を構築する上で、行政が担うべき業務である。
	成　果	上がっている	消防車両の更新や施設の整備により、消防力は向上している。
	成果に向けた活動量	十分であった	車両の更新や施設の整備事業を計画的に実施している。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な投資が必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の生命身体財産の保護に多大な影響が出ることが予想される。
	今後の方向性	拡充	災害の多様化や大規模化が予想されており、充実強化していく必要がある。

総評（課題・改善点）	消防車両の更新時期が延長傾向にあり、メンテナンス費用が増加している。消防施設についても経年劣化による維持費・修繕費の増加が見込まれる。費用対効果を検証しながら、計画的に更新を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係

款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費

事業	大事業	24 消防体制の充実
	中事業	02 消防団体制の充実
	小事業	05 非常備消防施設の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,458			
1008	修繕料	99,000			
1103	手数料	21,979			
1107	自動車損害保険料	15,820			
1702	機械器具費（事業執行用）	9,900,000			
2601	国に対する公課費	49,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,371,270	10,090,457	0	280,813

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	8,200,000	34,000	1,856,457
主な財源	重量税還付金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	令和　2　年度　～　令和　2　年度
目的	消防団活動の拠点施設である消防機庫の建て替えや、老朽化した消防車両等の資機材を更新することにより地域防災力の維持向上を図る。
事業活動内容	○地域防災力の維持向上に向け各種事業を行った。 1. 非常備消防車両の更新 ・令和元年度の繰越分を含め2台（45部、31部）を更新 2. 機庫の修繕等

成果指標	非常備車両等稼動率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標	小型動力ポンプ更新台数	単位	目標		実績	
		台	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	地域に密着した活動を行っており、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	非常備消防施設として妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	計画に遅れが出ており、十分な成果とは言えないが、消防活動に支障が無いように更新等を進めている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	計画に向けて関係機関と協議を重ねている。
	コスト削減の可能性	ない	国の施策においても消防団の装備充実が求められており、コスト削減は厳しい状況である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	地域住民の消防団への期待は大きい。
	今後の方向性	維持	地域住民の期待に応えるために充実強化を目指す。

総評（課題・改善点）	新型コロナウイルス感染症の影響で、消防団機庫の建設が見送られた。消防団の状況を考慮し地元関係者等と協議しながら、消防団機庫や車両の更新を計画的に進める必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	30 生活排水の適切な処理
中事業	03 合併処理浄化槽の普及と適正管理
小事業	02 生活排水対策（浄化槽設置整備事業）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	55,000			
1101	通信運搬費	29,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	0			
1805053	宮崎県浄化槽普及促進協議会負担金	21,000			
1867014	浄化槽設置整備事業補助金	6,240,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,382,000	6,348,900	0	33,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,543,000	1,045,000	0	0	1,760,900
主な財源	循環型社会形成推進交付金、浄化槽設置整備事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金

・日向市浄化槽設置整備事業補助金　6,240,000

設置基数　N＝16基

浄化槽設置内訳

【転換】

5人槽　　N＝12基

6～7人槽　　N＝ 4基

8～10人槽　　N＝ 0基

【配管補助】

うち単独槽からの転換　N＝ 6基

事業期間	年度　～　年度
目的	市が行う生活排水対策として、公共下水道事業・農業集落排水事業の計画区域外において設置される浄化槽に対して、補助金を交付することにより、家庭から排出される生活雑排水を処理し、公共用水域を保全する。
事業活動内容	浄化槽設置整備事業 10人槽以下の合併処理浄化槽で、小型合併処理浄化槽機能保証制度により保証登録されたものについて、日向市浄化槽設置整備補助金交付要綱に基づき補助金を交付した。 補助限度額【転換】　5人槽　332，000円 6～7人槽　414，000円 8～10人槽　548，000円 ※転換とは、単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の使用を廃止し、新たに合併処理浄化槽を設置すること。 補助限度額【配管補助】　100，000円 ※配管補助は、単独処理浄化槽からの転換のみ対象。

成果指標		単位	目標		実績	
	汚水処理人口普及率 ＝汚水処理人口／住民基本台帳人口 汚水処理人口＝51,519人 住民基本台帳人口＝60,241人	%	R2	84	R2	85.52
			R元	83.5	R元	84.45

活動指標		単位	目標		実績	
	設置予定基数	基	R2	20	R2	16
			R元	90	R元	64

事業評価			
	市民のニーズ	高い	公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外における水質保全や生活環境を改善する唯一の事業であることから、市民のニーズは高いと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	国及び県の補助事業である本事業においては、市全域をカバーできる汚水処理メニューとして市の関与は妥当と考える。
	成　　果	ある程度上がっている	これまでの制度継続の結果、普及率が飽和状態に近づく中で目標設置基数は下回っているが、確実に生活環境の改善は図られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	16基の浄化槽に対して補助金の交付を行った。
	コスト削減の可能性	ない	既に、令和2年度から新築家屋に対する補助を廃止している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	浄化槽設置には多額の費用がかかるため、廃止した場合、市民の負担が増大し、浄化槽の普及に大きな影響がある。
	今後の方向性	維持	「単独処理浄化槽」や「くみ取り便槽」の生活雑排水が河川を汚す要因となっているため、合併処理浄化槽への転換を引き続き推進する。

総評（課題・改善点）

市全域の汚水処理の普及促進に繋がる事業として継続が必要である。

また、事業制度の周知について引き続きホームページや広報等によるPRの強化に努め、生活環境の改善・公共用水域の保全となる事業の加速化を図る必要がある。

今後も引き続き、生活排水の適切な処理により、水環境が保全され、市民が衛生的な環境の中で快適に生活することを目指す。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局　0001 庶務調査係		
款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費
事業	大事業	43 日向市議会			
	中事業	02 市議会運営に要する経費			
	小事業	01 市議会だより発行事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	2,150,280			
1206	その他の委託料	1,223,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,600,000	3,373,480	0	226,520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,373,480
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
ひゅうが市議会だより編集業務　1,223,200

事業期間	年度　～　年度		
目的	市民に議会の活動状況を分かりやすく知らせるため、議会広報誌を通じて、傍聴に来ることができない人の利便性の向上や議会の情報発信機能の充実を図り、市民の議会に対する理解を深め、市民に開かれた議会を構築する。		
事業活動内容	議会広報誌「ひゅうが市議会だより　陽だまり」を、議会広報特別委員会が編集を行い、発行した。また、発行した広報誌をホームページにも掲載した。 ○発行部数　1号あたり18，100部（年4回） ○掲載内容　議案・請願等の審議結果、委員会審査・一般質問の概要を掲載した。		

成果指標	議会中継の視聴者数	単位	目標		実績	
		人	R2	800	R2	1,376
			R元	800	R元	869

活動指標	市議会だよりの発行	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	4
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民に議会活動への関心や興味を持っていただくことは非常に重要である。選挙により市民の負託を受けた市議会議員の活動状況を発信する必要性は極めて高い。
	市の関与の妥当性	妥当	議決結果や一般質問など、議会における審議内容を情報発信する事業であることから、主体的に事業を推進することが必要である。
	成　果	上がっている	議会広報特別委員会による議員主体の編集を行っている。平成29年度から誌面を刷新し、他自治体からの視察申出もある。また、SNSを活用した情報発信を行うことで、視聴者から直接反応を受けることができている。
	成果に向けた活動量	十分であった	円滑な発行に向け、発行毎に平均7回の議会広報特別委員会を開いて内容を精査する、といった精力的な活動を展開した。
	コスト削減の可能性	ない	カラー印刷を表紙・裏表紙の2面に限るなど、コスト削減に努めている。議会開催頻度に合った情報を適正かつ効果的に発信するため、年4回の発行回数や部数の削減を伴うコスト削減は見込んでいない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民にとって、自らが負託した議員や議会の活動を知ることは極めて重要であることから、事業の休廃止は市政への関心を低下させ、行政不信を招くことが懸念される。
	今後の方向性	維持	議会の広報広聴機能の充実は必要不可欠である。現行の編集体制を充実させ、読みやすく、親しまれる誌面づくりに継続して取り組む必要がある。

総評（課題・改善点）	議会に関する情報を市内全域に届けるため、市民に親しまれる誌面づくりを心掛けている。 また、年4回の定例会情報のほか、議会報告会や市民懇談会などの議会活動の報告に加え、SNSを活用した情報発信を行うなど、市議会を身近に感じてもらえるような編集に努めている。 今後も、充実した誌面づくりを目指して、デザイン会社等の専門知識を継続的に取り入れながら、積極的な広報活動に努めていくとともに、広聴機能の充実についても研究していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局　0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	04 議会中継に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,479,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,480,000	1,479,500	0	500

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,479,500
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○その他の委託料	
インターネット映像配信業務	1,479,500

事業期間	年度　～　年度
目的	本会議の様子がパソコンやスマートフォンで視聴でき、傍聴に来られない方の利便性の向上や市政の情報発信の機会が増える。また、議場に直接赴かずとも本会議の状況を知ることができるため、傍聴時の3密回避にもつながり、新型コロナウイルス感染症対策にも寄与する。
事業活動内容	本会議の様子がパソコンやスマートフォンで視聴できる議会中継システムを活用することにより、インターネットを利用した議会中継を行った。 ○中継回数：6回（定例会：年4回　臨時会：2回） ○中継内容：本会議（議案の提案理由説明、質疑、討論、採決、一般質問）の様子をインターネット生配信した。また、生配信した映像の録画配信を行った。

成果指標	議会中継の視聴者数	単位	目標		実績	
		人	R2	800	R2	1,376
			R元	800	R元	869

活動指標	議会の中継	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	6
			R元	4	R元	5

事業評価			
	市民のニーズ	高い	市民の議会活動に対する関心が高まっていると感じられることから、傍聴に来られない市民の為にも、市議会議員の活動状況を積極的に発信していくことは大変重要であり、新型コロナ対策にも寄与している。
	市の関与の妥当性	妥当	一般質問や議案審議などを自ら積極的に情報発信する事業であることから、市議会が主体的に関与することが重要である。
	成　　果	上がっている	議会の傍聴に来られない方の利便性向上や新型コロナウイルス感染症対策として3密回避に役立っている。
	成果に向けた活動量	十分であった	各議会ごとに本会議の中継を実施。カメラワークや、マイクの音量調節など視聴者の立場に立った中継を心掛けた。他の事業（広報誌、議会ホームページ）とも関連させ、情報提供に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	会議録作成と議会中継を一体的に行う必要性があるため（一者随契）
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業を休廃止すると、市民自らが負託した議員の活動を確認する機会を奪うことになり、市政への関心の低下、行政不信につながる恐れが大きい。
	今後の方向性	維持	市民が市政に関心を持ち積極的に参加するためには、広聴広報機能の充実が重要であり、その為にも議会広報、議会ホームページ等とも関連させながら、今後も継続していく必要がある。

総評（課題・改善点）	
	カメラワーク、マイク音量の適切な操作、通信途絶の解消に努め、見やすい中継を心掛けていきたい。また、議会広報誌、議会ホームページ等の事業とも関連させ改善しながら、より効果的な広報広聴事業を展開することで、議会や市政に対する市民の関心を高めていきたい。会議の音声だけを配信してほしいという市民ニーズもあることから、音声のみの配信方法について研究していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係		
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 学校建設費
事業	大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実			
	中事業	04 安全で安心な教育環境の充実			
	小事業	13 細島小学校改築事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	48,463			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	100,000			
1103	手数料	0			
1401	建設工事費	305,341,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
305,616,000	305,489,963	0	126,037

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	91,762,000	0	196,238,000	0	17,489,963
	主な財源	学校施設環境改善交付金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

建築主体工事	265,000,000
電気設備工事	10,000,000
空調換気設備工事	8,000,000
給排水衛生設備工事	5,000,000
仮エアコン整備工事	10,840,500

事業期間	平成　29　年度　～　令和　3　年度
目的	危険校舎を改築することで耐震性の向上及び安全で安心な学校施設の整備を図ることができる。 また、複合施設とすることで、地域のコミュニティの核となる。
事業活動内容	細島小学校校舎の改築を行うもの。 ○整備建物 校舎を含めた複合施設（鉄筋コンクリート造　3，000㎡程度） 外構 ○事業期間（平成29年度～令和3年度） 平成29年度　：先進地調査・研究 平成30年度　：基本計画・設計 令和　元年度　：実施設計 令和2・3年度　：整備工事

		単位	目標		実績	
成果指標	事業に伴う成果品	件	R2	2	R2	2
			R元	3	R元	4

		単位	目標		実績	
活動指標	契約件数	件	R2	9	R2	9
			R元	3	R元	4

事業評価		
市民のニーズ	高い	学校と公民館等との複合施設であることから市民ニーズが高い。
市の関与の妥当性	妥当	学校及び公立公民館等は、市有施設である。
成　　果	上がっている	耐震化に向け成果が上がった。
成果に向けた活動量	十分であった	計画的に工事を進めることができた。
コスト削減の可能性	ない	ハード事業であることからない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	2ヶ年継続事業であることから休廃止ができない。
今後の方向性	維持	2ヶ年継続事業である。

総評（課題・改善点）	本年度からの整備については、計画的に発注することができ順調に工事を進めることができた。令和3年度は最終年度でありコロナ禍の影響も懸念されるが、事業が完了するまで計画通りに進めたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係		
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実
	小事業	01 就学支援委員会・通学区域審議会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	128,000			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
460,000	128,000	0	332,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	128,000
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	○就学支援委員会 障がいのある幼児、児童及び生徒に対し適正な就学支援を行うことにより、教育の機会均等の確保を図る。
事業活動内容	○就学支援委員会 教育委員会の諮問に応じ、下記の事項について調査審議を行い答申した。 ・障がいのある幼児児童生徒の実態調査 ・個別の調査、検査、観察等による資料の作成 ・障がいのある幼児児童生徒の適正な就学支援 ・障がいのある幼児児童生徒の教育の推進と啓発 ・障がいのある幼児児童生徒の就学相談 ○通学区域審議会 教育委員会の諮問に応じ、小中学校の通学区域の変更等について、通学距離や地理的要因等について審議を行う。

成果指標		単位	目標		実績	
	就学支援相談件数	件	R2	60	R2	76
			R元	50	R元	57

活動指標		単位	目標		実績	
	就学支援委員会の開催数	回	R2	1	R2	1
			R元	2	R元	2

事業評価			
	市民のニーズ	高い	教育の機会均等の確保・児童生徒の安全安心な通学の確保は重要である。相談件数も増加傾向にあり、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	適正な就学先等の決定については、医療機関等との連携のもと、専門的な立場からの支援や検討が必要であることから市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	適正な就学支援が行われている。
	成果に向けた活動量	十分であった	きめ細かな就学前の相談等を行っている。
	コスト削減の可能性	ない	最低限の委員報酬や旅費のみの計上となっており、削減できない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	教育の機会均等、通学の安全性が損なわれる可能性があるため、休廃止の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	保育園・幼稚園・小学校や関係機関と連携して、継続して就学支援に取り組む。

総評（課題・改善点）	
	就学支援については、年々、相談件数が増加するとともに多様化しており、児童生徒の特性に配慮し、きめ細かな支援を行うため、学校や各種機関と連携を深め、取組を強化する必要がある。 通学区域の見直しや統廃合を含めた学校再編整備については、地域住民や保護者の意見に配慮しながら、児童生徒にとってよりよい教育環境となるよう慎重に検討を進めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係		
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進			
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実			
	小事業	09「囲碁のまち日向市」モデル事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	136,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,000	136,000	0	64,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	136,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
令和2年度　囲碁の次世代育成活動事業　業務委託　136,000

事業期間	年度　～　年度
目的	子どもたちが囲碁教室で囲碁を学ぶことにより、「はまぐり碁石のまち」日向市における囲碁の普及及び継承を図る。
事業活動内容	市内小学校や公民館等での放課後子ども教室などにおいて、日本棋院日向支部と連携して講師を派遣し、囲碁教室を開催した。 令和2年度は、コロナ禍による学校休業や感染症対策のほか、開催会場となる公民館の閉館により、囲碁教室の開催が減少したほか、「はまぐり碁石祭り」も中止となった。

成果指標	市内小・中学生の「はまぐり碁石祭り」への出場者数	単位	目標		実績	
		人	R2	10	R2	0
			R元	10	R元	8

活動指標	囲碁教室の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	100	R2	46
			R元	150	R元	85

事業評価			
	市民のニーズ	普通	「はまぐり碁石のまち」日向市として、次世代育成としても囲碁文化の継承が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	囲碁文化の普及のため、囲碁教育を日向市として取り組むことは妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により「はまぐり碁石祭り」は中止されたが、囲碁教室は、開催回数、参加人数とも減少したものの、開催することができた。一方で、囲碁教室の開催が毎年、特定の学校に限られている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により開催回数、参加人数とも減少したが、活動が可能な範囲で囲碁教室の開催を継続した。
	コスト削減の可能性	ない	指導者が不足しており、日本棋院日向支部に頼らざるをえないことから、これ以上の削減は困難である。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	産業としての「はまぐり」が縮小している中で、日向市が取組をやめれば、文化資源としての「日向市のはまぐり」は衰退する可能性もあり、囲碁文化を継承していくことが困難となる。
	今後の方向性	維持	平成29年度に策定した「はまぐりビジョン」に従って事業を進める。

総評（課題・改善点）	
	囲碁は、礼儀作法の習得や思考力・判断力の向上に効果があるとされており、取り組む意義は非常に大きい。また、「はまぐり碁石のまち」日向市として、囲碁の普及のため策定した「はまぐりビジョン」に沿って、継続した取組が必要であるが、事業の充実には放課後子ども教室や公民館活動等との連携が不可欠である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	14 読書活動充実事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	4,100,840			
0802	普通旅費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,410,000	4,100,840	0	309,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,100,840
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	子どもたちの読書活動の拠点である学校図書館の環境等を整備することで、児童生徒の読書量や語彙力を増やすとともに、児童生徒の感性や想像力、表現力の向上を図る。
事業活動内容	各中学校区に、学校図書館司書を有償ボランティアとして配置し、各学校の図書主任（学校図書館担当職員）と連携を図りながら、学校図書館の運営業務及び児童生徒の読書活動推進のための環境整備等の工夫・改善を行った。

成果指標	1か月あたりの読書冊数	単位	目標		実績	
		冊	R2	小15 中4	R2	小14.3 中4.7
			R元	小15 中4	R元	小13.6 中3.9

活動指標	学校図書館司書の雇用	単位	目標		実績	
		人	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	7

事業評価		
市民のニーズ	高い	読解力の向上につながる読書活動の推進は、市民のニーズが高い。
市の関与の妥当性	妥当	読書活動の推進においては、学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要があるため、市の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	学校図書館司書による環境整備や読書活動の推進に向けた取組を行ったことで、児童生徒の読書量は増えている。
成果に向けた活動量	十分であった	学校の図書館担当教員（図書主任）と学校図書館司書が連携しながら、学校のニーズに合った活動を行うことができている。
コスト削減の可能性	ない	予算の大部分が人件費であるため、削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	児童生徒の読書離れが進み、本に触れる機会が少なくなることで、児童生徒の読解力に大きな影響を与えることが想定される。
今後の方向性	拡充	学校図書館司書の勤務条件を見直すなど、司書の取組の拡充を図り、読書活動の更なる推進を図りたい。

総評（課題・改善点）	児童生徒の読書量が増えており、学校図書館司書による読書活動の推進に向けた取組の効果は大きいと考えられる。 今後、更に児童生徒の読書環境を充実させるためにも、学校図書館司書の体制強化を図っていくとともに、読書活動の更なる推進を図るため、学校図書館司書の資質向上に努める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
小事業	01 スクールサポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	5,346,092			
0301	職員手当	555,740			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	736,728			
0801	費用弁償	496,091			
0802	普通旅費	249,000			
1001	消耗品費	60,439			
1101	通信運搬費	4,272			
1107	自動車損害保険料	70,978			
1402	維持補修工事	1,144,000			
1816046	全国適応指導教室連絡協議会負担金	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,886,000	8,668,340	0	217,660

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	992,000	0	0	7,676,340
主な財源	スクールソーシャルワーカー活用事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
令和2年度ひまわりラウンジ空調設備取替工事　1,144,000

事業期間	年度　～　年度
目的	不登校児童・生徒に対し、学校以外の場所における学習や集団生活の場を提供することで、学習の機会を確保するとともに、生活のリズムを整え、学校へ復帰できるようにしていく。また、相談活動をはじめ、きめ細かな支援を行うことで、本人のみならず保護者の心理的な負担軽減を図る。
事業活動内容	不登校児童・生徒（引きこもり傾向や怠学傾向等の児童・生徒を含む。）に対し、学校、家庭、関係機関が連携を図りながら、学校以外の適応指導教室（ひまわりラウンジ）や家庭において、きめ細かな支援を行った。 【主な活動内容】 ①不登校児童・生徒及び保護者への支援 ②不登校児童・生徒に対する適応指導 ③学校以外の学習の場の提供 ④不登校児童・生徒及び保護者への相談活動等 ⑤スクールソーシャルワーカーの活用

成果指標	不登校児童・生徒の学校復帰数	単位	目標		実績	
		人	R2	30	R2	28
			R元	8	R元	18

活動指標	不登校児童・生徒のひまわりラウンジ登校人数（ラウンジに登校した不登校児童・生徒の延べ人数）	単位	目標		実績	
		人	R2	800	R2	1,168
			R元	600	R元	816

事業評価			
	市民のニーズ	高い	学校生活にとけ込むことができず、望ましい人間関係を構築できない児童生徒の居場所として、今後も高いニーズがある。
	市の関与の妥当性	妥当	ひまわりラウンジに通級した日数を出席日数として計上するように「日向市適応指導教室設置要綱」の中で、設定するなどしており、市の関与は妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	個に応じて、きめ細かな支援を行ったことで、学校へ復帰できた子どもや不登校が改善されつつある子どもが見られる。中学3年生は、全員、高校へ進学することができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	適応指導や教育相談に加え、個に応じた学習支援等も実施している。
	コスト削減の可能性	ない	予算の大部分が人件費であるため、削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	不登校になっている児童生徒の居場所がなくなると、引きこもり等の子どもが増え、児童生徒の学校復帰に影響を与えるだけでなく、保護者の心理的負担が増大する恐れがある。
	今後の方向性	拡充	不登校の児童生徒は増加の傾向にあるため、居場所の確保をはじめ、積極的に学校と関わりながら取組を進めていく必要がある。

総評（課題・改善点）	一人ひとりにきめ細かな指導や支援を行うことで、学習習慣や生活のリズムを身に付けさせることができている。また、人とのコミュニケーションに苦手意識を持つ児童生徒に対して、人との接し方に関するトレーニングを保護者と一体となって取り組んでいる。 今後は、学校、家庭、関係機関が通級している児童生徒の学校復帰をはじめ、いじめ問題や不登校の未然防止という目的を共有し、連携を密にしながら対応していくことが求められる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	33 学校ICT環境整備事業（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1301	使用料及び賃借料	23,107,930			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,895,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,552,000	25,003,010	0	548,990

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	947,000	0	0	23,409,000	647,010
主な財源	理科教育等設備整備費補助金、ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金、ふるさと日向市応援寄附金基金利子				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	ICT機器の整備・充実により、児童生徒の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用し、教職員が一人ひとりの児童生徒の実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とするなど校務の効率化を図る。
事業活動内容	○校務支援システムを全小中学校で運用し、教職員の負担を減らし授業の準備や児童生徒と関わる時間を確保した。 ○教職員用のパソコンの配備及び更新 ○パソコン室タブレットの配備

成果指標	授業中にICTを活用して指導する能力の向上（文科省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より、授業中にICTを活用して指導することが〈できる〉、〈ややできる〉と答えた教職員の割合）	単位	目標		実績	
		%	R2	80.0	R2	54.3
			R元	80.0	R元	63.7

活動指標	パソコン教室へのタブレットPCの配備率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

事業評価			
	市民のニーズ	高い	ICTを利活用して、分かる授業の充実を図り、学ぶ意欲を向上させる必要がある。また、校務支援システムを活用することで、教職員の働き方改革に寄与している。
	市の関与の妥当性	妥当	ネットワークインフラやICTなどの教育環境整備は、保護者負担ではなく、行政が行う必要がある。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍に伴い、県主催等の研修機会を逸したことや職場内での相互研修が行えず、前年度と比較して、ICTを活用して指導ができると回答した教職員の割合が低下した。
	成果に向けた活動量	十分であった	教育環境整備を進めることにより、利活用したいときにすぐ傍に機器があることとなり、利用が充実している。
	コスト削減の可能性	ない	機器整備には多額の費用負担を伴うことから、優先順位を考慮しながら継続的・計画的に整備及び更新を進めていく必要がある。また、保護者負担は現実的ではない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	Society5.0時代を生きる児童生徒に求められるICT利活用能力を養う上で、大きく遅れをとることにつながる。
	今後の方向性	拡充	市内全小学校で、すべての教職員・児童がICT機器を使える環境をめざし、継続的・計画的に取組を進める必要がある。

総評（課題・改善点）	校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT機器を活用した分かる授業が構築されるなど、当事業による効果は出ているが、児童生徒に1人1台のタブレットが配備され、プログラミング教育をはじめ、それらの機器を活用した授業を行う教職員への負担は増すものと考えられる。ICT機器の操作方法や授業での活用方法等の研修、サポート体制の整備などが求められるとともに、機器の更新については、コスト面も考慮しつつ、毎年度の負担を平準化する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係		
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進			
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実			
	小事業	34 学校ICT環境整備事業（中学校）			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1301	使用料及び賃借料	14,781,370			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,143,000	14,781,370	0	361,630

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,700,000	81,370
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	ICT機器の整備・充実により、児童生徒の学習意欲や学力の向上を図るとともに、校務支援システムを有効に活用し、教職員が一人ひとりの児童生徒の実態に応じた指導に、より多くの時間を割くことを可能とするなど校務の効率化を図る。
事業活動内容	○校務支援システムを全小中学校で運用し、教職員の負担を減らし授業の準備や児童生徒と関わる時間を確保した。 ○教職員用のパソコンの配備及び更新 ○パソコン室タブレットの配備

成果指標	授業中にICTを活用して指導する能力の向上（文科省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」より、授業中にICTを活用して指導することが〈できる〉、〈ややできる〉と答えた教職員の割合）	単位	目標		実績	
		%	R2	80.0	R2	54.3
			R元	80.0	R元	63.7

活動指標	パソコン教室へのタブレットPCの配備率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

事業評価			
	市民のニーズ	高い	ICTを利活用して、分かる授業の充実を図り、学ぶ意欲を向上させる必要がある。また、校務支援システムを活用することで、教職員の働き方改革に寄与している。
	市の関与の妥当性	妥当	ネットワークインフラやICTなどの教育環境整備は、保護者負担ではなく、行政が行う必要がある。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍に伴い、県主催等の研修機会を逸したことや職場内での相互研修が行えず、前年度と比較して、ICTを活用して指導ができると回答した教職員の割合が低下した。
	成果に向けた活動量	十分であった	教育環境整備を進めることにより、利活用したいときにすぐ傍に機器があることとなり、利用が充実している。
	コスト削減の可能性	ない	機器整備には多額の費用負担を伴うことから、優先順位を考慮しながら継続的・計画的に整備及び更新を進めていく必要がある。また、保護者負担は現実的ではない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	Society5.0時代を生きる児童生徒に求められるICT利活用能力を養う上で、大きく遅れをとることにつながる。
	今後の方向性	拡充	市内全中学校で、すべての教職員・生徒がICT機器を使える環境をめざし、継続的・計画的に取組を進める必要がある。

総評（課題・改善点）	校務支援システムにより、校務の効率化が図られているとともに、ICT機器を活用した分かる授業が構築されるなど、当事業による効果は出ているが、児童生徒に1人1台のタブレットが配備され、プログラミング教育をはじめ、それらの機器を活用した授業を行う教職員への負担は増すものと考えられる。ICT機器の操作方法や授業での活用方法等の研修、サポート体制の整備などが求められるとともに、機器の更新については、コスト面も考慮しつつ、毎年度の負担を平準化する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	01 幼児教育の充実
事業 小事業	03 学びをつなぐ幼・保・小連携事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	25,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	158,796			
1101	通信運搬費	20,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
300,000	203,796	0	96,204

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	203,796	0	0	0
主な財源	幼保小連携・接続推進事業委託金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	就学前教育から学校教育へ円滑に移行できるようにするために、幼・保・小連携の充実を図る。
事業活動内容	○日向市幼保小連絡協議会の開催（3回実施） ○日向市「接続の視点を重視したスタートカリキュラム作成の手引き」の活用推進及び日向市の教育の理解促進 ○幼保小合同の講演会、研修会の実施

成果指標	スタートカリキュラムを作成している小学校	単位	目標		実績	
		校	R2	13	R2	13
			R元	13	R元	8

活動指標	幼保小連携連絡協議会	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	1
			R元	2	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	支援が必要な児童が、小学校への就学の段階で増えており、幼稚園・保育園・認定こども園等から小学校への円滑な接続を望む声が多数ある。
	市の関与の妥当性	妥当	市が公立小学校及び公立幼稚園の設置者であるため、関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	幼稚園で育成をめざす「10の姿」を小学校の教職員も共通理解し、幼稚園でのアプローチカリキュラム、小学校でのスタートカリキュラムを円滑に行える体制が整ってきている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、幼保小連携連絡協議会は1回だけの開催となったが、オンライン研修を実施し、幼稚園や保育園等と小学校との円滑な接続の在り方について、事例をもとに共通理解を図った。
	コスト削減の可能性	ない	県の10／10の事業であったが、令和2年度をもって補助事業が終了した。幼保小の連携した取組は、学びの円滑な移行を図る上で必要不可欠となっており、更に充実を図る必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	学習指導要領において、幼稚園、保育園等における教育・保育と小学校教育との円滑な接続を図ることに努めるよう明記されているため必要なことであり、市民への影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	これまでの取組を検証し、幼稚園、保育園等における教育・保育と小学校教育とが円滑に接続できるよう更に充実を図っていく必要がある。

総評（課題・改善点）	各小学校が作成したスタートカリキュラムの実践を更に進めるとともに、幼保小連絡協議会による研修の充実を図り、幼稚園及び保育園等と小学校との接続カリキュラムの具体化に努める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	23 日向市教育振興会の助成に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1805079	宮崎県へき地・小規模校教育研究連盟負担金	8,400			
1840033	日向市教育振興会補助金	1,743,000			
1860024	日向市小・中学校音楽発表会「ひまわりフェスティバル」補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,752,000	1,751,400	0	600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,751,400
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	教職員の資質の向上及び教育内容の充実を図るため、校長・教頭・教務主任等の職能別研修、教科等別の研究を行い、児童生徒の豊かな心を育て、生きる力を育む教育を推進する。
事業活動内容	○各学校が行う調査研究事業 ○職能別で教職員が行う調査研究事業 ○教科別等に教職員が行う調査研究事業 ○日向市教育研究所の研究員が行う調査研究事業 ○その他教職員の資質の向上等を図るために行う事業 ○小中学校音楽大会（ひまわりフェスティバル）の運営

成果指標	各種研究における参加者の満足度（肯定意見／参加者数）	単位	目標		実績	
		%	R2	98	R2	ー
			R元	98	R元	95

活動指標	キャリア教育を視野に入れた取組（行事数）6回×21校	単位	目標		実績	
		回	R2	126	R2	105
			R元	168	R元	131

事業評価			
	市民のニーズ	高い	教職員の資質向上・指導力向上という点でニーズが高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市内全教職員にとって必要性が高い内容の研修が対象となっており、市の関与が必要である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍で集合型の研修が実施できない中、各学校単位での研修をはじめ、データや冊子等を通した情報提供を行うことで、成果は得られた。
	成果に向けた活動量	不十分であった	集合型では行えなかったが、リモート研修をはじめ、データや冊子を提供するなどの活動で補った。
	コスト削減の可能性	ない	教育課題に対する研修は毎年必要であり、教育水準を維持していくためにも、削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	教職員の資質向上・指導力向上を図る機会が減少する。
	今後の方向性	拡充	授業力向上等のため、講師招聘による研修等を充実させていく必要があることから、拡充を検討する。

総評（課題・改善点）	令和2年度は集合型の研修がほとんど実施できず、満足度を計測することができなかった。活動指標についても、地域の方が参加する行事もほとんど実施できていなかったが、リモートでの講話を取り入れ成果を得ることができた。令和3年度の研修や活動は、オンラインも併用し成果を上げる必要があるほか、課題であるGIGAスクール構想と授業改善については、市教委主催研修及び教育研究所の活動の充実と発信をより充実させていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	24 ひゅうがっ子学力向上推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,223,200			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	15,399			
0801	費用弁償	5,795			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	77,023			
1816039	宮崎県教育研究機関連絡協議会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,361,000	1,336,417	0	24,583

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,336,417
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	ティーム・ティーチングによる指導や少人数によるきめ細かな指導を実現することで、学習内容の基礎・基本の定着や主体的に学習する態度の育成を図り、児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる。
事業活動内容	○非常勤講師による少人数指導の実施 ○学力向上に係る研修会等の実施

成果指標		単位	目標		実績	
	「算数の授業がよく分かりますか（小6）」の肯定的な回答	%	R2	85	R2	―
			R元	85	R元	89

活動指標		単位	目標		実績	
	少人数指導非常勤講師の配置数	人	R2	3	R2	3
			R元	5	R元	5

事業評価			
	市民のニーズ	高い	児童生徒をはじめ、保護者や地域住民の多くが学力向上を強く望んでおり、関心は高いといえる。
	市の関与の妥当性	妥当	日向市の理念「ふるさと日向を愛し、世界に羽ばたく、社会に貢献できる人財の育成」の実現のために、必要な人材の配置に市が関与することは妥当である。
	成　　果	上がっている	少人数指導により、個に応じた指導が行えるので、一人一人の学習の見届けが可能である。
	成果に向けた活動量	十分であった	配置された学校で、少人数指導を実施し、個に応じた指導を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	各学校に1人ずつ配置し、学力向上につなげていきたかったが、令和2年度で事業が終了した。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	これからの日向市を担う人材育成のために学力向上は欠かせないものであるため、休廃止したときの市民への影響は大きい。
	今後の方向性	要改善	今後も市内の小中学校において、学力向上を図るために事業の再構築を検討する必要がある。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、コロナ禍により「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため、成果指標を把握することができなかったが、非常勤講師が配置された学校においては、きめ細かな指導が行われ、学力向上につながる取組が推進されたところである。今後も、児童生徒の学力向上のために新たな事業の構築に努め、分かる授業づくりの実現を目指していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係		
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実
	小事業	25 キャリア教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	35,000			
1206	その他の委託料	11,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,400,000	11,335,000	0	65,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	5,667,000	0	0	0	5,668,000
	主な財源	地方創生推進交付金			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
日向市キャリア教育支援センターの設置・運営に関する業務委託　11,300,000

事業期間	年度　～　年度
目的	キャリア教育コーディネータを配置し、地域の企業や人材を生かした教育活動を充実させ、働く喜びや学ぶ楽しさを実感する機会を増やし、子どもたちが、自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くための基礎となる能力や態度の育成を図る。
事業活動内容	産官学連携のもとに「キャリア教育」を推進する「日向市キャリア教育支援センター」の設置・運営に関する業務委託。 〇市、企業、学校との連絡調整を図るキャリア教育コーディネーターの雇用 〇よのなか花まる先生の雇用 〇キャリア教育推進懇話会の開催 〇キャリア教育通信の発行 〇キャリア教育に関するホームページの運営・更新 〇社会体験学習の実施

		単位	目標		実績	
成果指標	「将来の夢や目標をもっている」と肯定的に答える生徒の割合	%	R2	88	R2	―
			R元	90.0	R元	88.2
活動指標	キャリア教育支援センターブログの更新回数	回	R2	50	R2	1
			R元	100	R元	53

事業評価		
市民のニーズ	高い	日向市内の子どもの進学や将来への関心は大変高い状況にあり、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	日向市の「未来へつなげる人づくり戦略」につながる取組であり、市の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	令和2年度はコロナ禍により、よのなか教室の実施回数は大幅に減少した。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により広報活動、協力企業の開発や研修会、教職員への研修会、キャリア教育推進懇話会の実施など、活動が十分に行えなかった。
コスト削減の可能性	ない	主として人件費であり、現体制を維持するためには削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	キャリア教育は、日向市の未来を担う人づくりの基礎となる事業であることから、休廃止した場合の影響は大きい。
今後の方向性	維持	日向で育つ子どもに、自立した社会人・職業人として、たくましく社会を生き抜く力を身に付けさせるためには、事業を継続して取り組んでいくことが重要である。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、コロナ禍により「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため、成果指標を把握することができなかった。本市が進めている「ひゅうが学びの学校」は、三位一体の教育を目指しており、その柱のひとつに、キャリア教育を位置づけている。その実現には、産官学連携のもと、地域の企業や人材を活用したキャリア教育の推進や、プログラム開発などを行うキャリア教育コーディネーターの人材確保に努める必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	38 外国語教育推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,492,395			
0301	職員手当	307,971			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,876,719			
0801	費用弁償	179,672			
1001	消耗品費	32,225			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	1,129,500			
1107	自動車損害保険料	44,488			
1206	その他の委託料	18,480,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,183,995	34,542,970	0	1,641,025

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	143,000	34,399,970
主な財源	準会場実施経費				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市外国語指導助手業務委託料　18,480,000

事業期間	年度　～　年度
目的	外国語指導助手（ALT）によるネイティブな音声指導を取り入れ、英語による実践的コミュニケーションの素地を育成し、言語だけではなく、ジェスチャー等を使った豊かな表現方法や外国の多様な文化を理解する機会を提供するとともに、外国語教育における指導の工夫改善を図る。
事業活動内容	小学校及び中学校の全学年において、外国語教育の充実を図った。 ○外国語指導助手（ALT）を派遣（業務委託4名、市雇用3名） ○外国語教育アドバイザーを配置 ○外国語教育の指導方法について情報提供

成果指標	英語検定の合格率＝ 合格者数／受験者数×100 （中1の5級の合格率）	単位	目標		実績	
		%	R2	80.0	R2	82.2
			R元	80.0	R元	76.5

活動指標	ALTの配置数	単位	目標		実績	
		人	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	ALTを活用しながら系統的・計画的にコミュニケーション能力を培い、豊かな国際感覚をもった児童生徒を育成する外国語教育の役割は、市民にとってもニーズが高い。
	市の関与の妥当性	妥当	小・中学校の段階から、外国語に慣れ親しむ基礎を培う場や環境を設定し、外国の文化等も理解しながら、将来、グローバルな視点で、世界で活躍できる人材を育成することは重要である。
	成　　果	上がっている	ALTを活用した効果的な外国語教育を行ってきたことで、外国語科及び外国語活動の授業に主体的に取り組む児童生徒が増え、中学校1年生の英検5級以上の合格率が上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	すべての学校にALTを配置し、効果的にティーム・ティーチングを行うことができている。各学校にALTに関するアンケートを随時行い、指導方法を見直し、更なる工夫改善をすることができた。
	コスト削減の可能性	ない	市の直接雇用ALT3名、業務委託ALT4名を活用しながら、系統的・計画的な外国語教育を展開する必要があることから、コスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	ALTを活用した外国語教育を小学校1年生から行っていることは日向市独自の取組であり、外国語に慣れ親しんでいる児童生徒が多いため、休廃止した場合の影響は非常に大きい。
	今後の方向性	維持	小学校5・6年生から「外国語科」が完全実施となり、コミュニケーション能力や国際感覚の育成を図るためには、ALTの役割は更に重要であり、今後も効果的な活用を進める必要がある。

総評（課題・改善点）	平成30年度から行っている中学校1年生の英検5級以上の受験費用の補助を実施したことで、児童生徒だけでなく、各家庭においても外国語教育への意識が高まってきている。ALTを活用した効果的な指導体制を維持、継続していくことで、児童生徒の英語力向上につながっていくと考えられる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	50 教職員の働き方改革推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	4,000,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	9,341			
0801	費用弁償	122,830			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,140,000	4,132,171	0	7,829

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,132,171
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	教職員の業務負担の軽減を図ることで、教職員が児童生徒に向き合う時間を確保できるとともに、授業の準備時間等の確保がなされ、授業を中心とした質の高い教育活動が期待できる。
事業活動内容	学校における「働き方改革」を推進することにより、授業を中心とした質の高い教育活動の充実を図る。 〇スクール・サポート・スタッフの配置5名

成果指標	「算数の授業がよく分かりますか（小6）」の肯定的な回答	単位	目標		実績	
		%	R2	85	R2	―
			R元	85	R元	89

活動指標	市内小中学校に配置したスクール・サポート・スタッフの数	単位	目標		実績	
		校	R2	8	R2	12
			R元	―	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本市の子どもたちの学力向上や生徒指導の充実は市民の関心も高い事項である。
	市の関与の妥当性	妥当	子どもたちの学力向上や生徒指導の充実は市の責務であり、市が教職員の負担軽減に関与することは妥当である。
	成　果	上がっている	業務に追われる教員をサポートすることにより、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保することができてきている。
	成果に向けた活動量	十分であった	授業の準備や印刷だけでなく、校内の消毒など新型コロナ感染症予防にも従事するなど、安全で安心な学校づくりも含め取組ができた。
	コスト削減の可能性	ない	配置されていない学校もあるため、教職員の負担軽減につなげるためにも、一校に一人のスクール・サポート・スタッフを配置することが必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	子どもたちの学力向上や生徒指導の充実には、教職員の業務負担の軽減は必要不可欠であり、休廃止した場合の影響は非常に大きい。
	今後の方向性	拡充	スクール・サポート・スタッフが配置されていない小規模の学校まで拡充していく必要がある。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、コロナ禍により「全国学力・学習状況調査」が実施されなかったため、成果指標を把握することができなかったが、配置されたスクール・サポート・スタッフが教職員の支援を行うことで、業務の負担軽減につなげることができた。また、コロナ禍における感染防止対策のための消毒作業などにも取り組んでいただいた。しかし、スクール・サポート・スタッフを兼務で複数校に配置したり、小規模校に配置しなかったりしているため、更なる体制の充実を図っていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0004 教育指導係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	60 コミュニティ・スクール活性化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	1,787,200			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	215,000			
1101	通信運搬費	199,949			
1108	その他の保険料	45,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,129,000	2,247,149	0	881,851

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,498,000	0	0	749,149
主な財源	地域学校協働活動事業補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	保護者や地域の方々が学校運営に参画することにより、教育に関するニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となってよりよい教育の実現を図る。
事業活動内容	○学校運営協議会 地域住民、保護者から構成された委員と小中学校がともに学校運営に携わっていく取組を推進した。 ○地域学校協働活動事業 地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら様々な活動を行った。

成果指標	各学校での学習支援等の活動に参加したボランティアの延人数 （令和元年度は、3校合計） （令和2年度は、5校合計）	単位	目標		実績	
		人	R2	11,000	R2	8,426
			R元	8,000	R元	11,371

活動指標	ボランティアの活動日数 （令和元年度は、3校合計） （令和2年度は、5校合計）	単位	目標		実績	
		日	R2	1,400	R2	1,085
			R元	1,400	R元	1,200

事業評価			
	市民のニーズ	高い	学校・家庭・地域社会が一体となって、教育を推進しようとする気運高まっていることからも、地域住民や市民の関心は高い。
	市の関与の妥当性	妥当	地域とともにある学校づくりにつながる取組であり、地域における学校教育の充実を図るためにも、市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	学習支援だけでなく、地域の課題解決にも児童生徒が関わるなど、学校と地域が一体となって活動を推進してきていたが、コロナ禍により、地域と協働した取組の多くが実施できなかった。
	成果に向けた活動量	十分であった	ボランティアによる登下校時の見守りが行われ、児童生徒は安全や安心を得ることができた。しかし、コロナ禍により学習支援等は、かなり縮小される結果となった。
	コスト削減の可能性	ない	今後、各中学校区に地域学校協働活動の本部を設置していく必要があることから、コスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	学校が教育目的の達成に向けて、家庭や地域社会との連携及び協働を深めることの重要性について学習指導要領に記載されており、休廃止することは市民に与える影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	地域や学校の意向を確認しながら、各中学校区に地域学校協働本部の設置を推進する。

総評（課題・改善点）	地域学校協働活動については、令和2年度に2本部新設し、地域と学校が一体となった教育を推進する基盤を整えた。今後は、更に地域との連携を深めるとともに、新たな本部新設に取り組み、教育活動の充実を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	03 特別支援教育の充実
小事業	01 障がいのある児童生徒の教育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	30,161,198			
0301	職員手当	4,149,485			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,043,539			
0801	費用弁償	692,960			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	45,898			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,653,000	36,093,080	0	1,559,920

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	36,093,080
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	一人一人の課題に応じた適切な指導を行うことで、学習上・生活上の困難さの改善・克服を図る。 病気や障がいのある児童生徒個々のニーズに応じた生活支援や学習支援を行うことにより、児童生徒の心の安定や授業・学級運営の円滑な実施を図る。
事業活動内容	病気や障がいなどにより特別な支援が必要な児童生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服し自立を図るために必要な指導や支援を行う。 （1）チャレンジ教室「ひなた」の設置 （2）特別支援教育支援員の配置 （3）特別支援教育相談員の配置

成果指標	支援員の配置率＝支援員配置校／支援員の配置を必要とする学校	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

活動指標	支援員の配置数	単位	目標		実績	
		人	R2	22	R2	22
			R元	22	R元	21

事業評価		
市民のニーズ	高い	障がい等のある児童生徒がその状況に応じた適切な環境の中で、学校生活を送れるように、必要な支援を行う事業で、支援する児童生徒が増加傾向にあり、ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	教育基本法に基づき、障がい等のある児童生徒がその障がいの状況に応じ、市が関係機関と連携し、適切な教育を受けられるよう取り組むものであり、関与すべき事業である。
成　果	上がっている	支援員を配置することで、日常生活介助や学習活動等の支援を受けた児童生徒については、成果がみられている。また、通級指導を通して、学校生活における課題に対しても改善がみられる。
成果に向けた活動量	十分であった	児童生徒の個々の特性や学校現場の現状を踏まえた上で、必要な支援員の配置を行った。また、通級指導教室を利用した幼児や児童の指導等について、適切な支援を行った。
コスト削減の可能性	ない	障がい等のある児童生徒は増加傾向にあり、学校生活を支障なく送るために、支援員は必要不可欠である。保護者や学校現場からのニーズも高く、コスト削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	障がいのある児童生徒が特性に応じた教育を受けられるよう、必要な支援に取り組むことが重要である。支援の休廃止は、児童生徒の学校生活に対する影響が大きい。
今後の方向性	拡充	支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあることから、学校と連携し、日常生活上の介助や学習支援を継続していくため、適正に支援員を配置する必要がある。

総評（課題・改善点）	特別支援学級に入級する障がい等のある児童生徒が年々増加傾向にある。支援を必要とする児童生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、今後も適正に支援員を配置する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	01 就学時健康診断に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	17,550			
1001	消耗品費	82,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100,000	99,550	0	450

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	99,550
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	就学予定者の心身の健康状態を把握し、保健上必要な助言や健康指導、適正な就学指導を行うことができる。
事業活動内容	学校教育法施行令第2条の規定により、次年度就学予定者に対し、市内就学予定の小学校11箇所で健康診断を行った。就学予定者の心身の状況を把握するために、内科・歯科・眼科健診、面接・視力・聴力検査を実施し、保健上必要な指導、助言を行い、適正な就学を図った。

成果指標	就学時健診の実施回数	単位	目標		実績	
		回	R2	11	R2	11
			R元	11	R元	11

活動指標	市内小学校への就学予定者の就学時健診受診率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	99
			R元	100	R元	100

事業評価			
	市民のニーズ	高い	就学時健康診断は、就学予定者の健康状態を把握し、就学に必要な健康管理上の助言を行うことで、適正な就学につなげられるため、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	就学時健康診断は、学校教育法及び学校保健安全法の規定により実施しており、医師会、歯科医師会・学校が連携して行う必要があることから、関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	就学時健康診断を行い、健診結果に基づき、治療が必要な幼児の保護者には受診勧奨を行うとともに、就学に向けて保健上必要な助言を行うことができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	就学前の幼児の健康状態の課題について、保護者に助言を行うなど、就学支援につなげるため、就学時健診を市内の小学校11箇所で実施した。
	コスト削減の可能性	ない	学校健診については、学校保健安全法に則り、無料で実施している。就学時健康診断についても、次年度入学に向けた準備であることからコスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止した場合、就学前に日常生活に支障となる心身の疾病及び異常の疑いがある幼児への治療勧奨をはじめ、健康管理の助言ができなくなり、適正な就学につなげることができなくなる。
	今後の方向性	維持	就学時健康診断は、就学予定者に対して、心身の状況を的確に把握し、健康管理上必要な助言や入学時までに必要な治療を受けるように勧奨することが重要であるため、今後も実施していく。

総評（課題・改善点）	就学時健康診断の結果により、就学予定者の健康状態の把握を行い、学校生活や日常生活に支障となる疾病等のある幼児及びその保護者に対して、必要な治療の勧奨や保健上の助言を行うなど、関係機関と連携して適切な就学支援を実施していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	02 保健体育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	14,603,450	1860006	県中学校体育大会派遣補助金	1,606,000
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	36,000			
1006	印刷製本費	378,741			
1011	医薬材料費	40,590			
1206	その他の委託料	17,267,170			
1301	使用料及び賃借料	53,060			
1805014	宮崎県学校保健会負担金	11,923			
1805060	宮崎県中学校体育連盟負担金	40,890			
1806064	日向地区中学校体育連盟負担金	69,900			
1860003	日向市学校保健会補助金	0			
1860004	日向市小学校体育連盟補助金	7,779			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,071,000	34,115,503	0	955,497

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	34,115,503
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料

心臓病検診業務委託料	3,604,392
腎臓病検診業務委託料	6,032,624
教職員健康診断業務委託料	3,044,316
学校医（東郷病院）業務委託料	274,900
貧血検査・小児生活習慣病予防健診業務委託料	2,508,044
小児生活習慣病予防健診判定及び事後指導業務委託料	1,642,140

事業期間	年度　～　年度
目的	学校健診の実施により、早期発見・早期治療等の勧奨等を行い、重症化を防ぐとともに、自分の健康状態について把握する機会を設けることで、児童生徒、教職員の健康に対する意識の醸成を図る。また、児童生徒のスポーツ等を通じた相互交流により、他者との視点を広げるとともに、競技力の向上と健康の増進を図る。
事業活動内容	①児童生徒、教職員を対象に各種健康診断を行うことにより、健康維持を図った。 ②児童生徒の保健教育の強化により、将来にわたって健やかな人生を送るための健康づくりについて、自ら学び、考え、実践する児童生徒を育成した。 ③児童生徒を取りまく関係機関が協力し、学校保健会の活動を通じて、児童生徒の健全な育成を図った。 ④陸上教室など各種大会への参加等を奨励し、児童生徒の競技力の向上を図ることで、競技を通じての満足感や達成感を体験するなど学校生活の充実を図った。

成果指標	小児生活習慣病予防及び生活習慣改善を目的とした集団指導（事後指導）の回数	単位	目標		実績	
		回	R2	10	R2	0
			R元	10	R元	10

活動指標	小児生活習慣病の事後指導（食事調査＋個別指導）の実施者数	単位	目標		実績	
		人	R2	250	R2	216
			R元	250	R元	240

事業評価		
市民のニーズ	高い	児童生徒、教職員の健康診断を通して、健康の保持増進を図り、学校生活や教育を円滑に実施していくことは、地域の活性化にもつながっていくことから市民のニーズも高い。
市の関与の妥当性	妥当	学校健診の実施にあたっては、学校、医師会、歯科医師会、栄養士会、健康づくり協会等との連絡調整が必要であり、市の関与は妥当である。
成　果	上がっている	コロナ禍の影響で、学校健診の時期が遅れたり、小児生活習慣病予防健診後の集団指導ができなかったが、学校・学校医等の協力で、早期発見及び治療勧奨に漏れなく取り組むことができた。
成果に向けた活動量	十分であった	各学校や学校医・学校歯科医・関係事業所と連携し、計画どおり必要な学校健診を実施することができた。
コスト削減の可能性	ない	学校健診については、学校保健安全法に則り市が実施することになっている。小児生活習慣病予防健診についても、同様の対応が適切であると判断されることからコスト削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止すれば、児童生徒の適切な健康管理が行えなくなるため、学校教育における学習能率をはじめ、予防や治療をしないことで、心身の発達にも影響を及ぼす可能性がある。
今後の方向性	維持	学校健診の実施は、児童生徒等の健康管理を行う上で必要である。また、学校保健会、小学校体育連盟、中学校体育連盟の活動を支援し、心身共に充実した学校生活が送れるように取り組む。

総評（課題・改善点）	児童生徒に対して、生涯にわたる健康の保持増進に必要な実践力を育成するため、各種健診結果をもとに、関係機関と事後指導の充実に努める必要がある。また、小児生活習慣病予防健診については、個別指導と集団指導を併行して実施していくことが有効であると思われる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	03 安全教育の推進に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	20,000			
1008	修繕料	98,560			
1011	医薬材料費	144,430			
1103	手数料	742,940			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	4,747,575			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,432,950	5,753,505	0	679,445

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,012,000	3,741,505
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	学校の環境を点検し、良好に保つことにより、児童生徒が安全で、安心して学校生活を送ることができる。
事業活動内容	①学校保健安全法、学校環境衛生基準に沿って、学校薬剤師による学校環境衛生検査（ダニ・アレルゲン・ホルムアルデヒド等）の実施 ②飲料水水質を常に良好に保つための、残留塩素等の量の測定・調整 ③学校及び幼稚園等の保健関係備品の点検 ④児童生徒の学校管理下の活動における傷病に対する保険料の負担

成果指標	学校環境衛生基準に基づいた学校環境等検査を行った学校数（市立幼稚園・小中学校）	単位	目標		実績	
		校(園)	R2	20	R2	20
			R元	20	R元	20

活動指標	学校薬剤師が検査のために学校・幼稚園を訪問した回数	単位	目標		実績	
		回	R2	63	R2	65
			R元	60	R元	68

事業評価			
	市民のニーズ	高い	環境の影響を受けやすい発達段階にある児童生徒等が、安全で安心な学校生活を送るために、環境衛生を保持するための事業であり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	学校環境衛生検査の実施にあたっては、薬剤師会などの関係機関との連携が必要であり、市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	環境衛生検査の結果は、学校薬剤師から学校に報告し、改善を図っている。また、市内小中学校の状況を市学校保健会で情報共有し、必要な対策等、他の各学校も参考にしている。
	成果に向けた活動量	十分であった	新型コロナウイルス感染症の影響でプールは実施しなかったため、水質検査はできなかったが、それ以外の検査は環境衛生基準に基づき、定期検査を行った。
	コスト削減の可能性	ない	各種検査は学校保健安全法に則り実施するものであり、日本スポーツ振興センター共済掛金負担金も、学校の管理下における児童生徒の安全安心を保障するため必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	学校の適切な衛生環境が保持できなくなると、児童生徒の健康に影響を及ぼすことから、学校全体の運営にも支障が出る恐れがある。
	今後の方向性	維持	児童生徒が安全安心な環境のもとで学校生活が送れるように、関係機関と連携を深め、環境衛生面を維持していく必要がある。

総評（課題・改善点）	各小中学校の環境衛生検査の結果は、学校保健会で情報共有を行うとともに、改善すべき課題の整理に取り組んだ。学校の環境衛生状況は、健康及び学習効率等に大きな影響を及ぼすため、今後も関係機関と連携を取りつつ、学校における適切な環境衛生の維持、管理に努めていく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	39 コミュニティ・スクール（小学校）に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	971,400			
0801	費用弁償	9,287			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,152,000	980,687	0	171,313

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	980,687
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。
事業活動内容	○学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 地域住民、保護者等で構成された委員と小学校がともに学校運営に携わっていく制度を推進した。

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 学校運営協議会の意見を学校経営に生かしたと答える学校の割合	%	R2	100	R2	100
	令和元年度 学校運営協議会の意見が学校経営に生かされていると答える委員の割合		R元	70	R元	－

活動指標		単位	目標		実績	
	各学校における学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施回数 （1協議会ごとの平均）	回	R2	4	R2	4
			R元	4	R元	4

事業評価		
市民のニーズ	高い	「地域とともにある学校づくり」についての意義については、地域の理解をはじめ関心も高い。
市の関与の妥当性	妥当	「ひとづくり」と「まちづくり」につながる新たな学校づくりに向けた取組であることから、市の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	学校と地域が同じ目標に向かって目指す子どもの姿について共通理解をし、教育に関わっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	地域の人の有用感や生きがいづくりにつながり、子どもの学びや体験が充実してきていたところであるが、コロナ禍により、学校運営協議会の開催数が減少した。
コスト削減の可能性	ない	学校運営協議会に係る費用弁償及び謝金のみを予算化しているため、コスト削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	学校運営に「地域が関わる社会に開かれた教育課程」の実現が図られなくなる。
今後の方向性	拡充	地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に進めるため、地域学校協働本部の活性化を図り、より学校と地域の連携を深めていく。

総評（課題・改善点）
令和2年度はコロナ禍により、学校と地域がともに活動する機会を十分に設けられなかったが、今後は、学校運営協議会の機能を生かし、地域とともにある学校づくりの推進を図る。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	28 教育振興に要する経費（小学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,490,616			
1006	印刷製本費	1,152,580			
1008	修繕料	109,010			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	4,942,778			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,862,235	10,694,984	0	167,251

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,694,984
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	小学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。
事業活動内容	・消耗品購入（教師用教科書、指導書、テスト用紙など） ・印刷製本（社会科副読本、帳票の様式など） ・図書購入（学校図書館用、授業用など） ・備品購入（大型テレビ、ホワイトボードなど）

成果指標	全国学力・学習状況調査 「算数の授業がよく分かりますか（小6）」の肯定的な回答	単位	目標		実績	
		%	R2	85.0	R2	－
			R元	84.8	R元	89.0

活動指標	研究会の回数 12教科等部会×3回	単位	目標		実績	
		回	R2	36	R2	－
			R元	36	R元	44

事業評価			
	市民のニーズ	高い	家庭や地域と連携し、それぞれの役割に応じて、児童を守り育てるための教育環境の整備が求められており、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	総合計画の「生きる力をはぐくむ教育の推進」には、教育投資は必要不可欠であり、市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっている	令和2年度は、コロナ禍により調査ができなかったものの、昨年度、算数の授業への理解について、肯定的な回答をした児童が県平均を超えており成果は上がっていると予想される。
	成果に向けた活動量	十分であった	予算執行率は98．5%であり、十分に活用されている。
	コスト削減の可能性	ない	大型テレビや机、椅子等、各学校が同じ備品を購入する際は、合同で入札を実施するなど、予算の効率的な執行に努めたが、教材等のコストそのものを削減することは難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	教育は人づくりの根幹となるものであり、教材等の必要な整備を行わないときの影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	小学校における外国語教育や道徳の教科化、プログラミング教育、「GIGAスクール構想」の実現など、あらたな要素が次々と導入されるため、積極的な投資が必要である。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、コロナ禍により「全国学力学習状況調査」が実施されなかったため、成果指標を把握することができなかった。総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現には教育への投資は必要である。その一方で、限られた予算をより効果的・効率的に運用することも重要であるため、関係機関との連携を深め、今後教育に求められる課題について、より高い効率性や合理性等の観点から議論を進める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）		
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業	大事業	01 生きる力を育む教育の推進			
	中事業	02 小学校・中学校教育の充実			
	小事業	40 コミュニティ・スクール（中学校）に要する経費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	312,000			
0801	費用弁償	7,030			
1101	通信運搬費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
351,000	319,030	0	31,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	319,030
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことで可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かして、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。
事業活動内容	○学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 地域住民、保護者等で構成された委員と中学校がともに学校運営に携わっていく制度を推進した。

成果指標		単位	目標		実績	
	令和2年度 学校運営協議会の意見を学校経営に生かしたと答える学校の割合	%	R2	100	R2	100
	令和元年度 学校運営協議会の意見が学校経営に生かされていると答える委員の割合		R元	70	R元	－

活動指標		単位	目標		実績	
	各学校における学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の実施回数 （1協議会ごとの平均）	回	R2	4	R2	4
			R元	4	R元	4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	「地域とともにある学校づくり」についての意義については、地域の理解や関心も高い。
	市の関与の妥当性	妥当	「ひとづくり」と「まちづくり」につながる新たな学校づくりに向けた取り組みであることから、市の関与は妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	学校と地域が同じ目標に向かって目指す子どもの姿について共通理解をし、教育に関わっている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	地域の人の有用感や生きがいづくりにつながり、子どもの学びや体験が充実してきていたところであるが、コロナ禍により、学校運営協議会の開催数が減少した。
	コスト削減の可能性	ない	学校運営協議会に係る費用弁償及び謝金のみを予算化しているため、コスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	学校運営に「地域が関わる社会に開かれた教育課程」の実現が図られなくなる。
	今後の方向性	拡充	地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に進めるため、地域学校協働本部の活性化を図り、より学校と地域の連携を深めていく。

総評（課題・改善点）	令和2年度はコロナ禍により、学校と地域がともに活動する機会を充分に設けられなかったが、今後は、学校運営協議会の機能を生かし、地域とともにある学校づくりの推進を図る。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	30 教育振興に要する経費（中学校）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,397,287			
1008	修繕料	65,542			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	4,294,492			
1806010	日向東臼杵南部地区進路指導協議会負担金	18,000			
1806016	日向地区学校・警察生徒指導連絡協議会負担金	0			
1806023	日向地区中学校英語教育研究会負担金	15,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,261,000	6,791,021	0	469,979

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,791,021
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	中学校における教材・備品等の整備を進め、教育の振興を図る。
事業活動内容	・消耗品購入（教師用教科書、指導書、テスト用紙など） ・印刷製本（帳票の様式など） ・図書購入（学校図書館用、授業用など） ・備品購入（大型テレビ、ハードルなど）

成果指標	全国学力・学習状況調査 「数学の授業がよく分かりますか（中3）」の肯定的な回答	単位	目標		実績	
		%	R2	72.1	R2	－
			R元	72.1	R元	63.2

活動指標	研究会の回数 12教科等部会×3回	単位	目標		実績	
		回	R2	36	R2	－
			R元	36	R元	44

事業評価			
	市民のニーズ	高い	家庭や地域と連携し、それぞれの役割に応じて、生徒を守り育てるための教育環境の整備が求められており、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	総合計画の「生きる力をはぐくむ教育の推進」において、教育投資は必要不可欠であり、市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	令和2年度は、コロナ禍により調査ができなかったが、昨年度、数学の授業への理解について、肯定的な回答をした生徒が県平均を下回っており、更なる教材・備品の充実と有効活用を図りたい。
	成果に向けた活動量	十分であった	予算執行率は93．5%であり、十分に活用されている。
	コスト削減の可能性	ない	大型テレビや机、椅子等、各学校が同じ備品を購入する際は、合同で入札を実施するなど、予算の効率的な執行に努めたが、教材等のコストそのものを削減することは難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	教育は人づくりの根幹となるものであり、教材等の必要な整備を行わないときの影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	「GIGAスクール構想」の実現など、あらたな要素が次々と導入されるため、積極的な投資が必要である。

総評（課題・改善点）	令和2年度は、コロナ禍により「全国学力学習状況調査」が実施されなかったため、成果指標を把握することができなかった。総合計画の「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」の実現には教育への投資は必要である。その一方で、限られた予算をより効果的・効率的に運用することも重要であるため、関係機関との連携を深め、今後教育に求められる課題について、より高い効率性や合理性等の観点から議論を進める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係		
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費
事業	大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実			
	中事業	03 学校給食の充実			
	小事業	02 給食調理に要する経費（学校給食センター）			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	145,508			
1203	事業委託料	142,604,000			
1840024	日向市学校給食会補助金	4,000,000			
2001	貸付金	10,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
157,434,015	156,749,508	0	684,507

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	10,000,000	146,749,508
	主な財源	学校給食会貸付金収入			

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料（事業委託料）

学校給食調理業務	108,900,000
学校給食搬送業務	33,704,000

事業期間	年度　～　年度
目的	安全・安心な学校給食を安定して提供するとともに、地産地消を推進する。
事業活動内容	日向市内の市立幼稚園・小学校・中学校へ安全・安心な学校給食の提供を安定して行った。 〇消耗品費（食品用放射温度計、防水ハンディ温度計、食器かご） 〇委託料（調理業務、搬送業務） 〇補助金（日向市学校給食会の運営補助及び地産地消食材費の補助） 〇貸付金（日向市学校給食会物資会計運転資金の貸付）

成果指標	学校給食に対する理解と関心を深めてもらうための見学（試食）受入回数	単位	目標		実績	
		回	R2	25	R2	0
			R元	25	R元	20

活動指標	委託している調理業務において、安全・安心な学校給食のための献立会議の回数	単位	目標		実績	
		回	R2	22	R2	22
			R元	22	R元	22

事業評価			
	市民のニーズ	高い	学校給食の提供は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食育の観点からも大切な役割を担っているため、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	地域の将来を支える児童生徒の心身の健全な発達や正しい食習慣を身に付ける一助となるため、市の関与は必要である。
	成　　果	ある程度上がっている	安全・安心な学校給食を安定して提供するとともに、地産地消を推進する。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により施設見学等を1年間中止したが、ホームページ等で学校給食のレシピ等を紹介した。栄養バランスや地産地消を考慮した学校給食を提供するため、献立会議を計画どおり行った。
	コスト削減の可能性	ない	学校給食を安定して提供するためには、必要な経費である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食育の一環として行っているため、休止、廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	児童生徒の健全な成長を育むため、安全・安心な食材を使った学校給食の提供を引き続き実施する。

総評（課題・改善点）	
	2学期から米飯を週2．5回から3回に増やしたことで地元産の米の使用は増えた。また、地元産のキュウリや千切り大根などを使用した献立を積極的に取り入れることで地産地消の推進に努めた。 なお、食材は保護者が負担する給食費で購入しているため、発注に当たっては、透明性、公平性を確保した入札を行い、安価で良質な食材の安定的な納入に努めている。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	03 安全衛生対策に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	20,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	387,789			
1003	消耗品費被服	113,410			
1009	賄材料費	451,323			
1103	手数料	646,398			
1201	施設維持管理委託料	649,000			
1301	使用料及び賃借料	32,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,360,000	2,299,920	0	60,080

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,299,920
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（施設維持管理委託料）
総合環境衛生管理（害虫駆除）業務　649,000

事業期間	年度　～　年度
目的	衛生的な施設・作業環境等を整備することにより、児童生徒への安全・安心な学校給食の提供に寄与する。
事業活動内容	施設及び職員の衛生保持に係る資材等の調達及び法定検査等を行った。また、学校給食における食物アレルギー対応の手引きを見直した。 ○出会謝金（アレルギー対応検討委員謝金） ○消耗品費（消毒液、洗剤、手袋、タオルペーパー、白衣ほか） ○賄材料費（保存食） ○手数料（検便検査、食材食品調査、排水水質検査ほか） ○使用料及び賃借料（施設内衛生マット）

成果指標		単位	目標		実績	
	センター内職員のウイルス感染による出勤停止	件	R2	0	R2	0
			R元	0	R元	0

活動指標		単位	目標		実績	
	①検便検査 ②ノロウイルスPCR法検査	回	R2	①24 ②4	R2	①24 ②4
			R元	①24 ②4	R元	①24 ②4

事業評価			
	市民のニーズ	高い	安全・安心な学校給食を安定して提供することは、地域の将来を支える児童生徒の心身の健全な成長に寄与することにつながるため、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	安全・安心な学校給食を安定して提供するためには、市の関与は必要である。
	成　　果	上がっている	センター内職員のウイルス感染による学校給食の停止はなく、安全・安心な学校給食を安定して提供できた。
	成果に向けた活動量	十分であった	手洗い・消毒の徹底、健康管理等について危機意識を持って業務を行った。児童生徒のより一層の安全性を確保するため、学校給食における食物アレルギー対応の手引きの見直しを行った。
	コスト削減の可能性	ない	安全衛生対策のための必要な経費である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止した場合には、安全衛生面が確保できないため学校給食を提供することができなくなり、児童生徒の心身の健全な発達に影響が出ることが考えられるため、市民への影響は大きい。
	今後の方向性	維持	安全衛生対策は、安全・安心な学校給食を安定して提供するために継続して行う必要がある。

総評（課題・改善点）	安全衛生対策は、安全・安心な学校給食を提供するために徹底して行う必要があるため、引き続き、委託事業者と一体となって取り組んでいく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係		
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大事業	05 図書館サービスの充実			
	中事業	01 図書館機能の充実			
	小事業	01 図書館サービス・資料の充実に要する経費			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,498,887			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	9,498,242			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,000,000	10,997,129	0	2,871

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	10,997,129
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	図書館資料の整備・充実により、図書館サービスの向上を図る。
事業活動内容	図書資料等の購入 〇一般図書・児童図書・雑誌・AV（DVD、CD等）・郷土資料・新聞の購入（本館及び6公民館分）

成果指標	年間貸出冊数	単位	目標		実績	
		冊	R2	263,000	R2	181,670
			R元	263,000	R元	227,043

活動指標	年間図書等受入数（図書、AV）	単位	目標		実績	
		冊	R2	5,600	R2	5,871
			R元	5,600	R元	5,490

事業評価			
	市民のニーズ	高い	利用者による資料のリクエストは多く、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	市民の生涯学習を支援するために、資料を充実させることが公立図書館の役割である。
	成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により臨時休館したこともあり、貸出冊数は減少したが、図書の受入数については、予定数以上に受け入れることができた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	市民のリクエストについては、可能な限り対応することができた。
	コスト削減の可能性	ない	図書資料等は定価で購入するため、コスト削減は困難である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の生涯学習を支援することを目的としていることから、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	利用者のニーズに合った資料等の収集・整備・保存等に努め、市民の生涯学習を継続して支援していく必要がある。

総評（課題・改善点）	コロナ禍により、臨時休館や館内利用の制限を行ったため、貸出冊数が減少した。今後は、インターネットによる図書の予約をすることの利便性を周知し、安心安全の利用を推進する必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館　0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	02 読書活動の推進
小事業	01 児童サービスに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,306,000			
1005	食糧費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,318,000	1,306,000	0	12,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,306,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	乳幼児から小学生までを対象とした読書活動サービスを行い、本に親しむ機会を提供することで、読書習慣を身に付け読書意欲の向上を図る。
事業活動内容	○ブックスタート ・7か月児健診時に絵本1冊、布製バック、説明パンフレットを配布 ○ブックスタートプラス ・1歳6か月児健診時に絵本1冊配布 ○ブックスタートツープラス ・3歳児健診時に絵本1冊配布 ○読書活動推進に係る事業 ・館内おはなし会 ・クリスマスおはなし会

成果指標	読み聞かせ・おはなし会参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	5,000	R2	45
			R元	9,200	R元	5,420

活動指標	ブックスタート配布数	単位	目標		実績	
		人	R2	1,400	R2	1,438
			R元	1,500	R元	1,306

事業評価		
市民のニーズ	高い	乳幼児一人ひとりが心豊かに育つよう、絵本の読み聞かせ等を行うことの大切さを広めることは必要である。
市の関与の妥当性	妥当	子どもの読書活動の推進、乳幼児の健やかな成長に資する良好な絵本等の提供に努めることは、公立図書館の重要な役割である。
成　　果	上がっている	絵本を通して育まれた読書習慣が、図書館の利用、おはなし会への参加につながっている。
成果に向けた活動量	十分であった	ブックスタート事業は、乳幼児健診と併せて実施し、全ての対象者に絵本の提供ができた。
コスト削減の可能性	ない	ブックスタートの絵本は、NPOを介し安価で購入しており、コスト削減は十分図られている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	子どもが絵本に親しむ機会を減らすことは、読書活動に与える影響が大きい。
今後の方向性	維持	乳幼児期に、親子で本を通してふれ合う機会を持つことは重要であり、今後も必要なサービスである。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍により、館内、保育園・幼稚園へのおはなし会の開催ができなかった。 ブックスタート事業については、乳幼児健診時に行うことで、確実に絵本を配布することができ、乳幼児期から本に親しむ機会を提供できた。また、こども課の行う健診後のフォローアップ事業で、乳幼児期の読み聞かせの大切さを伝えることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係		
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費
事業	大事業	05 図書館サービスの充実			
	中事業	02 読書活動の推進			
	小事業	02 生涯学習ボランティア（図書館）の育成事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1108	その他の保険料	19,200			
1840017	図書館ボランティア「友の会」補助金	9,669			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,000	28,869	0	56,131

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	28,869
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	図書館ボランティアを育成し、市民との協働による図書館づくりを推進する。 図書館ボランティアの意欲向上と活動の安定を図るため、活動助成を行う。
事業活動内容	○図書館ボランティア「友の会」に対する活動助成

成果指標	図書館ボランティアの活動人数（延べ人数）	単位	目標		実績	
		人	R2	300	R2	43
			R元	360	R元	294

活動指標	養成講座の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	高い	おはなし会をはじめとした図書館サービスの充実に対する市民のニーズは高く、ボランティアの参画は不可欠である。
	市の関与の妥当性	妥当	様々な事業を通して、読書に親しむ機会を設けるためにも、ボランティアとの協働は重要である。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、おはなし会等の開催はできなかったが、本の修理や植栽など環境整備に努めてもらった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、研修会や講演会は開催できなかったが、文書により活動状況を確認した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	図書館と一緒に活動を行うことで、ある程度の経費の削減を行っている。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	おはなし会等の開催が縮小されるため、子どもたちへの影響は大きい。
	今後の方向性	維持	当初より活動しているボランティアが多く高齢化しているため、新たなボランティアの養成が必要である。

総評（課題・改善点）	
	コロナ禍により、ボランティアによるおはなし会等の活動は制限されたが、本の修理や植栽については、引き続き活動を行い、環境整備に取り組むことができた。 会員の高齢化が進み、会員が減少しているので、新たなボランティアの拡充が必要である。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	03 放送大学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,091			
1852001	放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金	855,910			
1867001	放送大学入学奨励費補助金	78,375			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,046,000	941,376	0	104,624

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	941,376
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	放送大学宮崎学習センターの所在市として、学習センターの円滑な推進を支援するとともに、市民の生涯学習の推進を図る。
事業活動内容	(1)放送大学入学奨励費補助金 放送大学に入学した市民に対し、入学料の2分の1を補助した。 入学料：全科履修生24千円、選科履修生9千円、科目履修生7千円 (2)放送大学宮崎学習センター振興協議会補助金 放送大学宮崎学習センター振興協議会が行う放送大学宮崎学習センターの支援事業に対して助成した。 ○主な事業内容 大学入学のPR活動及び学生のサークル活動、学園祭への助成、優秀学生表彰等

成果指標		単位	目標		実績	
	①奨励費受領額 ②日向市内受講生	①千円 ②人	R2	①132 ②83	R2	①79 ②80
			R元	①132 ②100	R元	①134 ②81

活動指標		単位	目標		実績	
	奨励費補助金、協議会補助金	千円	R2	1,038	R2	935
			R元	1,038	R元	1,040

事業評価		
市民のニーズ	高い	入学奨励補助件数は前年度と比較すると減少しているが、ここ数年のうちでは多く、市民ニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	市が積極的に誘致した経緯もあり、いつでもどこでも学ぶことができる場として、今後学習センターを存続、活性化させていくためには積極的に関与していく必要がある。
成　　果	上がっている	学習センターが主催して公開講座を開催するなど、放送大学の魅力を伝えることができた。全体の学生数においても前年度と比較して増加した。
成果に向けた活動量	ある程度あった	振興協議会を通じて学生の募集や、サークル活動の助成をすることにより学生間のネットワークの構築を図るための活動に取り組んだが、コロナ禍により前年度に比べ、活動回数は減少した。
コスト削減の可能性	ない	振興協議会への助成を通じて、振興協議会として学生数の増加に努めており、学習センターを維持・活性化していくためには、これ以上のコスト削減は難しい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業を廃止すると学生募集のPRや支援もできなくなることから、学生数が減少し、学習センター自体が本市から離れることも考えられる。
今後の方向性	維持	市内唯一の高等教育機関として、また生涯学習の推進を図るうえでも継続して支援していくことが必要である。

総評（課題・改善点）	
	ここ数年、全体の学生数は減少していたが、放送大学宮崎学習センター振興協議会主催による体験入学の取組を令和2年度に行ったところ、それを契機として入学につながるなど成果に結び付いた。今後とも、放送大学宮崎学習センターが公開講座を主催するなどして放送大学の魅力を伝えるとともに、生涯学習の拠点として学習センターの活用が積極的に図られるよう市民への入学奨励費の助成制度を含め、あらゆる機会をとおして放送大学の魅力を発信していく必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	01 子ども情報提供事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	64,000			
1001	消耗品費	33,834			
1006	印刷製本費	393,800			
1101	通信運搬費	9,204			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
524,000	500,838	0	23,162

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	500,838
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	児童生徒等に対し、みらくるキッズを通じて体験活動等の情報を提供することにより、多くの子どもたちに各種の体験をしてもらう契機となり、青少年の健全育成につながる。
事業活動内容	(1)情報誌　みらくるキッズ発行 ①年4回発行　市内小・中学校児童生徒及び公立公民館や市内幼稚園・保育所へ配布 ②編集委員会の開催

成果指標	配布部数（みらくるキッズ）	単位	目標		実績	
		部	R2	6,200	R2	6,200
			R元	5,900	R元	5,900

活動指標	編集委員会開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	4	R2	4
			R元	4	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	普通	毎回、イラストの投稿が多くあり、児童生徒のニーズは高い。また、親子で取り組むことができる情報や各種イベント情報も提供しており、市民の関心は高い。
	市の関与の妥当性	妥当	情報誌をとおして児童生徒の意見や考えを反映させる手段として有効であり、また誌面の情報を通じて親子間のコミュニケーションを育む手段となるなど家庭の教育力向上にも寄与しており、市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	市内小中学校の全児童生徒に配付しており、各家庭におけるコミュニケーションを図るためのツールとして活用されている。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	年に4回の編集会議を行い、それに合わせ「みらくるキッズ」を発行した。市内の小中学校の児童生徒全員と幼稚園・保育園、公立公民館などに対して配布している。6，200部×4回
	コスト削減の可能性	ある程度ある	これまで年4回の発行であったが、年3回の発行にするなどコスト削減の可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	児童生徒に対する情報提供の手段であり、また、ハガキをとおして児童生徒から意見を聞くことのできるツールでもあることから、休廃止した場合にはそれを失うことになるため影響は大きい。
	今後の方向性	維持	親子で作る工作や料理などの様々な情報をとおして家族間でのコミュニケーションが図られるなど、効果的に活用されており、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

総評（課題・改善点）	子ども情報誌「みらくるキッズ」を、一般の編集委員と協働で作成し、児童生徒に対して魅力ある情報を提供している。4回の編集会議のうち1回の会議に、特別に編集員として募集した児童生徒にもイラストの選定やタイトルのレイアウトなどに携わってもらうなど児童生徒とともに作り上げる取組を予定していたが、コロナ禍により実施できなかった。今後とも児童生徒の意見を反映しながら、魅力的な情報誌となるよう取組を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	02 地域教育力活性化推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	25,462			
1203	事業委託料	315,229			
1860001	児童生徒健全育成事業補助金	269,502			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,317,000	610,193	0	706,807

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	610,193
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
地域教育力活性化推進事業業務　315,229

事業期間	年度　～　年度
目的	地域の子どもと大人の世代間交流活動や、各中学区における学校、保護者及び地域住民が相互に連携・協力して行う活動をとおして、家庭及び地域社会がもつ教育力を高めるとともに、子どもたちの豊かな心と確かな学力及びたくましく生きる力の育成を図る。
事業活動内容	(1)地域教育力活性化推進事業の主な内容 ①自然体験活動　②伝統芸能の伝承活動 ③福祉体験活動　④社会貢献活動 ⑤学習支援 (2)児童生徒健全育成事業補助金の主な補助対象事業 ①児童生徒意見発表会　②学習発表会 ③地域奉仕（福祉）作業　④教育講演会 ⑤地域文化の継承活動　⑥地域環境美化活動

成果指標	大人の参加割合	単位	目標		実績	
		%	R2	50.0	R2	47.0
			R元	50.0	R元	57.1

活動指標	実施団体数	単位	目標		実績	
		団体	R2	15	R2	7
			R元	20	R元	10

事業評価		
市民のニーズ	高い	世代間交流活動をとおして、児童生徒が地域に愛着を持つとともに、地域の大人も自己有用感の向上につながっており、市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	地域の大人と子どもによる世代間交流活動をとおし、家庭及び地域社会がもつ教育力を高めるとともに、児童生徒の健全育成を目的としているため、市の関与は必要である。
成　果	上がっている	活動をとおして児童生徒の健全育成が図られるとともに、地域におけるコミュニティの維持・醸成につながるなど成果は上がっている。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により予定していた活動が実施できない団体もあったが、様々な方策を探りながら、取り組んだ団体もあった。
コスト削減の可能性	ある程度ある	前年度と同じ団体からの申請があった場合には、基本的に前年度より減額して交付している。また、各団体において自主財源の確保に努めていただいている。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	自立して活動できるまでは、継続が望ましい。また、児童生徒健全育成事業においては、各中学校が中心となった独自の地域との交流活動が困難となり、地域の教育力の低下が懸念される。
今後の方向性	維持	新規の実施団体を増やし、市内全域で活動が活発になるよう周知に努めていく。

総評（課題・改善点）	地域の大人と子どもたちによる世代間の交流により、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を醸成し、子どもたちが地元を好きになってもらう土壌を作るためには有効な事業である。新たな団体による申請を増やし、市内全域において、様々な内容や分野において取組が進められるようさらなる周知の徹底を図る必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	03 放課後子ども教室推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	4,161,510	1301	使用料及び賃借料	36,000
0802	普通旅費	0	1701	庁用器具費（一般的事務用）	19,800
1001	消耗品費	57,099			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	110,872			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	141,000			
1103	手数料	4,635			
1106	火災保険料	17,778			
1108	その他の保険料	100,450			
1201	施設維持管理委託料	37,950			
1203	事業委託料	3,455,192			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,266,000	8,172,886	0	2,093,114

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,898,000	0	933,000	4,341,886
主な財源	放課後子ども教室補助金、放課後子ども教室利用料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

旧鶴野内保育園消防防災設備保守点検業務　37,950

放課後子ども教室推進事業業務　3,455,192

事業期間	年度　～　年度
目的	放課後等において、地域住民の参画により児童の活動支援を行うことで、地域全体で子どもを育てるという意識の醸成を図るとともに、児童が様々な大人との関わりのなかで社会規範を身につけられる場の提供を行う。
事業活動内容	○事業内容等 学校の放課後等に小学校や公民館等を活用し、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強、スポーツ、文化活動等を行う事業を実施した。 ○実施場所等 6校区、7教室 細島小、塩見小、平岩小、美々津小、寺迫小、東郷小2教室

成果指標	参加児童数	単位	目標		実績	
		人	R2	210	R2	216
			R元	200	R元	202

活動指標	開設教室数	単位	目標		実績	
		教室	R2	7	R2	7
			R元	7	R元	7

事業評価		
市民のニーズ	高い	放課後に児童が安全で安心して過ごすことのできる居場所として、保護者の要望が非常に高い。
市の関与の妥当性	妥当	放課後における児童の安全・安心な活動の拠点を全小学校区で設置することを目指す「新・放課後子ども総合プラン」に基づいており、市の関与は妥当である。
成　果	上がっている	放課後に安心して過ごすことのできる場として、参加児童は学習活動や体験活動をとおして伸び伸びと活動している。また、サポーターの指導のもと、社会規範を身につけることができている。
成果に向けた活動量	十分であった	これまでは、学校が開設している日の放課後に基本的に開設していたが、新たに4教室において夏季休業期間のうち一部の期間においても開設した。
コスト削減の可能性	ない	ニーズの高まりとともに登録児童数も増えており、特に低学年の児童が多く、対応に苦慮する児童もいることから、サポーターを増やすなどの対応が必要となる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	地域からの強い要望を受けて事業を開始し、登録児童数も増加傾向にあり、廃止した場合の影響は大きい。
今後の方向性	維持	放課後における安全・安心な居場所として市民ニーズも非常に高い。要望の多い長期休業期間中の開設についても引き続き夏季休業期間において、実施していきたい。

総評（課題・改善点）

サポーターの高齢化が進んでいる教室もあるが、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が高く、学校との連携も図りながら、しっかりと対応をしていただいている。サポーターによって、子どもの接し方に差が生じないよう研修会に参加し、資質の向上に努めるとともに、あわせて新たなサポーターの確保に努める必要がある。地域全体で子どもたちが安全で安心して過ごすことのできる居場所を作っていくためにも、放課後児童クラブとの連携を図っていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	06 ふるさと再発見！子どもの夢実現サポート事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	12,000			
0802	普通旅費	10,400			
1001	消耗品費	3,000			
1005	食糧費	800			
1301	使用料及び賃借料	0			
1860051	子どもの夢サポート事業補助金	167,210			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,647,000	193,410	0	1,453,590

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	100,000	93,410
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	夢に向かって取り組む過程において、いろいろな大人と関わり、また様々な課題に対してチャレンジする青少年を育てることにより、日向市の次代を担う人材の育成を図る。 市内の文化施設等を見学する機会をつくることで、優れた施設や日向市出身の偉人の功績を見直し、ふるさと日向市の良さを再発見することにつなげる。
事業活動内容	（1）日向市の未来を担う中学生が将来の「なりたい自分」を思い描き、様々な大人のサポートを受けながら、自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援するとともに、将来の進路選択の幅を広げることにつなげた。 ・中学生を対象に3名を選出し、夢や目標に向かってチャレンジするための機会を設け、必要な経費を補助した。 （2）小学校6年生、中学校3年生を対象に若山牧水記念文学館や市内の文化施設等を見学する際のバスの借り上げについての支援を行う事業については、コロナ禍により実施できなかった。

成果指標		単位	目標		実績	
	①申請者数 ②補助対象者数	人	R2	①17 ②3	R2	①6 ②3
			R元	①20 ②3	R元	①12 ②3

活動指標		単位	目標		実績	
	事業補助金	千円	R2	900	R2	168
			R元	900	R元	281

事業評価		
市民のニーズ	高い	コロナ禍により申請者数が前年度に比べ減少したが、多方面から本事業の取組を評価されるなど市民ニーズは高まっている。
市の関与の妥当性	妥当	将来の日向市を担う人材の育成につながるとともに、地域の文化的資源に触れることで、ふるさとの良さに気付き、愛着をもってもらうきっかけとなることから、市の関与は妥当である。
成　　果	上がっている	著名な方から直接指導を受ける機会を得ることで自らの夢に近付くことができ、このチャレンジを通じて大きな成長がみられるなど効果は大いに上がっている。
成果に向けた活動量	十分であった	何度も打ち合わせを重ねる過程において、夢や目標に向かって自ら調べ、現地では指導者への質問を生徒本人が率先して行うなど、積極的にチャレンジする姿勢が見られた。
コスト削減の可能性	ない	様々な内容の夢や目標に対して支援していくためには、コストの削減は難しいが、取組内容を精査しながら、適正な執行に努めていく。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	日向市の未来を担う若者が、夢や目標に向かってチャレンジしようとする機会やふるさとの良さを気付く機会を失うことにつながるなど影響が大きい。
今後の方向性	維持	取組をとおして、ふるさと日向市への愛着が芽生えるとともに、日向市の将来を担う人材の育成につながるため継続して取り組んでいく。

総評（課題・改善点）	生徒が自らの夢に向かってチャレンジする取組を支援するものであり、生徒本人を始め、多くの方から高い評価を得ている。申請者数はコロナ禍の状況もあって前年度に比べ減少した。今後は、目標値に近づけられるよう周知の方法を見直すとともに、効果的な報告会のあり方についても検討していく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	02 青少年の健全育成
小事業	01 青少年育成センター事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0801	費用弁償	6,500			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	44,948			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	34,650			
1101	通信運搬費	91,000			
1805028	宮崎県青少年育成県民会議負担金	37,600			
1816028	宮崎県青少年補導センター連絡協議会負担金	1,000			
1840035	市青少年指導員連絡協議会運営補助金	450,568			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,302,000	666,266	0	635,734

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	666,266
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	日向市青少年育成センターを設置することにより、悩みなどを気軽に相談できる場を作り、解決の一助とする。 また、青少年の指導に関係のある地域、団体、行政機関や学校と連携し、青少年の非行の未然防止につなげ、青少年が安全で安心して暮らすことのできる地域づくりに努めるとともに健全育成を図る。
事業活動内容	○青少年育成センターの職務内容 ①青少年健全育成事業の推進 ②非行防止事業（各地区内イベントでの巡回指導） ③環境浄化事業（有害図書の調査、回収活動） ④教育相談事業（教育相談室との連携） ⑤啓発事業（チラシ等による啓発） ○市青少年指導員連絡協議会補助金 青少年指導員79名の地域パトロール経費（謝金、傷害保険など）等

成果指標		単位	目標		実績	
	①巡回活動数 ②相談受理件数	①回 ②件	R2	①150 ②50	R2	①62 ②34
			R元	①200 ②50	R元	①171 ②42

活動指標		単位	目標		実績	
	協議会運営補助金	千円	R2	1,037	R2	451
			R元	1,091	R元	1,091

事業評価			
	市民のニーズ	高い	青少年指導員がイベント等での巡回指導を行うことにより、非行の未然防止につながっているとともに、安全・安心なまちづくりに寄与しており、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	青少年指導員の活動を通じて安全・安心なまちづくりや青少年の健全育成に寄与しており、相談業務では青少年やその家族からの悩みを受け付け、アドバイスするなど市の関与は妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	青少年指導員による巡回活動は、コロナ禍により前年度に比べ減少した。また、相談業務をとおして、安心して過ごすことができるための環境を整えた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により、各地区において計画どおりの青色パトロール車などを利用した青少年指導員の活動はできなかったが、一部の地区においては、これまでより人数を減らしての活動を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	事業費のほとんどは青少年指導員の活動経費であり、活動実績により削減となる可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	青少年指導員による巡回活動により、青少年の非行の未然防止とともに健全育成につながっており、事業廃止となると市民への影響は大きくなる。
	今後の方向性	維持	青少年の健全育成と安全・安心なまちづくりのためには、地域住民や学校・警察等が連携して非行を未然に防止する対策を講じる必要があり、継続して取り組んでいく。

総評（課題・改善点）	
	地域の青少年指導員による巡回活動は、非行の抑止力になっている。今後とも地域住民や関係団体と連携を図り、青少年の健全育成を一層推進する必要がある。 相談業務において相談受理件数は減少しているが、潜在的に相談先を求めている青少年やその家族もいることが考えられることから、相談業務活動について積極的に広報していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	02 社会教育指導員事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	22,253,988			
0301	職員手当	3,134,088			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,795,807			
0801	費用弁償	317,429			
1001	消耗品費	10,174			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,966,000	29,511,486	0	454,514

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	29,511,486
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	各社会教育施設に社会教育指導員を配置し、生涯学習及び社会教育の振興を図る。
事業活動内容	○配置人数　12人 中央公民館2人、地区公民館6人、青少年育成センター2人、 社会同和教育集会所1人、生涯学習係1人 ○職務内容 ①生涯学習についての直接指導及び学習相談 ②公民館事業の援助協力 ③社会同和教育事業 ④自治公民館活動の指導助言 ⑤社会教育団体の育成 ⑥青少年の健全育成及び相談

成果指標		単位	目標		実績	
	①教育相談受理件数 ②社会教育指導員講師派遣数	①件 ②回	R2	①50 ②50	R2	①34 ②21
			R元	①50 ②50	R元	①42 ②29

活動指標		単位	目標		実績	
	①社会教育指導員数 ②社会教育指導員研修会数	①人 ②回	R2	①12 ②6	R2	①12 ②6
			R元	①12 ②8	R元	①12 ②6

事業評価		
市民のニーズ	高い	社会教育指導員が企画・運営している主催講座については、市民からの要望も多く、好評を得ている。青少年育成センターでは、青少年やその家族から相談を受け付け、市民ニーズに応えている。
市の関与の妥当性	妥当	主催講座などをとおして、市民の生涯学習を推進するための取組につなげており、市の関与は妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により前期の主催講座は開催できず、後期のみの開催となったことにより全体の参加者数は減少したが、講座内容によっては定員を上回るものもあった。
成果に向けた活動量	ある程度あった	社会教育指導員は、放課後子ども教室のコーディネーターや公民館主催講座の企画・運営、青少年やその家族に対する相談業務にあたっている。
コスト削減の可能性	ない	事業費の多くは社会教育指導員の報酬であるため、削減は困難である。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の学びの場や相談する機会が失われるなど、事業廃止の影響は大きいものとなる。
今後の方向性	維持	市民が生涯にわたって学び続けられるよう企画・運営していくためにも、学ぶことのできる場を提供し、生きがいをもって暮らしていける社会の実現に向けて事業を継続していく。

総評（課題・改善点）	社会教育指導員が関わっている主催講座や青少年指導員連絡協議会の運営について、コロナ禍により当初計画していた活動ができなかった。 あらゆる機会に、あらゆる場所において学ぶことができる生涯学習社会の実現のためにも、各公民館等に社会教育指導員を配置することは非常に有効である。今後とも市民ニーズの把握に努め、より効果的で多くの市民が参加しやすい講座の開催が求められる。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係		
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業	大事業	04 社会教育の推進			
	中事業	01 生涯学習環境の充実			
	小事業	03 学習情報提供事業			

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	144,100			
1101	通信運搬費	45,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
196,000	189,100	0	6,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	189,100
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度					
目的	生涯学習に関する講座や指導者の情報提供体制を整備し、生涯学習の振興を図る。					
事業活動内容	○生涯学習人材バンク設置事業 日向市に住むさまざまな知識や技術、経験を持っている方々を「日向きらめき人」として情報提供し、自主学級等での講師選定の際に活用してもらった。 ○「生涯学習だより」 生涯学習事業、各公立公民館主催事業の情報提供を行った。 ・これまでは、年2回（4月、8月）、全戸配布していたが、令和2年度はコロナ禍により主催事業が前期にできなかったため、1回（8月）のみ発行した。					
成果指標	人材バンク利用者数	単位	目標		実績	
		人	R2	600	R2	455
			R元	1,700	R元	1,217
活動指標	配布部数（生涯学習だより）	単位	目標		実績	
		部	R2	18,000	R2	18,000
			R元	17,700	R元	17,700
事業評価	市民のニーズ	高い	生涯学習だよりを通じて公立公民館が主催する講座に申し込む方がほとんどであり、市民ニーズは高い。			
	市の関与の妥当性	妥当	主催講座は市の事業であり、それを告知するため印刷物を作成するなど市の関与は妥当である。			
	成　果	ある程度上がっている	生涯学習だよりを通じて主催講座の申し込みがあるため、成果は上がっている。			
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により年に2回発行していた生涯学習だよりを後期の1回のみの発行とし、主催講座や自主学級において人材バンク「日向きらめき人」の活用を図った。			
	コスト削減の可能性	ある程度ある	これまで年2回発行していた生涯学習だよりを年1回の発行にすることによりコスト削減できる可能性はある。			
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	主催講座を利用する方の多くは、比較的高齢の方であり、印刷物である生涯学習だよりを通じて内容を把握しており、廃止すると情報を収集する手段がなくなり、受講者が少なくなる可能性がある。			
	今後の方向性	維持	生涯学習だよりは、主催講座の内容を把握でき、市民の生涯学習を推進する上でも有効な媒体であるため継続して取り組んでいく。			
総評（課題・改善点）	「日向きらめき人」については、家庭教育学級等の自主学級の説明会において活用を促しているが、現在学級の活動が趣味・教養に関するものが多くなっており、主体的な学びにつなげられるような講師として活用いただいている「日向きらめき人」は、ほぼ固定されている。「日向きらめき人」として、自ら学んだ知識や技能を地域社会で生かしていくためにも、各種媒体を通じてその活用を促していく。					

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	04 成人式に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	58,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0716	記念品料	339,185			
1001	消耗品費	10,145			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	112,610			
1103	手数料	0			
1105	筆耕翻訳料	9,000			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
983,000	528,940	0	454,060

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	528,940
	主な財源				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	新成人を祝福するとともに、新成人が人生の節目である20歳を迎えた喜びと、これまでお世話になった多くの方々への感謝の気持ちを確かめ合い、今後の人生を希望をもって自分らしく生きていくための新たな目標設定の契機としてもらうために開催する。
事業活動内容	成人式実行委員会が主体となって、成人式当日の企画や運営について会議を重ねてきた。（7回開催） しかし、コロナ禍により、年度内に開催することはできなかった。 〇対象者数　令和2年度対象者　459名

成果指標	出席率	単位	目標		実績	
		%	R2	100	R2	－
			R元	100	R元	101

活動指標	実行委員会開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	8	R2	7
			R元	8	R元	11

事業評価			
	市民のニーズ	高い	成人式は、大人への第一歩を踏み出す新成人を祝福する大切な式典であり、新成人とその家族を含めた市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	新成人となった次代を担う若者を市民全体で祝福するため、市が積極的に関与することは妥当である。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により、年度内に開催することはできなかったが、新成人を市民全体で祝福することにより、大人になった自覚と責任をもつことができる契機となり、大きな成果が期待できる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の状況にあったが、新成人からなる実行委員会を開催し、実施に向けた様々な企画を考えてきた。
	コスト削減の可能性	ない	新成人の対象者数と出席者数がほぼ同数であるため、経費の削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	成人式の開催は、新成人とその家族もとても楽しみにしているとともに、日向市の将来を担う若者を祝う晴れの門出の場でもあり、廃止となるとその影響は非常に大きい。
	今後の方向性	維持	成人式の開催は、人生の節目である20歳を迎えたことに対して、市民全体で祝福するものであり、今後も引き続き継続し、開催していく。

総評（課題・改善点）	新成人が主体となった成人式実行委員会を組織し、企画・運営について協議を重ね、また新型コロナウイルス対策についても検討してきた。実行委員会では、開催に向けて活発な議論が交わされるなど実行委員一人一人が責任をもって運営にあたっていただいた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	03 自主学級活動の充実
小事業	01 自主学級事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0716	記念品料	0			
1001	消耗品費	13,640			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	244,331			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
800,000	257,971	0	542,029

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	257,971
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

家庭教育学級	121,090
高齢者学級	71,102
女性学級	52,139

事業期間	年度　～　年度
目的	家庭教育学級（対象：幼稚園・保育園・小中学校の保護者）、高齢者学級（対象：65歳以上の市民）及び女性学級（対象：女性）をそれぞれ自主学級として開設し、継続的・計画的に環境、人権、健康、消費生活、子育て等の地域社会の課題を自主的に学ぶ場を支援し、地域における人材育成及びリーダーを養成する。
事業活動内容	〇家庭教育学級事業 ①家庭教育学級開設 市内幼稚園、保育所、小中学校に開設し、課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。 市は学級運営の委託料支出及び学習相談を行った。 〇女性学級及び高齢者学級事業 課題の解決やコミュニティづくりのための講座を自主運営した。 市は学級運営の委託料支出及び学習相談を行った。

成果指標	参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	700	R2	524
			R元	1,400	R元	1,392

活動指標	開催学級数	単位	目標		実績	
		学級数	R2	25	R2	20
			R元	50	R元	44

事業評価			
	市民のニーズ	普通	各学級では、地域や小中学校等を活動の場としてそれぞれのニーズに合った活動を行い、活動を通じて仲間づくりや生きがいづくりにつながっており、市民ニーズはある。
	市の関与の妥当性	妥当	それぞれの地域や年代が抱えている課題に対して、各学級が主体的に解決に向けての学習をすることに対し、市が支援することは妥当である。
	成　果	ある程度上がっている	学級ごとの創意・工夫によりそれぞれのニーズに合った活動に取り組み、学習の成果も上がっており、学級活動の支援を行うことにより、学習する機会を創出することができた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により活動できた学級が前年度に比べ大きく減少し、活動回数も少なくなった学級もあったが、開設した高齢者学級や女性学級にあっては、ほぼ計画どおりの取組ができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	コロナ禍の状況にあっては、活動回数に応じて委託料を算定するなどコスト削減の可能性も考えられる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	自主学級活動をとおして、生きがいづくりや仲間づくりにつながっており、休廃止した場合、学習の場が減ることにより、家庭における教育力や地域コミュニティの低下を招くことが懸念される。
	今後の方向性	維持	主体的な学習活動をとおして、課題の解決に向け、自己研鑽に努めることができるとともに、仲間づくりにもつながっており、今後も継続して取り組んでいく。

総評（課題・改善点）

自主学級活動は、生きがいづくりや仲間づくりの側面もあるが、様々な「学び」をとおしてそれぞれの立場に応じた課題の解決を図る取組として有意義な事業である。しかしながら、活動内容をみると、趣味・教養に関するものが多いため、それぞれの学級・年代が抱えている課題の解決に向けた学習に取り組んでいくことが必要である。その一方で、学級数が減少傾向にあるため、今後とも学級活動を支援し、地域社会の課題の解決に向けた学習の場づくりを推進していくことが求められる。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	04 社会教育団体の育成
小事業	01 社会教育団体育成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840006	青年団連絡協議会運営補助金	8,880			
1840007	子ども会育成連絡協議会補助金	18,000			
1860007	日向市PTA活動及び研修費補助金	133,072			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
849,000	159,952	0	689,048

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	159,952
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	社会教育団体への活動支援を行い、地域における生涯学習社会づくりのための基盤づくりを図る。
事業活動内容	○各社会教育関係団体への補助金の交付 ①青年団連絡協議会 ②子ども会育成連絡協議会 ③PTA協議会 ○各社会教育団体への助言・指導

成果指標	活動団体数	単位	目標		実績	
		団体	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	3

活動指標	団体への助成額	単位	目標		実績	
		千円	R2	849	R2	160
			R元	889	R元	642

事業評価			
	市民のニーズ	高い	各団体の活動を通じて、人と人とのつながりが構築でき、地域や学校・家庭における教育力の向上と地域の活性化に寄与しており、市民ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	それぞれの活動をとおして、地域や団体における課題の解決を図っており、市としても積極的に関わっていく必要がある。
	成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍の状況であったが、できる範囲において研修活動や協議を重ね、今後につながる取組を行ってきた。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍の状況にあって、計画どおりの活動ができなかったが、ジュニアリーダーの育成のための研修活動やPTA協議会における広報活動は実施につなげることができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	団体によっては会員が減少し、思うような活動ができなくなってきている。そのため、活動実態に応じて補助金を交付するなどコスト削減の可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	団体の活動に様々な支障が生じ、効果的な活動ができなくなる。ひいては、青少年の健全育成や地域社会の活性化に影響を及ぼすことになる。
	今後の方向性	維持	生涯学習社会づくりの基盤を作るためには、社会教育団体の育成は必要不可欠であり、継続して支援していく。

総評（課題・改善点）	コロナ禍の状況にあって、それぞれの団体においては、当初計画していた活動ができなかった。特に青年団連絡協議会は、会員数が減少しており、今後の活動に支障が出ている。一方、PTA協議会は、それぞれの単位PTAが抱えている課題について積極的に協議を重ねるなど、学校・家庭・地域が連携した取組を推進しながら、児童生徒の健全育成や学校と保護者間のネットワークづくりに寄与している。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	01 芸術文化活動の推進
小事業	01 芸術文化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	70,400	1103	手数料	0
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116	1105	筆耕翻訳料	5,000
0301	職員手当	197,041	1108	その他の保険料	1,691
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	234,350	1203	事業委託料	437,000
0716	記念品料	73,600	1301	使用料及び賃借料	511,120
0801	費用弁償	4,329	1816047	国文祭・芸文祭日向市実行委員会負担金	21,960
0802	普通旅費	2,600	1860048	日向市文化連盟事業補助金	400,000
1001	消耗品費	107,163			
1005	食糧費	5,000			
1006	印刷製本費	52,770			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	90,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,172,000	3,663,140	0	508,860

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	946,000	2,717,140
主な財源	文化スポーツ振興基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
第56回日向市総合文化祭実施運営業務　437,000

○負担金補助及び交付金
日向市文化連盟運営費補助金　400,000
国文祭・芸文祭みやざき2020日向市実行委員会負担金　21,960

事業期間	年度　～　年度
目的	様々な芸術文化事業について、「市民による市民のための個性豊かなまちづくり」を市民総意による方式で実施し、芸術文化の振興を図る。
事業活動内容	○日向市文化功労者の選考及び授与式の開催 ○市民参加型の文化事業の開催 ・第56回日向市総合文化祭 ○日向市文化連盟の活動支援 ○第35回国民文化祭・みやざき2020、第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会の延期に伴う準備

成果指標	日向市美術展覧会の入場者数	単位	目標		実績	
		人	R2	2,000	R2	―
			R元	2,000	R元	1,554

活動指標	日向市美術展覧会出品点数	単位	目標		実績	
		品	R2	250	R2	―
			R元	250	R元	228

事業評価			
	市民のニーズ	高い	芸術文化は市民にとって必要不可欠なものであり、ニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	各種芸術文化の振興や次世代への継承等は、市民と行政が連携して行うことが重要であり、市の関与は妥当である。
	成　果	上がっていない	コロナ禍により、多くの事業が中止や規模縮小を余儀なくされたため、成果が上がっていない。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	日向市美術展覧会については、コロナ禍により中止したが、何とか開催しようと関係団体等と協議を重ねた。これらの経験を今後の事業に生かしていく必要がある。
	コスト削減の可能性	ない	各団体の高齢化が進展しており、芸術文化活動が今後ますます厳しい状況になることが予想されることから、行政の継続した支援は必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の芸術文化活動の発表の場であり、また、それらを享受できる機会として市民も捉えていることから、休廃止した場合の影響は大きい。
	今後の方向性	維持	事業を継続し、各団体の育成と市民の芸術文化意識の醸成を図る。

総評（課題・改善点）

各芸術文化団体の高齢化が進展し、担い手不足が深刻化していることから、各団体と連携して市民がより芸術文化に親しみ、将来の担い手確保につながる環境づくりを推進していく必要がある。
また、各事業において市民の参加意欲や興味を高める事業を展開していく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	01 文化財の保存と活用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1206	その他の委託料	729,740
0104	会計年度任用職員報酬	853,775	1816012	県博物館等連絡協議会負担金	10,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,645			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	63,660			
0801	費用弁償	14,531			
0802	普通旅費	7,800			
1001	消耗品費	120,101			
1003	消耗品費被服	14,300			
1006	印刷製本費	103,950			
1008	修繕料	598,510			
1101	通信運搬費	20,000			
1204	調査・計画策定委託料	50,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,062,900	2,590,012	0	472,888

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	37,000	0	1,096,000	1,457,012
主な財源	文化財保存事業補助金、埋蔵文化財調査負担金、自動車損害共済金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

県指定文化財維持管理業務	405,900
市指定史跡「西南の役細島官軍墓地」維持管理業務	149,600
埋蔵文化財試掘調査埋め戻し作業(11箇所)	174,240
県指定天然記念物「アカウミガメ及びその産卵地」実態調査業務	50,000

○負担金補助及び交付金

宮崎県博物館等連絡協議会負担金(歴史民俗資料館、細島みなと資料館)	10,000

事業期間	年度　～　年度
目的	市内に存在する文化財の調査・研究を行い、地域の歴史解明に資するものとし、それらの保存・活用を図ることで、市民の郷土愛を育み後世へ伝えていく。
事業活動内容	○山下遺跡整理作業及び発掘調査報告書刊行 ○県指定文化財「富高2号墳」「美々津古墳」「鈴鏡塚古墳」「権現原の照葉樹林」の維持管理 ○県指定文化財「アカウミガメ及びその産卵地」の保護及び実態調査 ○市指定文化財「西南の役細島官軍墓地」の維持管理 ○埋文セレクション（埋蔵文化財出土遺物展示会）を市役所1階ホールで実施 ○西南戦争関連遺跡の調査を実施 ○「橘ひょっとこ踊り保存会」を宮崎県地域文化功労者教育長表彰に推薦

成果指標	文化財保存調査委員会の開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	1	R2	0
			R元	1	R元	0

活動指標	文化財保存調査委員会への参加人数	単位	目標		実績	
		人	R2	7	R2	0
			R元	7	R元	0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	郷土の文化財に関心を持つ市民は多く、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	専門性が強く、行政による関与が求められる。
	成　　果	上がっている	文化財の適正な維持管理に努め、保存を図った。
	成果に向けた活動量	十分であった	発掘調査の成果として、報告書作成や展示会を実施した。また、伝統芸能団体を地域文化功労者に推薦することで、その活動を広くPRする事ができた。
	コスト削減の可能性	ない	文化財の修理や維持管理の費用が不足している。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民の財産である文化財の適正な管理に影響する。
	今後の方向性	維持	各地域に存在する文化財の把握に努め、市の文化財として適正に維持管理し後世に伝える。

総評（課題・改善点）	埋蔵文化財出土遺物の展示会を実施し大変好評であったが、保管場所が課題となっている。また、市が取り組んでいる文化財関係事業の内容を周知する場を創出していきたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	03 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(補助)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	39,734			
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	0			
1860015	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,100,000	39,734	8,060,266	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	39,734
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
○補助金	
立磐神社拝殿修理（第2期）　※翌年度繰り越し	8,000,000

事業期間	年度　～　年度
目的	国選定日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的な建造物等の修理・修景事業を行うことで、文化財の保存や景観の維持を図り、郷土愛を育む。
事業活動内容	補助事業として立磐神社拝殿の修理（第2期）事業に取り組むが、工期に間に合わなかったため、事務費用を含めて繰越した。

成果指標	修復工事を実施した件数	単位	目標		実績	
		件	R2	1	R2	1
			R元	3	R元	3

活動指標	修復工事を実施した件数	単位	目標		実績	
		件	R2	1	R2	1
			R元	3	R元	3

事業評価		
市民のニーズ	高い	修理事業を要望する声は大きい。
市の関与の妥当性	妥当	国選定の重要伝統的建造物群保存地区であり、その地区の保存・整備には市が関与する必要がある。
成　果	上がっている	特定物件の8割が修理を終えて歴史的な町並み景観が整ってきており、観光客等からの評価は高い。
成果に向けた活動量	十分であった	次年度以降の修理事業についても、協議を行っている。
コスト削減の可能性	ない	修理要望の件数が多く、削減できない。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	地区内に物件を所有する市民への影響は大きい。
今後の方向性	維持	修理・修景事業の要望がある物件において、事業を継続する。

総評（課題・改善点）	保存地区の中でも特に重要な建造物であることから、今後も国の補助事業を活用し、修理・修景に取り組みたい。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	02 文化財等の保存・継承・活用
小事業	04 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業(単独)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	44,800			
0801	費用弁償	9,000			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	8,000			
1007	光熱水費	24,368			
1008	修繕料	99,110			
1103	手数料	52,360			
1106	火災保険料	3,327			
1402	維持補修工事	1,595,000			
1816010	全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金	50,000			
1860015	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	3,963,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,060,000	5,854,165	0	205,835

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,854,165
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○維持補修工事

美々津町並み保存地区看板補修	550,000
日向市美々津まちなみセンター南側軒天漆喰修繕工事	715,000
日向市美々津まちなみセンター北側壁面漆喰修繕工事	330,000

○負担金補助及び交付金

全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金	50,000
伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金	
・吉田信子家主屋(漆喰修理)	528,000
・梅野智代子家主屋(シロアリ駆除)	145,000
・河野繁治家主屋（板壁塗装）	564,000
・茶屋　圭ノ屋（漆喰壁修理）	393,000
・小林太典家主屋（漆喰壁及び格子修理）	580,000
・立縫公民館(板壁塗装)	478,000
・高木健一家主屋（漆喰壁修理）	469,000
・米原清志家主屋（板壁塗装）	608,000
・小城一成家板壁（板壁修理）	198,000

事業期間	年度　～　年度
目的	国選定日向市美々津重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的な建造物等の修理・修景事業を行うことで、文化財の保存や景観の維持を図り、郷土愛を育む。
事業活動内容	○伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催 ○町並み保存地区看板の修理 ○日向市美々津まちなみセンターの漆喰修理

成果指標	修復工事を実施した件数	単位	目標		実績	
		件	R2	7	R2	9
			R元	5	R元	6

活動指標	修復工事を実施した件数	単位	目標		実績	
		件	R2	7	R2	9
			R元	5	R元	6

事業評価			
	市民のニーズ	高い	修理事業を要望する声は大きい。
	市の関与の妥当性	妥当	国選定の重要伝統的建造物群保存地区であり、その地区の保存・整備には市が関与する必要がある。
	成　　果	上がっている	特定物件の8割が修理を終えて歴史的な町並み景観が整ってきており、観光客等からの評価は高い。
	成果に向けた活動量	十分であった	美々津の歴史的町並みを守る会と連携し、地域の要望を把握するよう努めている。
	コスト削減の可能性	ない	修理要望の件数が多く、削減できない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	地区内に物件を所有する市民への影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	修理の補助を望む市民からの要望が多く、緊急性及び公平性を考慮し、事業を継続していく。

総評（課題・改善点）	国の補助事業に該当しないメンテナンスや小修理等の要望が増加しており、早急な対応が必要であることから、予算確保に努めスピード感を持って対応したい。また、保存地区内の世帯の高齢化や後継者不足が進み、空き家が増えていることから適正な管理が必要である。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0003 若山牧水係
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費

事業	
大事業	06 地域文化の保存・継承・活用
中事業	03 地域の先人の顕彰と活用
小事業	01 牧水顕彰事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	26,400			
1101	通信運搬費	108,000			
1103	手数料	0			
1206	その他の委託料	1,559,000			
1816029	若山牧水賞運営委員会負担金	500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,391,000	2,193,400	0	197,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,193,400
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

第10回青の国若山牧水短歌大会開催業務	1,199,000
第10回牧水・短歌甲子園開催業務	360,000

事業期間	年度　～　年度
目的	地域の先人を顕彰し、短歌文学の普及や文化の振興を図るとともに、牧水を生かした地域づくりや「牧水の生誕地・日向市」の魅力を全国に発信する。
事業活動内容	○国民的歌人・若山牧水をはじめとする郷土の偉人の功績について広く周知を図り、生誕地としての強みを生かした事業を実施した。 ・第10回青の国若山牧水短歌大会（全国の一般と県内の小・中・高校生を対象に開催） ・第10回牧水・短歌甲子園（全国の高校生を対象に開催：リモート審査）

成果指標	事業参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	5,750	R2	4,050
			R元	5,750	R元	5,023

活動指標	事業開催案内先数	単位	目標		実績	
		件	R2	1,400	R2	1,315
			R元	1,400	R元	1,338

事業評価			
	市民のニーズ	普通	日向若山牧水顕彰会や髙森文夫顕彰会などの関係団体のニーズは高いが、市全体としては、まだ浸透していないと考える。
	市の関与の妥当性	妥当	若山牧水や髙森文夫は本市の貴重な文化的財産であることから、各顕彰会等と連携し、顕彰事業を継続していくことは市の責務であると考える。
	成　　果	上がっていない	コロナ禍により、牧水祭やマスターズ甲子園の中止、牧水・短歌甲子園等の規模縮小など、顕彰事業としての成果は上げられなかった。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍に伴い、思うような事業展開はできなかったが、可能な範囲での事業を実施し、顕彰活動に努めた。
	コスト削減の可能性	ない	先人たちの顕彰活動は、市としての責務であり、一定の経費は継続して必要である。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	国民的歌人・若山牧水の生誕地である本市が先人の顕彰活動を休廃止した場合、市民をはじめ、宮崎県や全国の顕彰団体等の活動にも大きな影響があると考える。
	今後の方向性	維持	今後も本市の貴重な文化的財産として顕彰し、「牧水のふるさと日向市」を広く情報発信し、文化の振興を図りながら、愛好者の増加を図るための取組を推進する。

総評（課題・改善点）	若い世代など、幅広い世代の市民に参加・参画してもらえるような顕彰事業を展開し、牧水や短歌の愛好者を増やしていく必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0011 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費

事業	
大事業	03 地域が一体となった青少年の育成
中事業	01 青少年教育の充実
小事業	05 子ども土曜教室事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	110,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	131,279			
1101	通信運搬費	25,000			
1103	手数料	495			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
789,000	266,774	0	522,226

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	266,774
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	青少年の健全育成に効果的な体験活動や学習、世代間交流等を実践し、地域の人々・自然・文化との出会いや交流を深めるとともに、新しい仲間との出会いや新しい知識、価値観が得られるような活動を実施することで、郷土への誇りとたくましく生きる力の育成を図る。
事業活動内容	学校週5日制に伴う土曜日の休日に学校外の講座を開設し、様々な体験活動や世代間交流等を通して、自己への愛着と生きる力、思いやりの心を育てた。 〇市内の6地区公民館において子ども土曜教室を実施 ・市内全ての小学校を対象に、10月～12月の期間内に全3回の講座で、様々な学習を実施した。 ・コロナ禍により回数減となったが、工作・アニメ声優体験・竹とんぼ作りなどで校区間を越え交流が図られた。

成果指標	参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	378	R2	189
			R元	1,000	R元	680

活動指標	開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	21	R2	21
			R元	64	R元	59

事業評価		
市民のニーズ	高い	可能な限り受講希望者を受け入れているが、一部の館では毎年参加希望する児童もおり、地域的にはニーズがある。
市の関与の妥当性	妥当	学校週5日制に伴う休日の土曜日に、学校やスポーツ少年団等以外の体験活動や世代間交流等を実施することは、公立公民館の果たすべき重要な役割であることから市の関与は妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	コロナ禍により開催数が減少したが、出席率はほぼ9割となっていることから、一定の成果は維持していると判断する。
成果に向けた活動量	十分であった	コロナ禍により講座開設数は減少したが、出席率が高く、評価できる。
コスト削減の可能性	ない	必要最低限の予算で活動しており、これ以上のコスト削減は講座運営に影響がでる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	児童が安全で充足した土曜日を過ごすために、公立公民館での活動の機会を維持する必要はある。
今後の方向性	維持	7公民館が連携し情報共有を図ること等で、講座内容の一層の充実を図る。また、「ふるさと日向」への郷土愛を育み、将来の夢を見つけるきっかけとなる事業を目指す。

総評（課題・改善点）	7つの公立公民館で対象となる小学校区を定めているが、対象児童数に大きな開きがあり、複数の館で合同で開催する等運営方法について検討している。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0011 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	01 生涯学習環境の充実
小事業	06 高齢者学習活動事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	110,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	67,888			
1101	通信運搬費	10,000			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
494,000	187,888	0	306,112

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	187,888
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	高齢者が「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援することで、知識の習得と生き方に係る質的充実を図る。
事業活動内容	高齢者の「生涯現役」実現のため、知識の習得、世代間交流を通じたふれあいの場等を提供し、様々な意欲向上を図るための事業を実施した。 〇市内6公民館（中央、日知屋、大王谷、細島、南日向、美々津）において高齢者学習活動事業を開催し、各館独自の企画による学習講座を実施した。 ・コロナ禍により10月からの実施となったが、10月～1月の期間で料理教室、講話学習、健康体操、児童との世代間交流などを実施した。 ※東郷公民館については、自治公民館ごとの高齢者学級で活動しているため、東郷公民館主催では実施していないが、企画立案、公用車の手配や館報への記事記載などで活動のサポートを行っている。

成果指標	参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	483	R2	226
			R元	1,300	R元	806

活動指標	開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	25	R2	25
			R元	48	R元	47

事業評価		
市民のニーズ	高い	一度加入した受講生が継続するケースも多く、ニーズは非常に高い。
市の関与の妥当性	妥当	「生涯現役」実現のため、高齢者の社会参加への機会を設定し、支援をすることは重要であり、市の関与は妥当である。
成　果	ある程度上がっている	コロナ禍により開催回数は減となったが、出席率が8割を超える公民館が3館、その他公民館も6割以上を達成している。
成果に向けた活動量	ある程度あった	コロナ禍により開催回数減となった。
コスト削減の可能性	ない	事業費のほとんどが講師料であり、必要最低限での予算で活動している。これ以上のコスト削減は事業運営に影響がでる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	本事業を楽しみに参加いただいている受講生も多く、活動の場がなくなるということは影響が大きい。
今後の方向性	維持	今後も高齢者の「生涯現役」実現のため、支援を継続したい。

総評（課題・改善点）	高齢者の健康、日常生活の充実及び「生涯現役」として、健康で生き生きと社会参加ができるよう支援するため、講座の内容を工夫し、より一層の充実を図る必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0011 中央公民館

款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	02 公民館活動の充実
小事業	02 公民館主催講座事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,375,016			
0301	職員手当	197,041			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	248,782			
0701	講師謝金	950,500			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	69,000			
0801	費用弁償	47,100			
1001	消耗品費	131,246			
1101	通信運搬費	18,500			
1103	手数料	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,501,000	3,070,185	0	430,815

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	136,000	2,934,185
主な財源	公民館主催講座参加料				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

事業期間	年度　～　年度
目的	市民が生涯にわたって学習ができるような様々な機会を提供することにより、「楽しみ生きがいを感じる生涯学習社会づくり」の実現を図る。
事業活動内容	国際化、少子高齢化、高度情報化等、様々な社会情勢の変化にも対応した市民のニーズに合った魅力的な生涯学習講座及び実践型講座を実施した。 〇市内7公民館ごとに主催講座を開催 ・後期（10月～1月）の期間中、各8回を基本に公民館ごとに開催した。

成果指標	参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	1,708	R2	1,408
			R元	6,500	R元	3,539

活動指標	開催回数	単位	目標		実績	
		回	R2	162	R2	162
			R元	360	R元	341

事業評価		
市民のニーズ	高い	申込多数により抽選での受講となる講座もあり、ニーズは非常に高い。
市の関与の妥当性	妥当	安価で受講しやすい生涯学習講座の開催の必要性は高く、市の関与は妥当である。
成　　果	ある程度上がっている	出席率は9割近くに達しており、市民の希望に応じた内容の講座を設定し、一定の学習活動支援が維持できたと判断する。
成果に向けた活動量	十分であった	講座の充実を図ったことで出席率も高く、好評な講座が多かった。
コスト削減の可能性	ない	事業費のほとんどが講師料であり、必要最低限での予算で活動している。これ以上のコスト削減は事業運営に影響がでる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	本市の教育力や地域活動等の低下を招くことにつながりかねず、影響は大きい。
今後の方向性	維持	今後も市民の生涯学習の拠点として7公民館において各種生涯学習講座を実施したい。

総評（課題・改善点）	「脳活」「ウクレレ教室」「ストレッチ運動」「ヨガ教室」等ニーズに応じた講座が参加者が多い。引き続き幅広い年齢層の方や男性も受講しやすい講座内容やZOOM等を活用した受講の方法などについて工夫する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	01 スポーツ指導者・団体等の支援
小事業	03 スポーツ指導者・団体等支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	429,400	1301	使用料及び賃借料	0
0104	会計年度任用職員報酬	0	1816022	宮崎県スポーツ推進委員協議会負担金	72,000
0301	職員手当	0	1825001	会議出席負担金	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0	1860042	日向市体育協会補助金	2,630,000
0701	講師謝金	0	1860043	日向市スポーツ少年団補助金	0
0716	記念品料	0	1860044	日向市シルバースポーツ連盟補助金	0
0801	費用弁償	48,016	1860045	総合型地域スポーツクラブ補助金	399,000
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	25,273			
1003	消耗品費被服	283,140			
1101	通信運搬費	24,000			
1206	その他の委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,135,000	3,910,829	0	1,224,171

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,910,829
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	スポーツ推進委員や各種スポーツ団体を支援することにより、本市の生涯スポーツの振興及びスポーツ競技力の向上を図る。
事業活動内容	スポーツ推進委員が主管で開催するスポーツ教室を予定していたが、コロナ禍により全ての教室が中止となった。 体育協会と総合型地域スポーツクラブに補助金を交付し、その活動を支援した。

成果指標	スポーツ教室等の参加者数（延べ人数）	単位	目標		実績	
		人	R2	1,100	R2	0
			R元	1,150	R元	856

活動指標	スポーツ教室等の開催回数（延べ回数）	単位	目標		実績	
		回	R2	50	R2	0
			R元	50	R元	47

事業評価		
市民のニーズ	高い	市民の健康に関する意識は高まっており、生涯スポーツ、競技スポーツともに関心が強い。
市の関与の妥当性	妥当	スポーツ基本法の基本理念に基づき、市はスポーツに関する諸施策を実施する責務を有することが定められている。
成　果	上がっていない	コロナ禍によりスポーツ教室の実施が出来なかった。
成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍によりスポーツ教室の実施が出来なかった。団体においても同様に活動量が減少した。
コスト削減の可能性	ある程度ある	毎年総合型地域スポーツクラブについては、補助金の見直しを行っていることや将来的に会員を増やし、自主運営を図れるよう指導していきたい。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	市民全体を対象に事業に取り組んでおり、スポーツ振興上、必要不可欠なものである。
今後の方向性	維持	スポーツの振興や市民の健康の維持増進という観点からも引き続き取り組んでいく必要がある。

総評（課題・改善点）	令和2年度はコロナ禍のため、活動が出来なかったスポーツ推進委員については、今後も市民の幅広いスポーツ活動に対応するため、委員の確保に努めるとともに、活動については市民への周知を図る必要がある。 各団体ともに、市民の生涯スポーツの振興とスポーツ競技力向上を図るために中心的な役割を担っているが、いずれも更なる会員や自主財源の確保等に努める必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課　0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり
中事業	03 競技スポーツの推進
小事業	07 競技スポーツ推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
1001	消耗品費	13,692			
1203	事業委託料	0			
1206	その他の委託料	0			
1816014	延岡西日本マラソン大会負担金	0			
1860011	県民総合スポーツ祭選手派遣費補助金	64,540			
1860047	日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会補助金	129,000			
1860052	日向お船出九州少年ソフトボール大会補助金	0			
1869005	日向市文化スポーツ振興基金補助金	1,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,614,000	1,507,232	0	1,106,768

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,299,000	208,232
主な財源	文化スポーツ振興基金利子、文化スポーツ振興基金繰入金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度
目的	市内の子どもたちにスポーツの楽しさや素晴らしさを理解してもらい、体の発達段階に応じた体力の増進を目指す。 また、小学校・中学校・高校と本市スポーツ協会加盟の競技団体と連携し、本市のスポーツ競技力の向上を図るとともに、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会に向けてアスリートの育成に努める。
事業活動内容	令和2年度はコロナ禍により予定していた講演会・講習会を実施することが出来なかった。 また、事業や大会を予定していた各競技団体もコロナ禍で中止や縮小をしなければならなかった。 〇スポーツ競技力向上のため、各種競技団体等への支援に努めた。 ・みやざき県民総合スポーツ祭選手派遣補助金（2競技　62人が参加） ・日向市カップ九州ジュニアサッカー宮崎県大会（96チーム　1，405人が参加） ・日向市文化スポーツ振興基金（23大会　239人）

成果指標	大会参加者数	単位	目標		実績	
		人	R2	7,500	R2	1,706
			R元	7,500	R元	7,358

活動指標	委託・補助団体数	単位	目標		実績	
		団体	R2	40	R2	0
			R元	40	R元	34

事業評価			
	市民のニーズ	高い	本県開催が予定されている国民スポーツ大会を見据えて競技力の向上が望まれており、市民のニーズは高い。
	市の関与の妥当性	妥当	スポーツ競技力の向上のためにはスポーツ競技団体等と行政が連携して計画的に取り組む必要があり、市の関与は妥当である。
	成　　果	上がっていない	コロナ禍による大会中止や縮小のため、参加者が減少した。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍のため、事業等が中止になった。
	コスト削減の可能性	ない	継続的な取組が必要であり、予算規模を維持しながら計画的に実施していく必要がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	競技力が大幅に低下するおそれがある。
	今後の方向性	維持	本県開催が予定されている国民スポーツ大会を見据え、今後も継続的にスポーツ競技力の向上を図る必要がある。

総評（課題・改善点）
令和9年度に本県開催予定の国民スポーツ大会等を見据え、それらの大会の主役となる選手を育成するためには、小、中、高校やスポーツ団体の指導者等をはじめ、市民と行政が一体となって競技力向上に継続的に取り組むことが重要である。 また、市外から参加者を募集して行う大会の運営については、今後は自主財源の確保に向けた取組を促進させる必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費
目	02 選挙啓発費		

事業	大事業	44 選挙
	中事業	01 選挙啓発
	小事業	01 選挙啓発に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0716	記念品料	105,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,000	105,000	0	53,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	105,000
主な財源					

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業期間	年度　～　年度		
目的	関係機関・団体と連携して選挙啓発活動を展開することで、若者をはじめ多くの市民に政治への関心を高めてもらい、投票参加を促す。		
事業活動内容	関係機関や団体等と連携を図り、選挙啓発活動を実施した。 〇若者に選挙や政治についての関心を高めてもらうため、16～29歳を対象とした政治・選挙についての意見発表を行う「わけもんの主張」東臼杵地区大会への参加と発表者の選定 〇市内の児童生徒を対象に、選挙や政治を題材としたポスター及び書道作品を募集し、東臼杵地区での一次審査を通過した作品を、広く市民へ啓発するため市役所本庁舎、図書館等で展示 〇主権者教育の一環として高等学校等での出前授業の実施		

成果指標	投票率の比較 国…全国平均、県…県平均、市…前回 （複数選挙を実施した場合は、各選挙の同割合の平均値	単位	目標		実績	
		%	R2	—	R2	—
			R元	100	R元	84.5

活動指標	意見発表、啓発作品募集等の実施回数	単位	目標		実績	
		回	R2	3	R2	3
			R元	3	R元	3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	公職選挙法において「選挙管理委員会は、常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努める」ことが規定されている。
	市の関与の妥当性	妥当	選挙啓発は選挙管理委員会の責務とされている。
	成　　果	ある程度上がっている	啓発作品の募集や展示、出前授業等によって児童生徒やその保護者等が選挙や政治を考える契機になっていると考えられる。
	成果に向けた活動量	ある程度あった	選挙・政治への関心が特に低いとされる若い世代への継続的な啓発の実施を図っていく必要がある。
	コスト削減の可能性	ない	事業実施において最低限度必要なものである。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	選挙管理委員会の責務とされており、休廃止できるものではない。
	今後の方向性	維持	公職選挙法に基づき、効果的な選挙啓発の取組を維持していく。

総評（課題・改善点）	全体的な投票率の向上を図っていくためには、選挙・政治について常に関心が持てるよう主権者教育や啓発活動の継続が大切である。 ※令和2年度は国政選挙、地方選挙のいずれも執行がなかった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	16 農地中間管理機構支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,371,611			
0301	職員手当	443,933			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	257,316			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0801	費用弁償	120,700			
1001	消耗品費	42,705			
1003	消耗品費被服	17,710			
1101	通信運搬費	50,000			
1206	その他の委託料	720,665			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,270,000	4,024,640	0	245,360

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	748,000	0	0	3,276,640
主な財源	農地中間管理機構支援事業費補助金				

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

農業委員会定例総会議事録反訳業務	170,665
農地情報公開システム連携構築業務委託	550,000

事業期間	年度　～　年度
目的	①農業委員が仲介委員となることにより、円滑な解決をする。 ②遊休農地の解消及び防止をする。
事業活動内容	①農地の利用関係をめぐる紛争の和解にむけての仲介をした。 ②遊休農地の所有者に対し、県農地中間管理機構に、農地の貸し出しについての意思確認を行った。また、遊休農地の権利関係の調査をした。

成果指標	農地の集積	単位	目標		実績	
		ha	R2	10	R2	35.1
			R元	10	R元	34.5

活動指標	地元要望の掘り起しのための説明会	単位	目標		実績	
		件	R2	1	R2	1
			R元	1	R元	1

事業評価			
	市民のニーズ	普通	農地中間管理事業による耕作放棄地の発生防止は住環境の保全にも寄与するものであり、市民のニーズは十分にある。
	市の関与の妥当性	妥当	本事業により効率的な経営が可能となり、農業従事者の所得向上や担い手不足解消が図られるため市の関与は妥当である。
	成　果	上がっている	農地の集積について、実績が目標の3倍であり、成果は上がっている。
	成果に向けた活動量	十分であった	地権者への説明会は目標どおり開催できている。
	コスト削減の可能性	ない	今後も事業を継続する必要があるため、コスト削減は見込めない。
	休廃止した場合の市民への影響	普通	集積しない場合は、荒廃農地が増え病害虫の発生や有害鳥獣の出現等の影響がある。
	今後の方向性	維持	担い手の減少、荒廃農地の増加に歯止めがかからない限り、今後もこの事業を継続する必要がある。

総評（課題・改善点）	農地の集積を進めるにあたり、不在地主や相続未登記の問題がある。

評価対象外事業

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	32 秩序ある土地利用と都市空間の形成
中事業	01 計画的な土地利用の推進
小事業	04 土地利用規制等対策事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	20,000			
1001	消耗品費	87,000			
1101	通信運搬費	44,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,000	151,000	0	4,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	151,000	0	0	0
主な財源	土地利用規制対策費補助金				

事業内容	「国土利用計画法」の適切な運用により、計画的な土地利用の推進を図るため、同法に基づく土地売買の届出等に係る事務を行った。 ○国土利用計画法第23条～27条の2（対象面積） 市街化区域：2，000㎡以上、市街化区域除く都市計画区域：5，000㎡以上 都市計画区域外：10，000㎡以上
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	17 総合政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	25,230			
0802	普通旅費	13,500			
1001	消耗品費	148,123			
1005	食糧費	4,070			
1006	印刷製本費	50,600			
1101	通信運搬費	13,000			
1301	使用料及び賃借料	2,138,400			
1825002	研修会負担金	0			
1867037	日向市「みやざき結婚サポートセンター」等入会登録補助金	55,000			
2403	その他特定目的基金積立金	52,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,833,663	54,447,923	0	385,740

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,000	49,400,000	0	5,037,923
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容	総合政策事務にかかる一般的な事務経費 ○iJAMP　使用料　2，138，400円 ○地域振興基金積立　52，000，000円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0002 広域連携推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	04 広域連携の推進
小事業	01 広域連携の推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,410			
1804003	宮崎県北部広域行政事務組合負担金	533,100			
1806046	日向東臼杵市町村振興協議会負担金	395,700			
1808033	九州中央77スタンプラリーリーフレット作成負担金	50,000			
1808088	宮崎県北地方拠点都市地域整備推進協議会	20,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,008,300	1,005,510	0	2,790

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,005,510
主な財源					

事業内容

広域的な行政課題の解決や効率的な行政組織を構築するために広域協議会を組織し、各種事業の実施や調査研究、国県等への要望活動等を行った。
○各広域協議会（宮崎県北部広域行政事務組合、日向・東臼杵市町村振興協議会、九州中央地域連携推進協議会、宮崎県北地方拠点都市地域整備推進協議会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課　0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	18 情報政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	80,517			
1101	通信運搬費	290,400			
1301	使用料及び賃借料	1,800			
1805063	宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金	4,107,969			
1808069	地方公共団体情報システム機構負担金	90,000			
1808077	番号創国推進協議会負担金	0			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,932,000	4,574,606	0	357,394

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,574,606
主な財源					

事業内容

○情報政策推進に係る一般事務経費
・担当者説明会等出席に係る普通旅費
・インターネットプロバイダー利用料
・協議会負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金

宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金	2,675,831
宮崎県市町村IT推進連絡協議会負担金（県セキュリティクラウド分）	1,432,138

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	02 庁内LAN運用費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,464,144	1702	機械器具費（事業執行用）	1,050,000
0301	職員手当	206,199			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	248,729			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	5,436,188			
1008	修繕料	172,700			
1101	通信運搬費	7,937,000			
1103	手数料	196,900			
1206	その他の委託料	37,526,610			
1301	使用料及び賃借料	85,180,110			
1402	維持補修工事	1,243,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	232,638			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,445,000	140,944,618	0	500,382

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,102,000	127,842,618
主な財源	下水道課庁内ＬＡＮ負担金、下水道課庁内ＬＡＮ負担金（農集排会計）、水道課庁内ＬＡＮ負担金、水道課庁内ＬＡＮ負担金（簡水事業会計）、日向東臼杵広域連合庁内ＬＡＮ負担金、東郷病院庁内ＬＡＮ負担金、光伝送路支障移転補償金				

事業内容

○庁内LANの安全かつ安定的な運用のための経費
・庁内LAN関係機器賃貸借、光ファイバー賃貸借、パソコン賃貸借
・OA消耗品や機器等の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

庁内LAN運用支援業務	24,581,920
モノクロプリンター保守業務	897,600
カラープリンター保守業務	882,090
テレビ会議システム保守業務	165,000
win10ライセンス購入及び仮想環境への適用作業業務	11,000,000

○工事請負費

国道工事に係る電柱建替に伴う光ケーブル移設工事	693,000
九電柱建替に伴う光ケーブル移設工事	550,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	03 業務システム運用事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,200,000			
1101	通信運搬費	46,000			
1206	その他の委託料	43,398,112			
1301	使用料及び賃借料	119,754,420			
1808084	九州自治体情報システム協議会会費負担金	20,000			
1832011	特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金	6,189,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,623,000	170,607,532	0	15,468

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	12,171,000	0	0	25,742,000	132,694,532
主な財源	社会保障・税番号制度システム整備費補助金、国民健康保険事務の電算処理受託金、介護保険事務の電算処理受託金、後期高齢者医療事務の電算処理受託金、公営住宅事業特別会計電算業務負担金				

事業内容

○業務システムの安定的な運用のための経費
・クラウドシステム利用料、システムエンジニア（SE）委託料、納付書等の帳票印刷・製本・封入封緘等委託料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

システム運用SE業務	9,464,400
番号連携サーバ機器・運用保守業務	2,306,700
市税等に係る帳票印刷・封緘等業務	13,995,612
社会保障・税番号制度システム整備に伴うシステム改修業務	8,904,000
データ標準レイアウト改版に伴う個人住民税・番号連携サーバシステム改修業務	3,542,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	07 学校基本調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	29,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,000	29,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	29,000	0	0	0
主な財源	学校基本調査市町村交付金				

事業内容	毎年5月1日を調査基準日として、学校教育法に定める学校、専修学校、各種学校等の学校数、児童生徒数、教職員数、土地建物面積等を調査している。学校教育行政等に関する施策の基礎資料を得ることを目的とし、各学校への調査を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	08 工業統計調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0106	統計調査員報酬	142,866			
0801	費用弁償	5,200			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	24,000			
1006	印刷製本費	1,470			
1101	通信運搬費	3,730			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
179,000	177,266	0	1,734

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	177,266	0	0	0
主な財源	工業統計調査市町村交付金				

事業内容	毎年6月1日を調査基準日として、すべての製造事業所を対象に、従業者数、経営組織、製造品出荷額等を調査。今年度は国勢調査実施年のため、準備調査以外の調査員事務については簡素化され実施した。 調査基準日:6月1日 調査員:7名
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	09 統計調査員確保対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	27,000			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	12,346			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,000	39,346	0	654

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	39,346	0	0	0
主な財源	統計調査員確保対策事業委託金				

事業内容	統計調査員の確保が困難となっている状況を改善するため、調査業務へ理解がある方を登録調査員として登録し、実務知識の向上のため、「統計だよりみやざき」等の配布を行い、登録調査員の資質向上を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	10 農林業センサス

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	13,300			
1101	通信運搬費	5,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,000	18,400	0	1,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	18,400	0	0	0
主な財源	農林業センサス委託金				

事業内容	令和2年2月1日を基準日として実施した農林業センサスの疑義照会対応等にかかる経費。農林業センサスのデータを確定し、農林業の生産構造や就業構造など農林業の基本構造の実態を明らかにすることで、各種農林業行政の推進に必要な基礎的かつ総合的な統計資料を得ることができた。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	14 経済センサス

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0301	職員手当	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	76,960			
1101	通信運搬費	18,520			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
97,000	95,480	0	1,520

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	95,480	0	0	0
主な財源	経済センサス委託金				

事業内容	令和3年6月1日を基準日として実施する経済センサス－活動調査の正確かつ円滑な実施に向けた準備経費。調査用品の購入、指導員・調査員選考や推薦などを行い、実施体制の整備を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	16 国勢調査

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	296,075	1101	通信運搬費	633,861
0106	統計調査員報酬	19,562,010	1103	手数料	36,298
0301	職員手当	2,485,418	1206	その他の委託料	900,748
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	65,386	1301	使用料及び賃借料	266,200
0702	出会謝金	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	40,000			
0801	費用弁償	201,525			
0802	普通旅費	18,200			
1001	消耗品費	330,748			
1004	燃料費	0			
1005	食糧費	35,449			
1006	印刷製本費	72,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,951,000	24,944,158	0	6,842

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	24,944,158	0	0	0
主な財源	国勢調査委託金				

事業内容	令和2年10月1日を基準日として市内に居住するすべての人と世帯を対象に、世帯員に関する男女の別、就業状態、住居の種類などを調査した。本調査は国の最も基本的で重要な統計調査であり、その調査結果は国及び地方公共団体の各種行政施策、その他企業など各方面に利用される基礎資料となる。 令和3年6月に人口速報集計、11月に人口等基本集計（確報）が公表される。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0004 統計係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	19 統計一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	2,102			
1007	光熱水費	20,000			
1008	修繕料	144,870			
1101	通信運搬費	20,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	19,712			
2103	賠償金	20,460			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
254,330	227,144	0	27,186

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	227,144
主な財源					

事業内容	各種統計調査に係る事務的経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	20 市長・副市長の公務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	372,130			
0901	市長交際費	153,383			
1005	食糧費	75,610			
1101	通信運搬費	400,000			
1301	使用料及び賃借料	35,480			
1805088	宮崎県市長会負担金	560,000			
1808001	全国市長会負担金	357,000			
1808002	九州市長会負担金	83,000			
1808005	県北地区政経懇話会負担金	105,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,229,406	2,142,203	0	2,087,203

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,142,203
主な財源					

事業内容	○全国・九州・宮崎県の各市長会、国への要望活動、意見交換会等への出席に要する経費及び負担金 ・普通旅費（会議、要望活動等に要する旅費　※随行者分を含む）、市長交際費（他団体との交際に係る経費） ・食糧費（意見交換会等に係る負担金）、通信運搬費（電話料等）、使用料及び賃借料（タクシー借上料） ・負担金（各市長会等への負担金）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	21 市長車運行管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	41,900			
1001	消耗品費	8,995			
1004	燃料費	100,567			
1008	修繕料	252,164			
1107	自動車損害保険料	27,090			
1301	使用料及び賃借料	741,734			
1702	機械器具費（事業執行用）	33,880			
2103	賠償金	42,550			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,643,594	1,248,880	0	394,714

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	294,714	954,166
主な財源	自動車損害共済金、損害賠償保険金				

事業内容
○市長車の運行と適正な管理に要する経費（リース期間：平成29年（2017年）2月～令和6年（2024年）1月）
燃料費（ガソリン代）、使用料及び賃借料（リース料、有料道路通行料）、
機械器具費（後方用ドライブレコーダー）
○市長車の事故に伴う経費
修繕料、賠償金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0001 秘書係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	22 秘書広報一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	28,520			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	322,608			
1006	印刷製本費	19,800			
1101	通信運搬費	272,000			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	701,036			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,990,000	1,345,264	0	644,736

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	375,600	969,664
主な財源	副市長住宅借上料個人負担金				

事業内容
○その他の一般事務費
・消耗品費（事務用品、新聞書籍等の購入、コピー機等の経費）
・通信運搬費（年賀状、電報）
・使用料及び賃借料（副市長住宅借上料、NHK受信料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	38 市民との協働の推進と地域活動の活性化
中事業	01 地域コミュニティの活性化
小事業	04 行政文書配布・調査取りまとめに関する事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	26,861,227			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,864,000	26,861,227	0	2,773

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	589,000	0	0	26,272,227
主な財源	県広報配布事務委託金				

事業内容

市広報紙「広報ひゅうが」等の行政文書等を各戸配布や班回覧等により、市民へ送達及び伝達してもらうほか、市の各種事業において、自治会（区）を通して調査等を依頼する場合に、報告・回答をしてもらうなどの業務を委託した。
また、各自治会（区）への配送文書の受付、荷造り、配送等の業務を委託した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

・広報紙の送達及び調査報告等に関する業務	24,975,300
・県広報紙配布業務	569,073
・広報紙及び広報周知文書配送業務	841,104
・市広報紙及び広報周知文書配送のための受付、荷造り及び引渡し業務	475,750

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	02 総務施設管理運営費
小事業	02 市民活動支援センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1207	指定管理者委託料	6,049,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,494,000	6,049,000	0	445,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,049,000
主な財源					

事業内容

市民活動団体の活動拠点、団体間の相互交流、市民活動に関する各種情報発信・収集を行う場として、本施設を文化交流センター小ホール棟2階に設置し、施設の適切な管理運営と市民の利用促進を図った。
〇指定管理者
日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会（平成28年度～令和2年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	23 市民活動推進一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	113,000			
1101	通信運搬費	31,000			
1808030	地域活性化センター負担金	140,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
315,000	286,600	0	28,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	125,000	0	1,000	160,600
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、地縁団体印鑑証明手数料				

事業内容

市民協働係の業務執行に係る一般的な事務経費
〇普通旅費（宮崎市等への出張旅費）　〇消耗品費（一般事務用品のほかコピー機等の経費）
〇通信運搬費（郵便経費等）　〇負担金（地域活性化センター負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0002 男女共同参画推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	02 総務施設管理運営費		
事業 小事業	03 男女共同参画社会づくり推進ルーム管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	26,840			
1207	指定管理者委託料	5,713,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,476,000	5,739,840	0	736,160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,739,840
主な財源					

事業内容

男女共同参画社会の形成の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する拠点施設として、文化交流センター小ホール棟2階に「日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム」を設置し、男女共同参画推進事業を企画・実施するとともに、市民の利用促進を図った。
〇指定管理者
日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会　（平成28年度～令和2年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料（指定管理者委託料）
男女共同参画社会づくり推進ルーム指定管理業務　5,713,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0011 人権・同和行政推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	16 人権・同和行政推進費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	25 人権・同和行政推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	28,000			
1101	通信運搬費	24,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
90,000	52,000	0	38,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	52,000
主な財源					

事業内容

人権・同和行政推進一般事務費
　○消耗品費（一般事務用品、コピー等の経費）
　○通信運搬費（郵便料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課 0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	01 総務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	11,220	1806007	日向地区保護司会負担金	75,600
0802	普通旅費	10,100	1808012	日向地区事業所等暴力団追放協議会負担金	5,000
1001	消耗品費	1,769,871	1825002	研修会負担金	0
1005	食糧費	4,070	1852010	日向市い坊市交流促進協議会事業補助金	0
1006	印刷製本費	0			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	2,491,230			
1103	手数料	41,800			
1206	その他の委託料	382,307			
1301	使用料及び賃借料	54,560			
1805005	宮崎県更正保護協会負担金（日向地区保護司会負担金より）	35,000			
1805045	公財）宮崎県暴力追放センター負担金	140,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,439,000	5,020,758	0	1,418,242

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	226,000	0	0	0	4,794,758
主な財源	個人番号カード交付事務費補助金				

事業内容

印刷機のマスター・インクや郵便料、切手葉書代、運搬料等、全庁的な事務費を支出したほか、課で使用する一般事務用品を購入した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　機密文書リサイクル業務委託　382,307

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	02 マイクロバス運行管理費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,400			
1004	燃料費	44,520			
1008	修繕料	336,182			
1103	手数料	17,500			
1107	自動車損害保険料	97,925			
1206	その他の委託料	467,500			
1301	使用料及び賃借料	0			
2601	国に対する公課費	62,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,707,000	1,028,427	0	678,573

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,028,427
主な財源					

事業内容

マイクロバスの適正な運用を図るため、関係各課との調整を行った。
また、マイクロバス2台の車検等の整備に係る経費、燃料費、民間に委託して行う運行経費等を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
マイクロバス運行業務委託　467,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	11 公平委員会費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	04 公平委員会費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	19,200			
0801	費用弁償	1,184			
0802	普通旅費	0			
1005	食糧費	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808039	全国公平委員会連合会負担金	31,000			
1808040	宮崎県公平委員会連合会負担金	20,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
629,000	71,384	0	557,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	71,384
主な財源					

事業内容

公平委員会開催に伴う報酬、費用弁償等を支出した。
（会議開催回数：2回）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0002 総務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	17 諸費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	03 自衛官募集事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,000			
1001	消耗品費	5,000			
1101	通信運搬費	23,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,000	34,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	34,000	0	0	0	0
主な財源	自衛官募集事務委託金				

事業内容	自衛官募集事務について、広報紙による自衛官募集記事の掲載、自衛官募集ポスターの掲示、自衛隊入隊者激励会の開催等を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	01 法制支援システムに要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,090,000			
1301	使用料及び賃借料	1,681,680			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,772,000	3,771,680	0	320

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,771,680
主な財源					

事業内容	市の条例、規則、要綱等を市のホームページ上で閲覧、検索できるようにすることで、市民への例規情報の提供を行った。 また、法改正情報、例規整備支援情報、判例等を閲覧できるシステムを導入することで、適切な法務管理と事務の効率化を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 例規検索システム更新データ作成業務委託　2,090,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	02 情報公開、個人情報保護及び行政不服審査制度の運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	89,600			
0801	費用弁償	7,992			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
352,000	97,592	0	254,408

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000	93,592
主な財源	印刷機使用料、公文書開示郵送料				

事業内容	公益上の必要性のために個人情報の目的外利用を認める場合に、識見を有する者等から構成される個人情報保護審議会からの意見を聴取し、その意見等を参考に市長が利用の可否を判断することにより、個人情報の適正な管理を行った。（会議開催回数：3回）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0003 法務係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	07 法務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	1,014			
1002	消耗品費追録	2,970			
1108	その他の保険料	1,080,038			
1206	その他の委託料	880,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,128,000	1,964,022	0	163,978

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,964,022
主な財源					

事業内容	法律上の疑義や訴訟案件等について顧問弁護士に相談し、助言を受けたうえで対応することにより、適正な法務管理を図った。 また、全国市長会市民総合賠償補償保険へ加入することにより、業務上の過失等に起因する損害賠償等への対応を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 顧問弁護士業務委託　880,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0006 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	08 契約一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	327,106			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	54,900			
0801	費用弁償	6,000			
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	57,668			
1002	消耗品費追録	34,471			
1006	印刷製本費	26,950			
1301	使用料及び賃借料	22,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
698,000	532,995	0	165,005

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	532,995
主な財源					

事業内容

市の契約全般に係る審査・入札等の適切な事務処理に努めた。コロナ禍により県内九市契約担当者会議が書面会議となったが、情報共有を図ることができた。
競争入札参加資格審査申請の受付時は、会計年度任用職員を3ヶ月間雇用し、迅速な受付処理に努めた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	48 基金積立金
中事業	01 基金積立に要する経費
小事業	01 減債・財政調整・公共施設整備基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2401	財政調整積立基金積立金	1,188,000			
2402	減債基金積立金	111,000			
2403	その他特定目的基金積立金	111,187,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
112,486,000	112,486,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	112,486,000	0
主な財源	放送大学貸付収入、旧幸脇小学校貸付収入、財政調整積立基金利子、減債基金利子、公共施設整備等資金積立基金利子、建物等撤去補償金				

事業内容

市保有財産の撤去補償金や貸付収入を「公共施設整備等資金積立基金」に積み立てたほか、各基金の利子積立を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	01 財務会計システムの運用に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	45,458			
1101	通信運搬費	4,000			
1205	システム開発等委託料	6,393,090			
1301	使用料及び賃借料	6,608,412			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,112,458	13,050,960	0	61,498

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	176,000	12,874,960
主な財源	財務会計システム使用料負担金				

事業内容

全庁的な財務会計事務に資するため、財務会計システムに係るソフトウェア（基本ソフト）、ハードウェアのリースや保守契約を締結し、システムの安定した稼働及び適切な運用を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料

財務会計システム保守点検業務委託料　6,393,090

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0001 財政係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	04 財政管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	10 財政一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	321,409			
1002	消耗品費追録	67,013			
1006	印刷製本費	1,778,155			
1101	通信運搬費	31,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808021	地方自治研究機構賛助会負担金	27,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,671,542	2,228,477	0	443,065

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,228,477
主な財源					

事業内容

財政課の業務執行に係る一般的な事務経費
○一般事務用品
○印刷製本費（予算書作成等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費
目	01 元金		

事業	
大事業	50 借入金の返済
中事業	01 借入金元金の返済に要する経費
小事業	01 借入金元金の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2201	償還金	3,255,839,074			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,255,840,000	3,255,839,074	0	926

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	52,557,000	3,203,282,074
主な財源	広域消防負担金、消防事務財政調整積立基金繰入金				

事業内容	市債元金の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課 0001 財政係
款	12 公債費	項	01 公債費
目	02 利子		

事業	
大事業	50 借入金の返済
中事業	02 借入金利子の返済に要する経費
小事業	01 借入金利子の返済に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2204	利子及び割引料	166,762,885			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
166,764,000	166,762,885	0	1,115

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	107,000	166,655,885
主な財源	広域消防負担金				

事業内容	市債利子の償還を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	02 財政課　0001 財政係
款	14 予備費	項	01 予備費
目	01 予備費		
事業 大事業	51 予備費		
事業 中事業	01 予備費		
事業 小事業	01 一般会計予備費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2901	予備費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,932,158	0	0	13,932,158

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	0
主な財源					

事業内容

新型コロナウイルス感染症対策に係る資材調達をはじめ、市施設の修繕や事故に係る損害賠償など、緊急を要する場合について充用を行った。
・充用額16,067,842 円（当初予算額15,000,000 円、不用額13,932,158 円）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課　0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	14 人事研修一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,882,167	1802015	自治法派遣職員給与負担金	4,466,521
0301	職員手当	1,566,658	1808015	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,892,370			
0801	費用弁償	344,500			
0802	普通旅費	474,580			
1001	消耗品費	324,301			
1002	消耗品費追録	47,933			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	2,010			
1108	その他の保険料	3,780			
1206	その他の委託料	2,160,290			
1301	使用料及び賃借料	1,386,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,854,314	27,561,110	0	5,293,204

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,000	27,556,110
主な財源	市章代				

事業内容

職員が病休・産休を取得する際に、代替えとして会計年度任用職員を雇用し、住民サービスの安定を図った。
また、国・県に職員を派遣するなど人事交流を行い、次代を担う人材を育成した。
その他、職員採用や表彰等、人事・研修業務に係る一般的な事務経費。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
職員採用試験に係る採用管理システム及び試験問題集の貸与　2,160,290
並びに採点及び結果処理業務

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	15 給与厚生一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0502	非常勤職員災害補償費	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	15,350			
1001	消耗品費	5,446			
1003	消耗品費被服	145,200			
1005	食糧費	0			
1808018	社会保険協会負担金	22,600			
1825001	会議出席負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
703,000	188,596	0	514,404

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	188,596
主な財源					

事業内容	職員の安全衛生管理及び給与の支払いに関する事務処理経費等を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0002 給与厚生係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	48 基金積立金
中事業	01 基金積立に要する経費
小事業	02 退職手当基金積立に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2403	その他特定目的基金積立金	51,963,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,966,000	51,963,000	0	3,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	51,963,000	0
主な財源	退職手当基金利子、退職手当基金負担金　日向東臼杵広域連合分、退職手当基金負担金　国保事業特別会計分、退職手当基金負担金　水道事業会計分、職手当基金負担金　下水道事業会計分、退職手当基金負担金　病院事業会計分、退職手当基金負担金　簡易水道事業会計分、退職手当基金負担金　農業集落排水事業分				

事業内容	退職者数の変動による一般財源への影響を抑制するため、退職手当基金への積立を行い、財政負担の平準化を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	08 災害応急対策・復旧対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	162,250			
1103	手数料	443,100			
1206	その他の委託料	0			
1865020	日向市特別災害復旧費補助金	31,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,605,350	636,350	0	969,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	636,350
主な財源					

事業内容

災害時に避難所等で使用する毛布の購入及び使用後のクリーニング、住家に流入した土砂の撤去費の助成を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇負担金補助及び交付金
・日向市特別災害復旧費補助金
日向市特別災害復旧費補助金交付件数　1件　31,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	16 防災推進一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	32,500	1825002	研修会負担金	17,000
1001	消耗品費	133,574	2601	国に対する公課費	22,800
1003	消耗品費被服	70,400			
1004	燃料費	42,833			
1008	修繕料	118,426			
1101	通信運搬費	90,000			
1103	手数料	11,000			
1107	自動車損害保険料	41,886			
1108	その他の保険料	53,628			
1301	使用料及び賃借料	14,544			
1805026	宮崎県市町村防災行政無線負担金	209,000			
1805062	消防防災ヘリコプター運営費負担金	2,893,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,141,000	3,750,591	0	390,409

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,750,591
主な財源					

事業内容

防災に関する消耗品や各種負担金の支出など、一般事務費の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
小事業	03 普通財産管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,000			
1008	修繕料	289,300			
1103	手数料	255,200			
1106	火災保険料	83,467			
1201	施設維持管理委託料	374,660			
1206	その他の委託料	2,421,392			
1301	使用料及び賃借料	918,528			
1402	維持補修工事	38,094,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,807,000	42,460,647	0	1,346,353

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	38,551,000	3,909,647
主な財源	損害弁償金、建物等撤去補償金				

事業内容

普通財産（土地・建物）等の維持管理に要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

放送大学樹木管理業務	218,900
放送大学自家用電気工作物保安管理業務	155,760
市有地草刈等業務	1,468,214
登記事務・不動産鑑定評価等業務	342,232
コーポラス中原・中原ビル管理業務	599,946
照明器具PCB調査業務	11,000

○工事請負費

旧坪谷中学校体育館壁破損部雨水対策工事	27,500
中原ビル石綿含有仕上塗材除去工事	18,975,000
建物2棟（コーポラス中原、中原ビル）解体工事	18,997,000
日向市役所内標識設置工事	94,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	12 管財一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	246,257			
1002	消耗品費追録	6,743			
1003	消耗品費被服	11,241			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	47,000			
1301	使用料及び賃借料	120,000			
1825002	研修会負担金	14,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
647,000	445,241	0	201,759

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	445,241
主な財源					

事業内容

管財業務に要した一般事務費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
事業 中事業	03 公共施設の最適化と適切な管理
事業 小事業	02 公有財産台帳管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1205	システム開発等委託料	440,000			
1301	使用料及び賃借料	924,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,374,000	1,374,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,374,000
主な財源					

事業内容

公有財産管理システムに要した経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

公有財産管理システムデータ更新業務	440,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	02 総務施設管理運営費
事業 小事業	01 本庁舎等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	795,065			
1004	燃料費	1,580,805			
1007	光熱水費	8,761,821			
1008	修繕料	491,458			
1101	通信運搬費	3,256,884			
1103	手数料	285,791			
1106	火災保険料	232,901			
1201	施設維持管理委託料	54,407,848			
1203	事業委託料	6,534,000			
1301	使用料及び賃借料	3,168,865			
1402	維持補修工事	2,542,980			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,736,578			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,004,280	83,794,996	0	1,209,284

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,049,000	81,745,996
主な財源	公衆電話料、上下水道局光熱費負担金、電気使用料				

事業内容

庁舎等の維持管理に要した経費。
光熱水費については、電力の一般競争入札を初めて行い、令和2年1月から契約し大幅な削減となった。また、施設維持管理委託料については、設計内容の見直しを行い経費の削減を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

庁舎等警備業務	19,538,640
庁舎等清掃業務	16,564,350
電話交換業務	6,534,000
芝生・植栽等管理業務	3,196,600
機器保守業務	2,150,500
消防・防災設備保守点検業務	1,915,100
自家用電気工作物保安業務	1,864,500
便所等管理業務	1,767,348
エレベーター点検業務	1,702,800
その他施設維持管理業務	5,708,010

○工事請負費

健康管理センター1階事務室空調機取替工事	973,500
本庁舎3階フロアー電話設備移設工事	827,200
本庁舎3階移動式書庫移設工事	426,580
庁舎案内サイン改修工事	205,700
公共施設照明器具取替工事	99,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	13 公用車集中管理に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	30,000			
1004	燃料費	2,583,123			
1008	修繕料	48,755			
1103	手数料	6,600			
1107	自動車損害保険料	796,331			
1301	使用料及び賃借料	8,940,005			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,667,000	12,404,814	0	262,186

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,404,814
主な財源	

事業内容	公用車のリース等の集中管理に要した経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費
事業 大事業	49 会計・基金繰出金
事業 中事業	02 基金繰出に要する経費
事業 小事業	01 土地開発基金への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	13,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,000	13,000	0	1,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	13,000	0
主な財源	土地開発基金利子

事業内容	基金運用利子の積立を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課　0001 管理係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	01 税務総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	26 税務一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300	1825002	研修会負担金	0
1001	消耗品費	462,069			
1002	消耗品費追録	200,491			
1004	燃料費	39,001			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	16,500			
1007	光熱水費	102,000			
1008	修繕料	9,405			
1101	通信運搬費	20,000			
1107	自動車損害保険料	16,986			
1301	使用料及び賃借料	163,520			
1805038	宮崎県租税教育推進中央協議会負担金	23,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,291,000	1,054,272	0	236,728

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,054,272
主な財源					

事業内容：課内の幹事事務、課内庶務事務一般（決算事務、県民税、譲与税・諸税交付金の請求等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課　0002 市民税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		
事業 大事業	42 未来につなげる財政運営		
事業 中事業	02 自主財源の確保		
事業 小事業	03 市民税賦課に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,649,742	1301	使用料及び賃借料	7,195,100
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	353,338	1806028	延岡地区市町村税協議会負担金	91,000
0801	費用弁償	24,000	1808071	社団法人地方税電子化協議会負担金	1,343,358
0802	普通旅費	32,782	1825002	研修会負担金	31,900
1001	消耗品費	360,000			
1006	印刷製本費	510,493			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	2,940,000			
1103	手数料	162,170			
1204	調査・計画策定委託料	1,172,528			
1205	システム開発等委託料	910,140			
1206	その他の委託料	2,750,007			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,527,158	20,526,558	0	1,000,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000	20,522,558
主な財源	標識亡失弁償金				

事業内容：
（1）個人住民税及び法人市民税の賦課業務
（2）軽自動車税の賦課業務及び原動機付自転車等の新規登録・廃車・名義変更等
上記に係る主な経費
申告相談受付及び賦課事務に係る経費（会計年度任用職員報酬・通信運搬費・システム賃借料及び委託料等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

軽自動車税調査業務委託	1,172,528
個人住民税申告・課税支援システム保守業務委託	910,140
日向市税データパンチ業務委託	1,378,396
軽自動車税システムJ-LIS連携対応に係るシステム改修業務委託	1,292,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0003 資産税係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	04 固定資産税賦課に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	19,200	1206	その他の委託料	27,434,000
0104	会計年度任用職員報酬	3,698,220	1301	使用料及び賃借料	3,082,728
0301	職員手当	520,830	1808043	資産評価システム研究センター負担金	90,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	643,838	1825002	研修会負担金	31,900
0714	その他の役務提供等に対する報償金	27,170			
0717	見舞金	775,867			
0801	費用弁償	77,286			
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	100,000			
1006	印刷製本費	320,595			
1101	通信運搬費	3,100,000			
1103	手数料	364			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,962,000	39,923,298	0	2,038,702

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	39,923,298
主な財源					

事業内容
(1)土地、家屋、償却資産の調査課税資料の収集及び評価 (2)固定資産業務システムによる課税計算及び賦課
(3)国有資産等に係る市町村交付金の請求 (4)固定資産税の減免、課税免除事務
(5)固定資産評価員による評価 (6)固定資産税過誤納金見舞金の支払い (7)職員研修等を実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

固定資産評価業務委託	26,400,000
標準宅地鑑定評価時点修正業務	1,034,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	01 税務課 0004 市税収納係
款	02 総務費	項	02 徴税費
目	02 賦課徴収費		

事業	
大事業	42 未来につなげる財政運営
中事業	02 自主財源の確保
小事業	07 収納事務に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376	1301	使用料及び賃借料	3,679,836
0301	職員手当	209,471	1825002	研修会負担金	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	270,705	2201	償還金	32,655,306
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	190,844			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	281,633			
1101	通信運搬費	4,020,000			
1103	手数料	4,334,012			
1205	システム開発等委託料	3,616,800			
1206	その他の委託料	1,955,556			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,377,842	52,730,739	0	647,103

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	47,382,621	0	5,348,118	0
主な財源	県民税徴収委託金、市税督促手数料、滞納管理システム負担金				

事業内容
(1)徴収技術の向上
(2)口座振替やコンビニ収納などの利用促進
(3)滞納整理システムによるデータの共有化及び滞納処分
(4)市税過誤納還付業務
(5)多様な納税手段の確保

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

地方税共通納税システム対応　Acrocityパッケージ保守契約	316,800
滞納整理システムクラウドサービス保守委託	3,300,000
市税滞納整理事務指導業務委託	1,955,556

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	06 国民健康保険事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	596,168,386			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
609,713,000	596,168,386	0	13,544,614

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	73,332,000	241,043,000	0	0	281,793,386
主な財源	保険基盤安定負担金（国・県）				

事業内容	国民健康保険事業に係る事業費に対し、国・県による保険基盤安定負担金等や国の示す繰出基準に基づく法定繰出金を一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	06 後期高齢者医療費		
事業 大事業	16 社会保障制度の安定運営		
事業 中事業	02 後期高齢者医療制度の適正な運営		
事業 小事業	02 後期高齢者医療事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1823001	後期高齢者医療広域連合一般会計共通経費負担金	10,561,000			
1823002	後期高齢者医療広域連合特別会計共通経費負担金	18,858,000			
1823003	療養給付費負担金	651,210,000			
1823009	療養費負担金	81,972			
1823010	機器利用市町村負担金	8,594,000			
1823011	後期高齢者医療広域連合納付金保険料（精算分）負担金	19,654,455			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
708,961,000	708,959,427	0	1,573

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	708,959,427
主な財源					

事業内容	宮崎県後期高齢者医療広域連合による後期高齢者医療制度の運営に要する費用及び後期高齢者の療養の給付に要する費用を負担した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	06 後期高齢者医療費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	08 後期高齢者医療事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	259,729,274			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
260,861,000	259,729,274	0	1,131,726

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	167,308,000	0	0	92,421,274
主な財源	保険基盤安定負担金				

事業内容	被保険者の所得による保険料軽減分に対する県・市負担や市が行う事務、健康増進・健康づくり事業に要する経費について、繰出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課 0001 国民健康保険係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	07 国民健康保険病院事業会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810021	病院事業会計負担金	196,055,436			
2301	出資金	3,723,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
240,000,000	199,778,436	0	40,221,564

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	199,778,436
主な財源					

事業内容	東郷病院の経営の健全化を図るため、不足する運営資金について病院事業会計への繰出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費
目	01 戸籍住民基本台帳費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	04 情報公開と個人情報の保護
小事業	04 中長期在留者住居地届出等事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0203	一般職給料	275,836			
1101	通信運搬費	5,590			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
282,000	281,426	0	574

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	281,426	0	0	0	0
主な財源	中長期在留者住居地届出等事務委託金				

事業内容	中長期在留者等の外国人の住居地情報について、外国人からの届出を受理し、法務大臣に通知し、在留カード等に記載する等の事務を行った。 ※中長期在留者 日本に3ヶ月以上滞在する外国人で、日本人と結婚している方や日系人の方、企業等にお勤めの方、技能実習生、留学生等。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	17 人口動態調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	61,840			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,000	61,840	0	160

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	61,840	0	0	0
主な財源	人口動態調査委託金				

事業内容	市で受理した戸籍届出のうち、出生・死亡・死産・婚姻及び離婚届に基づく人口異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0001 市民窓口係
款	02 総務費	項	05 統計調査費
目	01 統計調査費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	18 現住人口調査事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	33,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,000	33,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	33,000	0	0	0
主な財源	現住人口調査委託金				

事業内容	住民の転入・転出届や出生・死亡届に基づく人口や世帯の異動の統計処理を行い、県へ報告を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0002 国民年金係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	03 国民年金事務費		

事業	
大事業	16 社会保障制度の安定運営
中事業	03 国民年金制度の適正な運営
小事業	01 国民年金事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0301	職員手当	264,842			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	309,334			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	181,000			
1007	光熱水費	300,000			
1101	通信運搬費	1,080,000			
1205	システム開発等委託料	269,500			
1809012	九州都市国民年金協議会負担金	5,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,421,000	4,290,220	0	130,780

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,290,000	0	0	0	220
主な財源	基礎年金等事務委託金、協力連携事務委託金、年金生活支援給付金支給市町村事務交付金				

事業内容	・国民年金第1号被保険者の資格取得、免除申請書等の各種受付及び報告を行った。 ・老齢基礎年金、障害基礎年金等各種裁定請求の受付を行った。 ・国民年金制度に関する相談、広報等による周知を行うとともに、各種届書受付時に国民年金保険料の納付促進、案内を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 令和2年税制改正に伴うシステム改修業務（年金生活者支援給付金）　269,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	14 市民生活費		

事業	
大事業	26 安全・安心な生活環境の確保
中事業	03 消費者教育・啓発の推進
小事業	01 消費生活事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	23,836			
1004	燃料費	157,000			
1008	修繕料	23,936			
1101	通信運搬費	2,020			
1107	自動車損害保険料	12,934			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
248,000	219,726	0	28,274

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	73,000	146,726
主な財源	日向地区広域消費生活センター運営負担金				

事業内容

消費者問題の啓発・相談推進に要する事務経費
○宮崎県担当者会議等の出席旅費　○消費生活相談事業に要する消耗品
○消費生活センター車両の車検整備費等　○消費生活センター広域化に伴う経費等(燃料費)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	01 市営納骨堂管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	2,000			
1007	光熱水費	19,993			
1101	通信運搬費	13,475			
1103	手数料	500			
1106	火災保険料	1,017			
1201	施設維持管理委託料	98,000			
1301	使用料及び賃借料	400,000			
1702	機械器具費(事業執行用)	6,600			
2201	償還金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
588,100	541,585	0	46,515

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	96,000	445,585
主な財源	市営納骨堂使用料				

事業内容

市営納骨堂の適正な運営及び維持管理を行い、永久安置及び仮安置区画の貸出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
市営納骨堂清掃及び管理業務　98,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	09 城山墓園事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,067,000	2,000,000	0	67,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,000,000
主な財源					

事業内容

城山墓園事業特別会計の収支状況により、一般会計より繰出を行った。
<参考:繰出金決算額>
平成24年度～平成29年度　0円、平成30年度　8，500千円、令和元年度　1，000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位:円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課 0003 市民相談係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	04 斎場費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	05 衛生対策の推進		
事業 小事業	02 斎場費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	44,725,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,725,000	44,725,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	44,725,000
主な財源					

事業内容

日向東臼杵広域連合の斎場に係る運営費を、構成団体の1市2町2村で使用割合に応じて分担した。
<参考:分担金決算額>
平成27年度　50，638千円、平成28年度　50，870千円、平成29年度　50，024千円
平成30年度　46，928千円、令和元年度　49，065千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0005 美々津支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	27 美々津支所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,452,072			
0301	職員手当	204,499			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	252,391			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	30,294			
1004	燃料費	25,549			
1008	修繕料	69,510			
1101	通信運搬費	45,000			
1103	手数料	8,250			
1107	自動車損害保険料	34,074			
2601	国に対する公課費	8,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,261,000	2,130,439	0	130,561

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,130,439
主な財源					

事業内容

支所の業務執行に係る一般的な事務経費
(1)事務執行に係る経費　①消耗品費　②通信運搬費
(2)会計年度任用職員に係る経費　①報酬　②職員手当　③報酬に係る保険料　④費用弁償(通勤手当)
(3)公用車(軽乗用車1台)の維持管理に係る経費　①燃料費　②修繕料　③手数料　④自動車損害保険料
⑤国に対する公課費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0006 岩脇支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	28 岩脇支所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,476,228			
0301	職員手当	207,901			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	264,254			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	20,332			
1004	燃料費	20,830			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	80,000			
1107	自動車損害保険料	16,406			
1301	使用料及び賃借料	176,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,369,000	2,312,607	0	56,393

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,312,607
主な財源					

事業内容

支所の業務執行に係る一般的な事務経費
(1)事務執行に係る経費　①消耗品費　②通信運搬費
(2)会計年度任用職員に係る経費　①報酬　②職員手当　③報酬に係る保険料　④費用弁償(通勤手当)
(3)公用車(軽貨物車1台)の維持管理に係る経費　①燃料費　②自動車損害保険料　③使用料及び賃借料(公用車リース料)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課　0007 細島支所
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	10 支所及び出張所費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	29 細島支所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	37,869			
1004	燃料費	24,816			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	14,378			
1301	使用料及び賃借料	189,216			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
284,000	266,279	0	17,721

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	266,279
主な財源					

事業内容	支所の業務執行に係る一般的な事務経費 (1)事務執行に係る経費　①消耗品費 (2)公用車(軽貨物車1台)の維持管理に係る経費　①燃料費　②自動車損害保険料　③使用料及び賃借料(公用車リース料)
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課　0001 環境政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	15 環境保全費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	01 自然環境の保全
小事業	01 環境基本計画推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	6,400			
0801	費用弁償	259			
1001	消耗品費	10,000			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	4,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
235,000	20,659	0	214,341

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	20,659
主な財源					

事業内容	○非常勤特別職員報酬、費用弁償(日向市環境保全審議会委員　1名分)
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	03 環境衛生費		

事業	
大事業	28 自然環境の保全と活用
中事業	04 資源・エネルギー対策の推進
小事業	01 地球温暖化防止対策実行計画推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	14,736			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
114,000	14,736	0	99,264

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	14,736
主な財源					

事業内容

「日向市エコプラン」に基づき、市役所本庁舎ほか市施設におけるエネルギーや紙使用量、ごみの発生量等を把握し、その抑制について、取り組んだ。
○コロナ禍で、庁内研修は文書研修として取り組んだ。
○コロナ禍で、担当職員の研修会自体が中止された。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	01 環境衛生の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1804001	日向東臼杵広域連合分担金	246,867,000			
1804002	日向東臼杵広域連合負担金	54,279,377			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
301,147,000	301,146,377	0	623

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	301,146,377
主な財源					

事業内容

日向東臼杵広域連合の適正な運営と環境衛生の充実を図るために、構成する1市2町2村（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）で一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費等を負担した。
○分担金（一般管理費や一般廃棄物の焼却処理に係る経費の分担金）
○負担金（日向東臼杵広域連合の起債に係る地方交付税措置分）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	02 環境政策課庁舎管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	44,489			
1004	燃料費	30,810			
1007	光熱水費	1,002,722			
1008	修繕料	95,991			
1101	通信運搬費	312,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	16,541			
1201	施設維持管理委託料	339,900			
1301	使用料及び賃借料	368,305			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,247,000	2,216,758	0	30,242

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	37,000	2,179,758
主な財源	自動販売機電気料				

事業内容

環境政策課庁舎を適正に管理した。
○通信運搬費（電信電話料、郵便料）
○使用料（印刷機リース料、電話機リース料、テレビ受信料）
○庁用器具費（電話機）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

浄化槽清掃業務	62,700
浄化槽保守点検業務	39,600
空調設備等保守点検業務	60,500
消防設備保守点検業務	18,700
警備業務	158,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0001 環境政策係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	01 清掃総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	04 衛生一般事務費
小事業	01 環境政策一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	57,600			
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	4,288,000			
0801	費用弁償	259			
0802	普通旅費	437,400			
1001	消耗品費	297,000			
1003	消耗品費被服	727,210			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	54,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805039	宮崎県4R推進協議会負担金	23,000			
1810006	全国都市清掃会議負担金	92,000			
1825002	研修会負担金	3,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,736,400	5,979,769	0	756,631

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	449,000	5,530,769
主な財源	一般廃棄物収集運搬業等許可申請手数料、豪雨災害等廃棄物収集業務行政支援負担金				

事業内容

環境政策課の業務執行に係る一般的な事務経費
○非常勤特別職員報酬（廃棄物減量等推進審議会委員　8名分）
○報奨金（ごみ減量化推進員報酬金　推進員179人　報奨金額：2，000円／月）
○研修会負担金（伐木等業務（チェーンソー）特別教育講習）
○熊本県芦北町令和2年7月豪雨災害に対する被災地支援(職員派遣延べ8名　9日間)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	27 循環型社会の実現
中事業	03 安全で適正な処理体制の構築
小事業	02 車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	72,048			
1004	燃料費	1,168,703			
1008	修繕料	1,757,248			
1103	手数料	293,700			
1107	自動車損害保険料	780,626			
1702	機械器具費（事業執行用）	38,720			
2601	国に対する公課費	412,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,787,000	4,523,745	0	1,263,255

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,000	4,506,745
主な財源	自動車損害共済金解約返戻金				

事業内容

適正な車両管理を行い、不適物ごみ等の収集業務を遂行した。
○車両に係る消耗品、燃料費、修繕費、自動車損害保険料、車検に係る費用など
ごみ収集車両　7台　その他11台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	04 環境政策課 0003 業務係
款	04 衛生費	項	02 清掃費
目	02 ごみ処理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	04 一般廃棄物埋立処分場（第4）管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1702	機械器具費（事業執行用）	47,850
1001	消耗品費	840,099	1825002	研修会負担金	0
1004	燃料費	187,640			
1007	光熱水費	3,244,503			
1008	修繕料	1,028,326			
1101	通信運搬費	31,000			
1103	手数料	69,800			
1106	火災保険料	9,966			
1201	施設維持管理委託料	1,923,020			
1301	使用料及び賃借料	0			
1402	維持補修工事	440,000			
1501	原材料費	266,602			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,791,000	8,088,806	0	1,702,194

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	8,088,806	0
主な財源	最終処分場利用負担金				

事業内容

日向市一般廃棄物最終処分場を適正に維持管理した。
○消耗品費（水処理用の薬品、薬剤、事務用品等）
○修繕費（薬注ポンプ取替修繕、埋立場作業用大型重機修繕等）
○原材料費（埋立用覆土材等購入）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

汚水処理施設内濃縮汚泥抜取業務	671,000
汚水処理施設及び処分場周辺草刈業務	186,120
電気工作物保安管理業務	132,000
浄化槽保守点検業務	8,800
浄化槽清掃業務	23,100
各種水槽清掃業務	902,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	01 福祉管理一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	64,000	1201	施設維持管理委託料	628,320
0104	会計年度任用職員報酬	1,078,307	1805002	宮崎県社会福祉協議会負担金	95,000
0301	職員手当	202,667	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	183,546	1833015	遺族連合会運営補助金	0
0801	費用弁償	18,000	1853028	日向市戦没者追悼奉賛会補助金	0
0802	普通旅費	6,800	1853029	ひむかいの塔追悼式参拝補助金	0
1001	消耗品費	775,694	1902	社会福祉扶助費（県単補助）	0
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	49,166			
1008	修繕料	15,400			
1101	通信運搬費	125,000			
1106	火災保険料	1,831			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,251,000	3,248,731	0	1,002,269

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	85,000	0	16,000	3,147,731
主な財源	特別給付金等支給事務市町村交付金、福祉関係証明手数料、自動車損害共済金				

事業内容

福祉課全体に係る一般事務経費及び負担金等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

戦没者追悼施設樹木管理業務	473,000
富高慰霊塔西側伐採業務	68,200
富高慰霊塔トイレ清掃業務	87,120

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	03 重度心身障害児者医療費助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	1,426,312			
1205	システム開発等委託料	238,000			
1902	社会福祉扶助費（県単補助）	143,289,491			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
144,955,000	144,953,803	0	1,197

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	60,393,000	0	11,308,000	73,252,803
主な財源	重度障害者（児）医療費公費負担事業補助金、重度心身障害者（児）医療費助成金返還金				

事業内容

○重度心身障害児（者）医療費助成金
　重度の障がいがある人を対象に、保険診療医療費の一部を現物給付方式により助成を行った。（令和2年8月受診分から、外来の現物給付化を開始。）【助成対象者数：1，528人】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

通院の現物給付化に伴うシステム改修業務	238,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	04 自立支援医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	57,000			
1103	手数料	154,795			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	152,978,149			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
154,814,000	153,189,944	0	1,624,056

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	76,489,000	38,244,000	0	0	38,456,944
主な財源	障害者医療費負担金（国・県）				

事業内容	・更生医療（18歳以上の身体障害者手帳所持者が対象。手術等で確実な効果が期待できる治療についての助成。）【支給対象延べ人数：3，424人】 ・育成医療（18歳未満の身体障がい児が対象。更生医療と同様の助成内容。）【支給対象延べ人数：7人】 ・療養介護医療（医療機関に入院中の障害者が対象。医療と同時に行われる介護や福祉サービスについての助成。）【支給対象延べ人数：179人】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害者福祉費
事業 大事業	14 障がい福祉の充実
事業 中事業	02 地域生活の支援
事業 小事業	06 障害児・者補装具給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	14,547,238			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,200,000	14,547,238	0	1,652,762

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,273,000	3,636,000	0	0	3,638,238
主な財源	障害者補装具給付事業負担金（国・県）、障害者自立支援給付費負担金（国・県）				

事業内容	身体障害者手帳が交付されている人に対し、身体上の障がいを補うために必要な用具の給付を行った。 ・肢体不自由：義手、義足、車椅子など ・視覚障がい：盲安全杖、眼鏡など ・聴覚障がい：補聴器など
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	09 身体障害者福祉電話運営事業（市単）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	63,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,000	63,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	63,000
主な財源					

事業内容	外出することが困難な重度の身体障がいがある人に対し、福祉電話加入権を貸与し、基本料金の助成を行った。 【助成対象者数：2人】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	10 特別障害者手当等給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	99,750			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	29,927,660			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,300,000	30,027,410	0	1,272,590

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,435,000	0	0	0	7,592,410
主な財源	特別障害者手当等給付費負担金				

事業内容	○特別障害者手当（身体又は精神に著しい重度の障がいを有する20歳以上の人が対象。支給月額27，350円） 【支給対象者数：76人】 ○障害児福祉手当（身体又は精神に著しい重度の障がいを有する20歳未満の人が対象。支給月額14，880円） 【支給対象者数：48人】 ○経過的福祉手当（制度改正以前の受給者に対する経過措置手当。支給月額14，880円）【支給対象者数：1人】
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	11 特別児童扶養手当事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	64,000			
1006	印刷製本費	50,600			
1101	通信運搬費	93,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
220,000	207,600	0	12,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	198,000	0	0	0	9,600
主な財源	特別児童扶養手当事務取扱交付金				

事業内容

○市町村事務
　特別児童扶養手当認定に係る申請書等の受理、所得状況の確認等に関する事務を行った。
○手当の支給
　手当は国から支給される。【支給月額　1級：52，500円、2級：34，970円】

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	02 障害者センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	64,760			
1207	指定管理者委託料	14,259,270			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,325,000	14,324,030	0	970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	307,000	154,000	0	508,000	13,355,030
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、障害者センター使用料				

事業内容

○施設管理運営費
　人件費、光熱水費、清掃委託料等
○施設の設置目的を達成するために必要な業務に要する費用
　点字広報等発行事業、点訳奉仕員・音訳奉仕員養成講座開催事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　障害者センター管理業務　14,259,270

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0002 障がい福祉係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	02 障がい福祉一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0717	見舞金	0	1825002	研修会負担金	0
0802	普通旅費	13,000	2201	償還金	7,425,775
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	51,000			
1006	印刷製本費	176,880			
1007	光熱水費	35,000			
1008	修繕料	76,114			
1101	通信運搬費	241,000			
1103	手数料	3,800			
1106	火災保険料	14,587			
1201	施設維持管理委託料	120,500			
1806030	日向入郷地域精神保健福祉協議会負担金	8,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,543,000	8,166,056	0	376,944

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,000	714,000	0	11,000	7,437,056
主な財源	障害者地域生活支援事業補助金（国・県）、宮崎県市町村権限移譲交付金、火災保険料				

事業内容

障がい福祉推進に係る一般事務費と障がい福祉関係団体への負担金、国及び県負担金への償還金を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ浄化槽保守点検清掃業務委託	60,500
塩見美々津線田の原地区公衆用トイレ管理業務委託	60,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	19 介護給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	2,186,784			
0301	職員手当	307,971			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	379,586			
0801	費用弁償	144,000			
0802	普通旅費	5,200			
1001	消耗品費	138,000			
1103	手数料	2,643,700			
1107	自動車損害保険料	20,405			
1208	コンピューター・システム導入委託料	825,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	998,040,544			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,011,545,000	1,004,691,190	0	6,853,810

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	476,335,000	237,972,000	0	0	290,384,190
主な財源	障害者自立支援給付費負担金（国・県）、障害者総合支援事業費補助金				

事業内容

障害者総合支援法に基づき、身体・知的・精神の3障がい共通の介護給付事業を実施することで、障がい者の地域での自立生活及び社会生活を支援した。「介護給付」には「居宅介護」や「生活介護」など、主として日中活動の場で提供されるサービス、「施設入所支援」などの主として夜間に提供されるサービスがあり、ニーズに応じたサービスの提供を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

障害者自立支援給付審査支払等システム改修業務	825,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	20 訓練等給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	631,262,751			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
637,000,000	631,262,751	0	5,737,249

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	301,838,000	150,919,000	0	0	178,505,751
主な財源	障害者自立支援給付費負担金（国・県）				

事業内容

障害者総合支援法に基づき、自立した日常生活や社会生活を営むことを目的とした、身体機能や生活能力の向上のための訓練等給付事業を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		
事業 大事業	14 障がい福祉の充実		
事業 中事業	02 地域生活の支援		
事業 小事業	21 障害者給付認定審査会運営事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	1,008,000			
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544			
0203	一般職給料	567,000			
0301	職員手当	463,842			
0401	給与に係る保険料	193,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	328,442			
0801	費用弁償	47,227			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	314,000			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	70,787			
1101	通信運搬費	228,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,475,000	5,100,842	0	374,158

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,404,000	2,696,842
主な財源	障害者給付認定審査会運営事業負担金				

事業内容

○日向入郷地域障害者給付認定審査会
　日向入郷1市2町2村の広域で共同設置しており、毎月審査会を開催した。
○非常勤特別職員報酬
　日向入郷地域障害者給付認定審査会委員報酬

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0003 障がい者支援係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	02 障害者福祉費		

事業	
大事業	14 障がい福祉の充実
中事業	02 地域生活の支援
小事業	25 障害児通所支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	286,378			
1901	社会福祉扶助費（国直接・間接補助）	251,573,798			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
256,300,000	251,860,176	0	4,439,824

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	125,369,000	63,310,000	0	0	63,181,176
主な財源	障害児通所支援給付費負担金（国・県）、障害者総合支援事業補助金				

事業内容

児童福祉法に基づき、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援など、障がい児に対する支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課　0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	02 扶助費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	02 生活支援と自立の促進
小事業	01 生活保護費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1930	生活保護扶助費（国直接・間接補助）	1,261,908,739			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,263,600,000	1,261,908,739	0	1,691,261

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	915,310,000	49,032,000	0	32,191,000	265,375,739
主な財源	生活保護費負担金（国・県）、生活保護費返還金				

事業内容

生活に困窮する人々に対して、その困窮程度に応じて、生活保護法第3条に基づき、9種類に区分された扶助費を支給した。
（令和2年3月末現在）被保護者世帯数719世帯　被保護者人員853人　保護率14．23‰
（令和3年3月末現在）被保護者世帯数714世帯　被保護者人員833人　保護率14．05‰

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○扶助費

生活扶助費	363,269,868
住宅扶助費	169,039,589
教育扶助費	2,184,260
医療扶助費	689,146,541
介護扶助費	29,877,330
出産扶助費	0
生業扶助費	744,635
葬祭扶助費	732,183
施設事務費	6,310,000
就労自立給付金	253,363
進学準備給付金	350,970
【合計】	1,261,908,739

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0011 指導監査係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	03 民生一般事務費
事業 小事業	09 福祉法人監査一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	8,391			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,000	8,391	0	108,609

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	8,391
主な財源	

事業内容	社会福祉法人指導監査に係る一般事務経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実
事業 小事業	12 児童手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	0			
1006	印刷製本費	44,000			
1101	通信運搬費	842,000			
1205	システム開発等委託料	533,500			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	1,036,635,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,038,071,000	1,038,055,800	0	15,200

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	721,082,000	158,244,000	0	0	158,729,800
主な財源	児童手当国庫負担金、子ども・子育て支援事業費補助金、児童手当負担金

事業内容	0歳から中学校終了前の児童を養育している者に、児童1人につき以下の月額を支給 ○所得制限以下　・3歳未満　15，000円 ・3歳以上～小学校修了前　10，000円（第1，2子）　15，000円（第3子以降） ・中学生　10，000円 ○所得制限以上　一律　5，000円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	06 ひとり親家庭への支援
小事業	01 児童扶養手当給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	427,956,450			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
427,957,000	427,956,450	0	550

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	141,820,000	0	0	1,234,000	284,902,450
主な財源	児童扶養手当負担金、児童扶養手当返還金				

事業内容

父または母と生計を同じくしていない児童を、監護・養育している者に手当を支給した。
○児童1人：月額43，160円（令和2年4月額改定）
○児童2人：児童1人目の児童の支給金額に10，190円を加算（令和2年4月額改定）
○児童3人以上：3人目以降の児童1人につき6，110円を加算（令和2年4月額改定）
○所得制限により、一部・全部支給停止あり

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	03 日知屋児童センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金　厚生	0			
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	208,267			
1008	修繕料	101,200			
1103	手数料	33,000			
1106	火災保険料	4,371			
1201	施設維持管理委託料	1,037,160			
1207	指定管理者委託料	5,283,750			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,156,000	6,667,748	0	488,252

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,667,748
主な財源					

事業内容

児童館の運営及び下記に関する事業を、民間事業者に委託して行った。
（1）児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供を行った。
（2）健全な遊びを通して、児童の集団的、個別的指導を行った。
（3）健全な遊びを通して、児童の体力増進のための指導を行った。
（4）その他児童館の設置の目的達成に必要な事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日知屋児童センター指定管理者委託料	5,283,750
日知屋児童センター警備業務委託料	602,100
日向市立5地区公民館等清掃業務委託料（日知屋児童センター分）	237,600
日知屋児童センター消防・防災設備保守点検及び防火対象物点検業務委託料	65,120
日知屋児童センター空調装置保守点検業務委託料	51,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	04 大王谷児童館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金 厚生	0			
1001	消耗品費	10,560			
1007	光熱水費	31,790			
1008	修繕料	87,527			
1106	火災保険料	29,662			
1201	施設維持管理委託料	915,000			
1207	指定管理者委託料	5,254,750			
1701	庁用器具費(一般的事務用)	29,480			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,802,000	6,358,769	0	443,231

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,358,769
主な財源					

事業内容

児童館の運営及び下記に関する事業を、民間事業者に委託して行った。
(1)児童の健康を増進し、情操を豊かにするための遊戯施設等の提供を行った。
(2)健全な遊びを通して、児童の集団的、個別的指導を行った。
(3)健全な遊びを通して、児童の体力増進のための指導を行った。
(4)その他児童館の設置の目的達成に必要な事業

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

大王谷児童館指定管理者委託料	5,254,750
大王谷児童館警備業務委託料	550,000
日向市立5地区公民館等清掃業務委託料(大王谷児童館分)	197,800
大王谷児童館芝生・植栽管理委託料	61,600
大王谷児童館自家用電気工作物保安業務委託料	39,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	03 子育て支援一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	867,636	1402	維持補修工事	381,425
0301	職員手当	209,471	1805084	第67回九州地区母子寡婦福祉研修大会(宮崎大会)負担金	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	161,731	1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000
0714	その他の役務提供等に対する報償金	42,750	1809008	宮崎県児童館連絡協議会負担金	16,000
0801	費用弁償	14,000	1825009	保健事業費負担金	825,000
0802	普通旅費	6,520	2201	償還金	10,220,563
1001	消耗品費	223,028			
1006	印刷製本費	239,590			
1101	通信運搬費	347,000			
1103	手数料	86,629			
1106	火災保険料	108,619			
1301	使用料及び賃借料	646,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,831,000	14,401,762	0	1,429,238

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	22,000	0	0	14,379,762
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容

○国保保健指導事業(歯科)負担金
○一般事務経費
・消耗品費(事務用品・印刷用紙等)
・印刷製本費(保育所入所案内印刷等)
・その他の手数料(保育料口座振替手数料等)

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

美々津児童遊園補修工事	381,425

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	03 母子寡婦福祉事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	2,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,000,000	2,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,000,000	0
主な財源	母子世帯生活つなぎ資金貸付金収入				

事業内容

日向市母子寡婦福祉連絡協議会と連携し、母子寡婦世帯の生活の安定と向上を図った。
○母子世帯つなぎ資金貸付金
母子寡婦世帯の自立を図るため、母子寡婦福祉連絡協議会に貸付金として支出し、母子寡婦世帯つなぎ資金として会員に貸し付けを行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	09 ひとり親家庭等日常生活支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	11,000			
1203	事業委託料	131,644			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
249,000	142,644	0	106,356

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	107,000	0	0	35,644
主な財源	ひとり親家庭等日常生活支援事業補助金				

事業内容

病気等の理由で一時的に日常生活に支障が生じたひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、生活援助や子育て支援を行った。
○事業委託料
・家庭生活支援員報酬
・消耗品費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市ひとり親家庭等日常生活支援事業委託料　131,644

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	02 母子福祉費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	06 ひとり親家庭への支援		
事業 小事業	10 母子生活支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	2,898,135			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,930,000	2,898,135	0	31,865

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,422,000	711,000	0	54,000	711,135
主な財源	母子生活支援施設運営費負担金（国・県）、母子生活支援施設利用者負担金				

事業内容	児童福祉法第23条に基づき、母子家庭での児童の養育が十分にできない場合、母子生活支援施設に入所させて保護し、自立促進のための生活支援を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	01 妊娠・出産環境の充実		
事業 小事業	03 特定不妊治療費助成事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1952	衛生扶助費（市単独）	1,464,552			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,250,000	1,464,552	0	785,448

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,400,000	64,552
主な財源	うるおい福祉基金繰入金				

事業内容	宮崎県又は宮崎市の「不妊に悩む方への特定治療支援事業」受給者（体外受精又は顕微授精による特定不妊治療を受ける夫婦）に対し、不妊治療費助成金を給付することにより、経済的負担の軽減を図り、市民が安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを行った。 ・延べ34回（実22組）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実
小事業	03 未熟児養育医療給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	2,000			
1103	手数料	1,338			
1920	児童福祉扶助費（国直接・間接補助）	3,632,557			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,205,000	3,635,895	0	569,105

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,500,000	750,000	0	632,000	753,895
主な財源	未熟児養育医療国庫負担金、宮崎県養育医療給付事業負担金、未熟児養育医療費負担金				

事業内容

未熟児は、身体機能が未熟であり疾病にかかりやすく、その死亡率は極めて高いばかりか、心身の障がいを残すことも多い。出生後速やかに適切な処置を講じることが必要であり、これら未熟児に対して必要な医療の給付を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	03 子育て支援制度の充実
小事業	16 施設型給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1203	事業委託料	2,729,298,082			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,732,000,000	2,729,298,082	0	2,701,918

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,312,106,000	635,980,000	0	86,554,000	694,658,082
主な財源	施設型給付負担金法人立（国・県）、施設型給付負担金法人立1号認定分（国・県）、施設型給付費地方単独費用補助金、施設型給付費保護者負担金法人立現年度分、施設型給付費保護者負担金督促手数料				

事業内容

○法人立保育園（14園）に運営委託
○認定こども園（10園）、幼稚園（1園）へ施設型給付
○令和2年度実績
・入所児童数　2，445名（令和3年3月31日現在。公立保育所及び幼稚園を含む）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
施設型給付費　2,729,298,082

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	24 幼児教育無償化実施円滑化事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,456,656			
0301	職員手当	491,471			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	247,045			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	62,000			
1006	印刷製本費	27,000			
1007	光熱水費	24,000			
1101	通信運搬費	162,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,584,000	2,494,172	0	89,828

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,494,000	0	0	172
主な財源	幼児教育無償化実施円滑化事業補助金				

事業内容	令和元年10月1日実施の幼児教育・保育の無償化について、円滑な制度導入並びに事務の軽減及び効率化を図るために必要な事務費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	25 子育てのための施設等利用給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890016	子育てのための施設等利用給付金	24,659,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,280,000	24,659,400	0	2,620,600

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	12,329,000	6,164,000	0	0	6,166,400
主な財源	施設等利用給付交付金（国・県）				

事業内容	幼児教育・保育の無償化に伴い創設された「子育てのための施設等利用給付」により、対象児童に施設等利用費を支給した。 ○主な対象施設等 預かり保育事業（幼稚園及び認定こども園の在園時の預かり保育） 認可外保育施設
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	03 幼児教育奨励費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	01 幼児教育の充実
小事業	02 学校評議員（幼稚園）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	12,000			
0801	費用弁償	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,000	12,000	0	2,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12,000
主な財源					

事業内容

幼稚園の自主性・自立性を確立し、より一層地域や社会に開かれた幼稚園づくりを推進するため、学校評議員制度を導入した。
○評議員数　寺迫幼稚園2名
○開催回数　年2回程度

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	04 幼稚園費
目	01 幼稚園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	01「幼稚園」施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	410,958	1107	自動車損害保険料	24,710
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0	1301	使用料及び賃借料	6,204
0801	費用弁償	16,562	1701	庁用器具費（一般的事務用）	29,700
0802	普通旅費	55,257	1809018	公立幼稚園長会負担金	16,400
1001	消耗品費	111,130	1825002	研修会負担金	0
1003	消耗品費被服	25,592	1922	児童福祉扶助費（市単独）	94,176
1004	燃料費	4,000			
1006	印刷製本費	5,000			
1007	光熱水費	300,389			
1008	修繕料	0			
1011	医薬材料費	6,906			
1101	通信運搬費	49,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,577,000	1,155,984	0	421,016

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	72,000	1,083,984
主な財源	預かり保育料、幼稚園入園手数料				

事業内容

市立幼稚園の適正な運営・管理を行った。
○園数　1園
○教育時間：月曜日から金曜日まで（午前8時30分から午後3時30分まで）
※預かり保育あり（午前7時45分～午前8時30分、午後3時30分～午後4時50分）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	06 保育事業（上町保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,784,223	1011	医薬材料費	87,869
0301	職員手当	1,362,532	1101	通信運搬費	4,950
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	936,846	1103	手数料	303,573
0701	講師謝金	0	1108	その他の保険料	10,900
0714	その他の役務提供等に対する報償金	100,000	1301	使用料及び賃借料	600
0716	記念品料	35,648	1701	庁用器具費（一般的事務用）	199,601
0801	費用弁償	261,939	1825002	研修会負担金	3,000
0802	普通旅費	16,872			
1001	消耗品費	649,974			
1003	消耗品費被服	49,721			
1004	燃料費	340,070			
1009	賄材料費	4,969,391			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,906,100	22,117,709	0	2,788,391

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	6,034,000	16,083,709
主な財源	施設型給付費保護者負担金公立現年度分、一時預かり事業負担金(公立)、延長保育負担金(公立)、公立保育所給食費負担金、公立保育所副食費負担金				

事業内容

・保育全般（入所児童の保育）
　延長保育（午前7：00～7：30、午後6：30～7：00）
　一時預かり保育
・地域活動、地域行事への参加

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	05 上町保育所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,000			
1007	光熱水費	1,231,683			
1008	修繕料	196,680			
1101	通信運搬費	69,493			
1103	手数料	202,534			
1106	火災保険料	10,266			
1201	施設維持管理委託料	195,800			
1402	維持補修工事	614,900			
1501	原材料費	29,955			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,683,434	2,575,311	0	108,123

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	400,000	2,175,311
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容

・施設設備の維持管理
・入所児の安全管理（防災設備）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	30,800
消防・防災施設保守点検業務	33,000
警備業務	79,200
グリストラップ清掃業務	19,800
白蟻駆除業務	33,000

○工事請負費

空調室外機コンプレッサー交換修繕工事	93,500
給食室コンセント増設工事	38,500
給食室床張替工事	482,900

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	03 民生一般事務費
小事業	04 上町保育所一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	56,980			
1004	燃料費	24,000			
1107	自動車損害保険料	25,466			
1108	その他の保険料	8,022			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	4,000			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	21,535			
1825013	保育事業費負担金	35,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200,466	175,003	0	25,463

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	15,000	160,003
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業内容	・保育所運営に関する保険、及び研修負担金
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	07 保育事業（細島保育所）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	12,400,040	1011	医薬材料費	77,470
0301	職員手当	1,415,168	1103	手数料	302,423
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	693,785	1108	その他の保険料	16,300
0701	講師謝金	0	1301	使用料及び賃借料	14,080
0714	その他の役務提供等に対する報償金	65,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	47,107
0716	記念品料	13,900	1825002	研修会負担金	11,000
0801	費用弁償	419,909			
0802	普通旅費	31,601			
1001	消耗品費	644,304			
1003	消耗品費被服	48,003			
1004	燃料費	314,700			
1009	賄材料費	4,903,594			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,240,600	21,418,384	0	2,822,216

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,817,000	15,601,384
主な財源	施設型給付費保護者負担金公立現年度分、一時預かり事業負担金(公立)、延長保育負担金(公立)、公立保育所給食費負担金、公立保育所副食費負担金				

事業内容	・保育全般（入所児童の保育） 延長保育（午前7：00～7：30、午後6：30～7：00） 一時預かり保育 ・地域活動（お散歩見守り隊、親子サークル、異年齢交流）、地域行事への参加
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	06 細島保育所施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	19,615			
1007	光熱水費	1,185,318			
1008	修繕料	183,414			
1101	通信運搬費	77,998			
1103	手数料	172,532			
1106	火災保険料	4,134			
1201	施設維持管理委託料	159,500			
1402	維持補修工事	609,400			
1501	原材料費	24,717			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	65,780			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,597,400	2,502,408	0	94,992

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	300,000	2,202,408
主な財源	ふるさと日向市応援寄附金基金繰入金				

事業内容

・施設設備の維持管理
・入所児の安全管理（防災設備、災害備蓄）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

廃棄物・資源物収集運搬業務	30,800
消防・防災施設保守点検業務	33,000
警備業務	79,200
グリストラップ清掃業務	16,500

〇工事請負費

二階トイレ改修工事	323,400
電灯幹線張替工事	286,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	03 民生一般事務費		
事業 小事業	05 細島保育所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	54,871			
1001	消耗品費	56,916			
1107	自動車損害保険料	15,786			
1108	その他の保険料	8,021			
1809001	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	4,000			
1809010	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金	19,710			
1825013	保育事業費負担金	35,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
211,000	194,304	0	16,696

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,000	180,304
主な財源	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金				

事業内容

・保育所運営に関する保険、及び研修負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0002 介護給付係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実
中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営
小事業	04 地域介護福祉空間整備交付金事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853065	地域介護・福祉空間整備等事業費補助金	1,737,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,737,000	1,737,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,737,000	0	0	0	0
主な財源	地域介護福祉空間整備交付金				

事業内容	高齢者施設の安全・安心を確保するために、国庫補助事業（地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金）を活用し、認知症高齢者グループホーム1か所において、転倒防止や衛生を目的に、台所や浴室の改修をした。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0002 介護給付係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	10 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	898,954,358			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
938,204,000	898,954,358	0	39,249,642

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	51,326,000	25,894,000	0	0	821,734,358
主な財源	低所得者保険料軽減負担金(現年度分)（国・県）、低所得者保険料軽減負担金(過年度分)				

事業内容	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）へ、市負担分の繰出を行った。 ○介護給付費繰出金（給付費の12．5%） ○介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金 （事業費の12．5%） ○介護予防・日常生活支援総合事業費以外の繰出金（事業費の19．25%） ○職員給与費繰出金 ○事務費繰出金 ○低所得者保険料軽減負担金（軽減額の25%）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実		
事業 中事業	01 高齢者の社会参加と生きがいづくり		
事業 小事業	01 敬老事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0715	報奨金	5,500,000			
1001	消耗品費	38,475			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,546,000	5,538,475	0	7,525

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,538,475
主な財源					

事業内容

日向市長寿祝金条例に基づき、市内最高齢者、年度内に100歳に到達した方、並びに基準日（9月1日現在）に88歳に到達した方に対し、長寿祝金を支給した。
〇市内最高齢者(5万円)　1人
〇100歳到達者(5万円)　27人
〇88歳到達者(1万円)　410人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実		
事業 中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実		
事業 小事業	04 養護老人ホームへの措置に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0709	各種審議会委員(規程・要綱等)報償金 厚生	50,000			
1103	手数料	13,425			
1912	高齢者福祉扶助費(市単独)	230,258,330			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
231,119,000	230,321,755	0	797,245

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	40,857,000	189,464,755
主な財源	養護老人ホーム入所者負担金、諸手数料、高額介護サービス返還金				

事業内容

常時介護の必要はないが、身体的・精神的な理由をはじめ、居住環境、経済的な理由や家庭環境などにより、自宅での生活が困難と判断される、おおむね65歳以上の高齢者を入所措置し、養護した。
〇入所措置者対象者数（令和3年1月1日現在）
ひまわり寮49人、鈴峰園34人、市外施設25人

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実		
事業 中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営		
事業 小事業	05 地域密着型サービス等整備助成事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853055	地域密着型サービス等整備助成事業補助金	33,600,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,600,000	33,600,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	33,600,000	0	0	0
主な財源	地域密着型サービス等整備助成事業補助金				

事業内容	住民にとって身近な日常生活圏域を単位として整備する施設等について、県から交付された補助金を財源として、民間事業者に対し補助を行った。 ○看護小規模多機能型居宅介護　1事業所整備
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実		
事業 中事業	03 介護サービスの充実と持続可能な制度運営		
事業 小事業	06 介護施設等の施設開設準備経費等支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853056	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金	7,551,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,551,000	7,551,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	7,551,000	0	0	0
主な財源	介護施設開設準備経費等支援事業補助金				

事業内容	介護施設等が開設時から安定した質の高いサービスを提供できる体制の整備（施設開設準備）を図るため、県から交付された補助金を財源として、民間事業者に対し補助を行った。 ○看護小規模多機能型居宅介護　1事業所整備
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	07 老人福祉センター（春原）管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	99,000			
1103	手数料	82,974			
1106	火災保険料	4,176			
1207	指定管理者委託料	6,369,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,639,000	6,555,150	0	83,850

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,555,150
主な財源					

事業内容

老人福祉センターを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：社会福祉法人日向市社会福祉協議会）により実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	08 美々津老人福祉センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	65,450			
1106	火災保険料	7,931			
1207	指定管理者委託料	2,409,990			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,518,000	2,483,371	0	34,629

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	16,000	2,467,371
主な財源	美々津老人福祉センター使用料				

事業内容

美々津老人福祉センターを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：石並公民館）により実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	09 平岩ふれあい館管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	82,583			
1103	手数料	27,500			
1106	火災保険料	28,344			
1207	指定管理者委託料	6,101,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,261,000	6,239,427	0	21,573

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	82,583	6,156,844
主な財源	建物損害共済金				

事業内容	平岩ふれあい館を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域の高齢者に対する健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供した。管理については、指定管理委託（指定管理者：社会福祉法人立縫会）により実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	10 ひまわり寮施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	13,431			
1207	指定管理者委託料	7,639,000			
1301	使用料及び賃借料	6,930			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,824,000	7,659,361	0	164,639

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,659,361
主な財源					

事業内容	養護老人ホームひまわり寮の管理運営を民間事業者（指定管理者：社会福祉法人清風会）に委託することにより、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	03 民生施設管理運営費		
事業 小事業	11 鈴峰園管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1103	手数料	124,300			
1106	火災保険料	17,178			
1201	施設維持管理委託料	99,000			
1207	指定管理者委託料	3,769,000			
1301	使用料及び賃借料	6,930			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,025,000	4,016,408	0	8,592

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,016,408
主な財源					

事業内容：養護老人ホーム鈴峰園の管理運営を民間事業者（指定管理者：社会福祉法人南郷会）に委託することにより、入所者に対し、老人福祉法等に基づく適切な支援を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	03 民生一般事務費		
事業 小事業	06 高齢者福祉一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	209,471			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	242,527			
0801	費用弁償	24,000			
0802	普通旅費	13,000			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	124,659			
1101	通信運搬費	170,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1810007	日向市社会福祉施設等連絡会負担金	5,000			
1825002	研修会負担金	2,000			
2201	償還金	4,293,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,904,000	6,571,033	0	332,967

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,160,000	3,411,033
主な財源	地域介護福祉空間整備交付金返還金				

事業内容：高齢者支援に資する事業に要した一般事務経費
○会計年度任用職員に係る賃金及び保険料　○会議出席及び研修に伴う旅費・参加負担金
○消耗品費　○電話料
○国補助金等精算返還金（平成29年度地域介護・福祉空間整備等事業費補助金）
○県補助金等精算返還金（令和元年度介護保険利用者負担軽減対策事業費補助金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	11 国民健康保険病院事業(訪問看護事業)への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810022	病院事業会計負担金(訪問看護事業)	7,807,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,807,000	7,807,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,807,000
主な財源					

事業内容	東郷病院で実施した訪問看護事業の事業費のうち、利用者からの利用料等で充当できなかった分について一般会計から病院会計へ繰出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	04 衛生施設管理運営費
小事業	06 初期救急診療所管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	20,000			
1106	火災保険料	18,916			
1201	施設維持管理委託料	584,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
646,000	623,016	0	22,984

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	144,000	479,016
主な財源	宮崎県医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業費補助金				

事業内容	日向市初期救急診療所を円滑に運営するために必要な施設の維持管理を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 清掃業務　288,200 機械警備業務　92,400 空調機器保守点検業務　188,100 消防用設備保守点検業務　15,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	04 衛生一般事務費		
事業 小事業	02 いきいき健康課一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	854,084	1825009	保健事業費負担金	6,698,000
0301	職員手当	206,199	2201	償還金	405,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	173,819			
0716	記念品料	15,000			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	7,800			
1001	消耗品費	188,357			
1005	食糧費	4,500			
1101	通信運搬費	43,000			
1108	その他の保険料	135,000			
1805037	宮崎県市町村保健活動連絡協議会負担金	42,600			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,980,000	8,773,359	0	1,206,641

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	8,773,359
主な財源					

事業内容

いきいき健康課の業務執行に係る一般的な事務経費
○普通旅費
○消耗品費
○電信電話料
○その他の保険料（検診受診者傷害保険料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○保健事業費負担金
国保保健指導事業　399,000
保健福祉総合施設管理費　6,299,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	01 健康づくりの普及・啓発		
事業 小事業	03「健康ひゅうが21計画」推進会議の運営に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	10,000			
0702	出会謝金	55,000			
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	12,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
165,000	77,000	0	88,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	77,000
主な財源					

事業内容

「健康ひゅうが21計画（第2次）」を推進するため、関係機関・団体との連携を図りながら、健康増進事業を展開した。
○「健康ひゅうが21計画」推進会議の開催

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	01 商工総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	07 商工一般事務費
小事業	04 商工業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1813010	宮崎県工業会賛助会会費負担金	100,000
1001	消耗品費	245,557	1813012	金曜会負担金	24,000
1005	食糧費	8,640			
1007	光熱水費	56,000			
1101	通信運搬費	160,000			
1301	使用料及び賃借料	66,380			
1805029	宮崎県産業振興機構負担金	44,000			
1805040	宮崎県中小企業団体中央会負担金	37,000			
1805043	宮崎県物産貿易振興センター負担金	20,000			
1805080	日本貿易振興機構宮崎貿易情報センター負担金	262,000			
1806013	日向地区職業訓練会負担金	259,600			
1813006	宮崎県発明協会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,426,000	1,298,177	0	127,823

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,298,177
主な財源					

事業内容	商工業振興に係る一般事務費と関係団体等への負担金を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	01 日向地区ひとものづくりセンター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1106	火災保険料	32,466			
1203	事業委託料	4,994,000			
1301	使用料及び賃借料	609,120			
1402	維持補修工事	440,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,193,000	6,165,586	0	27,414

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	616,000	5,549,586
主な財源	日向ひとものづくりセンター施設貸付収入				

事業内容	人材育成、技術・技能の向上に係る講座や資格取得研修等を行う「日向ひとものづくりセンター」や起業・創業のための支援施設「日向インキュベーション施設」の管理運営を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 日向ひとものづくりセンター管理運営業務委託　4,378,000 日向インキュベーション施設管理運営業務委託　616,000 ○維持補修工事 日向ひとものづくりセンター講師控室空調設備工事　440,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	02 企業誘致関連施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	1,853,338			
1008	修繕料	550,550			
1106	火災保険料	20,953			
1201	施設維持管理委託料	2,306,040			
1402	維持補修工事	9,863,700			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	42,350			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,476,000	14,636,931	0	839,069

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,059,000	2,577,931
主な財源	日向市ITセンター貸付収入、電気使用料				

事業内容

市の企業誘致関連施設である日向市ITセンター及び旧幸脇小学校の維持管理に係る経費を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

日向市ITセンター清掃植栽管理業務委託	1,303,500
日向市ITセンター自家用電気工作物保安業務委託	440,000
日向市ITセンターエレベーター保守点検業務委託	303,600
日向市ITセンター機械警備業務委託	118,800
日向市ITセンター消防用設備保守点検業務委託	71,500
日向市ITセンター自動ドア保守点検業務委託	55,440
日向市ITセンター廃棄物等収集運搬業務委託	13,200

○維持補修工事

日向市ITセンター　エレベーター改修工事	9,863,700

○庁用器具費（一般的事務用）

ABC粉末消火器10型	42,350

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課　0003 港湾・企業立地係
款	08 土木費	項	04 港湾費
目	01 港湾費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	08 土木一般事務費		
事業 小事業	01 港湾一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	29,200			
1001	消耗品費	12,248			
1005	食糧費	0			
1806065	宮崎県北部地区（海の日）協賛会負担金	0			
1813002	海上保安協会細島支部負担金	65,000			
1813003	日本関税協会負担金	48,000			
1813004	九州運輸振興センター負担金	30,000			
1814012	港湾都市協議会負担金	13,000			
1814014	細島港振興協会負担金	12,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
532,000	209,448	0	322,552

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,000	205,448
主な財源	ブルーカーボンクレジット収入				

事業内容

港湾振興に係る一般事務費と港湾関係団体への負担金を支出した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	07 商工一般事務費
小事業	03 観光振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	106,014			
1003	消耗品費被服	20,130			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	100,000			
1103	手数料	0			
1805048	宮崎県観光協会負担金	358,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
806,000	584,144	0	221,856

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	584,144
主な財源					

事業内容	観光振興に係る一般事務費と観光関連団体への負担金を支出した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 アピール力の高い「観光拠点づくり」
小事業	13 地域・観光情報拠点施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,844			
1007	光熱水費	2,871,931			
1101	通信運搬費	42,000			
1103	手数料	51,000			
1106	火災保険料	71,991			
1201	施設維持管理委託料	4,249,788			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,143,000	7,291,554	0	851,446

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,291,554
主な財源					

事業内容

中心市街地の観光拠点であり、「地域情報センター」としての機能を持つ「まちの駅とみたか」の施設管理及び本市が誇る観光名所・馬ヶ背を核とした日向岬一体のイメージを強くアピールするため、観光情報発信拠点としての「馬ヶ背観光案内所」の適正な管理運営を行った。
○管理施設　まちの駅「とみたか」　馬ヶ背観光案内所 ○業務形態　施設管理業務委託
○業務内容 ①地域情報等の収集、提供　②施設の維持管理等
○委託料 トイレ清掃管理・ごみ収集・浄化槽管理・植栽管理等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

まちの駅「とみたか」・馬ヶ背茶屋管理業務	2,964,000
伊勢ヶ浜門前まちトイレ清掃業務	250,000
市内観光地ごみ収集等業務	184,000
観光トイレ浄化槽清掃・保守点検及び貯水槽清掃業務	327,600
観光施設樹木除草等管理業務	393,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	04 日向サンパーク体育施設等管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	71,305			
1106	火災保険料	82,779			
1207	指定管理者委託料	6,661,000			
1301	使用料及び賃借料	165,252			
2103	賠償金	191,630			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,174,000	7,171,966	0	2,034

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	262,000	6,909,966
主な財源	サンパーク体育施設自動販売機電気使用料、損害賠償保険金				

事業内容

市民及び施設利用者の健康増進を図るため、体育施設等の適正管理を行い、安全で安心な運動環境を提供した。また、余暇施設として建設されたキャンプ場の目的を果たし、施設利用者に満足していただく管理を行った。
○管理施設　テニスコート・ブーゲンビリアの丘（遊具）・グラウンドゴルフ場・コテージ・キャンプサイト等
○管理形態　指定管理者制度（株）日向サンパーク温泉（平成31年4月1日～令和6年3月31日）
○業務内容　①施設利用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	05 日向サンパーク温泉管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,200			
1007	光熱水費	388,252			
1008	修繕料	586,685			
1103	手数料	269,500			
1106	火災保険料	68,653			
1206	その他の委託料	792,000			
1207	指定管理者委託料	12,614,500			
1402	維持補修工事	220,167			
1702	機械器具費（事業執行用）	0			
1837019	(株)日向サンパーク温泉運営補助金	66,065,000			
2001	貸付金	83,549,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
164,998,000	164,558,957	0	439,043

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	25,068,000	139,490,957
主な財源	自動車損害共済金、観光施設貸付金収入				

事業内容

これまでの赤字経営に加えコロナの影響等もあり、令和2年9月末をもって温泉館を休館。（株）日向サンパーク温泉の経営安定化及び市の指定管理者等として管理する関連施設の円滑かつ持続的な運営を目的に補助金を交付するとともに長期貸付を行った。
○管理施設　温泉館外　○管理形態　指定管理者制度　（株）日向サンパーク温泉（平成31年4月1日～令和2年9月30日）
○主な予算　①手数料（ボイラーばい煙測定等）②委託料（サンパーク温泉管理委託料）③工事請負費（維持補修工事）
④貸付金（温泉館運転資金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向サンパーク温泉源泉設備巡回点検業務	198,000
日向サンパーク温泉電気設備保安業務	99,000
日向サンパーク温泉館不動産鑑定業務	495,000

○工事請負費

日向サンパーク温泉受水槽付近給水管漏水緊急工事	220,167

○貸付金

短期貸付金	25,000,000
長期貸付金	58,549,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	06 道の駅「日向」管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	114,635			
1106	火災保険料	50,239			
1201	施設維持管理委託料	3,482,404			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,802,000	3,717,278	0	84,722

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	163,000	3,554,278
主な財源	電気自動車急速充電器使用料、道の駅「日向」自動販売機電気使用料				

事業内容

国道10号に面した広域観光の拠点であり、適正な管理のもと道の駅としての目的を果たすとともに、観光情報の発信はもとより、地場産品の販売を促進し地域の活性化を図った。
○管理施設　物産館・トイレ・駐車場外
○管理形態　施設管理業務委託　受注者　（株）日向サンパーク温泉
○主な予算　①委託料（道の駅「日向」施設管理業務委託）　②負担金（「道の駅」連絡会会費）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

道の駅「日向」管理業務	3,425,600
道の駅「日向」急速充電器メンテナンス業務	56,804

○負担金

九州・沖縄「道の駅」連絡会会費	50,000
全国「道の駅」連絡会会費	20,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	09 石並川キャンプ場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	17,316			
1207	指定管理者委託料	2,941,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,959,000	2,958,316	0	684

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	33,000	2,925,316
主な財源	石並駐車場トイレ自動販売機電気使用料				

事業内容

石並川と山々の恵まれた自然環境を生かし、キャンプやレクリエーション活動を通じて癒しの空間を提供するため、適正な施設の管理と運営を行った。
○管理施設　管理棟・炊飯棟・サニタリー・キャンプサイト（40区画）
○管理形態　指定管理者制度　（株）文化コーポレーション（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
○業務内容　①施設利用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	10 日向岬グリーンパーク管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	19,600			
1106	火災保険料	5,417			
1207	指定管理者委託料	10,149,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,175,000	10,174,017	0	983

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	97,000	10,077,017
主な財源	グリーンパーク使用料、グリーンパーク電気使用料				

事業内容

レクリエーションや文化活動など、多目的に利用できる当該施設において、市民が集える環境を提供できるよう適正な施設管理を行った。
○管理施設　芝生広場・野外ホール・管理棟・駐車場（2箇所）
○管理形態　指定管理者制度　宮崎県造園協会（令和2年4月1日～令和7年3月31日）
○業務内容　①施設使用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	11 海水浴場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	1,829,200			
1001	消耗品費	102,260			
1004	燃料費	321,630			
1007	光熱水費	1,683,735			
1103	手数料	134,108			
1106	火災保険料	67,732			
1108	その他の保険料	15,390			
1201	施設維持管理委託料	6,075,330			
1301	使用料及び賃借料	43,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,619,000	10,272,585	0	346,415

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	3,877,000	6,395,585
主な財源	伊勢ヶ浜ビーチハウスシャワー等使用料、お倉ヶ浜ビーチハウスコインシャワー等使用、金ヶ浜ビーチコインシャワー等使用料、伊勢ヶ浜自動販売機電気使用料、お倉ヶ浜ビーチハウス電気使用料				

事業内容

伊勢ヶ浜・お倉ヶ浜・金ヶ浜・御鉾ヶ浦の4海水浴場において、夏季の利用促進のほか、サーファーの誘客を図るため、安全な海水浴場と関連施設の適正管理及び美化等の景観保全を行った。
○報償金　海水浴場監視員（開設期間）　○光熱水費　ビーチハウス温水シャワーに係るプロパンガス等
○手数料　水質検査・浄化槽法定検査等　○委託料　ビーチハウス管理業務（3施設）、海水浴場ごみ収集等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

お倉ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,877,000
伊勢ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,815,000
金ヶ浜ビーチハウス管理業務	1,373,000
市内観光地ごみ収集等業務	281,000
観光トイレ浄化槽清掃・保守点検及び貯水槽清掃業務	686,100

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	14 道の駅「とうごう」管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,765,817			
1103	手数料	23,000			
1106	火災保険料	52,030			
1201	施設維持管理委託料	2,411,971			
1401	建設工事費	3,855,500			
1813017	工事負担金	963,830			
1813019	九州・沖縄「道の駅」連絡会負担金	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,079,000	9,142,148	0	936,852

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,801,000	3,341,148
主な財源	道の駅「とうごう」電力量料金収入、移設補償金				

事業内容

入郷の玄関口で西の広域観光の拠点である当該施設の適正な施設管理を行い、道の駅としての目的を果たすとともに、観光情報発信はもとより、旧東郷町域の地域発展の中核的な位置付けの確立を行った。
○管理施設　物産施設（事務所）、トイレ　○管理形態　施設管理業務委託
○主な予算　①委託料（施設管理・植栽管理・消防、電気保安・警備委託等）　②工事請負費（高圧引込設備等移設）　③工事費負担金（九電・NTT）　④負担金（「道の駅」連絡会会費）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料	
道の駅「とうごう」管理業務	1,426,000
道の駅「とうごう」電気保安管理業務	177,099
道の駅「とうごう」芝生等管理業務	88,000
道の駅「とうごう」樹木等管理業務	493,900
市内観光施設機械警備業務	163,172
○工事請負費	
道の駅とうごう高圧引込設備外移設工事	3,190,000
道の駅とうごう植栽枡等撤去補修工事	544,500
道の駅とうごうボラード（車止め）設置等補修工事	121,000
○工事負担金	
道の駅とうごうVCT外移設工事負担金（九電）	142,930
支障電気通信線路移転工事負担金（NTT）	820,900
○負担金	
九州・沖縄「道の駅」連絡会会費	50,000
全国「道の駅」連絡会会費	20,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課　0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	07 商工施設管理運営費		
事業 小事業	15 牧水公園管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	3,100			
1106	火災保険料	176,159			
1206	その他の委託料	598,400			
1207	指定管理者委託料	23,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,811,000	23,777,659	0	33,341

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	208,000	23,569,659
主な財源	牧水公園自動販売機電気使用料				

事業内容

市民及び施設利用者の多目的運動施設として適正な施設管理を行い、総合施設としての有効な活用を図った。
○管理施設　ふるさとの家、コテージ（10棟）、キャンプ場、グラウンド、テニスコート（5面）
○管理形態　指定管理者制度　（株）東郷町ふるさと公社（令和2年4月1日～令和5年3月31日）
○業務内容　①施設使用に関する許可　②施設の維持管理　③施設利用促進の企画・実施

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料	
牧水公園河川プール遊泳管理業務	598,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	03 農村公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	239,970			
1008	修繕料	151,250			
1103	手数料	15,400			
1106	火災保険料	5,937			
1201	施設維持管理委託料	622,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,098,250	1,035,157	0	63,093

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,035,157
主な財源					

事業内容

市が設置している農村公園（曙農村公園、籾木農村公園、飯谷農村公園、平岩農村公園、落鹿農村広場、迫野内農村公園、小野田農林公園）の維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

農村公園管理業務委託料 曙農村公園、平岩農村公園、籾木農村公園、飯谷農村公園、落鹿農村広場 迫野内農村公園、小野田農林公園	358,600
農村公園浄化槽保守点検及び清掃業務委託料	210,100
平岩農村公園貯水槽清掃業務委託料	53,900

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	01 農業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	11,700	1805034	宮崎県バイオテクノロジー種苗増殖センター負担金	55,100
1001	消耗品費	46,481	1806036	東臼杵南部地区農山漁村女性会議負担金	24,600
1003	消耗品費被服	23,870	1806059	宮崎県立門川高等学校農業後継者育成協議会負担金	18,300
1005	食糧費	2,638	1812036	宮崎県地域振興対策協議会山村振興部会負担金	65,000
1007	光熱水費	19,800	2201	償還金	668,782
1008	修繕料	53,680	2601	国に対する公課費	8,800
1101	通信運搬費	190,000			
1103	手数料	20,806			
1106	火災保険料	25,842			
1107	自動車損害保険料	44,996			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805011	宮崎ブラジル親善協会負担金	20,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,688,192	1,301,295	0	386,897

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,301,295
主な財源					

事業内容

農業振興に係る一般事務費と関係団体への負担金を支出した。
○農業振興事務費
○公用車管理費
○各種負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	01 担い手の育成・確保
小事業	04 人・農地問題解決加速化支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1001	消耗品費	20,000			
1004	燃料費	10,000			
1101	通信運搬費	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,000	60,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	60,000	0	0	0
主な財源	人・農地問題解決加速化支援事業費補助金				

事業内容	集落や地域が抱える人と農地の問題解決のため、集落や地域における話し合いにより、将来の集落や地域農業のあり方等を定めた「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」について、新たに3プランの作成を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	01 農地中間管理事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,399,116			
0301	職員手当	529,528			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	233,926			
0801	費用弁償	24,000			
1001	消耗品費	205,000			
1101	通信運搬費	215,000			
1301	使用料及び賃借料	217,800			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	11,583			
1856139	農地集積協力金交付事業補助金	1,353,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,424,000	4,189,853	0	234,147

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	4,189,853	0	0	0
主な財源	農地中間管理機構支援事業補助金、農地中間管理事業委託金				

事業内容	市・農業委員会・JA・県で構成する推進チームにより、農地の貸し借りについての相談や地区別説明会などを開催し、担い手への農地集積を推進するとともに、地域内の一定割合以上の農地を農地中間管理機構に貸し付けた地域及び個人に対し支援を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	08 農産物価格安定対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865005	みやざき特産野菜価格安定対策事業補助金	143,979			
1865021	野菜構造改革価格安定強化事業補助金	178,157			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
785,023	322,136	0	462,887

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	322,136
主な財源					

事業内容：指定野菜（きゅうり、ミニトマト）及び地域特産野菜（なす、にがうり）の系統出荷分について　基準価格割れを生じた際に宮崎県青果物価格安定資金協会（出資者：県、農協、経済連、生産者、市町村）が価格補てんを行う経費の一部を補助した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	09 各種資金利子補給事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865006	サンシャイン21農業推進資金利子補給補助金	2,042			
1865013	農業経営基盤強化資金利子補給補助金	593,202			
1865032	農業近代化資金利子補給補助金	113,502			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
711,000	708,746	0	2,254

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	297,000	0	0	411,746
主な財源	農業経営基盤強化資金利子補給補助金				

事業内容：認定農業者が経営改善計画に基づき規模拡大等を図るために借り入れた農業制度資金に対し、県・市により利子補給を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	10 経営所得安定対策等推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856143	経営所得安定対策等推進事業費補助金	5,389,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,389,000	5,389,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	5,389,000	0	0	0
主な財源	経営所得安定対策等推進事業費補助金				

事業内容	経営所得安定対策事業を推進するため、日向入郷地区の1市2町2村で構成される日向地域農業再生協議会に、運営補助金を交付し、広域的な事業の推進を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	02 農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856069	農業用廃プラスチック適正処理推進対策事業補助金	30,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,000	30,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	30,000
主な財源					

事業内容	農業用廃プラスチックの適切処理を推進するため、「日向市農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会」に対し運営費を助成した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費
事業 小事業	03 農村交流館・塩見農村公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	124,960			
1103	手数料	55,000			
1106	火災保険料	16,281			
1207	指定管理者委託料	3,509,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,705,960	3,705,241	0	719

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,000	3,703,241
主な財源	農村交流館電話使用料				

事業内容

農村地域の交流の促進及び福祉の向上を目的に設置された日向市農村交流館及び塩見農村公園の維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市農村交流館・塩見農村公園指定管理委託料　3,509,000

指定管理者：塩見まちづくり協議会

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産業費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	04 畜産業の振興
事業 小事業	03 各種資金利子補給（畜産）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865029	日向市畜産緊急支援資金利子補給補助金	107,498			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
108,000	107,498	0	502

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	91,000	0	0	16,498
主な財源	畜産経営維持緊急支援資金融通事業補助金				

事業内容

○畜産経営維持緊急支援対策利子補給補助金

景気低迷による畜産物価格の低迷により経営が圧迫された畜産農家の経営安定資金に対する利子補給（対象戸数：6戸）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○日向市畜産緊急支援資金利子補給補助金

利子補給率（0．13%）　県11／13　市2／13　107,498

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	04 畜産業の振興
小事業	04 特定家畜伝染病防疫対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	4,646,950			
1004	燃料費	0			
1812056	消毒防疫経費負担金	207,988			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,000,000	4,854,938	0	145,062

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,854,938
主な財源					

事業内容

法定家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザが市内で発生したため、緊急対策として消毒液の配布等を行った。
○消毒液配布　農場防疫の強化のために消毒液を配布した。
○防護服配布　農場にウイルスを持ち込まないための防護服を配布した。
○ラミネート　　立入禁止等の防疫対策の掲示を行った。
○消毒防疫経費負担金　消毒ポイント設置経費の一部を負担した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	06 農林水産施設管理運営費
小事業	04 畜産センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	69,211			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	4,437			
1201	施設維持管理委託料	104,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
194,000	184,148	0	9,852

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	184,148
主な財源					

事業内容

畜産センターの管理運営に要する経費
○施設維持管理委託　浄化槽の清掃・点検委託料、品評会会場の草刈等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
浄化槽清掃・保守点検委託料　104,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	06 農林水産施設管理運営費		
事業 小事業	05 畜産資源リサイクルセンター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	266,750			
1106	火災保険料	72,413			
1207	指定管理者委託料	4,190,186			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,530,750	4,529,349	0	1,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,095,000	2,434,349
主な財源	畜産資源リサイクルセンター管理運営負担金				

事業内容

日向市畜産資源リサイクルセンターの管理運営に要する経費
○施設維持管理　修繕料・保険料
○指定管理者　（株）JAファームひゅうが（令和2年度～令和7年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0002 畜産振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	04 畜産業費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	02 畜産振興一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0	1812044	県北地域酪農技術推進協議会負担金	10,000
1001	消耗品費	42,316	1812051	全日本ホルスタイン共進会協賛金	0
1003	消耗品費被服	12,760			
1004	燃料費	8,775			
1008	修繕料	83,541			
1101	通信運搬費	45,000			
1107	自動車損害保険料	14,378			
1301	使用料及び賃借料	175,560			
1805035	宮崎県畜産振興協議会（畜産共進会）負担金	15,000			
1805052	より良き宮崎牛づくり対策協議会負担金	12,000			
1806020	東臼杵郡市肉用牛改良協議会負担金	211,200			
1806053	東臼杵郡市畜産技術員連絡協議会負担金	6,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
745,041	636,530	0	108,511

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	635,530
主な財源	優良雌牛貸付基金利子				

事業内容

畜産振興係一般事務費及び各種負担金
○事務経費
○公用車リース料
○負担金（各種協議会等に係る負担金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	13 農道管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	199,804			
1402	維持補修工事	4,995,741			
1501	原材料費	2,201,730			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,649,131	7,397,275	0	251,856

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,397,275
主な財源					

事業内容	農道の維持管理に係る工事を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○工事請負費 農道広瀬4号線　舗装工事　1,474,000 農道出来山線　舗装補修工事　2,839,741 農道谷川線　舗装補修工事　682,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	16 奥野河川プール管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,265			
1103	手数料	25,740			
1106	火災保険料	4,128			
1206	その他の委託料	539,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
609,000	572,133	0	36,867

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	572,133
主な財源					

事業内容	奥野河川プール管理運営に係る支出を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 奥野河川プール管理及び清掃・草刈業務委託　530,200 環境水質検査　8,800

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	03 農村整備一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	11,922	1812015	農道台帳管理負担金	103,000
1003	消耗品費被服	54,010	1812016	農村振興技術連盟負担金	18,000
1007	光熱水費	38,013	1856041	小規模農業施設等整備事業補助金	949,417
1101	通信運搬費	24,000	2103	賠償金	18,810
1103	手数料	2,500			
1201	施設維持管理委託料	1,446,940			
1205	システム開発等委託料	98,267			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	918,913			
1806038	沿海北部広域営農団地整備促進協議会負担金	13,300			
1812011	県土地改良連合会負担金	9,240			
1812012	県土地改良連合会特別負担金	412,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,272,864	4,118,332	0	154,532

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	22,000	4,096,332
主な財源	ふるさと農村活性化基金利子、損害賠償保険金				

事業内容

業務執行に係る事務経費及び負担金の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

富島幹線用水路管理業務委託	573,540
富島幹線用水路財光寺支線清掃業務委託	785,400

○負担金補助及び交付金

・小規模農業施設等整備事業補助金

寺迫地区	450,320
平岩地区	302,959
塩見地区	196138

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	08 用排水路整備事業費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備		
事業 小事業	14 用排水路施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	6,322			
1004	燃料費	22,927			
1007	光熱水費	56,924			
1008	修繕料	400,944			
1103	手数料	11,000			
1108	その他の保険料	48,336			
1201	施設維持管理委託料	660,000			
1301	使用料及び賃借料	327,570			
1402	維持補修工事	2,495,384			
1812028	中の原取水口電気料負担金	8,639,101			
2601	国に対する公課費	8,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,923,000	12,683,208	0	239,792

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	15,000	12,668,208
主な財源	用排水路整備事業分担金				

事業内容

農業用用排水施設の委託、工事及び維持管理に係る経費の支出を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

富島幹線用水路草刈業務委託	495,000
比良地区水路草刈業務委託	165,000

○工事請負費

下水流地区　用水ポンプ取水口堆積土砂撤去工事	259,600
上水流頭首工（奥野河川プール）堆積土砂撤去工事	616,000
塩見田代口地区　排水路整備工事	990,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費
目	01 農地・農業用施設災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	05 農地・農業用施設災害復旧事業（補助）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	4,020,040			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,710,000	4,020,040	0	1,689,960

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	2,512,000	100,000	0	1,408,040
主な財源	農地農業用施設災害復旧費負担金				

事業内容

異常気象により被災した農地・農業用施設の復旧を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

令和元年度　山陰己沖田地区　排水路災害復旧工事	1,384,100
令和元年度　坪谷仲崎地区　用水路災害復旧工事	2,635,940

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0003 農村整備係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費
目	01 農地・農業用施設災害復旧費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	02 災害に強いまちづくり
小事業	06 農地・農業用施設災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1202	工事施工を伴う委託料	1,958,000			
1206	その他の委託料	0			
1401	建設工事費	10,153,878			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,906,000	12,114,478	15,000,000	1,791,522

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	6,125,000	2,047,000	90,000	3,852,478
主な財源	農地農業用施設災害復旧費負担金、農地災害復旧事業分担金				

事業内容

異常気象により被災した農地・農業用施設の復旧を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

耕地災害復旧事業　災害測量設計業務委託（その1）	1,650,000
耕地災害復旧事業　増高申請図面作成業務委託（その1）	308,000

○工事請負費

塩見仙洞菴地区　倒木災害復旧工事	281,600
平岩スノセ地区　農地災害復旧工事	299,805
平岩石ノ田地区　農道災害復旧工事	342,056
大内川農業用パイプライン上部法面災害復旧工事	2,172,500
八重原後口迫地区　農道災害復旧工事（前払い金）	6,200,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	01 林業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	04 林業振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300	1805023	宮崎県治山林道協会負担金	191,000
1001	消耗品費	67,000	1812019	林業構造改善協議会負担金	5,000
1003	消耗品費被服	24,860	2602	その他の公課費	6,600
1004	燃料費	72,709			
1007	光熱水費	50,000			
1008	修繕料	51,425			
1101	通信運搬費	42,735			
1103	手数料	10,780			
1106	火災保険料	4,457			
1107	自動車損害保険料	93,759			
1205	システム開発等委託料	422,400			
1301	使用料及び賃借料	895,824			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,140,000	1,939,849	0	200,151

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	1,938,849
主な財源	督促手数料				

事業内容

○一般事務執行に関する経費
・旅費、消耗品費、光熱水費、通信運搬費等事務費及び公用車維持、管理、運用に関する経費
・治山・林道積算システムのリース及びシステム保守に関する経費
・宮崎県治山林道協会負担金他

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
治山・林道積算システム保守点検業務　422,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0002 林業土木係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	01 林業総務費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	01 生産基盤の整備
小事業	11 林道管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,790	2103	賠償金	19,030
1004	燃料費	45,300			
1007	光熱水費	20,000			
1008	修繕料	56,820			
1101	通信運搬費	80,000			
1107	自動車損害保険料	13,998			
1206	その他の委託料	1,218,840			
1301	使用料及び賃借料	171,600			
1402	維持補修工事	2,307,217			
1501	原材料費	261,448			
1702	機械器具費（事業執行用）	25,504			
1825002	研修会負担金	16,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,654,000	4,260,547	0	393,453

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,030	4,241,517
主な財源	自動車損害共済金				

事業内容

管理路線数35路線、管理延長124，861m（令和2年4月1日現在）の維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
林道除草作業業務委託　1,218,840

○工事請負費
大谷・山ノ口線維持補修工事　699,600
山ノ口・五郎太線側溝補修工事　411,400
山ノ口・五郎太線ガードレール設置工事　286,000
林道資材保管地整地工事　484,000
山ノ口・五郎太線舗装補修工事　352,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0002 林業土木係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費
事業 大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
事業 中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
事業 小事業	01 九州自然歩道管理事業（東郷地区）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	399,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
453,000	399,300	0	53,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	399,300	0	0	0
主な財源	九州自然歩道管理委託金				

事業内容

○施設維持管理委託料
　九州自然歩道受託管理事業
　・委託者　宮崎県
　・維持管理区間の延長　L＝9．6km（都農町境界～美郷町境界）
　・業務内容　草刈、清掃、軽微な補修、巡視等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　九州自然歩道維持管理業務委託　399,300

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0002 林業土木係
款	11 災害復旧費	項	01 農林水産施設災害復旧費	目	02 林道災害復旧費
事業 大事業	25 防災体制の充実
事業 中事業	02 災害に強いまちづくり
事業 小事業	07 林道災害復旧事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1202	工事施工を伴う委託料	319,000			
1402	維持補修工事	10,906,183			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,400,000	11,225,183	0	174,817

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	8,699,000	1,400,000	0	1,126,183
主な財源	林道災害復旧費負担金				

事業内容

○委託料　測量設計　一式
○災害復旧工事　林道災害復旧工事　一式

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　林道災害測量設計業務委託　319,000

○工事請負費
　林道災害復旧工事（梅雨前線豪雨②　長迫・小原線）　10,532,183
　松尾線舗装復旧工事　374,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	01 水産業総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	06 農林水産一般事務費		
事業 小事業	06 水産振興一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	32,315			
1003	消耗品費被服	0			
1004	燃料費	32,671			
1007	光熱水費	72,000			
1101	通信運搬費	111,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
349,000	249,286	0	99,714

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,000	0	0	240,286
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金				

事業内容

○一般事務執行に関する経費
・普通旅費（各種会議等出席旅費）
・消耗品費（消耗品費一般）　・燃料費（ガソリン代）　・光熱水費（電気代）
・通信運搬費（電信電話料、郵便料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課　0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		
事業 大事業	19 水産業の振興		
事業 中事業	01 水産資源を守り増やす取組の推進		
事業 小事業	04 水産多面的機能発揮対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	8,000			
1001	消耗品費	66,000			
1004	燃料費	20,000			
1812045	宮崎県藻場干潟等保全地域協議会事業負担金	131,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
226,000	225,600	0	400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	94,000	0	0	131,600
主な財源	水産多面的機能発揮対策事業費補助金				

事業内容

藻場の保全活動を行う活動組織に対し、国の交付要綱に定められた市負担金を支出した。市負担金は、県、市町村及び活動組織で構成された宮崎県藻場干潟等保全地域協議会を通して活動組織に交付される。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0005 森林経営係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林資源の保全と活用
小事業	07 公有林等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	3,304,566			
1201	施設維持管理委託料	264,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,574,000	3,568,566	0	5,434

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,568,566
主な財源					

事業内容

○市有林の森林保険に関する経費
○上大谷森林公園の管理に関する経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
上大谷森林公園管理業務　264,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	02 ブランド推進課 0002 ブランド流通係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	07 ブランド振興一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	56,833			
1003	消耗品費被服	11,770			
1806035	みやざきブランド推進東臼杵地域協議会負担金	14,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,000	86,603	0	201,397

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	86,603
主な財源					

事業内容

ブランド振興に係る一般事務費
○ブランド振興事務費
○関係団体への負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	08 土木施設管理運営費		
事業 小事業	02 駅駐車場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	100,000			
1106	火災保険料	3,967			
1207	指定管理者委託料	4,868,000			
1402	維持補修工事	607,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,655,200	5,579,167	0	76,033

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,153,000	426,167
主な財源	駐車場使用料				

事業内容

○日向市駅東駐車場の概要
　・駐車可能台数　121台　・指定管理者による管理運営
　【業務内容】・定期駐車許可証の発行　・駐車券の交付・回収　・駐車場使用料の収納等
○駐車場内維持補修

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　日向市駅東駐車場指定管理料　4,868,000

○工事請負費
　日向市駅東駐車場舗装補修工事　517,000
　日向市駅東駐車場水銀灯工事　90,200

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	08 土木施設管理運営費		
事業 小事業	03 駅前広場等管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	10,000			
1007	光熱水費	50,000			
1008	修繕料	45,100			
1103	手数料	6,000			
1201	施設維持管理委託料	3,914,525			
1301	使用料及び賃借料	35,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,196,000	4,060,825	0	135,175

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	734,000	3,326,825
主な財源	財光寺駅乗車券販売手数料				

事業内容

○市内のJR駅（日向市駅、財光寺駅、南日向駅、美々津駅）に設置している公共駐輪場の管理
○美々津駅前広場の管理
○財光寺駅の運営管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
　財光寺駅前広場管理及び乗車券販売等業務委託　3,529,900
　美々津駅前広場管理業務委託　200,200
　美々津駅前トイレ維持管理業務委託　63,425
　放置自転車等産業廃棄物収集運搬・処分委託　121,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	07 都市政策課 0001 都市総務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	08 土木一般事務費
事業 小事業	05 都市計画一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	102,400	1806072	国道327号外日向圏域4路線整備促進期成同盟会負担金	30,000
0801	費用弁償	7,807	1814001	日本道路協会負担金	60,000
0802	普通旅費	7,800	1814002	九州国道協会負担金	60,000
1001	消耗品費	26,264	1814028	人吉・日向間一般国道（388・446号）整備促進期成同盟会負担金	35,000
1003	消耗品費被服	40,700	1814037	県道東郷西都線整備促進期成同盟会負担金	25,000
1005	食糧費	7,190	1825002	研修会負担金	0
1103	手数料	0			
1205	システム開発等委託料	844,617			
1206	その他の委託料	0			
1301	使用料及び賃借料	603,990			
1805020	宮崎県道路利用者協議会負担金	47,000			
1805067	宮崎県道路整備促進期成同盟会負担金	69,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,557,800	1,966,768	0	591,032

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	383,000	1,583,768
主な財源	駐車場使用料、用途地域証明手数料、都市計画図売却代金				

事業内容

○都市計画区域の確定など都市計画に関する事業
○都市計画図の販売、証明書の発行等
○都市政策課の業務執行に係る一般的な事務経費
○建設部全体の庶務に要する一部経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

土木積算システム保守委託	565,950
DynaCAD保守委託	190,667
工事成績評定システム保守委託	88,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	08 土木一般事務費
事業 小事業	02 建設土木一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1003	消耗品費被服	44,080			
1206	その他の委託料	59,400			
1805008	高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会負担金	9,800			
1805033	宮崎県砂防協会負担金	124,000			
1805044	宮崎県高速道路利用促進協議会負担金	39,000			
1805068	宮崎県河川防災協会負担金	145,600			
1814004	東九州縦貫自動車道建設促進宮崎県央北部期成会負担金	49,900			
1814006	全国海岸協会負担金	30,000			
1814038	九州中央自動車道建設促進期成会負担金	150,000			
1814042	耳川フェスティバル負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
855,000	651,780	0	203,220

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	651,780
主な財源					

事業内容

道路及び河川、急傾斜等の公共土木施設の円滑な整備促進を図るため、事務事業に必要な庁費及び促進団体等へ応分な負担を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和2年度　南日向駅前線除草作業業務委託	59,400

○負担金

宮崎県河川防災協会会費　外6件	548,300

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0003 土木建設係
款	11 災害復旧費	項	02 公共土木施設災害復旧費
目	01 道路河川災害復旧費		
事業 大事業	25 防災体制の充実		
事業 中事業	02 災害に強いまちづくり		
事業 小事業	09 道路河川災害復旧事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	9,100			
1001	消耗品費	28,487			
1201	施設維持管理委託料	0			
1202	工事施工を伴う委託料	473,000			
1401	建設工事費	11,081,328			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,694,000	11,591,915	0	102,085

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	748,000	0	8,600,000	0	2,243,915
主な財源	公共土木施設災害復旧費負担金				

事業内容

台風等の豪雨により被災した道路及び河川などの公共土木施設の災害復旧工事を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

令和2年災第1号　中村奥野線測量設計業務委託	473,000

○建設工事費

令和元年災第271号　東郷橋卸児線道路災害復旧工事	2,012,000
令和2年災第241号　中村奥野線道路災害復旧工事	1,122,000
令和2年度　河川災第1号境川災害復旧工事　外8件	2,523,927
令和2年度　道路災第1号老谷前田2号線災害復旧工事　外17件	5,423,401

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0004 道路保全係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	03 道路新設改良費		
事業 大事業	26 安全・安心な生活環境の確保		
事業 中事業	02 交通安全・水難事故防止対策の推進		
事業 小事業	01 交通安全施設整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1401	建設工事費	14,470,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,470,000	14,470,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,470,000	0
主な財源	交通安全対策特別交付金				

事業内容

防護柵・カーブミラー・区画線等を整備することにより、車両・歩行者等の安全性を図り、事故抑制に努めることを目的とし、市道の機能及びインフラ環境の安定化を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○ 工事請負費

交通安全施設設置工事（その1）	3,033,578
交通安全施設設置工事（その2）	4,444,757
交通安全施設設置工事（その3）	3,768,884
交通安全施設設置工事（その4）	3,222,781

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		
事業 大事業	25 防災体制の充実		
事業 中事業	01 災害予防対策の推進		
事業 小事業	18 耳川河川改修関連支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	60,000			
1007	光熱水費	98,000			
1008	修繕料	45,100			
1103	手数料	22,800			
1106	火災保険料	13,820			
1201	施設維持管理委託料	514,800			
1301	使用料及び賃借料	1,272,492			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,511,000	2,029,612	0	481,388

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,029,612	0
主な財源	耳川河川改修事業関連仮設住宅等負担金				

事業内容

宮崎県が施行する耳川河川改修事業に伴い、宅地嵩上げ及び移転となる地権者を対象として設置している仮設住宅6棟の適正な維持管理と必要な維持補修を行い、事業の円滑な推進に寄与する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

幸脇仮設住宅浄化槽維持管理業務委託	257,400
幸脇仮設住宅除草作業（1）	99,000
幸脇仮設住宅除草作業（2）	99,000
幸脇仮設住宅外壁清掃	59,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課　0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	03 河川費
目	01 河川総務費		
事業 大事業	25 防災体制の充実		
事業 中事業	01 災害予防対策の推進		
事業 小事業	19 河川水門管理費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,612			
1004	燃料費	25,000			
1007	光熱水費	42,000			
1008	修繕料	0			
1201	施設維持管理委託料	3,019,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,311,000	3,104,112	0	206,888

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,010,000	0	0	94,112
主な財源	水門管理委託金				

事業内容

宮崎県が管理する塩見川、耳川などの河川及び海岸において、水害防止を目的として設置されている水門、陸閘等の適正な維持管理を県から受託するもの。
また、実際の点検管理にあたっては、地元消防団をはじめとする自主防災組織等に委託するもの。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

水門等操作業務（13団体）	3,019,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0006 住環境整備係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	01 住宅費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	01 良好な住環境の整備
小事業	03 細島東部まちづくり事務所施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	59,205			
1103	手数料	3,800			
1106	火災保険料	8,473			
1201	施設維持管理委託料	42,900			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
117,000	114,378	0	2,622

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	114,378
主な財源					

事業内容

細島東部まちづくり事務所（宮ノ上地区）の適正な維持管理を行った。
なお、令和3年度からは地元への貸付手続きにより、火災保険料のみを日向市が負担することとしており、予算については当事業を廃止し、道路橋梁総務費にて計上することとしている。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
浄化槽維持管理業務　42,900

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	02 建設課 0009 道路管理係
款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費
目	01 道路橋りょう総務費		

事業	
大事業	34 利便性の高い道路の整備
中事業	02 市道の整備と維持管理
小事業	10 道路橋梁総務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,357,328	1205	システム開発等委託料	990,000
0301	職員手当	209,471	1206	その他の委託料	1,100,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	232,308	1301	使用料及び賃借料	739,802
0801	費用弁償	24,000	1601	土地購入費	1,638,384
0802	普通旅費	2,600	1814043	大池トンネル電気料負担金	202,978
1001	消耗品費	165,646	2103	賠償金	115,660
1003	消耗品費被服	37,840			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	2,668,439			
1108	その他の保険料	405,000			
1201	施設維持管理委託料	3,555,189			
1202	工事施工を伴う委託料	958,595			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,845,660	14,403,240	233,647	1,208,773

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,173,000	0	1,199,000	12,031,240
主な財源	宮崎県通常砂防事業費用負担金、工事履行証明手数料、資料コピー料金、細島東部住宅エレベーター電気料、損害賠償保険金				

事業内容

市道、橋梁等の施設維持管理に要する委託料、及び一般的事務費を計上する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
令和2年度道路台帳作成業務委託（その1）外1件　3,263,689
令和2年度道路台帳調書作成業務委託　291,500
永田奥野線分筆登記業務委託外4件　958,595
令和2年度道路管理システム道路台帳等データ更新業務委託　990,000
弁護士委任契約委託料　1,100,000

○負担金
大池トンネル電気料負担金　202,978

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0001 区画整理係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	03 市街地整備一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	89,600			
1001	消耗品費	57,000			
1003	消耗品費被服	103,000			
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	4,422			
1814016	街づくり区画整理協会負担金	113,000			
1814017	全国都市公園整備促進協議会負担金	42,000			
1814018	日本公園緑地協会負担金	38,000			
1814020	街路事業促進協議会負担金	10,000			
2103	賠償金	395,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,005,000	852,022	0	152,978

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	160,000	0	486,000	206,022
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、換地図閲覧等手数料、損害賠償保険金				

事業内容

都市基盤整備事業（土地区画整理、街路、公園）等の推進に必要な一般事務費であり、事業の推進に関する要望活動及び専門技術、最新情報を習得する。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	04 児童遊園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	01 児童遊園施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	6,546			
1007	光熱水費	124,881			
1008	修繕料	3,300			
1103	手数料	3,800			
1201	施設維持管理委託料	410,732			
1206	その他の委託料	50,000			
1402	維持補修工事	145,744			
1501	原材料費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,503,000	745,003	0	757,997

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	745,003
主な財源					

事業内容

○移設維持管理委託料
・トイレ管理　N＝3箇所（財光寺、本町、高松）
・区管理公園　N＝5箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松）
・遊具点検　N＝6箇所（細島、財光寺、平岩、美々津、高松、本町）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○施設維持管理委託料

令和2年度　都市公園等区管理業務委託	131,000
令和2年度　公園浄化槽維持管理業務委託料	97,497
令和2年度　公園トイレ等清掃業務委託	150,317
令和2年度　公園樹木等管理業務委託	20,518

○その他の委託料

令和2年度　公園遊具点検業務委託	50,000

○維持補修工事

令和2年度　本町児童遊園トイレ給水管改修工事	144,650

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課　0005 街なか活性化係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	08 土木施設管理運営費		
事業 小事業	01 日向市駅周辺交流拠点施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	308,869			
1007	光熱水費	1,699,244			
1008	修繕料	905,300			
1103	手数料	0			
1106	火災保険料	128,661			
1201	施設維持管理委託料	3,830,200			
1301	使用料及び賃借料	5,877,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,353,000	12,749,474	0	603,526

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,907,000	6,842,474
主な財源	高架下駐車場使用料、駅西口駅前広場の管理運営費JR負担金、日向市駅前交流広場使用料				

事業内容

○施設維持管理委託料
・芝生、植栽等管理（芝生3，046㎡、樹木71本、寄植51㎡）、機械保守管理、駅周辺施設清掃維持管理
○使用料及び賃借料
・高架下施設用地賃借料　A＝7，247．9㎡

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

日向市駅周辺交流拠点施設　芝・植栽等管理業務委託	1,199,000
日向市駅前交流広場水景用設備保守点検業務委託	88,000
日向市駅高架下施設自家用電気工作物保安管理業務委託	244,200
日向市駅高架下施設等消防用設備点検業務委託	99,000
日向市駅周辺公共施設清掃等維持管理業務委託	2,200,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課　0001 管理係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	01 住宅費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	05 公営住宅事業特別会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	7,917,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,917,000	7,917,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	7,917,000
主な財源					

事業内容

一般会計から公営住宅事業特別会計への繰出金
[参考：繰出金の決算額]
令和元年度　1，000，000円　平成30年度　7，000，000円　平成29年度　6，000，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0003 指導係
款	08 土木費	項	01 土木管理費
目	02 建築指導費		

事業	
大事業	31 快適な住宅環境の整備
中事業	02 安心な住宅環境の形成
小事業	01 建築指導費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1101	通信運搬費	46,000
0104	会計年度任用職員報酬	1,880,544	1108	その他の保険料	113,370
0301	職員手当	264,842	1206	その他の委託料	0
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	336,542	1301	使用料及び賃借料	964,930
0714	その他の役務提供等に対する報償金	10,000	1814008	全国建築審査会協議会負担金	48,000
0801	費用弁償	0	1814009	宮崎県建築連絡協議会負担金	50,000
0802	普通旅費	61,520	1814010	日本建築行政会議負担金	100,000
1001	消耗品費	203,765	1825002	研修会負担金	49,500
1002	消耗品費追録	12,143	2601	国に対する公課費	10,000
1003	消耗品費被服	34,320			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,471,000	4,185,476	0	1,285,524

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,146,000	0	3,039,476	0
主な財源	宮崎県市町村権限移譲交付金、建築指導手数料				

事業内容	建築指導業務について、円滑かつ的確な執行を図るため、建築行政データベースシステムの活用及び建築基準法第42条の道路に関する道路台帳整備等を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課 0004 建築係
款	08 土木費	項	06 住宅費
目	02 住宅建設費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	08 土木一般事務費
小事業	04 建築一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	11,740			
1001	消耗品費	54,902			
1003	消耗品費被服	12,430			
1006	印刷製本費	41,205			
1206	その他の委託料	275,000			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
639,000	395,277	0	243,723

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	395,277	0
主な財源	建築指導手数料、工事届済証明手数料、情報開示請求に係る公文書の写し手数料、都市計画法証明手数料				

事業内容	建築一般事務費に関する事務費 ○旅費：宮崎県住宅行政連絡協議会、新営予算単価説明会等
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 令和2年度　設備工事積算資料作成業務委託　275,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	02 総務施設管理運営費		
事業 小事業	04 東郷総合支所管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	29,164			
1007	光熱水費	2,373,327			
1008	修繕料	262,933			
1101	通信運搬費	1,050,000			
1103	手数料	21,046			
1106	火災保険料	24,056			
1201	施設維持管理委託料	6,486,700			
1206	その他の委託料	88,440			
1301	使用料及び賃借料	29,089			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,753,000	10,364,755	0	388,245

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	35,000	10,329,755
主な財源	自動販売機電気料、公衆電話料等使用料				

事業内容

○施設維持管理経費
・燃料費（灯油代）　・光熱水費（電気代、水道代）　・修繕料（トイレ小規模修繕等）
・通信運搬費（電話料、郵便料）　・手数料（産業廃棄物処理等）　・火災保険料（庁舎）
・施設維持管理委託料（下記に掲載）　・その他の委託料（下記に掲載）
・使用料及び賃借料（テレビ受信料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

清掃及び植栽等管理委託料	391,600
空調装置保守点検業務委託料	110,000
消防・防災設備保守点検委託料	88,000
自家用電気工作物保安業務委託料	165,000
東郷総合支所等警備業務委託料	5,390,000
ミュージックチャイム設備保守点検業務委託料	297,000
PCB安定器取外業務委託料	45,100
プリンター保守点検業務委託料	48,840
事業系一般廃棄物収集運搬業務委託料	39,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	32 公用車集中管理に要する経費（東郷地区）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1004	燃料費	89,225			
1008	修繕料	0			
1107	自動車損害保険料	42,854			
1301	使用料及び賃借料	427,520			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
722,000	559,599	0	162,401

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	559,599
主な財源					

事業内容

○東郷総合支所が保有する公用車維持管理経費
・燃料費（4月～3月分）
・使用料及び賃借料（自動車借上料　軽貨物3台）
・自動車損害保険料

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	31 東郷総合支所	所管課	01 東郷地域振興課 0004 地域振興係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	09 総合支所費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	31 東郷総合支所一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,403,508			
0301	職員手当	207,901			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	258,823			
0801	費用弁償	71,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	310,423			
1301	使用料及び賃借料	0			
1808066	宮崎県地域振興対策協議会発電振興部会負担金	19,000			
1808067	宮崎県電源地域連絡協議会負担金	11,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,661,000	2,281,655	0	379,345

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,281,655
主な財源					

事業内容	○東郷総合支所（東郷地域振興課）に係る一般事務費 ・会計年度任用職員に係る経費（報酬、手当、保険料、費用弁償（通勤手当）） ・消耗品費（PPC代、ファイルほか一般事務用品、新聞代　等） ・各種協議会負担金
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	29 会計課	所管課	01 会計課 0001 出納係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	05 会計管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	30 会計一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	5,500			
1001	消耗品費	129,449			
1002	消耗品費追録	366,476			
1006	印刷製本費	761,200			
1101	通信運搬費	54,000			
1103	手数料	2,368,322			
1108	その他の保険料	119,936			
1825002	研修会負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,019,000	3,804,883	0	214,117

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	215,000	3,589,883
主な財源	公金総合保険負担金、公金事務取扱手数料負担金				

事業内容	公金の収納、支出に関する審査事務を適正かつ迅速に行い、決算書の作成や公金の効率的な管理運用を図った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	01 消防庁舎管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	114,992			
1004	燃料費	704,963			
1007	光熱水費	3,960,035			
1008	修繕料	498,740			
1103	手数料	165,550			
1106	火災保険料	25,627			
1201	施設維持管理委託料	2,211,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,006,000	7,680,907	0	325,093

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,595,000	6,085,907
主な財源	広域消防負担金、自動販売機電気料				

事業内容

消防庁舎の維持管理を行った。
1. 燃料費、光熱水費等の執行管理
2. 施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

消防庁舎清掃業務委託	1,265,000
自家用電気工作物及び消防救急デジタル無線基地局電気工作物保安業務	330,000
敷地内植栽管理業務	451,000
空調機器保守点検業務	165,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	02 南分遣所管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	9,838			
1004	燃料費	179,819			
1007	光熱水費	676,000			
1008	修繕料	0			
1103	手数料	7,000			
1106	火災保険料	35,084			
1201	施設維持管理委託料	114,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,071,400	1,022,141	0	49,259

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	245,000	777,141
主な財源	広域消防負担金、保険解約手数料、電気使用料				

事業内容

南分遣所庁舎の維持管理を行った。
1. 燃料費、光熱水費等の執行管理
2. 施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

浄化槽の保守点検及び清掃業務	114,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	03 消防訓練広場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	144,000			
1008	修繕料	43,117			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	7,125			
1201	施設維持管理委託料	114,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
333,000	315,192	0	17,808

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	71,000	244,192
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

消防訓練広場の維持管理を行った。
1. 光熱水費等の執行管理
2. 施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
浄化槽の保守点検及び清掃業務　114,950

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	09 消防施設管理運営費		
事業 小事業	04 東郷分遣所管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	9,607			
1004	燃料費	118,000			
1007	光熱水費	445,000			
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	21,958			
1206	その他の委託料	20,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
635,000	614,565	0	20,435

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	140,000	474,565
主な財源	広域消防負担金				

事業内容

東郷分遣所庁舎の維持管理を行った。
1. 燃料費、光熱水費等の執行管理
2. 施設及び付帯設備等の維持管理

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
空調機器の保守点検業務　20,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0001 庶務係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	09 消防一般事務費
事業 小事業	01 常備消防一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,279,660	12	委託料	8,664,898
0301	職員手当	461,883	1301	使用料及び賃借料	2,538,993
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	576,799	1815001	全国消防長会負担金	162,100
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0	1815002	県消防長会負担金	17,440
08	旅費	1,847,583	1815003	日向地区安全運転管理者等協議会負担金	10,000
1001	消耗品費	1,606,678	1815005	全国消防協会負担金	49,000
1002	消耗品費追録	140,000	1815006	防火防災訓練災害補償共済掛金	61,000
1003	消耗品費被服	6,499,900	1815014	宮崎県市町村防災行政無線負担金	209,000
1005	食糧費	0	1825002	研修会負担金	340,498
1006	印刷製本費	0	2403002	消防事務財政調整積立基金積立金	23,091,000
1008	修繕料	43,439	2602	その他の公課費	351,950
11	役務費	9,418,110			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,313,840	59,369,931	0	1,943,909

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	36,113,000	23,256,931
主な財源	広域消防負担金、入郷3町村119番転送業務受託料、危険物施設検査手数料 消防事務財政調整積立基金利子、高速道救急業務支弁金、緊急消防援助隊活動費負担金

事業内容

消防本部全般の事務処理を行った。
1. 嘱託職員等への報酬支払い、会議・研修等への職員派遣や職員被服等の整備等
2. 委託業務契約や賃貸借業務契約事務等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

消防救急デジタル無線設備保守業務委託	2,521,200
高機能消防指令センター保守業務委託	4,565,000
入郷3町村119転送業務に係る高機能消防指令システム改修業務委託	1,078,000
大型自動車運転免許取得業務委託	331,999
医療廃棄物収集・処理業務委託	168,699

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	09 消防施設管理運営費
事業 小事業	05 非常備消防施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	94,710			
1106	火災保険料	93,551			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
209,000	188,261	0	20,739

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	188,261
主な財源	

事業内容

消防団各部機庫（詰所）等の修繕・維持管理を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	04 水防費		
事業 大事業	24 消防体制の充実		
事業 中事業	01 警防・救急体制の充実		
事業 小事業	07 水防体制の強化に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	53,625			
1008	修繕料	19,800			
1301	使用料及び賃借料	4,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
123,000	77,425	0	45,575

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	77,425
主な財源					

事業内容

水防体制整備や資器材の維持管理
1. 水防施設内（コンテナ式収納倉庫）の水防資器材の整備点検
2. 水防協議会の開催による関係機関との連携強化

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		
事業 大事業	24 消防体制の充実		
事業 中事業	01 警防・救急体制の充実		
事業 小事業	09 常備消防車両管理費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	54,773			
1004	燃料費	4,266,107			
1008	修繕料	3,282,479			
1103	手数料	579,444			
1107	自動車損害保険料	506,112			
1301	使用料及び賃借料	401,760			
2601	国に対する公課費	358,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,827,000	9,449,075	0	377,925

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	2,513,000	6,936,075
主な財源	広域消防負担金、自動車損害共済金、緊急消防援助隊活動費負担金 消防業務賠償責任保険損害保険金				

事業内容

常備消防車両の維持管理を行った。
1. 消防車両の点検及び法定点検の実施、自動車損害賠償責任保険への加入
2. 車両の修繕、オイル・タイヤ等の消耗品交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0002 施設係
款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費
事業 大事業	24 消防体制の充実
事業 中事業	02 消防団体制の充実
事業 小事業	06 非常備消防車両管理費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	53,740			
1004	燃料費	453,199			
1008	修繕料	1,713,086			
1103	手数料	582,641			
1107	自動車損害保険料	825,714			
2601	国に対する公課費	946,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,833,000	4,574,980	0	1,258,020

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,574,980
主な財源					

事業内容

非常備消防車両の維持管理を行った。
1. 消防車両の点検及び法定点検の実施、自動車損害賠償責任保険への加入
2. 車両の修繕、オイル・タイヤ等の消耗品交換

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課 0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
事業 大事業	49 会計・基金繰出金
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費
事業 小事業	13 簡易給水施設特別会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2701	一般会計からの繰出金	5,500,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,482,000	5,500,000	0	982,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,500,000
主な財源					

事業内容

○簡易給水施設特別会計への繰出金
<参考：繰出金決算額>
平成30年度　1，300千円
令和 元年度　1，500千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課　0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	14 水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810018	職員手当負担金（児童手当分）	638,000			
1810019	水道事業会計負担金（交付税算入分）	989,591			
2301	出資金	12,127,099			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,756,000	13,754,690	0	1,310

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	13,754,690
主な財源					

事業内容	○水道事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 平成30年度　13，927千円 令和 元年度　13，869千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課　0002 経理係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		

事業	
大事業	49 会計・基金繰出金
中事業	01 会計繰出に要する経費
小事業	22 簡易水道事業会計への繰出金

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1810025	簡易水道事業会計負担金（交付税算入分）	40,525,000			
2301	出資金	16,875,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,400,000	57,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	57,400,000
主な財源					

事業内容	○簡易水道事業会計への繰出金 ＜参考：繰出金決算額＞ 平成30年度　24，454千円（「簡易水道事業特別会計」最終年度） 令和 元年度　56，000千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	05 農地費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	23 農業集落排水事業会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1812053	職員手当負担金（児童手当分）	0			
1812054	農業集落排水事業会計負担金	206,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
206,420,000	206,000,000	0	420,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	206,000,000
主な財源					

事業内容
○農業集落排水事業特別会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
平成30年度　90，000千円
令和元年度　90，000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課 0001 業務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	05 公共下水道費		
事業 大事業	49 会計・基金繰出金		
事業 中事業	01 会計繰出に要する経費		
事業 小事業	15 下水道事業会計への繰出金		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1814039	職員手当負担金（児童手当分）	380,000			
1814040	下水道事業会計負担金	513,192,000			
2301	出資金	86,428,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
600,000,000	600,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	600,000,000
主な財源					

事業内容
○下水道事業会計への繰出金
＜参考：繰出金決算額＞
平成30年度　596，000千円
令和元年度　600，000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課　0002 工務係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	06 都市下水路費		

事業	
大事業	25 防災体制の充実
中事業	01 災害予防対策の推進
小事業	20 浸水被害軽減対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	99,880			
1004	燃料費	14,905			
1108	その他の保険料	63,440			
1206	その他の委託料	698,885			
1401	建設工事費	99,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	2,728,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,951,000	3,704,110	0	246,890

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,704,110
主な財源					

事業内容

台風やゲリラ豪雨による浸水被害が予測される地区に排水ポンプを設置し、浸水被害の低減対策を行った。また、対応の迅速化を図るため、排水エンジンポンプ2台を購入し、雨期期間の常設化を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
設置回数：2回　698,885
設置箇所：延べ6箇所
延べ10台（市所有ポンプ延べ6台、 リースポンプ延べ4台）
○工事請負費
令和2年度排水エンジンポンプ鋼製カバー製作組立工事　99,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局　0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	01 市議会議員報酬
小事業	01 市議会議員報酬

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0101	議員等報酬	83,492,000			
0301	職員手当	25,729,904			
0405	市議会議員共済組合負担金	30,845,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,364,000	140,067,504	0	1,296,496

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	140,067,504
主な財源					

事業内容

議員報酬、期末手当及び議員共済会に係る経費
○議員報酬　議長433，000円、副議長379，000円、議員358，000円
○期末手当　6月：報酬月額×1．7×1．15×0．9、12月：報酬月額×1．65×1．15
○市議会議員共済会給付費負担金、事務負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	02 議長の交際に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0902	議長交際費	145,168			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
554,000	145,168	0	408,832

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	145,168
主な財源					

事業内容

市議会議長として他団体等との交際に係る経費
○主な内容
・意見交換会、懇談会等の会費
・慶弔、見舞い等に係る経費
・視察先への土産、公用名刺の印刷　等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	03 各種市議会議長会に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	59,860			
0802	普通旅費	62,900			
1005	食糧費	4,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805087	宮崎県市議会議長会負担金	203,000			
1806018	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会負担金	35,300			
1807001	全国市議会議長会負担金	421,000			
1807002	九州市議会議長会負担金	44,100			
1807005	全国高速自動車道市議会協議会負担金	20,000			
1807008	全国自治体病院経営都市議会協議会負担金	18,000			
1825001	会議出席負担金	0			
1825002	研修会負担金	1,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,817,000	869,160	0	947,840

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	869,160
主な財源					

事業内容

全国・九州・県内において組織されている各種議長会の会議及び研修会等に要する経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	04 市議会議員の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0801	費用弁償	559,247			
0802	普通旅費	11,050			
1004	燃料費	9,311			
1107	自動車損害保険料	24,749			
1206	その他の委託料	199,999			
1301	使用料及び賃借料	455,595			
1807007	九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会負担金	171,700			
1825001	会議出席負担金	105,600			
1890002	政務活動費交付金	2,618,779			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,862,000	4,156,030	0	1,705,970

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	54,000	4,102,030
主な財源	議員研修会負担金				

事業内容

市議会議員としての活動（各種会議及び大会、各種研修会への参加、行政視察、政務活動）に要する経費
・費用弁償 （会議、行事等に係る経費）・普通旅費 （随行に係る旅費）
・使用料及び賃借料 （議長車リース、タクシー借上、有料道路通行料）
・政務活動費交付金 （月額12，500円／人）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○その他の委託料
「令和2年度日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会議員研修会」　199,999
実施業務委託

○負担金補助及び交付金（会議出席負担金）
宮崎政経懇話会会費　105,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0001 庶務調査係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	01 議会一般事務費
小事業	01 議会一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	7,272
0702	出会謝金	0	1701	庁用器具費（一般的事務用）	18,480
0716	記念品料	6,520	1825002	研修会負担金	0
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	478,120			
1002	消耗品費追録	136,679			
1005	食糧費	1,000			
1006	印刷製本費	209,440			
1007	光熱水費	67,000			
1101	通信運搬費	151,000			
1103	手数料	232,012			
1104	広告料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,611,000	1,310,123	0	300,877

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,310,123
主な財源					

事業内容

議会事務局の業務執行に係る一般的な事務経費
・消耗品費　（書籍、新聞、コピー代、事務用品、追録など）
・印刷製本費 （議会傍聴案内チラシ印刷）
・手数料　（給茶機保守点検、議会傍聴案内チラシ折込）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	43 日向市議会
中事業	02 市議会運営に要する経費
小事業	06 会議録発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	789,014			
1206	その他の委託料	1,239,117			
1301	使用料及び賃借料	1,584,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,884,000	3,612,131	0	271,869

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,612,131
主な財源					

事業内容

・議会本会議の議事内容を録音機器から反訳し、会議録を印刷、発行した（50部）。また、インターネット上の会議録検索システムにデータを掲載した。
・委員会や各種会議の議事内容を音声認識システムで短時間に文字データ化できるようになり、委員長報告書や委員会等の会議記録を正確かつ迅速に作成することができた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

議会ホームページ更新業務	67,100
議会ホームページサブページ追加業務（「議会をみる・きく」、「要望・提言活動」）	49,500
会議録調整（反訳）業務	981,640
会議録検索データ作成（セットアップ）業務	140,877

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	61 議会事務局	所管課	01 議会事務局 0002 議事係
款	01 議会費	項	01 議会費
目	01 議会費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	01 議会施設管理運営費
小事業	01 議会施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1201	施設維持管理委託料	1,210,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,240,000	1,210,000	0	30,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,210,000
主な財源					

事業内容

議場及び委員会室の音響設備等の維持管理に係る経費
・修繕料（音響設備等に係る修繕費）
・施設維持管理委託料（議場・委員会室音響設備保守点検業務）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

議場・委員会室音響設備保守点検	1,210,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	01 教育委員会費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	02 教育委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,736,000			
0801	費用弁償	14,977			
1001	消耗品費	17,522			
1005	食糧費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,937,000	2,768,499	0	168,501

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,768,499
主な財源					

事業内容	教育委員会は、教育長、非常勤特別職4人の計5人で構成され、月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時委員会を開催し、教育行政の重要事項や基本方針を合議制で決定する。 例年、委員は、学校訪問、入学式、運動会、地域の行事等に参加し、児童生徒、学校の現状や地域の課題を把握するほか、自己研さんのため研修会等に参加するが、コロナ禍により行事等が中止、縮小され、活動が制限された。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	04 高校や大学等との連携強化
小事業	02 就学の支援に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2001	貸付金	42,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,000,000	42,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	42,000,000	0
主な財源	教育資金融資貸付金収入				

事業内容	市内に居住し高等教育に係る教育資金を必要とする者に低金利で融資するもの。 （九州労働金庫と提携） ○融資内容　融資額1人300万円以内。返済10年以内(据置正規の修学期間以内) ○融資実績　平成30年度：6人　9，400千円、令和元年度：16人　22，800千円 令和2年度：8人　16，400千円
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課　0001 総務企画係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	01 学校教育総務一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	389,436	1806066	宮崎県立富島高等学校定時制教育振興会	52,000
0702	出会謝金	12,500	1816001	全国都市教育長協議会負担金	17,000
0802	普通旅費	27,560	1816002	九州都市教育長協議会負担金	7,000
0903	教育長交際費	35,449	1816003	宮崎県都市教育長協議会負担金	15,000
1001	消耗品費	136,988	1816005	社会保険協会負担金	8,600
1005	食糧費	20,901	1825002	研修会負担金	6,600
1006	印刷製本費	30,800	2405	その他運用基金積立金	19,000
1101	通信運搬費	363,000			
1301	使用料及び賃借料	53,252			
1805013	宮崎県市町村教育委員会連合会負担金	13,200			
1806002	東臼杵地方教育委員会連絡協議会負担金	6,100			
1806040	宮崎県立延岡青朋高等学校教育振興会負担金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,638,000	1,229,386	0	408,614

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,000	1,210,386
主な財源	奨学金貸付金利子				

事業内容

○一般事務費
・共済費（会計年度報酬等に係る子ども・子育て拠出金）・出会謝金（教育委員会の点検評価に係るもの）・研修会旅費（宮崎県都市教育長協議会総会ほか）・教育長交際費・消耗品費（一般事務用品、コピー用紙等）・印刷製本費（教育施策に係る公表資料の印刷）・使用料及び賃借料（タクシー借上料ほか）・負担金（各種協議会等及び会議出席に伴うもの）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課　0002 施設係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	10 教育一般事務費
事業 小事業	02 学校教育施設一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
0802	普通旅費	3,920			
1001	消耗品費	13,498			
1003	消耗品費被服	0			
1206	その他の委託料	4,400			
1301	使用料及び賃借料	21,538			
1805006	宮崎県公立学校施設整備期成会負担金	0			
1816004	田の原地区テレビ共聴組合負担金	0			
1825001	会議出席負担金	0			
2403	その他特定目的基金積立金	13,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
404,000	56,356	0	347,644

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,000	42,356
主な財源	再生可能エネルギー設備維持管理基金利子、小学校太陽光売電収入				

事業内容

○一般事務経費
・普通旅費（県庁協議）・消耗品費（一般事務用）・委託料（工事成績システム）・使用料（工事成績システムなど）・積立金（再生可能エネルギー設備維持管理積立金）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市工事成績評定システム保守委託　4,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	03 小学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	299,794			
1103	手数料	26,600			
1106	火災保険料	52,266			
1201	施設維持管理委託料	501,000			
1301	使用料及び賃借料	10,560			
1402	維持補修工事	699,380			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,611,000	1,589,600	0	21,400

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,589,600	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、教職員住宅修繕料負担金				

事業内容

○教職員住宅維持管理費
・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料）・維持管理委託（浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理）・使用料（難視聴区域受信料）・維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

学校施設浄化槽清掃業務委託（小学校住宅分）	242,990
幼稚園、中学校、教職員住宅浄化槽維持管理業務委託（小学校住宅分）	112,750
東郷学園（小）校長住宅垣根芯止め外作業業務委託	84,760
平岩小中学校校長住宅剪定・竹切作業業務委託	46,200
寺迫地区学校施設浄化槽保守点検業務委託	14,300

○工事請負費

寺迫小学校住宅ボイラー更新工事	224,950
坪谷小教職員住宅ガス給湯器取替工事	176,000
東郷学園（小）校長住宅和室床改修工事	99,000
東郷学園（小）教頭住宅和室床改修工事	99,000
東郷学園（小）校長住宅台所床修繕工事	54,010

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 学校建設費

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	03 小学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	5,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,000,000	5,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,000	4,999,000
主な財源	学校施設整備基金利子				

事業内容

○日向市内小学校の設備整備を行った。
・体育館照明器具のLED化改修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

美々津小学校体育館照明器具取替工事	2,500,000
塩見小学校体育館照明器具取替工事	2,500,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費
事業 大事業	46 市施設管理運営費
事業 中事業	10 教育施設管理運営費
事業 小事業	04 中学校教職員住宅管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	180,048			
1103	手数料	11,400			
1106	火災保険料	12,267			
1201	施設維持管理委託料	110,050			
1402	維持補修工事	331,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
677,000	645,525	0	31,475

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	645,525	0
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、教職員住宅修繕料負担金				

事業内容

○教職員住宅維持管理費
・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料）・維持管理委託（浄化槽管理、浄化槽清掃、植栽管理）・維持補修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

坪谷中学校校長住宅ハチ駆除作業委託	55,000
学校施設浄化槽清掃業務委託（中学校住宅分）	26,180
幼稚園、中学校、教職員住宅浄化槽維持管理業務委託（中学校住宅分）	14,630
東郷学園（中）校長住宅垣根芯止め外作業業務委託	14,240

○工事請負費

東郷学園（中）校長住宅ボイラー交換工事	165,000
東郷学園（中）教頭住宅床改修工事	99,000
平岩小中学校校長住宅ブースター新設工事	40,700
美々津中学校校長住宅倉庫外壁修繕工事	27,060

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 学校建設費
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
事業 中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
事業 小事業	14 中学校　各校整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	3,993,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,000,000	3,993,000	0	7,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,993,000
主な財源					

事業内容

○日向市内中学校の設備整備を行った。
・体育館照明器具のLED化改修工事・空調設備の更新工事・水道管漏水改修工事

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

富島中学校体育館照明器具取替工事	2,816,000
美々津中学校保健室空調設備取替工事	990,000
富島中学校プールバルブ不良交換工事	187,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	04 通学支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	3,600			
1004	燃料費	669,857			
1008	修繕料	333,999			
1103	手数料	33,000			
1107	自動車損害保険料	123,164			
1206	その他の委託料	6,765,605			
1301	使用料及び賃借料	5,982,790			
1867027	遠距離通学費補助金	720,500			
2601	国に対する公課費	57,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,873,000	14,689,915	0	1,183,085

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	14,689,915
主な財源	

事業内容

○スクールバスの運行
・旧越表小学校区から坪谷小学校へ通学する児童
・旧坪谷中学校区から東郷中学校に通学する生徒
・旧福瀬小学校区から東郷小学校に通学する児童

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
東郷学園スクールバス運転業務委託（4月～3月）　6,765,605

○補助金
遠距離通学費補助金（小規模特別認可校：坪谷小7人）　578,500
遠距離通学費補助金（小中学校分：小学生10人、中学生11人）　142,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
事業 中事業	01 児童生徒の相談支援体制の充実
事業 小事業	04 日向・東臼杵いじめ問題対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	220,000			
0801	費用弁償	23,300			
1001	消耗品費	3,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
247,005	247,000	0	5

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	82,000	165,000
主な財源	いじめ問題対策専門家委員会負担金

事業内容

日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の教育委員会が、「いじめ防止対策推進法」に基づき、共同の附属機関として「日向東臼杵いじめ問題対策専門家委員会」を設置し、いじめ問題の調査等を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	08 人権・平和の尊重
中事業	01 人権・同和教育の推進
小事業	02 同和教育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	554,000			
0714	その他の役務提供等に対する報償金	0			
0716	記念品料	118,000			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	70,611			
1005	食糧費	8,121			
1006	印刷製本費	99,752			
1101	通信運搬費	78,000			
1103	手数料	0			
1301	使用料及び賃借料	0			
1806012	日向地区同和教育研究協議会負担金	78,500			
1816045	宮崎県友の会集会参加負担金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,567,000	1,006,984	0	560,016

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,006,984
主な財源					

事業内容

子ども会を中心として、地域住民、行政、学校職員が一緒に、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題について学習することにより、様々な人権問題について理解を深めた。
一方、令和2年度は、コロナ禍のため、「市・人権同和教育研究大会」を中止するなど、市民自らが人権について考えるための学習機会を確保できなかった。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	03 学事係一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	3,520			
0802	普通旅費	356,198			
1001	消耗品費	445,492			
1002	消耗品費追録	5,000			
1101	通信運搬費	150,000			
1108	その他の保険料	45,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	655,270			
1805082	第54回九州地区聾学校体育・文化連盟宮崎大会負担金	0			
1806004	教科用図書東臼杵採択地区協議会負担金	150,100			
1806011	日向地区特別支援教育研究会負担金	100,000			
1816007	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会負担金	3,000			
1860035	豊かな体験活動推進事業補助金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,952,270	1,913,580	0	38,690

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,913,580
主な財源					

事業内容

○一般事務費
・記念品料（防火ポスター教育長賞）
・普通旅費（県派遣指導主事に係る赴任旅費等）
・消耗品費（一般事務用品、コピー用紙等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	15 要・準要保護児童の援助に要する経費(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1960	教育扶助費（国直接・間接補助）	36,728,082			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,290,640	36,728,082	0	562,558

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	734,000	0	0	0	35,994,082
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金、要保護児童就学援助費補助金				

事業内容	【要・準要保護就学援助費】「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。 【特別支援教育就学援助費】 小学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある児童等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	17 要・準要保護生徒の援助に要する経費(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1960	教育扶助費（国直接・間接補助）	35,028,401			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,719,000	35,028,401	0	9,690,599

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	157,000	0	0	0	34,871,401
主な財源	特別支援教育就学奨励費補助金、要保護生徒就学援助費補助金				

事業内容	【要・準要保護就学援助費】「学校教育法」に基づき、生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び教育委員会が要保護者に準ずる程度に困窮していると認める者に学用品や給食費等の援助を行った。 【特別支援教育就学援助費】 中学校の特別支援学級で学ぶ障がいのある生徒等の家庭の経済状況等に応じて、保護者が負担する教育関係経費の援助を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	07 社会同和教育集会所新財市会館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	297,035			
1008	修繕料	66,880			
1101	通信運搬費	34,278			
1103	手数料	37,000			
1106	火災保険料	7,164			
1201	施設維持管理委託料	810,090			
1206	その他の委託料	39,600			
1301	使用料及び賃借料	14,545			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	19,580			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,366,880	1,356,772	0	10,108

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,356,772
主な財源					

事業内容

〇施設維持管理経費
・光熱水費（電気、水道料ほか）
・修繕料（小規模修繕等）
・施設維持管理委託料（事務所管理等）
・その他の委託料（事業系ごみ収集運搬委託料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

日向市立社会同和教育集会所「新財市会館」管理業務委託	720,000
新財市会館浄化槽維持管理業務委託	90,090
新財市会館一般廃棄物収集運搬業務委託	39,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	04 学校教育保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,452,837			
0301	職員手当	207,901			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	265,065			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	76,050			
1101	通信運搬費	48,000			
1108	その他の保険料	619,242			
1301	使用料及び賃借料	48,999			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,817,050	2,718,094	0	98,956

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,718,094
主な財源					

事業内容

小中学校及び市立幼稚園の学校保健（児童・生徒怪我等災害給付など）に関する事務手続等を行った。
小中学校及び市立幼稚園にAEDを設置し、緊急時に備えた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	03 幼稚園　0000 幼稚園
款	10 教育費	項	04 幼稚園費
目	01 幼稚園費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	09「幼稚園」施設管理運営費［施設係］		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,404			
1008	修繕料	104,500			
1103	手数料	8,260			
1106	火災保険料	37,146			
1201	施設維持管理委託料	201,300			
1206	その他の委託料	32,230			
1402	維持補修工事	251,460			
1501	原材料費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,088,000	652,300	0	435,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	652,300
主な財源					

事業内容

○幼稚園施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・維持補修工事費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

幼稚園、中学校特殊建築物等定期点検業務委託（幼稚園分）	87,670
日向市立幼稚園非常通報装置保守点検業務委託	43,560
幼稚園、小・中学校学校事業活動廃棄物収集業務委託（幼稚園分）	32,230
学校施設浄化槽清掃業務委託（幼稚園分）	24,640
幼稚園、中学校、教職員住宅浄化槽維持管理業務委託（幼稚園分）	19,580

○工事請負費

園名看板設置工事	94,600
天井オート扇取替工事	94,160
LED照明取替工事	62,700

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校）　0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	10 小学校施設　管理運営費[施設係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	632,326			
1008	修繕料	4,782,790			
1103	手数料	510,205			
1106	火災保険料	860,914			
1201	施設維持管理委託料	18,149,604			
1206	その他の委託料	1,063,590			
1301	使用料及び賃借料	1,477,000			
1402	維持補修工事	8,475,880			
1501	原材料費	250,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	340,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,588,000	36,542,309	0	3,045,691

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,129,000	35,413,309
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、自動車損害共済金、小学校太陽光売電収入				

事業内容

○小学校施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・使用料（土地建物借上げ）・維持補修工事費・原材料費（砂・真砂土）・備品購入（消防用ホース）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

小学校自動火災報知設備等保守点検業務委託	2,035,000
小・中学校警備業務及び緊急通報システム管理業務委託（小学校分）	1,899,700
小学校特殊建築物等定期点検業務委託	1,595,000
小学校浄化槽維持管理業務委託	1,453,100
小学校屋内消火栓設備保守点検業務委託	1,430,000

○工事請負費

大王谷小学校屋上防水改修工事	1,958,000
美々津小学校1階トイレ壁改修工事	1,232,000
日知屋小学校外壁補修工事	979,000
小学校自動火災報知設備不良箇所改修工事	759,000
日知屋小学校北校舎電灯電源設備改修工事	525,800

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	11 小学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	22,599,156			
1004	燃料費	622,010			
1005	食糧費	73,730			
1006	印刷製本費	946,550			
1007	光熱水費	47,061,845			
1008	修繕料	700,807			
1101	通信運搬費	4,432,222			
1103	手数料	420,000			
1301	使用料及び賃借料	678,707			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	2,888,282			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
82,096,125	80,423,309	0	1,672,816

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	28,000	80,395,309
主な財源	教育施設電話等使用料				

事業内容	○小学校管理運営経費 ・各種消耗品の購入費・燃料費・光熱水費・備品修繕料・通信運搬費・コピー機、印刷機、消火器借上料・学校備品購入費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	12 小学校施設　管理運営費[総務企画係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	5,809,790			
0301	職員手当	803,832			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	46,635			
0801	費用弁償	176,655			
0802	普通旅費	881,636			
1003	消耗品費被服	287,640			
1004	燃料費	48,000			
1107	自動車損害保険料	268,955			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,160,000	8,323,143	0	836,857

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	8,323,143
主な財源					

事業内容	○小学校施設の管理運営費（小学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費） ・会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当・普通旅費（市内移動に伴う旅費）・消耗品費被服（学校技術員被服代）・自動車損害保険料（全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 教育振興費

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	29 小学校教師用指導書等購入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	28,347,445			
1702	機械器具費（事業執行用）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,348,000	28,347,445	0	555

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	28,347,445
主な財源					

事業内容	小学校の教科書が改訂されたことに伴い、教師用教科書、指導書を購入した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校） 0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	06 小学校保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	698,953			
1011	医薬材料費	670,720			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,403,000	1,369,673	0	33,327

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,369,673
主な財源					

事業内容	○小学校における保健室活動に必要な経費 ・衛生消耗品 ・医薬品
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	13 中学校施設　管理運営費[施設係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	400,536			
1008	修繕料	2,191,753			
1103	手数料	276,345			
1106	火災保険料	1,048,641			
1201	施設維持管理委託料	13,215,422			
1206	その他の委託料	554,180			
1301	使用料及び賃借料	19,400			
1402	維持補修工事	4,196,500			
1501	原材料費	249,658			
1702	機械器具費（事業執行用）	241,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,835,000	22,394,235	0	1,440,765

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,171,000	21,223,235
主な財源	教職員住宅・校長住宅使用料、中学校太陽光売電収入				

事業内容

○中学校施設維持管理経費
・消耗品費（施設管理用品）・修繕料（小規模修繕）・手数料（火災保険、浄化槽検査手数料等）・維持管理委託料（浄化槽維持、浄化槽清掃、植栽管理、設備保守点検）・その他委託料（廃棄物収集運搬）・使用料（土地借上げ）・維持補修工事費・原材料費（砂・真砂土）・備品購入（消防用ホース）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

中学校自動火災報知設備等保守点検業務委託	1,705,000
幼稚園、中学校、教職員住宅浄化槽維持管理業務委託（中学校）	1,393,040
幼稚園、中学校特殊建築物等定期点検業務委託（中学校分）	1,199,330
学校施設浄化槽清掃業務委託（中学校分）	1,040,490
中学校屋内消火栓設備保守点検業務委託	990,000

○工事請負費

平岩小中学校渡り廊下設置工事	2,365,000
財光寺中学校体育館床補修工事	1,177,000
富島中学校渡り廊下スロープ設置工事	273,900
日向中学校エレベータードアセンサー交換工事	137,500
財光寺中学校給水管漏水修理工事	132,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校）0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	14 中学校施設　管理運営費[学事係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	14,001,678			
1004	燃料費	296,821			
1005	食糧費	52,555			
1006	印刷製本費	661,124			
1007	光熱水費	24,970,022			
1008	修繕料	574,321			
1101	通信運搬費	1,997,242			
1103	手数料	422,722			
1206	その他の委託料	1,703,076			
1301	使用料及び賃借料	1,211,658			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,516,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,865,000	47,407,919	0	1,457,081

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,000	47,390,919
主な財源	教育施設電話等使用料				

事業内容

○中学校管理運営経費
・各種消耗品の購入費・燃料費・光熱水費・備品修繕料・通信運搬費・コピー機、印刷機、消火器借上料・学校備品購入費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	15 中学校施設　管理運営費[総務企画係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,251,584			
0301	職員手当	445,626			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	26,653			
0801	費用弁償	117,315			
0802	普通旅費	222,370			
1003	消耗品費被服	105,720			
1004	燃料費	48,000			
1107	自動車損害保険料	116,674			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,606,000	4,333,942	0	1,272,058

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	4,333,942
主な財源					

事業内容	○中学校施設の管理運営費（中学校に勤務する市職員及び補助職員に係る経費） ・会計年度任用職員（学校技術員補助職員）の報酬、期末手当、各種保険料、通勤手当・普通旅費（市内移動に伴う旅費）・消耗品費被服（学校技術員被服代）・自動車損害保険料（全国市有物件災害共済会自動車損害共済掛金）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	07 中学校保健一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	312,024			
1011	医薬材料費	289,483			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
623,000	601,507	0	21,493

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	601,507
主な財源					

事業内容	○中学校における保健室活動に必要な経費 ・衛生消耗品 ・医薬品
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	03 学校給食の充実
小事業	04 調理設備等の充実に要する経費（学校給食センター）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,099,394			
1008	修繕料	1,013,760			
1103	手数料	32,920			
1501	原材料費	89,760			
1702	機械器具費（事業執行用）	4,451,498			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,742,258	6,687,332	0	54,926

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	6,687,332
主な財源					

事業内容

調理機器・器具の充実及び施設設備の適切な維持管理
○消耗品費（オゾン発生ランプ、コンテナ用キャスターほか）
○修繕料（設備・機器等の小規模修繕）
○機械器具費（配食用食缶、米飯用弁当箱、白衣用洗濯機・乾燥機ほか）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	16 日向市学校給食センター管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	300,000			
1004	燃料費	5,194,761			
1007	光熱水費	15,233,757			
1008	修繕料	4,610,727			
1103	手数料	28,000			
1106	火災保険料	222,872			
1201	施設維持管理委託料	7,170,844			
1301	使用料及び賃借料	1,385			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,174,277	32,762,346	0	411,931

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	25,000	32,737,346
主な財源	自動販売機電気料				

事業内容

施設全体の維持管理及び調理等に使用する燃料等の調達
○消耗品費（ボイラー用薬品、粉砕塩、空調フィルターほか）
○燃料費（プロパンガス）
○光熱水費（電気料、水道料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料（施設維持管理委託料）

排水処理施設及び合併浄化槽施設維持管理業務	1,496,000
エレベーター維持管理業務	422,400
電気工作物保安業務	627,000
機械警備業務	316,800
消防設備保守点検業務	572,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	08 日向市学校給食センター一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	0	1301	使用料及び賃借料	4,620
0701	講師謝金	20,000	1701	庁用器具費（一般的事務用）	105,050
0716	記念品料	46,000	1816018	宮崎県学校給食共同調理場連絡協議会負担金	11,168
0801	費用弁償	0	2601	国に対する公課費	40,300
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	247,000			
1004	燃料費	52,236			
1006	印刷製本費	15,950			
1008	修繕料	99,770			
1101	通信運搬費	339,000			
1103	手数料	29,000			
1107	自動車損害保険料	75,056			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,484,450	1,085,150	0	399,300

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,085,150
主な財源					

事業内容

学校給食作品展の実施、その他学校給食の運営に係る諸事務
○講師謝金（学校給食作品展審査員謝金）
○記念品料（学校給食作品展賞品）
○消耗品費（PPC料、食育本購読料ほか）
○庁用器具費（シュレッダー、防滴防塵電波時計）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館 0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	18 日向市立図書館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	1,367,142			
1008	修繕料	227,205			
1201	施設維持管理委託料	1,700,424			
1301	使用料及び賃借料	68,160			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	13,200			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,231,000	3,376,131	0	854,869

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	12,000	3,364,131
主な財源	自動販売機電気料				

事業内容

○図書館の維持管理経費
・光熱水費(電気、水道料)
・修繕料(図書館小規模修繕料)
・維持管理委託料（清掃・警備・設備保守点検ほか）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

清掃業務	872,080
植栽等管理業務	158,400
空調装置保守点検業務	121,000
消防・防災設備保守点検業務	52,800
自家用電気工作物保安業務	163,900
警備業務	134,244
エレベーター点検業務	198,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館　0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	10 市立図書館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	38,400	1103	手数料	117,524
0104	会計年度任用職員報酬	17,419,344	1106	火災保険料	39,200
0301	職員手当	2,453,212	1107	自動車損害保険料	102,660
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	3,115,238	1206	その他の委託料	538,010
0801	費用弁償	541,282	1301	使用料及び賃借料	9,763,448
0802	普通旅費	1,300	1805019	宮崎県公共図書館連絡協議会負担金	16,600
1001	消耗品費	284,664	2601	国に対する公課費	28,900
1004	燃料費	58,175			
1005	食糧費	660			
1006	印刷製本費	96,800			
1008	修繕料	82,300			
1101	通信運搬費	1,233,770			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,596,000	35,931,487	0	1,664,513

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	14,000	35,917,487
主な財源	図書資料複写手数料、図書購入基金利子				

事業内容

○一般事務費
・図書館協議会の開催に係る経費（報酬及び費用弁償）
・会計年度任用職員に係る経費（報酬、保険料等）
・図書資料の貸出及び管理、地区公民館図書室とのネットワークに係る経費（システム賃借料、電信電話料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
新規購入図書マーク作成業務　538,010

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	04 社会教育の推進		
事業 中事業	01 生涯学習環境の充実		
事業 小事業	01 社会教育委員事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	371,200			
0801	費用弁償	16,359			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	15,652			
1805022	宮崎県社会教育委員連絡協議会負担金	9,200			
1806003	北部社会教育委員連絡協議会負担金	18,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
680,000	433,011	0	246,989

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	433,011
主な財源					

事業内容

(1)委員の構成　13人　学校教育、社会教育、家庭教育の関係者及び教育委員会が必要と認める者
(2)職務内容
①社会教育に関する諸計画の立案、②定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。
③①、②の職務を行うために必要な調査研究、④公民館運営審議会委員を兼ねている。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	19 細島地区コミュニティセンター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	9,623			
1207	指定管理者委託料	755,000			
1301	使用料及び賃借料	58,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
894,000	823,573	0	70,427

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	823,573
主な財源					

事業内容

(1)細島地区コミュニティセンターの管理運営業務に必要な経費
・委託料　指定管理料、使用料　AEDリース料
(2)指定管理者等
・日向市細島地区コミュニティセンター管理組合　・指定期間　平成28年度から令和2年度まで

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料
指定管理委託料　755,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0001 生涯学習係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	11 社会教育一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	0			
0802	普通旅費	2,600			
0803	特別旅費	0			
1001	消耗品費	69,720			
1005	食糧費	0			
1101	通信運搬費	95,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	13,750			
1805064	宮崎県子どもの安全を守る連絡会負担金	11,100			
1806063	東臼杵社会教育協会負担金	24,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
642,000	216,170	0	425,830

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	216,170
主な財源					

事業内容

生涯学習係一般事務費等
〇一般事務費
旅費、消耗品費、通信運搬費（電信電話料）、庁用備品等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	06 地域文化の保存・継承・活用		
事業 中事業	02 文化財等の保存・継承・活用		
事業 小事業	05 妙国寺庭園管理事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	440,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
440,000	440,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	41,000	0	0	399,000
主な財源	文化財保存事業補助金				

事業内容

国指定名勝「妙国寺庭園」の維持・管理経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

庭園維持管理業務委託　440,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	06 地域文化の保存・継承・活用		
事業 中事業	02 文化財等の保存・継承・活用		
事業 小事業	08 関本勘兵衛家管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	5,684			
1004	燃料費	6,685			
1007	光熱水費	58,571			
1101	通信運搬費	30,000			
1106	火災保険料	34,135			
1201	施設維持管理委託料	1,170,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,317,000	1,305,475	0	11,525

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,305,475
主な財源					

事業内容

市指定文化財「関本勘兵衛家住宅」の維持・管理経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

管理活用業務委託　950,400
警備業務委託　158,400
消防・防災設備保守点検委託料　61,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	20 防災センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	11,727			
1207	指定管理者委託料	154,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	16,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
182,300	182,027	0	273

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	182,027
主な財源					

事業内容	日向市美々津まちなみ防災センターの維持・管理経費 ・指定管理者　耳川お舟出の会（平成28年度～令和2年度）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	21 美々津軒管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	15,271			
1207	指定管理者委託料	2,631,200			
1301	使用料及び賃借料	168,786			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,817,000	2,815,257	0	1,743

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,815,257
主な財源					

事業内容	日向市美々津軒の維持・管理経費 ・指定管理者　美々津Nanjansuno（平成28年度～令和2年度）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	22 美々津まちなみセンター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	11,899			
1207	指定管理者委託料	2,211,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,223,000	2,222,899	0	101

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,222,899
主な財源					

事業内容
日向市美々津まちなみセンターの維持・管理経費
・指定管理者　耳川お舟出の会（平成28年度～令和2年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	25 細島みなと資料館管理運営費（「その他の博物館」）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	41,433			
1207	指定管理者委託料	4,096,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,139,000	4,137,833	0	1,167

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	39,000	4,098,833
主な財源	細島みなと資料館入館料				

事業内容
日向市細島みなと資料館（市指定有形文化財「旧高鍋屋旅館」）の維持・管理経費
・指定管理者　ほそしま燈の会（平成28年度～令和2年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	26 歴史民俗資料館管理運営費（「その他の博物館」）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0103	非常勤特別職員報酬	6,400			
0801	費用弁償	5,000			
1106	火災保険料	28,335			
1207	指定管理者委託料	4,193,200			
1702	機械器具費（事業執行用）	42,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,289,800	4,275,235	0	14,565

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	360,000	3,915,235
主な財源	歴史民俗資料館入館料				

事業内容	日向市歴史民俗資料館（市指定有形文化財「廻船問屋河内屋跡」）の維持・管理経費 ・指定管理者　美々津の歴史的町並みを守る会（平成28年度～令和2年度）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	27 まちなみ広場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	7,816			
1007	光熱水費	34,435			
1103	手数料	4,000			
1201	施設維持管理委託料	121,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,000	167,251	0	2,749

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	167,251
主な財源					

事業内容	まちなみ広場の維持・管理経費
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 管理業務委託　66,000 浄化槽維持管理業務委託　17,600 浄化槽清掃業務　37,400

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	23 日向市文化交流センター施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	129,910			
1106	火災保険料	106,330			
1207	指定管理者委託料	53,148,000			
1402	維持補修工事	7,798,285			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
61,185,000	61,182,525	0	2,475

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	119,000	61,063,525
主な財源	文化交流センター自動販売機電気使用料、自動車損害共済金				

事業内容

日向市文化交流センターの維持・管理・運営
・指定管理委託料　指定管理者（公財）日向文化振興事業団（令和元年度～令和5年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

指定管理者委託	53,148,000

○工事請負費

交流広場天窓ガラス取替工事	71,885
駐車場照明灯ポール補修工事	46,200
屋外ステージ天窓改修工事	2,750,000
センター内トイレ改修工事	4,079,900
（総工事費7，379，900円のうち4，079，900円を本運営費にて支出）	
屋外ステージ防鳥工事	850,300

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	24 東郷地区文化センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,815			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	1,470,866			
1103	手数料	38,500			
1106	火災保険料	39,474			
1201	施設維持管理委託料	1,571,240			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,065,000	3,132,895	0	932,105

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	308,000	2,824,895
主な財源	文化センター使用料、東郷地区文化センター共用アンテナ電気料				

事業内容

東郷地区文化センターの維持・管理経費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

機械警備業務委託	369,600
舞台装置保守点検業務委託	484,000
空調装置保守点検業務委託	220,000
自家用電気工作保守点検業務委託	149,600
清掃業務委託	141,240

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0003 若山牧水係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	28 若山牧水記念文学館管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	99,795			
1103	手数料	15,000			
1106	火災保険料	183,800			
1207	指定管理者委託料	15,630,000			
1603	権利購入費	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,931,000	15,928,595	0	2,405

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	15,928,595
主な財源					

事業内容

若山牧水記念施設（若山牧水記念文学館、若山牧水生家及び付属施設）の維持・管理経費
・指定管理委託料　指定管理者　日向若山牧水顕彰会（令和2年度～令和6年度）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
指定管理者委託　15,630,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0011 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	29 中央公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	536,099			
1004	燃料費	394,689			
1007	光熱水費	4,645,914			
1008	修繕料	999,614			
1103	手数料	357,550			
1106	火災保険料	30,259			
1201	施設維持管理委託料	8,782,450			
1206	その他の委託料	83,600			
1301	使用料及び賃借料	290,721			
1402	維持補修工事	4,478,100			
1816043	自家用電気工作物保安業務委託負担金	162,250			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,034,194	20,761,246	0	1,272,948

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,143,000	19,618,246
主な財源	中央公民館使用料、中央公民館印刷機使用料、中央公民館電話使用料、中央公民館自動販売機電気使用料、公衆電話委託手数料				

事業内容

日向市中央公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託のほか、ロビー上部防水改修工事等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
警備業務　2,640,000
清掃業務　3,465,000
ボイラー設備操作点検業務　687,000
エレベーター保守点検業務　462,000
空調装置保守点検業務　393,800

○工事請負費
ロビー上部防水改修工事　2,442,000
ステージ上部屋根改修工事　1,848,000

○負担金補助及び交付金
自家用電気工作物保安業務委託負担金　162,250

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0011 中央公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	12 中央公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	83,275			
1004	燃料費	19,687			
1008	修繕料	42,603			
1101	通信運搬費	260,670			
1103	手数料	14,300			
1107	自動車損害保険料	31,840			
1301	使用料及び賃借料	0			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	66,000			
2601	国に対する公課費	8,800			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
744,000	527,175	0	216,825

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	527,175
主な財源					

事業内容：日向市中央公民館の円滑な運営のため、消耗品費等需用費・電信電話料等の支出、公用車の管理等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0012 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	30 日知屋公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	35,000			
1004	燃料費	32,173			
1007	光熱水費	889,431			
1008	修繕料	184,400			
1103	手数料	74,800			
1106	火災保険料	12,099			
1201	施設維持管理委託料	4,166,640			
1301	使用料及び賃借料	139,189			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	15,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,094,000	5,549,132	0	544,868

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	729,000	4,820,132
主な財源	日知屋公民館使用料、日知屋公民館印刷機使用料、日知屋公民館公衆電話使用料、日知屋公民館自動販売機電気使用料、電気治療器電気使用料				

事業内容：日向市日知屋公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や清掃、警備等の業務委託、設備機器類の点検修繕等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

警備業務	2,147,900
清掃業務	842,800
エレベーター保守点検業務	382,800
消防防災設備保守点検業務	231,880

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0012 日知屋公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	13 日知屋公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,429,776			
0301	職員手当	201,359			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	249,026			
0801	費用弁償	49,700			
1001	消耗品費	232,905			
1004	燃料費	26,804			
1101	通信運搬費	139,000			
1107	自動車損害保険料	13,010			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,437,000	2,341,580	0	95,420

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,341,580
主な財源					

事業内容	日向市日知屋公民館の円滑な管理運営のため、会計年度任用職員の雇用、消耗品費等需用費・電信電話料等の支出、公用車の管理等を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0013 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	31 大王谷公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	21,182			
1004	燃料費	32,238			
1007	光熱水費	1,071,938			
1008	修繕料	84,810			
1103	手数料	19,800			
1106	火災保険料	123,383			
1201	施設維持管理委託料	3,514,400			
1206	その他の委託料	80,520			
1301	使用料及び賃借料	76,545			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,553,520	5,024,816	0	528,704

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	400,000	4,624,816
主な財源	大王谷公民館使用料、大王谷公民館印刷機使用料、大王谷公民館自動販売機電気使用料				

事業内容	日向市大王谷公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備・清掃等の業務委託等を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 警備業務　2,200,000 清掃業務　795,000 空調装置保守点検業務　158,400 自家用電気工作物保安業務　158,400 消防用設備等点検業務　105,600

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0013 大王谷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	14 大王谷公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,487,376			
0301	職員手当	209,471			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	264,552			
0801	費用弁償	50,400			
1001	消耗品費	180,223			
1004	燃料費	16,488			
1101	通信運搬費	140,000			
1107	自動車損害保険料	16,406			
1301	使用料及び賃借料	176,256			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,584,000	2,541,172	0	42,828

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,541,172
主な財源					

事業内容：日向市大王谷公民館の円滑な管理運営のため、会計年度任用職員の雇用、消耗品費等需用費・電信電話料等の支出、公用車の管理等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0014 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	32 美々津公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	70,000			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	783,836			
1008	修繕料	25,000			
1103	手数料	23,200			
1106	火災保険料	15,903			
1201	施設維持管理委託料	3,736,320			
1301	使用料及び賃借料	19,165			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,734,000	4,704,024	0	29,976

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	159,000	4,545,024
主な財源	美々津公民館使用料、美々津公民館印刷機使用料、美々津公民館自動販売機電気使用料、美々津公民館私用電話料				

事業内容：日向市美々津公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

警備業務	2,948,000
清掃業務	440,800
浄化槽清掃・保守点検業務	152,460
庭園管理業務	113,000
消防用設備保守点検業務	62,260
一般廃棄物収集運搬業務	19,800

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0014 美々津公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	10 教育一般事務費
小事業	15 美々津公民館一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	44,000			
1004	燃料費	0			
1101	通信運搬費	70,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
136,000	114,000	0	22,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	114,000
主な財源					

事業内容	日向市美々津公民館の円滑な運営のため、消耗品の購入、通信運搬費の管理等を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0015 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	33 南日向公民館施設管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	83,000			
1004	燃料費	31,020			
1007	光熱水費	687,119			
1008	修繕料	291,500			
1103	手数料	10,000			
1106	火災保険料	11,604			
1201	施設維持管理委託料	4,544,340			
1206	その他の委託料	17,160			
1301	使用料及び賃借料	19,165			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,093,000	5,694,908	0	398,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	174,000	5,520,908
主な財源	南日向公民館使用料、南日向公民館印刷機使用料、南日向公民館公衆電話使用料、南日向公民館自動販売機電気等使用料、公衆電話委託手数料				

事業内容	日向市南日向公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。また、経年劣化し切断した排煙オペレーターの修繕（ワイヤー交換）を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 警備業務　2,948,000 清掃業務　662,000 浄化槽清掃・保守点検業務　311,300 自家用電気工作物保安業務　158,400 エレベーター保守点検業務　392,040 消防用設備保守点検業務　72,600 一般廃棄物収集運搬業務　17,160 ○修繕料 公民館排煙オペレーター修繕工事　291,500

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0015 南日向公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	16 南日向公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	35,640			
1101	通信運搬費	54,090			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
107,000	89,730	0	17,270

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	89,730
主な財源					

事業内容：日向市南日向公民館の円滑な運営のため、消耗品の購入、通信運搬費の管理等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0016 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	34 細島公民館施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	63,097			
1004	燃料費	30,600			
1007	光熱水費	702,645			
1008	修繕料	75,600			
1106	火災保険料	4,387			
1201	施設維持管理委託料	3,527,340			
1301	使用料及び賃借料	19,165			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,519,000	4,422,834	0	96,166

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	160,000	4,262,834
主な財源	細島公民館使用料、細島公民館印刷機使用料				

事業内容：日向市細島公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等を実施した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容：

○委託料

警備業務	2,948,000
清掃業務	454,000
庭園管理業務	60,000
消防用設備保守点検業務	45,540
一般廃棄物収集運搬業務	19,800

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0016 細島公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	17 細島公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0716	記念品料	0			
0801	費用弁償	0			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	55,956			
1101	通信運搬費	90,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
187,000	145,956	0	41,044

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	145,956
主な財源					

事業内容	日向市細島公民館の円滑な運営のため、消耗品の購入、通信運搬費の管理等を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0017 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	35 東郷公民館管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	24,848			
1007	光熱水費	611,887			
1008	修繕料	48,600			
1103	手数料	16,500			
1106	火災保険料	171,415			
1201	施設維持管理委託料	3,348,400			
1301	使用料及び賃借料	76,545			
1402	維持補修工事	3,652,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,494,786	7,950,195	0	544,591

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	3,652,000	0	102,000	4,196,195
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、東郷公民館使用料、東郷公民館印刷機使用料、東郷公民館公衆電話使用料				

事業内容	日向市東郷公民館の適正、円滑な管理運営のため、光熱水費の支出や警備、清掃等の業務委託等のほか、さくら館屋根改修工事を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 警備業務　224,400 清掃業務　339,900 管理業務　2,425,500 空調装置保守点検　165,000 ○工事請負費 さくら館屋根改修工事　3,652,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課 0017 東郷公民館
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	18 東郷公民館一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	1,464,144			
0301	職員手当	206,199			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	254,578			
0801	費用弁償	80,000			
1001	消耗品費	86,706			
1004	燃料費	29,737			
1008	修繕料	0			
1101	通信運搬費	143,000			
1107	自動車損害保険料	13,390			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,375,000	2,277,754	0	97,246

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	2,277,754
主な財源					

事業内容	日向市東郷公民館の円滑な管理運営のため、会計年度任用職員の雇用、消耗品費等の購入、公用車の管理等を実施した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		
事業 大事業	07 スポーツ活動の推進と環境づくり		
事業 中事業	02 生涯スポーツの推進		
事業 小事業	02 生涯スポーツ振興事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	54,961			
1203	事業委託料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
116,000	54,961	0	61,039

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	54,961
主な財源					

事業内容	コロナ禍のため、体力・運動能力調査を中止した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0001 スポーツ振興係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	10 教育一般事務費		
事業 小事業	19 社会体育一般事務費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	16,900			
1001	消耗品費	172,485			
1003	消耗品費被服	13,000			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	309,000			
1301	使用料及び賃借料	5,180			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	13,750			
1805016	宮崎県体育協会負担金	54,000			
1805041	宮崎県体育施設協会負担金	2,000			
2403	その他特定目的基金積立金	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
766,000	586,315	0	179,685

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	586,315
主な財源					

事業内容
○一般事務費
・普通旅費・消耗品費(一般事務用品)・通信運搬費・協会負担金

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	36 お倉ヶ浜総合公園(野球場・屋内運動場以外)管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	1,012,000			
1106	火災保険料	15,499			
1207	指定管理者委託料	36,439,719			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,028,000	37,467,218	0	560,782

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	5,008,000	32,459,218
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料、建物総合損害共済災害共済金				

事業内容
お倉ヶ浜総合公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。
○施設管理運営経費
・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	37 大王谷運動公園（陸上・野球・プール以外）管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	66,950			
1103	手数料	48,400			
1106	火災保険料	4,835			
1207	指定管理者委託料	10,412,447			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,591,000	10,532,632	0	58,368

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	206,000	10,326,632
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容

大王谷運動公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。
○施設管理運営経費
・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	38 美々津運動広場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1007	光熱水費	87,595			
1008	修繕料	22,860			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	8,517			
1201	施設維持管理委託料	438,570			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
594,000	563,542	0	30,458

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	19,000	544,542
主な財源	美々津運動広場使用料				

事業内容

美々津運動広場を効果的、効率的に管理するため、地元自治会に業務委託し、施設の適正な管理運営を図った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

美々津運動広場草刈等業務委託	312,620
美々津運動広場浄化槽維持管理業務委託料	125,950

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	39 東郷地区体育施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	102,057			
1007	光熱水費	238,012			
1008	修繕料	782,980			
1101	通信運搬費	43,000			
1103	手数料	6,000			
1106	火災保険料	40,017			
1201	施設維持管理委託料	1,083,170			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,480,000	2,295,236	0	184,764

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	610,500	0	297,000	1,387,736
主な財源	水力発電施設周辺地域交付金、東郷地区体育施設使用料、東郷グラウンド使用料				

事業内容

東郷地区体育施設の効果的、効率的な施設の管理運営を図った。
（対象施設）東郷体育館、東郷グラウンド、越表体育館

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

〇委託料

日向市越表区体育館管理業務委託	57,970
東郷グラウンド管理業務委託	473,000
東郷体育館等清掃委託料	339,900
越表体育館浄化槽維持管理業務委託	85,800
防火対象物定期点検等業務委託	77,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	40 武道館管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1106	火災保険料	21,643			
1207	指定管理者委託料	1,130,945			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,189,000	1,152,588	0	36,412

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	132,000	1,020,588
主な財源	武道館使用料				

事業内容

武道館の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。
〇施設管理運営経費
・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：株式会社　文化コーポレーション）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	41 お倉ヶ浜総合公園屋内運動場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	542,793			
1207	指定管理者委託料	11,242,145			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,006,000	11,832,938	0	173,062

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,324,000	10,508,938
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料				

事業内容	お倉ヶ浜総合公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。 〇施設管理運営経費 ・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	42 日向市体育センター管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	18,211			
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	53,300			
1207	指定管理者委託料	8,191,842			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,574,000	8,311,353	0	262,647

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,553,000	6,758,353
主な財源	日向市体育センター使用料、体育センター公衆電話使用料、体育センター自動販売機電気料				

事業内容	体育センターの施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。 〇施設管理運営経費 ・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：株式会社　文化コーポレーション）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	43 大王谷陸上競技場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	89,185			
1106	火災保険料	6,767			
1207	指定管理者委託料	6,767,542			
1702	機械器具費（事業執行用）	145,860			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,037,000	7,009,354	0	27,646

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	227,000	6,782,354
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容	大王谷運動公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。 〇施設管理運営経費 ・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	44 お倉ヶ浜野球場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	48,000			
1106	火災保険料	8,272			
1207	指定管理者委託料	3,950,263			
1702	機械器具費（事業執行用）	282,160			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,353,000	4,288,695	0	64,305

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	769,000	3,519,695
主な財源	お倉ヶ浜公園使用料、夜間照明施設等使用料、お倉ヶ浜運動公園自動販売機電気料				

事業内容	お倉ヶ浜総合公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。 〇施設管理運営経費 ・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	45 大王谷野球場管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	90,000			
1106	火災保険料	7,183			
1207	指定管理者委託料	4,102,386			
1702	機械器具費（事業執行用）	91,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,309,000	4,290,869	0	18,131

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	177,000	4,113,869
主な財源	大王谷公園使用料、大王谷運動公園自動販売機電気料				

事業内容

大王谷運動公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。
〇施設管理運営経費
・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	11 スポーツ振興課 0003 スポーツ施設係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	02 体育施設費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	46 大王谷市営プール管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1008	修繕料	0			
1106	火災保険料	2,293			
1207	指定管理者委託料	3,087,804			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,247,000	3,090,097	0	156,903

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	34,000	3,056,097
主な財源	大王谷公園使用料				

事業内容

大王谷運動公園の施設を効果的、効率的に管理するために指定管理者制度を導入し、適正な管理運営を図った。
〇施設管理運営経費
・指定管理者委託料（令和2年度～令和6年度　委託先：宮崎県造園協会）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	01 選挙管理委員会費
事業 大事業	44 選挙
事業 中事業	02 選挙管理委員会運営に要する経費
事業 小事業	01 選挙管理委員会の運営に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	1,938,000			
0801	費用弁償	13,340			
0802	普通旅費	1,300			
1805004	宮崎県市町村選挙管理委員会連合会負担金	3,000			
1806001	宮崎県市町村選挙管理委員会連合会東臼杵支会負担金	3,000			
1808044	全国市区選挙管理委員会連合会分担金	29,600			
1808045	九州都市選挙管理委員会連合会負担金	6,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,121,000	1,994,240	0	126,760

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,994,240
主な財源	

事業内容

定例会（原則として毎月）と、選挙人名簿定時登録（年4回）の際に選挙管理委員会を開催し、公職選挙法等の定めにより選挙人名簿の調製や議案審議を行った。
また、選挙管理委員としての知見を深めるため、宮崎県選挙管理委員会連合会主催の研修会等に出席した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	71 選挙管理委員会	所管課	01 選挙管理委員会事務局 0001 選挙係
款	02 総務費	項	04 選挙費	目	01 選挙管理委員会費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	33 選挙管理事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	1,300			
1001	消耗品費	126,702			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	10,000			
1101	通信運搬費	29,000			
1205	システム開発等委託料	445,500			
1301	使用料及び賃借料	216,624			
1825002	研修会負担金	55,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
995,000	884,526	0	110,474

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000	0	0	883,526
主な財源	在外選挙人名簿登録事務委託料

事業内容

選挙管理委員会事務局の業務執行に係る事務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○システム開発等委託料

期日前・不在者投票管理システムレベルアップ業務	445,500

○研修会負担金

宮崎県市町村選挙管理委員会連合会（県選連）委員職員研修会出席者負担金	10,000
県選連東臼杵支会職員研修会 出席者負担金	4,500
県選連東臼杵支会委員・職員・明推協委員合同研修会出席者負担金	9,000
職員研修（選挙管理事務の基本実務）	31,900

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	72 監査委員	所管課	01 監査委員事務局 0001 監査係
款	02 総務費	項	06 監査委員費	目	01 監査委員費
事業 大事業	47 一般事務費
事業 中事業	02 総務一般事務費
事業 小事業	34 監査事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	2,688,000	1808048	西日本都市監査事務研修会都市負担金	3,000
0107	日向市証人等に対する実費弁償	0	1825002	研修会負担金	0
0801	費用弁償	56,832			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	130,267			
1002	消耗品費追録	36,179			
1005	食糧費	0			
1006	印刷製本費	248,820			
1007	光熱水費	35,000			
1101	通信運搬費	12,000			
1808046	全国都市監査委員会負担金	23,000			
1808047	九州各市監査委員会負担金	16,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,881,000	3,249,098	0	631,902

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,249,098
主な財源	

事業内容

○行政委員会委員報酬（有識者監査委員報酬　月額182千円、議会選出監査委員報酬　月額42千円）
○費用弁償及び普通旅費　監査委員監査業務費用弁償
○印刷製本費　歳入歳出決算審査・基金運用状況審査意見書、公営企業会計決算審査意見書

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費
事業 大事業	17 農業の振興
事業 中事業	03 経営安定対策の推進
事業 小事業	13 農業者年金事務事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	430,806			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	78,000			
0801	費用弁償	28,400			
0802	普通旅費	2,600			
1001	消耗品費	742			
1101	通信運搬費	35,760			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
648,400	576,308	0	72,092

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	68,000	508,308
主な財源	農業者年金事務委託金

事業内容

農業者年金業務全般に間する事業で、農業者年金の現況届・新規加入・脱退の受付・処理及び年金受給に係る相談・請求等の受給者への相談業務を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0001 農政係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	06 農林水産一般事務費
小事業	08 農業委員会事務局一般事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	6,500			
1001	消耗品費	46,902			
1003	消耗品費被服	14,300			
1005	食糧費	0			
1007	光熱水費	40,000			
1101	通信運搬費	57,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
257,600	164,702	0	92,898

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	1,000	0	115,000	48,702
主な財源	国有農地等管理処分事業事務取扱交付金、農地の現況等に関する証明手数料、嘱託登記手数料、特例事業業務委託金				

事業内容	農業委員会の運営を円滑に遂行するため、研修会等に積極的に参加するとともに、必要な物品の購入等を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	01 農業委員会費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	17 農業委員会行政事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0102	行政委員会委員報酬	23,543,970			
0716	記念品料	24,200			
0801	費用弁償	286,247			
1001	消耗品費	103,093			
1003	消耗品費被服	425,700			
1006	印刷製本費	93,060			
1101	通信運搬費	40,000			
1205	システム開発等委託料	385,000			
1206	その他の委託料	27,000			
1301	使用料及び賃借料	0			
1805086	(一社)宮崎県農業会議負担金	192,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,209,000	25,120,270	0	88,730

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	10,700,000	0	343,000	14,077,270
主な財源	農業委員会交付金、農地利用最適化交付金、全国農業新聞農業委員会推進費				

事業内容	農地法及び農業委員会等に関する法律に基づき、農家からの相談対応、荒廃農地の発生や農地の違反転用の監視などの農地パトロール、現地調査、農家意向調査を行った。また、月1回定例総会を開催し、農地の権利移動や転用の議案に対し、審議決定を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	○委託料 農地地図情報システムデータ更新業務委託　385,000 農業委員会だより配布委託料　27,000

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	15 特例事業（農業振興公社）

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	21,000			
1101	通信運搬費	5,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,000	26,000	0	31,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	26,000	0
主な財源	特例事業業務委託金				

事業内容	①農地の位置及び権利関係の確認業務 ②登記手続きに必要な書類の収集、確認業務 ③貸付け及び売渡し後における農用地等の状況の把握 ④調査業務等
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	73 農業委員会	所管課	01 農業委員会事務局 0002 農地係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	02 農業総務費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	05 農村環境の維持と生産基盤の整備
小事業	15 国有農地等管理処分事業事務費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	24,299			
1101	通信運搬費	10,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,000	34,299	0	701

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	34,000	0	0	299
主な財源	国有農地等管理処分事業事務取扱交付金				

事業内容	県より依頼があった場合は、国有農地を調査し、管理状況の把握を行った。また、農家へ適正に売り渡しがされていない農地について、農家から相談があった場合は、県とともに解決にあたった。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	

新型コロナウイルス
感染症対策事業

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0001 政策推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		

事業	
大事業	39 中山間地域の活性化と移住の促進
中事業	02 移住の促進
小事業	05 [新型コロナ対策]定住促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	125,250			
1004	燃料費	0			
1007	光熱水費	0			
1103	手数料	62,700			
1301	使用料及び賃借料	0			
1402	維持補修工事	1,496,000			
1702	機械器具費（事業執行用）	14,800			
1852036	お試し移住応援補助金	15,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,150,000	1,713,750	0	436,250

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,600,000	0	0	0	113,750
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍により地方への関心が高まる中、増加する移住検討者の活動を支援するため、お試し滞在施設の整備やレンタカー料金の一部助成を行い、移住・定住を促進する。

事業活動内容
○お試し滞在施設（幸脇住宅）の整備
○移住促進レンタカー補助金（1件）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○工事請負費
お試し滞在施設（幸脇住宅）の維持補修工事　1,496,000

事業効果
幸脇地区に本市2棟目となるお試し滞在施設を整備することにより、増加傾向である移住希望者のニーズに応える体制を拡充することができた。また、実際に現地を訪れた移住希望者からの相談に応じるとともに、レンタカー料金の一部を助成することにより、移住に向けたサポートを行うことができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		

事業	
大事業	37 情報通信基盤の整備と情報化の推進
中事業	01 情報通信基盤の整備
小事業	06 [新型コロナ対策]庁内LAN運用費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	227,838			
1101	通信運搬費	192,272			
1206	その他の委託料	32,936,368			
1301	使用料及び賃借料	74,250			
1402	維持補修工事	0			
1702	機械器具費（事業執行用）	17,005,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,014,000	50,435,728	0	578,272

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	49,100,000	0	0	0	1,335,728
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
新しい生活様式の観点からWEB会議システムを利用できる環境を整備するとともに、庁内ネットワーク環境の拡充を図り、感染拡大予防と働き方の新しいスタイルを確立する。

事業活動内容
・庁内LANネットワーク無線化
・RPAやWEB会議システム利用環境の整備

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
庁内公用LAN無線化構築業務委託　32,862,368
RPAシナリオ作成及びAI-OCR導入作業　74,000

事業効果
庁内LANネットワークを無線化することで、自席以外の場所でも同様にPC端末による業務遂行ができるようになり、コロナ禍による分散勤務や別室によるペーパーレス会議を推進することができた。
WEB会議システムを導入したことにより、事業者とのWEB打ち合わせや各種オンライン研修の受講が可能となり、コロナ禍における新たな職場環境を整備することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0003 情報政策係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	08 電子計算管理費		
事業 大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進		
事業 中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進		
事業 小事業	28 [新型コロナ対策]業務システム運用事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	1,532,000			
1301	使用料及び賃借料	1,212,200			
1702	機械器具費（事業執行用）	701,348			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,496,000	3,445,548	0	50,452

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,400,000	0	0	0	45,548
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新しい生活様式を取り入れ、住民サービスの向上と事務の効率化を図るため、電子申請システムやRPA、AI－OCR等を導入し、行政手続等のオンライン化・電子処理化を推進する。

事業活動内容

・RPA、AI－OCR、電子申請システム、ペーパーレス会議システムの導入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

RPAシナリオ作成及びAI-OCR導入作業	1,405,500
電子申請システム導入業務	110,000
ペーパーレス会議システム保守業務	16,500

事業効果

RPA及びAI-OCR導入により、システム入力作業やメール送信作業の5業務に対して、ロボット（ソフトウェア）による作業自動化や紙申請書のデータ化を実施することで、作業の効率化及び省力化を図ることができた。
電子申請システムの導入により、紙で行っていた申請手続きをオンライン化し、来庁せずに各種申請ができる体制を整備することができた。
ペーパーレス会議システムの導入により、紙資料削減によるコスト削減やオンラインで会議や打ち合わせができる環境を整備することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	01 総合政策課 0030 新型コロナ感染症緊急経済対策支援室
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	07 企画費		
事業 大事業	15 地域福祉の充実と生活支援		
事業 中事業	01 地域福祉の推進		
事業 小事業	12 [新型コロナ緊急経済対策]特別定額給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	3,977,812	1206	その他の委託料	6,069,030
0301	職員手当	8,213,570	1301	使用料及び賃借料	77,000
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	154,464	1890018	特別定額給付金	6,087,700,000
0801	費用弁償	131,840			
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	1,395,932			
1004	燃料費	42,030			
1006	印刷製本費	58,905			
1007	光熱水費	94,000			
1101	通信運搬費	7,975,320			
1103	手数料	3,223,022			
1104	広告料	524,700			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,119,642,000	6,119,637,625	0	4,375

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,119,637,625	0	0	0	0
主な財源	特別定額給付金給付事業費補助金、特別定額給付金給付事務費補助金				

目的

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」（令和2年4月20日閣議決定）の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う。

事業活動内容

○対象者：令和2年4月27日において、住民基本台帳に記録されている市民
○受給権者：世帯主
○給付実績：60，877人（29，010世帯）に対し、1人あたり100，000円を給付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

特別定額給付金に伴うシステム改修業務	2,667,500
特別定額給付金交付申請書等の印刷・封入封緘業務	3,401,530

事業効果

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市民の日常生活や地域経済の維持を支援することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	02 秘書広報課 0002 広報広聴係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	03 文書広報費		

事業	
大事業	40 市民に信頼される行政サービスの提供
中事業	01 広報・広聴活動の充実
小事業	05 [新型コロナ対策]広報強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	632,610			
1103	手数料	225,406			
1104	広告料	1,273,800			
1203	事業委託料	248,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,300,000	2,380,416	0	919,584

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,800,000	0	0	0	580,416
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

国や県、市が行う感染拡大防止対策や事業者支援策等の各種対策を市民等に周知するため、新聞広告やラジオ、チラシ等の各種メディアを活用した情報発信を行う。

事業活動内容

○新聞折込チラシ　6回
○新聞・テレビ広告　6回
○ケーブルメディアワイワイ番組制作・放映委託　2回

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
ケーブルメディアワイワイ番組制作・放映委託　2回　248,600

事業効果

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、感染者情報や感染防止対策、緊急経済対策など、正確で迅速な情報提供を行うため、市ホームページやSNS等を活用した情報発信に加え、テレビ、新聞等の報道機関を活用した相乗的な情報発信を行うことができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	17 総合政策部	所管課	03 地域コミュニティ課 0001 市民協働係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	02 公民館費		

事業	
大事業	04 社会教育の推進
中事業	02 公民館活動の充実
小事業	03 [新型コロナ対策]自治公民館等環境整備助成事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1860054	自治公民館等機能向上整備補助金	9,686,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000,000	9,686,000	0	314,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	9,200,000	0	0	0	486,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

自治公民館等の新型コロナウイルス感染症予防及び新しい生活様式に対応した環境整備を行うことにより、自治会（区）等の活動促進を図る。

事業活動内容

自治公民館等の新型コロナウイルス感染症予防に関する環境整備に対し補助を行った。
○補助内容
①物品整備事業（消耗品・備品の購入）：上限100千円（補助率10／10）
②施設整備事業（施設の改修等）　：上限150千円（補助率10／10）
○交付実績
①物品整備事業　102件（空気清浄機、非接触型体温計、消毒スタンド等）
②施設整備事業　45件（網戸の設置・張替、エアコン設置、換気扇の設置・取替等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本事業を活用し、61区が自治公民館等の新型コロナウイルス感染症予防及び新しい生活様式に対応した環境整備を実施した。コロナ禍において、自治会（区）が感染拡大防止対策を図りながら、継続して活動することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	01 総務課　0006 契約監理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	01 一般管理費		

事業	
大事業	41 効果的・効率的な行政経営の推進
中事業	02 行政運営の効率化・高度化の推進
小事業	27 [新型コロナ対策]電子入札システム導入事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,600			
1208	コンピューター・システム導入委託料	7,447,000			
1802016	電子入札システム共同利用負担金	2,680,562			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,430,000	10,145,162	0	284,838

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,000,000	0	0	0	3,145,162
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

3密回避による感染拡大防止や、入札参加者の利便性向上のため、市が発注する公共工事等において電子入札システムの導入を行う。

事業活動内容

県システム及び市財務会計システムの改修を行い、電子入札実施に向けたシステム環境を整備した。
○県システムの改修　令和2年10月14日～令和3年3月31日　1，452，000円
○市財務会計システムの改修　令和3年　1月26日～令和3年3月31日　5，995，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
宮崎県共同利用型電子入札システム導入支援業務委託　1,452,000
電子入札導入に伴う財務会計システム連携改修業務委託　5,995,000

○負担金
コアシステム購入費負担金　795,692
システム改修等負担金　1,884,870

事業効果

令和3年度より県のシステムを活用した電子入札を実施する予定であることから、県のシステムの環境設定、市の財務会計システムの改修を実施し、円滑な導入を図った。
システムの導入により、3密回避による感染拡大防止や、入札参加者の利便性向上が期待される。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課　0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		

事業	
大事業	47 一般事務費
中事業	02 総務一般事務費
小事業	35 [新型コロナ対策]雇用維持等緊急対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	13,132,648			
0203	一般職給料	1,711,363			
0301	職員手当	838,637			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	1,750,567			
0801	費用弁償	372,187			
1001	消耗品費	37,296			
1003	消耗品費被服	50,050			
1004	燃料費	5,400			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,466,000	17,898,148	0	2,567,852

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	17,800,000	0	0	0	98,148
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍の影響により失業した市民を救済するため、コロナ対応業務などが増大している課へ会計年度任用職員として雇用する。

事業活動内容

○給与（会計年度任用職員フルタイム）
○報酬（会計年度任用職員パートタイム）
○期末手当
○共済費
○通勤手当（費用弁償）
○消耗品（消耗品、被服）
○燃料費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

会計年度任用職員を延べ30人雇用したことにより、コロナ禍で厳しい就業状況にあった市民の救済を図ることができた。また、コロナ対応のために業務が増加していた部局の負担軽減を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	03 職員課 0001 人事係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	02 人事管理費		
事業 大事業	47 一般事務費		
事業 中事業	02 総務一般事務費		
事業 小事業	36 [新型コロナ対策]職員派遣に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0301	職員手当	1,125,820			
0715	報奨金	54,000			
0802	普通旅費	286,728			
1103	手数料	300,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,766,000	1,766,848	0	999,152

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	300,000	1,193,000	0	0	273,848
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新型コロナ宿泊施設への職員派遣負担金				

目的
県が設置する新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設の運営を支援するため、職員を派遣する。

事業活動内容
施設に派遣する職員の各種手当や旅費等
○職員手当　特殊勤務手当、夜間勤務手当、休日勤務手当
○報奨金　施設従事後のPCR検査費用（請求書払い不可の医療機関）
○旅費　・職員自宅から施設までの旅費　・PCR検査のための医療機関までの旅費
○手数料　施設従事後のPCR検査費用（請求書払い可の医療機関）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設の運営のために、職員16人、延べ165日間の派遣を行った。
当該施設の運営でコロナ感染者の安全な隔離が行われたことで、県北地区における感染症のまん延防止が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	06 防災推進課 0001 防災推進係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	13 災害対策本部費		
事業 大事業	25 防災体制の充実		
事業 中事業	01 災害予防対策の推進		
事業 小事業	22 [新型コロナ対策]防疫対策等事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	12,222,728			
1103	手数料	686,620			
1301	使用料及び賃借料	0			
1401	建設工事費	914,650			
1402	維持補修工事	22,928,700			
1702	機械器具費（事業執行用）	6,117,980			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,286,620	42,870,678	0	1,415,942

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	40,500,000	0	0	763,000	1,607,678
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、一般寄附金				

目的
備蓄用マスク等の購入のほか、調達困難なアルコール消毒液の代替品として市民に次亜塩素酸水を配布する。また、感染症流行下における災害時の避難所運営に備えるため、トイレ洋式化や空調整備等の環境整備を行うほか、分散避難の推進のためのホテル等の借り上げを行い、市内の感染拡大の防止を図る。

事業活動内容
災害時に開設する避難所での新型コロナウイルス感染症予防として、空調設備設置やトイレの改修工事を行うとともに、簡易間仕切りや非接触型体温計等の必要な物資・資機材等の購入を行った。
また、市民に対し消毒液の配布や横断幕設置による感染症予防啓発を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○建設工事費	
電解水給水器設置工事	393,250
天吊式プロジェクター設置工事	521,400
○維持補修工事	
南日向公民館空調設備工事	9,405,000
牧水公園ふるさとの家空調設備工事	4,781,700
日知屋公民館空調設備工事	4,640,000
中央公民館ほかトイレ改修工事	4,102,000

事業効果
台風での避難所開設時には、購入した物資や資機材等を活用し、新型コロナウイルス感染症対策をとりながらの避難所運営に努めた。
また、調達困難となった市販のアルコール消毒液の代替品として、市が次亜塩素酸水を配布することにより、市内の新型コロナウイルス感染症予防に寄与することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	11 総務部	所管課	07 資産経営課 0003 資産管理係
款	02 総務費	項	01 総務管理費
目	06 財産管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	02 総務施設管理運営費		
事業 小事業	05 [新型コロナ対策]公共施設環境整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	6,987,495			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	961,070			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,474,098	7,948,565	2,500,000	25,533

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,900,000	0	0	0	1,048,565
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
公共施設にパーテーションの設置等を行い、新しい生活様式に対応した市民活動等の促進を図る。

事業活動内容
公共施設における感染症予防を図るため、飛沫防止用パーテーションやアルコール消毒剤及び必要資材等の購入と配備を行った。
また、三密を避ける対策として、室面積も広く、換気等の条件のよい、市民ホールや第一別館1階で会議や行事等をできるように、長机や椅子等の購入を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
公共施設に飛沫防止対策資材等を配備するとともに、定期的なカウンターや机、椅子等の消毒を実施することで、施設利用者や業務従事者への感染の防止を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	03 保健対策の充実		
事業 小事業	11 [新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等安全対策支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853070	医療・介護・福祉施設等安全対策支援事業補助金	40,398,277			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,400,000	40,398,277	0	1,723

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	38,300,000	0	0	0	2,098,277
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
医療・介護・福祉施設等が、感染予防・拡大防止のための経費や、新しい生活様式に対応するための経費に対して支援を行う。

事業活動内容
新型コロナウイルス感染症への安全対策に対応した設備投資や備品等の購入等を実施する事業を対象に、暫定的かつ臨時的な措置として、予算の範囲内において、日向市「新しい生活様式」等に対応した医療施設等安全対策支援事業助成金を交付した。

医療提供施設　67件　18，691，390円
介護提供施設　35件　17，060，987円
福祉提供施設　10件　4，645，900円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○負担金補助及び交付金
日向市「新しい生活様式」等に対応した医療施設等安全対策支援事業助成金　40,398,277

事業効果
医療・介護・福祉提供施設に「新しい生活様式」を導入するにあたっては、提供施設の運営規模に左右される可能性があったが、本事業にて一定の「新しい生活様式」の導入を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0001 福祉政策係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費		

事業	
大事業	12 健康に暮らせるまちづくり
中事業	03 保健対策の充実
小事業	13 [新型コロナ対策]医療・介護・福祉施設等運営支援給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890029	医療・介護・福祉施設等運営支援給付金	50,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,400,000	50,400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	49,700,000	0	0	613,000	87,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、福祉振興寄附金				

目的

コロナ禍の影響が長引く中、医療・介護・福祉施設等の運営もひっ迫しているため、感染症対応等に係る経費として支援金を給付することで、医療・福祉サービスの提供体制の継続・維持を図る。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症の対応に係る負担を軽減し、診察や治療、高齢者支援、障がい者支援等の継続及び維持を図ることを目的に、暫定的かつ臨時的な措置として、予算の範囲内において、日向市新型コロナウイルス感染症対策医療提供施設等運営支援給付金を交付した。

医療提供施設　89件　22，200，000円
介護提供施設　40件　19，800，000円
福祉提供施設　22件　　8，400，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
日向市新型コロナウイルス感染症対策医療提供施設等運営支援給付金　50,400,000

事業効果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や長期化により、医療・介護・福祉施設等の受診及び利用を控える傾向が見られ、施設によっては医療・福祉サービスの提供体制に影響を及ぼしていた。このような中において、国、県の各種支援施策（持続化給付金など）や本事業で医療・介護・福祉施設等を支援することにより、医療・福祉サービスの提供体制を維持することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	01 福祉課 0004 保護第1係
款	03 民生費	項	03 生活保護費
目	01 生活保護総務費		

事業	
大事業	15 地域福祉の充実と生活支援
中事業	03 子どもの未来を応援する施策の推進
小事業	02 [新型コロナ対策]子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853068	子ども食堂食事支援事業補助金（新型コロナ対策）	400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400,000	400,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	300,000	0	0	0	100,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による小・中学校の臨時休業等に際し、ひとり親世帯や保護者の健康上の理由等により食事に困る家庭の児童生徒に対して、食事支援を臨時的に行う「子ども食堂」運営団体を支援する。

事業活動内容

「子ども食堂」運営団体に対し補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
子ども食堂食事支援事業補助金
2団体×200，000円＝400，000円　400,000

事業効果

コロナ禍の中、外出自粛や保護者の仕事減の影響は各世帯の食事状況にも波及しており、「子ども食堂」実施団体から好評を得たとの利用者の声が届いている。ひとり親世帯をはじめ、各児童の属する世帯の食事支援に直接つながる事業であり大きい効果となった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	27 [新型コロナ対策]ひとり親世帯への臨時特別給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	10,000			
1101	通信運搬費	74,000			
1890019	ひとり親世帯臨時特別給付金	12,810,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,584,000	12,894,000	0	690,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	12,200,000	0	0	0	694,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的	影響を受けているひとり親家庭等世帯を支援するため、児童扶養手当の認定受給者世帯に対し、臨時特別給付金を給付し、生活を支援する。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親等世帯を支援する観点から、令和2年4月1日時点における児童扶養手当の受給者に児童1人あたり1万円を支給した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	ひとり親等世帯における新型コロナウイルス感染症による経済的影響の軽減を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	28 [新型コロナ対策]子育て世帯への臨時特別給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	247,896			
0301	職員手当	22,715			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	38,556			
0801	費用弁償	4,000			
1001	消耗品費	100,000			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	870,000			
1103	手数料	522,940			
1205	システム開発等委託料	1,034,000			
1206	その他の委託料	346,505			
1890020	子育て世帯への臨時特別給付金	85,720,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
90,100,000	88,956,612	0	1,143,388

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	88,956,000	0	0	0	612
主な財源	子育て世帯への臨時特別給付金事業費補助金、子育て世帯への臨時特別給付金事務費補助金				

目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯への臨時特別給付金を支給する。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、令和2年4月（3月分含む）の児童手当（本則給付）の受給世帯に対し、児童1人あたり1万円を給付した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	新型コロナウイルス感染症により経済的影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0001 こども福祉係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	01 児童福祉総務費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	03 子育て支援制度の充実		
事業 小事業	29 [新型コロナ対策](国)ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	743,688			
0301	職員手当	777,000			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	114,000			
0801	費用弁償	12,000			
1001	消耗品費	75,000			
1006	印刷製本費	28,000			
1007	光熱水費	73,000			
1101	通信運搬費	338,000			
1103	手数料	209,440			
1205	システム開発等委託料	715,000			
1890019	ひとり親世帯臨時特別給付金	126,960,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
146,500,000	130,045,128	0	16,454,872

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	130,045,000	0	0	0	128
主な財源	ひとり親世帯臨時特別給付金事業費補助金、ひとり親世帯臨時特別給付金事務費補助金				

目的	低所得のひとり親世帯への経済的影響を軽減するため、ひとり親世帯への臨時特別給付金を支給する。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯に、1世帯5万円、第2子以降は児童1人3万円を支給した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し、収入が大きく減少した世帯には、さらに5万円を支給した。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	低所得のひとり親世帯における新型コロナウイルス感染症による経済的影響や子育て負担の軽減を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課　0002 子育て支援係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	02 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実		
事業 小事業	04 [新型コロナ対策]ヘルシースタート事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	937,293			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	274,780			
1853069	産後ケア施設感染防止対策補助金（新型コロナ対策）	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,500,000	1,212,073	0	287,927

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,212,000	0	0	0	73
主な財源	母子保健衛生費国庫補助金				

目的	市が委託している「産後ケア事業」実施施設において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために必要な費用について補助する。
事業活動内容	感染拡大防止のための備品及び消耗品の購入 ○備品　　空気除菌消臭装置2台・加湿空気洗浄機2台・除湿機2台 ○消耗品　サージカルマスク・フェイスシールド・バイザー・エプロン・角噴射ポンプ等
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍においても、安心安全な「産後ケア」が提供できるよう、「産後ケア」実施施設に、空気清浄機や除湿機等の備品やサージカルマスク等の消耗品の購入を行うことで、「産後ケア」事業を継続することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	08 [新型コロナ対策]保育環境改善等事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1853067	保育環境改善等事業補助金(新型コロナウイルス感染症対策)	12,323,000			
1853071	感染拡大防止対策補助金(新型コロナウイルス感染症対策)	12,418,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,000,000	24,741,000	0	4,259,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	12,323,000	12,418,000	0	0	0
主な財源	保育環境改善等事業補助金、保育所等感染拡大防止対策支援事業補助金				

目的

保育所等において新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に実施していくために必要な備品等の購入に係る経費や研修受講費等の補助を行い、乳幼児の感染防止対策を講じるとともに、安心安全な保育を実施する。

事業活動内容

○保育環境改善等事業補助金
保育園　13園　6，500，000円　幼保連携型認定こども園　6園　3，000，000円
認可外保育園　7園　2，823，000円
○感染拡大防止対策補助金
保育園　14園　6，918，000円　幼保連携型認定こども園　6園　3，000，000円
認可外保育園　5園　2，500，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金補助及び交付金
保育環境改善等事業補助金　12,323,000
感染拡大防止対策補助金　12,418,000

事業効果

市内保育園、幼保連携型認定こども園、認可外保育園に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための費用を補助し、安心安全な保育の継続の実施に努めた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		

事業	
大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
中事業	04 子育てと仕事の両立支援
小事業	11 [新型コロナ対策]公立保育所等施設環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	2,810,335			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,000,000	2,810,335	0	189,665

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,500,000	0	0	0	310,335
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

保育施設等のトイレの洋式化及び空調設備の整備を行うことで、新しい生活様式に対応した保育環境の整備を図る。

事業活動内容

保育施設等における感染予防や新しい生活様式に対応した環境整備を行った。
○空調設備更新　2施設
○トイレの洋式化　3施設

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
細島保育所保育室空調設備更新工事　682,000
上町保育所トイレ洋式化工事　616,000
日知屋児童センター　トイレ様式化工事　522,500
上町保育所保育室空調設備更新工事　591,800
上町保育所（北側）網戸新調交換作業工事　99,990

事業効果

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、トイレの洋式化や空調・換気の整備を行うことで、3密防止及び新しい生活様式を取り入れた安全で安心な保育環境等の構築が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0003 保育係
款	10 教育費	項	04 幼稚園費
目	01 幼稚園費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	49 [新型コロナ対策]「幼稚園」施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	355,000			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	131,384			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	486,384	0	13,616

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	486,000	0	0	384
主な財源	教育支援体制整備事業費交付金				

目的	寺迫幼稚園における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために必要な消耗品及び備品を購入する。
事業活動内容	感染拡大防止のための備品購入 ○加湿空気清浄機　2台 ○空気清浄機　1台 ○衛生用品ワゴン　1台
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍においても、安心安全な保育の提供が出来るよう、施設に空気清浄機や飛沫防止パーテーションを配置するとともに保健衛生用品の購入による手指消毒等を行うことで、感染防止対策をとりながら保育を継続することが出来た。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0011 上町保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	09 [新型コロナ対策]保育事業（上町保育所）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	403,470			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	596,530			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	1,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	500,000	500,000	0	0	0
主な財源	保育環境改善等事業補助金、保育所等感染拡大防止対策支援事業補助金				

目的	公立保育所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために必要な消耗品及び備品を購入する。
事業活動内容	感染拡大防止のための備品購入 ○除菌洗浄水生成器　1台 ○空気清浄機　5台 ○非接触体温計　2台 ○サーキュレーター　5台 ○加湿器　2台
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍においても、安心安全な保育の提供が出来るよう、施設に空気清浄機や非接触型体温計等を配置するとともに保健衛生用品の購入による手指消毒等を行うことで、感染防止対策をとりながら保育を継続することが出来た。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	02 こども課 0012 細島保育所
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	03 児童福祉施設費		
事業 大事業	11 安心して子どもを生み育てられる環境づくり		
事業 中事業	04 子育てと仕事の両立支援		
事業 小事業	10 [新型コロナ対策]保育事業（細島保育所）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	403,530			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	577,713			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	981,243	0	18,757

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	500,000	481,000	0	0	243
主な財源	保育環境改善等事業補助金、保育所等感染拡大防止対策支援事業補助金				

目的
公立保育所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために必要な消耗品及び備品を購入する。

事業活動内容
感染拡大防止のための備品購入
○除菌洗浄水生成器　1台
○空気清浄機　5台
○非接触体温計　1台
○サーキュレーター　6台
○加湿器　2台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍においても、安心安全な保育の提供が出来るよう、施設に空気清浄機や非接触型体温計等を配置するとともに保健衛生用品の購入による手指消毒等を行うことで、感染防止対策をとりながら保育を継続することが出来た。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0011 地域ケア推進係
款	03 民生費	項	01 社会福祉費
目	04 高齢者福祉費		
事業 大事業	13 高齢者の生きがいづくりと支援の充実		
事業 中事業	02 地域で暮らし続けるための支援の充実		
事業 小事業	11 [新型コロナ対策]セルフケア推進事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0714	その他の役務提供等に対する報償金	18,000			
1006	印刷製本費	715,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
750,000	733,000	0	17,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	600,000	0	0	0	133,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
外出自粛で心身の機能低下等が懸念される高齢者に対し、専門家監修のリーフレットを作成し、配布することで、自宅等でできるセルフケア（フレイル予防）の普及・促進を図る。

事業活動内容
高齢者のフレイル予防のために、自宅等で運動器・口腔機能等の維持向上を図ることができるリーフレットを専門職と連携して作成・配布し、セルフケア及び感染症対策についての啓発を行った。
○リーフレットの作成　25，000枚
○配布先
区加入全世帯、支所、公民館、医科、歯科、薬局、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護サービス事業所、高齢者クラブ、シルバー人材センター、老人福祉センター、いきいき百歳体操等の通いの場等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍においても、高齢者が自宅等で健康を維持できるよう、フレイル予防やセルフケアの重要性について関係機関と連携し、啓発することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	04 医療体制の確保		
事業 小事業	06 [新型コロナ対策]日向市PCR検査検体採取所運営事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	0			
1001	消耗品費	664,244			
1103	手数料	18,000			
1108	その他の保険料	94,440			
1203	事業委託料	545,050			
1301	使用料及び賃借料	426,800			
1402	維持補修工事	181,500			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,933,145	1,930,034	0	3,111

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	600,000	932,000	0	302,000	96,034
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、PCR検体採取所運営事業委託金、PCR検査検体採取所運営負担金				

目的

日向東臼杵郡医師会管内におけるPCR検査体制の充実を図り、医療提供体制を維持するため、検体採取に特化した検査所を日向入郷医療圏域1市2町2村で設置し、管内医療機関の負担軽減と院内感染のリスク低減を図る。

事業活動内容

宮崎県の委託を受けて、地域外来・検査センターの一つとして主に新型コロナ感染症疑似症患者の検体採取を行う「日向市PCR検査検体採取所」を開設した。
○開設期間　令和2年7月8日から令和3年3月31日まで
○開設日時　毎週月、水、金　午後1時から午後2時まで（予約制）
○検査体制　医師1名、看護師2名及び事務職員2名／1開設日当たり
○検査実績　無

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
日向市PCR検査検体採取所運営業務　545,050
○工事請負費
日向市PCR検査検体採取所仮設給水工事　181,500

事業効果

地域の医療提供体制が脆弱な本圏域における新型コロナウイルス感染症の感染拡大への備えとして、医療機関の施設内に感染症が持ち込まれないようにするための仕組みを医師会、保健所及び圏域自治体が役割を分担して構築した。
幸いにも検体採取の実績は無かったが、本事業の実施により、新たな感染症への対応も見据えた事業スキーム・連携モデルの構築にも繋がった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	01 保健衛生総務費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	04 医療体制の確保		
事業 小事業	13 [新型コロナ対策]二次救急医療機関運営支援給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1890032	二次救急医療機関運営支援給付金	3,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,000,000	3,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,900,000	0	0	782,000	318,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、二次救急医療機関運営支援負担金				

目的

医療資源の乏しい日向入郷医療圏域における感染拡大は、感染症病床の逼迫を招き、さらには救急医療にも大きな影響を及ぼしかねないことから、圏域の1市2町2村が連携して二次救急医療機関に対し感染拡大防止に係る支援を行う。

事業活動内容

日向入郷医療圏域の民間二次救急医療施設に対し運営支援給付金を交付した。
○対象施設　千代田病院、和田病院、日向病院
○給付金額　1医療機関当たり　1，000千円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍の中、市内の医療機関も、その規模や機能を問わず細心の注意を払いながら発熱患者等の診療を行っているが国による財政的な支援策は限定的である。特に、救急医療施設は日夜、住民の命と健康を守るために多くの医療従事者を抱え、施設規模も大きいことから感染拡大防止に要する費用も多額になる。
このため本給付金の活用により対策に係る費用負担が軽減され、ひいては圏域における救急医療体制の維持・継続の一助となった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課 0012 地域医療推進係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	06 診療所費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	04 医療体制の確保		
事業 小事業	07 [新型コロナ対策]初期救急診療所事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0720	慰労金	250,000			
1001	消耗品費	29,106			
1402	維持補修工事	860,310			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	513,414			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,654,324	1,652,830	0	1,494

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	1,047,000	605,830
主な財源	宮崎県医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金、初期救急診療所運営費(入口工事)負担金				

目的

診療所における感染拡大防止対策を講じ、診療所従事者の感染リスク低減を図る。
また、国の「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」に基づき、診療所従事者に対し慰労金を支給する。

事業活動内容

○感染拡大防止対策の実施
発熱や風邪症状のある患者とそれ以外の患者を分けて診療を行うための施設改修及び備品購入
○新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の支給
対象者：看護師及び医療事務

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

外部照明等設置工事	79,310
発熱外来入口増設工事	748,000
発熱外来入口警備機器交換工事	33,000

事業効果

入口ドアの増設、テントや空気清浄機等の備品設置により、患者の症状等に合わせて動線を確保した上で診察室を分けて診療を行うことができるようになり、診療所従事者の感染リスクの低減が図られた。
また、コロナ禍において日々患者と接し心身に相当な負担がかかる中、使命感を持って業務に従事している診療所従事者に慰労金を支給した。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	03 保健対策の充実		
事業 小事業	12 [新型コロナ対策]感染症対策に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1205	システム開発等委託料	1,265,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,265,000	1,265,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,265,000	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金				

目的

市民の健康と暮らしを守るため、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努める。また、国の方針に基づき、接種体制の確立を図る。

事業活動内容

健康管理システム「健康かるて」に、新型コロナワクチン接種券発行機能・接種記録管理機能を追加するため、当該システムの改修を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

健康管理システム改修業務委託	1,265,000

事業効果

市の健康管理システムに、新型コロナワクチン接種券発行機能・接種記録管理機能を追加することで、接種券の紛失者に対し、窓口での接種券の再発行が可能になり、市民の利便性が向上した。また、接種者の接種記録を台帳管理することができ、市民の健康管理事務の効率化に繋がった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	04 いきいき健康課 0002 健康づくり係
款	04 衛生費	項	01 保健衛生費
目	02 予防費		
事業 大事業	12 健康に暮らせるまちづくり		
事業 中事業	03 保健対策の充実		
事業 小事業	14 新型コロナウイルスワクチン接種事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	610,060			
0301	職員手当	336,749			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	96,286			
1001	消耗品費	225,085			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	30,000			
1103	手数料	0			
1203	事業委託料	1,282,500			
1301	使用料及び賃借料	2,088,900			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,648,295			
1702	機械器具費（事業執行用）	598,125			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,119,000	6,966,000	5,150,000	3,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	6,966,000	0	0	0	0
主な財源	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金				

目的

市民の健康と暮らしを守るため、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努める。また、国の方針に基づき、接種体制の確立を図る。

事業活動内容

市民の新型コロナワクチン接種に先立ち、以下の整備等を行った。
（1） ワクチン接種予約に係る受付システムの構築、コールセンターの設置
（2） 国のワクチン接種記録システムに対応するための市のシステムの改修
（3） 市内医療機関へのワクチン配送で使用する保冷バック等の購入
（4） 市が設置する新型コロナワクチン集団接種会場で使用する備品等の購入

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務委託　1,017,500
ワクチン接種記録システムに係る住民情報システム等改修作業委託　265,000

事業効果

新型コロナウイルスワクチン接種に係る所要の準備、整備等を行うことで、市民への円滑なワクチン接種の実施に繋げることができた。また、国の方針に基づく、接種体制の確立に向け、効果的に取り組むことができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	20 商工業の振興		
事業 中事業	01 活力ある商業の振興		
事業 小事業	21 [新型コロナ緊急経済対策]中小企業等雇用維持支援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0701	講師謝金	180,000			
1006	印刷製本費	0			
1104	広告料	0			
1865037	新型コロナウイルス感染症緊急対策雇用維持支援事業補助金	1,038,100			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,680,000	1,218,100	0	461,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,100,000	0	0	0	118,100
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

国の雇用調整助成金の申請手続等を行う中小企業等を支援するため、中小企業等を対象とした無料相談会の開催や、専門家による申請手続等を依頼する経費の一部を助成する。

事業活動内容

コロナ禍により、一時的に従業員の休業等を行い休業手当等を支給する中小企業等が、国の雇用調整助成金を活用するにあたり、申請手続について専門家による無料相談会の開催と、申請手続きを社会保険労務士等に委託した際の経費に対する助成を行った。
○無料相談会の開催　　開催回数：22回、相談企業数：30社
○申請手続に対する助成　14件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍により事業活動の縮小を余儀なくされた中小企業等に対し、国の雇用調整助成金等の複雑な申請手続等を支援した結果、同助成金等の申請件数を増やし、労働者の失業の予防や雇用の維持を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	20 商工業の振興		
事業 中事業	01 活力ある商業の振興		
事業 小事業	24 [新型コロナ対策]中小企業等応援給付金給付事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	742,710			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	106,632			
0801	費用弁償	32,800			
1001	消耗品費	140,008			
1006	印刷製本費	55,000			
1101	通信運搬費	450,000			
1104	広告料	0			
1890021	中小企業応援給付金	277,120,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
278,649,000	278,647,150	0	1,850

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	276,200,000	0	0	0	2,447,150
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍により売上が急減している市内の中小企業等に対し、給付金を支給することで事業継続を支援するとともに、本市経済の維持を図る。

事業活動内容
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、外出自粛等の行動要請や休業要請等が全国的に行われ、経済活動の縮小が余儀なくされている中、売上が急減している市内の中小企業等に対し、給付金を交付した。
○給付対象　令和2年1月から令和2年12月までのいずれかの月の売上高が前年同月比30%以上減少している中小企業等
○交付件数　市内中小企業等1，417件

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍により長期的に経済活動の縮小を余儀なくされていた市内中小企業等に対し、応援給付金を交付したことで、経営安定及び雇用の維持が図られ、地域経済の安定化に繋がった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	20 商工業の振興		
事業 中事業	01 活力ある商業の振興		
事業 小事業	26 [新型コロナ対策]中小企業特別融資事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867041	新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補給補助金	17,723,269			
2403	その他特定目的基金積立金	71,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
89,000,000	88,723,269	0	276,731

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	87,500,000	0	0	0	1,223,269
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
売上高が減少した中小企業等が、宮崎県中小企業融資制度「新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付」を受けた場合に、市が利子の全額を3年間補給し、中小企業等の事業の継続を支援する。

事業活動内容
○利子補給補助金の交付　153件
宮崎県中小企業融資制度「新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付」により融資を受けた市内中小企業等に対して令和2年度中の利子補給補助金を交付した。
○基金の積立
令和3年度から令和5年度に交付する同貸付による利子補給補助金の見込額を基金に積み立てた。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症経済対策のため、県が創設した同融資制度では、県が保証料を全額補助、市が3年間の利子補給を行っている。コロナ禍により多大な影響を受けている中小企業等に対し、同補助金を交付したことで同融資制度の貸付件数が増え、中小企業等の経営安定及び雇用の維持が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	27 [新型コロナ対策]住宅・店舗等リフォーム促進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	123,948			
0301	職員手当	161,132			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	43,649			
0801	費用弁償	5,000			
1001	消耗品費	19,743			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	0			
1101	通信運搬費	30,000			
1857079	住宅・店舗等リフォーム促進事業補助金	17,575,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,063,000	17,958,472	0	104,528

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,600,000	0	0	0	1,358,472
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新しい生活様式に対応した住環境や店舗等の改修を促進するため、住宅・店舗等のリフォーム工事費の補助を行う。また、補助を行うことで市内小規模登録事業者等を利用した住宅等のリフォーム工事が促進され、市民の生活環境の向上と地域経済の維持、活性化が図られる。

事業活動内容

市内小規模登録事業者等を利用して、市内の住宅及び店舗等のリフォーム工事を行う者に対して、経費の一部を補助した。
○住宅リフォーム　180件
自宅のリフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の10%（最大10万円）を助成
○店舗リフォーム　19件
店舗のリフォーム工事費20万円以上に対し、補助対象工事費の20%（最大20万円）を助成

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

本事業を実施したことで、市内小規模登録事業者等を利用した住宅・店舗等のリフォーム工事が促進され、コロナ禍における市内事業者の受注機会の創出、及び新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」に対応した住環境の整備が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	28 [新型コロナ対策]応援消費プレミアム付商品券発行事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1006	印刷製本費	670,780			
1101	通信運搬費	820,260			
1206	その他の委託料	0			
1857080	応援消費プレミアム付商品券発行事業補助金	142,618,094			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
222,140,000	144,109,134	78,000,000	30,866

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	62,400,000	79,264,000	0	0	2,445,134
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、応援消費プレミアム付商品券発行事業補助金				

目的

コロナ禍により消費が停滞している市内経済の活性化を図るため、県と連携し、プレミアム付商品券を発行する。

事業活動内容

○応援消費プレミアム付商品券「コロナに負けるな！元気クーポン」の発行
・実施主体：日向市新型コロナウイルス感染症緊急対策プレミアム付商品券発行事業実行委員会
第1弾　（発行数）40，000冊、（販売数）39，997冊、（プレミアム率）30%、（販売方法）先着販売
第2弾　（発行数）40，000冊、（販売数）39，123冊、（プレミアム率）30%、（販売方法）抽選販売

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、売り上げが減少する市内店舗、飲食店等への影響を緩和するため、応援消費プレミアム付商品券を発行したことで、市内における消費喚起が図られ、地域経済の安定化に繋がった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	29 [新型コロナ対策]タクシーデリバリー事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857082	タクシーデリバリー事業補助金	355,497			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
900,000	355,497	0	544,503

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	300,000	0	0	0	55,497
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍により需要が落ち込むタクシー業と飲食業をマッチングし、相互の受注機会を生み出すとともに、新たな飲食形態であるテイクアウトを浸透させるため、タクシーデリバリー事業に取り組む団体等へ実証事業に係る経費の一部を補助する。

事業活動内容

市内飲食店からタクシーを利用してテイクアウト商品を発注者のもとに運ぶタクシーデリバリー事業の実証事業を行う「日向市地域タクシーデリバリー協議会」に対し、補助金を交付した。
○タクシーデリバリー事業実施事業者への支援事業　　発注件数：187件
○タクシーデリバリー事業に関する制度設計事業
○タクシーデリバリー事業実施事業に関する調査研究　アンケートの実施等

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍により低迷するタクシー業及び飲食業が連携して行うタクシーデリバリー事業の実証事業を支援することで、テイクアウトの浸透及びタクシー利用の拡大を図るとともに、新たなビジネスモデルとしての課題抽出や可能性を見出すことができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	31 [新型コロナ対策]休業等要請協力金等交付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	485,851			
0301	職員手当	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	96,900			
0801	費用弁償	21,000			
1001	消耗品費	55,677			
1006	印刷製本費	256,300			
1101	通信運搬費	114,522			
1890025	感染症対策休業要請等協力金・支援金	67,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,143,000	68,230,250	0	912,750

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	33,100,000	31,419,000	0	0	3,711,250
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、感染症対策休業要請等協力金事業補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、県からの「接待を伴う飲食店等」への休業等の要請に応じた事業者等に対し、協力金等を支給することで、休業等要請の実効性を高め、感染拡大防止を図るとともに、事業者等の事業継続を支援する。

事業活動内容

令和2年7月30日に県が行った新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく休業等の要請に応じ、対象期間中（8月3日～16日）、自らが運営する食事提供施設の休業又は営業時間短縮を行った事業者等に対し、協力金を交付した。
○交付件数　休業　　186店舗
　　時間短縮営業　200店舗

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

県の要請に応じ食事提供施設の休業又は営業時間短縮を行った事業者等に対し、国や県と連携し協力金を交付したことで、事業者の事業継続及び新型コロナウイルス感染症のまん延防止が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	32 [新型コロナ対策]営業時間短縮要請協力金交付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0104	会計年度任用職員報酬	0			
0403	会計年度任用職員報酬に係る保険料	0			
0801	費用弁償	0			
1001	消耗品費	15,952			
1004	燃料費	0			
1006	印刷製本費	99,550			
1007	光熱水費	50,000			
1101	通信運搬費	202,427			
1104	広告料	165,000			
1890030	営業時間短縮要請協力金	565,200,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
566,300,000	565,732,929	0	567,071

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	54,400,000	509,162,000	0	0	2,170,929
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、感染症対策休業要請等協力金事業補助金				

目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、県が飲食店等へ営業時間短縮を要請したことに伴い、要請に応じた飲食店等に対し協力金を交付する。

事業活動内容

県が行った新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく営業時間短縮の要請に応じ、自らが運営する食事提供施設において、県が指定する対象期間に営業時間短縮を行った事業者等に対し、協力金を交付した。
○交付件数　第1期（1月9日～22日）　470店舗
　　第2期（1月23日～2月7日）　475店舗

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

県の要請に応じ自らが運営する食事提供施設の時間短縮営業を行った事業者等に対し、国や県と連携し協力金を交付したことで、事業者の事業継続及び新型コロナウイルス感染症のまん延防止が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	01 商工港湾課 0001 中小企業振興係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	33 [新型コロナ対策]中小企業等緊急支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1007	光熱水費	0			
1101	通信運搬費	5,000			
1890031	中小企業等緊急支援給付金	7,320,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,420,000	7,325,000	35,090,000	5,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,000,000	0	0	0	325,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき県が行った飲食店等への営業時間短縮要請や、県独自の緊急事態宣言により、飲食店のみならず広範な業種へ影響が及んでいることから、営業時間短縮要請協力金等の支援対象外となる飲食関連事業者やその他事業者のうち売上が減少した中小企業等に対し給付金を支給することで、本市経済の維持を図る。

事業活動内容

令和3年1月の県の飲食店等への営業時間短縮要請や県独自の緊急事態宣言による行動要請等の影響により、売上が前年と比較して30％以上減少している市内の中小企業等に対し、給付金を支給した。
○交付件数　76件（令和2年度の申請実績）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

県が発令した緊急事態宣言に伴う飲食店等の営業時間短縮や市民の外出・移動の自粛等により、経営に影響を受けた市内中小企業等に緊急的に給付金を交付し事業継続を支援したことで、市内経済の活力維持が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	20 商工業の振興		
事業 中事業	01 活力ある商業の振興		
事業 小事業	22 [新型コロナ緊急経済対策]飲食店等クーポン券発行事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1857078	飲食店等クーポン券発行事業補助金	23,944,228			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,945,000	23,944,228	0	772

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,700,000	0	0	0	1,244,228
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

県内に先駆け、プレミアム率40%の「みんなで応援！飲食クーポン」を発行し、緊急事態宣言等で客足の遠のいた飲食店等の市内消費を喚起し下支えすることで、事業活動の継続を支援する。

事業活動内容

○事業概要
発行額等　：7，000円分×10，000シート（1シートは、1枚500円券の14枚綴り）
販売価格　：5，000円／シート（プレミアム率40%）
販売場所　：市役所（5月9日～10日）、まちの駅とみたか（5月11日～）
販売期間　：令和2年5月9日～5月22日
利用期間　：令和2年5月9日～7月31日

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

同事業に参画した利用可能店舗は最終的に約230店舗で、市民に向けて外出自粛解除後の飲食店利用やテイクアウトなどの地元消費を促すことができ、7，000万円以上の経済効果が図られた。
最終換金額は69，474，500円（99．2%）

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		
事業 大事業	20 商工業の振興		
事業 中事業	01 活力ある商業の振興		
事業 小事業	23 [新型コロナ緊急経済対策]宿泊施設等安全対策事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1101	通信運搬費	10,000			
1865036	宿泊施設等安全対策費助成金	4,920,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,300,000	4,930,000	0	370,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,600,000	0	0	0	330,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

感染拡大防止や宿泊施設事業者の経営安定化を図るため、消毒等の安全対策に係る経費を助成する。

事業活動内容

○受付期間　令和2年4月24日～令和3年3月31日
○助成額　1室あたり1万円。10室以下は実数×1万円、10室以上は10万円、以降10室ごとに10万円加算する（上限50万円）。
○対象事業者数
ホテル7件、民宿等26件、コテージ類2件（合計35件）　5，300，000円（予算）
○助成実績
ホテル7件、民宿等19件、コテージ類2件（合計28件）　4，930，000円（執行率93．0%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

旅行者が安全に安心して市内ホテルや民宿等に宿泊できるよう、業種別ガイドラインに基づき実施する客室消毒や除菌など安全対策等に係る経費を、各施設の客室（棟）数に応じて助成することで、経営の安定化を図った。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	02 商工業振興費		

事業	
大事業	20 商工業の振興
中事業	01 活力ある商業の振興
小事業	25 [新型コロナ対策]地域商業活性化促進支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	672,100			
1006	印刷製本費	0			
1103	手数料	0			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000,000	672,100	0	327,900

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	600,000	0	0	0	72,100
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
外出自粛等により深刻な影響を受けた地元飲食店等を支援するため、のぼり旗等を製作し、地元消費の喚起を図る。

事業活動内容
「サーフタウン日向」や、「願いが叶うクルスの海」をイメージさせる2つの背景に、疫病退散を願う「妖怪アマビエ」をデザインしたのぼり等を製作し、コロナ禍により落ち込んでいる市内消費を喚起した。

○のぼり等
・通常サイズ　500本　573，100円
・卓上サイズ　150本　　99，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
6月下旬から市内の観光施設や市内飲食店及び小売事業者等へ直接出向き、のぼり旗は店頭入り口などに掲揚、また卓上のぼりについてはレジやカウンターなどに設置を促し、消費者に向け「地元消費」を喚起することで地域経済の活性化を図った。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 アピール力の高い「観光拠点づくり」
小事業	16 [新型コロナ対策]観光施設等感染拡大防止対策事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	572,000			
1103	手数料	100,000			
1206	その他の委託料	5,360,300			
1301	使用料及び賃借料	93,253			
1401	建設工事費	198,550			
1702	機械器具費（事業執行用）	3,326,950			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,203,000	9,651,053	0	551,947

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,200,000	2,017,000	0	0	434,053
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、観光施設等受入環境整備支援事業費補助金				

目的
市内観光施設等にサーモグラフィー検温システム等を設置し、観光客等に常時検温等を実施することで感染拡大防止を図るとともに、安全に安心して利用できる環境を整備する。

事業活動内容
○対象施設（市内観光施設6ケ所：観光4駅、馬ヶ背茶屋、お倉ヶ浜海水浴場）
①サーモグラフィー検温システム、非接触型体温計の購入　3，326，950円（備品購入費）
②飛沫防止アクリルパネル等の購入　572，000円（消耗品費）
③人感センサー付き照明の設置　198，550円（工事請負費）
④お倉ヶ浜ビーチハウス駐車場利用者安全対策業務委託　5，360，300円（委託料）
⑤看板設置　100，000円（役務費）
⑥コンテナリース料　93，253円（使用料及び賃借料）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
お倉ヶ浜ビーチハウス駐車場利用者安全対策業務委託　5,360,300

○工事請負費
人感センサー付き照明の設置　198,550

事業効果
市内観光施設等6ケ所に、サーモグラフィー検温システムや飛沫防止アクリルパネル等を設置。また、道の駅とうごう及び海の駅ほそしまの公衆トイレには、利用者を認知しライトが自動点灯する人感センサーを設置するなど、コロナ禍にあっても、観光客が安全に安心して利用できる環境を整備した。
また、県外客の多く訪れるお倉ヶ浜海水浴場では、出入口においてドライブスルー方式で非接触による検温や連絡先等の聞取りを実施したほか、ビーチハウス内においてもサーモグラフィー検温システムを配備し常時監視するなど、感染予防対策を講じた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 アピール力の高い「観光拠点づくり」
小事業	17 [新型コロナ対策]交通事業者運行継続支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1865040	交通事業者運行継続支援金	5,280,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,500,000	5,280,000	0	220,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,900,000	0	0	0	380,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

外出自粛や移動自粛により、深刻な影響を受ける貸切バス事業者等の交通事業者へ、固定経費の一部を補助し、事業の継続を支援する。

事業活動内容

○受付期間　令和2年10月1日～令和3年2月26日
○助成額　タクシー1台あたり2万円、バス1台あたり10万円、代行運転業随伴車1台あたり2万円
○対象事業者数　タクシー5件、バス3件、代行運転業12件、福祉タクシー5件（合計25件）
○実績
タクシー5件、バス3件、代行運転業6件、福祉タクシー5件（合計19件）
5，280，000円（執行率96%）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

経済活動の急速な縮小に伴い、観光関連産業への影響が危惧される中、本市観光まちづくりにおいて二次交通を支え、さらに市民の安心・安全な移動手段でもある交通事業者等に対し、固定経費の一部相当を支給することで、事業活動の継続を支援することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	01 アピール力の高い「観光拠点づくり」
小事業	18 [新型コロナ対策]魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0702	出会謝金	0			
1206	その他の委託料	1,315,650			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,050,000	1,315,650	5,734,000	350

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,315,650
主な財源					

目的

観光庁が実施する「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業として、「新しい生活様式」に対応したイベントやアクティビティ等導入可能性調査を実施する。

事業活動内容

①HOSOSHIMAグルメフェス　221，150円
・チラシ及びCM制作業務
・イベント開催ガイドラインに基づく「感染予防対策マニュアル」作成業務

②日向岬一帯屋外アクティビティ導入可能性調査業務　1，094，500円
・調査地点　日豊海岸国定公園、日向岬一帯

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

HOSOSHIMAグルメフェス開催準備委託	221,150
日向岬一帯屋外アクティビティ導入可能性調査業務	1,094,500

事業効果

国の実証事業として、新しい生活様式に対応したイベント「HOSOSHIMAグルメフェス」の開催を予定していたが、感染拡大により中止された。準備段階で作成した感染予防対策マニュアルは、次年度の日向三大祭りや観光イベント等の開催にあたっての指針として活用することが可能となった。
さらに、日向岬における「ジップライン」の導入可能性について専門家を招聘し現地調査を実施。国内でも有数の屋外アクティビティとなり得るポテンシャルがあり、さらに強力な誘客力を秘めているとの報告があった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0001 観光推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	03 戦略的な観光情報の発信
小事業	10 [新型コロナ対策]観光消費喚起事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	0			
1857084	観光消費喚起事業補助金	33,869,792			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,000,000	33,869,792	34,980,000	150,208

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	33,000,000	0	0	0	869,792
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

ウィズコロナに対応した新たな観光商品の造成支援や、宿泊客向けの飲食クーポン発行等により観光消費の早期回復を図る。また、サイクルツーリズムの受入基盤を整備し、脆弱な二次交通を補完するとともに、新しい生活様式に対応した誘客コンテンツを造成する。

事業活動内容

①割引クーポン券配布事業　29，956，547円
　・事業概要　発行額等　：3，000円分×10，000セット（実績　9，913セット）
②日向の魅力体験プラン実施事業　581，889円
　助成額　：宿泊型10万円／回、日帰り型5万円／回（実績　宿泊型1件、日帰り型9件）
③サイクルツーリズム推進事業　3，331，356円
　自転車9台（シティサイクル4台、クロスバイク5台）
　保管設備設置（カーポート、サイクルスタンド、その他安全装具、広報用デジタルサイネージ等購入費）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

割引クーポン券配布事業により、市内宿泊が喚起されたことで延べ9，913人の宿泊に繋がり、飲食店等においても3，000万円以上の経済効果があった。日向の魅力体験プラン実施事業については、終盤、緊急事態宣言等で事業を中止したものの、域内観光商品造成10件に対し助成を行い、市外から210名の送客実績があった。
サイクルツーリズム推進事業については、新たな誘客コンテンツとして受入基盤の構築が図られ、脆弱な二次交通を補完するとともに、観光客の利便性を向上させることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	17 [新型コロナ対策]日向サンパーク体育施設等管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1837020	指定管理者運営継続助成金	1,602,000			
2101	補償金	1,878,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,878,000	3,480,000	0	398,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	3,480,000
主な財源					

目的

コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。

事業活動内容

コロナ禍に伴う施設閉鎖要請や、施設利用者の減少による利用料金収入等の影響に対して、休業損失等の補償や運営継続を支援するための助成を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍による施設の閉鎖や自主事業等の自粛により、来場者数は大幅に減少したが、上記助成等を行ったことにより、指定管理者の継続した施設運営に寄与することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	18 [新型コロナ対策]日向サンパーク温泉管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2101	補償金	16,513,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,513,000	16,513,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	16,513,000
主な財源					

目的	コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。
事業活動内容	コロナ禍に伴う施設閉鎖要請により、利用料金収入が減少した指定管理者に対して、休業損失等の補償を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍による施設の閉鎖や自主事業等の自粛により、来館者数は大幅に減少したが、上記補償を行ったことにより、指定管理者の継続した施設運営に寄与することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0002 観光施設係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	07 商工施設管理運営費
小事業	21 [新型コロナ対策]牧水公園管理運営費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2101	補償金	1,858,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,858,000	1,858,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,858,000
主な財源					

目的	コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。
事業活動内容	コロナ禍に伴う施設閉鎖要請により、利用料金収入が減少した指定管理者に対して、休業損失等の補償を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍による施設の閉鎖や自主事業等の自粛により、来場者数は大幅に減少したが、上記補償を行ったことにより、指定管理者の継続した施設運営に寄与することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	21 商工観光部	所管課	02 観光交流課 0011 スポーツタウン推進係
款	07 商工費	項	01 商工費
目	03 観光費		

事業	
大事業	23 地域を活性化する観光の振興
中事業	05 スポーツを生かした観光交流の拡大
小事業	07 [新型コロナ対策]スポーツキャンプ活性化事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1867042	プロスポーツキャンプ等実施支援金	3,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,000,000	3,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,300,000	1,500,000	0	0	200,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、プロスポーツ等対策事業費補助金				

目的

安全・安心なスポーツキャンプの実施を図るため、当市でキャンプを行うプロ野球球団に対して、感染症対策経費等に対する支援を行った。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける本年度のプロスポーツのキャンプ実施に対し、大きな経済効果やPR効果をもたらすプロスポーツキャンプ等の継続・安定を維持するため、県と連携して誘致したプロ野球球団に支援金を交付した。

○キャンプ期間　令和3年2月21日～3月7日
○参加人数　　65名

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○負担金、補助及び交付金
プロ野球球団のキャンプ実施に対する感染症対策支援金　3,000,000

事業効果

今回はコロナ禍でのキャンプということで、感染対策を徹底したもとで無観客で実施された。
球団もコロナ禍の影響で、厳しい球団運営が予想される中、今回支援したことで今後もキャンプ継続に向け、良好な関係性が築けた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	19 [新型コロナ対策]農業応援給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1101	通信運搬費	50,000			
1890022	農業応援給付金	9,400,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,500,000	9,450,000	0	50,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	8,900,000	0	0	0	550,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

売上が減少している市内の認定農業者等に対し、給付金を支給することで事業継続を支援するとともに、本市経済の維持を図る。

事業活動内容

令和2年1月から12月のいずれかひと月の売上が前年同月比で30%以上減少した認定農業者及び認定新規就農者47経営体に対し、1経営体あたり20万円の給付金を給付した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍により大きな影響を受けた農業の担い手の経営安定が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	21 [新型コロナ対策]インドア花いっぱい応援事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,219,200			
1206	その他の委託料	780,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,000,000	1,999,200	4,000,000	800

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,900,000	0	0	0	99,200
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
コロナ禍による本市花き農家への影響を緩和するため、市が地元産の花きを買い取り、公共施設等に飾ることにより、施設利用者のストレスを緩和するとともに、農業への理解の醸成、花きの消費喚起を図る。

事業活動内容
地元産のオリエンタルユリの切り花を市役所、小中学校、保育所、介護施設等に飾るとともに、オリエンタルユリを主としたフラワーディスプレイを市役所市民ホール及び日向市駅に設置した。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
フラワーディスプレイ設置費用　780,000

事業効果
コロナ禍により大きな影響を受けた本市花き農家の経営安定が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		
事業 大事業	17 農業の振興		
事業 中事業	03 経営安定対策の推進		
事業 小事業	22 [新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(農畜産物)		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	9,570,658			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,994,000	9,570,658	0	423,342

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	9,570,658	0	0	0
主な財源	県産農畜水産物応援消費推進事業補助金				

目的
コロナ禍による本市農畜産業への影響を緩和するため、県産農畜産物を小中学校の学校給食へ提供し、食育を通じ農畜産業への理解を醸成するとともに、中長期的な消費拡大を図る。

事業活動内容
「宮崎牛」、「みやざき地頭鶏」及び「宮崎ブランドポーク」を小中学校の学校給食に提供することで、県産畜産物の消費拡大を図った。
○賄材料費
・宮崎牛（提供回数：3回）　6，938，568円
・みやざき地頭鶏（提供回数：5回）　1，945，163円
・宮崎ブランドポーク（提供回数：2回）　686，927円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
コロナ禍により影響を受けた本市畜産農家の経営安定が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	01 農業畜産課 0001 農業振興係
款	06 農林水産業費	項	01 農業費
目	03 農業振興費		

事業	
大事業	17 農業の振興
中事業	03 経営安定対策の推進
小事業	24 [新型コロナ対策]農産物等販売機会創出事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	0			
1104	広告料	0			
1206	その他の委託料	0			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	946,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,300,000	946,000	0	354,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	800,000	0	0	0	146,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

コロナ禍による市内農家への影響を緩和するため、公共施設を活用して農産物等の販売機会を創出し、農業への地元産農産物の消費喚起を図る。

事業活動内容

市内の農家等に対し、10月から2月に月1回、市役所1階市民テラスでの販売機会を提供することで、地元産農産物の消費拡大を図った。

○庁用器具費
・会議用テーブルの購入　528，000円
・テントの購入　418，000円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

地元産農産物の消費拡大により、本市農家におけるコロナ禍による影響の軽減が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0001 林業振興係
款	06 農林水産業費	項	02 林業費
目	02 林業振興費		

事業	
大事業	18 林業・木材産業の振興
中事業	04 森林資源の保全と活用
小事業	09 [新型コロナ対策]森林づくり推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856189	山の暮らしを守る森林整備支援事業補助金	1,109,531			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,323,000	1,109,531	0	213,469

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	900,000	0	0	0	209,531
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

出材調整等により影響を受ける林業経営体へ、原木搬出を伴わない森林整備事業に対する補助を行うことで、市の基幹産業の一つである林業の雇用維持・確保を支援する。対象は林齢7年から10年生の除伐を対象とし、県の補助事業の対象外となる除伐費用へ補助を行う。

事業活動内容

新型コロナウイルス感染拡大等の影響等による原木の出材調整が行われたため、木材の搬出を伴わない森林整備事業に対して補助を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

原木搬出調整がされた期間において、木材搬出を伴わない森林整備事業に対する補助を行ったことで、原木価格の下支え及び林業経営者の雇用確保の維持につながった。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	03 [新型コロナ対策]県産農畜水産物応援消費推進事業(水産物)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1009	賄材料費	17,193,137			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,194,000	17,193,137	0	863

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	17,193,137	0	0	0
主な財源	県産農畜水産物応援消費推進事業補助金				

目的	コロナ禍による本市水産業への影響を緩和するため、県産水産物を小中学校の学校給食へ提供し、食育を通じ水産業への理解を醸成するとともに、中長期的な消費拡大を図る。
事業活動内容	宮崎県学校給食提供推進事業を活用し、県産水産物（マグロ・マダイ・カンパチ・ブリ・ウナギ等）を小中学校の学校給食に計13回提供し、各学校において水産物の食育学習を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	県産水産物を小中学校の学校給食へ提供することで、コロナ禍による水産業への影響を緩和することができた。また、合わせて食育学習を行うことで、水産業への理解を醸成するとともに、中長期的な消費拡大が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	04 [新型コロナ対策]養殖経営緊急支援事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1856190	養殖経営緊急支援事業補助金	3,405,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,405,000	3,405,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,600,000	1,703,000	0	0	102,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、養殖経営緊急支援事業補助金				

目的	外食需要の減退等により養殖魚の出荷が減少したことで、飼育期間の延長を余儀なくされた養殖経営事業者へ、掛かり増し飼育費用の一部を県と連携して補助し、養殖経営の維持・持続化を支援する。
事業活動内容	対象となる市内の養殖経営事業者に対し、県と連携して掛かり増し飼育費用の一部補助を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	養殖経営事業者の掛かり増し経費の一部を支援することで、養殖経営の維持・安定を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	22 農林水産部	所管課	03 林業水産課 0004 水産振興係
款	06 農林水産業費	項	03 水産業費
目	02 水産業振興費		

事業	
大事業	19 水産業の振興
中事業	02 漁業の経営基盤強化
小事業	05 [新型コロナ対策]水産業応援給付金給付事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	50,000			
1101	通信運搬費	50,000			
1890023	水産業応援給付金	15,680,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,780,000	15,780,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	14,900,000	0	0	0	880,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

売上が減少している市内の漁業経営体に対し、給付金を支給することで事業継続を支援するとともに、本市水産業の維持を図る。

事業活動内容

売上が減少し申請された87経営体に対し、給付金の支給を行った。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍により、売上が減少した漁業経営体に対し給付金を支給することで、事業の継続を支援し、本市水産業の維持が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	03 民生費	項	02 児童福祉費
目	04 児童遊園費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	03 民生施設管理運営費
小事業	12 [新型コロナ対策]児童遊園環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	300,000			
1402	維持補修工事	1,900,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,200,000	2,200,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,000,000	0	0	0	200,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

身近に出かけることのできる児童遊園の環境改善を図ることで、市民の健康増進や憩いの場を提供する。

事業活動内容

○本町児童遊園SL運転室塗装　1式
○公園トイレ洋式化　3基
○本町児童遊園SL修繕　1式
○御堂川街区公園外遊具改修　1基
○高木剪定　4遊園12本

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

本町児童遊園SL運転室塗装工事	415,000
公園トイレ大便器改修工事	768,410
本町児童遊園SL修繕工事	550,000
御堂川街区公園外遊具改修工事	166,590

○委託料

都市公園等高木剪定業務委託	300,000

事業効果

社会経済活動が再開する中、児童遊園内に「新しい生活様式」を定着させ、来訪者が安心して快適に利用できるような環境整備を行うことにより、心身のリフレッシュや健康増進の場としての児童遊園の魅力を向上させ、誘客の促進を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費		

事業	
大事業	35 美しい景観の保全と形成
中事業	03 花と緑あふれるまちづくりの推進
小事業	04 [新型コロナ対策]日豊海岸線等沿道修景推進事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	2,000,000			
1402	維持補修工事	2,898,300			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,900,000	4,898,300	0	1,700

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	4,200,000	450,000	0	0	248,300
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、新しい生活様式自然公園誘客促進補助金				

目的

コロナ禍に伴い、県の新規事業「新しい生活様式を取り入れた自然公園誘客促進事業」を活用し、眺望スポットの景観形成を図る。

事業活動内容

○眺望スポット草刈り業務（日向岬7箇所、米の山2箇所、馬ヶ背遊歩道3箇所、大王谷遊歩道2箇所）
○県道日知屋財光寺線植栽（ワイルドフラワー　A＝1，100㎡）
○中央通線景観改善（高木剪定：クスノキ3本、ナンキンハゼ21本、ナンキンハゼ支障木伐採172本）
○権現崎遊歩道修景工事（枯れ木除去37本、眺望スポット雑木伐採、記念碑周辺雑木伐採、進入防止車止め更新）
○日向岬修景工事（馬ヶ背茶屋前花壇張り芝　A＝47㎡）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

権現崎遊歩道修景工事	2,068,959
日向岬修景工事	260,284
中央通線景観改善工事	569,057

○委託料

中央通線景観改善業務委託	55,200
日向岬外眺望スポット草刈業務委託	1,483,900
県道日知屋財光寺線植栽業務委託	460,900

事業効果

社会経済活動が再開する中、自然公園内に「新しい生活様式」を定着させ、来訪者が安心して快適に利用できるような環境整備を行うことにより、心身のリフレッシュや健康増進の場としての自然公園の魅力を向上させ、誘客の促進を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課 0004 公園街路係
款	08 土木費	項	05 都市計画費
目	07 公園費		

事業	
大事業	33 生活の質を高める都市基盤の整備
中事業	02 憩いのある公園・緑地の整備
小事業	07 [新型コロナ対策]都市公園環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1201	施設維持管理委託料	3,000,000			
1402	維持補修工事	21,000,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,000,000	24,000,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	22,800,000	0	0	0	1,200,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

身近に出かけることのできる都市公園の環境改善を図ることで、市民の健康増進や憩いの場を提供する。

事業活動内容

○公園トイレ洋式化　20基
○御鉾ヶ浦公園健康遊具改修　3基
○亀崎西街区公園遊具新設　3基（すべり台、ブランコ、ロッキングチェア）
○原町街区公園外健康遊具新設　3公園6基

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費

公園トイレ大便器改修工事	4,807,960
御鉾ヶ浦公園外健康遊具改修工事	4,796,000
亀崎西公園遊具新設工事	2,255,000
原町街区公園外健康遊具設置工事	2,222,000

○委託料

都市公園等高木剪定業務委託	3,000,000

事業効果

社会経済活動が再開する中、公園内に「新しい生活様式」を定着させ、来訪者が安心して快適に利用できるような環境整備を行うことにより、心身のリフレッシュや健康増進の場としての公園の魅力を向上させ、誘客の促進を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	01 消防本部総務課 0002 消防団係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	02 非常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	02 消防団体制の充実
小事業	07 [新型コロナ対策]非常備消防の活動に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	499,807			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000	499,807	0	193

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	400,000	0	0	0	99,807
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
消防団機庫にマスクや消毒液等を配備し、コロナ禍においても感染予防を徹底することで、地域防災に欠かせない消防団の活動が継続出来る体制を構築する。

事業活動内容
消防団機庫(48ヶ所)に感染防止用品を配備した。
○消毒用エタノール　10リットル　3箱　59，400円
○マスク　140箱　92，620円
○グローブ　50箱　110，000円
○感染防止衣　185枚　234，025円
○手指消毒液　3箱　3，762円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
災害現場等で消防団員が新型コロナウイルスに感染しないよう感染防止用品を消防団機庫に配備し、出動時に活用することで現場活動に専念できる体制を整えることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	41 消防本部	所管課	03 消防本部警防課 0001 警防係
款	09 消防費	項	01 消防費
目	01 常備消防費		

事業	
大事業	24 消防体制の充実
中事業	01 警防・救急体制の充実
小事業	11 [新型コロナ対策]救急体制の強化に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,099,604			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,100,000	1,099,604	0	396

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	900,000	0	0	0	199,604
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
マスクや感染防護衣等を整備し、救急隊員や傷病者等の感染予防を徹底することで、コロナ禍においても適切な救急業務の継続が出来る体制を構築する。

事業活動内容
感染拡大に備え、感染防止用品を購入し備蓄を行った。
○グローブ　50箱　69，300円
○清拭用品(60袋)、マスク(50箱)　79，860円
○シーツ(500枚)、フィルター(100枚)　129，800円
○消毒液(5種類)　110，440円
○感染防止衣(上下)　(582枚)　710，204円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
新型コロナウイルス感染症の拡大に備えて、感染防止用品を備蓄しておくことにより、品不足になった場合でも救急隊員が業務を継続できる体制を整備できた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	01 教育総務課 0002 施設係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実		
事業 中事業	04 安全で安心な教育環境の充実		
事業 小事業	32 [新型コロナ対策]教育施設環境整備事業		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	14,718,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,000,000	14,718,000	0	282,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,900,000	0	0	0	818,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
幼稚園・小中学校のトイレの洋式化を行うことで、新しい生活様式に対応した市民活動等の促進を図る。

事業活動内容
学校施設のコロナウイルス感染症予防対策として、トイレの洋式化改修を行った。
改修箇所：70箇所（幼稚園　2箇所　・　小学校　53箇所　・　中学校　15箇所）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○工事請負費
教育施設トイレ改修工事（1工区）　7,700,000
教育施設トイレ改修工事（2工区）　7,018,000

事業効果
新型コロナウイルス感染症対策を目的とし、学校施設内のトイレの洋式化を推進し安全で安心な教育環境を構築できた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	01 教育総務費
目	02 事務局費		
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進		
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実		
事業 小事業	49 [新型コロナ対策]教育振興に要する経費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1871011	修学旅行キャンセル料等補助金	1,211,210			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,300,000	1,211,210	0	88,790

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,200,000	0	0	0	11,210
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的
修学旅行のキャンセル等に係る経費を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。

事業活動内容
○行先変更によるホテルキャンセル料　2校　237人　976，470円
○旅行中止に伴うキャンセル料　2校　283人　234，740円

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
予定していた修学旅行をコロナ禍により、やむを得ず中止や行先変更したために発生したキャンセル料について、市が負担することにより、保護者の経済的な負担の軽減が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	42 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
0802	普通旅費	3,900			
1001	消耗品費	75,000			
1004	燃料費	10,000			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	150,000			
1101	通信運搬費	200,000			
1202	工事施工を伴う委託料	125,670,000			
1203	事業委託料	2,286,900			
1702	機械器具費（事業執行用）	143,698,060			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
272,300,000	272,093,860	0	206,140

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	204,064,000	0	52,976,000	0	15,053,860
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金、GIGAスクールサポーター配置支援事業補助金、学校情報通信ネットワーク施設整備費補助金				

目的

「新しい生活様式」の構築及び「Society5．0」の推進を図るため、国の補助金を活用し、校内の高速大容量通信ネットワークの整備や児童1人1台のタブレット端末の整備を一体的に行うとともに、GIGAスクールサポーターを配置し、ICT機器を活用した効果的な授業のあり方について研究を進める。

事業活動内容

○校内通信ネットワークの整備　富高小学校ほか11校
○GIGAスクールサポーターの配置　1名
○学習者用等コンピュータの購入　3，194台
○事務費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料

校内通信ネットワーク整備業務	125,670,000
GIGAスクールサポーター配置支援事業業務委託	2,286,900

事業効果

国が進める「GIGAスクール構想」の実現に向け、校内の高速大容量通信ネットワークの整備や児童1人1台のタブレット端末の整備を実施した。次年度以降、導入した機器を活用した分かりやすい授業を展開し、子どもの学力向上に向けた教育を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	02 教育振興費		

事業	
大事業	01 生きる力を育む教育の推進
中事業	02 小学校・中学校教育の充実
小事業	44 [新型コロナ対策]学校ICT環境整備事業(小学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	0			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	8,538,090			
1702	機械器具費（事業執行用）	9,070,600			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,121,000	17,608,690	0	512,310

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	16,700,000	0	0	0	908,690
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

臨時休業による授業日数の減少等を補うため、市内小学校にデジタル教科書やICT関連機器を導入・活用し、児童の学習意欲及び学力向上を効果的に図る。

事業活動内容

○デジタル教科書　算数（1～6年）
○デジタル教科書　英語（5～6年）
○大型テレビほか　80台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

動画や音声、書き込みを行いながら効果的に授業を行うことができるデジタル教科書を市内小学校に導入するとともに、デジタル教材を活用した授業を行うために必要となる大型テレビを全普通教室に整備し、授業での活用を図った。「GIGAスクール構想」の実現に向け整備した児童1人1台のタブレット端末も活用しながら、更にわかりやすい授業を展開し、子どもの学力向上に向けた教育を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	43 [新型コロナ対策]GIGAスクール構想環境整備事業(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	20,000			
1004	燃料費	5,000			
1006	印刷製本費	0			
1007	光熱水費	88,000			
1101	通信運搬費	100,000			
1202	工事施工を伴う委託料	63,310,000			
1203	事業委託料	2,286,900			
1702	機械器具費（事業執行用）	72,838,810			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,800,000	138,648,710	0	151,290

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	104,293,000	0	26,824,000	0	7,531,710
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金、GIGAスクールサポーター配置支援事業補助金、学校情報通信ネットワーク施設整備費補助金

目的
「新しい生活様式」の構築及び「Society5．0」の推進を図るため、国の補助金を活用し、校内の高速大容量通信ネットワークの整備や生徒1人1台のタブレット端末の整備を一体的に行うとともに、GIGAスクールサポーターを配置し、ICT機器を活用した効果的な授業のあり方について研究を進める。

事業活動内容
○校内通信ネットワークの整備　富島中学校ほか6校
○GIGAスクールサポーターの配置　1名
○学習者用等コンピュータの購入　1，619台
○事務費

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容
○委託料
校内通信ネットワーク整備業務　63,310,000
GIGAスクールサポーター配置支援事業業務委託　2,286,900

事業効果
国が進める「GIGAスクール構想」の実現に向け、校内の高速大容量通信ネットワークの整備や生徒1人1台のタブレット端末の整備を実施した。次年度以降、導入した機器を活用した分かりやすい授業を展開し、子どもの学力向上に向けた教育を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課 0001 学事係
款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費
事業 大事業	01 生きる力を育む教育の推進
事業 中事業	02 小学校・中学校教育の充実
事業 小事業	45 [新型コロナ対策]学校ICT環境整備事業(中学校)

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1206	その他の委託料	0			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	1,779,360			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,800,000	1,779,360	0	20,640

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,700,000	0	0	0	79,360
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

目的
臨時休業による授業日数の減少等を補うため、市内中学校に大型テレビを導入・活用し、生徒の学習意欲及び学力向上を効果的に図る。

事業活動内容
○大型テレビほか　18台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果
デジタル教材を活用した授業を行うために必要となる大型テレビを全普通教室に整備し、授業での活用を図った。「GIGAスクール構想」の実現に向け整備した生徒1人1台のタブレット端末との併用により、更にわかりやすい授業を展開し、子どもの学力向上に向けた教育を進めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	02 学校教育課　0005 特別支援・保健係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	01 保健体育総務費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	02 児童生徒の健康づくりの推進
小事業	04 [新型コロナ対策]保健体育の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	1,671,920			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	58,080			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,730,000	1,730,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,565,000	0	0	0	165,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金				

目的	小・中学校における感染予防を図るため、消毒液やマスク等の物品等を整備する。
事業活動内容	新型コロナウイルス感染症予防対策（各小中学校用） ○消耗品費（消毒液、マスク、使い捨て手袋等） ○備品購入費（非接触型体温計）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、小中学校用の非接触型体温計、消毒液、マスク、使い捨て手袋等を購入した。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	04 学校教育課（小学校）　0000 学校教育課（小学校）
款	10 教育費	項	02 小学校費
目	01 学校管理費		

事業	
大事業	46 市施設管理運営費
中事業	10 教育施設管理運営費
小事業	50 [新型コロナ対策]小学校施設　管理運営費[学事係]

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	17,493,851			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	10,964,149			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,458,000	28,458,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	27,029,000	0	0	0	1,429,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（小学校）				

目的	感染症対策を徹底しながら、児童の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。
事業活動内容	○学校における感染症対策等支援　（非接触型体温計、扇風機、消毒液、使い捨て手袋等） ○教職員の資質向上のための研修等支援　（研修用資料等） ○子どもたちの学習保障支援　（コピー機、プリンター、コピー用紙、印刷機用トナー等）
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	国の「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業」及び「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染リスクを最小限にしながら、教育活動を再開するとともに、児童に対し継続した学びの保障に取り組んだ。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	05 学校教育課（中学校） 0000 学校教育課（中学校）
款	10 教育費	項	03 中学校費
目	01 学校管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	51 [新型コロナ対策]中学校施設　管理運営費[学事係]		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	9,264,178			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	4,540,822			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,805,000	13,805,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	13,102,000	0	0	0	703,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校保健特別対策事業費補助金（中学校）				

目的

感染症対策を徹底しながら、生徒の学びの保障をするための取組に必要となる物品等を整備し、学校教育活動の円滑な運営を支援する。

事業活動内容

〇学校における感染症対策等支援 （非接触型体温計、扇風機、消毒液、使い捨て手袋等）
〇教職員の資質向上のための研修等支援 （研修用資料等）
〇子どもたちの学習保障支援 （コピー機、プリンター、コピー用紙、印刷機用トナー等）

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

国の「学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業」及び「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」を活用し、感染リスクを最小限にしながら、教育活動を再開するとともに、生徒に対し継続した学びの保障に取り組んだ。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	06 学校給食センター 0001 管理係
款	10 教育費	項	06 保健体育費
目	03 学校給食費		
事業 大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実		
事業 中事業	03 学校給食の充実		
事業 小事業	08 [新型コロナ対策]給食調理に要する経費（学校給食センター）		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840024	日向市学校給食会補助金	1,756,862			
1860053	学校給食費返還等事業補助金	4,651,556			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,409,000	6,408,418	0	582

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	2,600,000	0	0	3,488,000	320,418
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、学校臨時休業対策費補助金				

目的

学校臨時休業に際し、学校給食会へ必要経費を補助し、キャンセルできなかった食材費や委託加工業者等への必要経費を支援することで、学校給食の安定運営を図る。

事業活動内容

〇保護者への給食費返還等により生じた学校給食費の不足額の補助
〇物資納入業者へのキャンセルできなかった食材費等経費の支援

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

事業効果

コロナ禍による学校臨時休業に際し、保護者への給食費返還等により生じた学校給食費の不足額の補助やキャンセルできなかった食材費等経費について物資納入業者への支援を行ったことにより、学校給食の安定化を図ることができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	07 図書館　0001 図書館係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	03 図書館費		

事業	
大事業	05 図書館サービスの充実
中事業	01 図書館機能の充実
小事業	04 [新型コロナ対策]図書館サービス・資料の充実に要する経費

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1001	消耗品費	469,645			
1206	その他の委託料	354,530			
1701	庁用器具費（一般的事務用）	6,914,180			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,858,000	7,738,355	4,038,290	81,355

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	7,700,000	0	0	0	38,355
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

図書を購入し、放課後子ども教室等に新規で団体貸出を行うなど、図書館に来館せずとも読書活動が継続できる体制を整えるほか、図書消毒機等を購入し、安心して図書館を利用できる環境整備を行う。

事業活動内容

放課後子ども教室、児童クラブ、学校団体貸出用に本を購入した。また、図書館内に図書消毒機、空気清浄機を購入した。
○書籍運搬箱　60個
○台車　5台
○図書購入冊数　3，223冊
○図書消毒機の購入　1台
○空気清浄機の購入　10台

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○委託料
新規購入図書マーク作成業務　354,530

事業効果

学級文庫や児童クラブ等に新たな図書を購入し、コロナ禍でも、より多くの児童生徒が本を借りることが出来る環境の拡充を図ることができた。また、図書館の感染予防対策として、図書消毒機や空気清浄機を設置し、安心して図書館を利用してもらうことができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		

事業	
大事業	02 魅力ある教育体制や環境の充実
中事業	04 安全で安心な教育環境の充実
小事業	33 [新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設環境整備事業

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1402	維持補修工事	3,300,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,300,000	3,300,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	3,100,000	0	0	0	200,000
主な財源	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

目的

公共施設のトイレの洋式化を行うことで、新しい生活様式に対応した市民活動等の促進を図る。

事業活動内容

○和式トイレ16基から洋式トイレ12基に改修。

委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容

○工事請負費
日向市文化交流センタートイレ改修工事　3,300,000
（総工事費7，379，900円のうち3，300，000円を本事業にて支出）

事業効果

和式トイレの一部洋式化工事を行い、洋式率の増加により、新しい生活様式に対応した施設の環境整備が図られた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0002 文化財・文化振興係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	04 文化交流センター管理費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	47 [新型コロナ対策]日向市文化交流センター施設管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
1840040	指定管理者運営継続助成金	2,006,000			
2101	補償金	3,956,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,456,000	5,962,000	0	494,000

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	5,962,000
主な財源					

目的	コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。
事業活動内容	コロナ禍に伴う施設閉鎖要請や、施設利用者の減少による利用料金収入等の影響に対して、休業損失等の補償や運営継続を支援するための助成を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍による施設の閉鎖や自主事業等の自粛により、利用者数は大幅に減少したが、上記助成等を行ったことにより、指定管理者の継続した施設運営に寄与することができた。

2 年度　主な施策の成果説明書

（01 一般会計）　（単位：円）

所管部局	74 教育委員会	所管課	10 文化生涯学習課　0003 若山牧水係
款	10 教育費	項	05 社会教育費
目	01 社会教育総務費		
事業 大事業	46 市施設管理運営費		
事業 中事業	10 教育施設管理運営費		
事業 小事業	48 [新型コロナ対策]若山牧水記念文学館管理運営費		

細節コード	細節等名称	支出済額	細節コード	細節等名称	支出済額
2101	補償金	206,000			

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
206,000	206,000	0	0

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	0	206,000
主な財源					

目的	コロナ禍に伴い、料金収入等の影響を受けた指定管理者に対する施設運営支援を行う。
事業活動内容	コロナ禍に伴う施設閉鎖要請により、利用料金収入が減少した指定管理者に対して、休業損失等の補償を行った。
委託料・工事請負費・負担金補助及び交付金の主な内容	
事業効果	コロナ禍による施設の閉鎖や自主事業等の自粛により、来館者数は大幅に減少したが、上記補償を行ったことにより、指定管理者の継続した施設運営に寄与することができた。

特別会計・企業会計

2 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	05 建築住宅課
会計名	公営住宅事業特別会計		

予算現額	支出済額	不用額
375,930,000	370,707,223	5,222,777

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	54,128,000	0	36,400,000	15,634,828	264,544,395
主な財源	社会資本整備総合交付金（県地域住宅計画）ほか				

目的

「日向市公営住宅長寿命化計画」に基づいた市営住宅の整備を行い、これを低廉な家賃で賃貸することにより、市民の健康で文化的な生活の安定に寄与する。
　指定管理者に委託することにより、高齢者の見守りや早期の修繕対応及び収納率の向上など、効率的かつ安心・安全な管理運営を行う。

事業活動内容

■市営住宅の現状
　２９団地、１，３３２戸

＜主な事業＞
○市営住宅管理運営費　　１０１，８９６，７７６円
　・指定管理委託料　　７０，１９９，５００円
　・維持補修工事　　１０，９６１，１０４円

○高齢者住宅住戸改善事業　　６，３７６，１９７円
　大王谷住宅４－１３（１階）　1戸について改修を行った。

○財光寺北住宅ストック総合改善事業　　９３，４１０，９００円
　昭和５７年度建設の鉄筋コンクリート造５階建て２号棟２０戸について、外壁、塗装及び設備改修を行った。
　昭和５８年度建設の鉄筋コンクリート造５階建て３号棟２０戸について、外壁、塗装及び設備改修を行うための設計委託を行った。

○大原住宅ストック総合改善事業　　２９，５４０，６００円
　昭和４９年度建設の鉄筋コンクリート造５階建て３号棟２０戸について、バルコニーの手すり改修を行った。
　昭和４９年度建設の鉄筋コンクリート造５階建て４号棟２０戸について、バルコニーの手すり改修を行った。

○借入金元金の返済に要する経費　　１１３，８６５，７１０円
　公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金の返済

○借入金利子の返済に要する経費　　８，４５６，４２６円
　公営住宅建設や改良整備に伴って借入れた市債の元金に係る利子の返済

2 年度　　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	日向市公営住宅長寿命化計画による公営住宅ストック総合改善事業及び高齢者住戸改善事業の改修進捗率	%	R2	18	R2	18
			R元	15	R元	14

		単位	目標		実績	
活動指標	日向市公営住宅長寿命化計画による公営住宅ストック総合改善事業及び高齢者住戸改善事業の改修戸数（改修対象総戸数７５４戸）	戸	R2	21	R2	21
			R元	31	R元	30

事業評価			
	市民のニーズ	高い	安全性、居住性及び利便性向上についてニーズが高い。
	市の関与の妥当性	妥当	「日向市公営住宅長寿命化計画」及び「日向市公営住宅中長期整備計画」に基づき改修を実施している。
	成　　果	上がっている	安全性、居住性が向上した。
	成果に向けた活動量	十分であった	計画通り実施できた。
	コスト削減の可能性	ない	既設住宅の改修のためコスト削減は難しい。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	安全性、居住性及び利便性向上が図れないため影響は大きい。
	今後の方向性	拡充	今後は既設住宅の改修に加え、管理戸数の適正化に向け集約・再編、用途廃止に取り組む必要があるため、事業・予算ともに拡充の必要がある。

総評（課題・改善点）

　市営住宅の整備については、『日向市公営住宅長寿命化計画』に基づき、ストック総合改善事業及び高齢者住宅住戸改善事業を推進しているが、厳しさが増す財政状況下において、１，３３２戸の市営住宅ストックを円滑に更新するために、建物の定期点検結果から現状を把握した上で適切な改修及び修繕を実施する予防保全の取組が重要となる。
　今後は、施設の中長期的な維持管理の観点から『日向市公共施設等総合管理計画』との整合性を図るとともに、令和３年３月に策定した『日向市公営住宅中長期整備計画』において掲げる、「２０４０年時点での目標管理戸数１，０５０戸」に向けて管理戸数の適正化を推進し、適切な市営住宅の管理運営に努める。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	16 建設部	所管課	03 市街地整備課
会計名	財光寺南土地区画整理事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,296,199	45,311,565	121,955	2,862,679

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	45,311,565	0
主な財源					

目的

本地区は、宮崎県北地方拠点都市地域において「財光寺居住拠点地区」として位置づけられており、日向市の発展の一翼を担う地区として、公共施設の体系的な整備改善を行う。
あわせて民有空間との一体的な景観形成等の取組により、安全・安心で自然と共生する快適な住環境の形成を図る。

事業活動内容

○施設維持管理業務委託
・地区内草刈業務　Ａ＝６４，７７９㎡

○建設工事費
・仮舗装、防塵舗装ほか　Ｎ＝１式

○補償金
・電柱移転補償ほか　Ｎ＝１式

○その他に対する負担金（共通）
・上水道新設負担金　Ｌ＝４８９．０ｍ

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	財光寺南土地区画整理事業地における、新築や増築の件数（経済波及効果）	件	R2	30	R2	52
			R元	30	R元	51

		単位	目標		実績	
活動指標	財光寺南土地区画整理事業地における、宅地造成の面積	㎡	R2	16,000	R2	16,847
			R元	16,000	R元	11,818

事業評価		
市民のニーズ	高い	施行区域内の建物移転については、令和4年度末の移転完了を目標に実施しており、要移転対象者の早期着手の要望も高い。
市の関与の妥当性	妥当	「日向市立地適正化計画（令和3年6月公表）」において、居住機能を中心として快適かつ機能的で良好な住宅地整備を図る必要がある。
成　果	上がっている	公共施設の整備改善と併せて、民有空間の整備が図られることで、未利用地の解消につながっている。また、地区内外から居住用地を求める購入者も増えている。
成果に向けた活動量	十分であった	建物移転計画に基づいた移転先の宅地造成を実施できたことで要移転対象物件のスムーズな移転が可能となった。
コスト削減の可能性	ある程度ある	土地区画整理事業の全体事業費において、建物移転補償の占める割合が大きいことから、経済的な移転計画に基づいた事業を実施する。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	面的整備のため、事業途中で休止、若しくは廃止した場合、完了箇所と未整備箇所の住環境に格差が生じ、また、個人の財産管理に支障をきたす等の不利益が生じえる。
今後の方向性	維持	事業も長期化しているため、令和4年度末の建物移転完了を目標に事業を継続する。

総評（課題・改善点）

本地区は、宮崎県北拠点都市地域における「財光寺拠点地区」に位置付けられており、今後、人口減少社会が見込まれる中、「コンパクト＋ネットワーク」型に対応した都市構造の実現を目指し、引き続き脆弱な都市基盤の総合的な整備改善及び良好な住環境の整備を図る。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	03 市民課
会計名	城山墓園事業特別会計		

予算現額	支出済額	不用額
7,000,000	6,422,579	577,421

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	4,339,170	2,083,409
	主な財源	墓園使用料			

目的

市民の需要を踏まえながら、市営城山墓園の計画的な整備を図るとともに、利用しやすい墓園となるよう適正な維持管理に努める。

事業活動内容

主な事業内容

○城山墓園管理運営費
- ・ごみの収集・トイレ清掃委託　　１，７１６，０００円
- ・除草・樹木剪定業務委託　　２，４９９，２００円

○城山墓園水道光熱費等
- ・浄化槽検査手数料　　３，８００円
- ・水道料及び電気料　　４１８，９６１円
- ・火災保険料　　２，３３１円

○敷地内設備の補修　　９５，９３９円

○区画返還時の使用料の還付　　８９８，９８０円

○使用料及び賃借料　（システム借上料）　　３２２，９６６円

○市民アンケートに係る経費
- ・封筒印刷　　４２，９００円
- ・郵便料　　２３８，０００円

2 年度　　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	使用許可件数（４～３月）	件	R2	40	R2	28
			R元	50	R元	35
活動指標	使用許可可能件数（年度末現在件数）	件	R2	70	R2	112
			R元	70	R元	111

事業評価		
市民のニーズ	普通	近年、墓地に関する意識の変化や埋葬形態の多様化などの影響もあり、区画の申請数と返還数が同程度で推移している。しかしながら、比較的安価で、宗教宗派にとらわれない公営墓地に対して市民のニーズは高い。
市の関与の妥当性	妥当	墓地の経営主体は、市町村等の地方公共団体、宗教法人等に限定されており、都市計画による地区墓地の移転先として整備してきた経緯がある。
成　　果	ある程度上がっている	近年、区画の申請数と返還数は同程度で推移しているが、墓園の使用率は9割以上を維持している。
成果に向けた活動量	ある程度あった	墓石販売店や市民に対し、適時空き区画の情報を発信している。
コスト削減の可能性	ない	管理運営に係る経費の削減はこれ以上困難であり、施設内の簡易な補修、清掃、除草などは職員が対応している。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	休廃止した場合、墓の移転や遺骨の改葬先の確保等は困難であり、使用者に多大な負担が生じる。
今後の方向性	要改善	令和2年度に実施した市民アンケートの結果を踏まえ、墓地の需要を分析し、今後区画造成の必要性、持続可能な財政運営、市営墓地としての役割などについて、協議をすすめていく。

総評（課題・改善点）

近年、少子高齢化や核家族化など社会状況の変化から、墓地に関する市民の意識の変化、埋葬形態の多様化などがみられ、区画の申請数は減少傾向、返還数は増加傾向にある。

また、供用開始から50年以上が経過し、施設の老朽化が進行していることから、今後、施設の維持管理費用の増加が懸念されるところである。

そのため、令和2年度に使用者を含めた2，000人を対象に市民アンケート調査を実施し、今後その結果を踏まえて、市営墓地の在り方について、市民や関係機関等で構成する検討委員会を設置し、協議をすすめていくこととしている。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課
会計名	簡易給水施設特別会計		

予算現額	支出済額	不用額
6,800,000	5,864,512	935,488

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	374,881	5,489,631
	主な財源	水道料金、手数料			

目的

丸山地区簡易給水施設の適正な維持管理を行い、美々津丸山地区住民に清浄で衛生的な飲料水の供給を行う。また、民営共同管理水道施設における衛生的な水道水の安定供給を支援する。

事業活動内容

○丸山地区簡易給水施設管理運営費
美々津丸山地区簡易給水施設の維持管理を行った。
給水戸数　　９戸
給水人口　　１９人

浄水、配水施設の維持管理経費（５，８０３，６７３円）
・維持管理委託料　　１，２０８，０００円
・次亜注入設備等保守点検委託料　　６９，０００円
・水質検査委託料　　３２１，７１４円
・流量計取替等修繕料　　１５５，９５９円
・緩速ろ過池更生工事　　４，０４９，０００円

○共同管理水道施設改修等補助事業
共同管理水道施設改修等補助金　　０件　　０円

2 年度　　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	適正で安全な水質の保持率	%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

		単位	目標		実績	
活動指標	法定水質検査回数	回/１施設	R2	12	R2	12
			R元	12	R元	12

事業評価			
	市民のニーズ	高い	飲料水は地区住民のライフラインとして必要不可欠であり、安定した供給が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	施設の維持管理、飲料水の衛生管理上からも妥当である。
	成　　果	上がっている	適正で安定した水質を継続して保持することが出来た。
	成果に向けた活動量	十分であった	老朽化した丸山浄水場ろ過池の更生工事を行い安定した水質を確保するともに、定期的な水質検査の実施により水質管理や監視を行った。
	コスト削減の可能性	ない	水道法に準拠した施設管理や水質検査を実施しているため、削減できる要素はない。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業の休廃止は、安全な飲料水を提供することが不可能となるため、市民への影響は非常に大きい。
	今後の方向性	維持	計画的な施設の修繕や更新及び、安定した水源の確保等に取り組む。

総評（課題・改善点）

丸山地区簡易給水施設は、地理的な要因や区域内人口等の条件により水道事業や簡易水道事業の施設に比べて小規模な施設ではあるが、計画的な施設の修繕や更新を実施し、安全・安心な飲料水の供給を継続する必要がある。
また、民営で共同管理している飲料水供給施設等についても、適切な施設運営が行えるように必要に応じて施設改修等補助金を交付し、衛生的な飲料水の安定供給を支援する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課
会計名	国民健康保険事業特別会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,398,818,000	7,027,499,724	50,770,500	320,547,776

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	8,684,000	5,058,865,153	0	14,248,432	1,945,702,139
	主な財源	保険給付費等交付金、災害臨時特例補助金等			

目的

国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡などに対して必要な保険給付を行うとともに、健康づくりや疾病予防を推進するための保健事業等を実施し、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎国民健康保険の状況

○国民健康保険世帯数（年間平均）　８，９６８世帯

○国民健康保険の被保険者数（年間平均）　１３，６２１人

［内訳］一般被保険者　１３，６２１人　退職被保険者　０人

○世帯数・被保険者数と医療費（費用額）

区分		平成30年度		令和元年度		令和２年度	
		数値	伸率(%)	数値	伸率(%)	数値	伸率(%)
世帯数（世帯）		9,405	△ 2.80	9,175	△ 2.45	8,968	△ 2.26
被保険者数（人）	一般	14,570	△ 3.73	14,110	△ 3.16	13,621	△ 3.47
	退職	111	△ 58.89	20	△ 81.98	0	皆減
	計	14,681	△ 4.70	14,130	△ 3.75	13,621	△ 3.60
医療費（費用額）（千円）	一般	5,933,789	1.11	5,921,085	△ 0.21	5,642,272	△ 4.71
	退職	49,173	△ 57.93	12,802	△ 73.97	0	皆減
	計	5,982,963	△ 0.05	5,933,887	△ 0.82	5,642,272	△ 4.91
一人当たり医療費（費用額）（円）	一般	407,261	5.03	419,637	3.04	414,233	△ 1.29
	退職	443,003	2.33	640,079	44.49	0	皆減
	合計平均	407,531	4.88	419,950	3.05	414,233	△ 1.36

◎医療費適正化対策　　１４，２８３千円

国民健康保険制度についての広報活動、適正受診についての訪問指導や啓発活動、レセプト内容点検等を実施し、医療費適正化の推進に努めた。

○多受診・重複受診者訪問指導　　１３９件

○重複服薬訪問指導　　１件

○レセプト内容点検状況

再審査件数		減点された額
請求 2,487件	決定 1,560件	3,570,040円

財政効果件数	財政効果額	一人当たりの額
2,641件	27,470,743円	2,020円

○特別調整交付金（結核・精神該当レセプト）

１０，６１４件　交付金決定額７５，７０４千円

○国保・後期高齢者医療・元気づくり出前講座

０回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

2 年度　主な施策の成果説明書

事業活動内容

◎保険税徴収状況（還付未済額を含む）　詳細は「資料編」を参照

区分			令和2年度 医療給付費分 数値	伸率(%)	後期高齢者支援金分 数値	伸率(%)	介護納付金分 数値	伸率(%)
一般状況	被保険者世帯数(平均) A		8,965世帯	△2.1	8,965世帯	△2.1	3,588世帯	△6.0
	被保険者数(平均) B		13,601人	△3.4	13,601人	△3.4	4,138人	△6.2
徴収状況	現年分	調定額 C	813,502千円	△3.2	286,672千円	△3.4	111,999千円	△4.3
		収入額	772,582千円	△1.3	272,280千円	△1.6	104,376千円	△1.1
		収納率	95.0%	1.8	95.0%	1.8	93.2%	3.0
	滞納繰越分	調定額	229,858千円	△8.2	79,363千円	△7.7	47,335千円	△6.6
		収入額	48,628千円	3.1	16,481千円	1.5	9,094千円	△1.4
		収納率	21.2%	2.4	20.8%	1.9	19.2%	1.0
	計	調定額	1,043,360千円	△4.3	366,035千円	△4.4	159,334千円	△5.0
		収入額	821,210千円	△1.0	288,761千円	△1.4	113,470千円	△1.2
		収納率	78.7%	2.6	78.9%	2.4	71.2%	2.7
1世帯当たりの保険税調定額(現年)C/A			90,742円	△1.1	31,977円	△1.4	31,215円	1.8
1人当たりの保険税調定額(現年)C/B			59,812円	0.3	21,077円	0.0	27,066円	2.0

賦課状況		所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
	医療給付費分	8.60%	11.00%	21,600円	21,600円
	後期高齢者支援金分	3.10%	5.00%	7,500円	7,400円
	介護納付金分	2.90%	6.20%	8,900円	7,200円

◎保健対策

○国保いきいき温泉健康づくり推進事業（サンパーク温泉休館のためＲ２年９月末までの事業）

・温泉施設利用料助成　３１人（利用回数７４回）

・サンパーク温泉健康相談　３回（利用者３０人）

○はり・きゅう・マッサージ施術料補助

５，２２３千円（利用者２，４００人）

◎保健事業

１　国保保健指導事業　7，586千円

総合的な健康づくり事業を推進するために各種保健事業を実施し、国保被保険者及び市民の疾病予防と健康意識の高揚に努めた。

（1）国保一般事業　　279千円

○健康まつり事業　（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○高電位治療器の保守点検

（2）国保保健指導事業（歯科）　1，340千円

○健康教育　0回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

○フッ素洗口　19園（実施児711人）

（3）国保必須事業　　5，967千円

○特定健診未受診者対策

・個別訪問、電話やはがきでの受診勧奨及び啓発活動

・特定健診受診率向上事業支援業務（データホライゾンより、レセプト及び特定健診結果を用いて、現在通院中の者から特定健診と同等の検査を実施している者を抽出してもらい、その対象者へ情報提供の依頼を実施　　796名

○生活習慣病の1次予防に重点を置いた早期介入保健指導事業

・個別栄養相談（参加者379人）

2 年度　　主な施策の成果説明書

事業活動内容	・血糖値二次精密検査の対象者について個別訪問による検査説明を実施 2　保健福祉総合施設管理費　　11，558千円 東郷地区住民への総合的な保健福祉サービスの場として利用 3　特定健診・特定保健指導事業　　38，727千円 （1）特定健康診査（生活習慣病の発症予防） 〇対象者　　国保被保険者（40歳～74歳） 〇受診率　　33．3%＜R3年6月速報値＞ （2）特定保健指導（生活習慣改善の支援） 〇対象者　　特定健康診査結果に基づくメタボリックシンドローム該当者及び予備軍とされた人 〇保健指導率　　２２．７%＜Ｒ３年６月速報値＞

2 年度　　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	①国民健康保険税現年度収納率 ②一人あたり年間医療費費用額	①% ②円	R2	①92.50 ②411,000	R2	①94.76 ②414,233
			R元	①92.5 ②411,000	R元	①92.86 ②419,950

		単位	目標		実績	
活動指標	①コンビニエンスストアでの納付件数 ②療養給付費等保険者負担金 ③国民健康保険特定健診受診率	①件数 ②千円 ③%	R2	①11,800 ②4,267,065 ③34.0	R2	①12,214 ②4,181,724 ③33.3（速報値）
			R元	①11,500 ②4,435,637 ③60	R元	①11,978 ②4,350,713 ③~~32.8（速報値）~~ 33.3

事業評価	市民のニーズ	高い	自営業者はもちろんのこと、失業・病気等で被用者保険から脱退した方も加入する医療保険における最後のセーフティネットとして必要とされる。
	市の関与の妥当性	妥当	国民健康保険制度が広域化され、県が運営の主体に加わったが、引き続き市町村が保険者であることには変わりない。
	成　　果	上がっている	医療費適正化対策への取組及び新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けての外出自粛・受診控えの影響もあり、一人あたりの費用額は減少している。保険税は、滞納対策に取り組んだ結果、現年度の収納率が向上した。
	成果に向けた活動量	十分であった	重複受診者や重複服薬者等に対し、必要に応じて薬剤師会にも助言をいただきながら訪問指導を行った。またコンビニ収納や口座振替促進など保険税を納税しやすい環境整備や、滞納処分に適正に取り組んだ。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	被保険者への案内文書や事務文書について見直し、郵送料の削減、紙資源の減量に努めることで、コスト削減の余地がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	国民健康保険は、国民皆保険制度の根幹に位置しており、法令上休廃止できない。
	今後の方向性	維持	被用者保険が拡大され、国民健康保険の被保検者は自営業者と失業・病気等の方がほとんどとなることから、さらに財政運営が厳しくなると思われるが、全ての国民が安心して暮らせるための基本となる制度であるため、今後も維持する必要がある。

総評（課題・改善点）	国民健康保険制度が広域化され、県が運営主体になったことで単年度の財政運営は安定しているが、それに伴い県に事業費納付金を納める必要があり、納付金額を積算するための調査や説明会出席等の事務負担も出てきた。また、県の見込んだ事業費納付金額にもズレが生じることから、国民健康保険事業特別会計の収支の見極めが更に難しくなった。 歳入の確保としては、保険税の滞納者との接触機会をできるだけ多く設け、きめ細かな納税相談を行いながら適正な滞納処分に取り組み、現年度分、過年度分とも収納率を上げることができた。しかし、他自治体と比較すると依然として低い位置にあり、収納率及び特定健診の受診率が保険者努力支援交付金の交付額に影響を及ぼすため、今後も更なる取組が求められる。 歳出では、保険給付費は新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響もあり昨年度と比較して３．５４ポイントの減となっているが、被保険者の減、医療の高度化や薬剤の高額化により一人あたりの医療費としては１．３６ポイントの微減となっている。 今後も一人あたりの医療費は増加することが見込まれるため、厳しい財政運営が続くと思われるが、基金を活用しながら、保険税収納体制の強化や滞納対策の早期実施、積極的な滞納処分による収納率の向上、データ分析業者との連携による特定健診の受診率向上を目指し、財源確保と医療費適正化に努めていく。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課
会計名	介護保険事業特別会計（保険事業勘定）		

予算現額	支出済額	不用額
5,748,332,000	5,521,165,900	227,166,100

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	1,361,514,421	786,741,682	0	1,362,540,000	2,010,369,797
主な財源	介護給付費負担金(国・県)、地域支援事業交付金(国・県)、支払基金交付金等				

目的

介護保険制度の安定的な運営を図り、社会福祉の増進を目的とする。
令和２年度は、第７期介護保険事業計画（平成３０年度～令和２年度）に基づき介護保険事業を行うとともに、第７期計画の進捗を検証し、第８期介護保険事業計画（令和３年度～令和５年度）の策定を行う。

事業活動内容

介護保険法に基づき保険者（市）が地域の実情を踏まえて策定する「介護保険事業計画」（３年で１期）に沿って、介護保険料の設定や高齢者が要介護度に応じて選択する様々な介護サービス給付及び地域支援事業を行った。
令和２年度の主な取組として、介護予防及び要介護度の重度化予防を実現するための自立支援の推進、地域包括支援センターの機能強化と包括的ケアマネジメントの推進、医療・介護の連携の推進、認知症施策の推進、介護給付適正化事業の充実などを図り、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組んだ。また、第７期計画の実績に対する評価を行い、本市が取組むべき課題を明確にし、第８期介護保険事業計画の策定を行った。

＜基本情報＞
○第１号被保険者数（令和２年度末）　：１９，４８７人
○認定者数（第１号被保険者　令和２年度末）
　要支援１：　１５４人　　要支援２：　２２８人
　要介護１：　４７１人　　要介護２：　５１８人
　要介護３：　３７７人　　要介護４：　４３８人　　要介護５：　２８９人

＜主な事業費＞
○介護給付費（介護サービス利用の現物給付事業費等）
　４，９１３，８５９，１０６円　（１０９，９８０，６２８円増）
○地域支援事業費（介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業）
　３２１，３４２，８２４円　（　１７，０３１，７２６円増）
○事務費（介護保険事業に係る事務費）
　１３０，５３３，９８７円　（　１，２５２，１０８円増）

＜介護給付適正化の取り組み＞
○要介護認定の適正化
○ケアプラン点検
○住宅改修などの点検
○介護サービス事業所への実地指導
○自立支援型地域ケア会議（地域ケア個別会議）の開催

＜介護保険料収納率＞
○現年度分　９９．１５％
○滞納繰越分　３７．０７％

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	介護認定率	%	R2	14.10	R2	12.70
			R元	16.50	R元	13.39

		単位	目標		実績	
活動指標	介護予防教室自主活動箇所数	箇所	R2	100	R2	83
			R元	80	R元	84

事業評価			
	市民のニーズ	高い	高齢化の進展に伴い、介護保険給付の増加が見込まれており、介護サービスの充実や質の向上が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	市が保険者となっている。
	成　　果	上がっている	各地域包括支援センターの介護予防事業の取り組みにより、介護認定率も目標値どおり抑えられた。
	成果に向けた活動量	十分であった	地域包括支援センター、事業者、住民等の関係者と協働し、高齢者への自立支援に向けたサービス実施による自立の促進や重度化予防の推進に努めた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	今後、介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防事業の実施により、介護給付費の削減が見込まれる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	介護保険事業は、国の制度により、実施されているものであり、休止、廃止した場合は高齢者の日常生活に重大な支障が生じる。
	今後の方向性	拡充	地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる社会づくりを推進する。

総評（課題・改善点）

団塊の世代が７５歳以上となる２０２５年を見据え、地域の実情に応じた高齢者福祉・介護保険事業を計画的に推進するため、平成２９年度に策定した「第７期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう、必要な保険給付を行った。
また、地域支援事業では、介護予防・生活支援サービス事業において、高齢者支援の充実を図った。
介護給付費については、計画値の５，５５６，１５３，７４５円に対し、決算額が４，９１３，８５９，１０６円となった。介護予防の取組強化により、給付費が抑えられたものと考えられる。
今後は、新しく策定した「第８期日向市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、利用者への適切な介護サービスを確保するため、基盤整備を進めるとともに、持続可能な介護保険制度の円滑な運営を目指し、介護給付の適正化、介護サービスの質の確保、介護サービスの安定的な提供に取り組み、介護保険財政の健全化に努める。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	03 高齢者あんしん課
会計名	日向入郷地域介護認定審査事業特別会計		

予算現額	支出済額	不用額
38,658,000	36,918,787	1,739,213

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	20,160,556	16,758,231
主な財源	認定審査会共同設置負担金（2町2村）				

目的

日向入郷１市２町２村で設置した介護認定審査会の効率的で円滑な運営を図る。

事業活動内容

審査会構成町村で派遣職員を配置し、審査会開催のための事務・連絡等を行う。
【派遣職員：諸塚村（令和２年～３年度）】

〈主な事業〉
○介護認定審査会共同設置事業　３６，９１９千円
・報酬等（認定審査会委員・会計年度任用職員）１５，３９８千円
・委託料（システム保守管理・開発委託料）　５，０３２千円
・使用料及び貸借料（システム貸借料）　６，９７３千円
・負担金（派遣職員給与等）　８，３１０千円
・事務費（消耗品・光熱水費・通信運搬費等）　１，２０６千円

○令和２年度　介護認定審査会の開催状況
開催回数　１２４回　件数　３，４６９件（１回あたりの平均件数　２８件）
○担当者会、研修会の実施状況
・介護認定調査員研修会の開催（日向保健所）　参加者　２２人
【内容】樹形モデルにより要介護認定の基準時間の推計がどのように行われているかを確認し、調査内容のばらつきが与える影響について学んだ。
・介護認定審査会新人委員研修　対象者　７人
【内容】日向入郷地域介護認定審査会概要説明、認定審査の手順、機器取り扱いについて
・介護保険担当者会の開催（年間２回）

2 年度　主な施策の成果説明書

成果指標	介護認定審査会の ①審査件数 ②開催回数	単位	目標		実績	
		①件 ②回	R2	①4,000 ②147	R2	①3, 469 ②124
			R元	①4,000 ②147	R元	①3,373 ②125

活動指標	①介護認定審査会の１回あたりの審査件数 （対応可能件数４０件） ②不服申立件数	単位	目標		実績	
		①件 ②件	R2	①30 ②0	R2	①28 ②0
			R元	①30 ②0	R元	①27 ②0

事業評価			
	市民のニーズ	高い	高齢化が進み、介護認定が必要となってくる要介護者を適切に審査することが求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	日向入郷の１市２町２村で共同設置した介護認定会により、効率的な運営を行うことができている。
	成　果	上がっている	介護認定を必要とする市民に対し、ほぼ遅滞なく結果を返すことができた。
	成果に向けた活動量	不十分であった	コロナ禍のため、研修会を開催することができなかった。
	コスト削減の可能性	ない	コロナ禍のため、認定期間を延長する措置等により、審査件数が減少したため、委員の費用弁償が削減されたが、申請件数は、高齢化に伴い増加が見込まれる。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	介護保険制度を支える事業であるため、廃止できない。
	今後の方向性	維持	今後も公平・公正な事業運営を行っていく。

総評（課題・改善点）

介護認定審査会で使用しているシステムをコロナ禍に対応するため、ＷＥＢ会議システムを導入し、令和３年度より稼働することとしている。このことにより、認定審査会で集合することなく審査できる環境が整った。
医療職、福祉職の多い審査会であるため、集合研修が難しい１年であった。今後は、情報の共有化を図り、介護認定審査会委員、介護認定調査員、介護認定審査会事務局職員の資質向上や平準化に向けた取組を行う必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	18 市民環境部	所管課	02 国民健康保険課
会計名	後期高齢者医療事業特別会計		

予算現額	支出済額	不用額
791,699,000	777,153,705	14,545,295

決算額の財源内訳	国庫支出金	県支出金	市　債	その他	一般財源
	0	0	0	17,232,534	759,921,171
	主な財源	後期高齢者医療広域連合受託事業収入（健康審査業務）等			

目的

７５歳以上の者（６５歳以上の寝たきり等の障がい者で認定を受けた者を含む）を対象に、その疾病や負傷等に対する医療の給付、保険料の徴収、健康づくり事業などを行い、市民生活の安定を図る。

事業活動内容

◎後期高齢者医療広域連合納付金　　７２２，７０７千円
　［主な内訳］保険料負担金４９９，６２９千円　　保険基盤安定負担金２２３，０７８千円
◎保険料収納率
　（現年度分）９９．１５％　（滞納繰越分）２３．９９％
◎広報活動
　〇７５歳到達者説明会　０回　　〇出前講座　０回
　　（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
　〇広報ひゅうが掲載　　１回
◎健康診査　１６，６８４千円
　〇受診率　２３．６９％　（受診者数　１，７６４人）
◎健康指導対象者等訪問指導事業
　〇対象者数　９９人　〇訪問回数　３６回
◎重複・頻回受診者訪問指導事業
　〇対象者数　５７人　〇訪問回数　６５回
◎保健対策
　〇後期高齢者温泉施設利用助成事業（令和２年９月末日で休館）
　　利用者数　９０人（利用件数　２６４回）

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	後期高齢者医療保険現年度分保険料収納率	%	R2	99.41	R2	99.15
			R元	99.30	R元	~~99.80~~ 98.74

		単位	目標		実績	
活動指標	①後期高齢者医療制度説明会の参加者数 ②後期高齢者医療健康診査受診率	①千円 ②%	R2	①360 ②24.8	R2	①新型コロナの影響により中止 ②23.69
			R元	①360 ②24	R元	①279 ②23.6

事業評価			
	市民のニーズ	高い	年齢が高くなるほど身体機能が低下し、病気やけがをしやすくなることから高齢者が安心して医療を受けられる制度はなくてはならないものである。
	市の関与の妥当性	妥当	宮崎県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市町村は窓口業務、保険料の徴収業務を行うこととなっている。
	成　　果	上がっている	被保険者の疾病や負傷した際に適切な医療給付を行うことで、被保険者が安心して暮らしができる生活を支えている。しかし、保険料の収納では目標に達することができなかった。
	成果に向けた活動量	十分であった	新型コロナウイルス感染症の影響で後期高齢者医療制度説明会が開催できなかったが、対象者にはチラシを用いて郵送で制度の周知や後期高齢者医療保険料の納入、健康診査の受診等について呼びかけた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	被保険者への案内文書は、簡潔で効率的なものにし、紙資源の有効活用および郵送料の削減に努めることで、コスト削減の余地がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	健康保険制度は国民皆保険となっているため休廃止はない。
	今後の方向性	維持	後期高齢者医療制度は「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定された事業であり、高齢者の医療を支えるために事業は維持・継続する。

総評（課題・改善点）

高齢化が進み、年々被保険者数が増加しているため、宮崎県後期高齢者医療広域連合への納付金額は増額している。保険料については、滞納者に対して催告やきめ細やかな納税相談を行い、現年度分は収納額で３２，６７９千円の増、収納率で０．４１ポイントの増となったものの、滞納繰越分は調定額が増えたため、収納額はほぼ同額であるが収納率は７．４ポイントの減となった。令和３年度には特例軽減の見直しが終了し本則どおりの軽減となることから、今後も収納率向上の目標を掲げて安定的な財源確保を図らねばならない。

高齢者の医療費については、医療技術の高度化や薬剤の高額化、被保険者の増加に伴って増加している。

新型コロナウイルス感染症の影響で制度の説明会が開催できなかったが、７５歳に到達した方には保険証に同封して制度の案内のチラシを送付し、機会あるごとに適正受診やジェネリック医薬品の活用促進等について周知啓発を行っている。

同様に、医療機関への受診が重複・頻回傾向にある方や、重複服薬、健康指導対象者には個別訪問指導を行っている。コロナ禍のため感染拡大予防に十分に気をつけながら、個別訪問を慎重に行っている。

また、後期高齢者医療健康診査の受診率は依然として低いままであるため、今後さらに取組を強化し、受診率向上に努めていかなければならない。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課
会計名	簡易水道事業会計		

予算現額	支出済額	繰越額	不用額
246,758,000	159,248,850	82,038,300	5,470,850

決算額の財源内訳	工事負担金	水道料金	企業債	一般会計繰入金	長期前受金戻入	雑収益等
	0	63,049,921	19,600,000	57,400,000	6,863,512	639,445
	主な財源	水道料金、手数料、新設負担金				

目的

簡易水道施設において施設の維持管理、整備及び水質検査等を行い、清浄で衛生的な飲料水を安定して供給することを目的とする。

事業活動内容

簡易水道施設の整備及び適切な維持管理を行った。

○業務量
- ・給水人口　２，６２２人
- ・給水戸数　１，１７８戸
- ・給水区域内普及率　９９．５％
- ・年間総配水量　４５９，３７６㎥
- ・年間総有収水量　３９５，９３７㎥

○配水管布設費
- ・簡水統合・施設強靭化に係る経費　８，９５４，０００円

○施設改良費
- ・施設長寿命化に係る経費　１１，７１１，７００円

○維持管理及び運営費　（４２，９２２，８１９円）
- ・原水及び浄水に係る経費　１７，１１０，１２２円
- ・配水及び給水に係る経費　２１，０２６，２０２円
- ・業務費　２，６００，６００円
- ・総係費　２，１８５，８９５円

○企業債元金及び利息　（３７，８３８，０８３円）
- ・建設改良費等に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　３２，１４０，５８３円
  - 企業債利息　５，６９７，５００円

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	適正で安全な水質の保持率	%	R2	100	R2	100
			R元	100	R元	100

		単位	目標		実績	
活動指標	法定水質検査回数	回/１施設	R2	12	R2	12
			R元	12	R元	12

事業評価			
	市民のニーズ	高い	水道は市民生活のライフラインとして必要不可欠であり、安定した供給が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	水道事業は水道法第６条第２項の規定に基づき、原則として市町村が経営することとなっている。
	成　果	上がっている	適正で安定した水質を継続して保持することが出来た。
	成果に向けた活動量	十分であった	安全な水質保持のため、各水源ごとに定期的な水質検査を実施し、水質の管理や監視を行った。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	計画的な施設更新や修繕、地域の実情に沿った施設への改修等を実施することにより、コスト削減の可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業の休廃止は、安全な水道水を提供することが不可能となるため、市民への影響は非常に大きい。
	今後の方向性	拡充	施設の統廃合や、計画的な設備類の長寿命化対策に取り組む。

総評（課題・改善点）

簡易水道事業は複数箇所に水源を有しており、取水量や大雨による急激な濁度上昇等の水質管理上の課題がある。

また、昭和４９年に給水を開始した旧山陰地区簡易水道施設をはじめ老朽化した施設が現在も多く供用しており、施設故障時の大規模断水のリスクが高まっている。

今後、安定した水源の確保や水質管理はもとより、老朽化した施設の更新や長寿命化対策を計画的に行うとともに、施設統廃合に向けた事業を加速化する必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	01 水道課
会計名	水道事業会計		

予算現額	支出済額	繰越額	不用額
2,023,649,000	1,770,678,583	141,902,600	111,067,817

決算額の財源内訳	工事負担金	水道料金	企業債	一般会計繰入金	長期前受金戻入	雑収益等
	21,343,072	1,074,016,725	200,000,000	13,754,690	48,887,696	96,544,867
	主な財源	水道料金、手数料、新設負担金				

目的

安全でおいしい水道水を安定的に供給するため、「日向市水道ビジョン」に基づき事業を推進するとともに、効率的・効果的な施設の維持管理に努めることを目的とする。

事業活動内容

水道事業の経営安定及び施設の適切な維持管理、老朽化の著しい設備等の更新と耐震化を図った。

○業務量
- ・給水人口　５４，９１５人
- ・給水戸数　２３，６９１戸
- ・給水区域内普及率　９８．９％
- ・年間総配水量　８，００４，５７１㎥
- ・年間総有収水量　７，０３４，４１７㎥

○配水管布設費　（３２０，４３１，４００円）
- ・老朽化の著しい配水管・送水管の更新と耐震化に係る経費　３２０，４３１，４００円

○施設改良費　（６２，９４５，３３９円）
- ・浄水場施設内設備更新工事等に係る経費　２２，１２６，２８０円
- ・富島幹線用水路整備負担金　４０，８１９，０５９円

○維持管理及び運営費　（５３２，８３６，５１５円）
- ・原水及び浄水に係る経費　２４６，２８４，８０７円
- ・配水及び給水に係る経費　１４３，８１４，２９５円
- ・業務費　９４，８６６，７３９円
- ・総係費　４７，８７０，６７４円

○企業債元金及び利息　（４０１，５４３，０３８円）
- ・建設改良費に係る借入金償還のための経費
  - 企業債償還金　３４６，４０６，７６３円
  - 企業債利息　５５，１３６，２７５円

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	①有収率（家庭などに供給している水道水が、実際に使用されて収益となった比率） ②管路の耐震化率	①% ②%	R2	①86.5 ②16.16	R2	①87.88 ②16.27
			R元	①86.5 ②12.6	R元	①87.84 ②15.16
		単位	目標		実績	
活動指標	①漏水調査の回数 ②配水管更新工事の延長	①回 ②ｋｍ	R2	①200 ②4.0	R2	①190 ②4.5
			R元	①200 ②4.0	R元	①178 ②4.3

事業評価			
	市民のニーズ	高い	水道は市民生活や社会経済活動に欠かすことのできないライフラインであり、安定した供給が求められている。
	市の関与の妥当性	妥当	水道事業は水道法第６条第２項の規定に基づき、原則として市町村が経営することとなっている。
	成　果	上がっている	計画的な老朽管更新や漏水調査を行うことにより、目標を達成できた。
	成果に向けた活動量	十分であった	老朽管更新の進捗により、重点的に漏水調査を行う路線が減少したが、更新による漏水リスクの低減により有収率が向上した。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	施設の統廃合やダウンサイジングを検討することにより、コスト削減の可能性がある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業の休廃止は、安全な水道水を確保することが不可能となるため、市民への影響は非常に大きい。
	今後の方向性	拡充	持続可能な水道事業を実現するための適切な施設更新や維持管理、大規模災害に対応する強靭な水道を目指した耐震化事業に取り組む。

総評（課題・改善点）

「日向市水道ビジョン」に基づき老朽管路の更新を重点的に行っているが、水道施設老朽化は加速的に進行している。また、市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない重要なライフラインである水道施設は、災害時においてもその機能を維持する必要があることから耐震化が強く求められている。

水道事業の経営においては、人口減少や社会情勢の変化による給水収益の減少で経営が厳しさを増していることから、窓口業務の民間委託等を導入し、市民サービスの向上と収納率の向上及び業務の効率化に取り組んでいる。

今後も更なる経営の効率化を図るとともに、更新等を必要とする施設がさらに増加することもあり、安定した資金確保により持続可能な事業経営に取り組む必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	農業集落排水事業会計		

予算現額	支出済額	不用額
319,553,000	283,292,765	36,260,235

決算額の財源内訳	県補助金	農業集落排水施設使用料	企業債	一般会計繰入金	長期前受金戻入	その他
	2,500,000	35,826,230	15,400,000	206,000,000	66,904,593	2,600
	主な財源	農業集落排水施設使用料、最適整備構想策定補助金				

目的

東郷町山陰地区、秋留地区、美々津地区農業集落排水施設を良好に稼動させ、正常な機能を維持するため、施設の保守点検等を行い、設備機器類及び放流水の水質について技術的な管理を行うことにより、農業用用排水の水質保全、ならびに生活環境の改善を図る。

事業活動内容

農業集落排水施設の適切な管理運営を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【４９，６７６，９２３円】
（１）管きょに係る経費　４，３０６，２２７円
（２）処理場に係る経費　３６，４５６，４６６円
（３）総係費　８，９１４，２３０円

○建設改良費【１２，３０２，９００円】
（１）管きょ費（１，７７６，５００円）
・工事請負費（ポンプ更新工事　２件）　１，７７６，５００円

（２）処理場費（１０，５２６，４００円）
・美々津地区非常用エンジンポンプ更新工事　他　５，５２６，４００円
・委託料（事業計画策定）　５，０００，０００円

○企業債償還金及び利息【１００，６８８，０４９円】
建設改良費に係る企業債償還のための経費
（１）企業債償還金　８４，１９１，４０２円
（２）企業債利息　１６，４９６，６４７円

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	使用料徴収率	%	R2	98.0	R2	98.9
			R元	98.0	R元	86.7

		単位	目標		実績	
活動指標	訪問催告及び督促状送付	回	R2	12	R2	12
			R元	12	R元	12

事業評価			
	市民のニーズ	高い	農村地域の生活環境改善や農業用排水・公共用水域の水質保全に大きな役割を果たしており、必要なインフラである。
	市の関与の妥当性	妥当	農業集落排水事業として整備を行い、供用開始を行った３地区（山陰、秋留、美々津）については、市の責務として、施設の維持保全に取り組む必要がある。
	成　　果	上がっている	使用料にかかる徴収事務委託をしている料金センターと、適宜、連携を図り、成果指標の使用料徴収率の目標を達成することができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	使用料徴収にかかる業務について、適切かつ、効率的な時期に行うことができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	令和２年度に策定した「最適整備構想」に基づき、効率的かつ効果的な予防保全型の施設管理を行うことで、中長期的なスパンにおいては、ある程度可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	市が事業主体となり、整備を完了した本事業については、将来にわたって、施設の維持管理を担うことは、市の責務である。
	今後の方向性	維持	今後、農業集落排水施設の老朽化に伴い、維持管理費の増加が懸念されている。そのため、計画的に施設の長寿命化を図りながら、適切な施設運営に努める必要がある。

総評（課題・改善点）

農業集落排水事業は、令和２年４月１日から地方公営企業会計へ移行した。
農業集落排水は、農村地域の生活環境改善や農業用用排水・公共用水域の水質保全に大きな役割を果たしており、山陰地区（処理面積９８．４ｈａ）、秋留地区（処理面積２１ｈａ）、美々津地区（処理面積９８．８ｈａ）に整備されているが、接続率が低い地域があるため、接続率向上に取り組む必要がある。
また、人口減少により農業集落排水施設使用料収入が減少しているため、使用料の改定など経営の健全化に向けて、今後、手法や改定時期等について、具体的な検討、取組を進める必要がある。

2 年度　　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	52 上下水道局	所管課	02 下水道課
会計名	下水道事業会計		

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,674,297,000	2,301,810,026	184,208,344	188,278,630

決算額の財源内訳	国庫支出金	下水道使用料	企業債	一般会計繰入金	長期前受金戻入	受益者負担金等
	91,626,000	503,324,525	346,500,000	600,000,000	319,622,431	53,431,767
	主な財源	社会資本整備総合交付金、防災・安全社会資本整備総合交付金				

目的

衛生的で快適な生活環境の改善、大雨による浸水の防除、河川・海などの水環境の水質保全を図ることを目的に、公営企業として、財政状況を把握し健全で持続可能な事業運営に努める。

事業活動内容

「日向市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、浄化センターと各汚水中継ポンプ場の長寿命化工事を行うとともに、未普及地域の解消を図るため、往還地区の管きょ整備を行った。

＜主な事業＞

○維持管理及び運営費【３１０，３４２，８６８円】
- （１）管きょに係る経費　１１，４５９，４１７円
- （２）ポンプ場に係る経費　３３，２２４，３４５円
- （３）処理場に係る経費　１８５，３５１，５７２円
- （４）総係費　８０，３０７，５３４円

○建設改良費【２４３，６３０，９５０円】
- （１）管きょ費（１４５，５０９，９５４円）
  - ・工事請負費（往還地区面整備Ａ＝４．０ｈａ）　７４，５５５，０８７円
  - ・委託料　４５，２４３，４１７円
  - ・その他管きょに係る経費　２５，７１１，４５０円
- （２）ポンプ場費（５４，５７２，００９円）
  - ・亀崎汚水中継ポンプ場除塵機機械設備工事　２３，１００，０００円
  - ・亀崎汚水中継ポンプ場除塵機電気設備工事　１７，３８０，０００円
  - ・大王谷マンホールポンプ更新工事　７，３４８，０００円
  - ・委託料　６，７４４，００９円
- （３）処理場費（４３，５４８，９８７円）
  - ・浄化センターフェンス改修工事　３，４９０，７８７円
  - ・浄化センター余剰汚泥ポンプ対策工事　３，３３３，０００円
  - ・浄化センター反応タンク撹拌装置工事　２，６２６，８００円
  - ・委託料　３４，０９８，４００円

○企業債償還金及び利息【１，０２２，００２，０３１円】
建設改良費に係る企業債償還のための経費
- （１）企業債償還金　８９９，１５２，５３４円
- （２）企業債利息　１２２，８４９，４９７円

2 年度　　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	公共下水道　整備面積進捗率 ＝整備区域面積／全体計画処理面積 （全体計画処理面積Ａ＝１，３８１ｈａ）	%	R2	61.4	R2	61.4
			R元	61.0	R元	61.1

		単位	目標		実績	
活動指標	公共下水道　整備区域面積	ｈａ	R2	848.0	R2	848.7
			R元	843.0	R元	844.7

事業評価			
	市民のニーズ	高い	生活排水の適切な処理により水環境が保全され、市民が衛生的な環境の中で快適に生活するうえで、下水道は、必要なインフラである。
	市の関与の妥当性	妥当	公共下水道事業は都市計画事業であり、なおかつ、下水道法第３条において、事業主体は市となっている。
	成　　果	上がっている	公共下水道事業計画区域において、年次計画的に整備を進めており、成果指標の整備区域面積の目標を達成することができた。
	成果に向けた活動量	十分であった	事業計画区域内の未整備地区約４ヘクタールの区域について、整備の進捗を進め、供用開始を図ることができた。
	コスト削減の可能性	ある程度ある	「ストックマネジメント計画」に沿った老朽化施設の長寿命化を計画的に進めていくことにより、中長期的なスパンにおいては、ある程度可能性はある。
	休廃止した場合の市民への影響	大きい	事業計画区域内については、区域に包含する際に住民説明会等周知を行ってきており、事業主体者として、事業を遂行する責務がある。
	今後の方向性	維持	河川の水質や水辺環境を保全するために、公共下水道などの生活排水対策を推進し、河川等の水質保全に努める必要がある。

総評（課題・改善点）

日向市浄化センターや管路などの下水道施設については、中長期的な視点で施設の長寿命化を図ることが求められている。

また、下水道整備地域では、様々な理由により下水道に接続していない世帯があるため、下水道の役割について啓発活動を行い、公共下水道の接続率向上に向けた取組を進める必要がある。

さらに、人口減少により下水道使用料収入が減少しているため、下水道使用料の改定など経営の健全化に向けて、今後、手法や改定時期等について、具体的な検討、取組を進める必要がある。

2 年度　主な施策の成果説明書

（単位：円）

所管部局	19 健康福祉部	所管課	05 東郷病院
会計名	病院事業会計		

予算現額	支出済額	不用額
329,478,000	280,804,036	48,673,964

決算額の財源内訳	医業収益	医業外収益など	特別利益	企業債	その他
	93,869,300	185,534,736	1,400,000	0	0
主な財源	外来収益　一般会計繰入金				

目的

公立医療機関、また、国民健康保険診療施設として、医療サービスの提供や地域住民の健康の保持増進を図る。

事業活動内容

医療（整形外科・リハビリテーション科）の提供及び訪問看護事業等を行った。

○病院事業費用（消費税抜き）	２７０，０１８千円
・給与費（給料、手当ほか）	２２１，６８２千円
・材料費（薬品費、診療材料費ほか）	７，３１４千円
・経費（委託料、光熱水費ほか）	３１，００４千円
・減価償却費（器械備品減価償却費ほか）	８，２１２千円
・資産減耗費（たな卸資産減耗費ほか）	９７千円
・研究研修費（旅費、図書費ほか）	３０９千円
・特別損失	１，４００千円
○資本的支出	７，４４７千円
・建設改良費（医療機器購入費）	７，４４７千円

2 年度　主な施策の成果説明書

		単位	目標		実績	
成果指標	経常収支比率	%	R2	100.0	R2	99.1
			R元	100.0	R元	94.4

		単位	目標		実績	
活動指標	１日平均外来患者数	人	R2	50.0	R2	43.2
			R元	35.0	R元	38.7

事業評価		
市民のニーズ	高い	東郷地域における公立医療機関として、地域住民の期待は大きく、安定した診療体制の確立が求められている。
市の関与の妥当性	妥当	東郷地域は不採算地区とされており、民間医療機関の存立が厳しい環境において、市民の安全安心を守る医療サービスの提供に市が関与する意義は大きい。
成　　果	ある程度上がっている	常勤医師１名が令和２年４月より着任し、内科診療を再開することができ、東郷地域の医療需要の高い、内科・整形外科の外来診療体制ができた。
成果に向けた活動量	不十分であった	常勤医師２名の体制ができたが、コロナ禍により受診を控える傾向や病院外の出前講座の活動が制限された影響等もあり、患者数は伸びていない。
コスト削減の可能性	ある程度ある	令和３年４月から無床診療所へ運営形態が移行することに伴い病床の維持経費等について削減できる。
休廃止した場合の市民への影響	大きい	東郷地域には、東郷病院以外の民間医療機関が１つしかなく、病院（診療所）を休止、又は廃止した場合の東郷地域に与える影響は非常に大きい。
今後の方向性	維持	持続可能な医療を提供していくために無床診療所へ移行したことを踏まえ、地域のかかりつけ医療機関としての役割を果たしていくことが求められている。

総評（課題・改善点）

令和２年度においては、「日向市立東郷病院の在り方検討委員会」から「持続可能な医療提供を行うためには、無床診療所としての運営継続が適切」との報告などを踏まえ、令和３年４月に無床診療所へ運営形態を移行するとともに、新診療所の整備にも着手するとの方針を決定した。

持続可能な医療提供体制を維持し、地域のかかりつけ医療機関としての役割を果たすためには、医師の安定確保などに取り組むほか、新診療所整備も着実に進めて行く必要がある。

診療については、令和２年４月に内科の常勤医師が着任し、外来の内科診療を再開し、年間を通じて２名体制で診療を行ったが、令和３年４月からの無床診療所への移行方針を踏まえ、令和２年度も入院診療や平日時間外及び休日の救急診療を休止していた。

このため、入院収益は対前年度で皆減となったが、外来収益が増となったことにより、医業収益は対前年度で２，２０１千円の減、また、医業費用は、人員減による給与費や宿日直医師への報酬等が減となったこともあり、２７，１６１千円の減となった。結果として、医業収支が改善したため、一般会計からの繰入金総額も１０，２２２千円の減となったが、繰入金の額は、過去と比較すると依然として高い水準となっている。

無床診療所へ移行することにより、一定の収支改善が図られる見込みであるが、新たに経営計画を策定し、引き続き、経営改善に努めていかなければならない。